MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING

FAgoods

FAグッズ

リニューアル機器編

総合カタログ

省配線・省工数機器

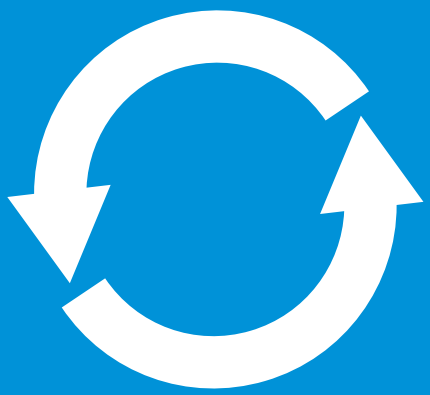
ネットワーク機器

監視・トレーサビリティー機器

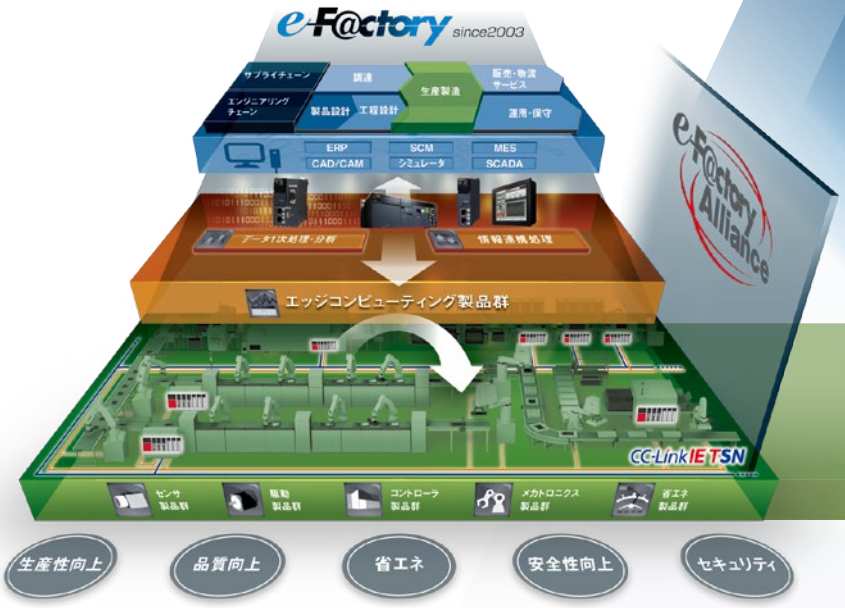
設備保守・保全機器

2025-26

リニューアル機器



三菱電機エンジニアリング株式会社



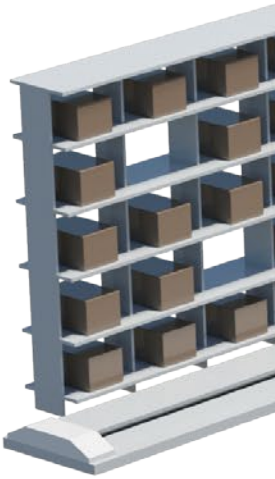
出典：三菱電機株式会社

e-F@ctory の概念

開発や製造、物流などにおけるあらゆる機器や設備をIIoTでつなぎ、収集した膨大なデータを分析・活用してものづくり全体を最適化する「e-F@ctory」。
FA機器開発のプロだからこそ持つ高い技術力と品質、FAとITをつなぐ連携技術を最大限に活用し、マスカスタマイズや予防保全、トレーサビリティーなど次世代のものづくりを実現します。

変わる、
変えていく
ものづくりの現場

働き手が減少している現代において、省工数化が今後のものづくりを支える鍵となっています。
5つの用途でものづくり現場にあった制御盤ソリューションをサポートします。



スマート工場化を図る

5つの用途

省配線・省工数機器

01 「配線作業」の省工数化で作業のムダ削減

ネットワーク機器

02 小規模IIoT導入で生産現場革新

監視・トレーサビリティー機器

03 生産現場を「みる」(監る、診る)

リニューアル機器

04 設備更新でスマート工場化への第一歩

設備保守・保全機器

05 安定稼動による生産性向上

省配線・省工数機器

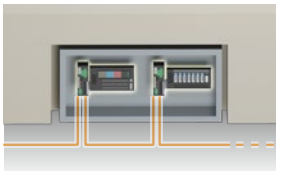
「配線作業」の省工数化で作業のムダ削減

シーケンサ、サーボ、表示器、数値制御装置(CNC)の配線作業を省工数化で、制御盤内の配線作業における課題の解決をサポートします。

ネットワーク機器

小規模IIoT導入で生産現場革新

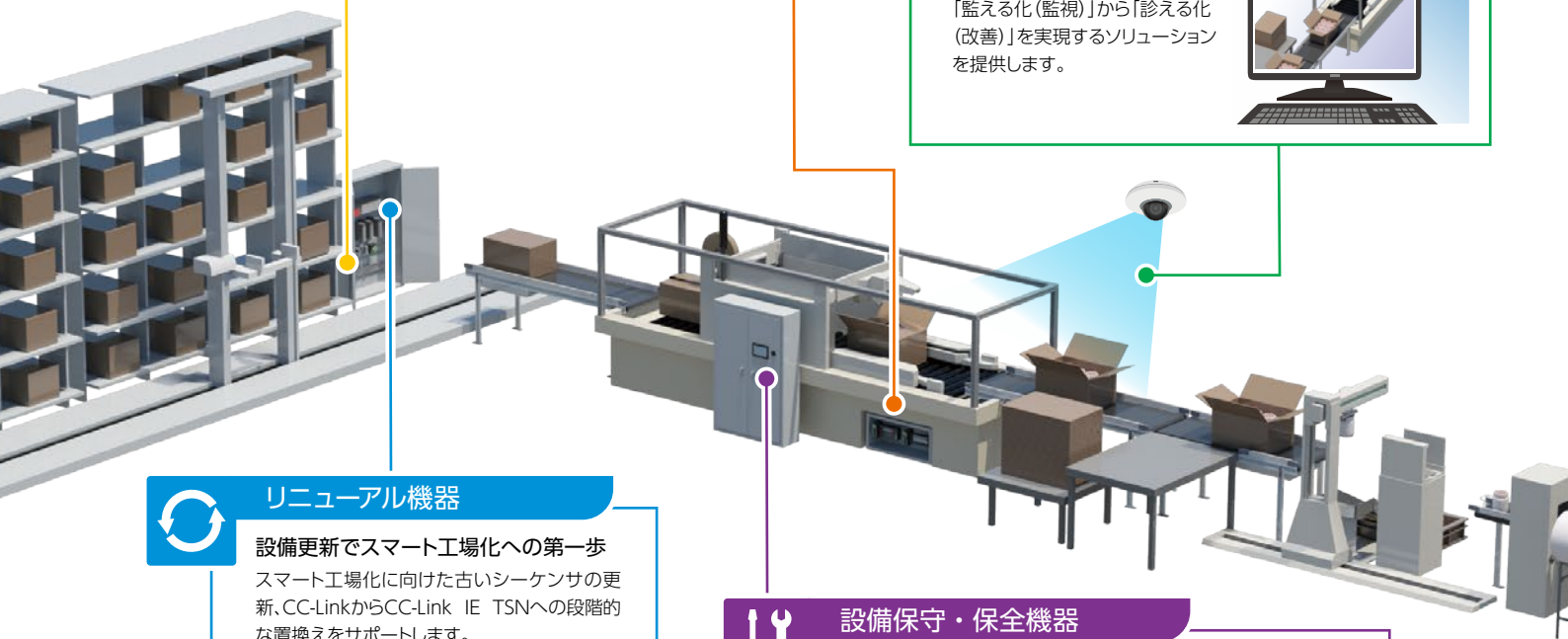
工場のIIoT化は日々進化しています。IIoT化の実現に必要不可欠な産業用ネットワークに接続できる機器をラインアップしています。



監視・トレーサビリティー機器

生産現場を「みる」(監る、診る)

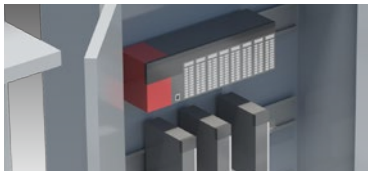
「監える化(監視)」から「診える化(改善)」を実現するソリューションを提供します。



リニューアル機器

設備更新でスマート工場化への第一歩

スマート工場化に向けた古いシーケンサの更新、CC-LinkからCC-Link IE TSNへの段階的な置換えをサポートします。



設備保守・保全機器

安定稼動による生産性向上

生産現場の異常を事前に捉えた予防保全から、緊急時の対応による事後保全まで、お客様の課題を解決するスタートラインをサポートします。

リニューアル機器

設備更新で
スマート工場化への第一歩

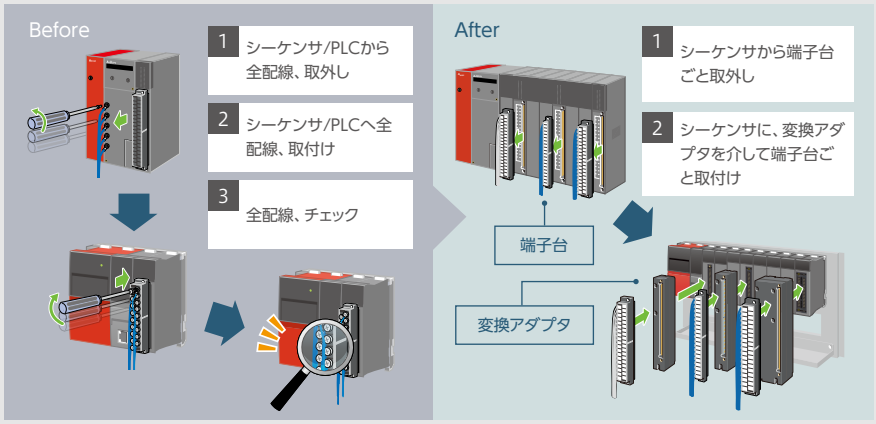
製造ラインの安定稼動が、ものづくり現場の絶対条件。そのために、設備の更新がついて回る問題です。
しかし、設備の更新中は製造ラインの停止=生産ストップです。製造ラインの停止をいかに短くするかが鍵となります。
当社は、お客様の負担となる製造ラインの停止を最小限に抑えるための製品をラインアップしております。

このような課題、解決します。

- 生産ラインの稼動ストップを最小限に抑えたい。
- 配線が多くてミスが心配。
- シーケンサを置換えてe-F@ctoryを実現したい。
- CC-Link IE TSNに置換えて工場全体のIIoTインフラ構築を実現したい。
- CC-Link IE TSNに置換えたいがCC-Linkにしかラインアップがない。
- ブラックボックスが多くてシステムの置換え工数がかかる。
- 既設システムの構築者が不在。

最新シーケンサへの簡単置換え

詳細はP.6～



置換え対応表

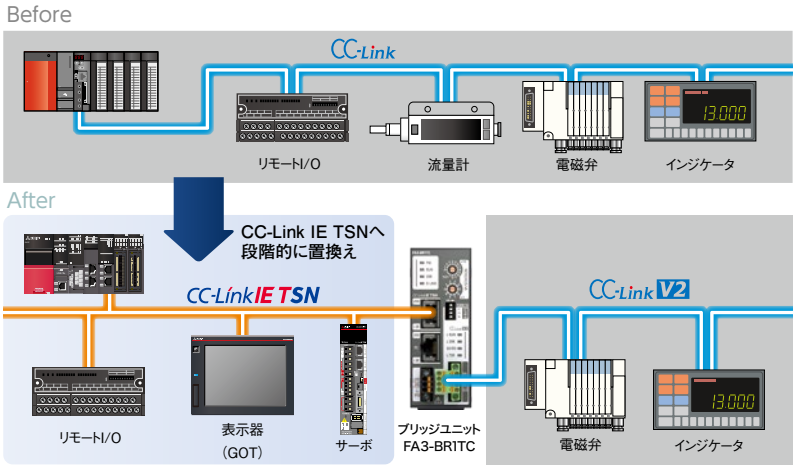
既設シーケンサ	置換えシーケンサ
三菱電機株式会社製 MELSEC-A/AnS series	MELSEC iQ-R series
	MELSEC-Q series
	MELSEC-L series
オムロン(株)製*、(株)安川電機製、シャープ(株)製、(株)ジェイテクト製、その他各種PLC製品	MELSEC iQ-R series
	MELSEC-Q series

*:オムロン株式会社製PLCはプログラムコンバータをラインアップしております。

リニューアル機器を使うことで更新作業を手軽に。アダプタ構成となっているため、これまで配線と加工で手間や時間がかかっていたシーケンサ/PLCの取外し・取付けの工程を、わずか2アクションで完結できます。さらに配線確認も不要となり、作業時間を大幅短縮できます。

CC-Link IE TSNへの段階置換え

詳細はP.324～



より高度なスマート工場化の実現に向けて
CC-Link IE TSNにステップアップしたいが、
ラインアップのない機器がある。

- CC-Link IE TSNにラインアップのない機器は、CC-Link機器をそのまま使用
- 機器の再利用でプラスチック使用量を削減
- 旧設備の稼動データを新設備に流用
- 新設備の立上げ前に三菱電機株式会社製 MELSOFT Geminiで検証

システムをリニューアル

装置の更新において、ソフトウェアはブラックボックスが多く、更新時に工数が積み重なってしまいます。
当社では、これまで培ってきた経験をベースに三菱電機株式会社製 シーケンサ、サーボシステムの更新を一括対応します。

調査分析	企画提案	設計製作	立上げ調整	保守サービス
経験豊富な技術者が調査分析段階からお手伝いします。	ニーズに応じた最適システムをご提案します。(企画段階からのご相談も可能です。)	最新技術によるシステム設計、製作。 ・ハードウェア設計 ・ソフトウェア設計 ・ドキュメント制作	現地での工事・試運転をサポート。作業者への教育なども実施可能です。	保守、定期点検時のサポートはもちろん、更新計画の立案もサポートします。

リニューアル機器編

シーケンサリニューアル

For programmable controllers

INDEX

シーケンサ用リニューアル機器とは P.8

選定ツール P.10

特長 P.12

MELSEC-A/QnAシリーズからの置換え P.12

MELSEC-AnS/QnASシリーズからの置換え P.14

他社PLCからの置換え P.18

その他PLCからの置換え（ユニバーサル変換アダプタ） P.22

MELSECシリーズからの置換え P.26

MELSEC-A/QnAシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ P.26

→MELSEC-Qシリーズ P.34

MELSEC-AnS/QnASシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ P.42

→MELSEC-Qシリーズ P.52

→MELSEC-Lシリーズ P.66

省配線・省工数機器を活用したリニューアル方法 P.74

他社PLCからの置換え P.98

オムロン株式会社製 SYSMAC Cシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ 大形 P.98

小形 P.104

→MELSEC-Qシリーズ 大形 P.130

小形 P.136

→MELSECシリーズ置換え用プログラムコンバータ P.162

シャープ株式会社製 ニューサテライト JWシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ 大形 P.168

小形 P.184

→MELSEC-Qシリーズ 大形 P.192

小形 P.209

株式会社安川電機製 MEMOCON-SC GLシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ 大形 P.216

小形 P.233

→MELSEC-Qシリーズ 大形 P.242

小形 P.261

株式会社ジェイテクト製TOYOPUC-PC10G/3Jシリーズ

→MELSEC iQ-Rシリーズ P.270

その他PLCからの置換え（ユニバーサル変換アダプタ） P.272

その他PLC

→MELSEC iQ-Rシリーズ P.272

→MELSEC-Qシリーズ P.294

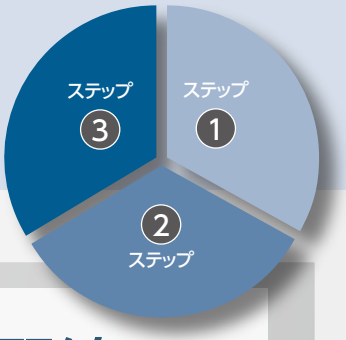
シーケンサ用リニューアル機器とは

既設シーケンサの配線を最大限に活用し、置換えシーケンサへの更新作業時間および配線ミスの削減を実現します。

Before

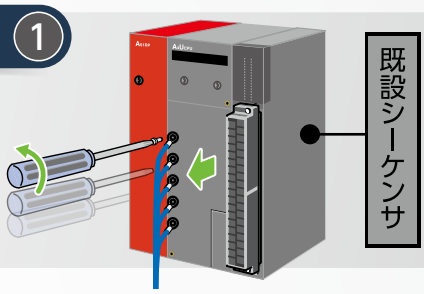
シーケンサを新しくしたいけど…

けっこう時間がかかるし、
できればラインを長時間止めたくない。



ステップ 1

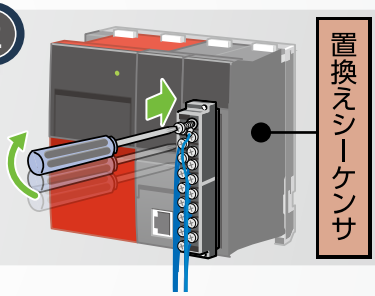
取外し



■ **全配線**
取外しが必要

ステップ 2

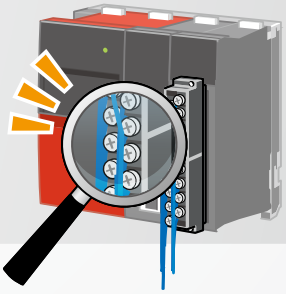
取付け



■ **全配線**
取付けが必要
（ベースアダプタ取付け穴加工も必要）

ステップ 3

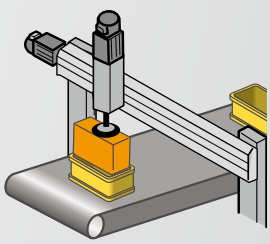
配線確認



■ **全配線**
チェックが必要

ステップ 4

試運転、本運転



特にステップ①から
ステップ③の置換えに
手間と時間がかかってしまう。

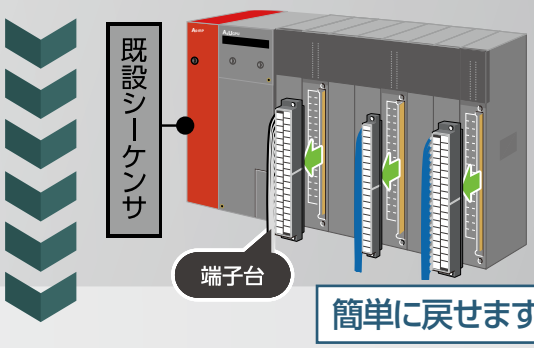
After

豊富なラインアップ 約230機種 で 更新作業の手間がぐーんと手軽に！

作業工数

ステップ 1

端子台ごとまるっと取外し



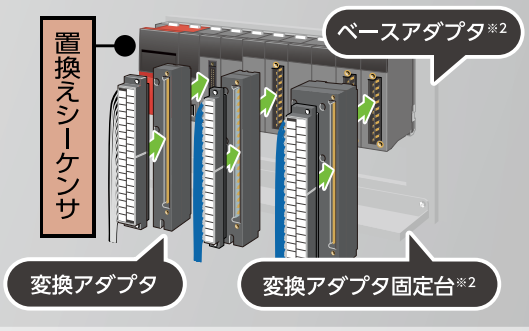
簡単に戻せます

■ **2アクションで完了**

配線が増えても端子台でまるごと
脱着ができ、作業時間を大幅短縮

ステップ 2

端子台ごと取付け



■ **配線確認が不要に**※1

そのまま試運転に移ることができ
ラインの停止時間を最小限に

※1：一部電源配線などの確認が必要になる場合もあります。
※2：シリーズにより不要な場合があります。

サポートシーケンサ

既設シーケンサ	置換えシーケンサ		
三菱電機株式会社製 MELSEC-A/AnS series	MELSEC iQ-R series	MELSEC-Q series	MELSEC-L series
他社製 各種 PLC 製品	MELSEC iQ-R series	MELSEC-Q series	

選定ツール

三菱電機株式会社製 シーケンサの置換え選定を当社Webサイトに公開中です。
既設のシーケンサユニット名から簡単に置換えユニット、リニューアル機器を選定できます。

当社Webサイトから（www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/）

1 MEEFANのトップページ➡シーケンサ用リニューアル機器　選定ツールを選択します。

2 [起動方法]にあるリンクボタンをクリックします。

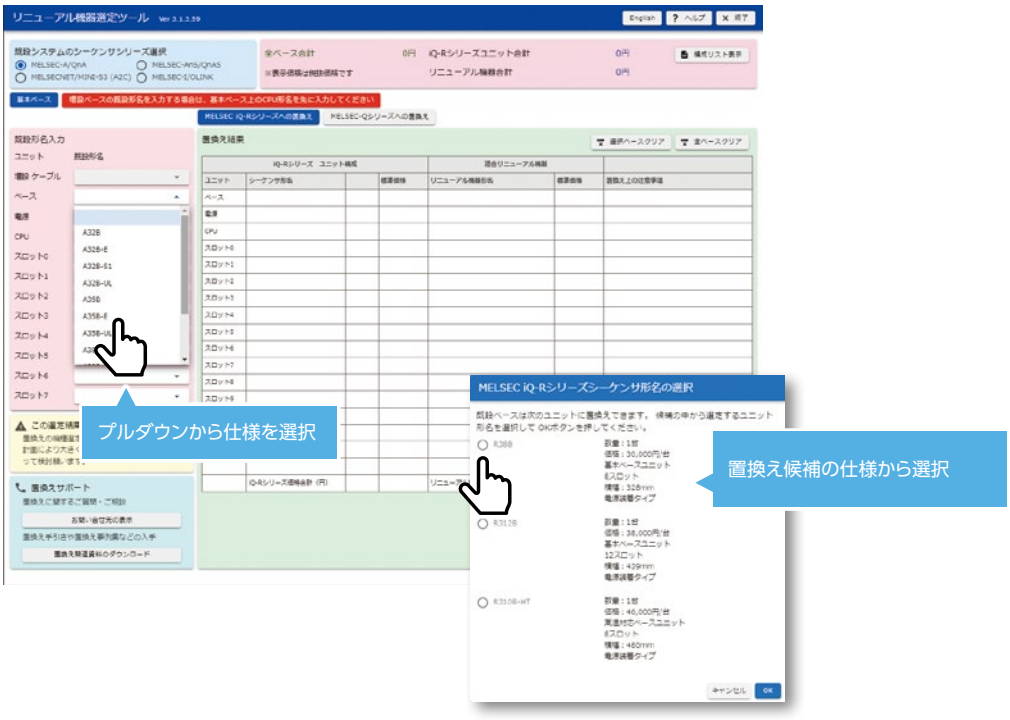
三菱電機株式会社FAサイトから（www.mitsubishielectric.co.jp/fa/）

1 FAサイトトップページから[機種選定ポータル]を立ち上げます。

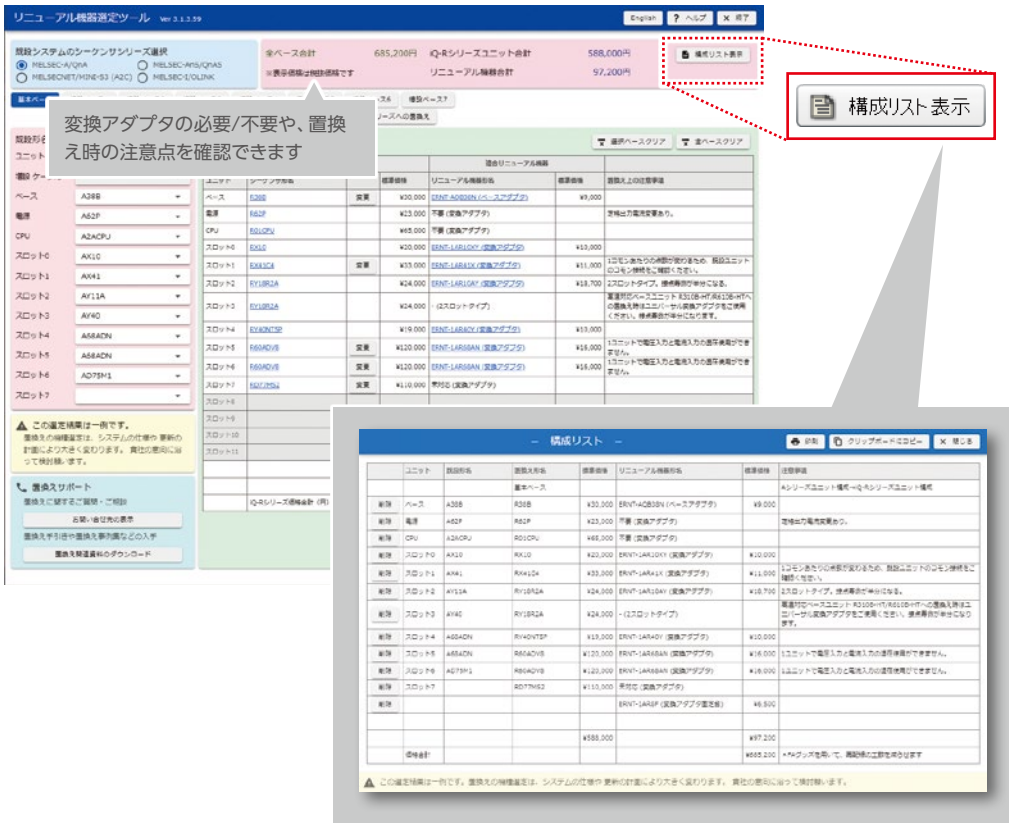
2 [機種を選定する]のページ➡リニューアル機器選定ツールを選択します。

リニューアル機器選定ツールが起動します。

3 画面左側にある既設形名の各項目について、既設のMELSECシリーズユニットの仕様をプルダウンから選択します。



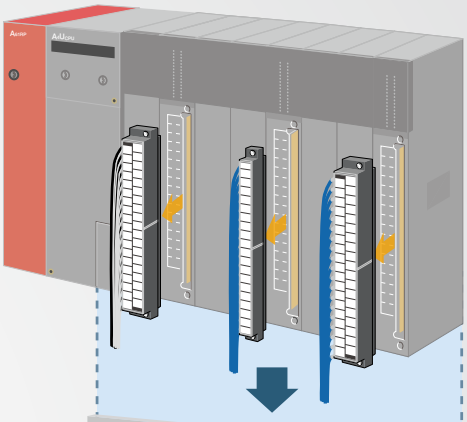
4 必要な項目について順に選択していくと、置換え後のシーケンサユニット、置換えに便利な変換アダプタを簡単に選定できます。



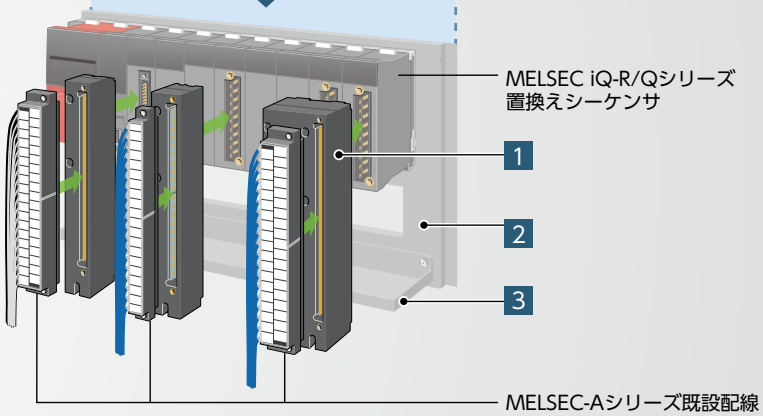
MELSEC-A/QnAシリーズ

置換え対象　MELSEC-A/QnA series　MELSEC iQ-R/Q series

MELSEC-Aシリーズ



置換えシーケンサ



製品構成

1 変換アダプタ

MELSEC-Aシリーズ既設配線をMELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサへつなぎ換えます。

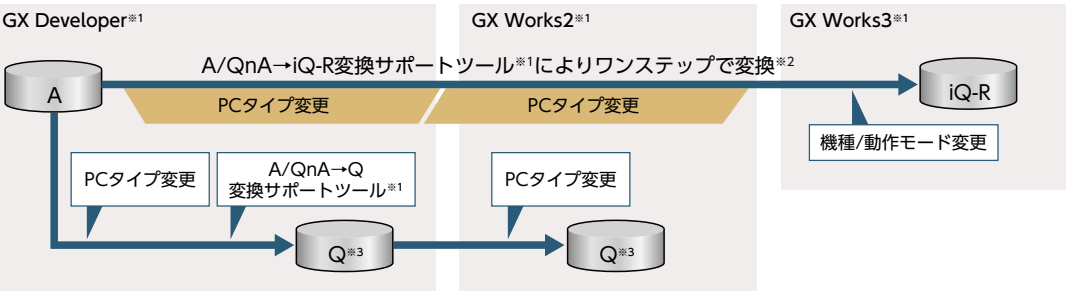
2 ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズベースユニットの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサのベースユニットが取付けできます。

3 変換アダプタ固定台

変換アダプタの下部を固定します。

プログラム変換の流れ



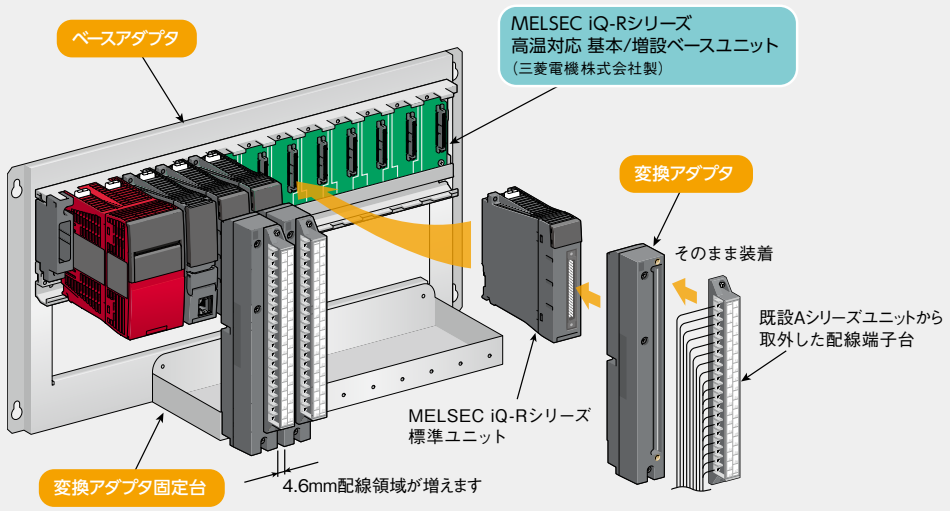
※1：三菱電機株式会社製
※2：GX Developer、GX Works2、GX Works3がインストールされている必要があります。
※3：GX DeveloperはMELSEC-Qシリーズへの置換えにおいてCPUタイプすべてに対応していません。

A/QnA iQ-R series P.26　A/QnA Q series P.34

配線干渉・配線領域を考慮した置換え方法

MELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 高温対応ベースユニットの活用

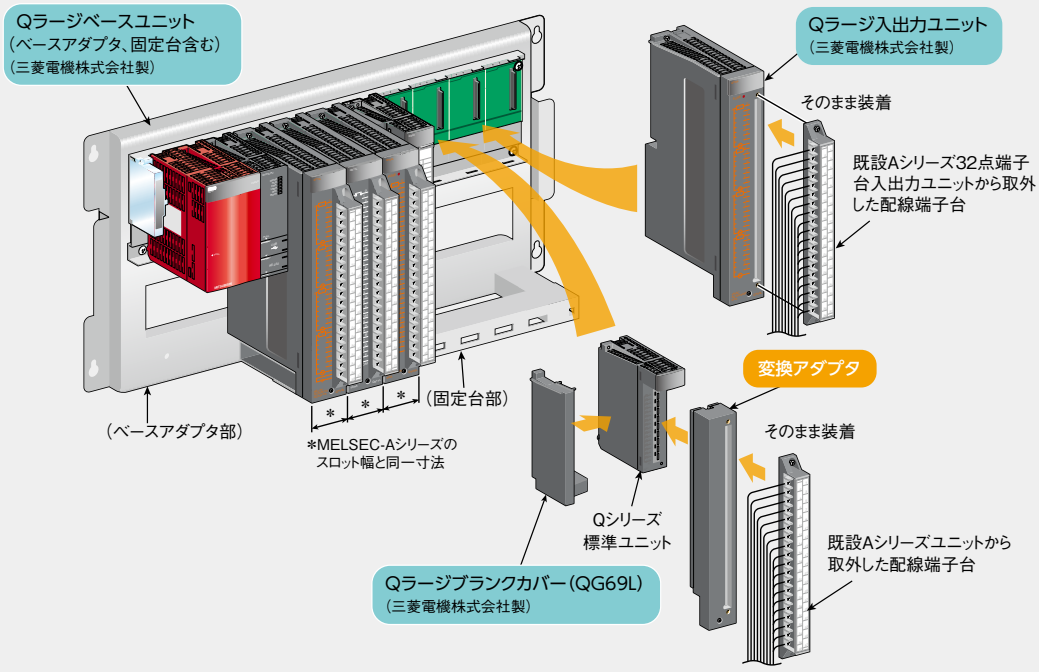


●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

MELSEC-Aシリーズ形名	MELSEC iQ-Rシリーズ 高温対応ベースユニット形名	ベースアダプタ形名	変換アダプタ固定台形名
A38B（-UL/-E）、A38HB（EU）	R310B-HT	ERNT-AQB38N	ERNT-1AR10F3
A68B（-UL）	R610B-HT	ERNT-AQB68N	ERNT-1AR10F6

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 Q ラージベースユニット、Q ラージ入出力ユニットの活用



●Qラージベースユニットの取付寸法はMELSEC-Aシリーズと同一寸法のため、取付穴加工は不要です。
●Qラージ入出力ユニットとの混在使用が可能です。
●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

Qラージベースユニット一覧

Aシリーズ形名	Qラージベースユニット形名
A35B（-E、-UL）	Q35BL
A38B（-E、-UL）	Q38BL
A65B（-UL）	Q65BL
A68B（-UL）	Q68BL
A55B（-UL）	Q55BL

Qラージブランクカバー

Aシリーズ形名	Qラージブランクカバー形名
—	QG69L

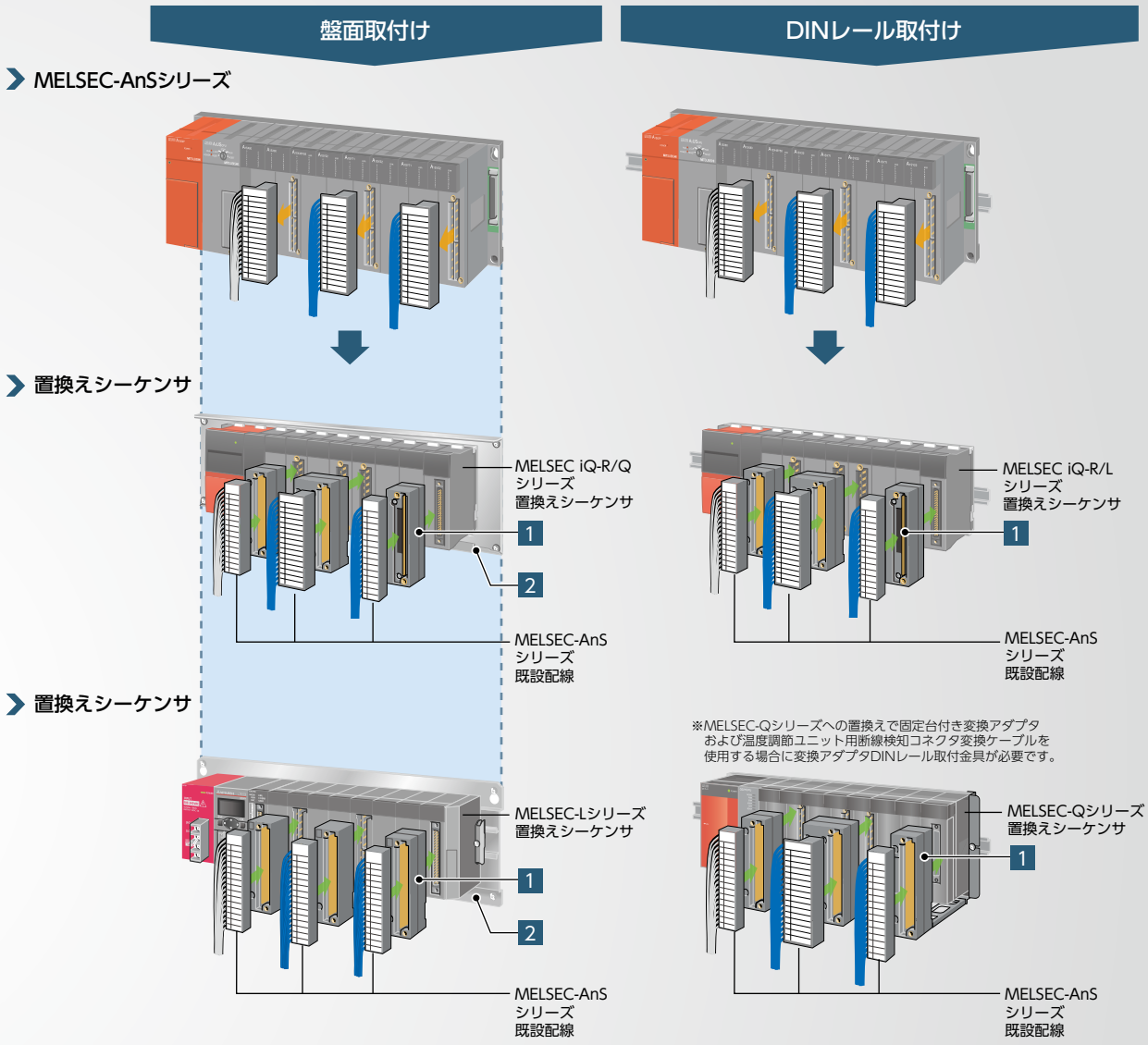
Qラージ入出力ユニット一覧

Aシリーズ形名	Qラージ入出力ユニット形名
AX11	QX11L
AX21	QX21L
AY10A	QY11AL
AY11A（EU）	
AY13（E、EU）	QY13L
AY23	QY23L
AY41（P）	QY51PL
AY51（-S1）	

MELSEC-AnS/QnASシリーズ

置換え対象

MELSEC-AnS/QnAS series → MELSEC iQ-R/Q/L series



製品構成

1 変換アダプタ

MELSEC-AnSシリーズ既設配線をMELSEC iQ-R/Q/Lシリーズ置換えシーケンサへつなぎ換えます。

2 ベースアダプタ

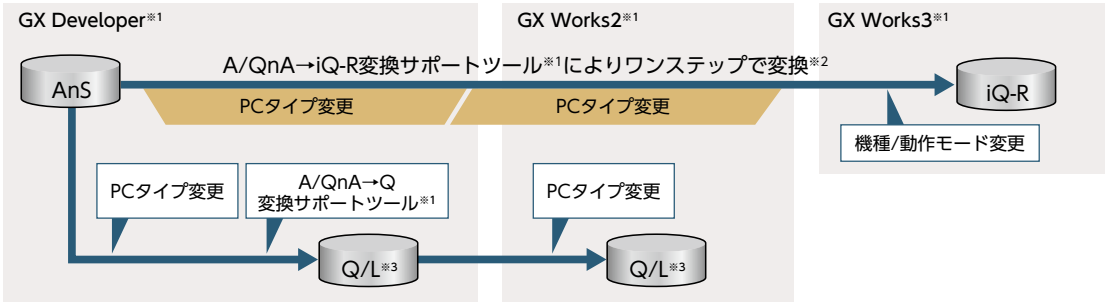
MELSEC iQ-R/Q シリーズ

MELSEC-L シリーズ

MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-R/Q/Lシリーズ置換えシーケンサのベースユニットが取付けできます。

AnS/QnAS iQ-R series P.42　AnS/QnAS Q series P.52　AnS/QnAS L series P.66

プログラム変換の流れ

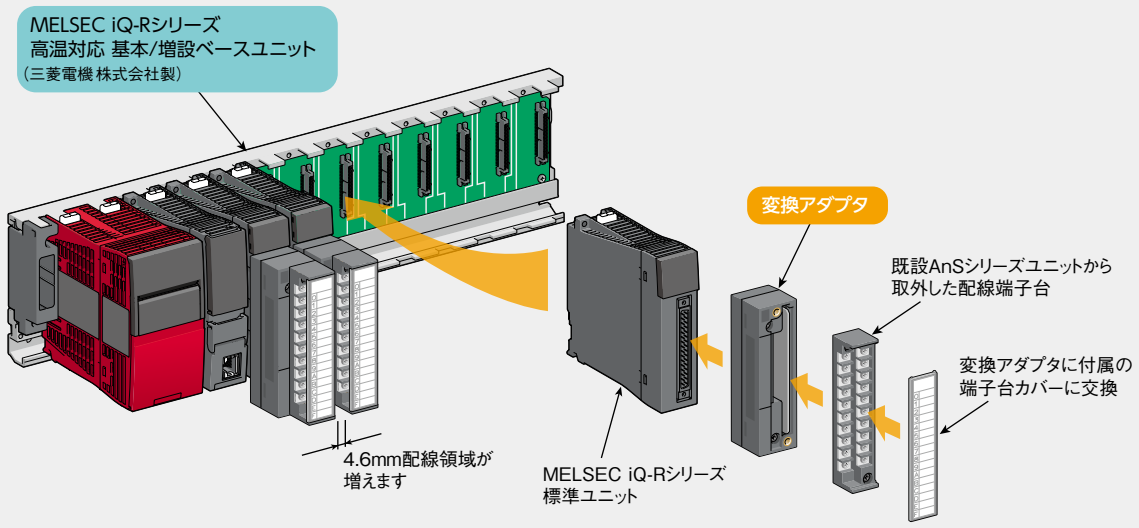


※1：三菱電機株式会社製
※2：GX Developer、GX Works2、GX Works3がインストールされている必要があります。
※3：GX DeveloperはMELSEC-Q/Lシリーズへの置換えにおいてCPUタイプすべてに対応していません。

配線干渉・配線領域を考慮した置換え方法

MELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 高温対応ベースユニットの活用

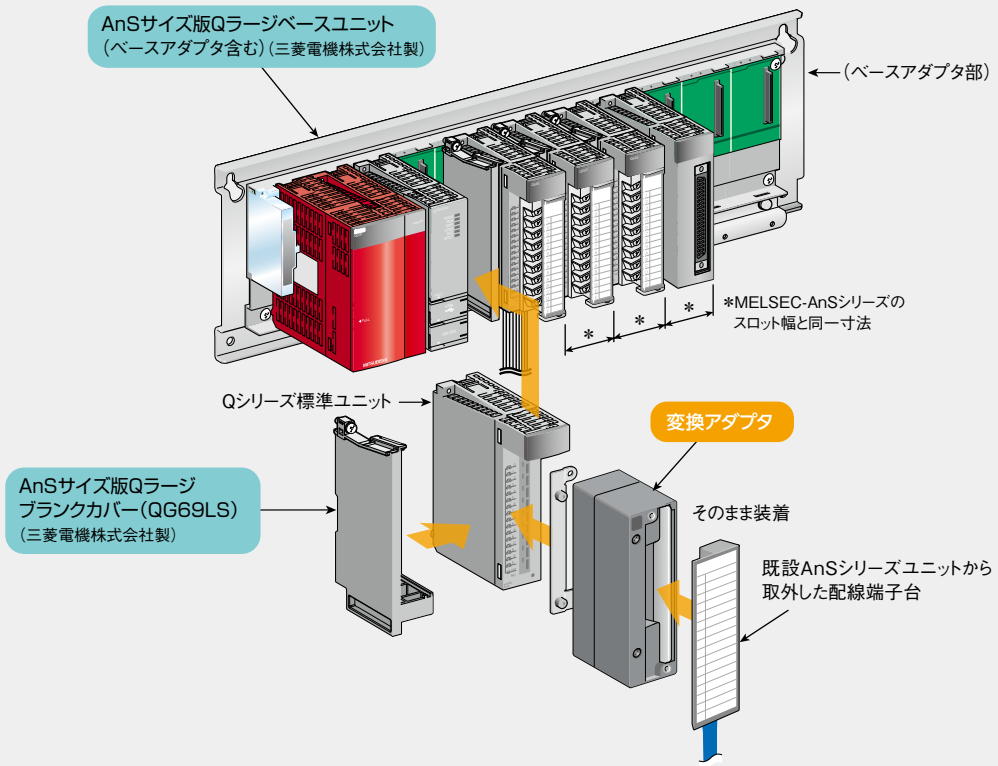


●対応するベースアダプタはありません。
●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

MELSEC iQ-Rシリーズ 高温対応ベースユニット形名
R310B-HT
R610B-HT

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 AnS サイズ版 Q ラージベースユニットの活用



AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

盤面取付タイプ

AnSシリーズ 形名	Qラージベースユニット 形名
A1S35B	Q35BLS
A1S38B	Q38BLS
A1S65B	Q65BLS
A1S68B	Q68BLS
A1S55B	Q55BLS

DINレール取付タイプ

AnSシリーズ 形名	Qラージベースユニット 形名
A1S35B	Q35BLS-D
A1S38B	Q38BLS-D
A1S65B	Q65BLS-D
A1S68B	Q68BLS-D
A1S55B	Q55BLS-D

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

Qラージブランクカバー 形名
QG69LS

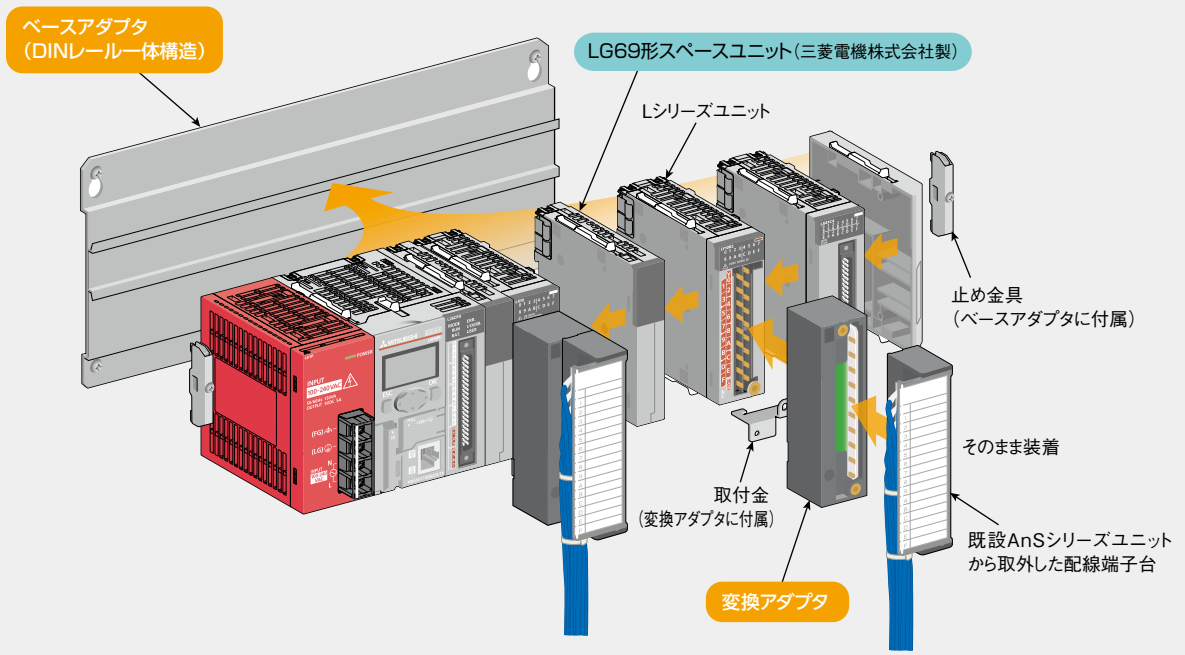
●AnSサイズ版Qラージベースユニット(盤面取付タイプ)の取付寸法は、MELSEC-AnSシリーズと同一寸法のため、取付穴加工は不要です。

●AnSサイズ版Qラージベースユニットには、固定台付き変換アダプタの固定台を固定するネジ穴が設けられています。

●2スロットタイプ変換アダプタおよび一部の1スロットタイプ変換アダプタは使用できません。P.52～P.55の機種一覧表によりご確認ください。

MELSEC-Lシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 LG69 形スペースユニットの活用



●LG69形スペースユニットを使用する場合、装着台数に制約があります。詳しくは三菱電機株式会社発行「MELSEC-L CPUユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」を参照してください。

●システム構成により横幅寸法が大きくなり、ベースアダプタを使用できない場合があります。P.68の「置換え時の取付け方法の選定」によりご確認ください。

他社PLCからの置換え

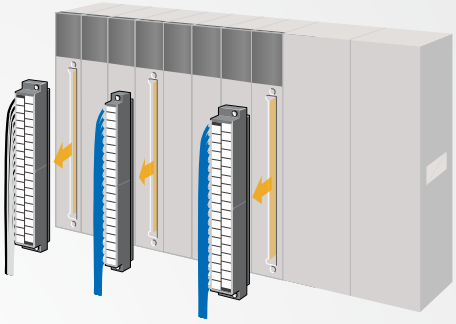
置換え対象

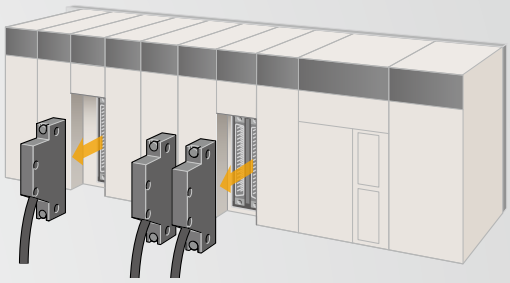
SYSMAC C series（オムロン株式会社）	MELSEC iQ-R/Q series
ニューサテライト JW series（シャープ株式会社）	
MEMOCON-SC GL series（株式会社安川電機）	
TOYOPUC - PC10G/3J series（株式会社ジェイテクト）	MELSEC iQ-R series

大形タイプ

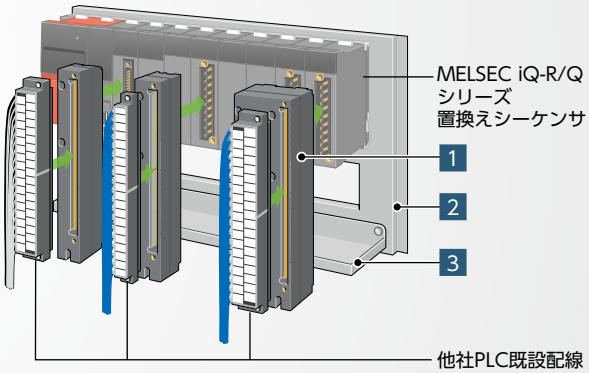
小形タイプ

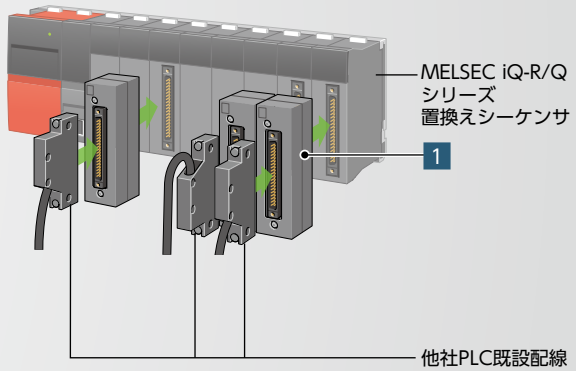
他社PLC





置換えシーケンサ





製品構成

1 変換アダプタ

他社PLC既設配線をMELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサへつなぎ換えます。

2 ベースアダプタ

MELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサのベースユニットおよび3変換アダプタ固定台が取り付けできます。SYSMAC Cシリーズの置換えでは既設ベースユニットの取付け穴を利用できます。

3 変換アダプタ固定台

変換アダプタの下部を固定します。

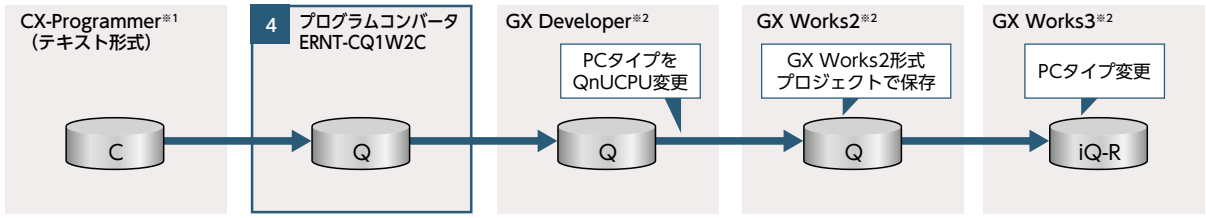
4 プログラムコンバータ
（SYSMAC Cシリーズ）

C1000H　C200HE
C2000H　C200HG
C200H　CS1
C200HS　CJ1
C200HX

MELSEC-Qシリーズプログラム（GX Developerプロジェクト）に変換します。

SYSMAC C series iQ-R/Q series P.98
MEMOCON-SC GL series iQ-R/Q series P.216
ニューサテライト JW series iQ-R/Q series P.168
TOYOPUC-PC10G/3J series iQ-R series P.270

プログラム変換の流れ（オムロン SYSMAC C シリーズのみ）



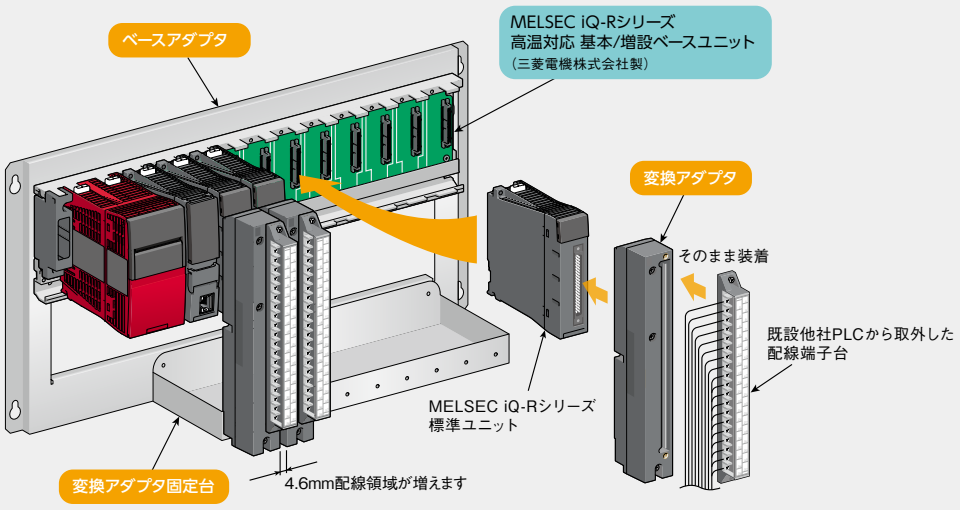
※1：オムロン株式会社製
※2：三菱電機株式会社製

配線干渉・配線領域を考慮した置換え方法

MELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 高温対応ベースユニットの活用

大形タイプ



●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

●JW、GLシリーズもMELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ置換え用と同じベースアダプタと変換アダプタ固定台を使用すれば、高温対応ベースユニットを使用できます。
（ただし、既設のベースユニットによっては、取付穴を新たに2つ追加加工する必要があります。）

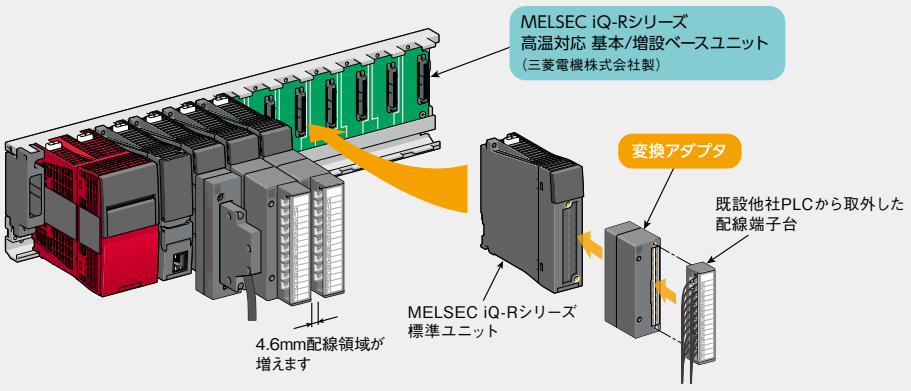
SYSMAC Cシリーズ置換え用

SYSMAC Cシリーズ 形名	MELSEC iQ-Rシリーズ 高温対応ベースユニット形名	ベースアダプタ 形名	変換アダプタ 固定台形名
C500-BC081/082/091、C2000-BC061	R310B-HT	ERNT-CQB081N	ERNT-1CR10F
C500-BI081、C2000-BI083	R610B-HT		

ニューサテライトJWシリーズ、MEMOCON-SC GLシリーズ置換え

MELSEC iQ-Rシリーズ 高温対応ベースユニット形名	ベースアダプタ 形名	変換アダプタ 固定台形名
R310B-HT	ERNT-AQB38N	ERNT-1AR10F3
R610B-HT	ERNT-AQB68N	ERNT-1AR10F6

小形タイプ



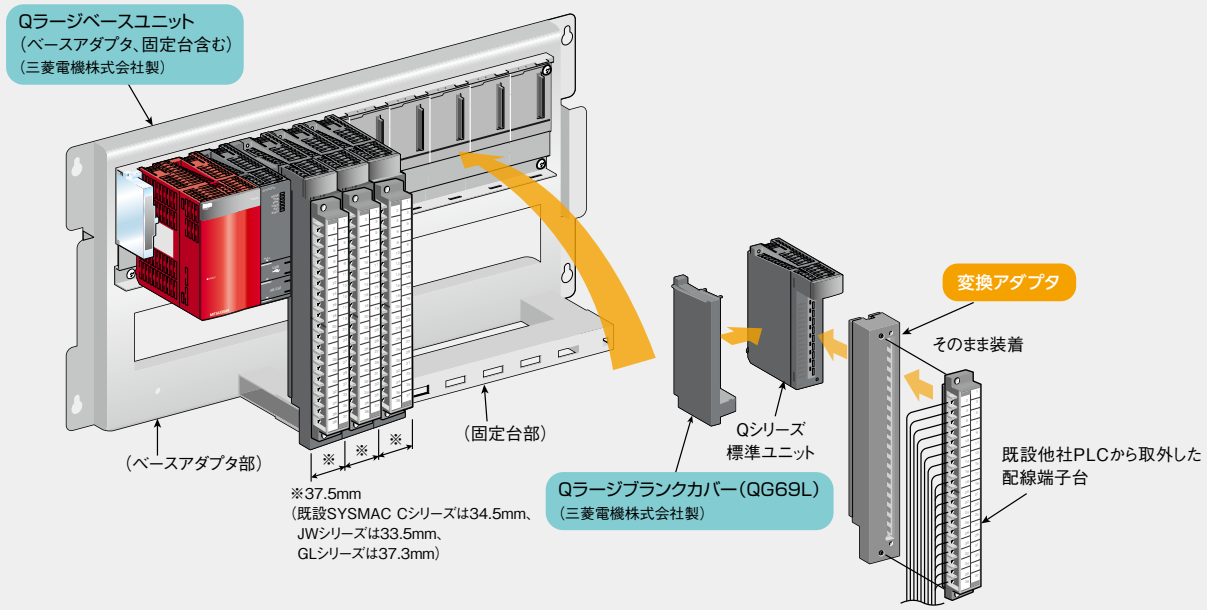
MELSEC iQ-Rシリーズ高温対応ベースユニット形名
R310B-HT
R610B-HT

※既設PLCから取外した配線端子台を活用できる変換アダプタのラインアップはJWシリーズからの置換え用のみとなります。

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 Q ラージベースユニットの活用

大形タイプ



●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

Qラージベースユニット一覧

形　名	内　容	スロット数
Q38BL	基本ベースユニット	8
Q35BL		5
Q68BL	増設ベースユニット（電源あり）	8
Q65BL		5
Q55BL	増設ベースユニット（電源なし）	5

Qラージブランクカバー

形　名	内　容
QG69L	ユニット間の隙間調整用備品

Qラージ入出力ユニット一覧

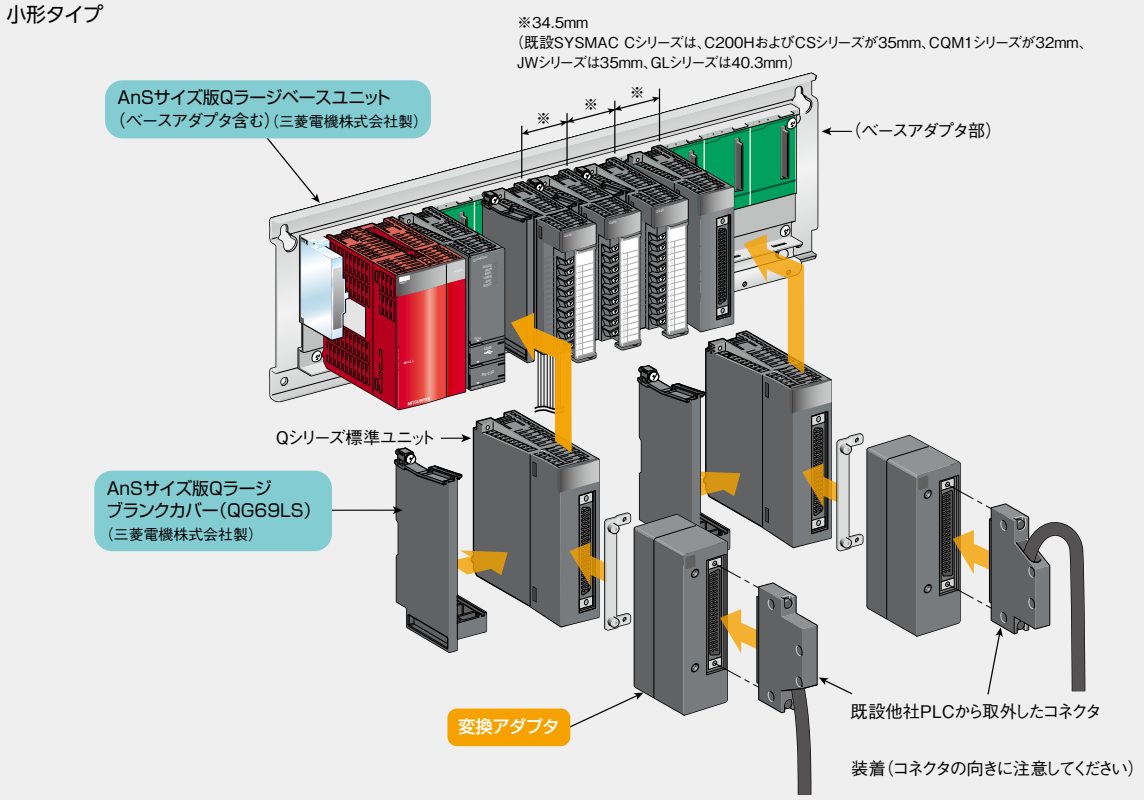
形　名
QX11L
QX21L
QY11AL
QY13L
QY23L
QY51PL

別途、端子台を準備いただく必要があります。

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 AnS サイズ版 Q ラージベースユニットの活用

小形タイプ



AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

形　名		内　容	スロット数
盤面取付タイプ	DINレール取付タイプ		
Q38BLS	Q38BLS-D	基本ベースユニット	8
Q35BLS	Q35BLS-D		5
Q68BLS	Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	8
Q65BLS	Q65BLS-D		5
Q55BLS	Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	5

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

形　名	内　容
QG69LS	ユニット間の隙間調整用備品

その他PLCからの置換え（ユニバーサル変換アダプタ）

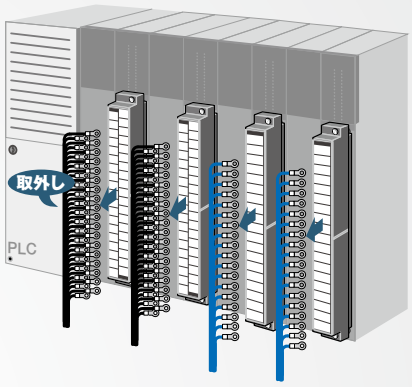
置換え対象

オムロン株式会社
シャープ株式会社
株式会社安川電機
富士電機株式会社　など

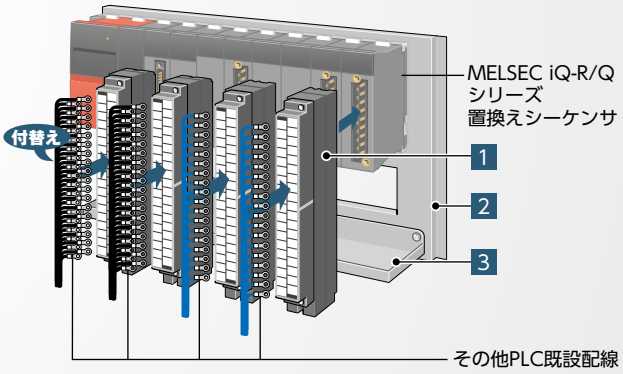
→ MELSEC iQ-R/Q series

大形タイプ

その他PLC

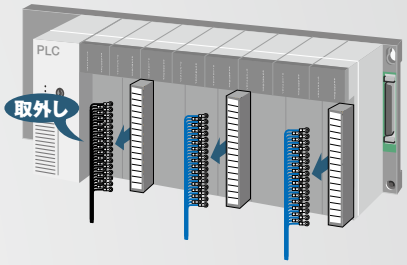


置換えシーケンサ

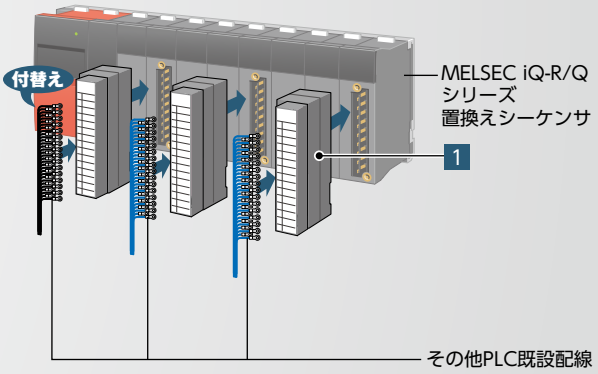


小形タイプ

その他PLC



置換えシーケンサ



製品構成

1 変換アダプタ

その他PLC既設配線をMELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサへつなぎ換えます。

2 ベースアダプタ

MELSEC iQ-R/Qシリーズ置換えシーケンサのベースユニットおよび3変換アダプタ固定台が取付けできます。

3 変換アダプタ固定台

変換アダプタの下部を固定します。(必須)

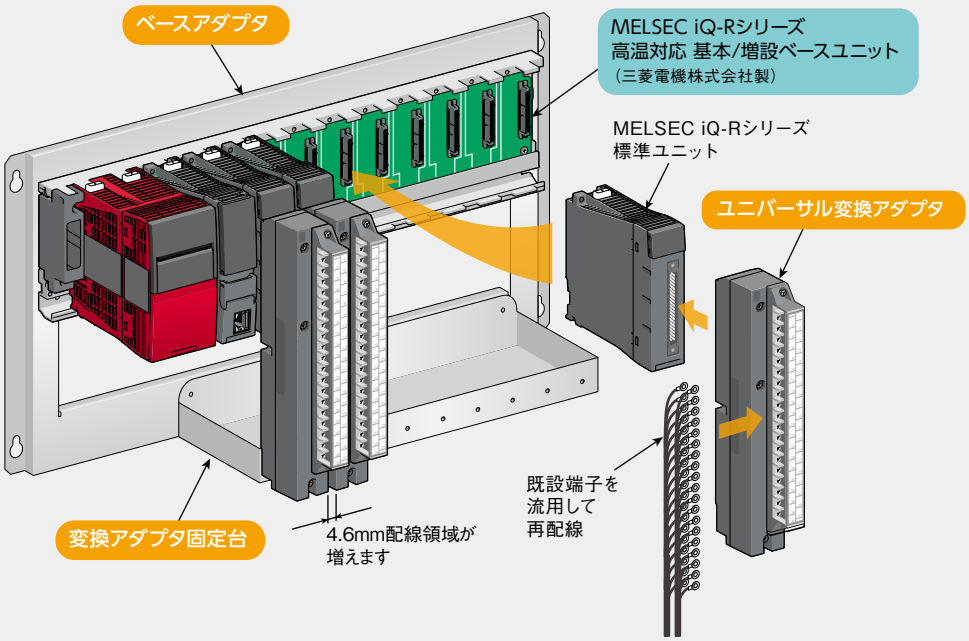
その他 PLC iQ-R series P.272 大形 P.283 小形 P.290 その他 PLC Q series P.294 大形 P.306 小形 P.315

配線干渉・配線領域を考慮した置換え方法

MELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

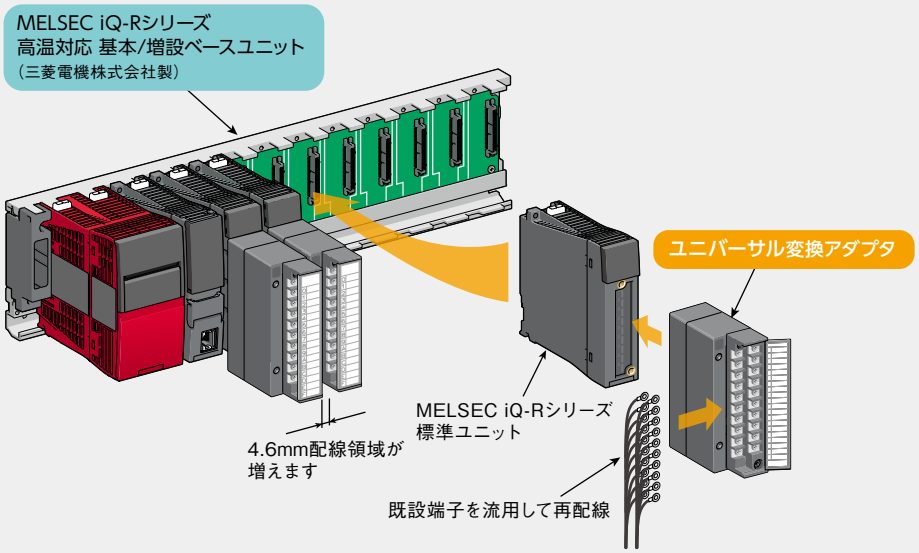
三菱電機株式会社製 高温対応ベースユニットの活用

大形タイプ



MELSEC iQ-Rシリーズ高温対応ベースユニット形名	ベースアダプタ形名	変換アダプタ固定台形名
R310B-HT	ERNT-AQB38N	ERNT-1AR10F3
R610B-HT	ERNT-AQB68N	ERNT-1AR10F6

小形タイプ

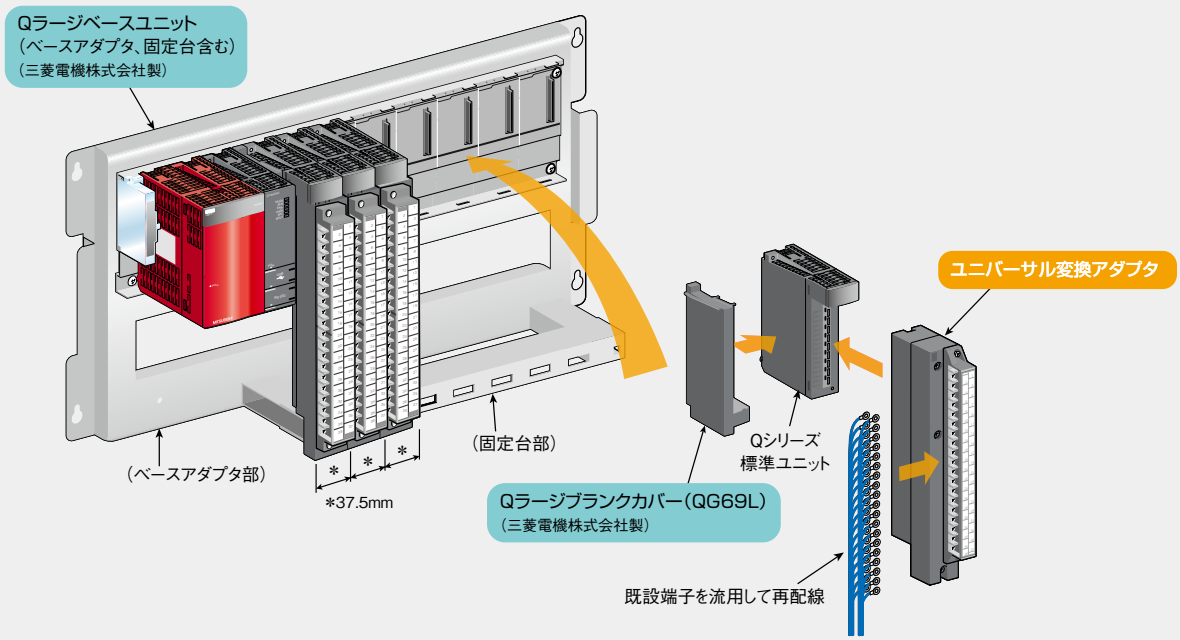


MELSEC iQ-Rシリーズ高温対応ベースユニット形名
R310B-HT
R610B-HT

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 Q ラージベースユニットの活用

大形タイプ



Qラージベースユニット一覧

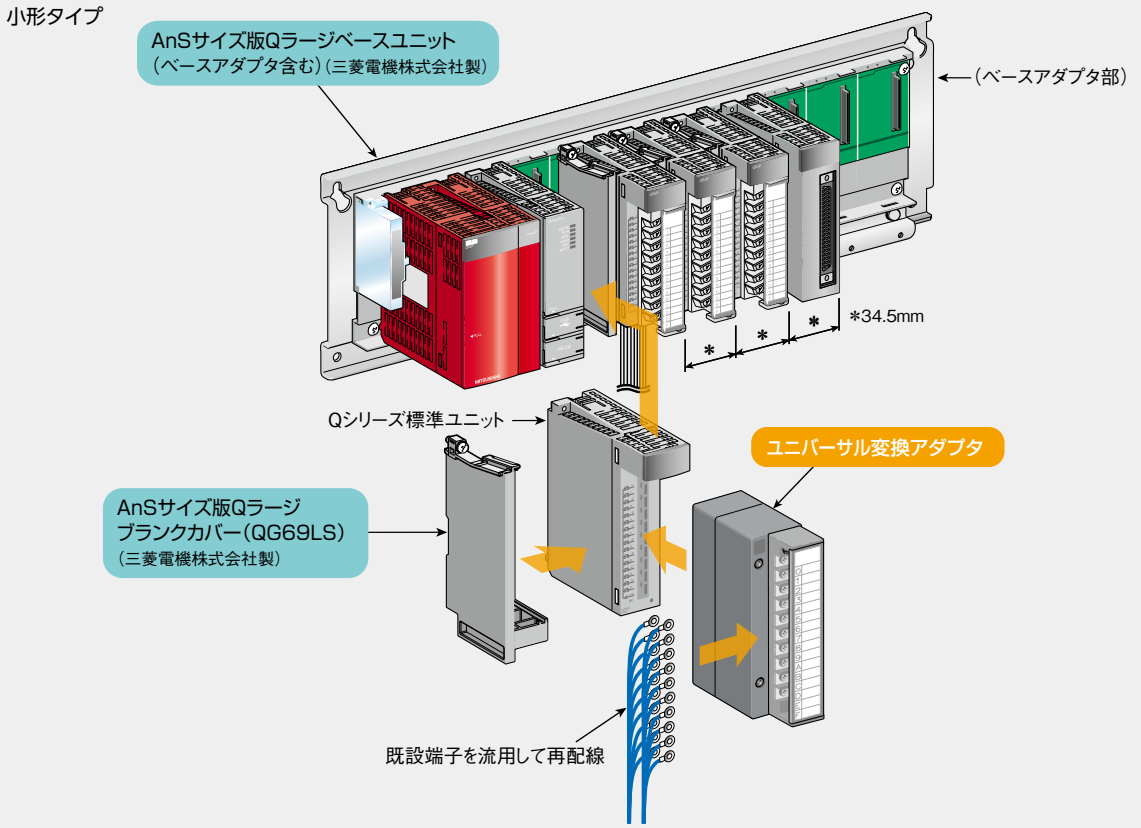
形　名	内　容	スロット数
Q38BL	基本ベースユニット	8
Q35BL		5
Q68BL	増設ベースユニット（電源あり）	8
Q65BL		5
Q55BL	増設ベースユニット（電源なし）	5

Qラージブランクカバー

形　名	内　容
QG69L	ユニット間の隙間調整用備品

MELSEC-Qシリーズへの置換え

三菱電機株式会社製 AnS サイズ版 Q ラージベースユニットの活用



AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

形　名		内　容	スロット数
盤面取付タイプ	DINレール取付タイプ		
Q38BLS	Q38BLS-D	基本ベースユニット	8
Q35BLS	Q35BLS-D		5
Q68BLS	Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	8
Q65BLS	Q65BLS-D		5
Q55BLS	Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	5

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

形　名	内　容
QG69LS	ユニット間の隙間調整用備品

MELSEC-A/QnAシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	AX10、AX10-UL	RX10	—	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AX40、AX40-UL	RX40C7、RX70C4	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AX70、AX70-UL	RX40C7、RX70C4	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AX80、AX80-UL	RX40C7、RX70C4	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AX80E	RX40C7、RX70C4	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AI61	RX40C7、RX70C4	※7	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AI61-S1	RX40C7	※7	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY10	RY10R2	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY11、AY11-UL	RY10R2	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY11E	RY10R2	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY11EEU	RY10R2	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY22	RY20S6	※1	ERNT-1AR10XY	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY40、AY40-UL	RY40NT5P	※1	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY40P	RY40NT5P	※1	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY50、AY50-UL	RY40NT5P	※1	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY70、AY70-UL	RY40NT5P	※1、3	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY80	RY40PT5P	※1	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
出力	AY80EP	RY40PT5P	※1	ERNT-1AR40Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
入力	AX31	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※2	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX41、AX41-UL	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX41-S1	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX81	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX81-S1	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX81-S3	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX31-S1	RX41C4、RX41C6HS	—	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX71	RX41C4、RX41C6HS、RX61C6HS、RX71C4	※1	ERNT-1AR41X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
出力	AY41、AY41-UL	RY41NT2P	※1、4	ERNT-1AR41Y	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
出力	AY41P	RY41NT2P	※1、4	ERNT-1AR41Y	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
出力	AY71	RY41NT2P	※1、3、4	ERNT-1AR41Y	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
出力	AY81	RY41PT1P	※1、5、6	ERNT-1AR41Y	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
出力	AY81EP	RY41PT1P	※1、5、6	ERNT-1AR41Y	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
入力	AX82	RX41C4×2台、RX41C6HS×2台、RX71C4×2台	※8、9	ERNT-ASLCXY81×2台	D-Subコネクタ（37P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
出力	AY82EP	RY41PT1P×2台	※8、9	ERNT-ASLCXY81×2台	D-Subコネクタ（37P）×2	コネクタ（40P）×2	64点

※1：1コモンあたりの点数が変わるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。DC24V、8点/コモンで使用している場合は、ユニバーサル変換アダプタ（P.282参照）を使用してRX40PC6HまたはRX40NC6Hへの置換えを検討してください。
※2：定格入力電圧をAC12VまたはAC24Vで使用している場合は、DC5V、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。
※3：定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。
※4：16点/2コモンで使用している場合は、ERNT-1AR51Yを使用してRY40NT5P 2台への置換えを検討してください。
※5：16点/2コモンで使用している場合は、ERNT-1AR51Yを使用してRY40PT5P 2台への置換えを検討してください。
※6：最大負荷電流が不足する場合は、ERNT-1AR51Yを使用してRY40PT5P 2台への置換えを検討してください。
※7：三菱電機株式会社製エンジニアリングソフトウェアGX Works3のユニットパラメータで、割込動作設定を実施いただく必要があります。
※8：置換えの際、MELSEC iQ-Rシリーズユニットと変換アダプタが2台ずつ必要です。
※9：MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。

2スロットタイプ（高温対応ベースユニット R310B-HT/R610B-HTには使用できません）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名		注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	AX11	RX10	×2台	※10	ERNT-1AR11X13Y	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
	AX11EU							
出力	AY13	RY10R2	×2台	※10、11				
	AY13E							
	AY13EU							
	AY23	RY20S6	×2台					
	AY10A、AY10A-UL	RY18R2A	×2台	※10	ERNT-1AR10AY			
	AY11A							
	AY11AEU							
	AY40A			※10、12				
	AY51、AY51-UL	RY40NT5P	×2台	※10	ERNT-1AR51Y			
	AY51-S1							
	AY41、AY41-UL							
	AY41P							
	AY71			※10、13				
	AY81	RY40PT5P	×2台	※10				
	AY81EP							

※10：2スロットタイプを使用した置換えのため、MELSEC iQ-Rシリーズユニットが2台ずつ必要です。
※11：1コモンあたりの点数が変わるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※12：出力形式がトランジスタ出力から接点出力に変更となります。
※13：定格入力電圧をDC5Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。

既設配線をそのまま使用できるユニット（変換アダプタ不要）

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズ 形名	仕様	点数	置換え後MELSEC iQ-Rシリーズ 形名	仕様	点数	必要台数
入力	AX42 AX42-S1	DC12/24V、シンク	64点	RX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
				RX41C6HS		32点	2台
				RX72C4	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
出力	AY42 AY42-S1 AY42-S3			RY42NT2P	DC12/24V、シンク		
	AY42-S4				DC12/24V、シンク（ユニットへの外部供給電源接続追加が必要）		
	AY72	DC5/12V、シンク		RY41NT2H	DC5/12/24V、シンク	32点	2台
入出力混合	AH42	入力：DC12/24V、シンク	32点	RH42C4NT2P（入力24V時）	入力：DC24V、プラス/マイナスコモン共用（DC12V不可）		1台
		出力：DC12/24V、シンク			出力：DC12/24V、シンク		

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.278

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタを活用いただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	MELSEC-Aシリーズ 形名	仕様	点数	MELSEC iQ-Rシリーズ 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	AX20、AX20-UL	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	AX21、AX21EU	AC200-240V	32点				4台	
	AX40、AX40-UL	DC12/24V、シンク、8点/コモン	16点	RX40PC6H	DC24V、プラスコモン、8点/コモン	16点	1台	対応
	AX50	DC48V、シンク		MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				—
	AX50-S1	DC48V、シンク/ソース						
	AX60	DC100/110/125V、シンク						
	AX60-S1	DC100/110/125V、シンク/ソース						
	AX80、AX80-UL	DC12/24V、ソース、8点/コモン		RX40NC6H	DC24V、マイナスコモン、8点/コモン	16点	1台	対応
	AX80E							
	AX81-S2	DC48/60V、ソース	32点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				—
	AX81B	DC24V、シンク/ソース、断線検出機能						
出力	AY15EU	AC240V/DC24V、2A/点、接点	24点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	2台	対応
	AY20EU	AC100-240V、トライアック	16点	RY20S6	AC100-240V、トライアック		1台	
	AY60	DC24V（12/48V）、2A/点、シンク		MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				—
	AY60E	DC24V（12/48V）、2A/点、ソース						
	AY60EP	DC12/24V、2A/点、ソース						
	AY60S、AY60S-UL	DC24/48V（12V）、2A/点、シンク						
入出力混合	A42XY	ダイナミックスキャン	入力64点 出力64点					

置換え後のユニットがない場合 省配線・省工数機器を活用したリニューアル ▶P.74

置換え検討のMELSECシリーズにラインアップされていないユニットや、変換アダプタ未対応ユニットの置換えを掲載しております。

例：AC200V対応ユニットを使っているが、置換え検討シリーズでAC200V対応ユニットがラインアップされていない。
そのようなときは、当社製 デジタル信号変換器（ターミナルユニット）のAC200V入力タイプを活用することで、置換えを実現できます。

アナログユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	A68AD	(電圧入力)	R60ADV8	※14	ERNT-1AR68AD	端子台(38点)	端子台(18点)	8チャンネル
	A68AD	(電流入力)	R60ADI8					
	A68AD-S2	(電圧入力)	R60ADV8					
	A68AD-S2	(電流入力)	R60ADI8					
	A68ADN	(電圧入力)	R60ADV8	※14	ERNT-1AR68AN			
	A68ADN	(電流入力)	R60ADI8	※14、15				
出力	A62DA		R60DA4	※16、17	ERNT-AQT62DA	端子台(20点)		2チャンネル
	A62DA-S1							
	A68DAV		R60DAV8	※17	ERNT-AQT68DA	端子台(38点)		8チャンネル
	A68DAI		R60DAI8					
	A68DAI-S1							

※14: R60ADV8、R60ADI8は、1ユニットで電圧入力と電流入力の混在使用ができません。
※15: マイナス電流は入力できません。
※16: R60DA4のCH3、4は使用できません。(変換アダプタ内で未接続となります。)
※17: MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。

2スロットタイプ(高温対応ベースユニット R310B-HT/R610B-HTには使用できません)

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名		注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	A616AD	(電圧入力)	R60ADV8	×2台	※18、19	ERNT-1AR616AD	端子台(38点)	端子台(18点)×2	16チャンネル
	A616AD	(電流入力)	R60ADI8	×2台	※18、19、20				
出力	A616DAV		R60DAV8	×2台	※18	ERNT-1AR616DA			
	A616DAI		R60DAI8	×2台					

※18: 2スロットタイプを使用した置換えのため、MELSEC iQ-Rシリーズユニットが2台ずつ必要です。
※19: R60ADV8、R60ADI8は、1ユニットで電圧/電流の混在入力できません。既設ユニットのCH0～7とCH8～Fを電圧/電流の混在入力で使用している場合は、本製品を使用できません。
※20: マイナス電流は入力できません。

高速カウンタユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	AD61	RD62P2	※21	ERNT-1AR61D	端子台(38点)	コネクタ(40P)	2チャンネル
	AD61-S1						

※21: チャンネル1側の外部電源とチャンネル2側の外部電源を別電源で使用している場合は、同一電源に変更する必要があります。

ベースアダプタ

基本/増設	置換え前MELSEC-Aシリーズ ベースユニット形名	置換え後MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名	取付け可能 変換アダプタ固定台形名
基本	A38B、A38B-UL、A38HB A38HBEU、A38B-E	R312B	※22	ERNT-AQB38N	ERNT-1AR12F
		R38B			ERNT-1AR8F
		R310B-HT			ERNT-1AR10F3
	A35B、A35B-UL、A35B-E	R38B		ERNT-AQB35N	ERNT-1AR8F
		R35B			ERNT-1AR5F
	A32B、A32B-UL、A32B-E	R33B		ERNT-AQB32N	
増設	A68B、A68B-UL	R612B		ERNT-AQB68N	ERNT-1AR12F
		R68B			ERNT-1AR8F
		R610B-HT			ERNT-1AR10F6
	A58B、A58B-UL	R68B	※22、23	ERNT-AQB58N	ERNT-1AR8F
	A65B、A65B-UL	R68B	※22	ERNT-AQB65N	
		R65B			ERNT-1AR5F
	A55B、A55B-UL	R65B	※22、23	ERNT-AQB55N	

※22:ERNT-AQB**(形名の末尾に"N"がない製品)は使用できませんので、ご注意ください。
※23:MELSEC iQ-Rシリーズに電源なしのベースユニットがないため、電源ありの増設ベースユニットを置換え対象としています。

変換アダプタ固定台

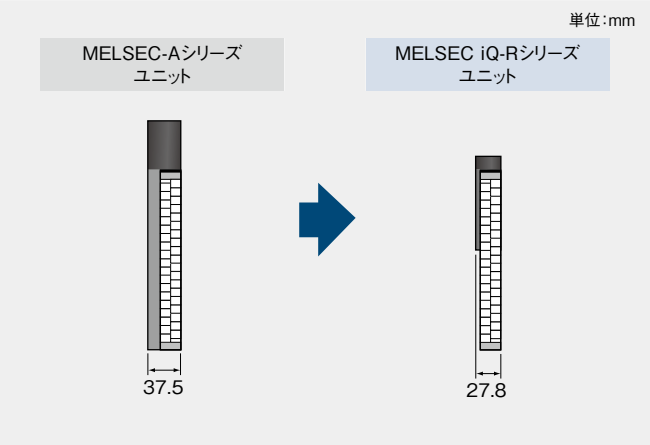
変換アダプタ固定台形名	内容		備考
ERNT-1AR12F	12スロット分変換アダプタ固定台	基本/増設ベースユニット用	変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。
ERNT-1AR8F	8スロット分変換アダプタ固定台		
ERNT-1AR5F	5スロット分変換アダプタ固定台		
ERNT-1AR10F3	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応 基本ベースユニット用	
ERNT-1AR10F6	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応 増設ベースユニット用	

ご使用上の注意点

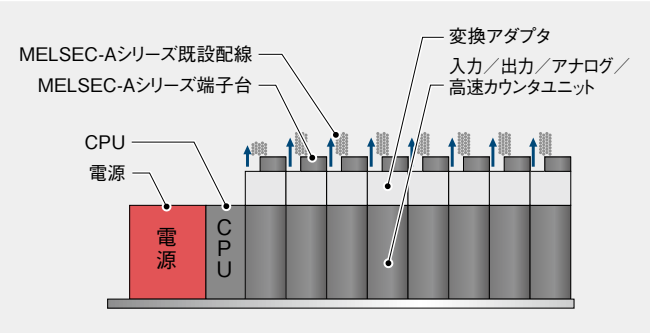
変換アダプタは、MELSEC-Aシリーズ大形ユニットからMELSEC iQ-Rシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
ご使用前にマニュアルをご確認ください。(当社Webサイトよりダウンロード可)
MELSEC-AシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ずMELSEC iQ-Rシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(37.5mm→27.8mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

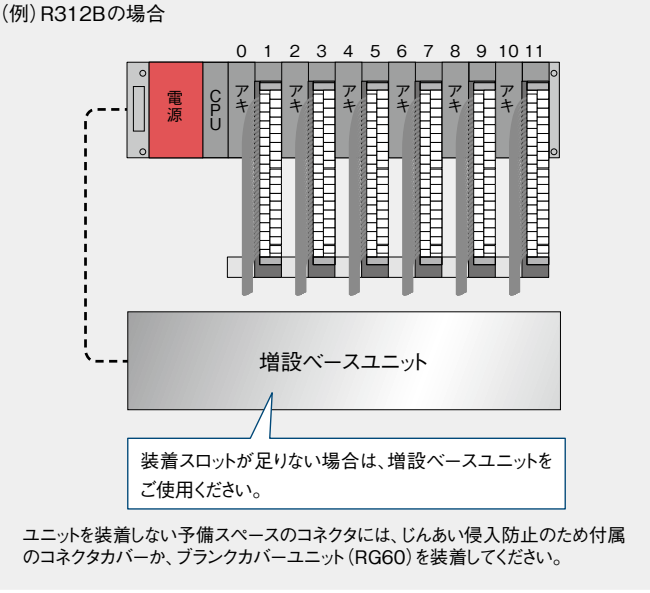


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい侵入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

(4) 上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.12
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

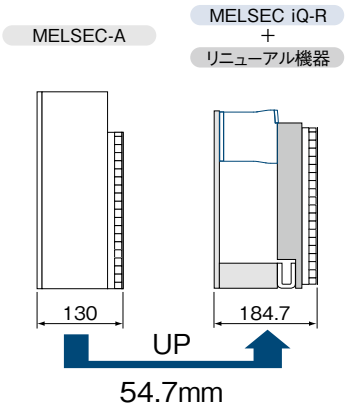
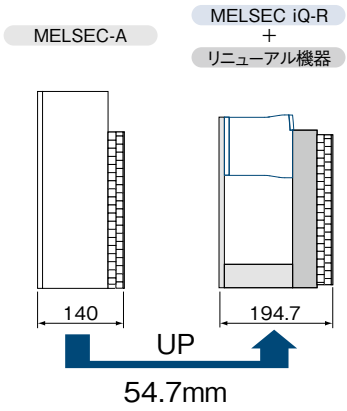
奥行き

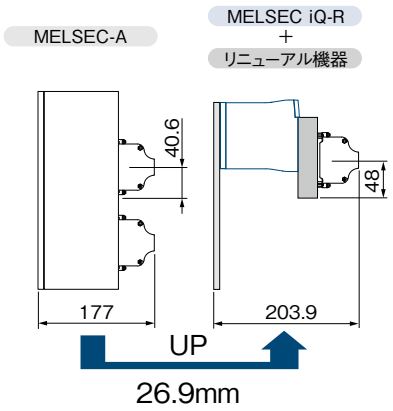
盤面からの奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。

MELSEC-Aシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタユニット ＋ 端子台/コネクタ

MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

MELSEC-A：MELSEC-Aシリーズ　MELSEC iQ-R：MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-1AR10XY ERNT-1AR40Y ERNT-1AR68AD ERNT-1AR68AN ERNT-AQT62DA	ERNT-1AR41X ERNT-1AR41Y ERNT-1AR61D ERNT-AQT68DA	ERNT-1AR11X13Y ERNT-1AR10AY ERNT-1AR51Y ERNT-1AR616AD ERNT-1AR616DA
奥行き寸法	184.7mm	194.7mm	
取付け図			

変換アダプタ	ERNT-ASLCXY81
奥行き寸法	203.9mm
取付け図	

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。

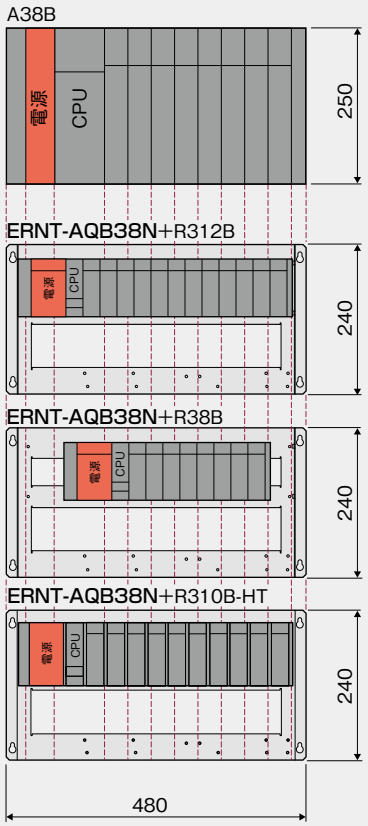
また、MELSEC-Aシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-Rシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-AシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

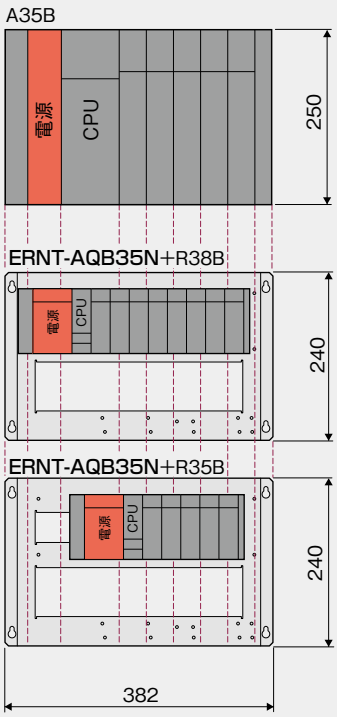
(1) A38B (-UL/-E) /A38HB (EU) →R312B、R38B、R310B-HT

単位:mm



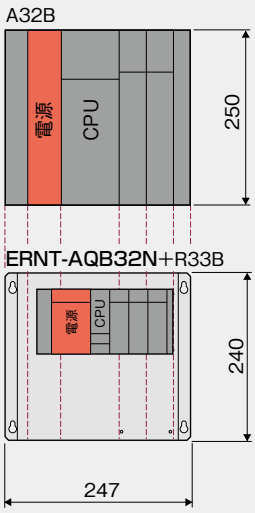
(2) A35B (-UL/-E) →R38B、R35B

単位:mm



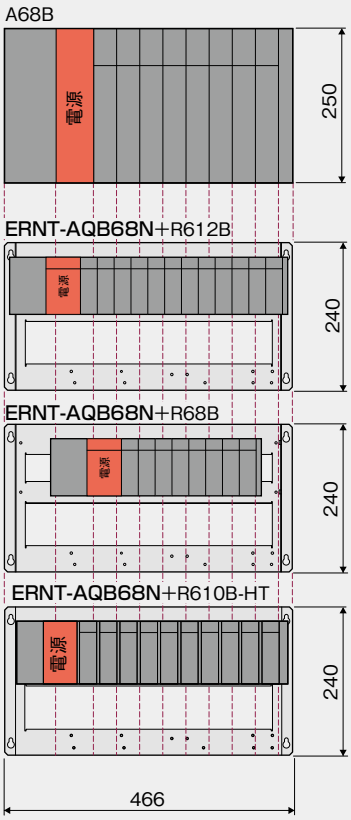
(3) A32B (-UL/-E) →R33B

単位:mm



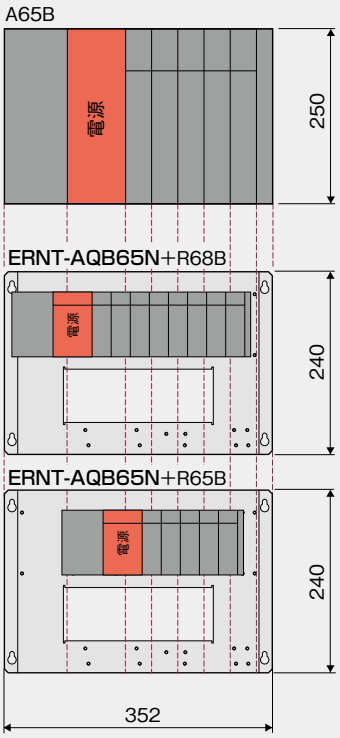
(4) A68B (-UL) →R612B、R68B、R610B-HT

単位:mm



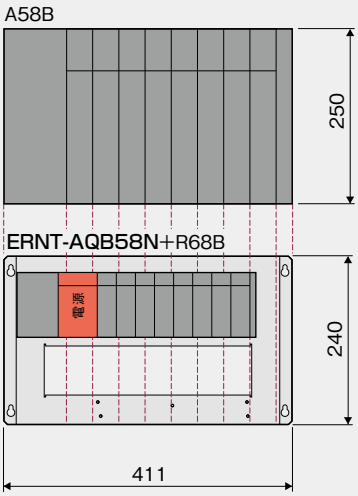
(5) A65B (-UL) →R68B、R65B

単位:mm



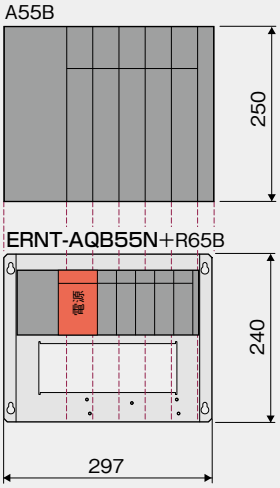
(6) A58B (-UL) →R68B

単位:mm



(7) A55B (-UL) →R65B

単位:mm



MEMO

MELSEC-A/QnAシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	AX10、AX10-UL	QX10	—	ERNT-AQTX10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	AX40、AX40-UL	QX40、QX70		ERNT-AQTX40			
		QX40-S1					
	AX70、AX70-UL	QX40、QX70					
	AX50	QX50					
	AX50-S1						
	AX70、AX70-UL、AX80、AX80-UL	QX80		ERNT-AQTX80			
	AX41、AX41-UL	QX41、QX41-S2、QX71	※1	ERNT-AQTX41	端子台（38点）	FCNコネクタ（40Pジャック）	32点
	AX31-S1	QX41、QX41-S2					
	AX41-S1	QX41-S1	—				
	AX71	QX71					
		QX81、QX81-S2		ERNT-AQTX81	端子台（38点）	D-Subコネクタ（37P）	
	AX81	QX81、QX81-S2	※1	ERNT-AQTX81			
	AX81-S1						
出力	AY10	QY10	—	ERNT-AQTY10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	AY11						
		QY22		ERNT-AQTY22			
	AY11-UL	QY10		ERNT-AQTY10			
	AY11E						
	AY11EEU						
	AY22	QY22		ERNT-AQTY22			
	AY40、AY40-UL	QY40P		ERNT-AQTY40			
	AY40P						
	AY70、AY70-UL	QY70					
	AY50、AY50-UL	QY50		ERNT-AQTY50			
	AY80	QY80		ERNT-AQTY80			
	AY41、AY41-UL	QY41P		ERNT-AQTY41	端子台（38点）	FCNコネクタ（40Pジャック）	32点
	AY41P						
	AY71	QY71					
	AY81	QY81P		ERNT-AQTY81	端子台（38点）	D-Subコネクタ（37P）	
	AY81EP						

※1：既設の製品と入力仕様（入力ディレーティングなど）が異なりますので、仕様をご確認のうえご使用ください。

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名		注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	AX11	QX10	×2台	—	ERNT-AQTX11	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
	AX11EU							
出力	AY10A、AY10A-UL	QY18A	×2台	—	ERNT-AQTY10A			16点
	AY11A							
	AY11AEU							
	AY13	QY10	×2台		ERNT-AQTY13			32点
	AY13E							
	AY13EU							
	AY23	QY22	×2台		ERNT-AQTY23			
	AY51、AY51-UL	QY50	×2台	※2	ERNT-AQTY51			
	AY51-S1							
	AY81	QY80	×2台					
	AY81EP							

※2：三菱電機株式会社ではAY81/AY81EPからの置換え機種をQY81Pとしていますが、定格負荷電流の差異によりAY81/AY81EP→QY80×2台へ置換える場合は、本変換アダプタを使用できます。

既設配線をそのまま使用できるユニット（変換アダプタ不要）

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズ 形名	仕様	点数	置換え後MELSEC-Qシリーズ 形名	仕様	点数	必要台数
入力	AX42	DC12/24V、シンク	64点	QX42	DC24V、プラスコモン	64点	1台
				QX72	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用		
				QX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点	2台
	AX42-S1			QX42-S1	DC24V、プラスコモン	64点	1台
	AX82	DC12/24V、ソース		QX81-S2	DC24V、マイナスコモン	32点	2台
出力	AY42	DC12/24V、シンク		QY42P	DC12/24V、シンク	64点	1台
	AY42-S1						
	AY42-S3						
	AY42-S4				DC12/24V、シンク（ユニットへの外部供給電源接続追加が必要）		
	AY72	DC5/12V、シンク		QY71	DC5/12V、シンク	32点	2台
	AY82EP	DC12/24V、ソース		QY81P	DC12/24V、ソース		
入出力混合	AH42	入力：DC12/24V、シンク 出力：DC12/24V、シンク	入力：32点 出力：32点	QH42P（入力24V時）	入力：DC24V（DC12V不可）、プラスコモン 出力：DC12/24V、シンク	入力：32点 出力：32点	1台
				QX41Y41P（入力24V時）			

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.300

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタを活用いただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズ入力/出力ユニット形名 形名	仕様	点数	置換え後MELSEC-Qシリーズ入力/出力ユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	AX20（-UL）	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	AX21（EU）		32点				4台	
	AX80	DC12/24V ソースタイプ	16点	QX70	DC5V/12V シンク/ソースタイプ	16点	1台	
	AX80E			QX80H	DC24V ソースタイプ			
	AX81		32点	QX71	DC5V/12V シンク/ソースタイプ	32点		
	AX81-S1	DC12/24V シンク/ソースタイプ						
	AX81-S3	DC12/24V ソースタイプ		QX82-S1	DC24V ソースタイプ	64点		
	AX82		64点	QX72	DC5V/12V シンク/ソースタイプ			−
				QX82	DC24V ソースタイプ			
	AX31	DC12/24V AC12/24V	32点	QX41	DC24V	32点		対応
				QX71	DC12V			
出力	AY20EU	AC100-240V	16点	QY22	AC100-240V	16点		
	AY40A	DC12/24V 0.3A 独立		QY68A	DC5-24V 2A 独立	8点	2台	
	AY60	DC24V/（12/48V）2A						
	AY60E							
	AY60EP	DC12/24V 2A						
	AY60S（-UL）	DC24/48V/（12V）2A						
	AY15EU	AC240V 2A	24点	QY10	AC240V 2A	16点		
	AY82EP	DC12/24V ソースタイプ	64点	QY82P	DC12-24V ソースタイプ	64点	1台	−
入力	AX60（-S1）	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。						
	AX81-S2							
	AX81B							
複合入出力	A42XY							

置換え後のユニットがない場合 省配線・省工数機器を活用したリニューアル ▶P.80

置換え検討のMELSECシリーズにラインアップされていないユニットや、変換アダプタ未対応ユニットの置換えを掲載しております。

例：AC200V対応ユニットを使っているが、置換え検討シリーズでAC200V対応ユニットがラインアップされていない。
そのようなときは、当社製 デジタル信号変換器（ターミナルユニット）のAC200V入力タイプを活用することで、置換えを実現できます。

アナログユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	チャンネル数
入力	A68AD	（電圧入力）	Q68ADV	ERNT-AQT68AD	端子台（38点）	端子台（18点）	8チャンネル
	A68AD	（電流入力）	Q68ADI				
	A68AD-S2	（電圧入力）	Q68ADV				
	A68AD-S2	（電流入力）	Q68ADI				
	A68ADN	（電圧入力）	Q68ADV	ERNT-AQT68ADN			
	A68ADN	（電流入力）	Q68ADI				
出力	A62DA		Q62DAN	ERNT-AQT62DA	端子台（20点）		2チャンネル
	A62DA-S1						
	A68DAV		Q68DAVN	ERNT-AQT68DA	端子台（38点）		8チャンネル
	A68DAI		Q68DAIN				
	A68DAI-S1						

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名		注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	チャンネル数
入力	A68AD	（電圧/電流混在入力）	Q64AD-GH	×2台	※3	ERNT-AQT68AD-GH	端子台（38点）	端子台（18点）×2	8チャンネル
	A68AD-S2	（電圧/電流混在入力）							
	A68ADN	（電圧/電流混在入力）							
	A616AD	（電圧入力）	Q68ADV	×2台	※4	ERNT-AQT616AD			16チャンネル
	A616AD	（電流入力）	Q68ADI	×2台					
出力	A616DAV		Q68DAVN	×2台	—	ERNT-AQT616DA			
	A616DAI		Q68DAIN	×2台					

※3：A68AD、A68AD-S2、A68ADNを電圧入力と電流入力の両方接続している場合、チャンネルごとに電圧入力と電流入力が切換えられるQ64AD-GHを2台使用して置換えます。
※4：8CHごとに電圧入力と電流入力を統一していれば、Q68ADVとQ68ADIを混在した置換えが可能です。

高速カウンタユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

入力/出力	置換え前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	チャンネル数
入力	AD61	QD62-H01	ERNT-AQTD61	端子台（38点）	コネクタ（40P）	2チャンネル
	AD61-S1	QD62-H02				

注）上記以外のインテリジェント機能ユニット（位置決めユニット、情報系ユニット、分散ユニットなど）は、変換アダプタに対応していないため再配線が必要です。

ベースアダプタ

置換え前MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換え後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名	取付け可能変換アダプタ固定台形名
A38B、A38HB、A38HBEU A38B-UL、A38B-E	Q312B	—	ERNT-AQB38N	ERNT-AQF12、ERNT-AQF8
	Q38B			ERNT-AQF8
A68B、A68B-UL	Q612B		ERNT-AQB68N	ERNT-AQF12、ERNT-AQF8
	Q68B			ERNT-AQF8が取付け可能。
A58B、A58B-UL	Q68B	※5	ERNT-AQB58N	
A35B、A35B-UL、A35B-E	Q38B	—	ERNT-AQB35N	ERNT-AQF8、ERNT-AQF5が取付け可能。
	Q35B			ERNT-AQF5が取付け可能。
A65B、A65B-UL	Q68B		ERNT-AQB65N	ERNT-AQF8、ERNT-AQF5が取付け可能。
	Q65B、Q55B			ERNT-AQF5が取付け可能。
A55B、A55B-UL	Q65B、Q55B		ERNT-AQB55N	
A32B、A32B-UL、A32B-E	Q33B		ERNT-AQB32N	ERNT-AQF3が取付け可能。
A62B	Q63B、Q52B		ERNT-AQB62	
A52B	Q52B		ERNT-AQB52	

※5：電源ユニットの装着が必要となるベースユニットへの置換え

変換アダプタ固定台

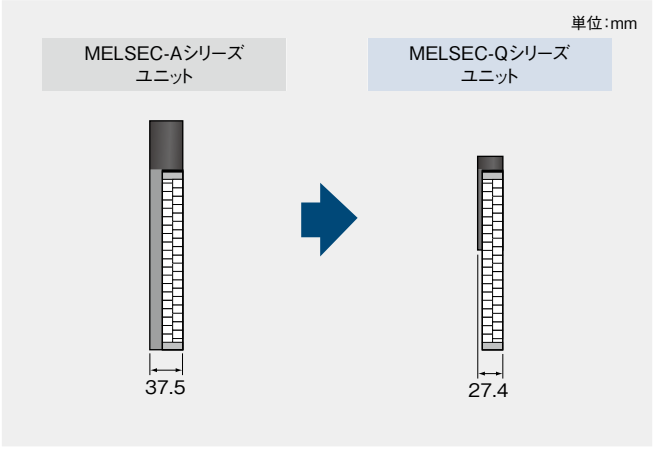
変換アダプタ固定台形名	内　容	備　考
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台	変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台	

ご使用上の注意点

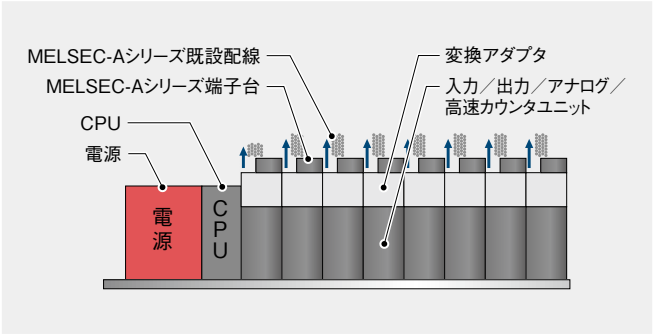
変換アダプタは、MELSEC-Aシリーズ大形ユニットからMELSEC-Qシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
ご使用前にマニュアルをご確認ください。（当社Webサイトよりダウンロード可）
MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-A/QnA（大形）シリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり（37.5mm→27.4mm）配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

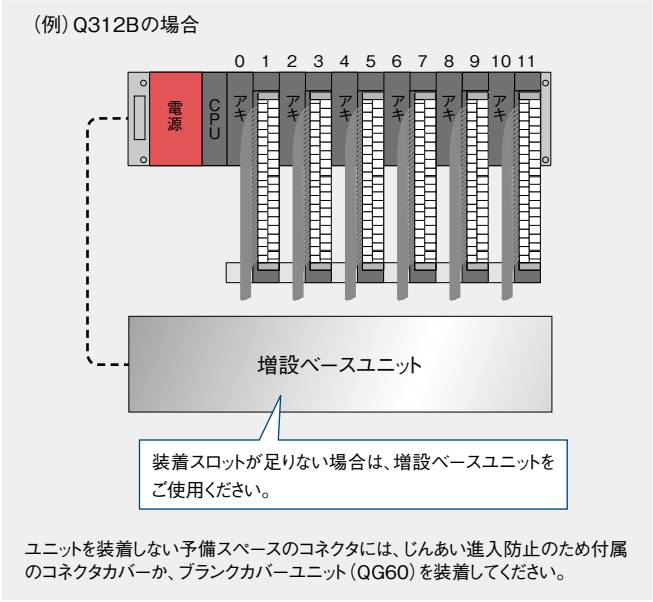


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) Q312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット（QG60）を装着してください。

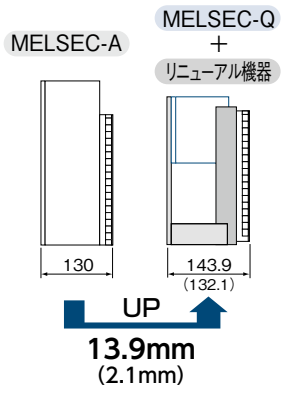
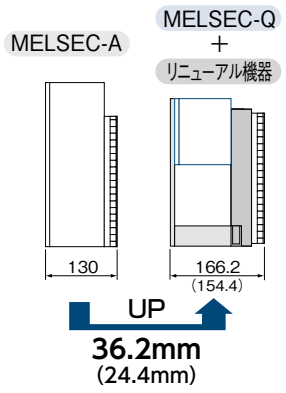
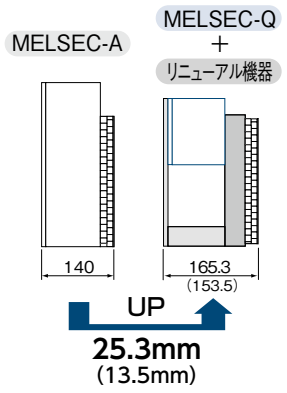
(4) 上記 (2)、(3) での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットの使用をご検討ください。→P.13
注）2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

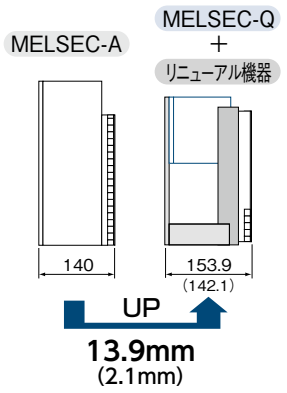
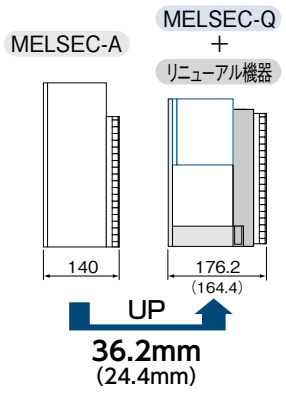
奥行き

盤面からの奥行き寸法は、以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

MELSEC-Aシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタユニット ＋ 端子台
MELSEC-Qシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台

MELSEC-A：MELSEC-Aシリーズ　MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-AQTX10 ERNT-AQTX40 ERNT-AQTX80 ERNT-AQTY10 ERNT-AQTY40 ERNT-AQTY50 ERNT-AQTY80	ERNT-AQTY22 ERNT-AQT62DA	ERNT-AQTX41 ERNT-AQTX81 ERNT-AQTY41 ERNT-AQTY81 ERNT-AQTD61
寸法 奥行き	143.9mm （132.1mm）	166.2mm （154.4mm）	165.3mm （153.5mm）
取付け図			

変換アダプタ	ERNT-AQTX11 ERNT-AQTY10A ERNT-AQTY13 ERNT-AQTY51 ERNT-AQT68AD ERNT-AQT68ADN ERNT-AQT616AD	ERNT-AQTY23 ERNT-AQT68AD-GH ERNT-AQT68DA ERNT-AQT616DA
寸法 奥行き	153.9mm （142.1mm）	176.2mm （164.4mm）
取付け図		

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

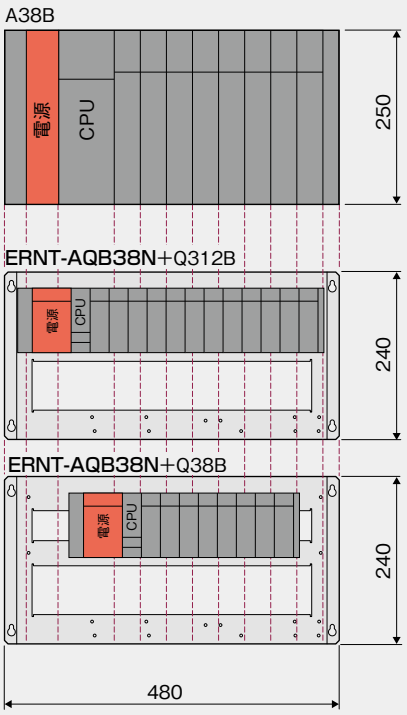
変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。
また、MELSEC-Aシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

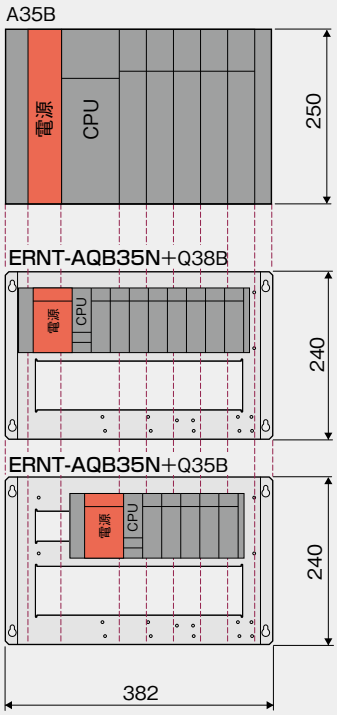
(1) A38B (-UL/-E) /A38HB (EU) →Q312B、Q38B

単位:mm



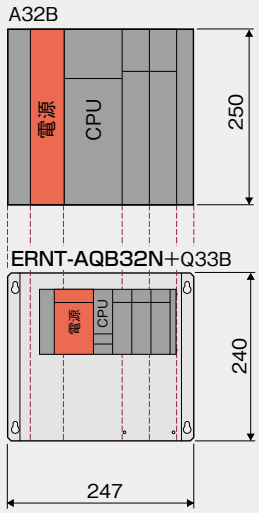
(2) A35B (-UL/-E) →Q38B、Q35B

単位:mm



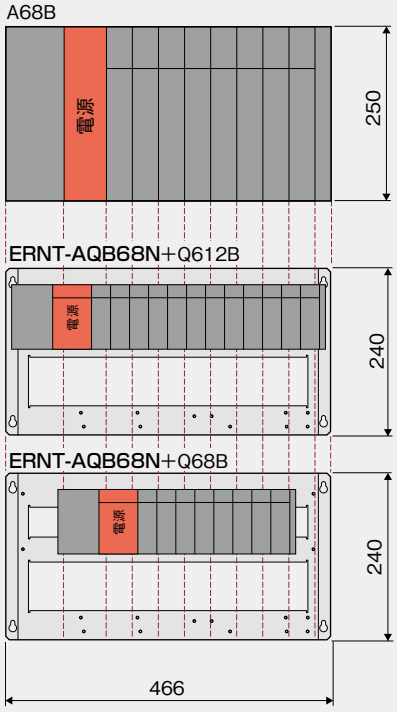
(3) A32B (-UL/-E) →Q33B

単位:mm



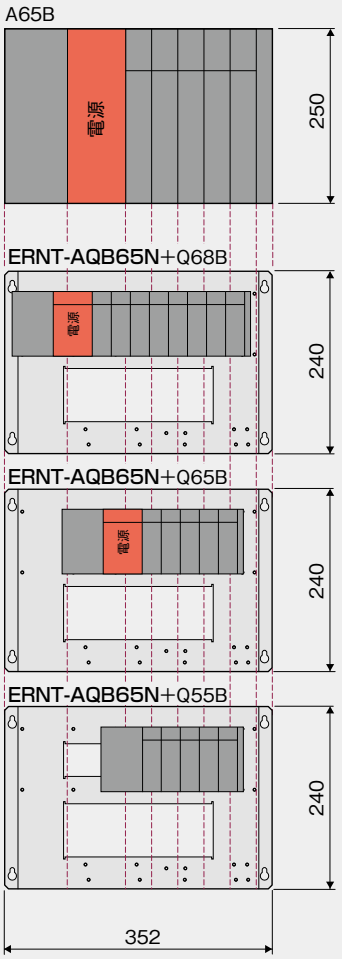
(4) A68B (-UL) →Q612B、Q68B

単位:mm



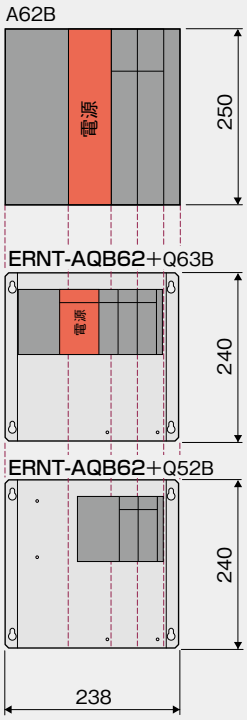
(5) A65B (-UL) →Q68B、Q65B、Q55B

単位:mm



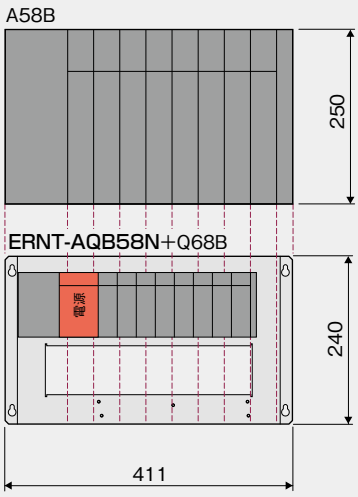
(6) A62B→Q63B、Q52B

単位:mm



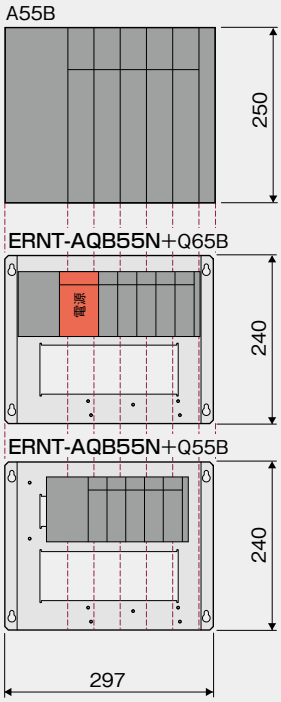
(7) A58B (-UL) →Q68B

単位:mm



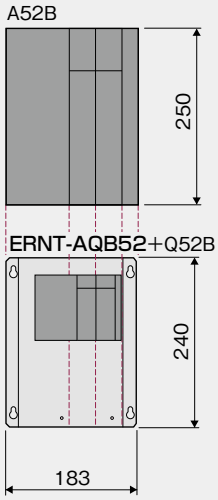
(8) A55B (-UL) →Q65B、Q55B

単位:mm



(9) A52B→Q52B

単位:mm



MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	A1SX10	RX10	※1	ERNT-ASQTXY10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	A1SX10EU						
出力	A1SY10	RY10R2	※1、2				
	A1SY10EU						
入力	A1SX30	RX40C7、RX70C4	※1、3	ERNT-ASQTX40			
	A1SX40		※1				
	A1SX80						
	A1SI61		※1、4				
	A1SX40-S1	RX40C7	※1				
	A1SX40-S2						
	A1SX80-S1						
	A1SX80-S2						
出力	A1SY22	RY20S6	※1、2	ERNT-ASQTY22			
	A1SY40	RY40NT5P		ERNT-ASQTY40			
	A1SY40P						
	A1SY50	RY40NT5P		ERNT-ASQTY50			
	A1SY80	RY40PT5P		ERNT-ASQTY80			
入力	A1SX81	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※5	ERNT-ASLCXY81	D-Subコネクタ（37P）	コネクタ（40P）	32点
	A1SX81-S2	RX41C4、RX41C6HS					
出力	A1SY81	RY41PT1P					
	A1SY81EP						

※1：MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。
※2：1コモンあたりの点数が変わるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※3：定格入力電圧をAC12V、AC24Vで使用している場合は、DC5V、DC12V、DC24Vに変更する必要があります。
※4：三菱電機株式会社製エンジニアリングソフトウェアGX Works3のユニットパラメータで、割込動作設定を実施いただく必要があります。
※5：MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。

2スロットタイプ（高温対応ベースユニット R310B-HT/R610B-HTには使用できません）

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	A1SX20 A1SX20EU	RX28 ×2台	—	ERNT-2AR20X	端子台（20点）	端子台（18点）×2	16点

既設配線をそのまま使用できるユニット（変換アダプタ不要）

入力/出力	MELSEC-AnSシリーズ			MELSEC iQ-Rシリーズ			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	A1SX41	DC12/24V、シンク	32点	RX41C4（DC24V時）	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
				RX71C4（DC12V時）	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX41-S1	DC24V、シンク	32点	RX41C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX41-S2	DC24V、シンク	32点	RX41C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX71	DC5/12/24V、シンク/ソース	32点	RX41C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
				RX71C4	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX42	DC12/24V、シンク	64点	RX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
				RX72C4	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX42-S1	DC24V、シンク	64点	RX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX42-S2	DC24V、シンク	64点	RX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX82-S1	DC24V、シンク/ソース	64点	RX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
出力	A1SY41	DC12/24V、シンク	32点	RY41NT2P	DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SY41P	DC12/24V、シンク	32点	RY41NT2P	DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SY71	DC5/12V、シンク	32点	RY41NT2P（DC12V時）	DC12/24V、シンク（DC5V不可）	32点	1台
	A1SY42	DC12/24V、シンク	64点	RY42NT2P	DC12/24V、シンク	64点	1台
	A1SY42P	DC12/24V、シンク	64点	RY42NT2P	DC12/24V、シンク	64点	1台
	A1SY82	DC12/24V、ソース	64点	RY42PT1P	DC12/24V、ソース	64点	1台
入出力混合	A1SH42 A1SH42P	入力：DC12/24V、シンク	入力32点	RH42C4NT2P （入力24V時）	入力：DC24V、シンク（DC12V不可）	入力32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	出力32点		出力：DC12/24V、シンク	出力32点	
	A1SH42-S1 A1SH42P-S1	入力：DC24V、シンク	入力32点	RH42C4NT2P	入力：DC24V、シンク	入力32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	出力32点		出力：DC12/24V、シンク	出力32点	

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.278

下表に示す入力/出力ユニット未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタを活用いただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズ			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズ				注意事項	ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数		
出力	A1SY14EU	AC240V/DC24V、2A/点、接点	12点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	—	対応
	A1SY18A A1SY18AEU	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	1台		※7
	A1SY28EU	AC100-240V、トライアック	8点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません					—
	A1SY60	DC24V、2A/点、シンク	16点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	※6	対応
	A1SY60E	DC5/12/24V、2A/点、ソース	16点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台		
	A1SY68A	DC5/12/24/48V、2A/点、シンク/ソース、全点独立	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	1台		
	A1SY28A	AC100-240V、トライアック、全点独立	8点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				—	—
入出力混合	A1SX48Y18	入力：DC24V、シンク	入力8点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	—	対応
		出力：AC240V/DC24V、接点	出力8点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台		
	A1SX48Y58	入力：DC24V、シンク	入力8点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
		出力：DC12/24V、シンク	出力8点	RY40NT5P	DC12/24V、シンク	16点	1台		
	A1SJ-56DT	入力：DC24V、シンク	32点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	2台	—	—
		出力：DC24V、シンク	24点	RY40NT5P	DC12/24V、シンク	16点	2台		
	A1SJ-56DR	入力：DC24V、シンク	32点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	2台		
		出力：AC240V/DC24V、接点	24点	RY10R2	AC240V/DC24V、接点	16点	2台		
ダイナミック入力	A1S42X	DC12/24V	16/32/48/64点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				—	—
ダイナミック出力	A1S42Y	DC12/24V	16/32/48/64点						

※6：トランジスタ出力から接点出力になります。
※7：ユニバーサル変換アダプタに付属の端子台への再配線は不要で、既設の端子台をユニバーサル変換アダプタに取付け可能です。

置換え後ユニットがない場合 省配線・省工数機器を活用したリニューアル ▶P.86

置換え検討のMELSECシリーズにラインアップされていないユニットや、変換アダプタ未対応ユニットの置換えを掲載しております。

例：AC200V対応ユニットを使っているが、置換え検討シリーズでAC200V対応ユニットがラインアップされていない。
そのようなときは、当社製 デジタル信号変換器（ターミナルユニット）のAC200V入力タイプを活用することで、置換えを実現できます。

アナログユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	A1S64AD	R60AD4	※7	ERNT-ASQT64AD	端子台(20点)	端子台(18点)	4チャンネル
入力	A1S68AD(電圧入力)	R60ADV8	※8、10	ERNT-ASQT68AD	端子台(20点)	端子台(18点)	8チャンネル
入力	A1S68AD(電流入力)	R60ADI8	※8、9、10	ERNT-ASQT68AD	端子台(20点)	端子台(18点)	8チャンネル
入力	A1S68AD(電圧/電流入力混在)	R60AD8-G	—	ERNT-2AR68AG	端子台(20点)	コネクタ(40P)	8チャンネル
出力	A1S62DA	R60DA4	※7、10	ERNT-ASQT62DA	端子台(20点)	端子台(18点)	2チャンネル
出力	A1S68DAV	R60DAV8	※10	ERNT-ASQT68DA	端子台(20点)	端子台(18点)	8チャンネル
出力	A1S68DAI	R60DAI8	※10	ERNT-ASQT68DA	端子台(20点)	端子台(18点)	8チャンネル

※8:R60DA4側のチャンネル3、4は使用できません。(変換アダプタ内で未接続となります。)
※9:R60ADV8、R60ADI8は、1ユニットで電圧入力と電流入力の混在使用できません。
※10:マイナス電流は入力できません。
※11:MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。

高速カウンタユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	A1SD61	RD62P2	※11、12	ERNT-ASLTD61	端子台(20点)	コネクタ(40P)	1チャンネル
入力	A1SD62	RD62P2	※12	ERNT-ASLTD62	端子台(20点)	コネクタ(40P)	2チャンネル
入力	A1SD62E	RD62P2E	※12	ERNT-ASLTD62	端子台(20点)	コネクタ(40P)	2チャンネル
入力	A1SD62D	RD62D2	—	ERNT-2AR62DD	端子台(20点)	コネクタ(40P)	2チャンネル

※12:RD62P2には、A1SD61のリミットスイッチ出力機能がなく、代用の機能はRD62P2の一致出力機能となります。なお設定数が少ないなど仕様が異なります。
※13:MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。

温度入力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
入力	A1S68TD	R60TD8-G	—	ERNT-2AR68TD	端子台(20点)	コネクタ(40P)	8チャンネル
入力	A1S62RD3(N)	R60RD8-G	—	ERNT-2AR62RD	端子台(20点)	コネクタ(40P)	2チャンネル

温度調節ユニット用

1スロットタイプ

置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	チャンネル数
A1S64TCTT-S1	R60TCTRT2TT2	—	ERNT-2AR64TT	端子台(20点)	端子台(18点)	4チャンネル
A1S64TCTRT		※13				
A1S64TCRT-S1	R60TCRT4	—	ERNT-2AR64TR	端子台(20点)	端子台(18点)	4チャンネル
A1S64TCTRT		※14				
A1S62TCTT-S2	R60TCTRT2TT2	—	ERNT-2AR62TT	端子台(20点)	端子台(18点)	2チャンネル
A1S64TCTRT		※15				
A1S62TCRT-S2	R60TCRT4	—	ERNT-2AR62TR	端子台(20点)	端子台(18点)	2チャンネル
A1S64TCTRT		※16				

※14:標準制御、熱電対入力にて使用時
※15:標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※16:加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※17:加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

断線検知機能付き温度調節ユニット用

1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル（高温対応ベースユニット R310B-HT/R610B-HTには使用できません）

温度調節ユニット用変換アダプタ（1スロットタイプ）と断線検知コネクタ変換ケーブルがセットになった製品です。セット形名がお客様ご注文形名となります。

置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	セット形名	温度調節ユニット用変換アダプタ				断線検知コネクタ変換ケーブル		
				形　名	形　状		チャンネル数	形　状		
					MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC iQ-Rシリーズ		MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC iQ-Rシリーズ	
A1S64TCTTBW-S1	R60TCTRT2TT2BW	—	ERNT-2AR64TT1BW	ERNT-2AR64TT	端子台（20点）	端子台（18点）	4チャンネル	コネクタ（8P）	端子台（18点）	
A1S64TCTRTBW		※17								
A1S64TCRTBW-S1	R60TCRT4BW	—	ERNT-2AR64TR1BW	ERNT-2AR64TR			4チャンネル			
A1S64TCTRTBW		※18								
A1S62TCTTBW-S2	R60TCTRT2TT2BW	—	ERNT-2AR62TT1BW	ERNT-2AR62TT			2チャンネル			
A1S64TCTRTBW		※19								
A1S62TCRTBW-S2	R60TCRT4BW	—	ERNT-2AR62TR1BW	ERNT-2AR62TR			2チャンネル			
A1S64TCTRTBW		※20								

※18：標準制御、熱電対入力にて使用時
※19：標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※20：加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※21：加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

注）上記以外のインテリジェント機能ユニット（位置決めユニット、情報系ユニット、分散ユニットなど）は変換アダプタ未対応のため再配線が必要です。

ベースアダプタ

基本/増設	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名	備　考
基本	A1S38B A1S38HB A1S38HBEU	R38B	※21	ERNT-ASQB38N	Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット（Q7BAT-SET/Q7BATN-SET装着前）が装着されたベースユニットを取り付けた状態で、Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをCPUユニットへ装着してください。
		R310B-HT	※23	対応製品なし	
	A1S35B	R35B	※21	ERNT-ASQB35N	
	A1S33B	R33B	※21	ERNT-ASQB33N	
	A1S32B	R33B	※21	ERNT-ASQB32N	
	A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	R35B	※21	ERNT-ASQB00JN	
増設	A1S68B	R68B	※21	ERNT-ASQB68N	
		R610B-HT	※24	対応製品なし	
	A1S65B	R65B	※21	ERNT-ASQB65N	
	A1S58B	R68B	※21、22	ERNT-ASQB58N	
	A1S55B	R65B	—	対応製品なし	
	A1S52B	R65B	—		

※22：MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用ベースアダプタを使用します。
※23：MELSEC iQ-Rシリーズに電源なしのベースユニットがないため、電源ありの増設ベースユニットを置換え対象としています。
※24：高温対応ベースユニットR310B-HTへ置換える場合、横幅寸法が430mmから439mmになり9mm増えます。
※25：高温対応ベースユニットR610B-HTへ置換える場合、横幅寸法が420mmから439mmになり19mm増えます。

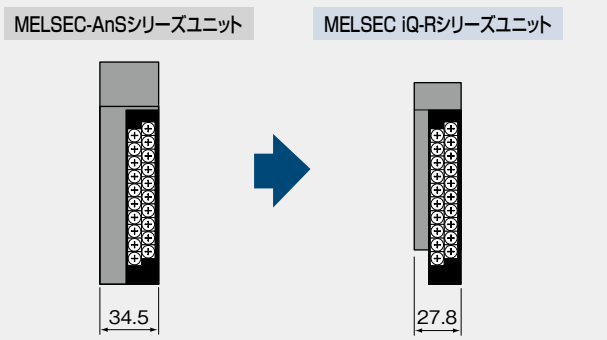
ご使用上の注意点

変換アダプタは、MELSEC-AnSシリーズユニットからMELSEC iQ-Rシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
ご使用前にマニュアルをご確認ください。(当社Webサイトよりダウンロード可)
MELSEC-AnSシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ずMELSEC iQ-Rシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

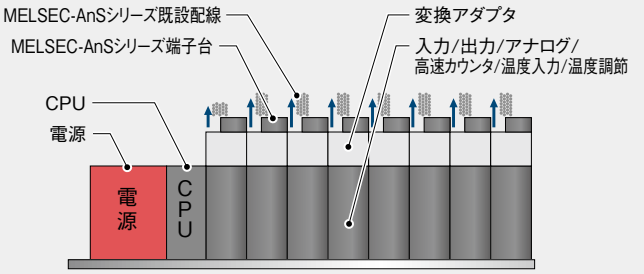
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→27.8mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

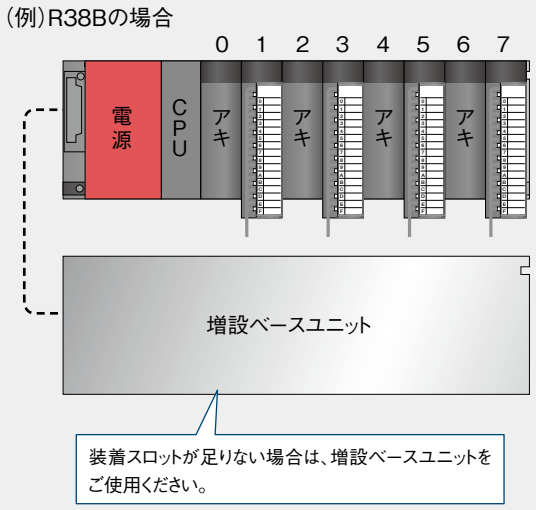
単位:mm



(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。

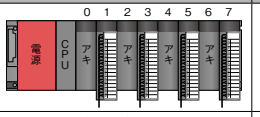
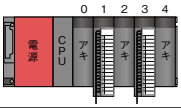
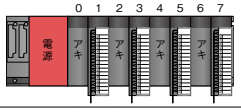
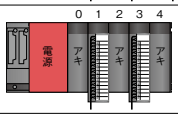
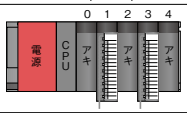
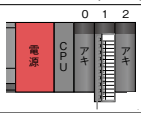
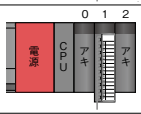


(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい侵入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

(4) 配線領域を考慮した場合、以下の置換え可能ユニット台数になります。

MELSEC-AnSシリーズベースユニット形名	置換え先		
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット形名	装着方法	置換え可能ユニット台数
A1S38B A1S38HB A1S38HBEU	R38B		4台
A1S35B	R35B		2台
A1S68B A1S58B	R68B		4台
A1S65B	R65B		2台
A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	R35B		2台
A1S33B	R33B		1台
A1S32B	R33B		1台

(5) 前記(2)、(3)、(4)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.15
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

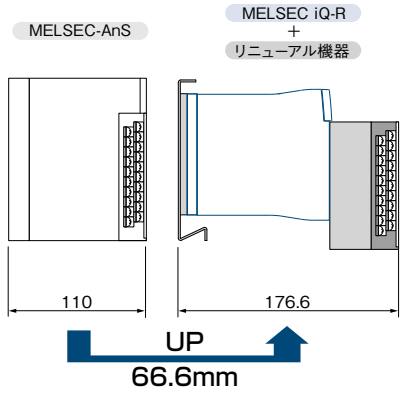
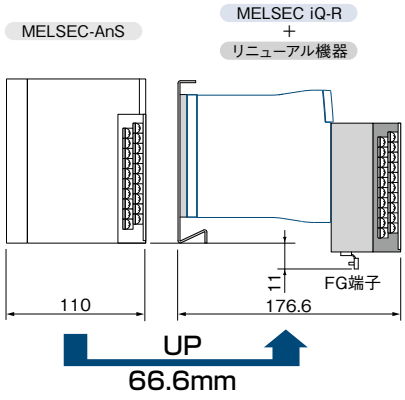
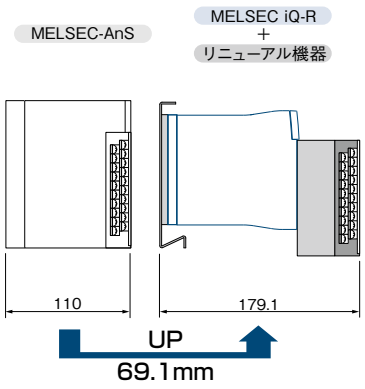
奥行き・高さ

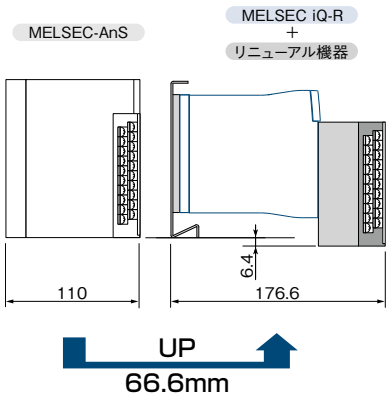
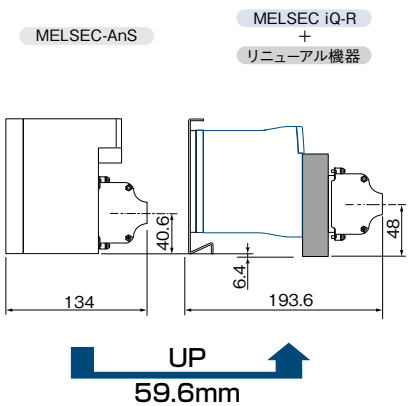
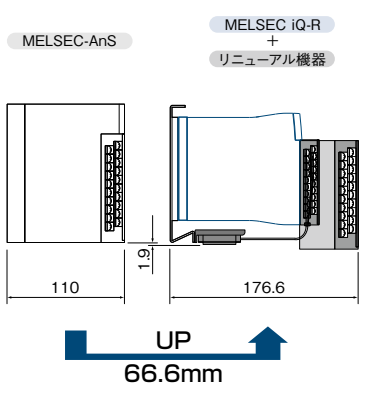
ベースアダプタ取付け時

盤面からの奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。
また、置換え内容によっては高さ寸法が下側へ大きくなりますので、併せて取付け上の確認が必要です。

MELSEC-AnSシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタ/温度入力/温度調節ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタ/温度入力/温度調節ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

MELSEC-AnS ：MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC iQ-R ：MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10 ERNT-ASQTY22 ERNT-ASQTX40 ERNT-ASQTY40 ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQT64AD	ERNT-ASQT62DA ERNT-ASQT68DA ERNT-2AR64TT ERNT-2AR64TR ERNT-2AR62TT ERNT-2AR62TR	ERNT-ASQT68AD	ERNT-2AR20X
寸法 奥行き	66.6mm UP		66.6mm UP	69.1mm UP
寸法 高さ	UPなし		11mm UP	UPなし
取付け図				

変換アダプタ	ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62 ERNT-2AR62DD ERNT-2AR68AG ERNT-2AR68TD ERNT-2AR62RD	ERNT-ASLCXY81	ERNT-2AR64TT1BW ERNT-2AR64TR1BW ERNT-2AR62TT1BW ERNT-2AR62TR1BW
寸法 奥行き	66.6mm UP	59.6mm UP	66.6mm UP
寸法 高さ	6.4mm UP	6.4mm UP	1.9mm UP
取付け図			

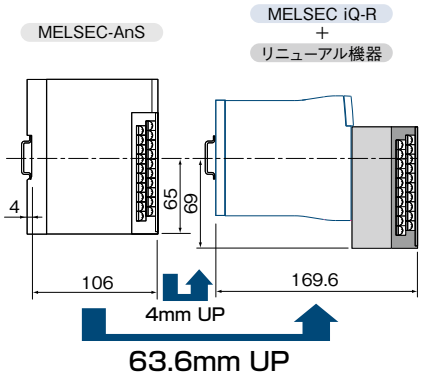
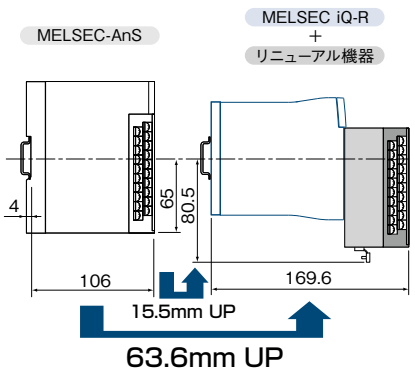
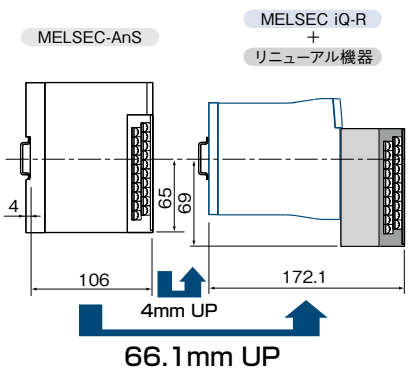
DINレール取付け時

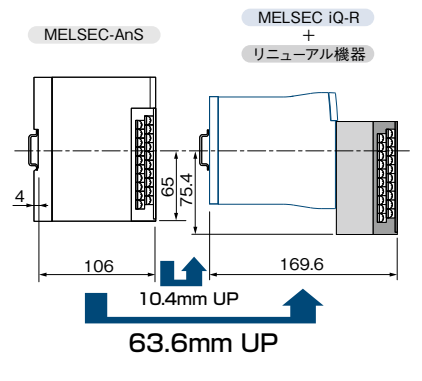
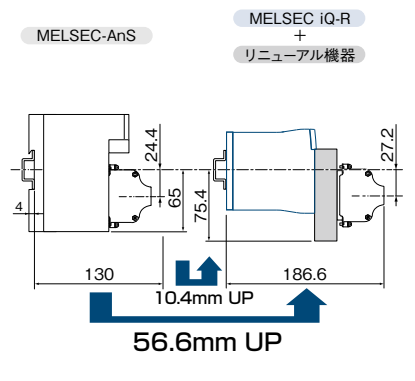
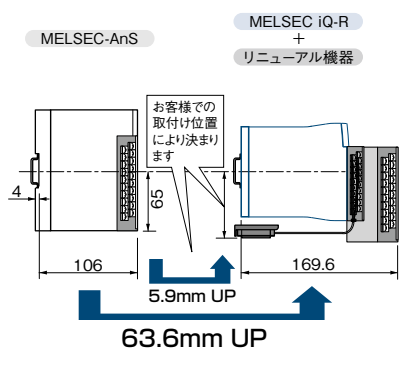
奥行き寸法が大きくなり、また高さ寸法が下側へ大きくなりますので、併せて取付け上の確認が必要です。

MELSEC-AnSシリーズ: ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタ/温度入力/温度調節ユニット ＋ 端子台/コネクタ

MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器: ベースユニット ＋ 入力/出力/アナログ/高速カウンタ/温度入力/温度調節ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC iQ-R :MELSEC iQ-Rシリーズ

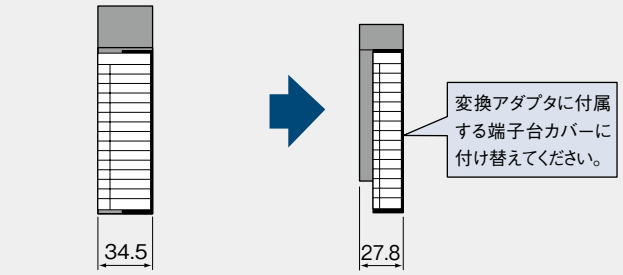
変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10 ERNT-ASQTY22 ERNT-ASQTX40 ERNT-ASQTY40 ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQT64AD	ERNT-ASQT62DA ERNT-ASQT68DA ERNT-2AR64TT ERNT-2AR64TR ERNT-2AR62TT ERNT-2AR62TR	ERNT-ASQT68AD	ERNT-2AR20X
寸法 奥行き	63.6mm UP		63.6mm UP	66.1mm UP
寸法 高さ	4mm UP		15.5mm UP	4mm UP
取付け図				

変換アダプタ	ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62 ERNT-2AR62DD ERNT-2AR68AG ERNT-2AR68TD ERNT-2AR62RD	ERNT-ASLCXY81	ERNT-2AR64TT1BW ERNT-2AR64TR1BW ERNT-2AR62TT1BW ERNT-2AR62TR1BW
寸法 奥行き	63.6mm UP	56.6mm UP	63.6mm UP
寸法 高さ	10.4mm UP	10.4mm UP	5.9mm UP
取付け図			

端子台カバー

MELSEC-AnSシリーズの端子台カバーはMELSEC iQ-Rシリーズのユニット幅よりも大きいため、変換アダプタに付属する端子台カバーに付け替える必要があります。

単位:mm



ベースアダプタ

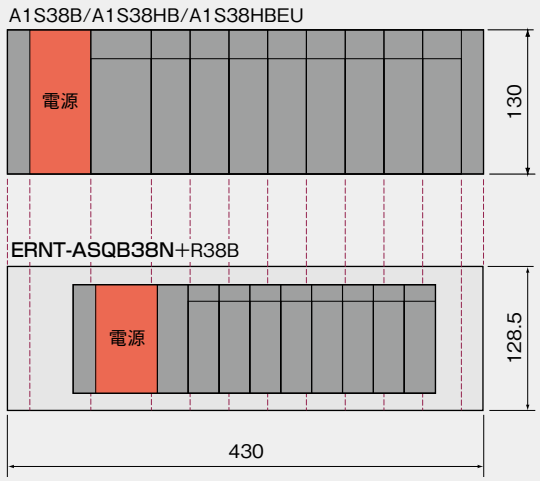
MELSEC-AnSシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-Rシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更（空きスロットがある場合）や配線長を調節してご使用ください。

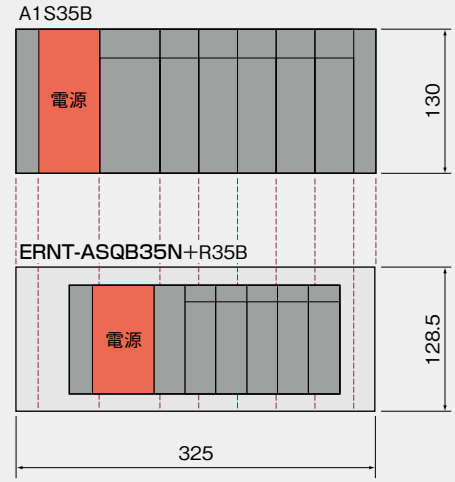
(1) A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU→R38B

単位:mm



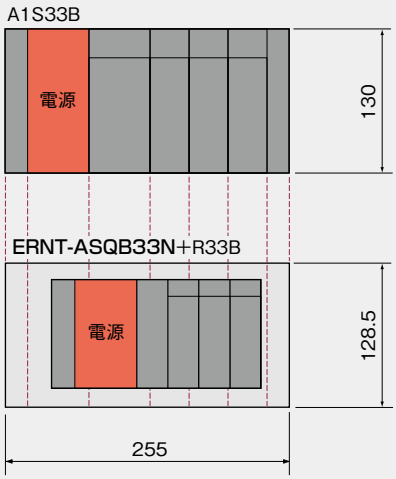
(2) A1S35B→R35B

単位:mm



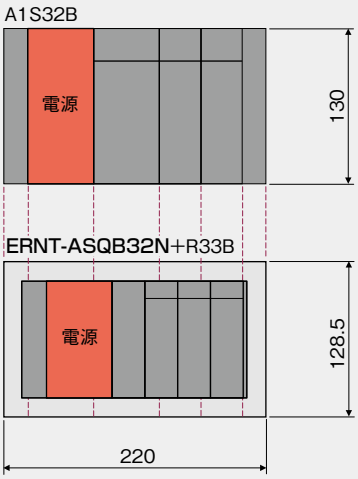
(3) A1S33B→R33B

単位:mm



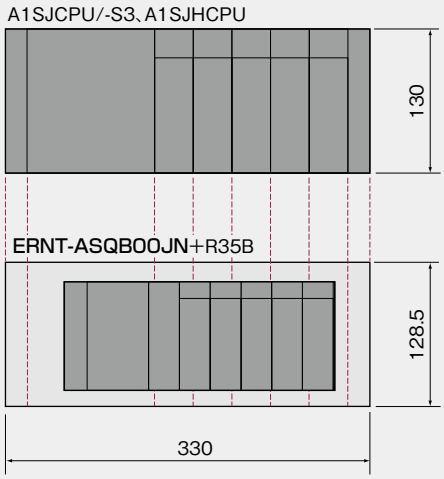
(4) A1S32B→R33B

単位:mm



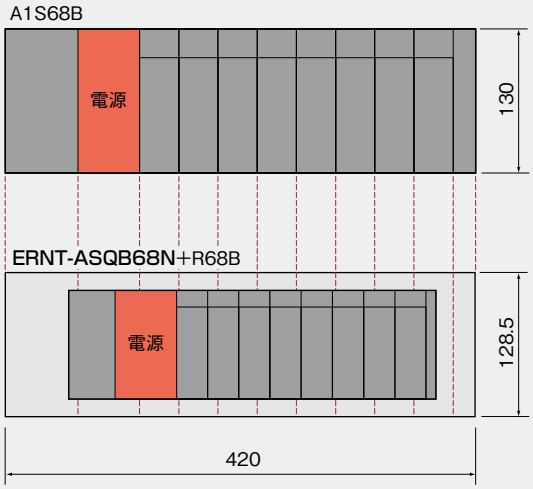
(5) A1SJCPU/-S3、A1SJHCPU→R35B

単位:mm



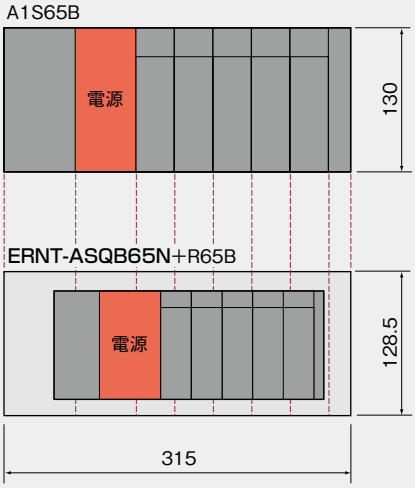
(6) A1S68B→R68B

単位:mm



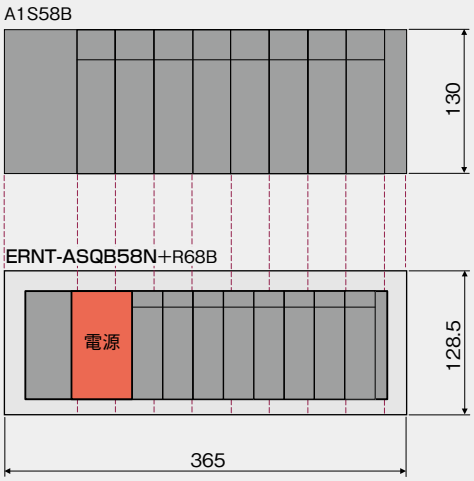
(7) A1S65B→R65B

単位:mm



(8) A1S58B→R68B

単位:mm



MEMO

MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

○：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	入力/出力点数
入力	A1SX10	QX10	○	ERNT-ASQTXY10	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	16点
	A1SX10EU							
出力	A1SY10	QY10	○					
	A1SY10EU							
入力	A1SX40	QX40、QX70	○	ERNT-ASQTX40			なし	
	A1SX40-S2	QX40	○					
	A1SX40-S1	QX40-S1	○					
	A1SX80	QX80	○	ERNT-ASQTX80			なし	
	A1SX80-S1							
	A1SX80-S2							
出力	A1SY22	QY22	○	ERNT-ASQTY22			なし	
	A1SY40	QY40P	○	ERNT-ASQTY40			なし	
	A1SY40P							
	A1SY50	QY50	○	ERNT-ASQTY50			なし	
	A1SY80	QY80	○	ERNT-ASQTY80			なし	

2スロットタイプ

×：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用不可

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名		Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	入力/出力点数
入力	A1SX20	QX28	×2台	×	ERNT-ASQTX20	端子台（20点）	端子台（18点）×2	なし	16点
	A1SX20EU								
出力	A1SY60	QY68A	×2台	×	ERNT-ASQTY60			なし	
	A1SY60E	QY68A	×2台	×	ERNT-ASQTY60E			なし	

既設配線をそのまま使用できるユニット（変換アダプタ不要）

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	A1SX41	DC12/24V、シンク	32点	QX41	DC24V、プラスコモン	32点	1台
				QX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点	1台
				QX71（DC12V時）	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX41-S1	DC24V、シンク	32点	QX41-S1	DC24V、プラスコモン	32点	1台
	A1SX41-S2	DC24V、シンク	32点	QX41	DC24V、プラスコモン	32点	1台
				QX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点	1台
	A1SX71	DC5/12/24V、シンク	32点	QX71（DC5V、12V時）	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
				QX41-S1	DC24V、プラスコモン	32点	1台
	A1SX81	DC12/24V、シンク	32点	QX81	DC24V、マイナスコモン	32点	1台
				QX81-S2	DC24V、マイナスコモン	32点	1台
	A1SX81-S2	DC24V、シンク	32点	QX81	DC24V、マイナスコモン	32点	1台
				QX81-S2	DC24V、マイナスコモン	32点	1台
	A1SX42	DC12/24V、シンク	64点	QX42	DC24V、プラスコモン	64点	1台
				QX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点	2台
				QX72（DC12V時）	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX42-S2	DC24V、シンク	64点	QX42	DC24V、プラスコモン	64点	1台
				QX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点	2台
	A1SX42-S1	DC24V、シンク	64点	QX42-S1	DC24V、プラスコモン	64点	1台
	A1SX82-S1	DC24V、シンク	64点	QX82-S1	DC24V、マイナスコモン	64点	1台
出力	A1SY41	DC12/24V、シンク	32点	QY41P	DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SY41P	DC12/24V、シンク	32点				1台
	A1SY81	DC12/24V、ソース	32点	QY81P	DC5/12/24V、ソース	32点	1台
	A1SY81EP	DC12/24V、ソース	32点				1台
	A1SY71	DC5/12V、シンク	32点	QY71	DC5/12V、シンク	32点	1台
	A1SY42	DC12/24V、シンク	64点	QY42P	DC12/24V、シンク	64点	1台
	A1SY42P						1台
	A1SY82	DC12/24V、ソース	64点	QY82P	DC12/24V、ソース	64点	1台
入出力混合	A1SH42	入力：DC12/24V、シンク	32点	QH42P	入力：DC24V（DC12V不可）、プラスコモン	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	
	A1SH42P	入力：DC12/24V、シンク	32点	QH42P	入力：DC24V（DC12V不可）、プラスコモン	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	
	A1SH42-S1	入力：DC24V、シンク	32点	QH42P	入力：DC24V、プラスコモン	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	
	A1SH42P-S1	入力：DC24V、シンク	32点	QH42P	入力：DC24V、プラスコモン	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.300

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタを活用いただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。（一部を除く）

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズユニット		置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	点　数	形　名	点　数	必要台数	
出力	A1SY14EU	12点	QY10	16点	1台	対応
	A1SY18A（EU）	8点	QY18A	8点	1台	※1
	A1SY68A	8点	QY68A	8点	1台	
複合入出力	A1SX48Y58	入力8点＋出力8点	QX48Y57	入力8点＋出力7点	1台	
入力	A1SX30	16点	QX40（DC24V プラスコモン時）	16点	1台	
複合入出力	A1SX48Y18	入力8点＋出力8点	QX40＋QY10	16点＋16点	1台＋1台	
出力	A1SY28A	8点	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。			―
	A1SY28EU					
ダイナミック入力	A1S42X	16/32/48/64点				
ダイナミック出力	A1S42Y	16/32/48/64点				

※1：ユニバーサル変換アダプタに付属の端子台への再配線は不要で、既設の端子台をユニバーサル変換アダプタに取付け可能です。

置換え後ユニットがない場合 省配線・省工数機器を活用したリニューアル ▶P.92

置換え検討のMELSECシリーズにラインアップされていないユニットや、変換アダプタ未対応ユニットの置換えを掲載しております。

例：AC200V対応ユニットを使っているが、置換え検討シリーズでAC200V対応ユニットがラインアップされていない。
そのようなときは、当社製 デジタル信号変換器（ターミナルユニット）のAC200V入力タイプを活用することで、置換えを実現できます。

アナログユニット用

1スロットタイプ

○：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能
×：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用不可

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	チャンネル数
入力	A1S64AD	Q64AD	○	—	ERNT-ASQT64AD	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル
入力	A1S68AD（電圧入力）	Q68ADV	○	—	ERNT-ASQT68AD	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	8チャンネル
入力	A1S68AD（電流入力）	Q68ADI	○	—	ERNT-ASQT68AD	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	8チャンネル
入力	A1S68AD（電圧/電流入力混在）	Q68AD-G	×	※2	ERNT-ASQT68AD-G	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	8チャンネル
出力	A1S62DA	Q62DAN	○	—	ERNT-ASQT62DA	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル
出力	A1S68DAV	Q68DAVN	○	—	ERNT-ASQT68DA	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	8チャンネル
出力	A1S68DAI	Q68DAIN	○	—	ERNT-ASQT68DA	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	8チャンネル
入出力	A1S63ADA	Q64AD2DA	×	※2	ERNT-ASQT63ADA	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	3チャンネル

※2：MELSEC-Qラージブランクカバー QG69LS（MELSEC-AnSシリーズサイズ版）がMELSEC-Qシリーズユニットに装着できないため。

高速カウンタユニット用

1スロットタイプ

○：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	チャンネル数
入力	A1SD61	QD62	○	ERNT-ASQTD61	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	1チャンネル
入力	A1SD61	QD62-H01	○	ERNT-ASQTD61	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	1チャンネル
入力	A1SD61	QD62-H02	○	ERNT-ASQTD61	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	1チャンネル
入力	A1SD62	QD62	○	ERNT-ASQTD62	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	2チャンネル
入力	A1SD62E	QD62E	○	ERNT-ASQTD62	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	2チャンネル
入力	A1SD62D	QD62D	○	ERNT-ASQTD62D	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	2チャンネル

温度入力ユニット用

1スロットタイプ

○：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能
×：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用不可

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	チャンネル数
入力	A1S68TD	Q68TD-G-H01	○	—	ERNT-ASQT68TD-H01	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	8チャンネル
入力	A1S68TD	Q68TD-G-H02	×	※3	ERNT-ASQT68TD-H02	端子台（20点）	コネクタ（40P）	付き	8チャンネル
入力	A1S62RD3（N）	Q64RD	○	—	ERNT-ASQT62RD	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル
入力	A1S62RD4（N）	Q64RD	○	—	ERNT-ASQT62RD	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル

※3：MELSEC-Qラージブランクカバー QG69LS（MELSEC-AnSシリーズサイズ版）がMELSEC-Qシリーズユニットに装着できないため。

温度調節ユニット用

1スロットタイプ

○：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能

置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	チャンネル数
A1S64TCTT-S1	Q64TCTTN	○	—	ERNT-ASQT64TCTT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル
A1S64TCTRT	Q64TCTTN	○	※4	ERNT-ASQT64TCTT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル
A1S64TCRT-S1	Q64TCRTN	○	—	ERNT-ASQT64TCRT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル
A1S64TCTRT	Q64TCRTN	○	※5	ERNT-ASQT64TCRT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル
A1S62TCTT-S2	Q64TCTTN	○	—	ERNT-ASQT62TCTT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル
A1S64TCTRT	Q64TCTTN	○	※6	ERNT-ASQT62TCTT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル
A1S62TCRT-S2	Q64TCRTN	○	—	ERNT-ASQT62TCRT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル
A1S64TCTRT	Q64TCRTN	○	※7	ERNT-ASQT62TCRT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	2チャンネル

※4：標準制御、熱電対入力にて使用時
※5：標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※6：加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※7：加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

断線検知機能付き温度調節ユニット用

1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル

温度調節ユニット用変換アダプタ（1スロットタイプ）と断線検知コネクタ変換ケーブルがセットになった製品です。セット形名がお客様ご注文形名となります。

×：MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用不可

置換え前 MELSEC-AnS シリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Q シリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	注意事項	セット形名	温度調節ユニット用変換アダプタ 形名	温度調節ユニット用変換アダプタ 形状 MELSEC-AnS シリーズ	温度調節ユニット用変換アダプタ 形状 MELSEC-Q シリーズ	温度調節ユニット用変換アダプタ 形状 固定台	チャンネル数	断線検知コネクタ変換ケーブル 形状 MELSEC-AnS シリーズ	断線検知コネクタ変換ケーブル 形状 MELSEC-Q シリーズ
A1S64TCTTBW-S1	Q64TCTTBWN	×	※8	ERNT-ASQT64TCTTBW	ERNT-ASQT64TCTT	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	4チャンネル	コネクタ（8P）	端子台（18点）
A1S64TCTRTBW			※8、9								
A1S64TCRTBW-S1	Q64TCRTBWN	×	※8	ERNT-ASQT64TCRTBW	ERNT-ASQT64TCRT			なし	4チャンネル		
A1S64TCTRTBW			※8、10								
A1S62TCTTBW-S2	Q64TCTTBWN	×	※8	ERNT-ASQT62TCTTBW	ERNT-ASQT62TCTT			なし	2チャンネル		
A1S64TCTRTBW			※8、11								
A1S62TCRTBW-S2	Q64TCRTBWN	×	※8	ERNT-ASQT62TCRTBW	ERNT-ASQT62TCRT			なし	2チャンネル		
A1S64TCTRTBW			※8、12								

※8：MELSEC-Qシリーズユニットが2スロットタイプのため
※9：標準制御、熱電対入力にて使用時
※10：標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※11：加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※12：加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

注）上記以外のインテリジェント機能ユニット（位置決めユニット、情報系ユニット、分散ユニットなど）は変換アダプタ未対応ですので再配線が必要です。

ベースアダプタ

基本/増設	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名	備　考
基本	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B	—	ERNT-ASQB38N	Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット（Q7BAT-SET/Q7BATN-SET装着前）が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをCPUユニットへ装着してください。
	A1S35B	Q35B		ERNT-ASQB35N	
	A1S33B	Q33B		ERNT-ASQB33N	
	A1S32B	Q33B		ERNT-ASQB32N	
	A1SJCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B		ERNT-ASQB00JN	
	A1SJCPU-S3				
	A1SJHCPU				
増設	A1S68B	Q68B	—	ERNT-ASQB68N	
	A1S65B	Q65B		ERNT-ASQB65N	
	A1S58B	Q68B	※13	ERNT-ASQB58N	
	A1S55B	Q55B	—	ERNT-ASQB55N	
	A1S52B	Q52B		ERNT-ASQB52N	

※13：電源ユニットの装着が必要となるベースユニットへの置換え

以下は基本ベースユニットとQA増設ベースユニットQA1S51Bを同時に設置可能とするものです。

置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換え後MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名 基本	置換え後MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名 増設	ベースアダプタ形名	備　考
A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B/Q35B/Q33B	QA1S51B	ERNT-ASQB38N-S1	Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット（Q7BAT-SET/Q7BATN-SET装着前）が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをCPUユニットへ装着してください。
A1S35B	Q35B/Q33B		ERNT-ASQB35N-S1	
A1S33B	Q33B		ERNT-ASQB33N-S1	

＊14：ERNT-ASQB35N-S1では22mm、ERNT-ASQB33N-S1では36mm横幅が大きくなります。取付スペースを確認してください。

変換アダプタDINレール取付金具

MELSEC-QシリーズベースユニットのDINレール取付け時に、固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用する場合に必要です。固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用しない場合は不要です。

基本/増設	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	変換アダプタ DINレール取付金具形名	備　考
基本	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B	ERNT-ASQDIN3868	・別途、三菱電機株式会社製のDINレール取付用アダプタが必要です。 ・Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをご使用の際は、ベースユニットへCPUユニット（Q7BAT-SET/Q7BATN-SET装着前）を装着および変換アダプタDINレール取付金具を取付けた状態で、Q7BAT-SET/Q7BATN-SETをCPUユニットへ装着してください。
増設	A1S68B	Q68B		
	A1S58B			
基本	A1S35B	Q35B	ERNT-ASQDIN356500J	
増設	A1S65B	Q65B		
基本	A1SJCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B		
	A1SJCPU-S3			
	A1SJHCPU			
基本	A1S33B	Q33B	ERNT-ASQDIN3355	
	A1S32B			
増設	A1S55B	Q55B		
	A1S52B	Q52B	ERNT-ASQDIN52	

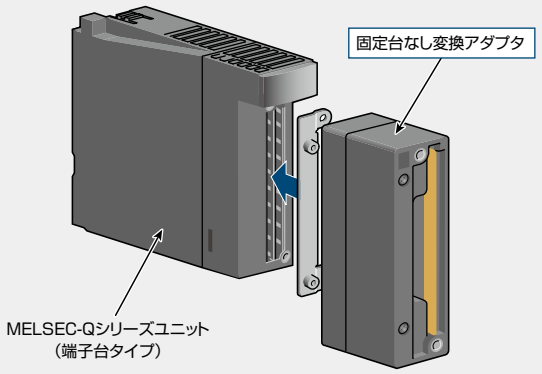
変換アダプタの種類

変換アダプタには端子台タイプ用の“固定台なし変換アダプタ”とコネクタタイプ用の“固定台付き変換アダプタ”の2種類があります。

置換え後MELSEC-Qシリーズユニットが「端子台タイプ」の場合

▼

固定台なし変換アダプタ

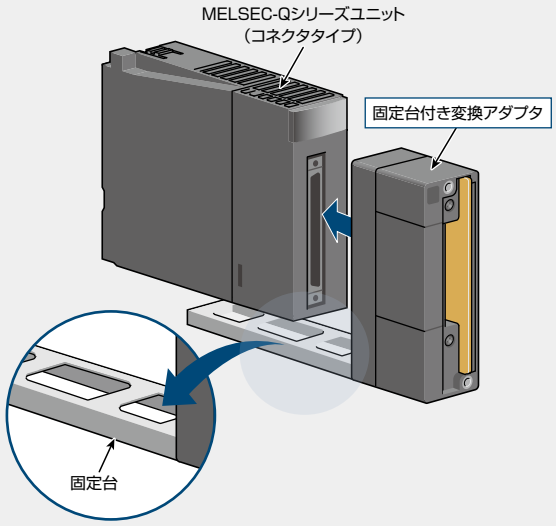


ベースアダプタ …… 必要に応じて使用
変換アダプタDINレール取付金具 …… 不要

置換え後MELSEC-Qシリーズユニットが「コネクタタイプ」の場合

▼

固定台付き変換アダプタ



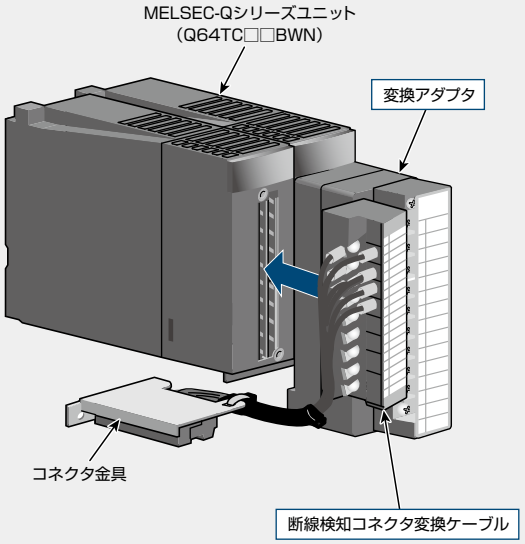
ベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）により、変換アダプタの固定台を固定させる必要があります。

また断線検知機能付き温度調節ユニット用では、MELSEC-Qシリーズユニット（Q64TC□□BWN）の左スロット側を“断線検知コネクタ変換ケーブル”にて配線を変換します。

MELSEC-Qシリーズユニット（Q64TC□□BWN）の左スロット側

▼

断線検知コネクタ変換ケーブル

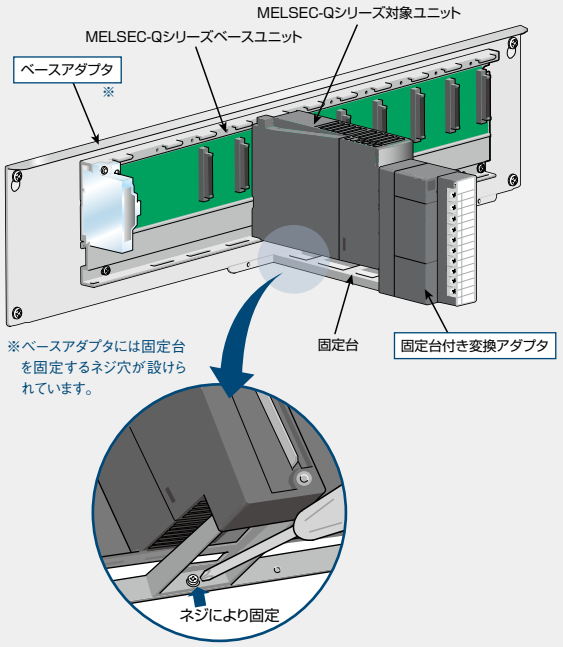


ベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）により、断線検知コネクタ変換ケーブルのコネクタ金具を固定させる必要があります。

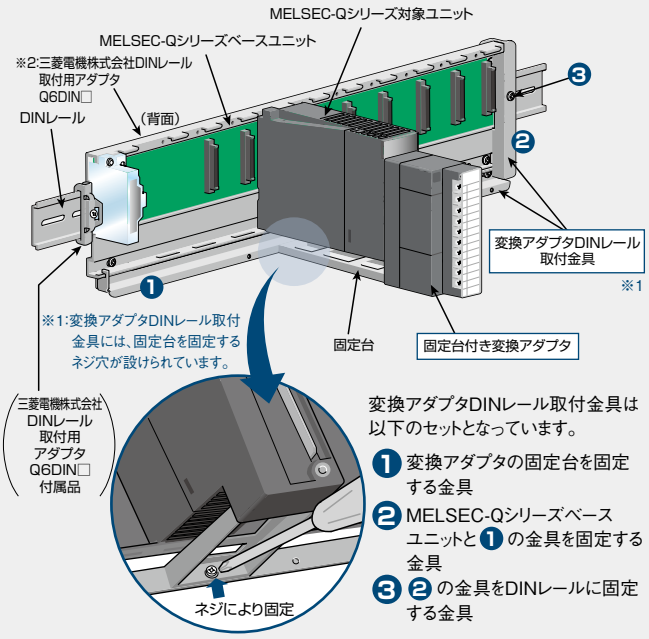
固定台付き変換アダプタの取付け

固定台付き変換アダプタを使用する場合は、固定台をベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）へ、ネジにより固定する必要があります。

盤面取付け時



DINレール取付け時



変換アダプタDINレール取付金具は以下のセットとなっています。

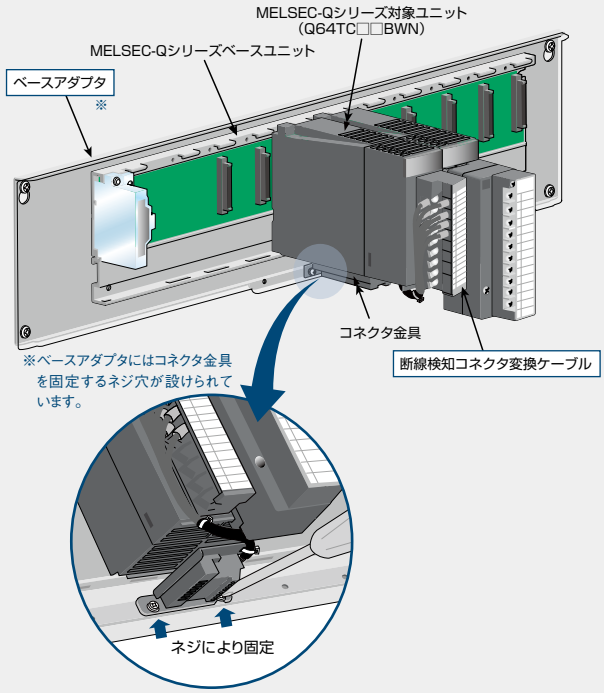
1. 変換アダプタの固定台を固定する金具
2. MELSEC-Qシリーズベースユニットと1の金具を固定する金具
3. 2の金具をDINレールに固定する金具

※2:別途、三菱電機株式会社DINレール取付用アダプタQ6DIN□が必要になります。

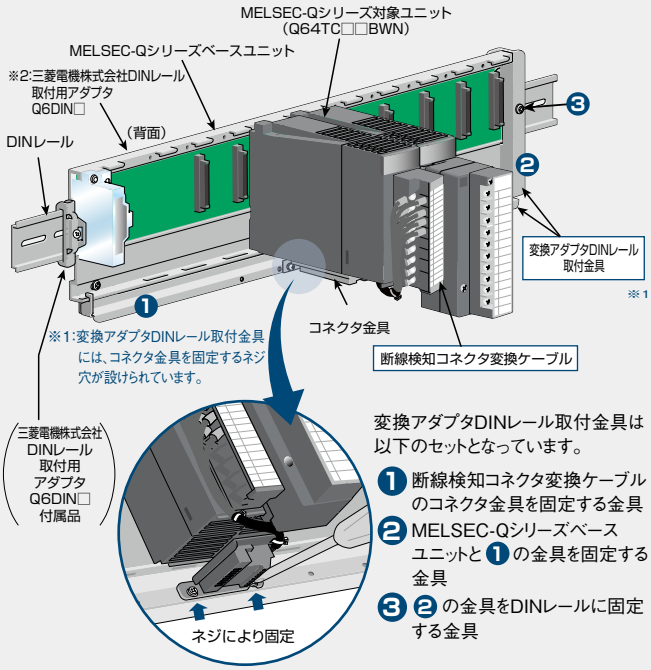
断線検知コネクタ変換ケーブルの取付け

断線検知コネクタ変換ケーブルは、コネクタ金具をベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）へ、ネジに固定する必要があります。

盤面取付け時



DINレール取付け時



変換アダプタDINレール取付金具は以下のセットとなっています。

1. 断線検知コネクタ変換ケーブルのコネクタ金具を固定する金具
2. MELSEC-Qシリーズベースユニットと1の金具を固定する金具
3. 2の金具をDINレールに固定する金具

※2:別途、三菱電機株式会社DINレール取付用アダプタQ6DIN□が必要になります。

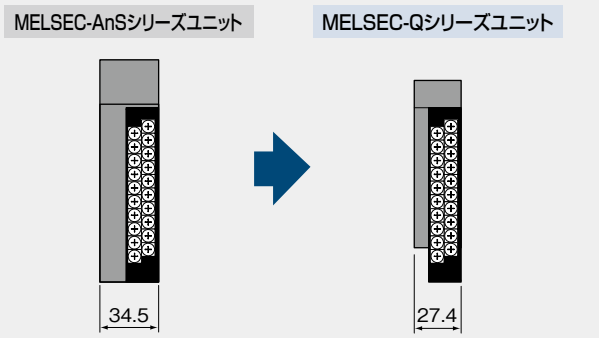
ご使用上の注意点

変換アダプタは、MELSEC-AnSシリーズユニットからMELSEC-Qシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
ご使用前にマニュアルをご確認ください。(当社Webサイトよりダウンロード可)
MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

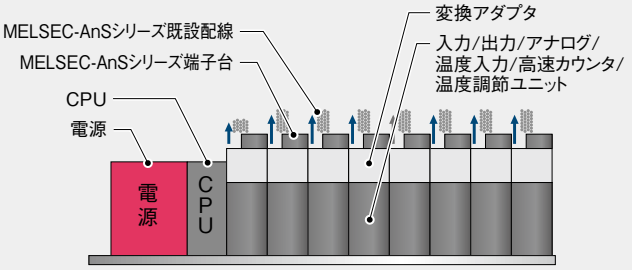
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→27.4mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

単位:mm

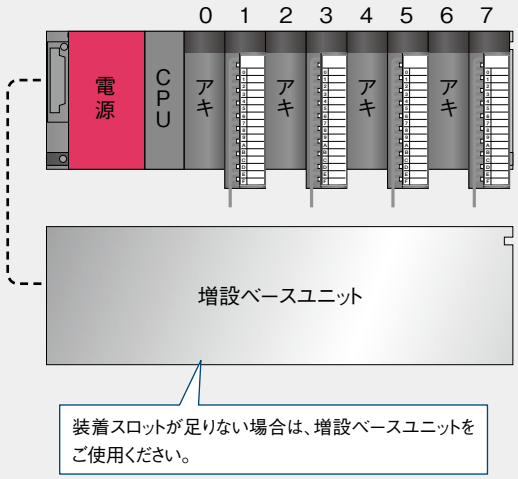


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



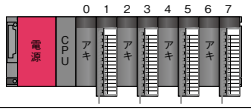
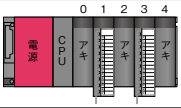
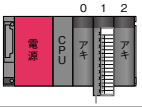
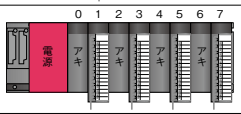
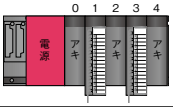
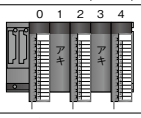
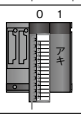
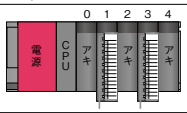
(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q38Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 配線領域を考慮した場合、以下の置換え可能ユニット台数になります。

MELSEC-AnSシリーズベースユニット形名	置換え先		
	MELSEC-Qシリーズベースユニット形名	装着方法	置換え可能ユニット台数
A1S38B A1S38HB A1S38HBEU	Q38B		4台
A1S35B	Q35B		2台
A1S33B A1S32B	Q33B		1台
A1S68B A1S58B	Q68B		4台
A1S65B	Q65B		2台
A1S55B	Q55B		3台
A1S52B	Q52B		1台
A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B		2台

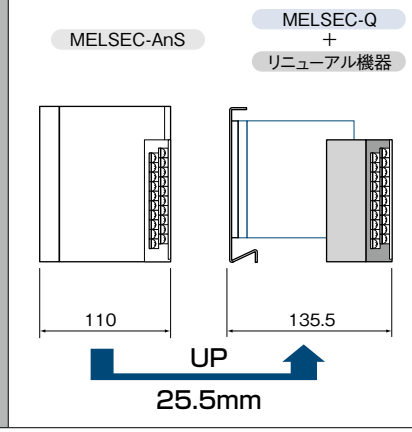
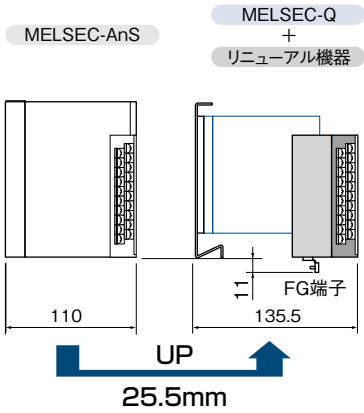
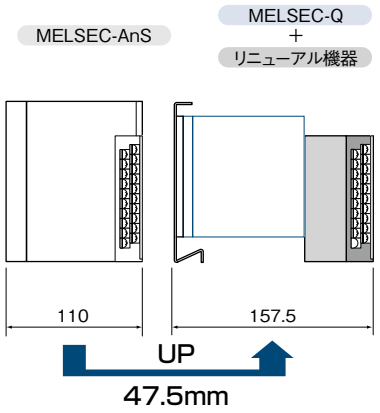
(5) 前記(2)、(3)、(4)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットの使用をご検討ください。→P.16
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

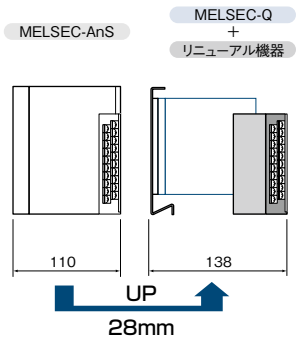
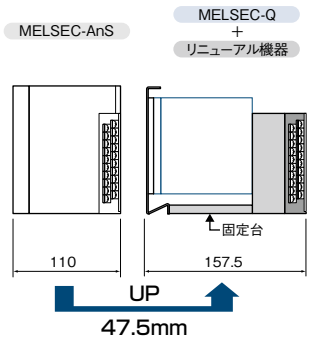
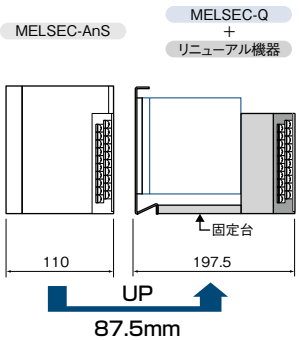
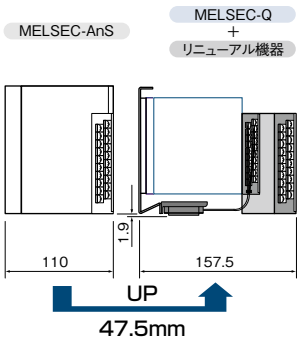
奥行き・高さ

ベースアダプタ取付け時

奥行き寸法が25.5～87.5mm大きくなります。
高さ寸法が、ERNT-ASQT68ADは下側へ11mm、ERNT-ASQT6□TC□□BWは下側へ1.9mm大きくなります。

MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

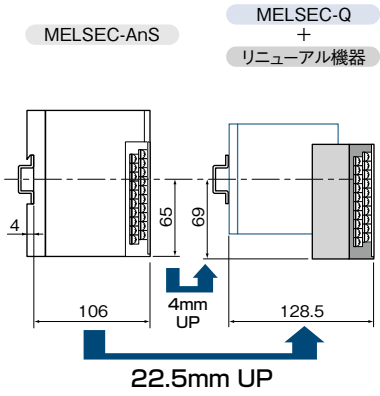
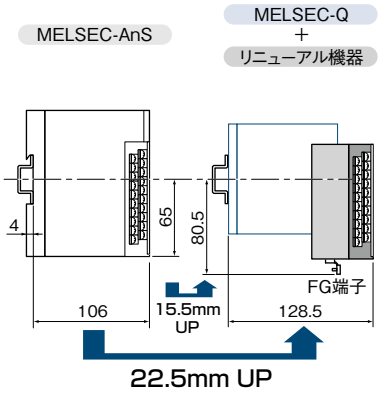
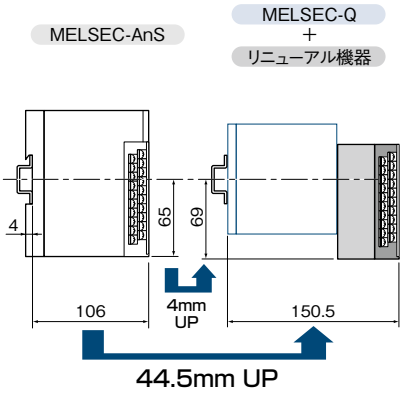
変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10 ERNT-ASQTX40 ERNT-ASQTX80 ERNT-ASQTY40 ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQT64AD ERNT-ASQT62RD	ERNT-ASQT68AD	ERNT-ASQTY22 ERNT-ASQT62DA ERNT-ASQT68DA ERNT-ASQT63ADA ERNT-ASQT64TCTT ERNT-ASQT64TCRT ERNT-ASQT62TCTT ERNT-ASQT62TCRT
寸法 奥行き	25.5mm UP	25.5mm UP	47.5mm UP
寸法 高さ	UPなし	11mm UP	UPなし
取付け図			

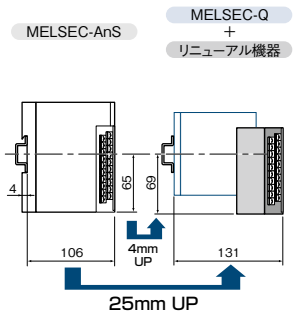
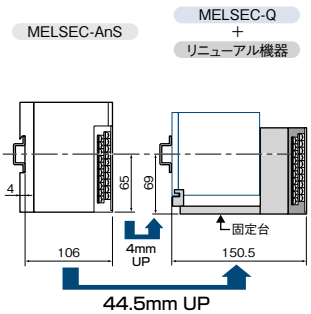
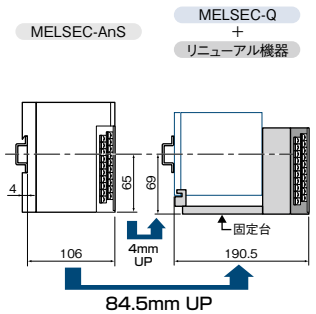
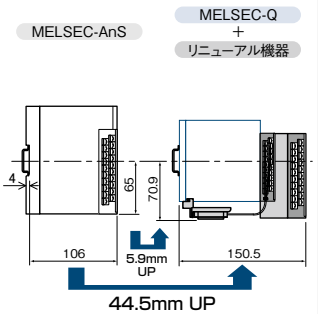
変換アダプタ	ERNT-ASQTX20 ERNT-ASQTY60 ERNT-ASQTY60E	ERNT-ASQT68AD-G ERNT-ASQTD61 ERNT-ASQTD62 ERNT-ASQTD62D ERNT-ASQT68TD-H01	ERNT-ASQT68TD-H02	ERNT-ASQT64TCTTBW ERNT-ASQT64TCRTBW ERNT-ASQT62TCTTBW ERNT-ASQT62TCRTBW
寸法 奥行き	28mm UP	47.5mm UP	87.5mm UP	47.5mm UP
寸法 高さ	UPなし	UPなし	UPなし	1.9mm UP
取付け図				

DINレール取付け時

奥行き寸法が22.5～84.5mm、高さ寸法が下側へ4～15.5mm大きくなります。

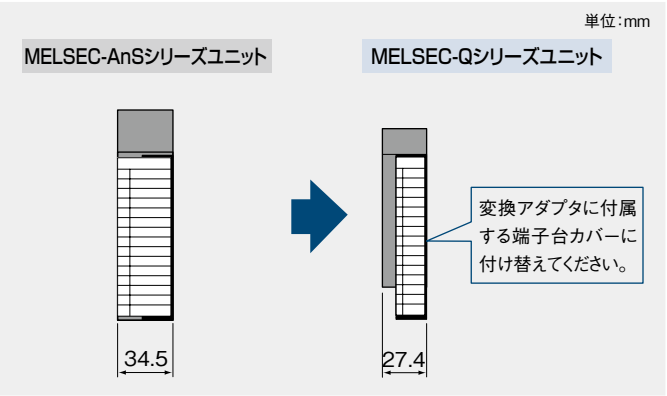
MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10 ERNT-ASQTX40 ERNT-ASQTX80 ERNT-ASQTY40 ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQT64AD ERNT-ASQT62RD	ERNT-ASQT68AD	ERNT-ASQTY22 ERNT-ASQT62DA ERNT-ASQT68DA ERNT-ASQT63ADA ERNT-ASQT64TCTT ERNT-ASQT64TCRT ERNT-ASQT62TCTT ERNT-ASQT62TCRT
寸法 奥行き	22.5mm UP	22.5mm UP	44.5mm UP
寸法 高さ	4mm UP	15.5mm UP	4mm UP
取付け図			

変換アダプタ	ERNT-ASQTX20 ERNT-ASQTY60 ERNT-ASQTY60E	ERNT-ASQT68AD-G ERNT-ASQTD61 ERNT-ASQTD62 ERNT-ASQTD62D ERNT-ASQT68TD-H01	ERNT-ASQT68TD-H02	ERNT-ASQT64TCTTBW ERNT-ASQT64TCRTBW ERNT-ASQT62TCTTBW ERNT-ASQT62TCRTBW
寸法 奥行き	25mm UP	44.5mm UP	84.5mm UP	44.5mm UP
寸法 高さ	4mm UP	4mm UP	4mm UP	5.9mm UP
取付け図				

端子台カバー

MELSEC-AnSシリーズの端子台カバーはMELSEC-Qシリーズのユニット幅よりも大きいため、変換アダプタに付属する端子台カバーに付け替える必要があります。（2スロットタイプを除く）



ベースアダプタ/変換アダプタDINレール取付金具

固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用の際は、必ずベースアダプタまたは変換アダプタDINレール取付金具を使用してください。なお、MELSEC-Qシリーズベースユニットを DINレールに取付ける際は、三菱電機株式会社製のDINレール取付用アダプタが別途必要です。

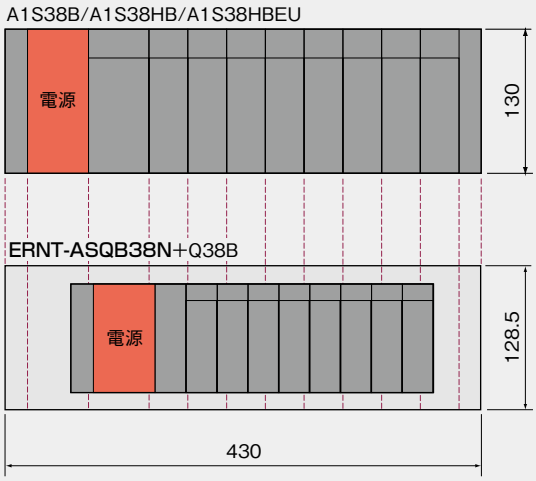
取付け方法	変換アダプタ	断線検知コネクタ変換ケーブル	ベースアダプタ ERNT-ASQB□N	変換アダプタDINレール取付金具 ERNT-ASQDIN□	備　考
盤面取付け	固定台あり	あり	必要	―	―
	固定台なし	なし	必要 ※	―	※MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付け穴を利用しない場合は不要
DINレール取付け	固定台あり	あり	―	必要 ※	※別途、三菱電機株式会社製DINレール取付用アダプタが必要
	固定台なし	なし	―	不要	―

スロット位置

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更（空きスロットがある場合）や配線長を調節してご使用ください。

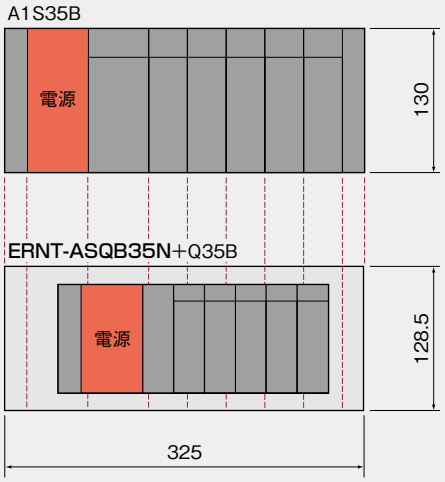
(1) A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU→Q38B

単位：mm



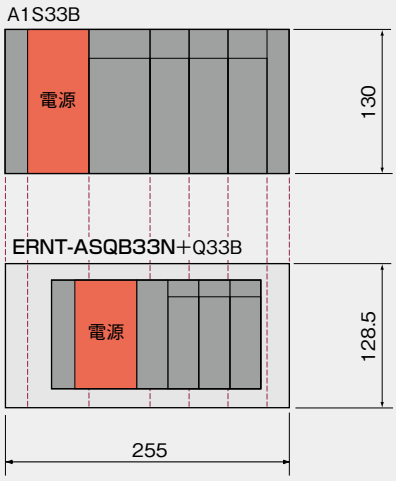
(2) A1S35B→Q35B

単位：mm



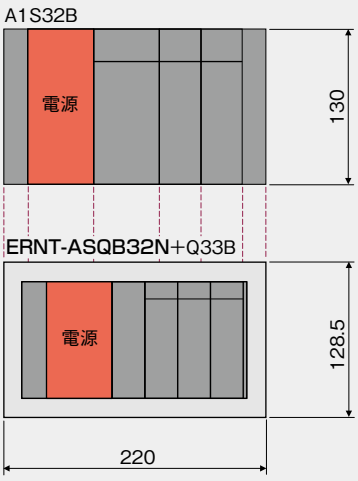
(3) A1S33B→Q33B

単位：mm



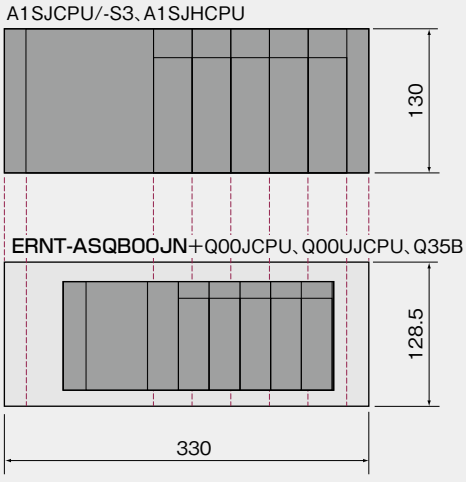
(4) A1S32B→Q33B

単位：mm



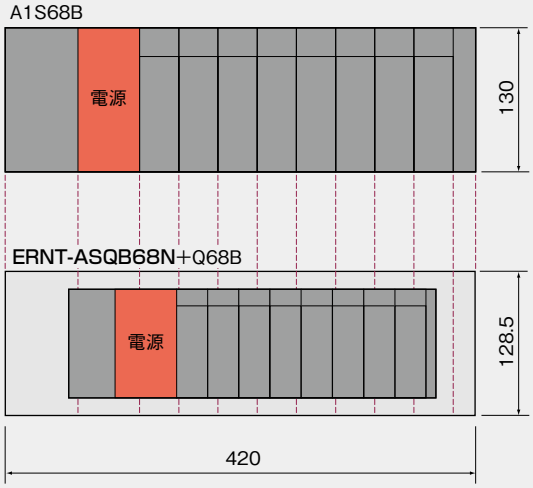
(5) A1SJCPU/-S3、A1SJHCPU→Q00JCPU、Q00UJCPU、Q35B

単位：mm



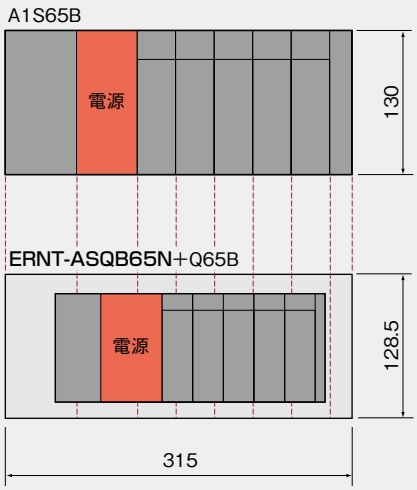
(6) A1S68B→Q68B

単位：mm



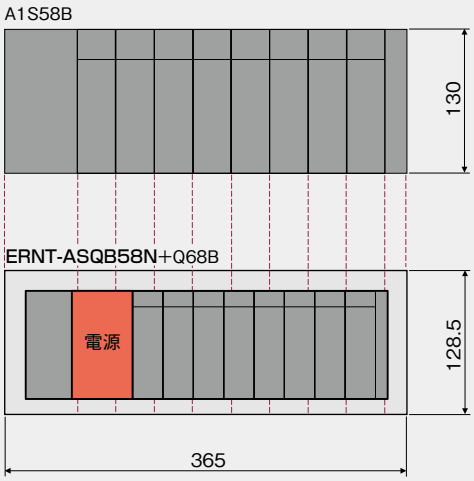
(7) A1S65B→Q65B

単位:mm



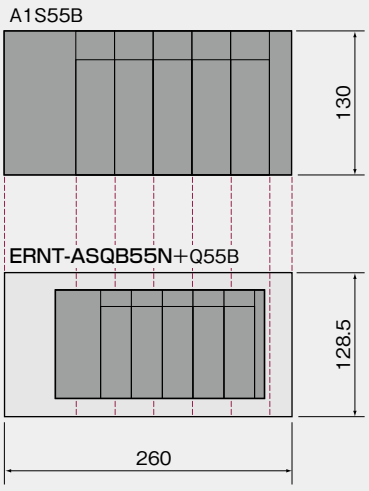
(8) A1S58B→Q68B

単位:mm



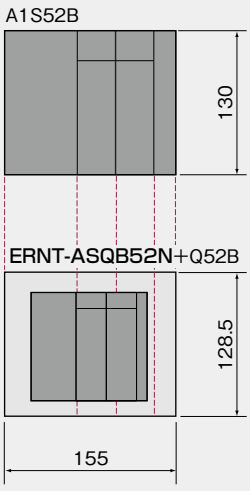
(9) A1S55B→Q55B

単位:mm



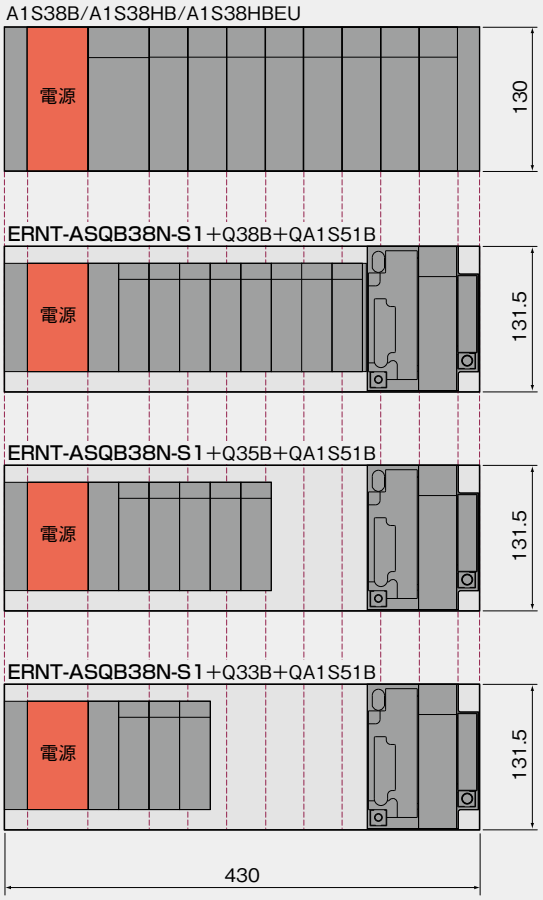
(10) A1S52B→Q52B

単位:mm



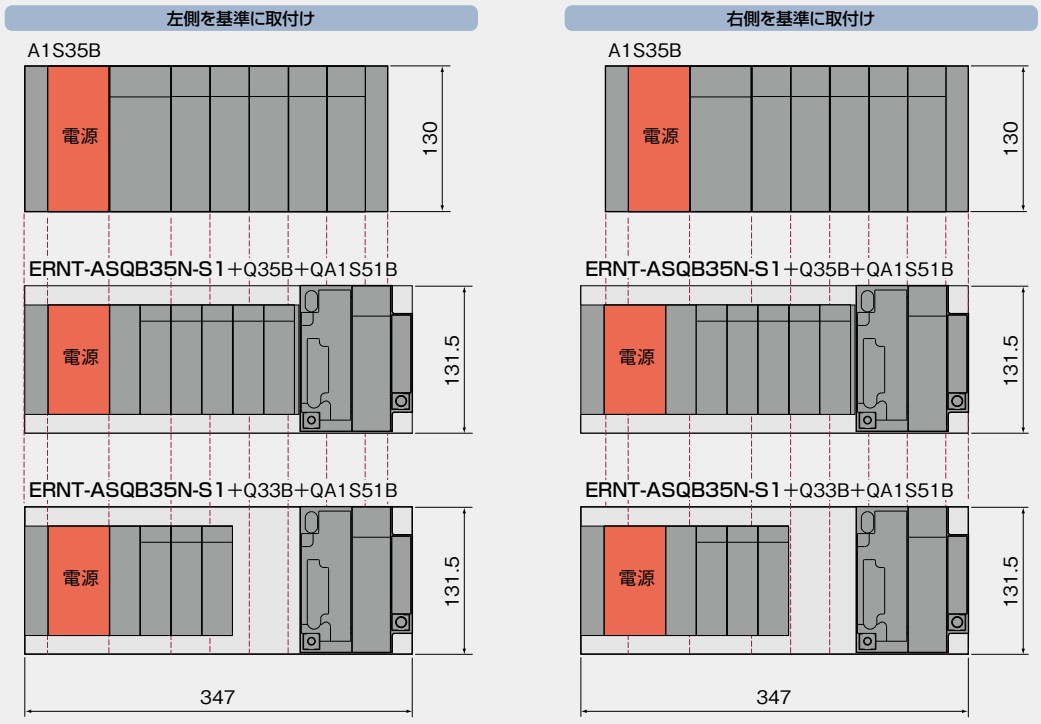
(11) A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU→Q38B/Q35B/Q33B+QA1S51B

単位：mm



(12) A1S35B→Q35B/Q33B+QA1S51B

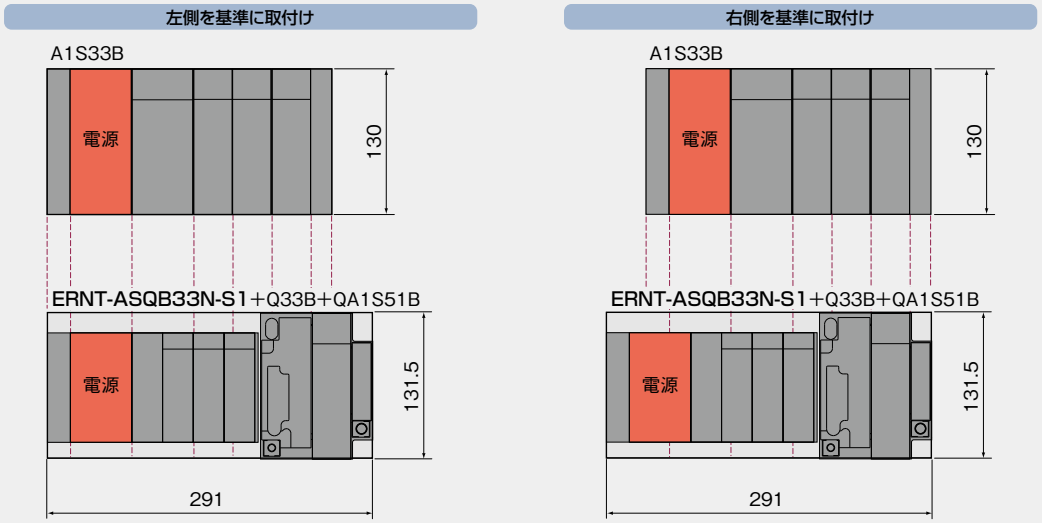
単位：mm



＊1：ERNT-ASQB35N-S1では22mm、ERNT-ASQB33N-S1では36mm横幅が大きくなります。取付スペースを確認してください。

(13) A1S33B→Q33B+QA1S51B

単位：mm



*2：ERNT-ASQB35N-S1では22mm、ERNT-ASQB33N-S1では36mm横幅が大きくなります。取付スペースを確認してください。

MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC-Lシリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1ユニットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Lシリーズ	入力/出力点数
入力	A1SX10	LX10	ERNT-ASLTXY10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	A1SX10EU					
出力	A1SY10	LY10R2				
	A1SY10EU					
入力	A1SX40	LX40C6	ERNT-ASLTX40			
	A1SX40-S1					
	A1SX40-S2					
	A1SX80	LX40C6	ERNT-ASLTX80			
	A1SX80-S1					
	A1SX80-S2					
出力	A1SY22	LY20S6	ERNT-ASLTY22			
	A1SY40	LY40NT5P	ERNT-ASLTY40			
	A1SY40P					
	A1SY50	LY40NT5P	ERNT-ASLTY50			
	A1SY80	LY40PT5P	ERNT-ASLTY80			
入力	A1SX81	LX41C4	ERNT-ASLCXY81	D-Subコネクタ（37P）	コネクタ（40P）	32点
	A1SX81-S2					
出力	A1SY81	LY41PT1P				
	A1SY81EP					

既設配線をそのまま使用できるユニット（変換アダプタ不要）

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズ 形名	仕様	点数	置換え後MELSEC-Lシリーズ 形名	仕様	点数	必要台数
入力	A1SX41	DC12/24V、プラスコモン	32点	LX41C4（DC24V時）	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX41-S1	DC24V、プラスコモン	32点	LX41C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX41-S2	DC24V、プラスコモン	32点				
	A1SX42	DC12/24V、シンク	64点	LX42C4（DC24V時）	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX42-S1	DC24V、シンク	64点	LX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
	A1SX42-S2	DC24V、シンク	64点				
	A1SX71	DC5/12/24V、シンク	32点	LX41C4（DC24V時）	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
	A1SX82-S1	DC24V、シンク	64点	LX42C4	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	64点	1台
出力	A1SY41	DC12/24V、シンク	32点	LY41NT1P	DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SY41P	DC12/24V、シンク	32点				
	A1SY42	DC12/24V、シンク	64点	LY42NT1P	DC12/24V、シンク	64点	1台
	A1SY42P	DC12/24V、シンク	64点				
	A1SY82	DC12/24V、ソース	64点	LY42PT1P	DC12/24V、ソース	64点	1台
入出力混合	A1SH42	入力：DC12/24V、シンク	32点	LH42C4NT1P（DC24V時）	入力：DC24V（DC12V不可）、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SH42P	入力：DC12/24V、シンク	32点	LH42C4NT1P（DC24V時）	入力：DC24V（DC12V不可）、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SH42-S1	入力：DC24V、シンク	32点	LH42C4NT1P	入力：DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	1台
	A1SH42P-S1	入力：DC24V、シンク	32点	LH42C4NT1P	入力：DC24V、プラス/マイナスコモン共用	32点	1台
		出力：DC12/24V、シンク	32点		出力：DC12/24V、シンク	32点	1台

変換アダプタ未対応機種（再配線が必要）

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズユニット		置換え後MELSEC-Lシリーズユニット		
	形　名	点　数	形　名	点　数	必要台数
入力	A1SX20	16点	LX28	8点	2台
	A1SX20EU				
	A1SX30	16点	LX40C6（DC24V時）	16点	1台
出力	A1SY14EU	12点	LY10R2	16点	1台
複合入出力	A1SX48Y18	入力8点＋出力8点	LX40C6＋LY10R2	16点＋16点	1台＋1台
	A1SX48Y58	入力8点＋出力8点	LX40C6＋LY40NT5P	16点＋16点	1台＋1台
出力	A1SY18A	8点	LY18R2A	8点	1台
	A1SY18AEU				
	A1SY28A	8点	LY28S1A	8点	1台
	A1SY28EU				
	A1SY60	16点	MELSEC-Lシリーズに該当するユニットがありません。		
	A1SY60E				
	A1SY68A	8点			
	A1SY71	32点			
ダイナミック入力	A1S42X	16/32/48/64点			
ダイナミック出力	A1S42Y	16/32/48/64点			

アナログユニット用

1ユニットタイプ

入力/出力	置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ			
			形　名	形　状		チャンネル数
				MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC-Lシリーズ	
入力	A1S64AD	L60AD4	ERNT-ASLT64AD	端子台（20点）	端子台（18点）	4チャンネル
出力	A1S62DA	L60DA4	ERNT-ASLT62DA			2チャンネル

注）上記のインテリジェント機能ユニット以外は変換アダプタ未対応ですので、再配線が必要です。

高速カウンタユニット用

1ユニットタイプ

置換え前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ			
		形　名	形　状		チャンネル数
			MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC-Lシリーズ	
A1SD61	LD62	ERNT-ASLTD61	端子台（20点）	コネクタ（40P）	1チャンネル
A1SD62	LD62	ERNT-ASLTD62			2チャンネル

ベースアダプタ

ベースアダプタの横幅寸法は、置換え前のMELSEC-AnSシリーズベースユニットと同じです。そのため、スペースユニット（LG69）を使用しない場合でも、以下の注意事項があります。

基本/増設	置換え前MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	ベースアダプタ形名	置換え時の注意事項
基本	A1S38B	ERNT-ASLB38	—
	A1S38HB		
	A1S35B	ERNT-ASLB35	—
	A1S33B	ERNT-ASLB33	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は2ユニット（※）となります。
	A1S32B	ERNT-ASLB32	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は1ユニット（※）となります。
	A1SJCPU	ERNT-ASLBJ	—
	A1SJCPU-S3		
	A1SJHCPU		
	A1S68B	ERNT-ASLB68	—
増設	A1S65B	ERNT-ASLB65	—
	A1S58B	ERNT-ASLB58	—
	A1S55B	ERNT-ASLB55	—
	A1S52B	ERNT-ASLB52	装着できるユニット数は1ユニット（※）となります。

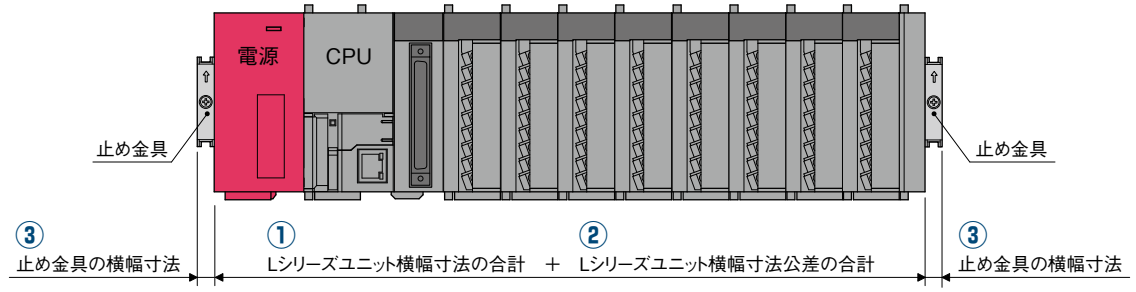
※横幅寸法が28.5mmのユニット

置換え時の取付け方法の選定

MELSEC-Lシリーズは、ベースレスによるユニット同士を連結する構造です。そのため各ユニットの横幅寸法公差を考慮して、置換え後システムの横幅寸法を計算する必要があります。横幅寸法の計算結果により取付け方法（ベースアダプタまたはDINレール）が決まります。

◎置換え後システムの横幅寸法の計算

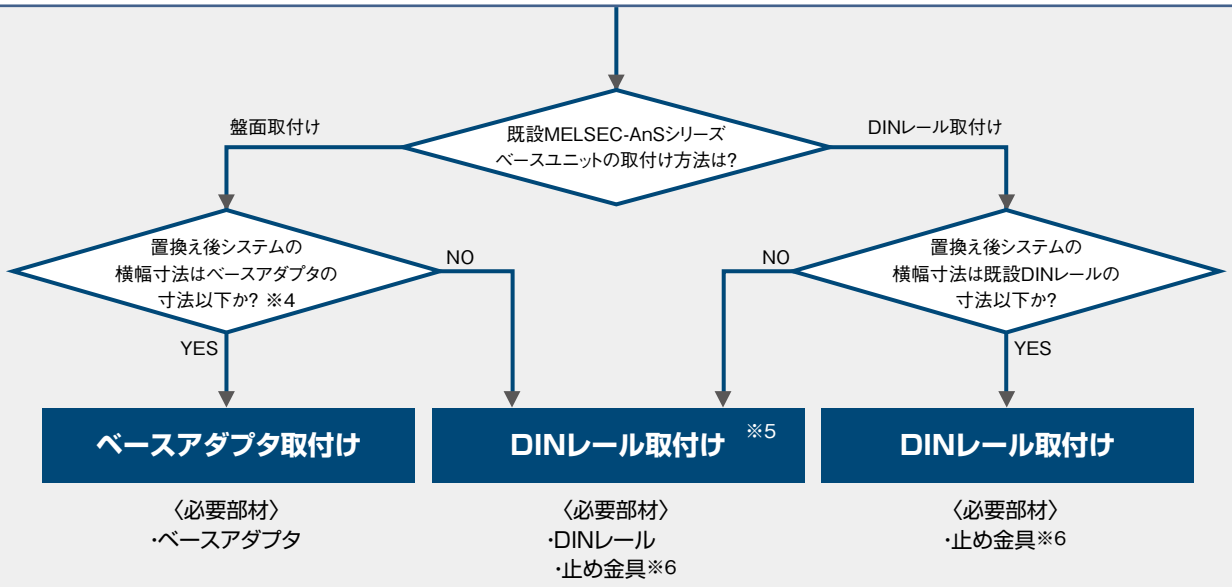
システムの横幅寸法を下式により計算してください。



① **Lシリーズユニット横幅寸法の合計**※1 ＋ ② **Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計**※2 ＋ ③ **止め金具の横幅寸法**※3

横幅寸法の自動計算

当社Webサイトにて提供している「リニューアル機器選定ツール」により、機種を選定するだけで自動的に横幅寸法を計算できます。



※1：Lシリーズユニットのマニュアルに記載の寸法
※2：Lシリーズユニット横幅寸法に対する寸法公差（ユニット1台あたりの値）

Lシリーズユニット横幅寸法	寸法公差
28.5mm以下	＋0.5mm（ユニット1台あたり）
28.5mmを超える	＋1.0mm（ユニット1台あたり）

※3：使用する止め金具の横幅寸法（ベースアダプタに付属の止め金具の場合は1個あたり9mmのため2個で18mm）
※4：各ベースアダプタの横幅寸法

ベースアダプタ形名	横幅寸法（mm）
ERNT-ASLB38	430
ERNT-ASLB35	325
ERNT-ASLB33	255
ERNT-ASLB32	220
ERNT-ASLBJ	330
ERNT-ASLB68	420
ERNT-ASLB65	315
ERNT-ASLB58	365
ERNT-ASLB55	260
ERNT-ASLB52	155

※5：置換え後システムが取付けスペース（横幅）に収まらない場合、システムの一部を増設ブロックに分割して接続することをご検討ください。
※6：DINレールに装着できる止め金具（ユーザ手配品）を使用してください。

(例) 入出力ユニット8台装着したA1S38Bから置換える場合

◎スペースユニットを使用しない置換えの場合

(a) ベースアダプタERNT-ASLB38の横幅寸法:430mm
(b) 置換え後の横幅寸法
①電源ユニット　:　45mm(寸法公差+1.0mm)
②CPUユニット　:　70mm(寸法公差+1.0mm)
③入出力ユニット :　28.5mm(寸法公差+0.5mm) ×8台
④ENDカバー　:　13mm(寸法公差+0.5mm)
⑤止め金具　:　9mm　×2個

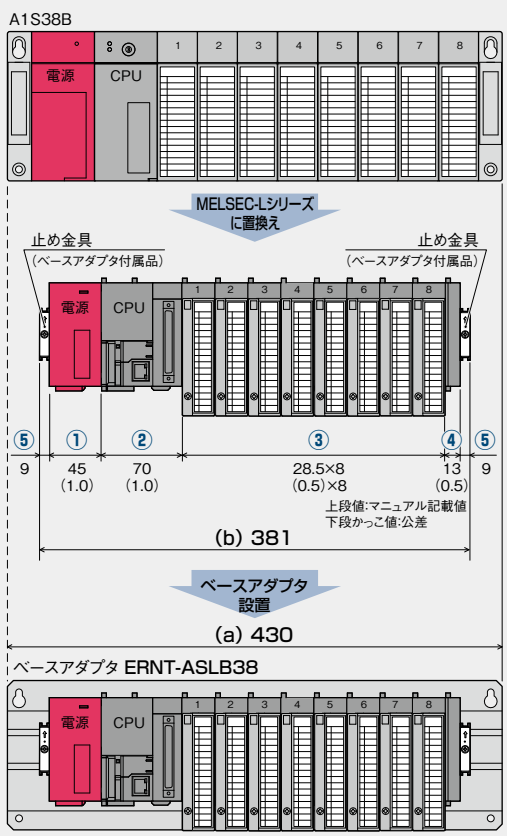
(45+70+28.5×8+13)+(1.0+1.0+0.5×8+0.5)+(9×2)
Lシリーズユニット横幅寸法の合計 / Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計 / 止め金具横幅寸法

=356+6.5+18
=380.5mm≒Max.381mm

(a)430mm ≧ (b)381mm

ベースアダプタ**ERNT-ASLB38**の寸法430mm以下のためベースアダプタによる取付けが可能です。

単位:mm



◎スペースユニットを使用する置換えの場合

(a) ベースアダプタERNT-ASLB38の横幅寸法:430mm
(b) 置換え後の横幅寸法
①電源ユニット　:　45mm(寸法公差+1.0mm)
②CPUユニット　:　70mm(寸法公差+1.0mm)
③スペースユニット :　16.5mm(寸法公差+0.5mm)×8台
④入出力ユニット　:　28.5mm(寸法公差+0.5mm)×8台
⑤ENDカバー　:　13mm(寸法公差+0.5mm)
⑥止め金具　:　9mm　×2個

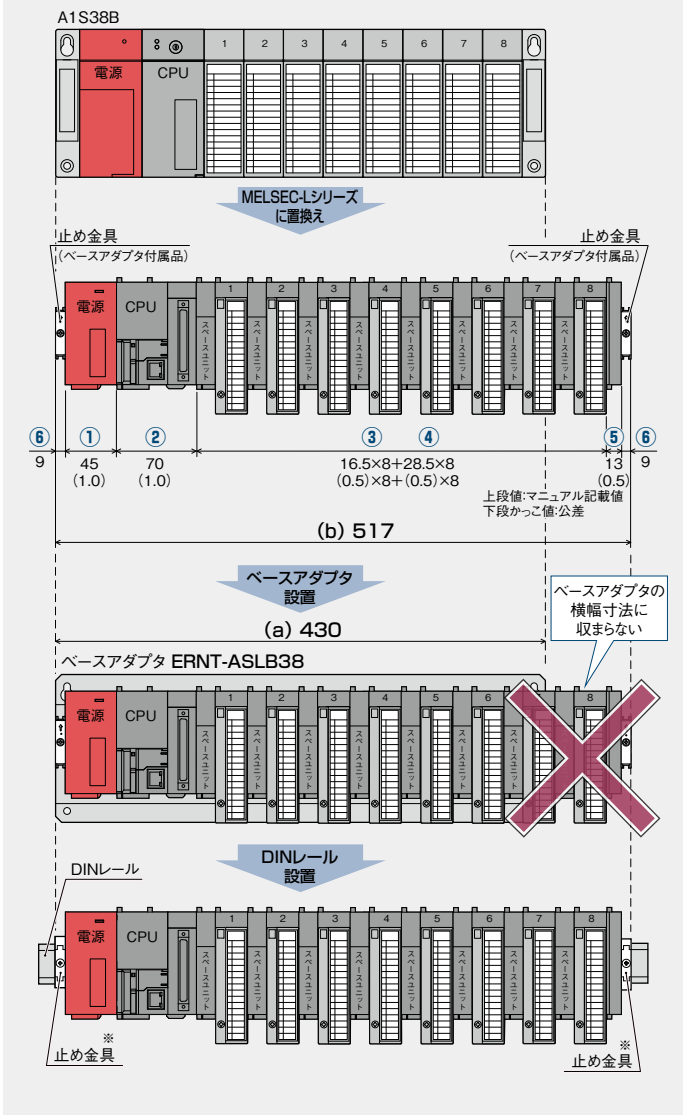
(45+70+16.5×8+28.5×8+13)+(1.0+1.0+0.5×8+0.5×8+0.5)+(9×2)
Lシリーズユニット横幅寸法の合計 / Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計 / 止め金具横幅寸法

=488+10.5+18
=516.5mm≒Max.517mm

(a)430mm < (b)517mm

ベースアダプタ**ERNT-ASLB38**の寸法430mmを超えるためDINレール取付けになります。

単位:mm



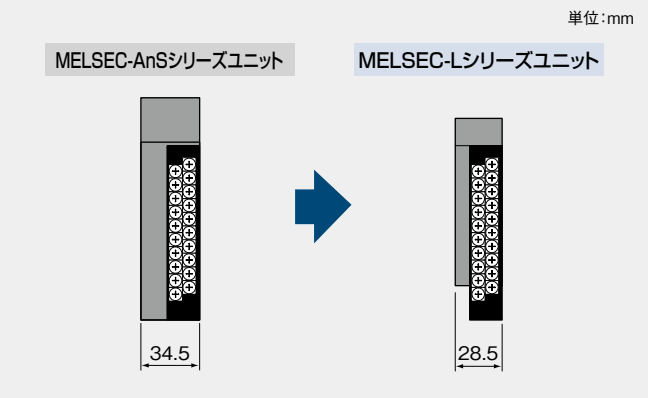
※:DINレールに装着できる止め金具(ユーザ手配品)を使用してください。

ご使用上の注意点

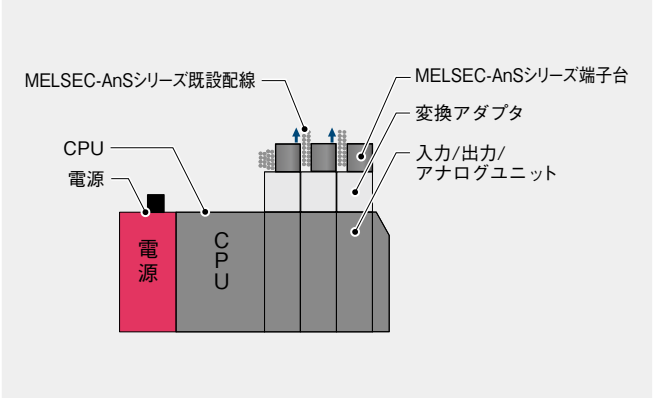
変換アダプタは、MELSEC-AnSシリーズユニットからMELSEC-Lシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
ご使用前にマニュアルをご確認ください。(当社Webサイトよりダウンロード可)
MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレスなどの差異を確認するため、必ずMELSEC-Lシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからLシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→28.5mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

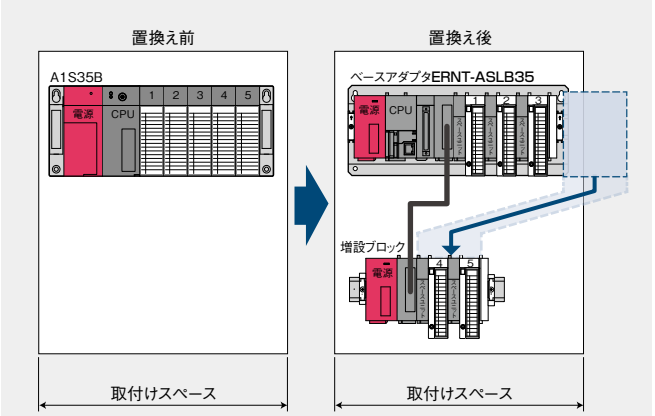


(2) 配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。

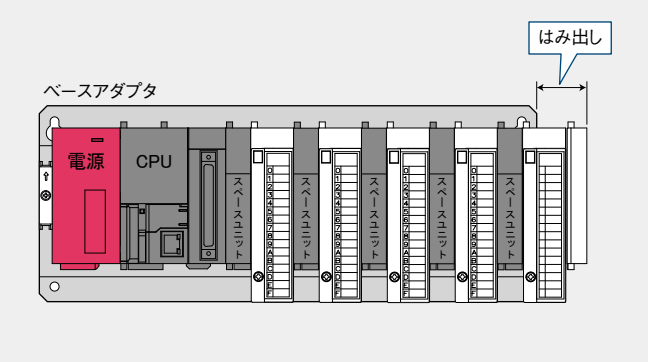


(3) 上記(2)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製スペースユニット(LG69)の使用をご検討ください。→P.17

(4) 置換え後システムが取付けスペース(横幅)に収まらない場合、増設ブロックに分岐接続する構成をご検討ください。



(5) MELSEC-Lシリーズシステムがベースアダプタの横幅寸法をはみ出した状態で使用しないでください。

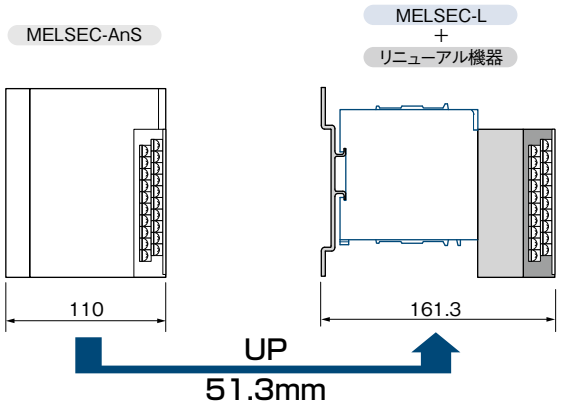
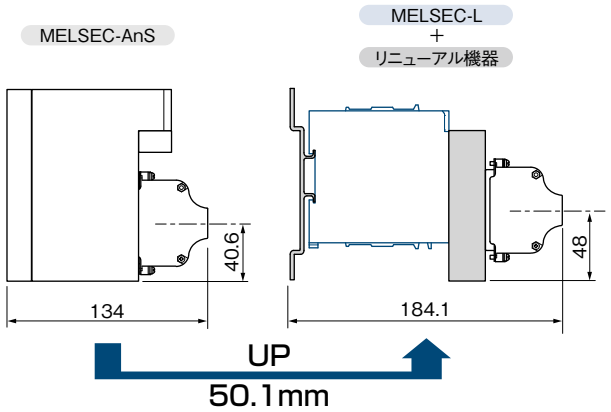


奥行き・高さ

ベースアダプタ取付け時

奥行き寸法が50.1～51.3mm大きくなります。

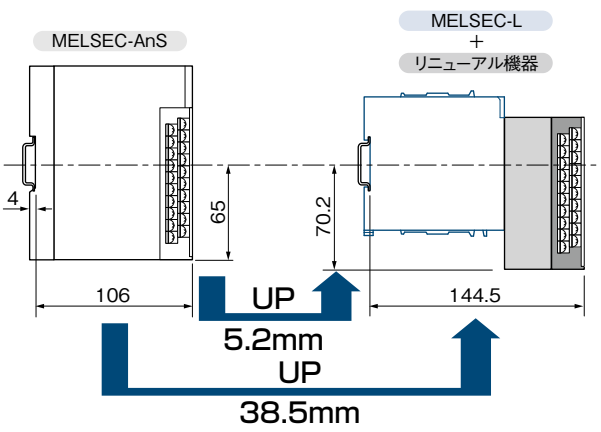
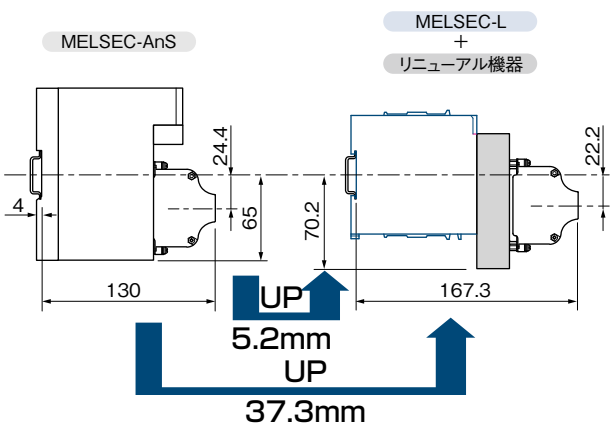
MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-L :MELSEC-Lシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASLTXY10 ERNT-ASLTX40 ERNT-ASLTX80 ERNT-ASLTY22 ERNT-ASLTY40 ERNT-ASLTY50	ERNT-ASLTY80 ERNT-ASLT64AD ERNT-ASLT62DA ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62	ERNT-ASLCXY81
寸法 奥行き	51.3mm UP		50.1mm UP
取付け図			

DINレール取付け時

奥行き寸法が37.3～38.5mm大きくなります。
高さ寸法が下側へ5.2mm大きくなります。

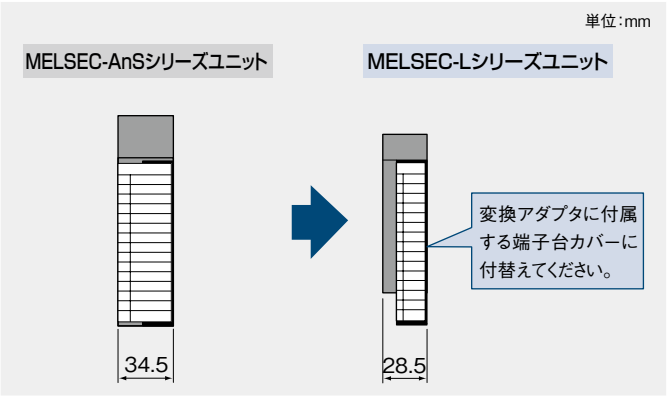
MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-L :MELSEC-Lシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASLTXY10 ERNT-ASLTX40 ERNT-ASLTX80 ERNT-ASLTY22 ERNT-ASLTY40 ERNT-ASLTY50	ERNT-ASLTY80 ERNT-ASLT64AD ERNT-ASLT62DA ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62	ERNT-ASLCXY81
寸法 奥行き	38.5mm UP		37.3mm UP
寸法 高さ	5.2mm UP		5.2mm UP
取付け図			

端子台カバー

MELSEC-AnSシリーズの端子台カバーはMELSEC-Lシリーズのユニット幅よりも大きいため、変換アダプタに付属する端子台カバーに付替える必要があります。

単位:mm



MEMO

省配線・省工数機器を活用したリニューアル方法

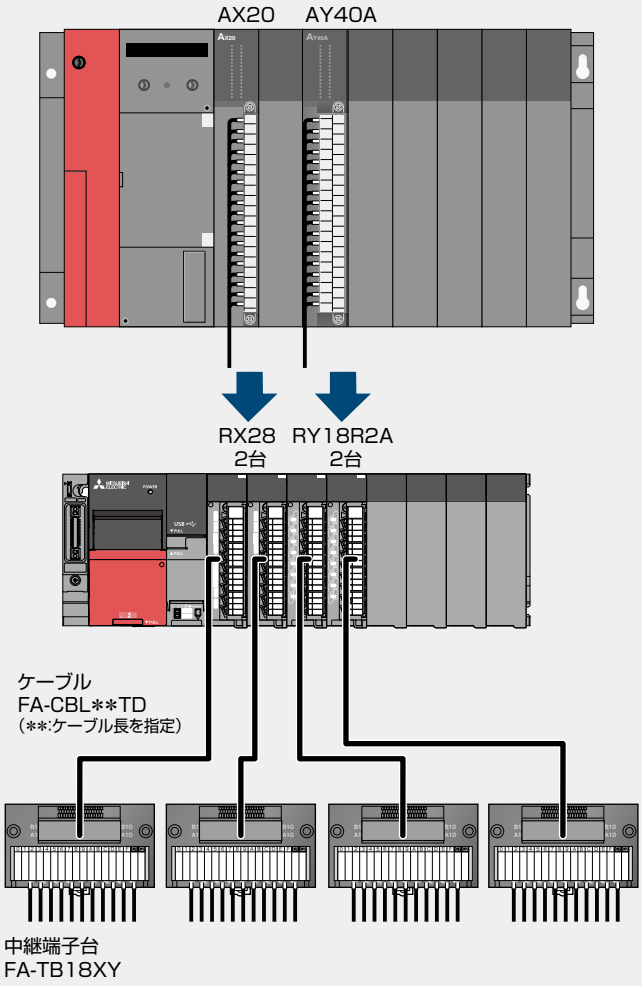
置換え後シリーズにラインアップのないユニットや、変換アダプタ未対応の入力/出力ユニットについて、当社製「省配線・省工数機器」を活用することで、配線工数を最小限に置換えできます。

MELSEC-A/QnAシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

提案【1】
中継端子台を使用

◎中継端子台使用例

例)AX20→RX28 × 2台で置換え、
AY40A→RY18R2A × 2台で置換え

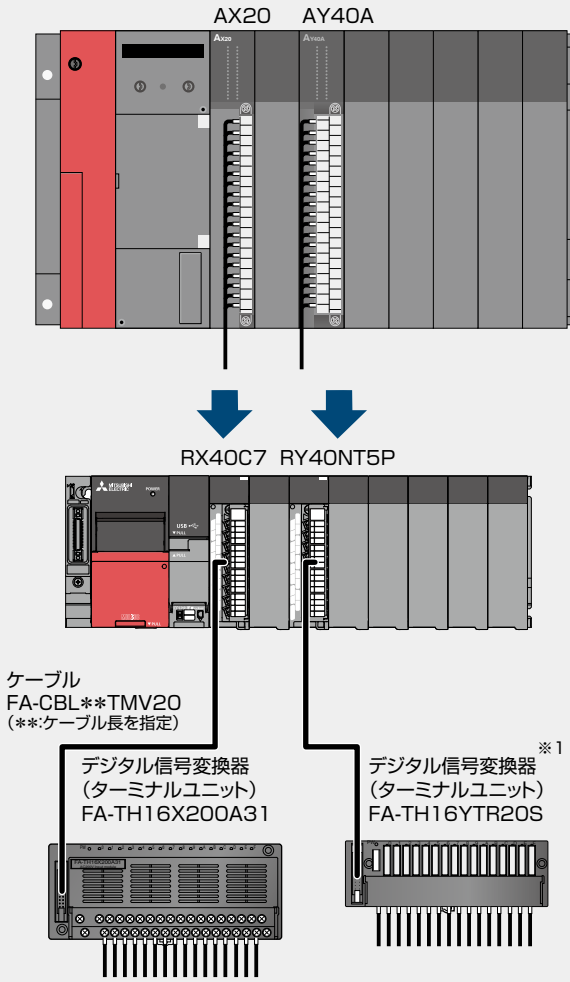


掲載ページ
リニューアル方法→P.75
置換え機種一覧→P.78～P.79

提案【2】
デジタル信号変換器(ターミナルユニット)を使用

◎デジタル信号変換器(ターミナルユニット)使用例

例)AX20→RX40C7 × 1台で置換え、
AY40A→RY40NT5P × 1台で置換え



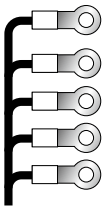
掲載ページ
リニューアル方法→P.76
入力タイプ置換え機種一覧→P.78～P.79
出力タイプ置換え機種一覧→P.78～P.79

※1.電線の圧着端子(丸形/Y形端子)をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

中継端子台

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットを中継端子台を使用して置換えた場合

②圧着端子の確認



・圧着端子形名または寸法を確認します。
・中継端子台適合圧着端子以外は変更が必要です。

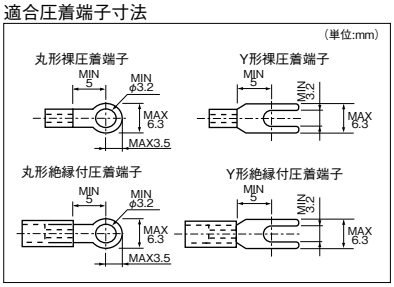
ユニット使用圧着端子

・R1.25-3
・RAV1.25-3

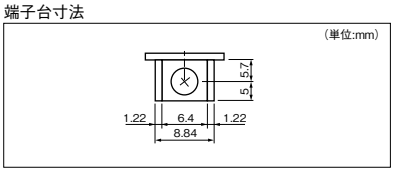
中継端子台適合圧着端子

種類		丸形		Y形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG¼1.25-3N TG¼1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG¼1.25Y-3 TG¼1.25Y-3N TG¼1.25Y-3L TG¼1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG¼2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG¼2Y-3 TG¼2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

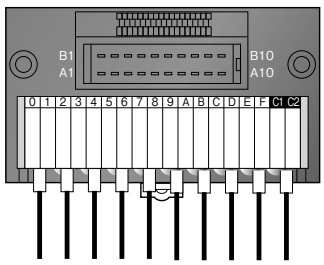


端子台寸法

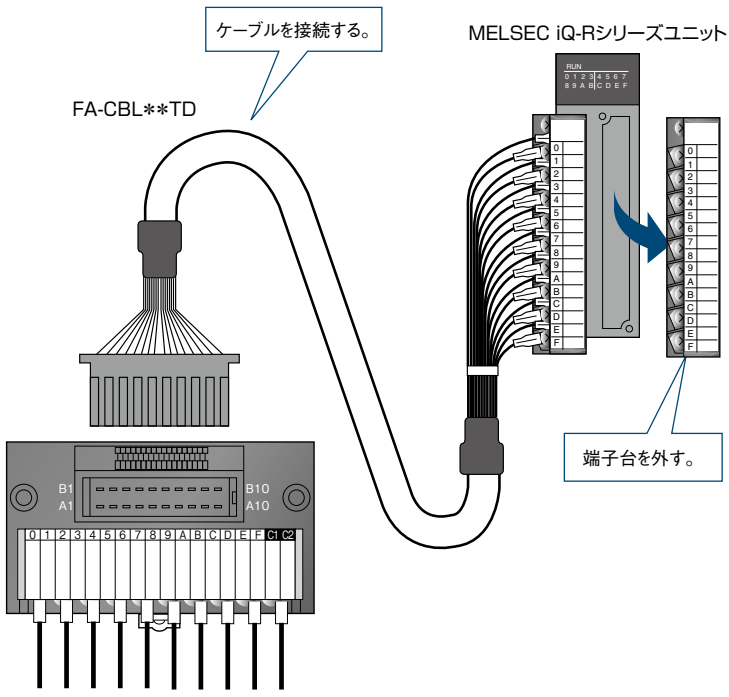


③中継端子台に配線

FA-TB18XY



④ユニット間をケーブルで接続



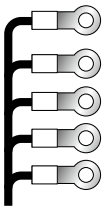
注意事項

●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットをデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用して置換えた場合

②圧着端子の確認



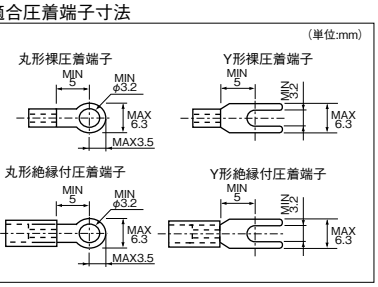
・圧着端子形名または寸法を確認します。
・デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子以外は変更が必要です。
圧着端子が適合しなかった場合
AX50、AX50-S1、AX60、AX60-S1をリニューアルする場合
（適合するデジタル信号変換器（ターミナルユニット）がM3.5のため）

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3
・RAV1.25-3

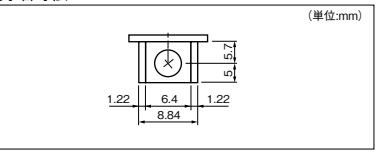
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）M3ネジ 7.62mmピッチ適合圧着端子

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG㌧1.25-3N TG㌧1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG㌧1.25Y-3 TG㌧1.25Y-3N TG㌧1.25Y-3L TG㌧1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG㌧2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG㌧2Y-3 TG㌧2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

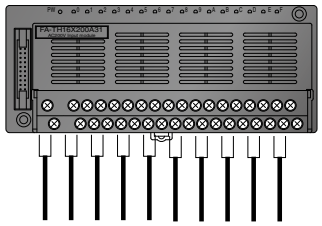


端子台寸法

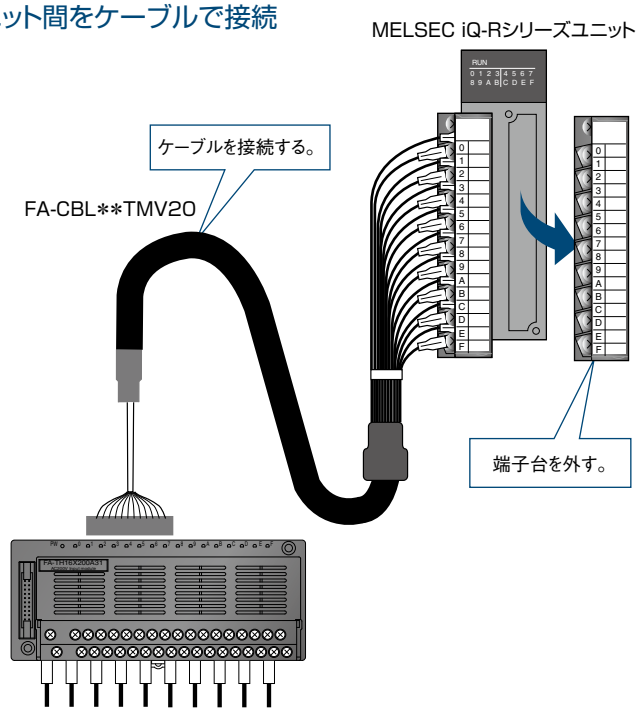


③デジタル信号変換器（ターミナルユニット）に配線

FA-TH16X200A31



④ユニット間をケーブルで接続

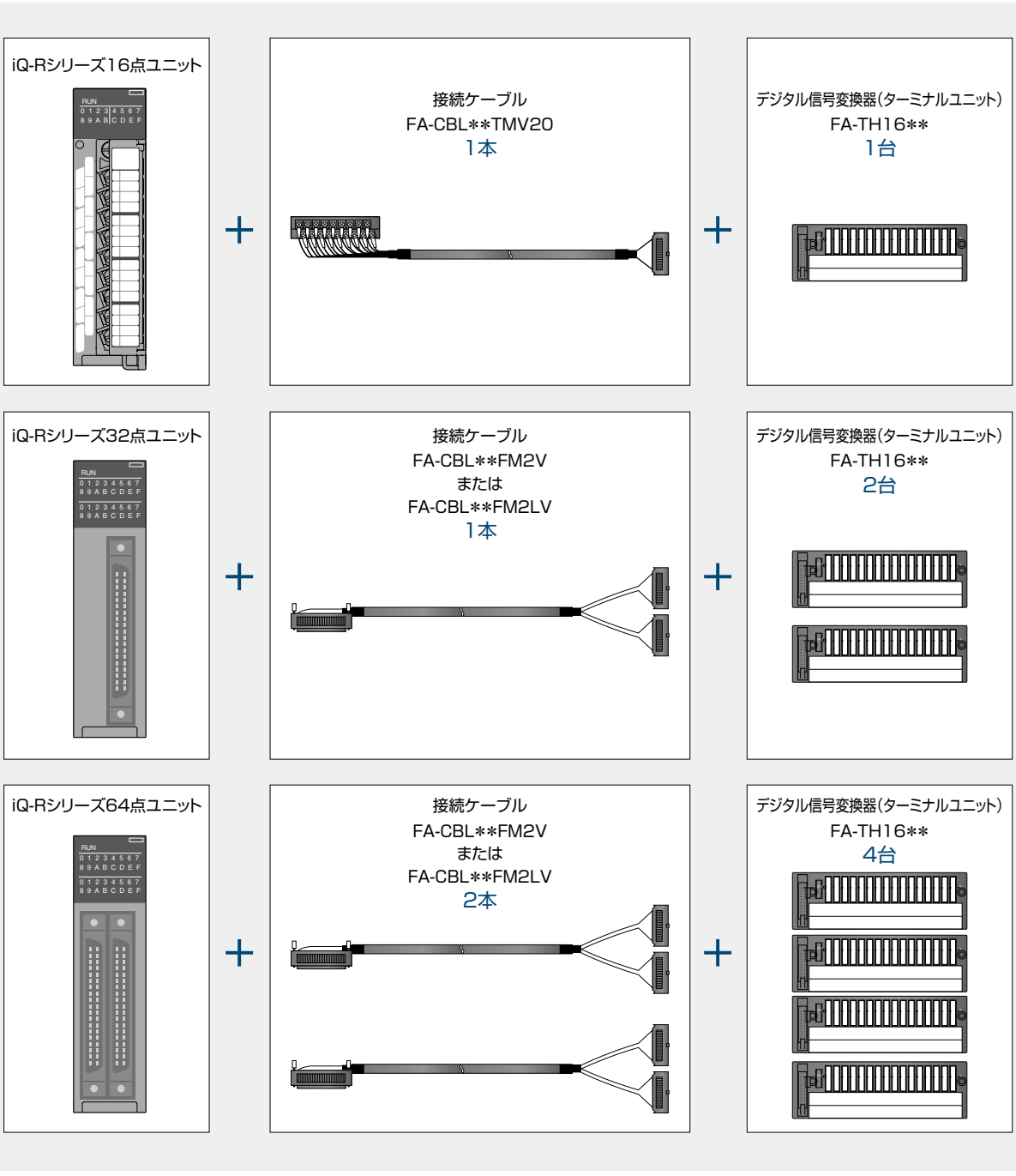


注意事項

●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

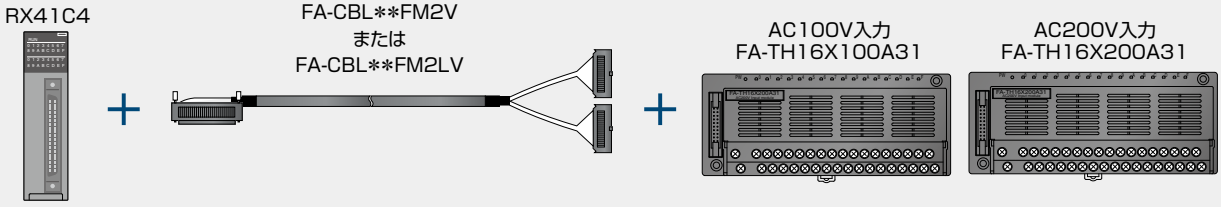
入出力点数によるユニット・ケーブル使用数

iQ-Rシリーズ入出力ユニット使用時のデジタル信号変換器（ターミナルユニット）・接続ケーブルの使用数についてデジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点のため、シーケンサのI/O点数により接続ケーブルとユニットの使用数が変わります。
16点タイプ、32点タイプ、64点タイプシーケンサI/Oに対する使用数を以下に記します。



デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用するメリット

●デジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点ユニットでシーケンサ側と外線側で絶縁されています。
そのため、16点ごとに異なるデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用することもできます。



中継端子台を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え			
						MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	端　子		形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	AX20	AC200V、16点/1コモン	16点	20P	→	RX28	AC100-240V、8点/1コモン	8点	2
	AX21	AC200V、32点/1コモン	32点	38P					4
出力	AY40A	トランジスタ出力、DC12/24V 0.3A、独立コモン、シンクタイプ	16点	38P		RY18R2A	接点出力、AC240V/DC24V 2A、独立コモン	8点	2
	AY60	トランジスタ出力、DC24/(12/48)V 2A、8点/1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付		20P	→	RY10R2	接点出力、AC240V/DC24V 2A、16点/1コモン	16点	1
	AY60E	トランジスタ出力、DC24/(12)V 2A、DC48V 0.8A、8点/1コモン、ソースタイプ、ヒューズ付							
	AY60S	トランジスタ出力、DC24/48/(12)V 2A、8点/1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付							

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）入力を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え							
						MELSEC iQ-Rシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）				
入力タイプ	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数	
AC200V入力	AX20	AC200-240V入力、16点/1コモン 入力電流10mA	16点	1	→	RX40C7	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X200A31	1	
				2		RX41C4	32点		FA-CBL**FM2V	1		2	
				4		RX42C4	64点			2		4	
	AX21	AC200-240V入力、32点/1コモン 入力電流10mA	32点	1		RX41C4	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16X200A31	2	
				2		RX42C4	64点			2		4	
DC48V入力	AX50	DC48V入力、8点/1コモン、シンク 入力電流4mA	16点	1	→	RX40C7	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X48D31L	1	
	AX50-S1	DC48V入力、8点/1コモン、シンク/ソース 入力電流4mA		2		RX41C4	32点		FA-CBL**FM2V	1		2	
				4		RX42C4	64点			2		4	
DC100V入力	AX60	DC100/110/125V入力、8点1コモン シンク、入力電流2mA	16点	1		RX40C7	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X100D31L	1	
	AX60-S1	DC100/110/125V入力、8点1コモン シンク/ソース、入力電流2mA		2		RX41C4	32点		FA-CBL**FM2V	1		2	
				4		RX42C4	64点			2		4	

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）出力を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え							
						MELSEC iQ-Rシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）				
出力タイプ	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数	
トランジスタ出力	AY40A	DC12/24V 0.3A、独立コモン シンクタイプ	16点	1	→	RY40NT5P	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16YTR20S※1	1	
				2		RY41NT2P	32点		FA-CBL**FM2V	1		2	
				4		RY42NT2P	64点			2		4	

※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え							
	中継端子台							
	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点　数	端　子	備　考
	FA-CBL**TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換（8点変換、1線式）	8点	18P	・8点のため2台必要
		4		4				・8点のため4台必要
	FA-CBL**TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	・8点のため2台必要 ・DC48Vは使用不可
		1	FA-TB161AC	1	18点端子変換（16点変換、1線式）	16点	18P	・トランジスタ出力から接点出力になります。 ・ヒューズ無
			FA-TB161ACC2		34点端子変換（16点変換、2線式）			
			FA-TB161AC		18点端子変換（16点変換、1線式）			
			FA-TB161ACC2		34点端子変換（16点変換、2線式）			
			FA-TB161AC		18点端子変換（16点変換、1線式）			
			FA-TB161ACC2		34点端子変換（16点変換、2線式）			

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え		
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）		
	仕　様	配線上の注意事項	備　考
	AC200-220V入力、16点/1コモン 入力電流約7.5mA	—	・入力電圧200-220Vとなります。 ・入力電流10mAに対し、7.5mAとなります。 ・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
	DC48V入力、16点/1コモン、シンク/ソース 入力電流約5mA	・8点1コモンとして使用できません。 ・端子台はM3.5ネジを使用しています。	・入力電流4mAに対し、5mAとなります。 ・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
	DC100/110V入力、16点/1コモン 入力電流2.5mA	・8点1コモンとして使用できません。 ・端子台はM3.5ネジを使用しています。	・入力電圧DC100/110Vとなります。 ・入力電流2mAに対し、2.5mAとなります。 ・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。

**:ケーブル長です。

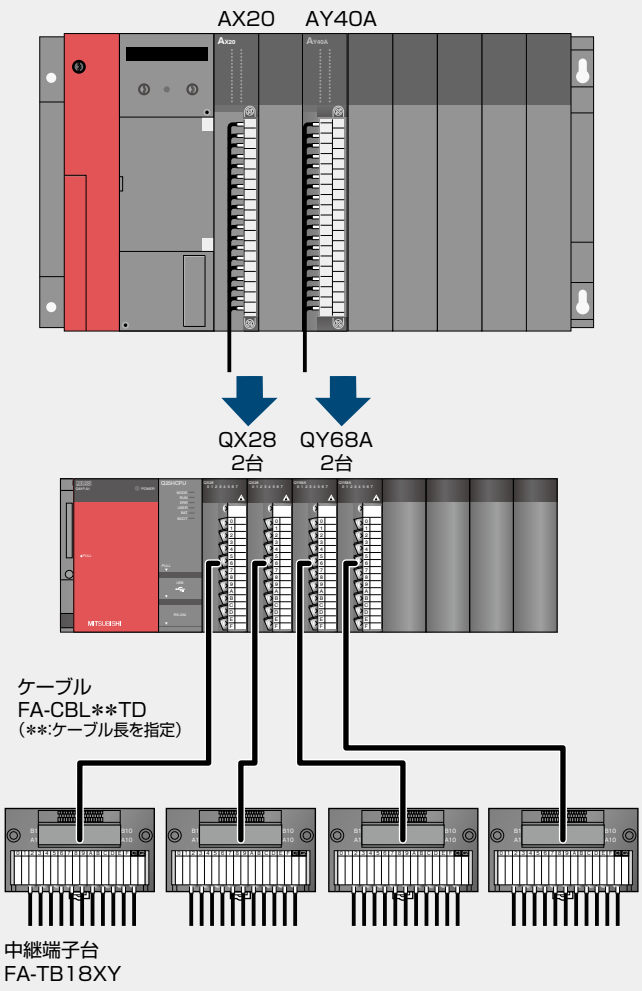
	省配線・省工数機器を使用した置換え	
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）	
	仕　様	備　考
	DC3-30V 1A、独立コモン （ソケットタイプでトランジスタ交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。

MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え

提案【1】
中継端子台を使用

◎中継端子台使用例

例）AX20→QX28 × 2台で置換え、
AY40A→QY68A × 2台で置換え

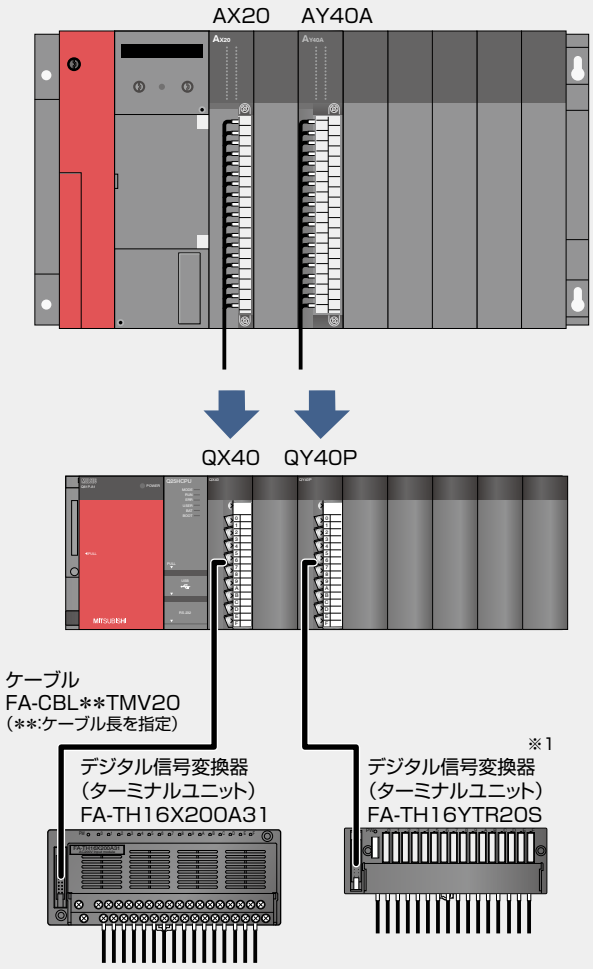


掲載ページ
リニューアル方法→P.81
置換え機種一覧→P.84～P.85

提案【2】
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用

◎デジタル信号変換器（ターミナルユニット）使用例

例）AX20→QX40 × 1台で置換え、
AY40A→QY40P × 1台で置換え



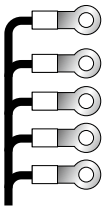
掲載ページ
リニューアル方法→P.82
入力タイプ置換え機種一覧→P.84～P.85
出力タイプ置換え機種一覧→P.84～P.85

※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

中継端子台

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットを中継端子台を使用して置換えた場合

②圧着端子の確認



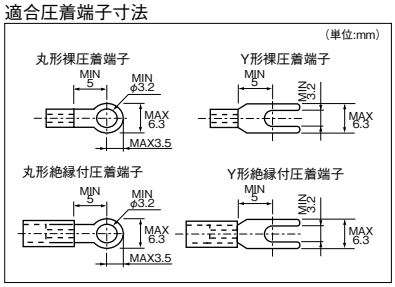
・圧着端子形名または寸法を確認します。
・中継端子台適合圧着端子以外は変更が必要です。

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3
・RAV1.25-3

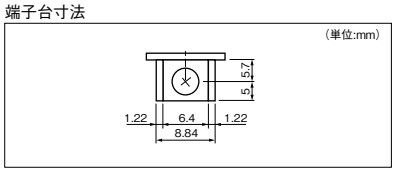
中継端子台適合圧着端子

種類		丸形		Y形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG¼1.25-3N TG¼1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG¼1.25Y-3 TG¼1.25Y-3N TG¼1.25Y-3L TG¼1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG¼2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG¼2Y-3 TG¼2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

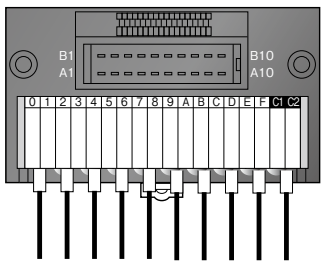


端子台寸法

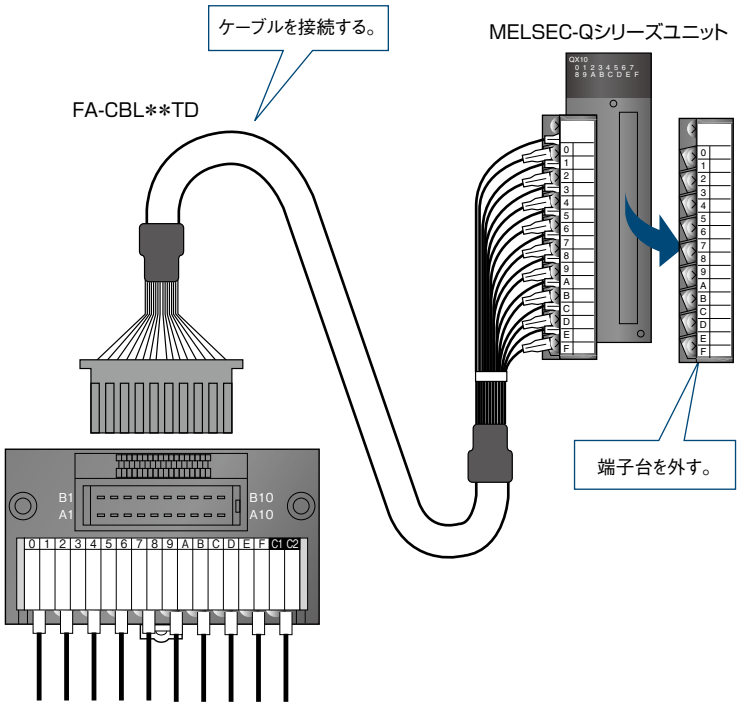


③中継端子台に配線

FA-TB18XY



④ユニット間をケーブルで接続



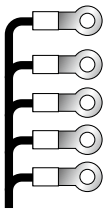
注意事項

●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットをデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用して置換えた場合

②圧着端子の確認



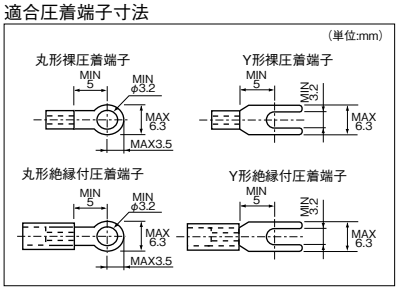
・圧着端子形名または寸法を確認します。
・デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子以外は変更が必要です。
　圧着端子が適合しなかった場合
　AX60、AX60-S1をリニューアルする場合
　（適合するデジタル信号変換器（ターミナルユニット）がM3.5のため）

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3
・RAV1.25-3

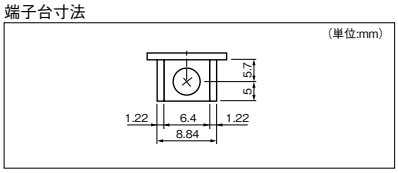
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）M3ネジ 7.62mmピッチ適合圧着端子

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG㈱1.25-3N TG㈱1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG㈱1.25Y-3 TG㈱1.25Y-3N TG㈱1.25Y-3L TG㈱1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG㈱2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG㈱2Y-3 TG㈱2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

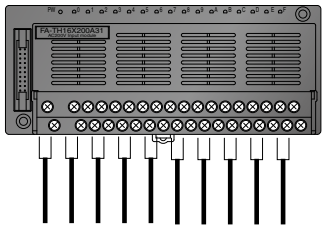


端子台寸法

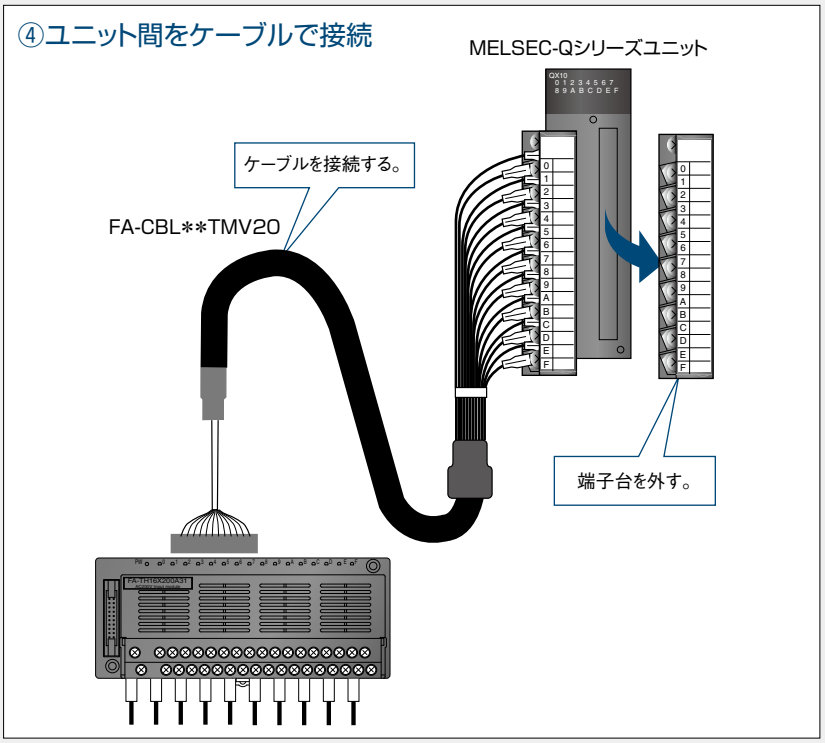


③デジタル信号変換器（ターミナルユニット）に配線

FA-TH16X200A31



④ユニット間をケーブルで接続



注意事項

●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

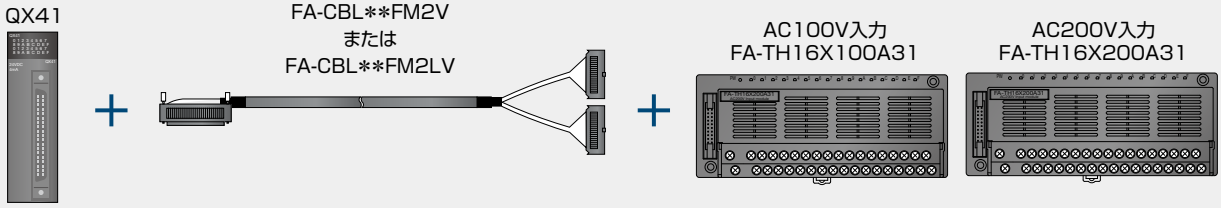
入出力点数によるユニット・ケーブル使用数

Qシリーズ入出力ユニット使用時のデジタル信号変換器（ターミナルユニット）・接続ケーブルの使用数についてデジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点のため、シーケンサのI/O点数により接続ケーブルとユニットの使用数が変わります。
16点タイプ、32点タイプ、64点タイプシーケンサI/Oに対する使用数を以下に記します。

Qシリーズ16点ユニット	＋	接続ケーブル FA-CBL**TMV20 1本	＋	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 1台
Qシリーズ32点ユニット	＋	接続ケーブル FA-CBL**FM2V または FA-CBL**FM2LV 1本	＋	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 2台
Qシリーズ64点ユニット	＋	接続ケーブル FA-CBL**FM2V または FA-CBL**FM2LV 2本	＋	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 4台

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用するメリット

●デジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点ユニットでシーケンサ側と外線側で絶縁されています。
そのため、16点ごとに異なるデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用することも可能です。



中継端子台を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	端　子		形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	AX20	AC200V、16点/1コモン	16点	20P	→	QX28	AC100-240V、8点/1コモン	8点	2
入力	AX21	AC200V、32点/1コモン	32点	38P	→	QX28	AC100-240V、8点/1コモン	8点	4
出力	AY40A	トランジスタ出力、DC12/24V 0.3A、独立コモン、シンクタイプ	16点	38P	→	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク/ソース共用	8点	2
出力	AY60	トランジスタ出力、DC24/(12/48)V 2A、8点/1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付	16点	20P	→	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク/ソース共用	8点	2
出力	AY60E	トランジスタ出力、DC24/(12)V 2A、DC48V 0.8A、8点/1コモン、ソースタイプ、ヒューズ付	16点	20P	→	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク/ソース共用	8点	2
出力	AY60S	トランジスタ出力、DC24/48/(12)V 2A、8点/1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付	16点	20P	→	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク/ソース共用	8点	2

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）入力を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）			
入力タイプ	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
AC200V入力	AX20	AC200-240V入力、16点/1コモン 入力電流10mA	16点	1	→	QX40	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X200A31	1
AC200V入力	AX20	AC200-240V入力、16点/1コモン 入力電流10mA	16点	2	→	QX41	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16X200A31	2
AC200V入力	AX20	AC200-240V入力、16点/1コモン 入力電流10mA	16点	4	→	QX42	64点	1	FA-CBL**FM2V	2	FA-TH16X200A31	4
AC200V入力	AX21	AC200-240V入力、32点/1コモン 入力電流10mA	32点	1	→	QX41	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16X200A31	2
AC200V入力	AX21	AC200-240V入力、32点/1コモン 入力電流10mA	32点	2	→	QX42	64点	1	FA-CBL**FM2V	2	FA-TH16X200A31	4
DC100V入力	AX60	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク 入力電流2mA	16点	1	→	QX40	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X100D31L	1
DC100V入力	AX60	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク 入力電流2mA	16点	2	→	QX41	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16X100D31L	2
DC100V入力	AX60	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク 入力電流2mA	16点	4	→	QX42	64点	1	FA-CBL**FM2V	2	FA-TH16X100D31L	4
DC100V入力	AX60-S1	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク/ソース、入力電流2mA	16点	1	→	QX40	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X100D31L	1
DC100V入力	AX60-S1	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク/ソース、入力電流2mA	16点	2	→	QX41	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16X100D31L	2
DC100V入力	AX60-S1	DC100/110/125V入力、8点1コモン、シンク/ソース、入力電流2mA	16点	4	→	QX42	64点	1	FA-CBL**FM2V	2	FA-TH16X100D31L	4

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）出力を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）			
出力タイプ	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
トランジスタ出力	AY40A	DC12/24V 0.3A、独立コモン シンクタイプ	16点	1	→	QY40P	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16YTR20S※1	1
トランジスタ出力	AY40A	DC12/24V 0.3A、独立コモン シンクタイプ	16点	2	→	QY41P	32点	1	FA-CBL**FM2V	1	FA-TH16YTR20S※1	2
トランジスタ出力	AY40A	DC12/24V 0.3A、独立コモン シンクタイプ	16点	4	→	QY42P	64点	1	FA-CBL**FM2V	2	FA-TH16YTR20S※1	4

※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え							
	中継端子台							
	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点　数	端　子	備　考
	FA-CBL**TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換（8点変換、1線式）	8点	18P	・8点のため2台必要
		4		4				・8点のため4台必要
	FA-CBL**TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	・8点のため2台必要 ・DC48Vは使用不可
								・8点のため2台必要 ・独立コモンのため別途渡り線が必要 ・ヒューズ無 ・DC48Vは使用不可

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え		
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）		
	仕　様	配線上の注意事項	備　考
	AC200-220V入力、16点/1コモン 入力電流約7.5mA	―	・入力電圧200-220Vとなります。 ・入力電流10mAに対し、7.5mAとなります。 ・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
	DC100/110V入力、16点/1コモン 入力電流2.5mA	・8点1コモンとして使用できません。 ・端子台はM3.5ネジを使用しています。	・入力電圧DC100/110Vとなります。 ・入力電流2mAに対し、2.5mAとなります。 ・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。

**:ケーブル長です。

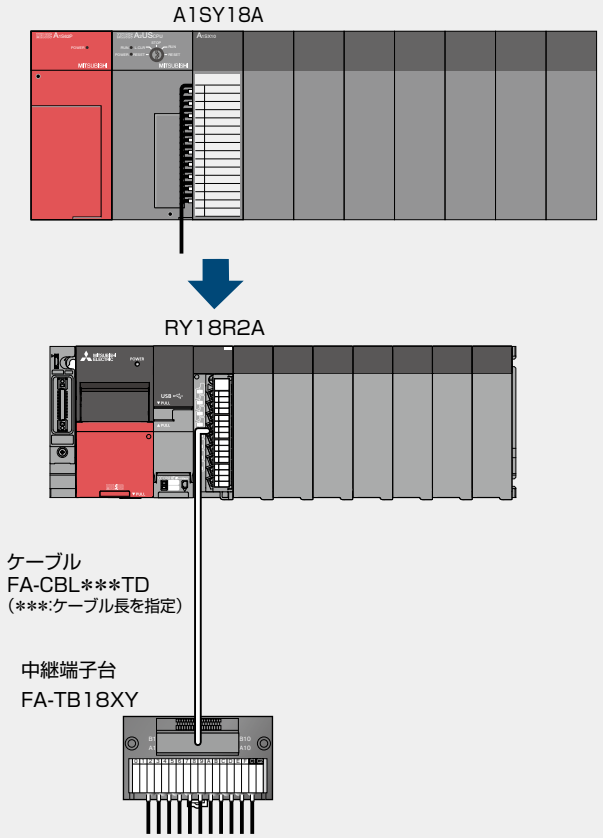
	省配線・省工数機器を使用した置換え	
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）	
	仕　様	備　考
	DC3-30V 1A、独立コモン （ソケットタイプでトランジスタ交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換え

提案【1】
中継端子台を使用

◎中継端子台使用例

例）A1SY18A→RY18R2Aで置換え

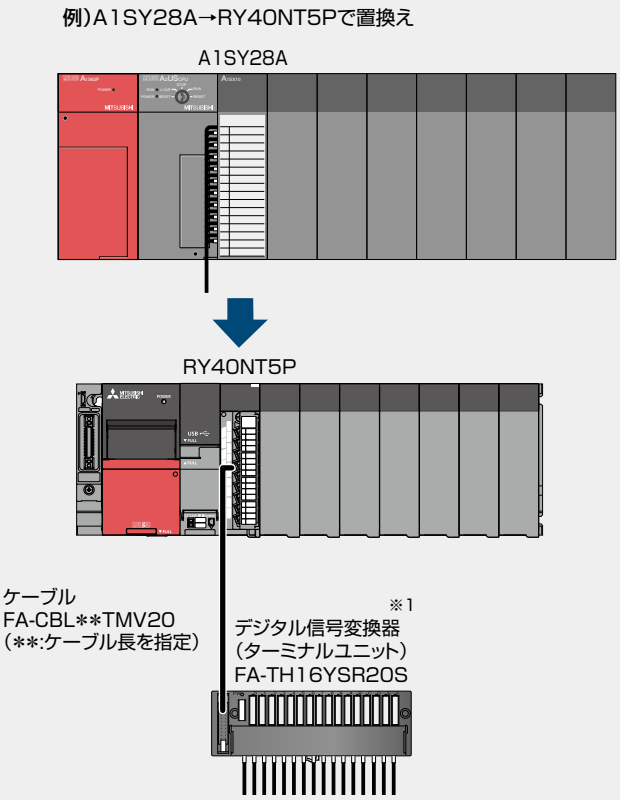


掲載ページ
リニューアル方法→P.87
置換え機種一覧→P.90～P.91

提案【2】
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用

◎デジタル信号変換器（ターミナルユニット）使用例

例）A1SY28A→RY40NT5Pで置換え

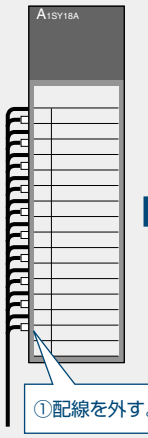


掲載ページ
リニューアル方法→P.88
置換え機種一覧→P.90～P.91

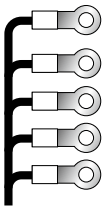
※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1SR20S1Eへ置換えできます。

中継端子台

AnSシリーズ独立8点DC24V/AC240V出力ユニットを中継端子台を使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



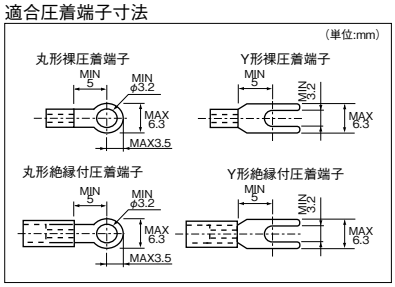
・圧着端子形名または寸法を確認します。
・中継端子台適合圧着端子以外は変更が必要です。

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3.5、R2-3.5
・RAV1.25-3.5、RAV2-3.5

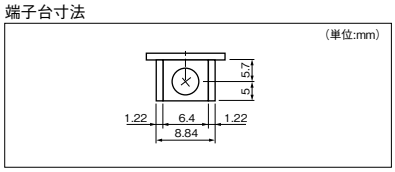
中継端子台適合圧着端子（M3ネジ 7.62mmピッチ例）

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG¼1.25-3N TG¼1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG¼1.25Y-3 TG¼1.25Y-3N TG¼1.25Y-3L TG¼1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG¼2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG¼2Y-3 TG¼2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	R1.25-3ML R1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	R2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

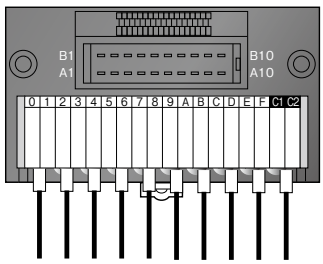
適合圧着端子寸法



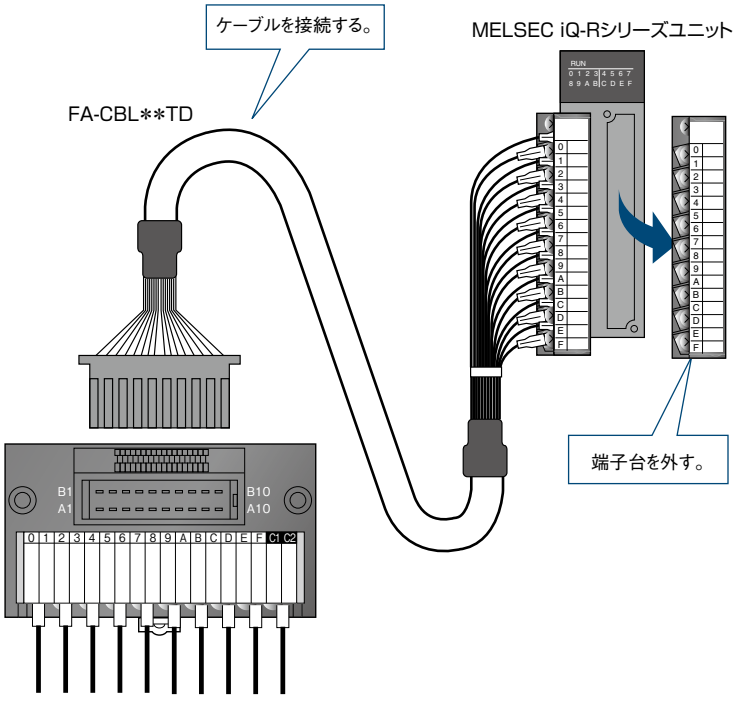
端子台寸法



③中継端子台に配線



④ユニット間をケーブルで接続

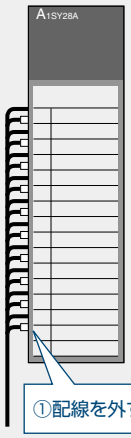


注意事項

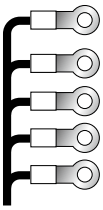
●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）

AnSシリーズ独立8点トライアック出力ユニットをデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



・圧着端子形名または寸法を確認します。
・デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子以外は変更が必要です。

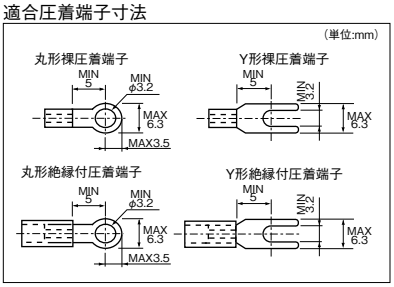
ユニット使用圧着端子

・R1.25-3.5、R2-3.5
・RAV1.25-3.5、RAV2-3.5

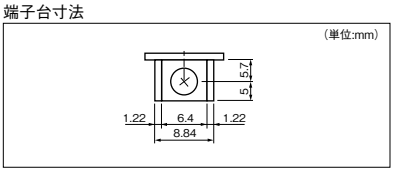
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子（M3ネジ 7.62mmピッチ例）

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG㈱1.25-3N TG㈱1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG㈱1.25Y-3 TG㈱1.25Y-3N TG㈱1.25Y-3L TG㈱1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG㈱2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG㈱2Y-3 TG㈱2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	R1.25-3ML R1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	R2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

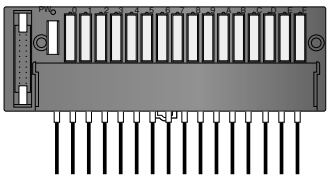


端子台寸法



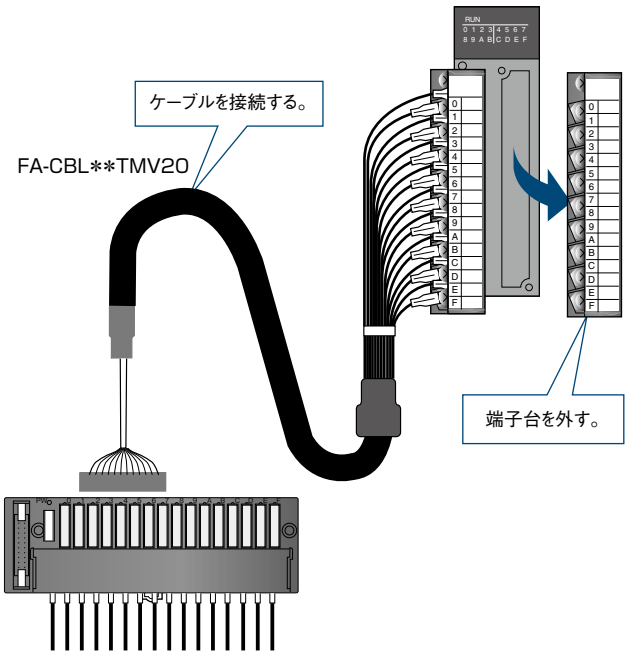
③デジタル信号変換器（ターミナルユニット）に配線

FA-TH16YSR20S



④ユニット間をケーブルで接続

MELSEC iQ-Rシリーズユニット

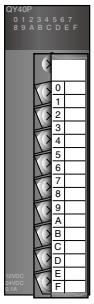


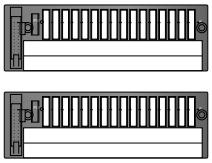
注意事項

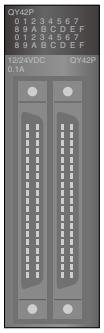
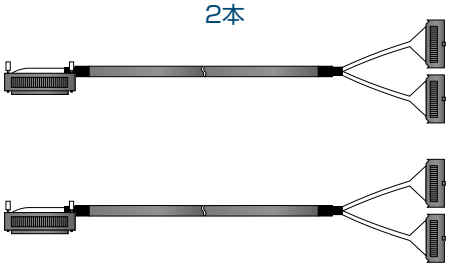
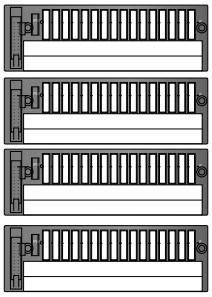
●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

入出力点数によるユニット・ケーブル使用数

iQ-Rシリーズ入出力ユニット使用時のデジタル信号変換器（ターミナルユニット）・接続ケーブルの使用数についてデジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点のため、シーケンサのI/O点数により接続ケーブルとユニットの使用数が変わります。
16点タイプ、32点タイプ、64点タイプシーケンサI/Oに対する使用数を以下に記します。

iQ-Rシリーズ16点ユニット	接続ケーブル FA-CBL**TMV20 1本	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 1台
		

iQ-Rシリーズ32点ユニット	接続ケーブル FA-CBL**FM2V または FA-CBL**FM2LV 1本	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 2台
		

iQ-Rシリーズ64点ユニット	接続ケーブル FA-CBL**FM2V または FA-CBL**FM2LV 2本	デジタル信号変換器（ターミナルユニット） FA-TH16** 4台
		

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用するメリット

●デジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点ユニットでシーケンサ側と外線側で絶縁されています。
そのため、16点ごとに異なるデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用することも可能です。

RY41NT2P

FA-CBL**FM2V
または
FA-CBL**FM2LV

a接点出力
FA-TH16YRA20S

トライアック出力
FA-TH16YSR20S

中継端子台を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-AnSシリーズユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	端　子		形　名	仕　様	点　数	必要台数
出力	A1SY18A	接点出力、DC24V/AC240V 2A 独立コモン	8点	20P	→	RY18R2A	接点出力、DC24V/AC240V 2A、 独立コモン	8点	1
	A1SY28A	トライアック、AC100-240V 1A 独立コモン				RY20S6	トライアック出力、AC100-240V 0.6A 16点/1コモン、サージキラー付	16点	
	A1SY28EU	トライアック、AC100-240V 0.6A 4点/1コモン							
	A1SY68A	トランジスタ出力、DC5/12/24/48V 2A 独立コモン、シンク/ソースタイプ				RY18R2A	接点出力、DC24V/AC240V 2A、 独立コモン	8点	

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-AnSシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC iQ-Rシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）			
	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
出力	A1SY18A	接点出力、DC24V/AC240V 2A 独立コモン	8点	1	→	RY40NT5P	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16YRA20S※1	1
	A1SY28A	トライアック、AC100-240V 1A 独立コモン									FA-TH16YSR20S※2	
	A1SY28EU	トライアック、AC100-240V 0.6A 4点/1コモン										
	A1SY68A	トランジスタ出力、DC5/12/24/48V 2A 独立コモン、シンク/ソースタイプ									FA-TH16Y2TR20※3	

※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y2RA20S1Eへ置換えできます。
※2.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1SR20S1Eへ置換えできます。
※3.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え							
	中継端子台							
	ケーブル形名	必要台数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点　数	端　子	備　考
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	・外部供給電源接続不要
			FA-TB161AC		16点変換、1線式	16点	18P	・16点1コモンのため独立コモンでの使用不可 ・出力電流1Aに対し0.6Aとなります。
			FA-TB161ACC2		16点変換、2線式		34P	・4点/1コモンが16点/1コモンになります。
			FA-TB18XY		18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	・トランジスタ出力から接点出力になります。

**:ケーブル長です。

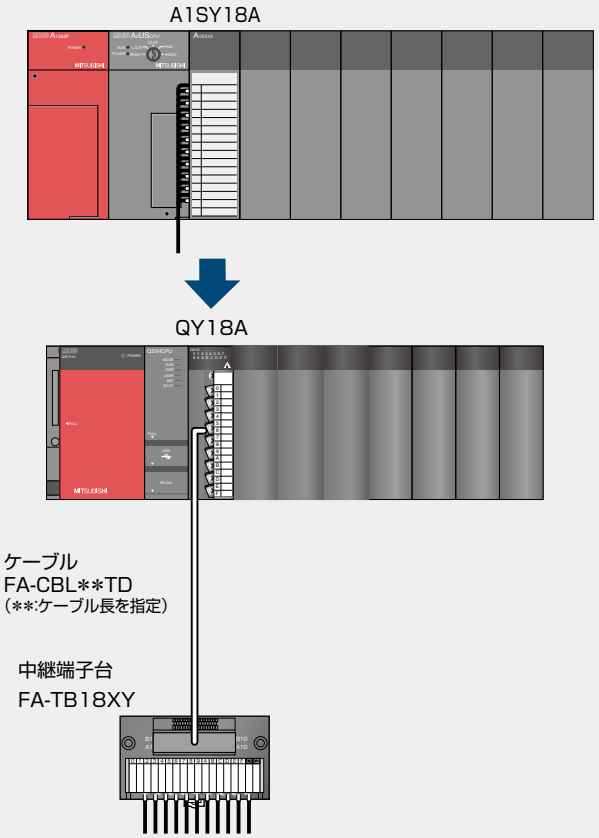
	省配線・省工数機器を使用した置換え	
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）	
	仕　様	備　考
	a接点、DC24V/AC200V 2A、独立コモン （ソケットタイプでモジュール交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
	トライアック、AC30-240V 1A、独立コモン （ソケットタイプでモジュール交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
		・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。 ・独立コモンのため別途渡り線が必要
	トランジスタ出力、DC3-30V 2A、 独立コモン、シンク/ソース	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。 ・DC48Vは使用不可

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え

提案【1】
中継端子台を使用

◎中継端子台使用例

例）A1SY18A→QY18Aで置換え

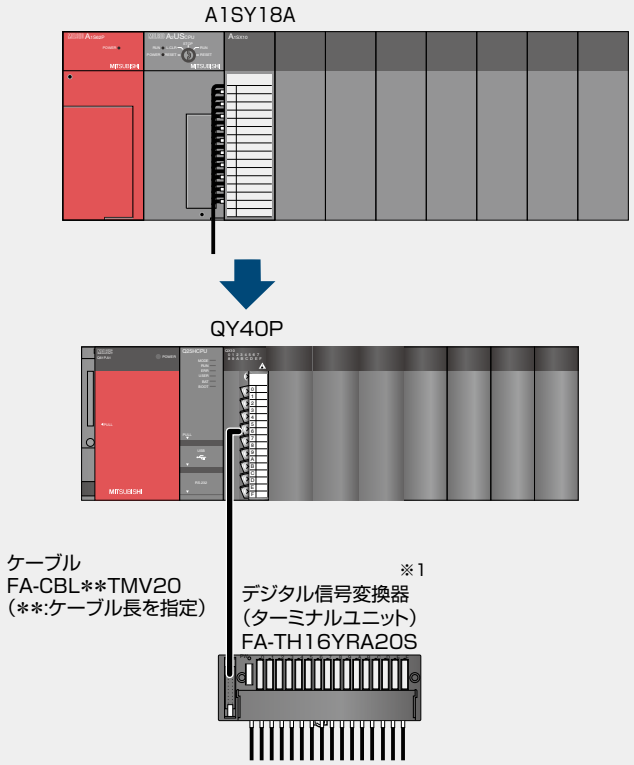


掲載ページ
リニューアル方法→P.93
置換え機種一覧→P.96～P.97

提案【2】
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用

◎デジタル信号変換器（ターミナルユニット）使用例

例）A1SY18A→QY40Pで置換え

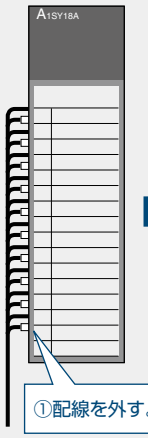


掲載ページ
リニューアル方法→P.94
置換え機種一覧→P.96～P.97

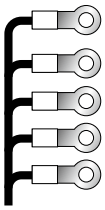
※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y2RA20S1Eへ置換えできます。

中継端子台

AnSシリーズ独立8点DC24V/AC240V出力ユニットを中継端子台を使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



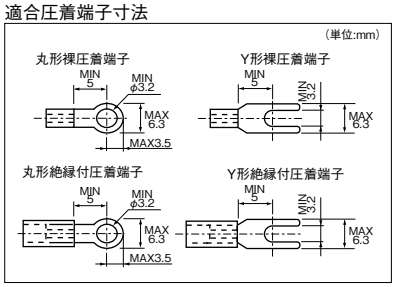
・圧着端子形名または寸法を確認します。
・中継端子台適合圧着端子以外は変更が必要です。

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3.5、R2-3.5
・RAV1.25-3.5、RAV2-3.5

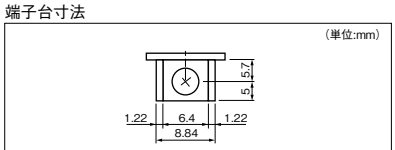
中継端子台適合圧着端子（M3ネジ 7.62mmピッチ例）

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG㈱1.25-3N TG㈱1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG㈱1.25Y-3 TG㈱1.25Y-3N TG㈱1.25Y-3L TG㈱1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG㈱2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG㈱2Y-3 TG㈱2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	R1.25-3ML R1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	R2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

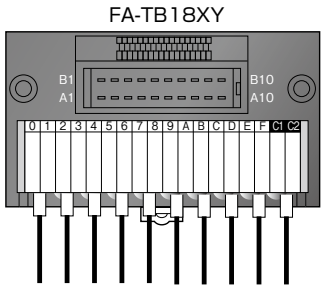
適合圧着端子寸法



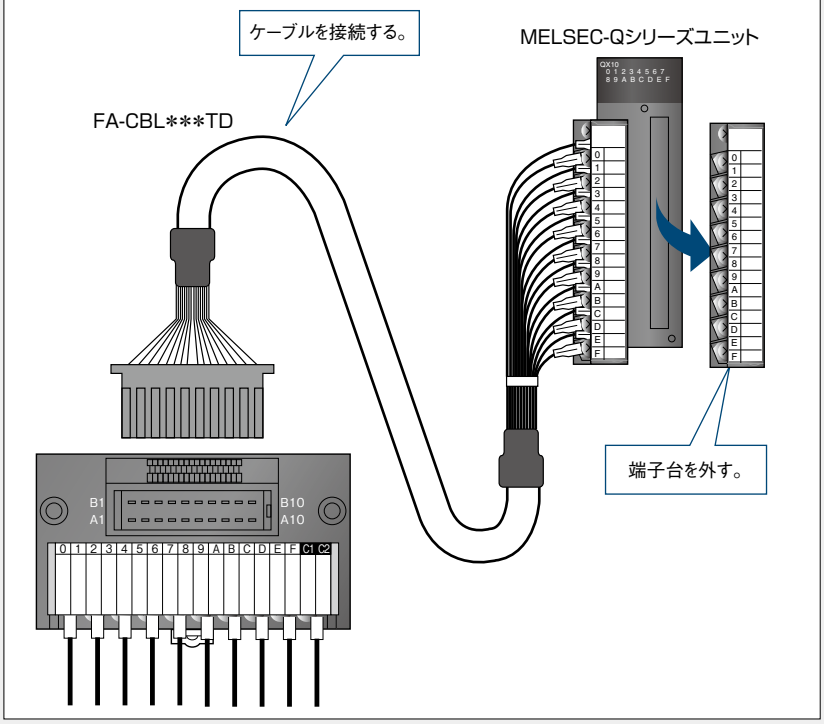
端子台寸法



③中継端子台に配線



④ユニット間をケーブルで接続

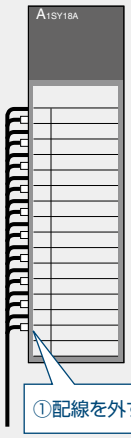


注意事項

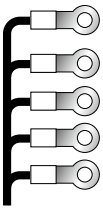
●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）

AnSシリーズ8点接点出力ユニットをデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



・圧着端子形名または寸法を確認します。
・デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子以外は変更が必要です。

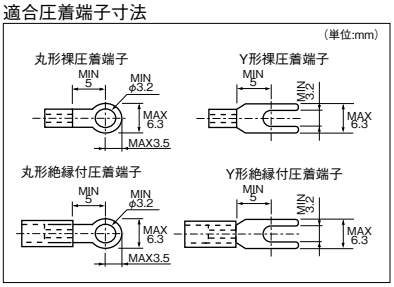
ユニット使用圧着端子

・R1.25-3.5、R2-3.5
・RAV1.25-3.5、RAV2-3.5

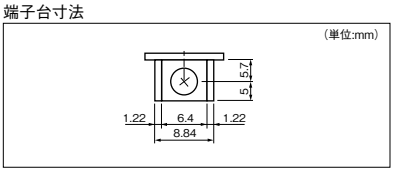
デジタル信号変換器（ターミナルユニット）適合圧着端子（M3ネジ 7.62mmピッチ例）

種　類		丸　形		Y　形	
メーカ名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TG㌧1.25-3N TG㌧1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TG㌧1.25Y-3 TG㌧1.25Y-3N TG㌧1.25Y-3L TG㌧1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TG㌧2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TG㌧2Y-3 TG㌧2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	R1.25-3ML R1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	R2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

適合圧着端子寸法

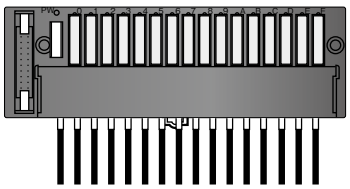


端子台寸法

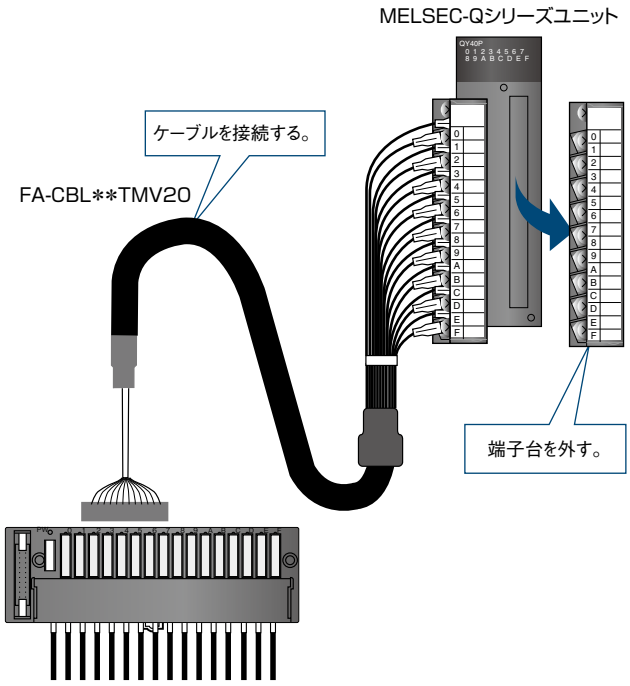


③デジタル信号変換器（ターミナルユニット）に配線

FA-TH16YRA20S



④ユニット間をケーブルで接続

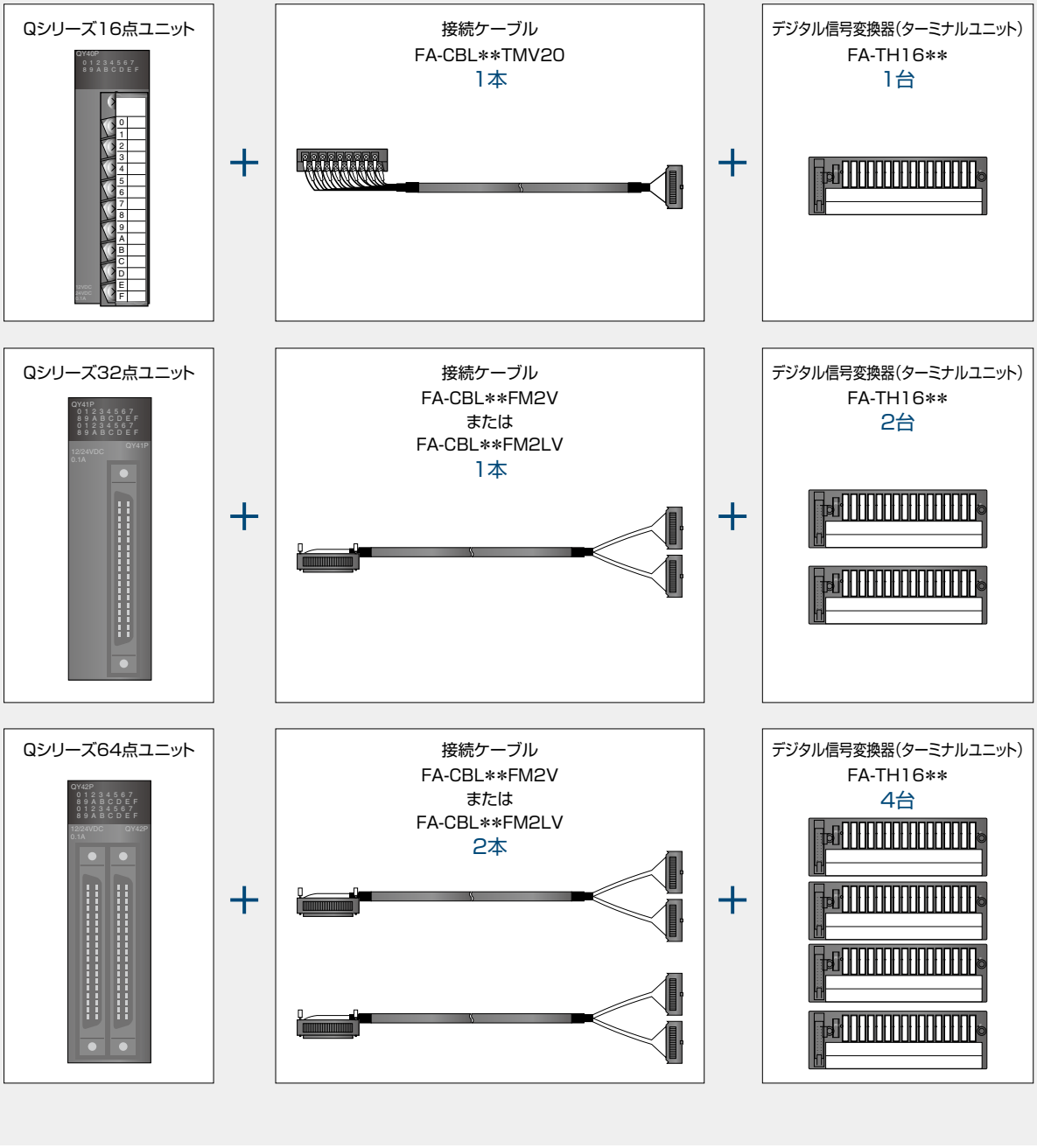


注意事項

●各ユニットの仕様などに関しては、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。

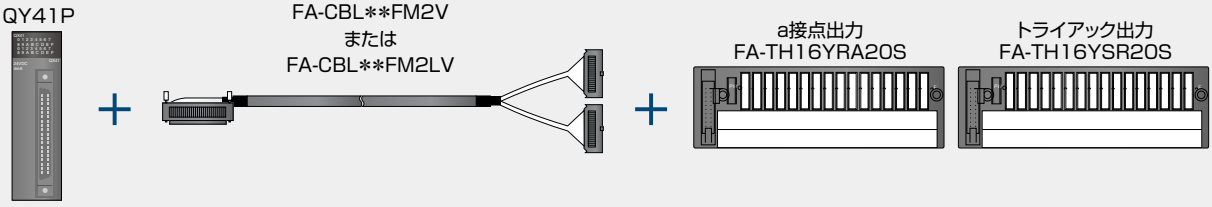
入出力点数によるユニット・ケーブル使用数

Qシリーズ入出力ユニット使用時のデジタル信号変換器（ターミナルユニット）・接続ケーブルの使用数についてデジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点のため、シーケンサのI/O点数により接続ケーブルとユニットの使用数が変わります。
16点タイプ、32点タイプ、64点タイプシーケンサI/Oに対する使用数を以下に記します。



デジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用するメリット

●デジタル信号変換器（ターミナルユニット）は16点ユニットでシーケンサ側と外線側で絶縁されています。
そのため、16点ごとに異なるデジタル信号変換器（ターミナルユニット）を使用することも可能です。



中継端子台を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-AnSシリーズユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	端　子		形　名	仕　様	点　数	必要台数
出力	A1SY18A	接点出力、DC24V/AC240V 2A 独立コモン	8点	20P	→	QY18A	接点出力、DC24V/AC240V 2A、 独立コモン	8点	1
	A1SY28A	トライアック、AC100-240V 1A 独立コモン				QY22	トライアック出力、AC100-240V 0.6A 16点/1コモン、サージキラー付	16点	
	A1SY28EU	トライアック、AC100-240V 0.6A 4点/1コモン							
	A1SY68A	トランジスタ出力、DC5/12/24/48V 2A 独立コモン、シンク/ソースタイプ				QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A 独立コモン、シンク/ソースタイプ	8点	
混合	A1SX48Y58	入力:DC24V 、8点/1コモン 出力:トランジスタ出力、DC12/24V 0.5A 8点/1コモン、シンクタイプ	入力8点 出力8点	20P	→	QX48Y57	入力:DC24V 、8点/1コモン 出力:トランジスタ出力、DC12/24V 0.5A 7点/1コモン、シンクタイプ	入力8点 出力7点	1

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、当社Webサイトまたは、省配線・省工数機器編カタログを参照ください。

デジタル信号変換器（ターミナルユニット）出力を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-AnSシリーズ入力ユニット						省配線・省工数機器を使用した置換え						
						MELSEC-Qシリーズユニット			デジタル信号変換器（ターミナルユニット）			
	形　名	仕　様	点　数	台　数		形　名	点　数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
出力	A1SY18A	接点出力、DC24V/AC240V 2A 独立コモン	8点	20P	→	QY40P	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16YRA20S※1	1
	A1SY28A	トライアック、AC100-240V 1A 独立コモン									FA-TH16YSR20S※2	
	A1SY28EU	トライアック、AC100-240V 0.6A 4点/1コモン										
	A1SY68A	トランジスタ出力、DC5/12/24/48V 2A 独立コモン、シンク/ソースタイプ									FA-TH16Y2TR20※3	

※1.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y2RA20S1Eへ置換えできます。
※2.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1SR20S1Eへ置換えできます。
※3.電線の圧着端子（丸形/Y形端子）をフェルール端子へ変更することにより、スプリングクランプ端子台タイプFA1-TH16Y1TR20S1Eへ置換えできます。

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え							
	中継端子台							
	ケーブル形名	必要台数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点　数	端　子	備　考
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	・外部供給電源接続不要
			FA-TB161AC		16点変換、1線式	16点	18P	・16点1コモンのため独立コモンでの使用不可 ・出力電流1Aに対し0.6Aとなります。
			FA-TB161ACC2		16点変換、2線式		34P	・4点/1コモンが16点/1コモンになります。
			FA-TB18XY		18点端子変換（8点変換、独立コモン）	8点	18P	―
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換（8点変換、1線式）	8点	18P	・出力が8点→7点

**:ケーブル長です。

	省配線・省工数機器を使用した置換え	
	デジタル信号変換器（ターミナルユニット）	
	仕　様	備　考
	a接点、DC24V/AC200V 2A、独立コモン （ソケットタイプでモジュール交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
	トライアック、AC30-240V 1A、独立コモン （ソケットタイプでモジュール交換可能）	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。
		・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。 ・独立コモンのため別途渡り線が必要
	トランジスタ出力、DC3-30V 2A、 独立コモン、シンク/ソース	・デジタル信号変換器を使用するためのDC24V外部供給電源が必要です。 ・DC48Vは使用不可

SYSMAC Cシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ
大形タイプ▶C500、C1000H、C2000H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	C500-IA121	RX10	—	ERNT-1CR121X221Y	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	C500-ID213	RX40C7、RX70C4	※1				
	C500-IM211	RX40C7、RX70C4	※2				
	C500-ID112	RX70C4	—				
出力	C500-OC221	RY10R2					
	C500-OA121	RY20S6					
	C500-OA222						
	C500-OA226						
	C500-OD219	RY40NT5P	※3	ERNT-1CR219Y411Y			
	C500-OD217						
	C500-OD411		※3、4				
入力	C500-ID215	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	—	ERNT-1CR215X218X	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	C500-ID218						
	C500-IM212		※2				
出力	C500-OD412	RY41NT2P、RY41NT2H	※4、5	ERNT-1CR412Y414Y			
	C500-OD414						
	C500-OD218		※5				
入力	C500-ID219	RX41C4 ×2台、RX41C6HS ×2台	※6	ERNT-2CR216X218X ×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
	C500-ID114	RX71C4 ×2台					
出力	C500-OD213	RY41NT2P ×2台	※6、7	ERNT-2CR218Y ×2台			

※1：DC24V、8点/コモンで使用している場合、ユニバーサル変換アダプタ（P.284参照）を使用してRX40PC6Hへの置換えを検討してください。
※2：C500-IM211/C500-IM212からの置換えにおいて、定格入力電圧をAC12V、AC24Vで使用している場合、DC5V、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。
※3：RY40NT5Pの電流容量で既設装置の仕様を満足しない場合は、接点出力ユニット（RY10R2）と変換アダプタ（ERNT-1CR121X221Y）での置換えを検討してください。
ただし、応答速度は遅くなりますので既設装置の仕様を確認してください。
※4：C500-OD411/C500-OD412/C500-OD414からの置換えにおいて、定格負荷電圧をDC48Vで使用している場合、DC12Vまたは、DC24Vに変更する必要があります。
※5：RY41NT2P/RY41NT2Hへの置換えにおいて、既設装置の電流仕様を満足しない場合は、トランジスタ出力ユニット（RY40NT5P）×2台および変換アダプタ（ERNT-1CR218Y）での置換えを検討してください。ただし、C500-OD412からの置換えの場合、既設端子台の端子番号A18に電源を供給する必要があります。またCOM端子（A8、A17、B8、B17）はすべて接続してください。
※6：MELSEC iQ-Rシリーズのユニットおよび変換アダプタを2台ずつ使用した置換えの場合は、既設配線の取付け高さが変わるため、既設配線長を確認してください。
※7：RY41NT2Pの応答速度で既設装置の仕様を満足しない場合は、高速出力ユニット（RY41NT2H）での置換えを検討してください。定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。

2スロットタイプ（高温対応ベースユニットR310B-HT/R610B-HTには使用できません。）

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	C500-IA122	RX10 ×2台	—	ERNT-1CR122X224Y	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
出力	C500-OC224	RY10R2 ×2台					
	C500-OA223	RY20S6 ×2台					
	C500-OA225						
	C500-OD412	RY40NT5P ×2台	※8、9	ERNT-1CR218Y			
	C500-OD414		※8				
	C500-OD218		—				

※8：C500-OD412/C500-OD414からの置換えにおいて、定格負荷電圧をDC48Vで使用している場合、DC12Vまたは、DC24Vに変更する必要があります。
※9：C500-OD412からの置換えの場合、既設端子台の端子番号A18に電源を供給する必要があります。またCOM端子（A8、A17、B8、B17）はすべて接続してください。

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.278

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタを活用していただくことで、再配線が必要になりますがご使用いただけます。

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット				ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	C500-IA222	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	C500-IA223	AC200-240V	32点	RX28	AC100-240V	8点	4台	
出力	C500-OC223	DC24V/AC250V 独立	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A/点 独立接点	8点	2台	
	C500-OD215	DC24V シンク 独立	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A/点 接点	8点	2台	※10
	C500-OD212	DC12-24V 0.3A/点 ソース	32点	RY41PT1P	DC12/24V 0.1A/点 ソース	32点	1台	対応
				RY40PT5P	DC12/24V 0.5A/点 ソース	16点	2台	

※10：出力形式がトランジスタ出力から接点出力に変更となります。

ベースアダプタ

基本/増設	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ベースユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名	対応変換アダプタ固定台形名
基本	C500-BC081/082/091 C2000-BC061	R312B	—	ERNT-CQB081N	ERNT-1CR12F、ERNT-1CR8F
		R38B			ERNT-1CR8F
		R310B-HT（高温対応）			ERNT-1CR10F
増設	C500-BI081 C2000-BI083	R612B			ERNT-1CR12F、ERNT-1CR8F
		R68B			ERNT-1CR8F
		R610B-HT（高温対応）			ERNT-1CR10F
基本	C500-BC051/052/061	R38B	—	ERNT-CQB051N	ERNT-1CR8F、ERNT-1CR5F
		R35B			ERNT-1AR5F
増設	C500-BI051	R68B			ERNT-1CR8F、ERNT-1CR5F
		R65B			ERNT-1AR5F
基本	C500-BC031	R35B、R33B	—	ERNT-CQB031N	ERNT-1AR5F

変換アダプタ固定台

形　名	注意事項	内　容		備　考
ERNT-1CR12F	—	12スロット分	基本/増設ベースユニット用	変換アダプタを使用する場合は、変換アダプタ固定台が必要です。
ERNT-1CR8F		8スロット分		
ERNT-1AR5F		5スロット分		
ERNT-1CR10F		10スロット分	高温対応基本/増設ベースユニット用	

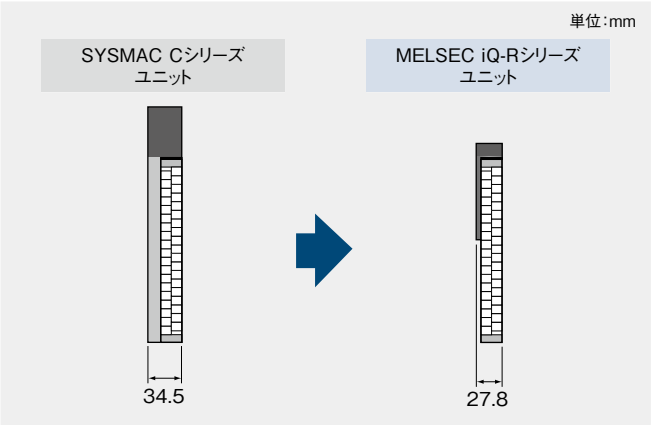
プログラムコンバータ ▶P.162

形　名	備　考
ERNT-CQ1W2C	オムロン株式会社SYSMAC CシリーズプログラムをMELSEC-QシリーズGX Developer用プロジェクトファイルへ変換するソフトウェアです。 MELSEC iQ-Rシリーズ用シーケンスプログラムにするためには、本プログラムコンバータで生成されたGX Developerプロジェクトファイルを、GX Works2およびGX Works3により変換する必要があります。

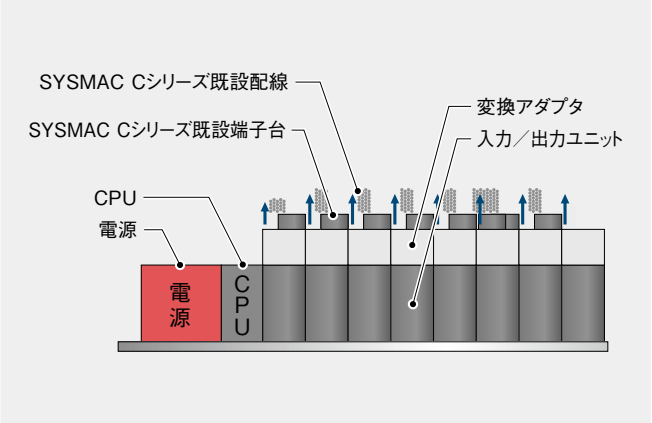
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→27.8mm) 配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

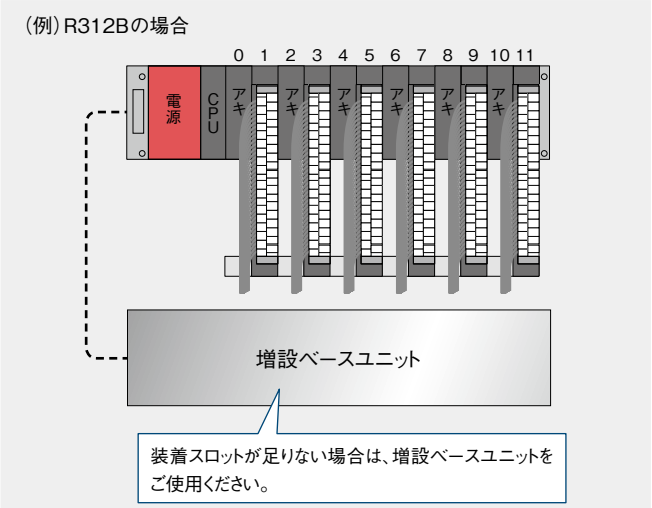


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット (RG60) を装着してください。

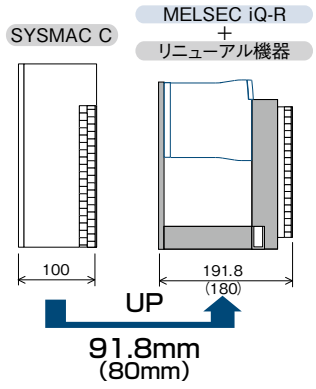
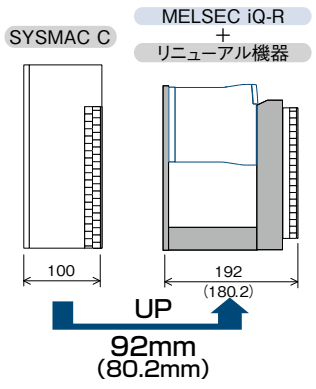
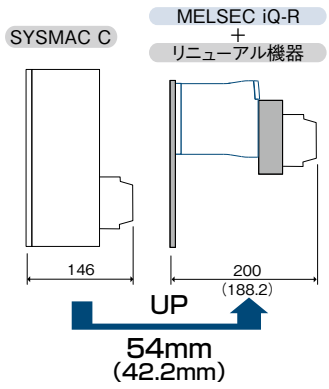
(4) 前記 (2)、(3) での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.12
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

盤面からの奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。
SYSMAC Cシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

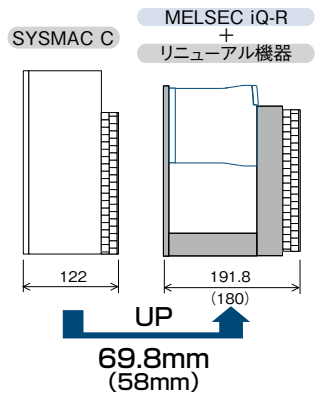
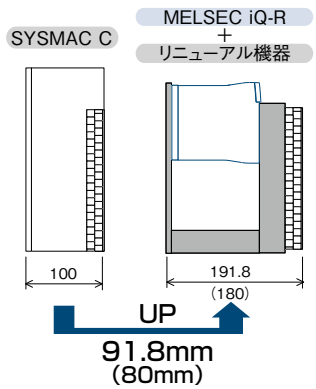
1スロットタイプ

（ ）内の数値はベースアダプタを使用しない場合

変換アダプタ	ERNT-1CR121X221Y ERNT-1CR219Y411Y	ERNT-1CR215X218X ERNT-1CR412Y414Y	ERNT-2CR216X218X ERNT-2CR218Y
寸法 奥行き	91.8mm UP (80.0mm UP)	92mm UP (80.2mm UP)	54mm UP (42.2mm UP)
取付け図			

2スロットタイプ

（ ）内の数値はベースアダプタを使用しない場合

変換アダプタ	ERNT-1CR122X224Y	ERNT-1CR218Y
寸法 奥行き	69.8mm UP (58mm UP)	91.8mm UP (80mm UP)
取付け図		

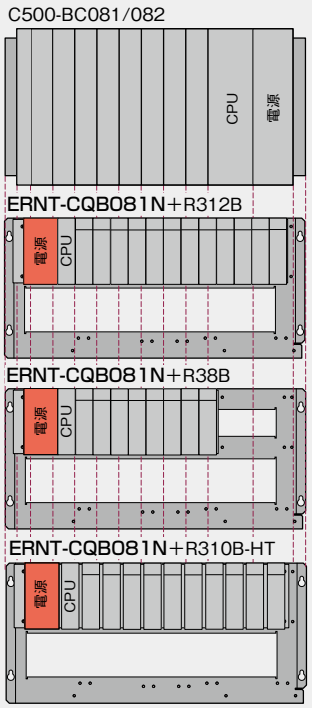
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、SYSMAC Cシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-Rシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

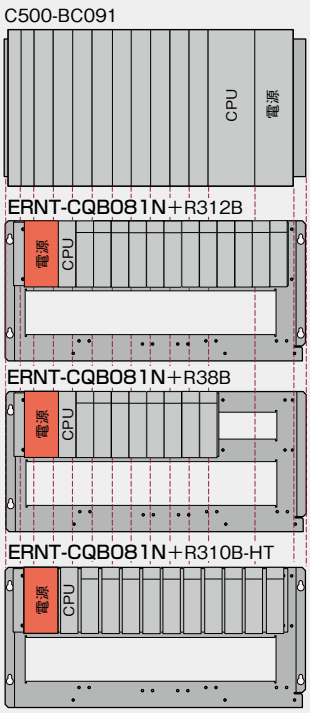
スロット位置

SYSMAC CシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

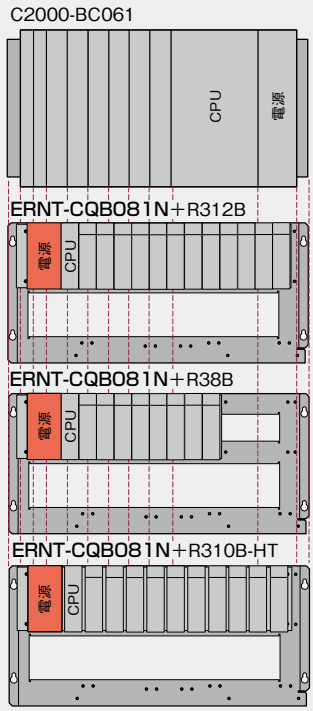
(1) C500-BC081/082 →R312B/R38B/R310B-HT



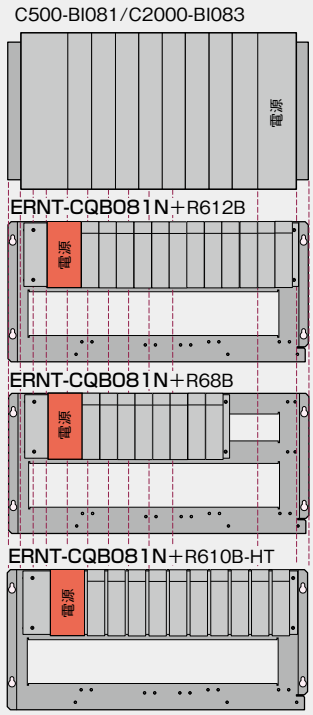
(2) C500-BC091 →R312B/R38B/R310B-HT



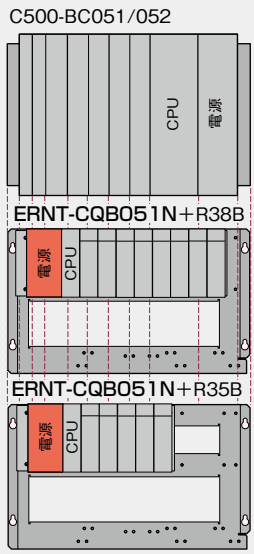
(3) C2000-BC061 →R312B/R38B/R310B-HT



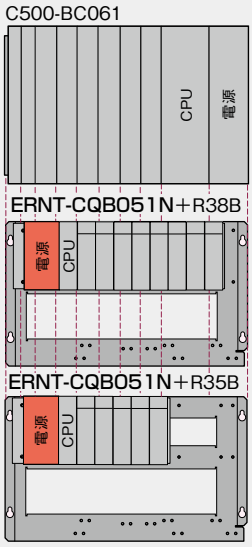
(4) C500-BI081/C2000-BI083 →R612B/R68B/R610B-HT



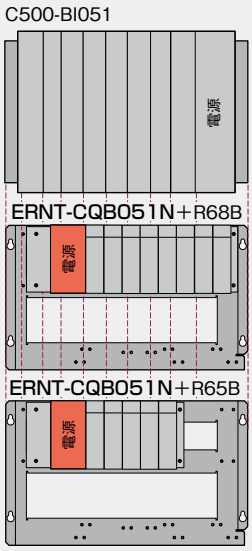
(5) C500-BC051/052→R38B/R35B



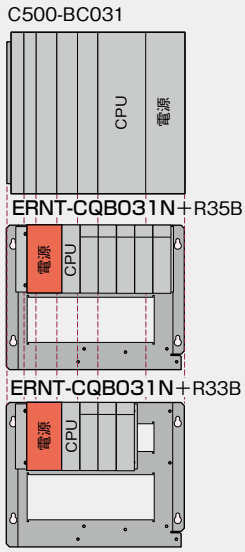
(6) C500-BC061→R38B/R35B



(7) C500-BI051→R68B/R65B



(8) C500-BC031→R35B/R33B



小形タイプ▶C200Hシリーズ、CSシリーズ、CQM1シリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

C200Hシリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	C200H-ID216 C200H-ID218	RX41C4 RX41C6HS	※1	—	ERNT-2CR216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	C200H-ID217 C200H-ID219	RX41C4 × 2台 RX41C6HS × 2台		※2	ERNT-2CR216X218X×2台	コネクタ（40P）× 2	コネクタ（40P）× 2台	64点
	C200H-ID111	RX71C4 × 2台						
出力	C200H-OD218	RY41NT2P		※3	ERNT-2CR218Y	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	C200H-OD21B	RY41PT1P		—				
	C200H-OD219	RY41NT2P × 2台		※2、3	ERNT-2CR218Y × 2台	コネクタ（40P）× 2	コネクタ（40P）× 2台	64点

※1：SYSMAC Cシリーズの各ユニット形名末尾に「-N」が付加する機種は、付属コネクタの有無の差となりますので省略しています。
※2：MELSEC iQ-Rシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
※3：定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。

CSシリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	CS1W-ID231		RX41C4 RX41C6HS	※4	※5	ERNT-2CR216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CS1W-ID261		RX41C4 × 2台 RX41C6HS × 2台		※6	ERNT-2CR216X218X×2台	コネクタ（40P）× 2	コネクタ（40P）× 2台	64点
出力	CS1W-OD231		RY41NT2P		※7	ERNT-2CR218Y	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CS1W-OD232		RY41PT1P		※8、9				
	CS1W-OD261		RY41NT2P × 2台		※10	ERNT-2CR218Y × 2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点
	CS1W-OD262		RY41PT1P × 2台		※9、11				
入出力混合	CS1W-MD261	入力部	RX41C4 RX41C6HS		※5	ERNT-2CR216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
		出力部	RY41NT2P		※7	ERNT-2CR218Y			
	CS1W-MD561	入力部	RX61C6HS RX71C4		※12	ERNT-2CR216X218X			
		出力部	RY41NT2H		—	— （再配線が必要）	—	—	—
	CS1W-MD262	入力部	RX41C4 RX41C6HS		※5	ERNT-2CR216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
		出力部	RY41PT1P		※9	ERNT-2CR218Y			

※4：1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモン となるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※5：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RX40C7 2台への再配線をご検討ください。
※6：MELSEC iQ-Rシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RX40C7 4台への再配線をご検討ください。
※7：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RY40NT5P 2台への再配線をご検討ください。
※8：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RY40PT5P 2台への再配線をご検討ください。
※9：RY41PT1Pの電流容量で既設装置を満足しない場合は、高速入力ユニット（RY41PT2H）での置換えをご検討ください。
※10：MELSEC iQ-Rシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RY40NT5P 4台への再配線をご検討ください。
※11：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RY40PT5P 4台への再配線をご検討ください。
※12：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、RX70C4 2台への再配線をご検討ください。

CQM1シリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	CQM1-ID213 CQM1-ID214	RX41C4 RX41C6HS	—	ERNT-2CR216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CQM1-ID112	RX71C4	—				
出力	CQM1-OD213	RY41NT2P	※13	ERNT-2CR218Y			
	CQM1-OD216	RY41PT1P	—				

※13：定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更もしくは高速出力ユニットRY41NT2Hでの置換えをご検討ください。

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.278

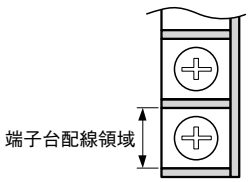
下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項	ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数		
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	RX10	AC100-120V	16点	1台	—	対応
	C200H-IA122		16点						
	C200H-IA122V								
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台		
	C200H-IA222		16点				2台		
	C200H-IA222V								
	C200H-ID001	無電圧接点入力 NPNタイプ出力用	8点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※14	
	C200H-ID002	無電圧接点入力 PNPタイプ出力用							
	C200H-ID211	DC12～24V プラス/マイナスコモン共用	8点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	—	
				RX70C4	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
	C200H-IM211	AC/DC12～24V	8点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※15	
				RX70C4	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※16	
	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	RX10	AC100-120V	16点	1台	※17	
	CS1W-IA211	AC200～240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	—	
	CS1W-ID211	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	RY20S6	AC100-240V 0.6A	16点	1台	—	
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点						
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A	12点						
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点						
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点						
	C200H-OC221	最大AC250V/DC24V 2A	8点	RY10R2	AC240V/DC24V 2A	16点	1台		
	C200H-OC222		12点						
	C200H-OC222N								
	C200H-OC222V								
	C200H-OC225		16点						
	C200H-OC226								
	C200H-OC226N								
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A 独立接点	8点	1台		
	C200H-OC224		8点						
	C200H-OC224N								
	C200H-OC224V								
	C200H-OD411	DC12～48V 1A シンク	8点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台	※18	
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点					—	
	C200H-OD212		16点						
	C200H-OD213	DC24V 2.1A シンク	8点						
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	RY40PT5P	DC12-24V 0.5A ソース	16点	1台	—	
	C200H-OD216	DC5～24V 0.3A ソース	8点					※19	
	C200H-OD217		12点						
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点					—	
	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A 独立接点	8点	RY18R2	AC240V/DC24V 2A 独立接点	8点	1台	※20	
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A	16点	RY10R2	AC240V/DC24V 2A	16点	1台		
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	RY20S6	AC100-240V 0.6A	16点	1台	—	
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点						
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク	16点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台		
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース	16点	RY40PT5P	DC12-24V 0.5A ソース	16点	1台		

※14:配線側にて追加電源入力が必要です。
※15:定格入力電圧をAC12VまたはAC24Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。
※16:定格入力電圧をAC24Vで使用している場合は、DC24Vに変更する必要があります。
※17:定格入力電圧をDC100Vで使用している場合は、置換えできません。
※18:定格負荷電圧をDC48Vで使用している場合は、DC12VまたはDC24Vに変更する必要があります。
※19:定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合は電源電圧を変更する必要があります。
※20:定格負荷電圧をDC100Vで使用している場合は、置換えできません。

参考:圧着端子および電線仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
圧着端子サイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7mm	6mm	7.3mm



変換アダプタ非対応機種の置換え案

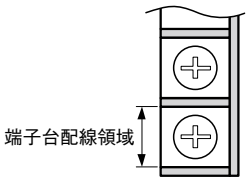
入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	CQM1H-CPU61 CQM1H-CPU51 CQM1H-CPU21 CQM1H-CPU11	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※21
	CQM1-ID211	DC12～24V 独立コモン	8点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				
	CQM1-ID111	DC12V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX70C4	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	－
	CQM1-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	CQM1-IA121	AC100～120V	8点	RX10	AC100-120V	16点	1台	
	CQM1-IA221	AC200～240V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台	
出力	CQM1-OC221 CQM1-OC224	AC250V/DC24V 2A 独立	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	1台	－
	CQM1-OC222	AC250V/DC24V 2A	16点	RY10R2	AC240V/DC24V 2A	16点	1台	
	CQM1-OD211	DC24V 2A シンク	8点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台	
	CQM1-OD212	DC4.5V～26.4V シンク	16点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台	※22
	CQM1-OD214	DC4.5V～26.4V ソース	16点	RY40PT5P	DC12-24V 0.5A ソース	16点	1台	
	CQM1-OD215	DC24V 1.0A ソース	8点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				－
	CQM1-OA221 CQM1-OA222	AC100～240V 0.4A	8点	RY20S6	AC100-240V 0.6A	16点	1台	

※21：置換え後として示しているユニットは入力ユニットです。CPUユニットについては、別途ご選定ください。
※22：定格入力電圧をDC5Vで使用している場合は電源電圧を変更する必要があります。

参考：圧着端子および電線仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3※	M3
端子台配線領域	6.2mm※	6mm

※横幅6.2mm以下の圧着端子が指定されているため、MELSEC iQ-Rシリーズの端子台に入らない可能性があるため、ご注意ください。



プログラムコンバータ ▶P.162

形名	備考
ERNT-CQ1W2C	オムロン株式会社SYSMAC CシリーズプログラムをMELSEC-QシリーズGX Developer用プロジェクトファイルへ変換するソフトウェアです。 MELSEC iQ-Rシリーズ用シーケンスプログラムにするためには、本プログラムコンバータで生成されたGX Developerプロジェクトファイルを、GX Works2およびGX Works3 により変換する必要があります。

三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意
ベースユニットの取付け穴（4か所）位置は、SYSMAC Cシリーズ（C200H/CS/CQM1）ベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

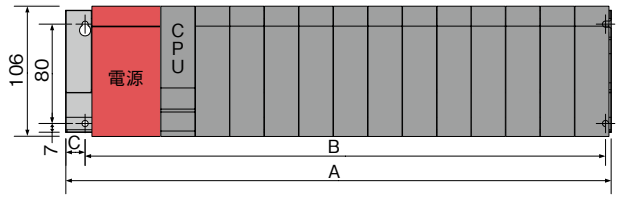
C200Hシリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC C200HシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ベースユニットごとに取付け寸法が異なります。

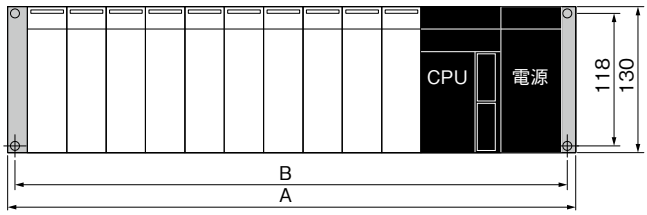
単位：mm

◎MELSEC iQ-Rシリーズ



MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
R312B	基本ベースユニット	439	417～419	15.5	M4
R38B		328	306～308	15.5	
R35B		245	222.5～224.5	15.5	
R33B		189	167～169	15.5	
R612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417～419	15.5	
R68B		328	306～308	15.5	
R65B		245	222.5～224.5	15.5	
R310B-HT	高温対応 基本ベースユニット	439	417～419	15.5	
R610B-HT	高温対応 増設ベースユニット	439	417～419	15.5	

◎（参考）C200Hシリーズ



CSシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
C200HW-BC101-V1	CPUベースユニット	505	491	M4
C200HW-BC081-V1		435	421	
C200HW-BC051		330	316	
C200HW-BC031		260	246	
C200HW-BI101-V1	I/Oベースユニット	434	420	
C200HW-BI081-V1		364	350	
C200HW-BI051		259	245	
C200HW-BI031		189	175	

置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴ピッチが確認できます。

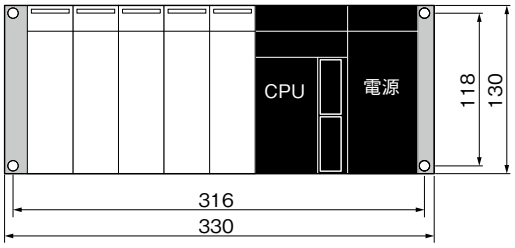
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

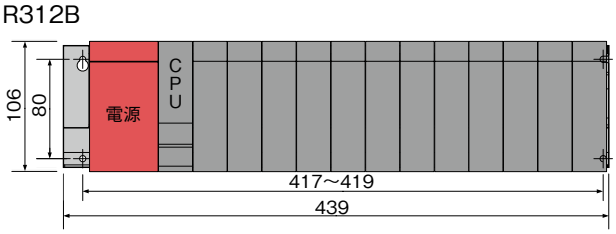
（例）C200H（C200HW-BC051）からMELSEC iQ-Rシリーズベースユニット（R312B）に置換えた場合

単位:mm

C200HW-BC051



R312B



外形寸法:109mmUP（横幅）

MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットに置換える場合

①基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：C200Hシリーズの方が大きい、▲：C200Hシリーズの方が小さい

	C200Hシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（[MELSEC iQ-R寸法]-[C200Hシリーズ寸法]）				
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※2		
							横	縦	横	縦	
(1)	C200HW-BC101-V1	あり	10	R312B	あり	12	○ (-66)	○ (-24)	-74～-72	-38	
				R310B-HT	あり	10	○ (-66)	○ (-24)	-74～-72	-38	
(2)	C200HW-BC081-V1	あり	8	R312B	あり	12	▲ (4)	○ (-24)	-4～-2	-38	
				R310B-HT	あり	10	▲ (4)	○ (-24)	-4～-2	-38	
				R38B	あり	8	○ (-107)	○ (-24)	-115～-113	-38	
(3)	C200HW-BC051	あり	5	R312B	あり	12	▲ (109)	○ (-24)	101～103	-38	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要があります
				R310B-HT	あり	10	▲ (109)	○ (-24)	101～103	-38	
				R38B	あり	8	○ (-2)	○ (-24)	-10～-8	-38	
				R35B	あり	5	○ (-85)	○ (-24)	-93.5～-91.5	-38	
(4)	C200HW-BC031	あり	3	R38B	あり	8	▲ (68)	○ (-24)	60～62	-38	
				R35B	あり	5	○ (-15)	○ (-24)	-23.5～-21.5	-38	
				R33B	あり	3	○ (-71)	○ (-24)	-79～-77	-38	

※1：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとC200Hシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設C200Hシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

②増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：C200Hシリーズの方が大きい、▲：C200Hシリーズの方が小さい

	C200Hシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（[MELSEC iQ-R寸法]-[C200Hシリーズ寸法]）				
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※2		
							横	縦	横	縦	
(1)	C200HW-BI101-V1	あり	10	R612B	あり	12	▲ (5)	○ (-24)	-3～-1	-38	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要があります
				R610B-HT	あり	10	▲ (5)	○ (-24)	-3～-1	-38	
(2)	C200HW-BI081-V1	あり	8	R612B	あり	12	▲ (75)	○ (-24)	67～69	-38	
				R610B-HT	あり	10	▲ (75)	○ (-24)	67～69	-38	
				R68B	あり	8	○ (-36)	○ (-24)	-44～-42	-38	
(3)	C200HW-BI051	あり	5	R612B	あり	12	▲ (180)	○ (-24)	172～174	-38	
				R610B-HT	あり	10	▲ (180)	○ (-24)	172～174	-38	
				R68B	あり	8	▲ (69)	○ (-24)	61～63	-38	
				R65B	あり	5	○ (-14)	○ (-24)	-22.5～-20.5	-38	
(4)	C200HW-BI031	あり	3	R68B	あり	8	▲ (139)	○ (-24)	131～133	-38	
				R65B	あり	5	▲ (56)	○ (-24)	47.5～49.5	-38	

※1：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとC200Hシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設C200Hシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

スロット位置

SYSMAC C200HシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

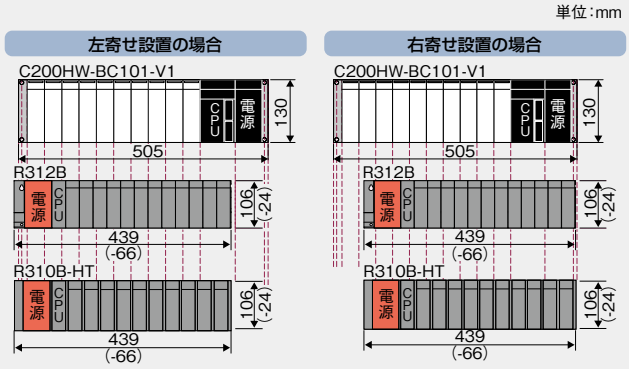
ご注意

MELSEC iQ-RシリーズベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。
なお、カッコ内の数値はSYSMAC C200Hシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

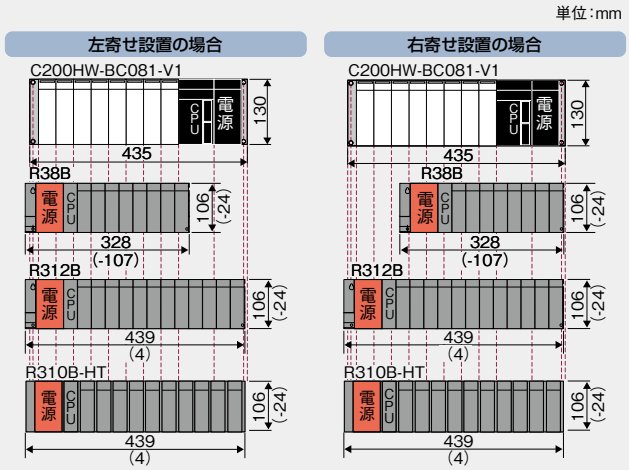
(1) C200HW-BC101-V1 → R312B、R310B-HT

単位:mm



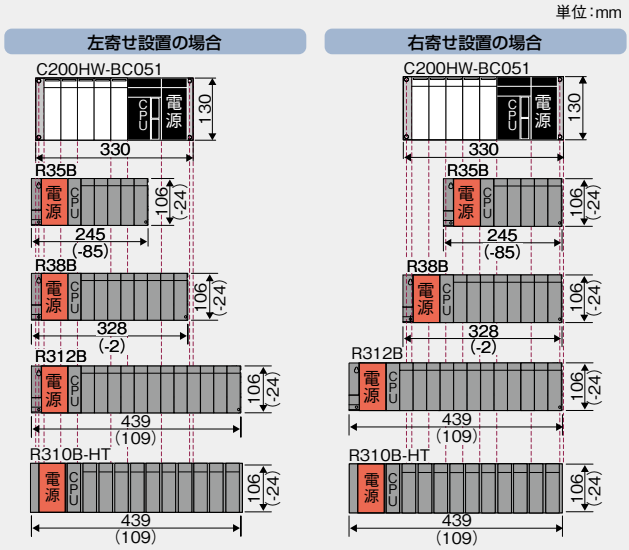
(2) C200HW-BC081-V1 → R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm

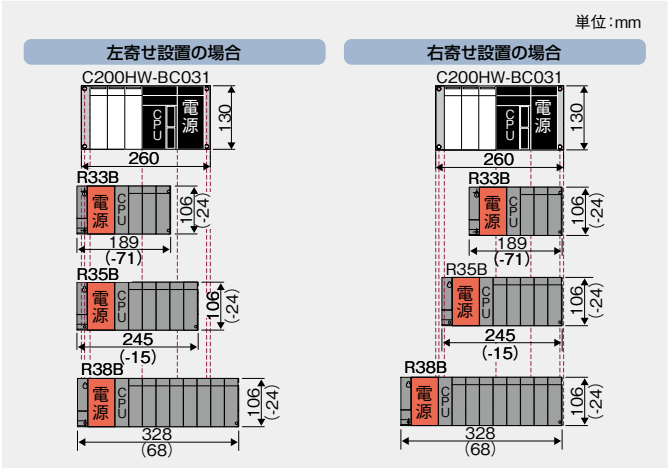


(3) C200HW-BC051 → R35B、R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm

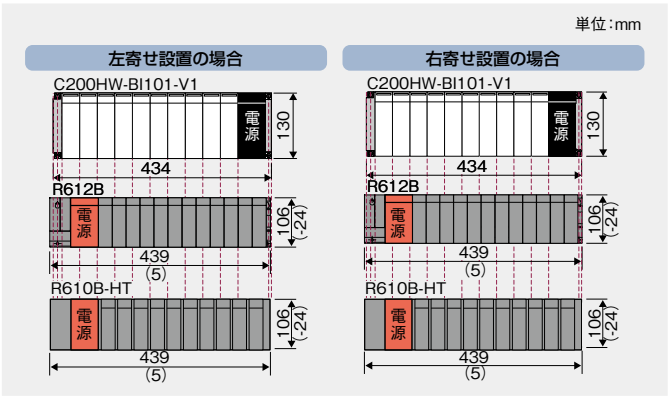


(4) C200HW-BC031 → R33B、R35B、R38B

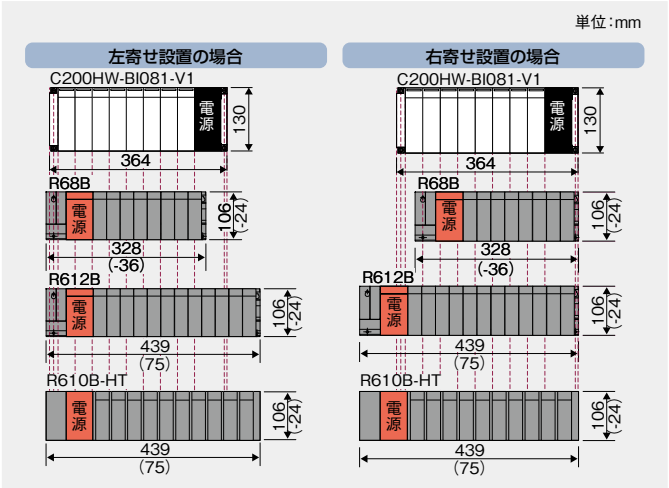


増設ベースユニットを使用する場合

(1) C200HW-BI101-V1 → R612B、R610B-HT

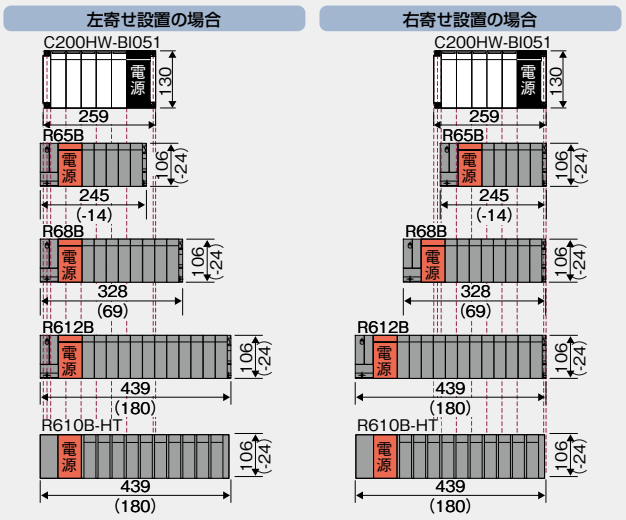


(2) C200HW-BI081-V1 → R68B、R612B、R610B-HT



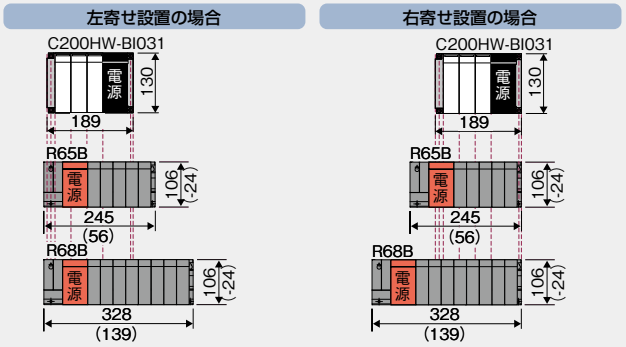
(3) C200HW-BI051 → R65B、R68B、R612B、R610B-HT

単位：mm



(4) C200HW-BI031 → R65B、R68B

単位：mm



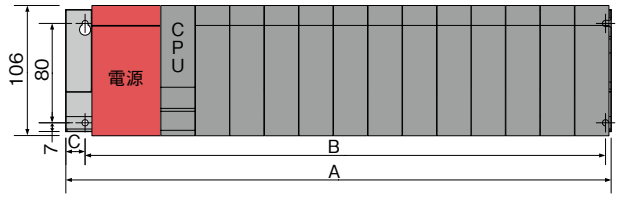
CSシリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC CSシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ベースユニットごとに取付け寸法が異なります。

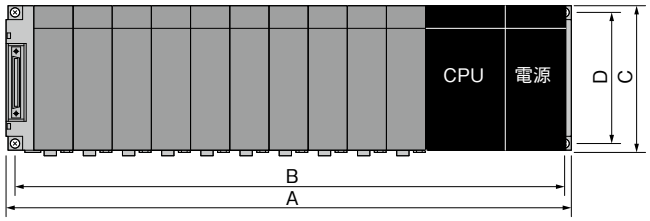
単位：mm

◎MELSEC iQ-Rシリーズ



MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
R312B	基本ベースユニット	439	417～419	15.5	M4
R38B		328	306～308	15.5	
R35B		245	222.5～224.5	15.5	
R33B		189	167～169	15.5	
R612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417～419	15.5	
R68B		328	306～308	15.5	
R65B		245	222.5～224.5	15.5	
R310B-HT	高温対応 基本ベースユニット	439	417～419	15.5	
R610B-HT	高温対応 増設ベースユニット	439	417～419	15.5	

◎（参考）CSシリーズ



CSシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	D	取付け穴 ネジサイズ
CS1W-BC102、CS1W-BC103	CPUベースユニット	505	491	132	118	M4
CS1W-BC082、CS1W-BC083		435	421			
CS1W-BC052、CS1W-BC053		330	316			
CS1W-BC032、CS1W-BC033		260	246			
CS1W-BC022、CS1W-BC023		198.5	172.3	157	145	
CS1W-BI102、CS1W-BI103	増設ベースユニット	505	491	130	118	
CS1W-BI082、CS1W-BI083		435	421			
CS1W-BI052、CS1W-BI053		330	316			
CS1W-BI032、CS1W-BI033		260	246			

置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴ピッチが確認できます。

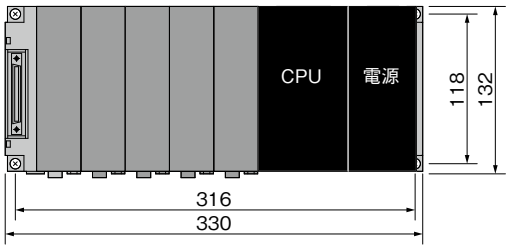
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

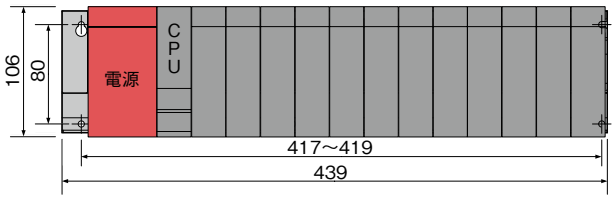
（例）CS（CS1W-BC102/CS1W-BC103）からMELSEC iQ-Rシリーズベースユニット（R312B）に置換えた場合

CS1W-BC052/CS1W-BC053

単位:mm



R312B



外形寸法:109mmUP（横幅）

MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットに置換える場合

①基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CSシリーズの方が大きい、▲：CSシリーズの方が小さい

	CSシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（[MELSEC iQ-R寸法]-[CSシリーズ寸法]）				
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※2		
							横	縦	横	縦	
(1)	CS1W-BC102、CS1W-BC103	あり	10	R312B	あり	12	○ (-66)	○ (-26)	-74～-72	-38	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要があります
				R310B-HT	あり	10	○ (-66)	○ (-26)	-74～-72	-38	
(2)	CS1W-BC082、CS1W-BC083	あり	8	R312B	あり	12	▲ (4)	○ (-26)	-4～-2	-38	
				R310B-HT	あり	10	▲ (4)	○ (-26)	-4～-2	-38	
				R38B	あり	8	○ (-107)	○ (-26)	-115～-113	-38	
(3)	CS1W-BC052、CS1W-BC053	あり	5	R312B	あり	12	▲ (109)	○ (-26)	101～103	-38	
				R310B-HT	あり	10	▲ (109)	○ (-26)	101～103	-38	
				R38B	あり	8	○ (-2)	○ (-26)	-10～-8	-38	
				R35B	あり	5	○ (-85)	○ (-26)	-93.5～-91.5	-38	
(4)	CS1W-BC032、CS1W-BC033	あり	3	R38B	あり	8	▲ (68)	○ (-26)	60～62	-38	
				R35B	あり	5	○ (-15)	○ (-26)	-23.5～-21.5	-38	
				R33B	あり	3	○ (-71)	○ (-26)	-79～-77	-38	
(5)	CS1W-BC022、CS1W-BC023	あり	2	R35B	あり	5	▲ (46.5)	○ (-51)	50.2～52.2	-65	
				R33B	あり	3	○ (-9.5)	○ (-51)	-5.3～-3.3	-65	

※1：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとCSシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設CSシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

②増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CSシリーズの方が大きい、▲：CSシリーズの方が小さい

	CSシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（[MELSEC iQ-R寸法]-[CSシリーズ寸法]）				
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※2		
							横	縦	横	縦	
(1)	CS1W-BI102、CS1W-BI103	あり	10	R612B	あり	12	○ (-66)	○ (-24)	-74～-72	-38	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要があります
				R610B-HT	あり	10	○ (-66)	○ (-24)	-74～-72	-38	
(2)	CS1W-BI082、CS1W-BI083	あり	8	R612B	あり	12	▲ (4)	○ (-24)	-4～-2	-38	
				R610B-HT	あり	10	▲ (4)	○ (-24)	-4～-2	-38	
				R68B	あり	8	○ (-107)	○ (-24)	-115～-113	-38	
(3)	CS1W-BI052、CS1W-BI053	あり	5	R612B	あり	12	▲ (109)	○ (-24)	101～103	-38	
				R610B-HT	あり	10	▲ (109)	○ (-24)	101～103	-38	
				R68B	あり	8	○ (-2)	○ (-24)	-10～-8	-38	
				R65B	あり	5	○ (-85)	○ (-24)	-93.5～-91.5	-38	
(4)	CS1W-BI032、CS1W-BI033	あり	3	R68B	あり	8	▲ (68)	○ (-24)	60～62	-38	
				R65B	あり	5	○ (-15)	○ (-24)	-23.5～-21.5	-38	

※1：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとCSシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設CSシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

スロット位置

SYSMAC CSシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

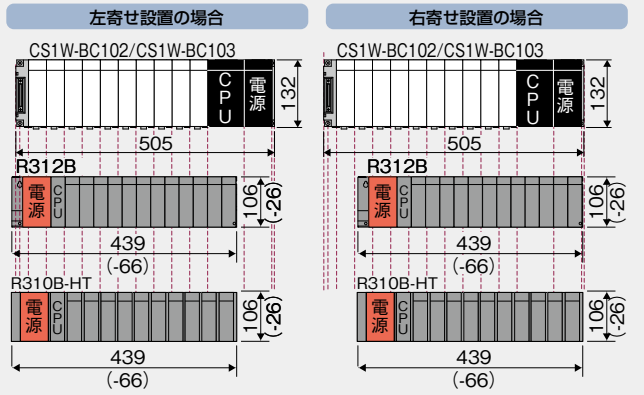
ご注意

MELSEC iQ-RシリーズベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CSシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

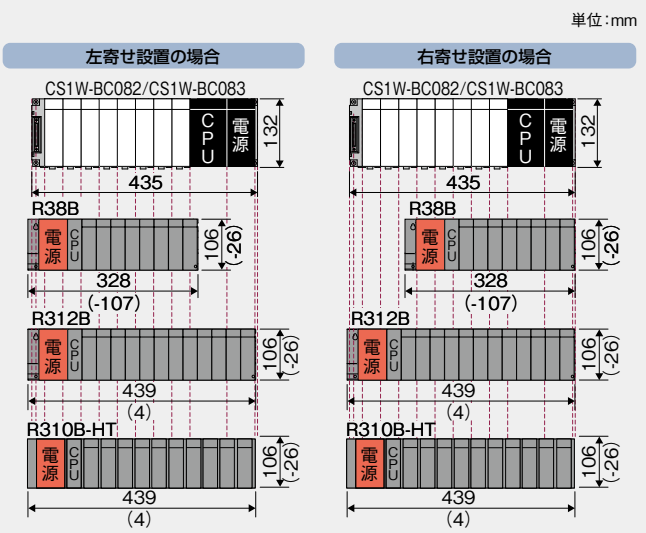
(1) CS1W-BC102、CS1W-BC103 → R312B、R310B-HT

単位:mm



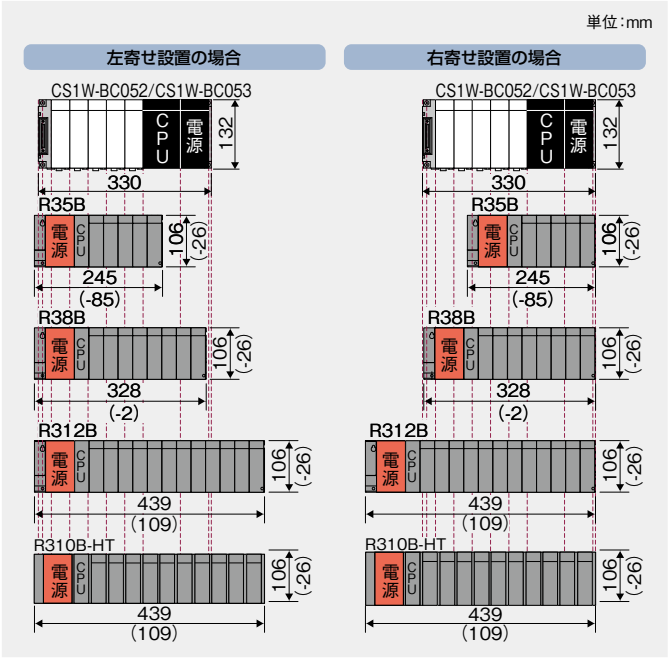
(2) CS1W-BC082、CS1W-BC083 → R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm



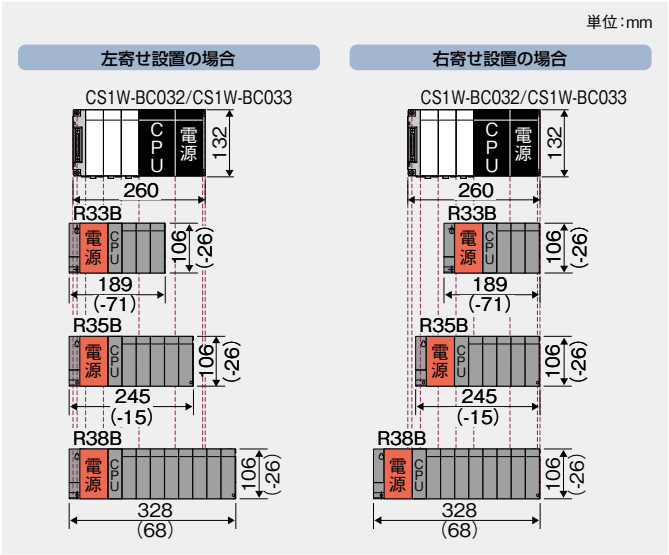
(3) CS1W-BC052、CS1W-BC053 → R35B、R38B、R312B、R310B-HT

単位：mm



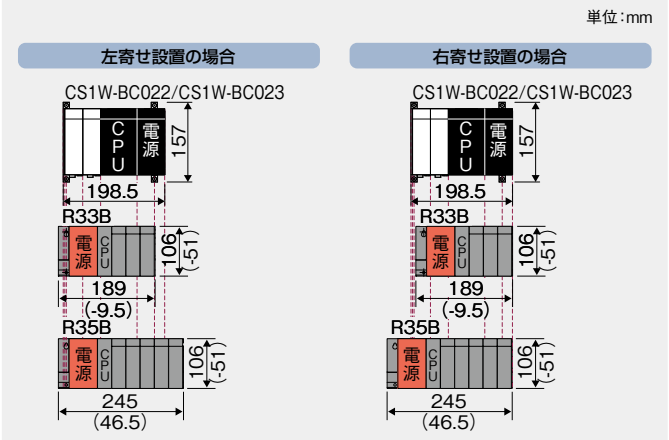
(4) CS1W-BC032、CS1W-BC033 → R33B、R35B、R38B

単位：mm



(5) CS1W-BC022、CS1W-BC023 → R33B、R35B

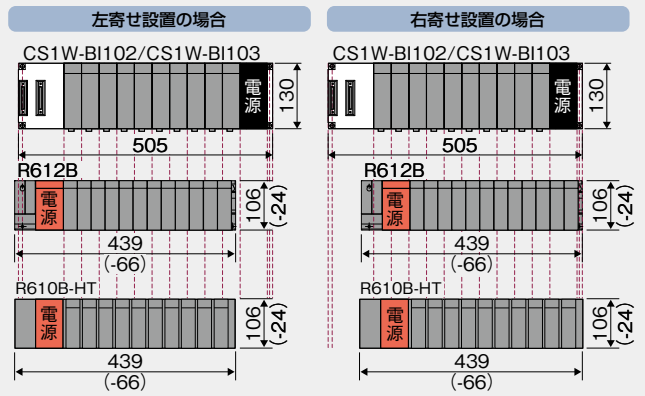
単位：mm



増設ベースユニットを使用する場合

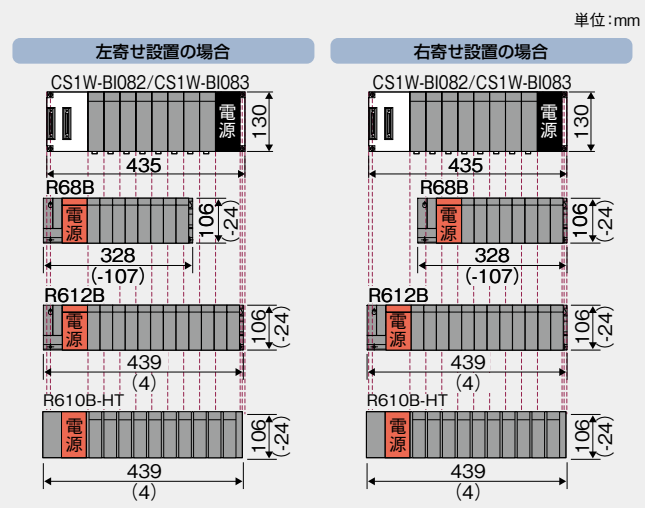
(1) CS1W-BI102、CS1W-BI103 → R612B、R610B-HT

単位：mm



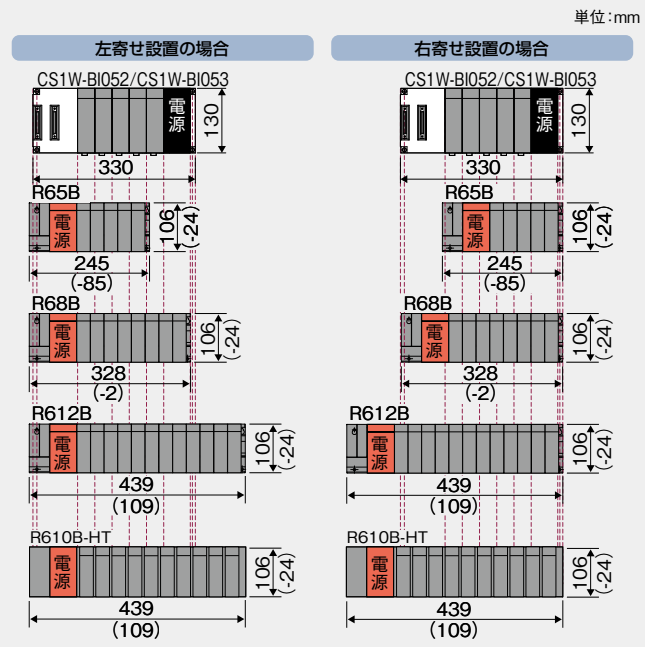
(2) CS1W-BI082、CS1W-BI083 → R68B、R612B、R610B-HT

単位：mm



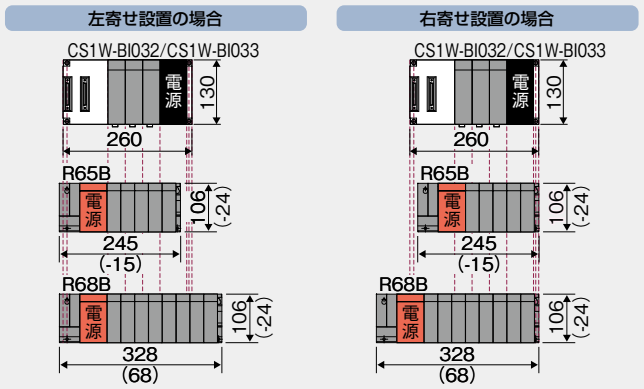
(3) CS1W-BI052、CS1W-BI053 → R65B、R68B、R612B、R610B-HT

単位：mm



(4) CS1W-BI032、CS1W-BI033 → R65B、R68B

単位：mm



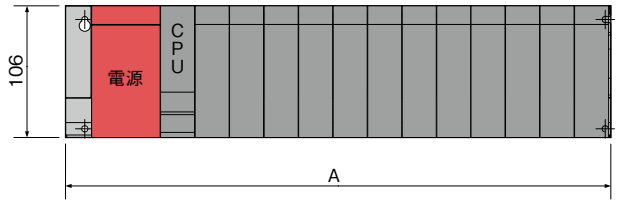
CQM1シリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ベースユニットごとに取付け寸法が異なります。

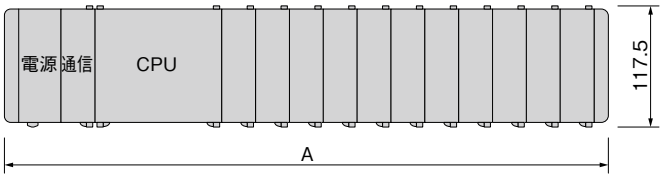
◎MELSEC iQ-Rシリーズ

単位:mm



MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	内　容	A
R312B	基本ベースユニット	439
R38B		328
R35B		245
R33B		189
R612B	増設ベースユニット(電源あり)	439
R68B		328
R65B		245
R310B-HT	高温対応基本ベースユニット	439
R610B-HT	高温対応増設ベースユニット	

◎(参考) CQM1シリーズ



CQM1シリーズ ベースユニット形名	内　容	A
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203	571
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚		539
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚		443
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚		347
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚		283
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026	603
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚		571
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚		475
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚		315
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203 I/O増設あり	411
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026 I/O増設あり	443
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		411
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	I/O増設装置	412.2
I/O増設装置 I/Oユニット8枚		316.2
I/O増設装置 I/Oユニット5枚		220.2
I/O増設装置 I/Oユニット3枚		156.2

置換え時の外形寸法比較

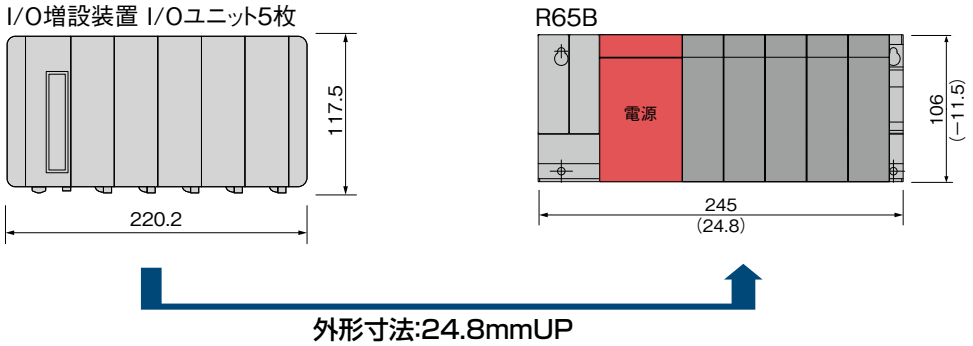
下記の表により、置換え前後の外形寸法が確認できます。

ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）CQM1（I/O増設装置I/Oユニット：5枚）からMELSEC iQ-Rシリーズベースユニット（R65B）に置換えた場合

単位：mm



MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットに置換える場合

①基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CQM1シリーズの方が大きい、▲：CQM1シリーズの方が小さい

	CQM1シリーズ			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					備　考
	構成例※1	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※2（[MELSEC iQ-R寸法]-[CQM1シリーズ寸法]）		
							横	縦	
(1)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	R312B	あり	12	○ (-164)	○ (-11.5)	・外形寸法により盤面の取付け位置を再検討する必要があります
(2)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚	あり	11	R312B	あり	12	○ (-132)	○ (-11.5)	
(3)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚	あり	8	R312B	あり	12	○ (-36)	○ (-11.5)	
				R310B-HT	あり	10	○ (-36)	○ (-11.5)	
				R38B	あり	8	○ (-147)	○ (-11.5)	
(4)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚	あり	5	R38B	あり	8	○ (-51)	○ (-11.5)	
				R35B	あり	5	○ (-134)	○ (-11.5)	
(5)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚	あり	3	R35B	あり	5	○ (-70)	○ (-11.5)	
				R33B	あり	3	○ (-126)	○ (-11.5)	
(6)	CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	R312B	あり	12	○ (-132)	○ (-11.5)	
(7)	CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚	あり	11	R312B	あり	12	○ (-100)	○ (-11.5)	
(8)	CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚	あり	8	R312B	あり	12	○ (-4)	○ (-11.5)	
				R310B-HT	あり	10	○ (-4)	○ (-11.5)	
				R38B	あり	8	○ (-115)	○ (-11.5)	
(9)	CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚	あり	5	R38B	あり	8	○ (-19)	○ (-11.5)	
				R35B	あり	5	○ (-102)	○ (-11.5)	
(10)	CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚	あり	3	R35B	あり	5	○ (-38)	○ (-11.5)	
				R33B	あり	3	○ (-94)	○ (-11.5)	

	CQM1シリーズ			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					備　考
	構成例※1	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※2（[MELSEC iQ-R寸法]-[CQM1シリーズ寸法]）		
							横	縦	
(11)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	R38B	あり	8	○ (-115)	○ (-11.5)	・外形寸法により盤面の取付け位置を再検討する必要があります
				R35B	あり	5	○ (-198)	○ (-11.5)	
(12)	CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	R38B	あり	8	○ (-83)	○ (-11.5)	
				R35B	あり	5	○ (-166)	○ (-11.5)	
(13)	CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	R38B	あり	8	○ (-83)	○ (-11.5)	
				R35B	あり	5	○ (-166)	○ (-11.5)	
(14)	CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	R38B	あり	8	○ (-51)	○ (-11.5)	
				R35B	あり	5	○ (-134)	○ (-11.5)	

※1：構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。　※2：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとCQM1シリーズの外形寸法差［単位：mm］

②増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CQM1シリーズの方が大きい、▲：CQM1シリーズの方が小さい

	CQM1シリーズ			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					備　考
	構成例※1	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※2（[MELSEC iQ-R寸法]-[CQM1シリーズ寸法]）		
							横	縦	
(1)	I/O増設装置 I/Oユニット11枚	あり	11	R612B	あり	12	▲ (26.8)	○ (-11.5)	・外形寸法により盤面の取付け位置を再検討する必要があります
(2)	I/O増設装置 I/Oユニット8枚	あり	8	R68B	あり	8	▲ (11.8)	○ (-11.5)	
(3)	I/O増設装置 I/Oユニット5枚	あり	5	R65B	あり	5	▲ (24.8)	○ (-11.5)	
(4)	I/O増設装置 I/Oユニット3枚	あり	3	R65B	あり	5	▲ (88.8)	○ (-11.5)	

※1：構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。　※2：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとCQM1シリーズの外形寸法差［単位：mm］

スロット位置

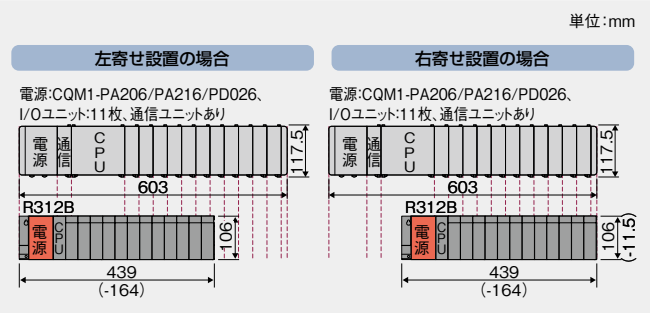
SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意
SYSMAC CQM1シリーズのスロット位置に対して、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CQM1シリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

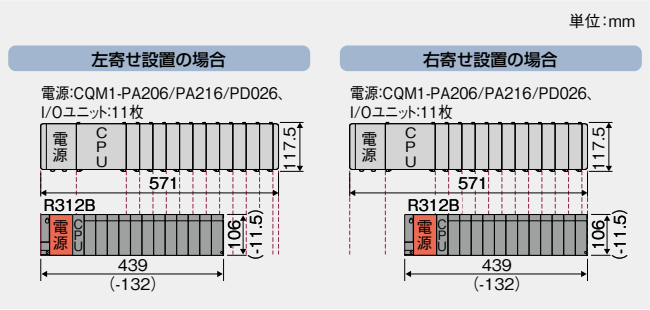
(1) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → R312B

単位:mm



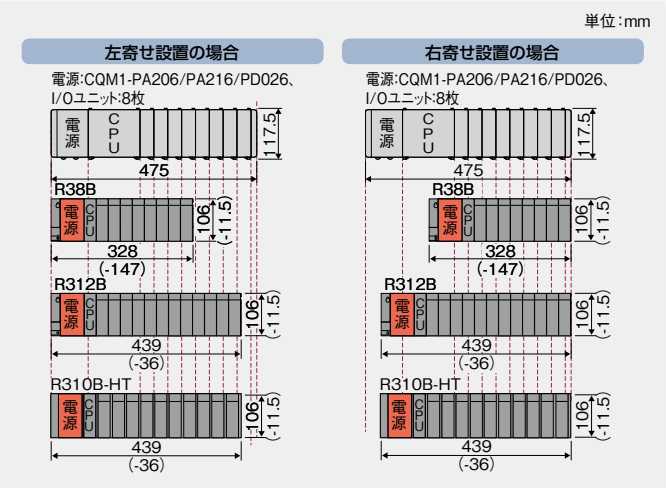
(2) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚 → R312B

単位:mm



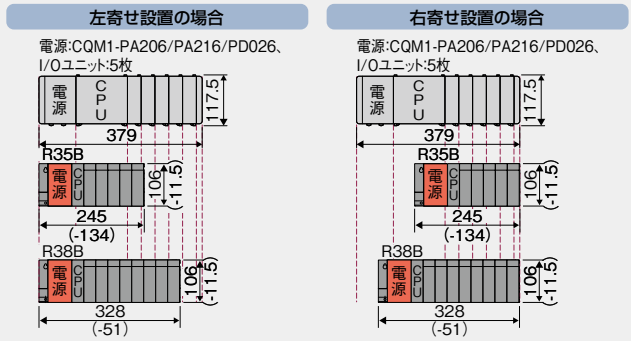
(3) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚 → R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm



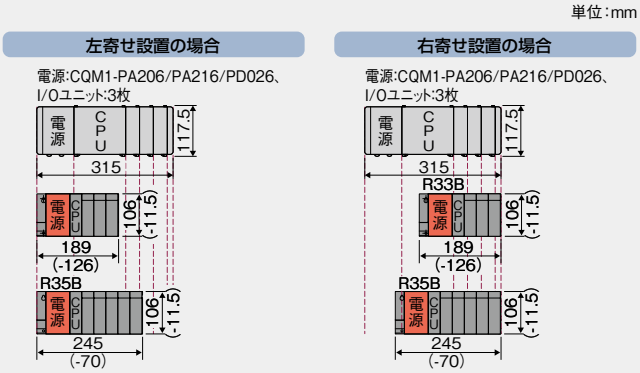
(4) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚 → R35B、R38B

単位：mm



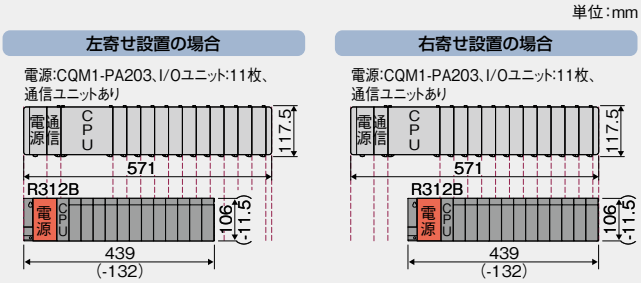
(5) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚 → R33B、R35B

単位：mm



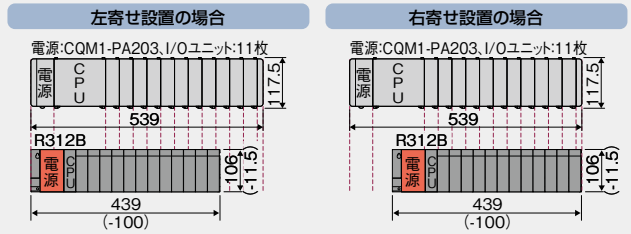
(6) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → R312B

単位：mm



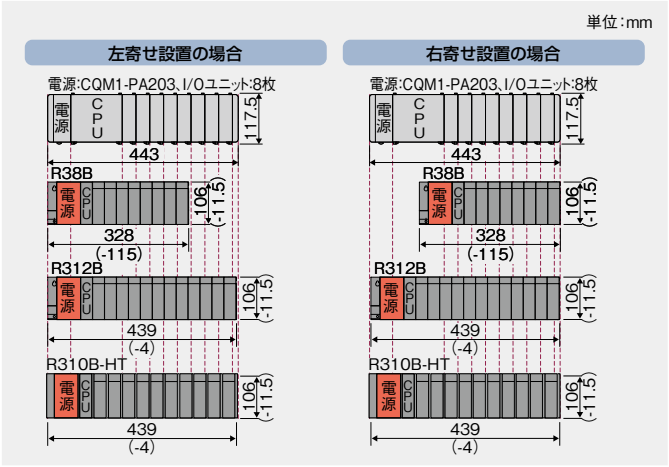
(7) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚 → R312B

単位：mm



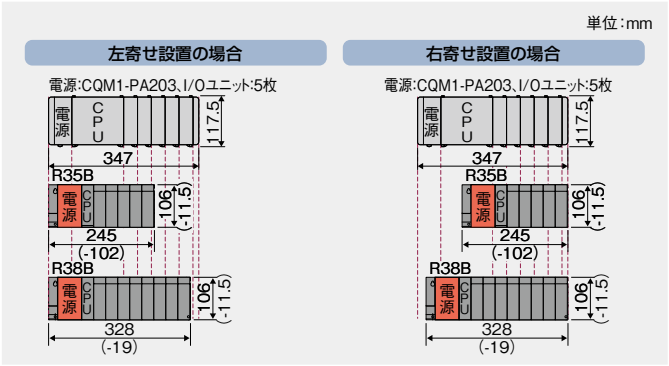
(8) CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚 → R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm



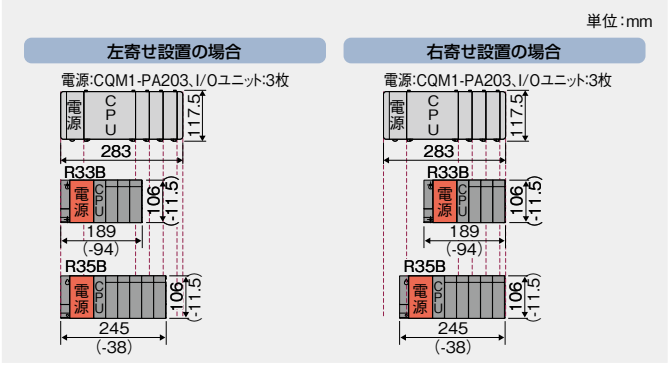
(9) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚 → R35B、R38B

単位:mm



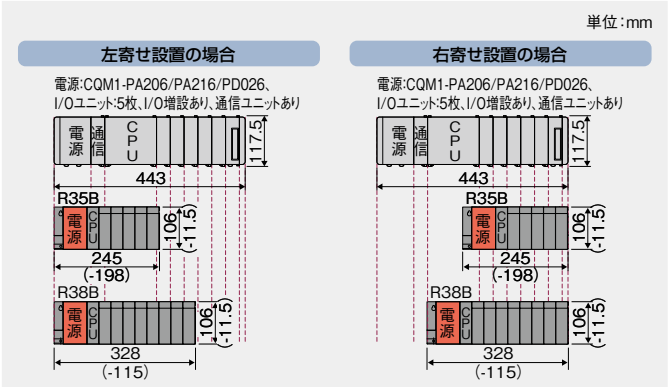
(10) CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚 → R33B、R35B

単位:mm



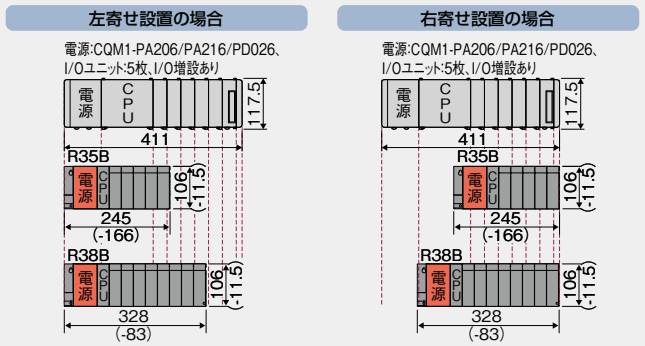
(11) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり →R35B、R38B

単位:mm



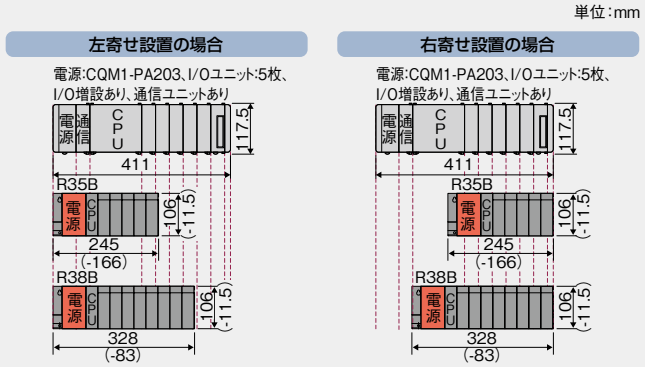
(12) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり →R35B、R38B

単位：mm



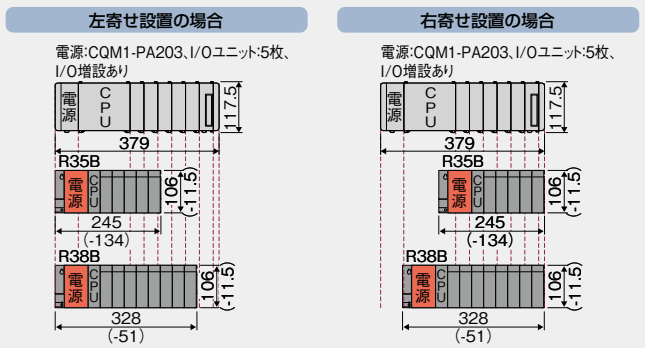
(13) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり →R35B、R38B

単位：mm



(14) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設 → R35B、R38B

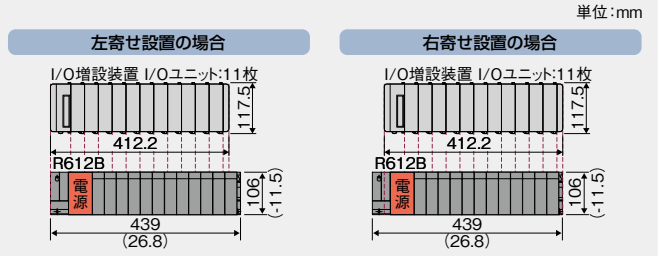
単位：mm



増設ベースユニットを使用する場合

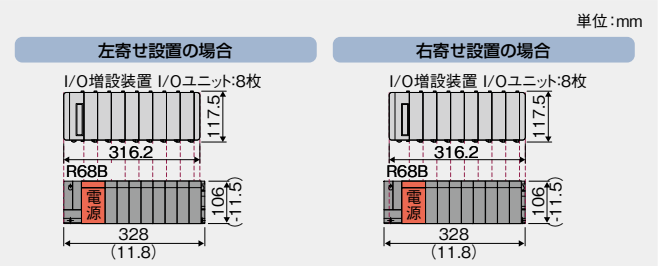
(1) I/O増設装置 I/Oユニット11枚 → R612B

単位:mm



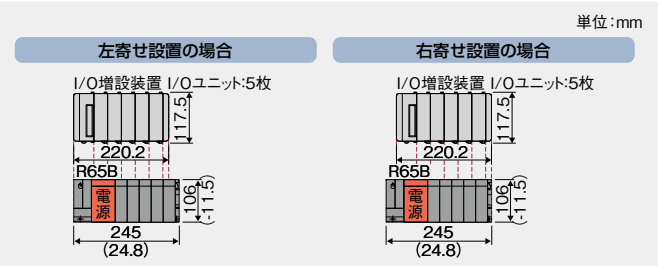
(2) I/O増設装置 I/Oユニット8枚 → R68B

単位:mm



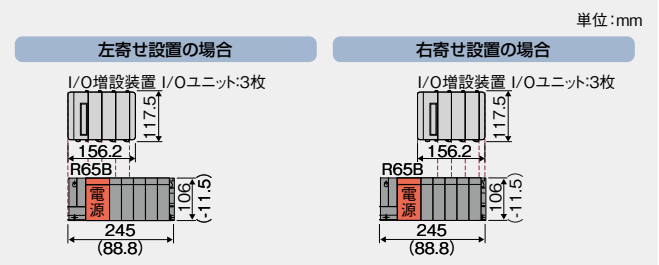
(3) I/O増設装置 I/Oユニット5枚 → R65B

単位:mm



(4) I/O増設装置 I/Oユニット3枚 → R65B

単位:mm

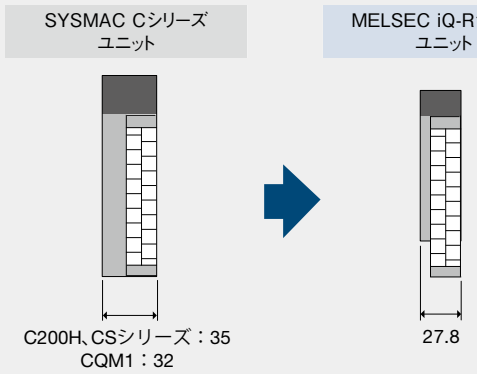


ご使用上の注意点

ユニット幅

ユニット幅が小さくなり配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるまたは、1スロット分空け配線領域を確保してください。

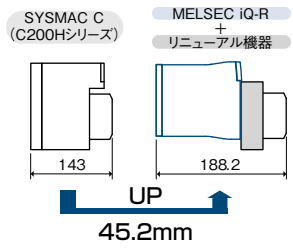
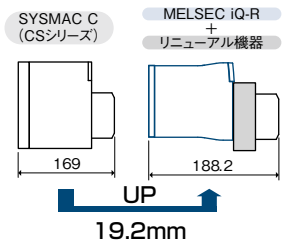
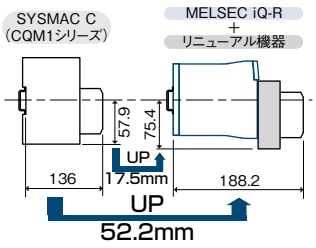
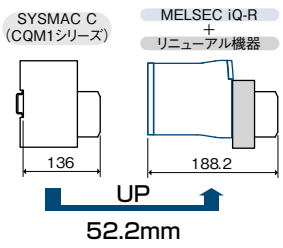
単位:mm



奥行き・高さ

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き・高さ寸法に注意が必要です。

SYSMAC C :SYSMAC Cシリーズ　MELSEC iQ-R :MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2CR216X218X ERNT-2CR218Y			
ユニット対象	C200Hシリーズ	CSシリーズ	CQM1 シリーズ	
			DIN レール取付け	DIN レール→盤面取付け
寸法 奥行き	45.2mm UP	19.2mm UP	52.2mm UP	52.2mm UP
寸法 高さ	UPなし	UPなし	17.5mm UP	UPなし
取付け図				

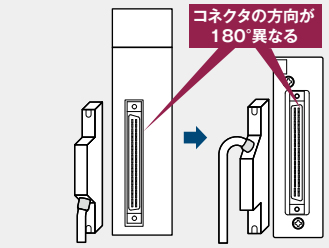
置換え時のコネクタ向き

32点ユニット

以下の対象ユニット（32点）は、変換アダプタとコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（32点）〉

- CS1W-ID231
- CS1W-OD231
- CS1W-OD232

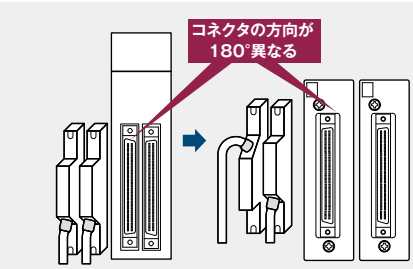


入出力混合ユニットの出力部（32点）

以下の対象ユニット（入出力混合ユニット）は、変換アダプタと出力部（左側）のコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（入出力混合ユニットの出力部（32点））〉

- CS1W-MD261
- CS1W-MD262

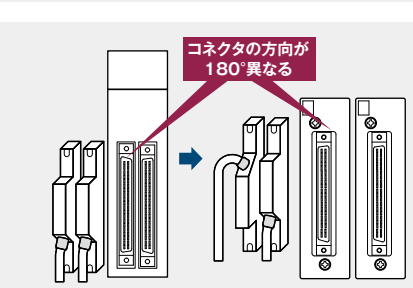


64点ユニット

以下の対象ユニット（64点）は、同じ変換アダプタを2台使用しますが、右図のように2つのコネクタ方向が180°異なるため、180°回転したコネクタに接続するケーブルが接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（64点）〉

- CS1W-ID261
- CS1W-OD261
- CS1W-OD262
- C200H-ID217
- C200H-ID219
- C200H-OD219



SYSMAC Cシリーズ→MELSEC-Qシリーズ
大形タイプ▶C500、C1000H、C2000H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	C500-IA121	QX10	—	ERNT-CQTX121	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	C500-ID112	QX70		ERNT-CQTX112213			
	C500-ID213	QX40、QX40-S1					
	C500-ID215	QX41		ERNT-CQTX215218	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	C500-ID218	QX41、QX41-S1					
	C500-ID218CN	QX41、QX41-S1		ERNT-CQCX218501	コネクタ（24P）×2 ＋ 端子台（4点）	コネクタ（40P）	
	C500-ID501CN	QX71					
	C500-ID114	QX72		ERNT-CQCX114219	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
	C500-ID219	QX42、QX42-S1、QX82					
出力	C500-OC221	QY10	—	ERNT-CQTY221	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	C500-OA121	QY22		ERNT-CQTY226			
	C500-OA222	QY22					
	C500-OA226	QY22					
	C500-OD219	QY40P、QY50		ERNT-CQTY219217			
	C500-OD217	QY40P、QY50					
	C500-OD411	QY40P、QY50		ERNT-CQTY411			
	C500-OD412	QY41P		ERNT-CQTY412			
	C500-OD414	QY41P	※1	ERNT-CQTY414218	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	C500-OD218	QY41P					
	C500-OD415CN	QY41P	—	ERNT-CQCY415	コネクタ（24P）×2 ＋ 端子台（4点）	コネクタ（40P）	
	C500-OD501CN	QY71		ERNT-CQCY501			
	C500-OD213	QY42P		ERNT-CQCY213	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット（Q□□BL）には使用できません。）

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名		注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	C500-IA122	QX10	×2台	—	ERNT-CQTX122	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
出力	C500-OC224	QY10	×2台	—	ERNT-CQTY224			
	C500-OA225	QY22	×2台		ERNT-CQTY225			
	C500-OD218	QY50	×2台	※1	ERNT-CQTY218			
	C500-OD414							

※1：開閉能力（負荷電流）が1スロットタイプ（QY41P）において満足できない場合、2スロットタイプ（QY50×2台）を使用することで満足できます。

ポイント 上記に記載のないユニット（C500-IA222/IA223/OC223/OD215/OD212/OA223）では、ユニバーサル変換アダプタ（P.305参照）を置換えに活用いただけます。

ベースアダプタ

基本/増設	置換え前SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	ベースアダプタ形名	取付け可能 変換アダプタ固定台形名
基本	C500-BC081/082/091 C2000-BC061	Q312B	ERNT-CQB081N	ERNT-QF12/QF8
		Q38B		ERNT-QF8
増設	C500-BI081 C2000-BI083	Q612B		ERNT-QF12/QF8
		Q68B		ERNT-QF8
基本	C500-BC051/052/061	Q38B	ERNT-CQB051N	ERNT-QF8/QF5
		Q35B		ERNT-QF5
増設	C500-BI051	Q68B		ERNT-QF8/QF5
		Q65B、Q55B		ERNT-QF5
基本	C500-BC031	Q35B、Q33B	ERNT-CQB031N	ERNT-QF5

変換アダプタ固定台

変換アダプタ固定台形名	内　容	備　考
ERNT-QF12	12スロット分 変換アダプタ固定台	変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。
ERNT-QF8	8スロット分 変換アダプタ固定台	
ERNT-QF5	5スロット分 変換アダプタ固定台	

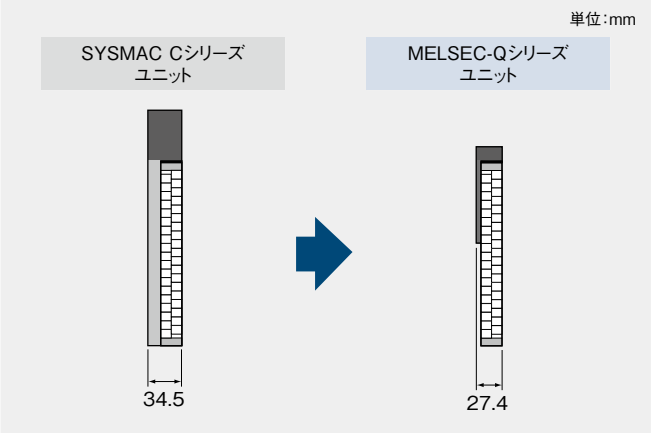
プログラムコンバータ ▶P.162

形　名	備　考
ERNT-CQ1W2C	オムロン株式会社SYSMAC CシリーズプログラムをMELSEC-QシリーズGX Developer用プロジェクトファイルへ変換するソフトウェアです。

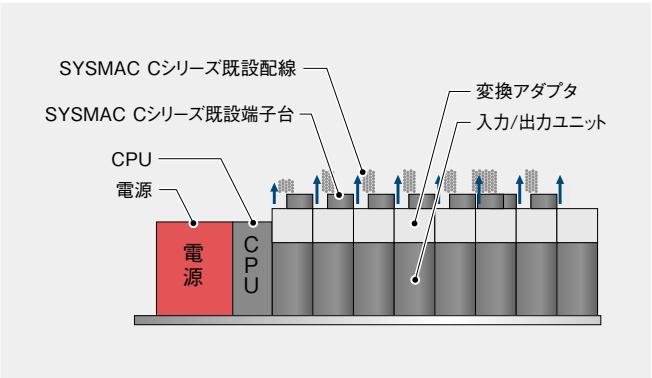
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→27.4mm) 配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

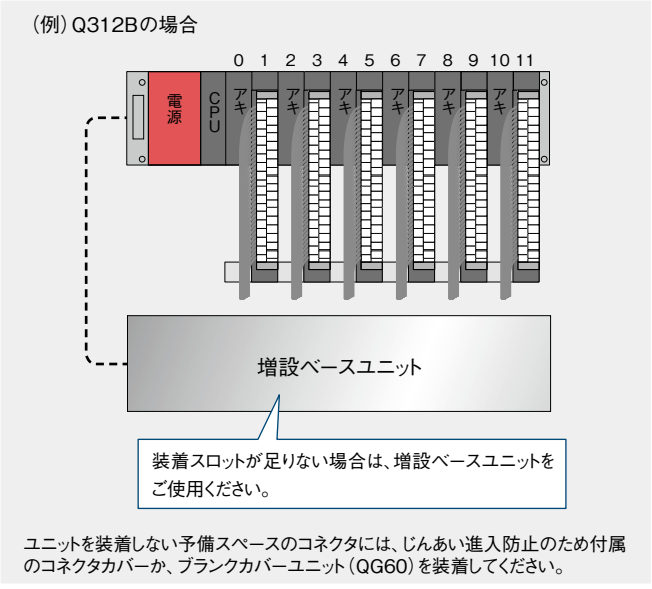


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) Q312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(配線領域は37.5mm)の使用をご検討ください。→P.20

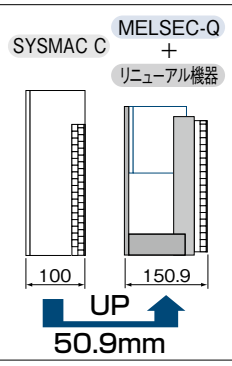
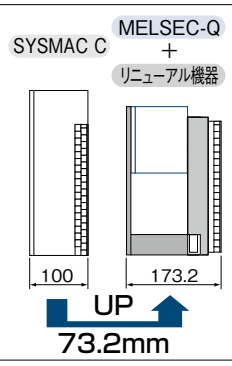
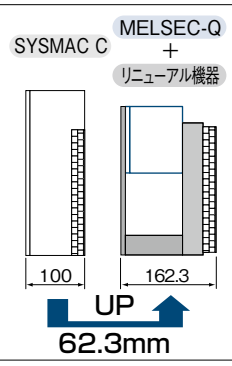
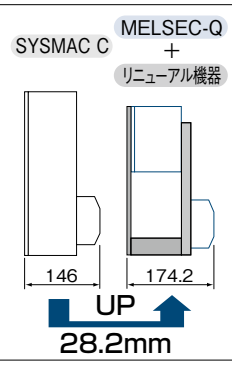
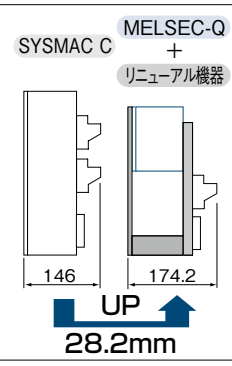
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

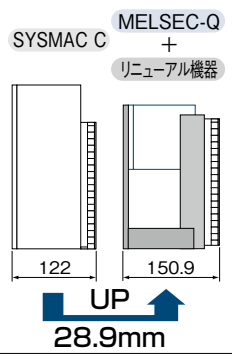
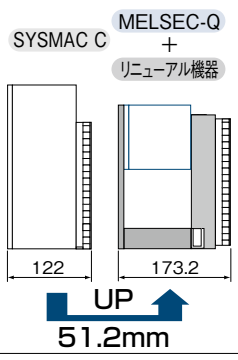
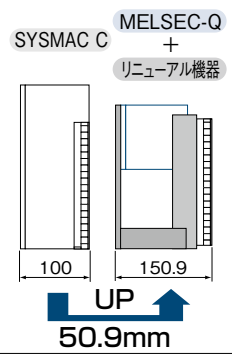
盤面からの奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。
SYSMAC Cシリーズ: ベースユニット + 入力/出力ユニット + 端子台
MELSEC-Qシリーズ+リニューアル機器: ベースアダプタ + ベースユニット + 入力/出力ユニット + 変換アダプタ + 端子台

SYSMAC C :SYSMAC Cシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

1スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-CQTX121 ERNT-CQTX112213 ERNT-CQTY411 ERNT-CQTY219217 ERNT-CQTY221	ERNT-CQTY226	ERNT-CQTX215218 ERNT-CQTY412 ERNT-CQTY414218	ERNT-CQCX114219 ERNT-CQCY213	ERNT-CQCX218501 ERNT-CQCY415 ERNT-CQCY501
奥行き寸法	150.9mm	173.2mm	162.3mm	174.2mm	174.2mm
取付け図					

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-CQTX122 ERNT-CQTY224	ERNT-CQTY225	ERNT-CQTY218
奥行き寸法	150.9mm	173.2mm	150.9mm
取付け図			

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

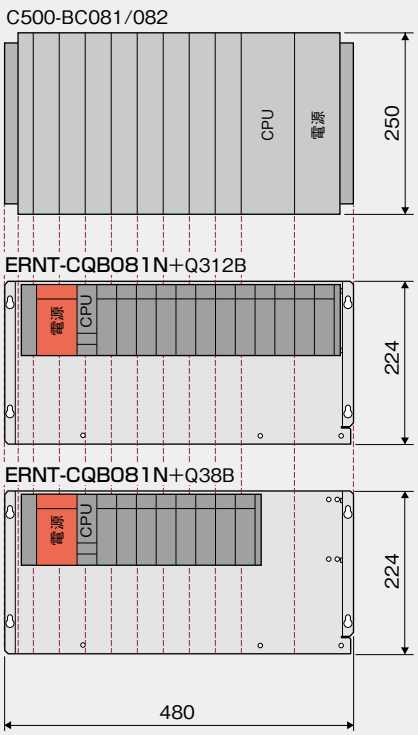
変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、SYSMAC Cシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

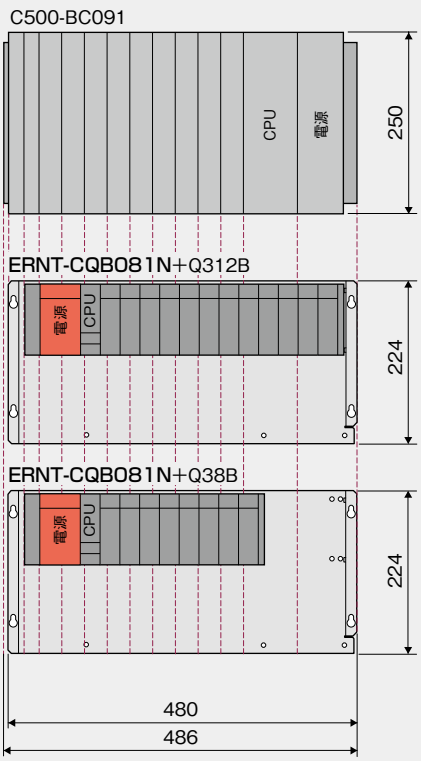
(1) C500-BC081/082→Q312B/Q38B

単位:mm



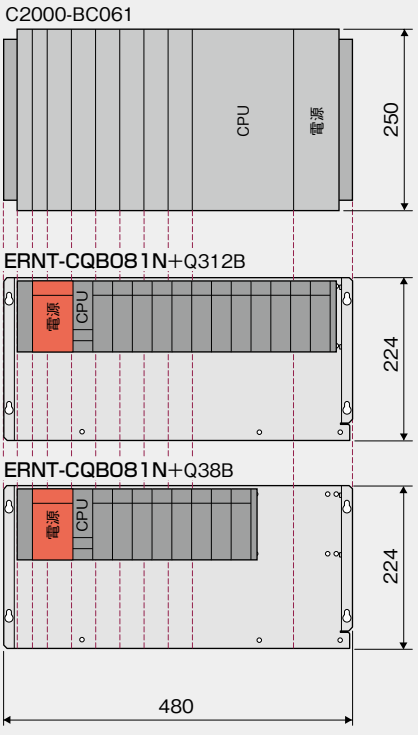
(2) C500-BC091→Q312B/Q38B

単位:mm



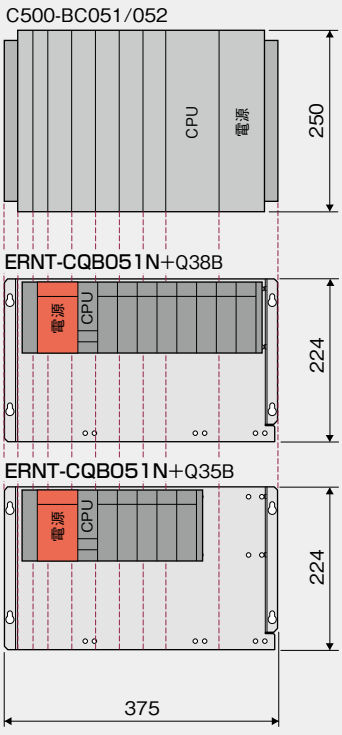
(3) C2000-BC061→Q312B/Q38B

単位:mm



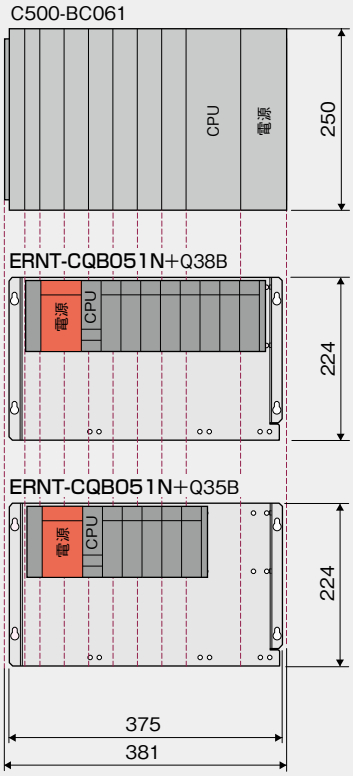
(4) C500-BC051/052→Q38B/Q35B

単位:mm



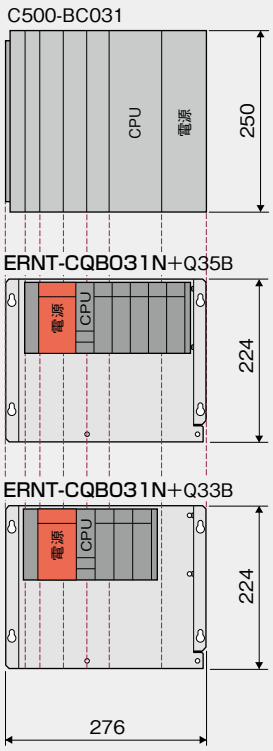
(5) C500-BC061→Q38B/Q35B

単位:mm



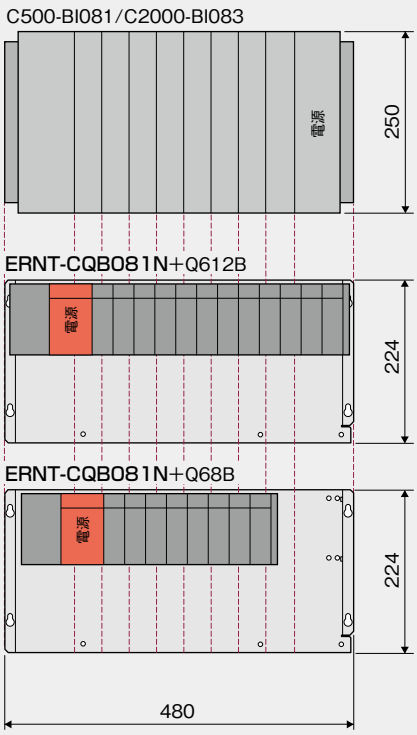
(6) C500-BC031→Q35B/Q33B

単位:mm



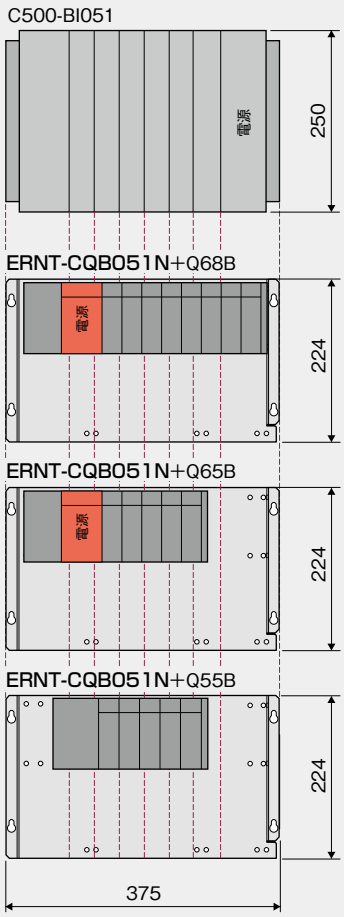
(7) C500-BI081/C2000-BI083→Q612B/Q68B

単位:mm



(8) C500-BI051→Q68B/Q65B/Q55B

単位:mm



小形タイプ▶C200Hシリーズ、CSシリーズ、CQM1シリーズ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

C200Hシリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	C200H-ID216	QX41、QX41-S1、QX41-S2	※1	※2	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	C200H-ID218							
	C200H-ID217	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、QX41-S2 × 2台		※3	ERNT-2CQ216X218X × 2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点
	C200H-ID219			※4				
	C200H-ID111	QX71 × 2台		※3				
出力	C200H-OD218	QY41P、QY71		—	ERNT-2CQ218Y	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	C200H-OD219	QY41P × 2台、QY71 × 2台		※3	ERNT-2CQ218Y × 2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点

※1：SYSMAC Cシリーズの各ユニット形名末尾に「-N」が付加する機種は、付属コネクタの有無の差となりますので省略しています。
※2：既設ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※3：C200H-ID217、C200H-ID219、C200H-ID111およびC200H-OD219からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
※4：既設ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S2への再配線をご検討ください。

CSシリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名		置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	CS1W-ID231		QX41、QX41-S1、QX41-S2	※5	※6	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CS1W-ID261		QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、QX41-S2 × 2台		※7	ERNT-2CQ216X218X × 2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点
出力	CS1W-OD231		QY41P、QY71		※8	ERNT-2CQ218Y	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CS1W-OD261		QY41P × 2台、QY71 × 2台		※9	ERNT-2CQ218Y × 2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点
入出力混合	CS1W-MD261	入力部	QX41、QX41-S1、QX41-S2		※6	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
		出力部	QY41P、QY71		※8	ERNT-2CQ218Y			
	CS1W-MD561	入力部	QX71		※10	ERNT-2CQ216X218X			
		出力部	QY71		—	ERNT-2CQ218Y			
	CS1W-MD262	入力部	QX41、QX41-S1、QX41-S2		※6	ERNT-2CQ216X218X			
		出力部	QY81P		—	—（再配線が必要）	—	—	—

※5：1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモン となるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※6：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 2台、またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
既設ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※7：CS1W-ID261からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。
既設ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
※8：CS1W-OD231/CS1W-MD261（出力部）→QY41P/QY71への置換えで、既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 2台またはQY70 2台への再配線をご検討ください。
※9：CS1W-OD261からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
また、CS1W-OD261→ QY41P/QY71 2台への置換えで、既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。
※10：既設ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX70 2台への再配線をご検討ください。

CQM1シリーズ対応品

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	CQM1-ID213 CQM1-ID214	QX41、QX41-S1、QX41-S2	※11	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	CQM1-ID112	QX71	—				
出力	CQM1-OD213	QY41P、QY71	—	ERNT-2CQ218Y			

※11：既設ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.300

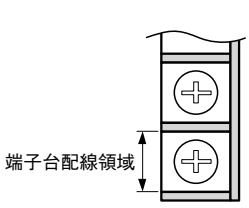
入力/出力ユニット用

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット 形名	仕様	点数	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット 形名	仕様	点数	必要台数	注意事項	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100～200V	16点	1台	–	対応※16
	C200H-IA122		16点						
	C200H-IA122V								
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100～240V	8点	1台		
	C200H-IA222		16点				2台		
	C200H-IA222V								
	C200H-ID001	無電圧接点入力 NPNタイプ出力用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	※12 ※13	
	C200H-ID002	無電圧接点入力 PNPタイプ出力用		QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
	C200H-ID211	DC12～24V プラス/マイナスコモン共用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	※14	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	–	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
	C200H-IM211	AC/DC12～24V	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	※14	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台		
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	–	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台		
	CS1W-IA211	AC200～240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台		
	CS1W-ID211	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台		
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台		
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	–	
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点						
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A	12点						
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点						
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点						
	C200H-OC221	最大AC250V/DC24V 2A	8点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台	※14	
	C200H-OC222		12点					–	
	C200H-OC222N								
	C200H-OC222V								
	C200H-OC225		16点						
	C200H-OC226								
	C200H-OC226N								
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	–	
	C200H-OC224		8点						
	C200H-OC224N								
	C200H-OC224V								
	C200H-OD411	DC12～48V 1A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	※14	
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点					–	
	C200H-OD212		16点						
	C200H-OD213	DC24V 2.1A シンク	8点					※14	
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台	–	
	C200H-OD216	DC5～24V 0.3A ソース	8点					※15	
	C200H-OD217		12点						
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点					–	
	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A 独立接点	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	–	
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台		
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台		
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点						
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台		
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台		

※12：DC24V/8点/プラスコモンの入力ユニットとDC12-24V/8点/シンクタイプの出力ユニットを1台ずつご使用の場合は、QX48Y57（入力8点、出力7点の入出力混合ユニット）への置換えを検討してください。ただし、出力は7点しかないため注意してください。
※13：配線側にて追加電源入力が必要です。
※14：DC5Vまたは12Vで使用する場合は、QX70（プラス/マイナスコモン共用）への置換えをご検討ください。
※15：定格入力電圧をDC12～24Vで使用していない場合は電源電圧を変更する必要があります。
※16：ユニバーサル変換アダプタ（P.305参照）を置換えに活用いただけます。

参考：圧着端子および電線仕様

項目	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
圧着端子サイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7mm	6mm	7.3mm



変換アダプタ非対応機種の置換え案

下表に示す入力/出力ユニットは変換アダプタ非対応のため、再配線による置換えをご検討ください。

入力/出力ユニット用

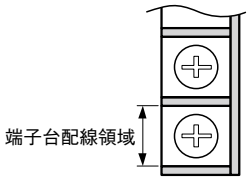
入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	CQM1H-CPU61 CQM1H-CPU51 CQM1H-CPU21 CQM1H-CPU11	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	※17
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
	CQM1-ID211	DC12～24V 独立コモン	8点	なし				—
	CQM1-ID111	DC12V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	CQM1-ID212	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
	CQM1-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100-120V	16点	1台	
	CQM1-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	
出力	CQM1-OC221 CQM1-OC224	AC250V/DC24V 2A 独立コモン	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	—
	CQM1-OC222	AC250V/DC24V 2A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台	
	CQM1-OD211	DC24V 2A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	
	CQM1-OD212	DC4.5V～26.4V シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	
				QY70	DC5-12V シンク	16点	1台	
	CQM1-OD214	DC4.5V～26.4V ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台	※18
	CQM1-OD215	DC24V 1.0A ソース	8点					—
	CQM1-OA221 CQM1-OA222	AC100～240V 0.4A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	

※17：置換え後として示しているユニットは入力ユニットです。CPUユニットについては、別途ご選定ください。
※18：定格入力電圧をDC12～24Vで使用していない場合は電源電圧を変更する必要があります。

参考：圧着端子および電線仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3	M3
端子台配線領域	6.2mm	6mm

※横幅6.2mm以下の圧着端子が指定されているため、MELSEC-Qの端子台に入らない可能性があるため、ご注意ください。



プログラムコンバータ ▶P.162

形　名	備　考
ERNT-CQ1W2C	オムロン株式会社SYSMAC CシリーズプログラムをMELSEC-QシリーズGX Developer用プロジェクトファイルへ変換するソフトウェアです。

三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意
ベースユニットの取付け穴（4か所）位置は、SYSMAC Cシリーズ（C200H/CS/CQM1）ベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

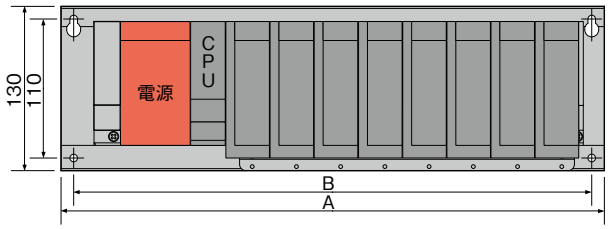
C200Hシリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

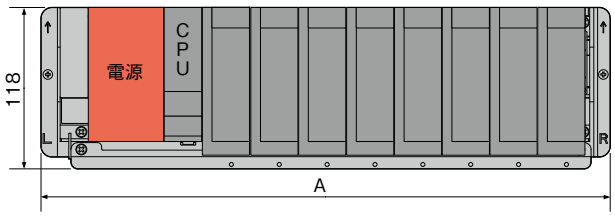
単位：mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
盤面取付けタイプ



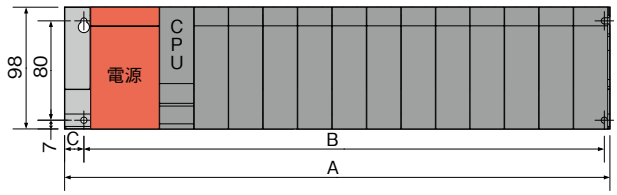
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内　容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
DINレール取付けタイプ



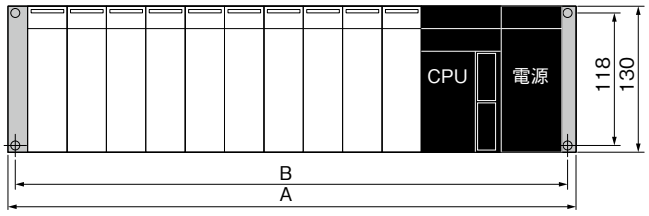
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内　容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎（参考）C200Hシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
C200HW-BC101-V1	CPUベース ユニット	505	491	M4
C200HW-BC081-V1		435	421	
C200HW-BC051		330	316	
C200HW-BC031		260	246	
C200HW-BI101-V1	I/Oベース ユニット	434	420	
C200HW-BI081-V1		364	350	
C200HW-BI051		259	245	
C200HW-BI031		189	175	

置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

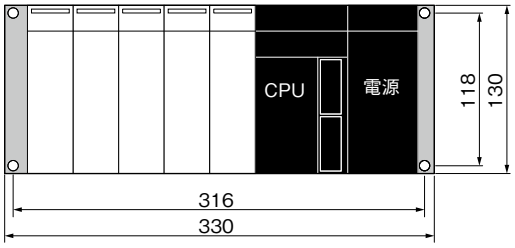
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

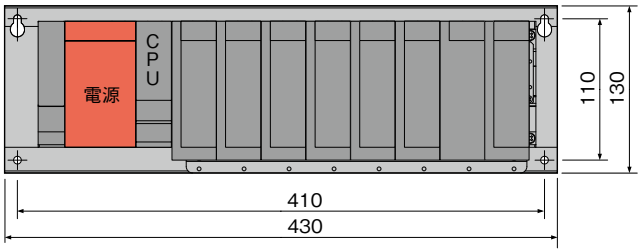
（例）C200H（C200HW-BC051）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

単位：mm

C200HW-BC051



Q38BLS



取付け寸法:94mmUP

外形寸法:100mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：C200Hシリーズの方が大きい、▲：C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-C200Hシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
C200HW-BC101-V1	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	◎	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-32)	○ (-72)	○ (-38)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要がある
C200HW-BC081-V1	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-32)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-32)	○ (-113)	○ (-38)	
C200HW-BC051	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	◎	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-32)	▲ (103)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-32)	○ (-91.6)	○ (-38)	
C200HW-BC031	あり	3	Q35BLS	あり	5	▲ (65)	◎	▲ (59)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-32)	▲ (62)	○ (-38)	
										Q35B	あり	5	○ (-15)	○ (-32)	○ (-21.6)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-32)	○ (-77)	○ (-38)	

※1：（　）値はMELSEC-QシリーズとC200Hシリーズの寸法差［単位：mm］　※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：C200Hシリーズの方が大きい、▲：C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-C200Hシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
C200HW-BI101-V1	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-14)	◎	○ (-20)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (5)	○ (-32)	○ (-3)	○ (-38)	
C200HW-BI081-V1	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (75)	○ (-32)	▲ (67)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-36)	○ (-32)	○ (-44)	○ (-38)	
C200HW-BI051	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (161)	◎	▲ (155)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (180)	○ (-32)	▲ (172)	○ (-38)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	▲ (69)	○ (-32)	▲ (61)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-14)	○ (-32)	○ (-22.6)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	▲ (1)	◎	○ (-5)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-70)	○ (-32)	○ (-78)	○ (-38)	
C200HW-BI031	あり	3	Q65BLS	あり	5	▲ (126)	◎	▲ (120)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (139)	○ (-32)	▲ (131)	○ (-38)	
										Q65B	あり	5	▲ (56)	○ (-32)	▲ (47.4)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	▲ (71)	◎	▲ (65)	○ (-8)	Q63B	あり	3	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
										Q55B	なし	5	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	

※1：（　）値はMELSEC-Qシリーズ とC200Hシリーズの寸法差[単位：mm]　※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

SYSMAC C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

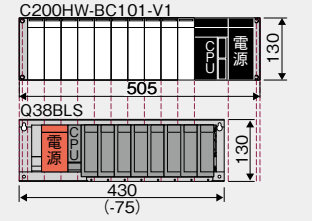
AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC C200Hシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

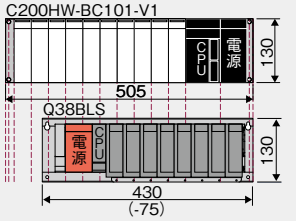
(1) C200HW-BC101-V1 → Q38BLS / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

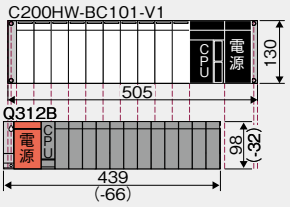


右寄せ設置の場合

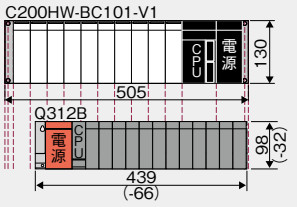


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



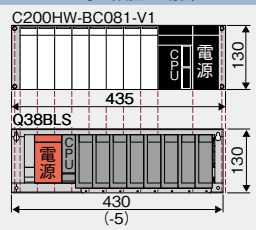
右寄せ設置の場合



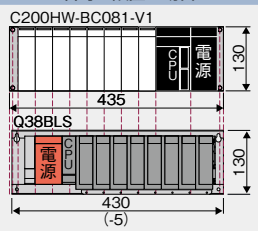
(2) C200HW-BC081-V1 → Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

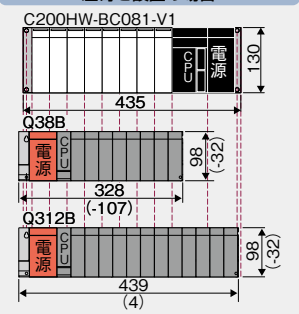


右寄せ設置の場合

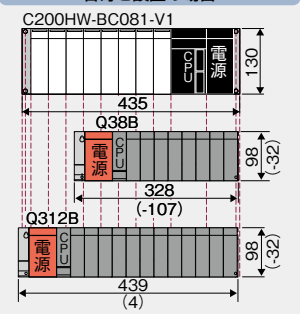


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



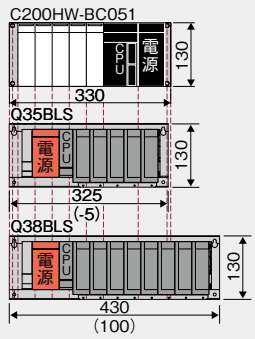
右寄せ設置の場合



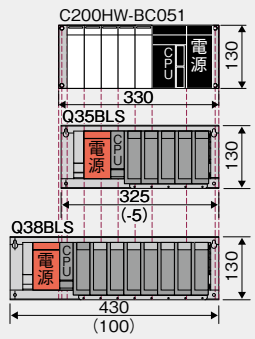
(3) C200HW-BC051 → Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

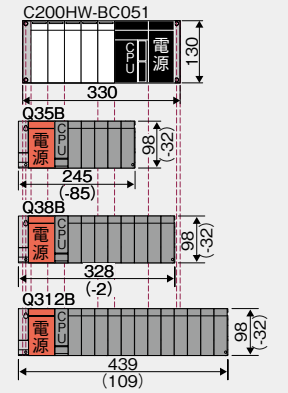


右寄せ設置の場合

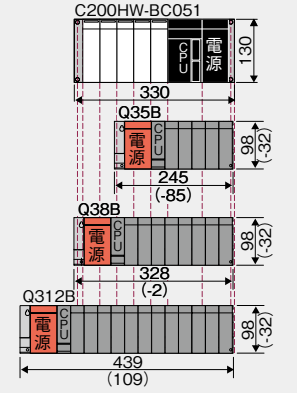


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



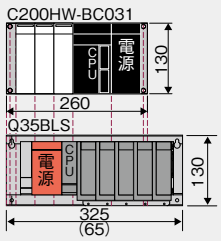
右寄せ設置の場合



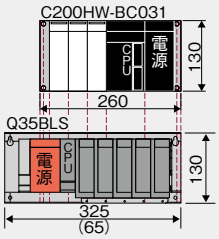
(4) C200HW-BC031 → Q35BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

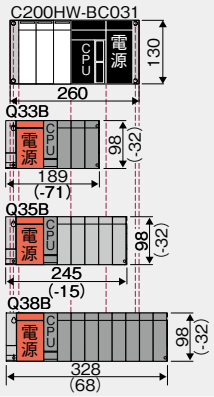


右寄せ設置の場合

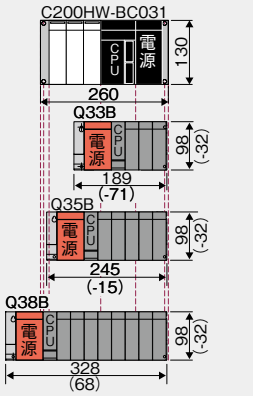


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

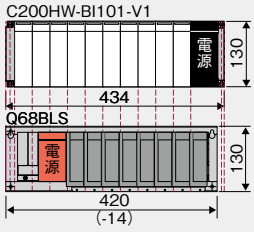


増設ベースユニットを使用する場合

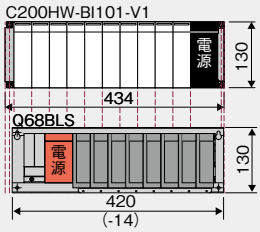
(1) C200HW-BI101-V1 → Q68BLS / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

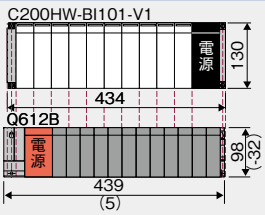


右寄せ設置の場合

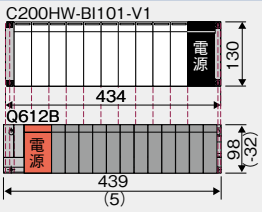


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



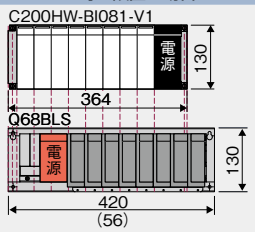
右寄せ設置の場合



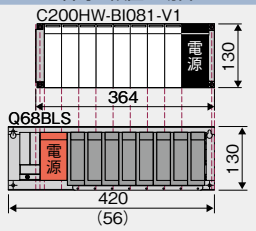
(2) C200HW-BI081-V1 → Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

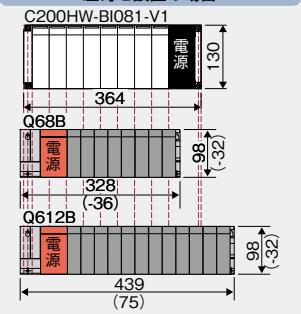


右寄せ設置の場合

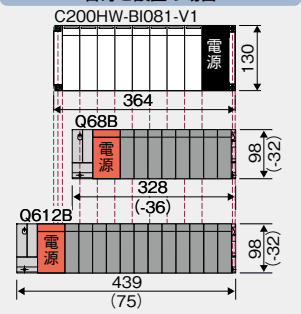


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



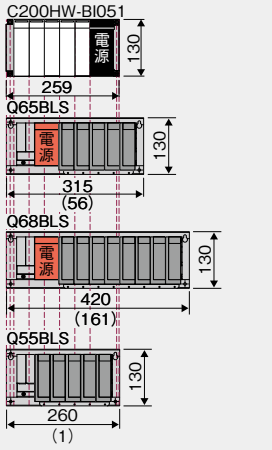
右寄せ設置の場合



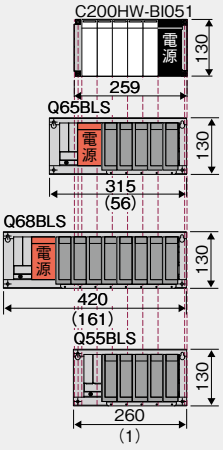
(3) C200HW-BI051 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

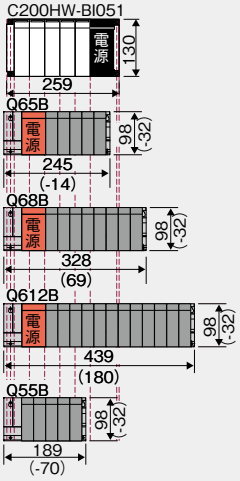


右寄せ設置の場合

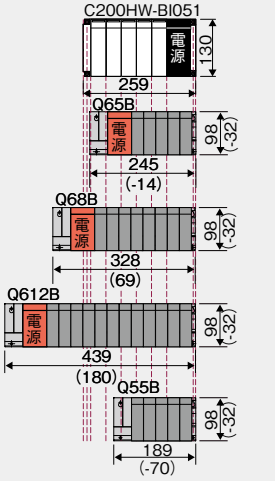


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



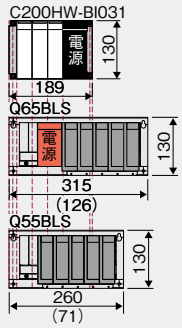
右寄せ設置の場合



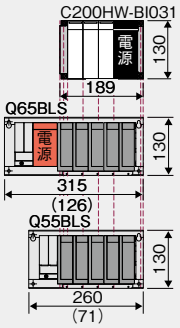
(4) C200HW-BI031 → Q65BLS、Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

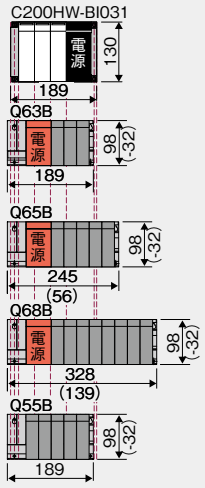


右寄せ設置の場合

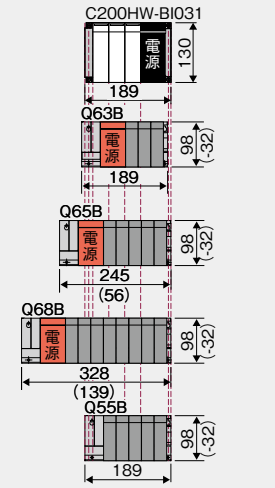


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合



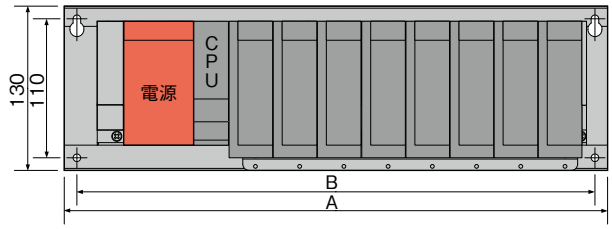
CSシリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

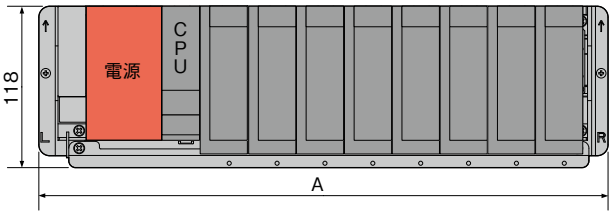
単位:mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
盤面取付けタイプ



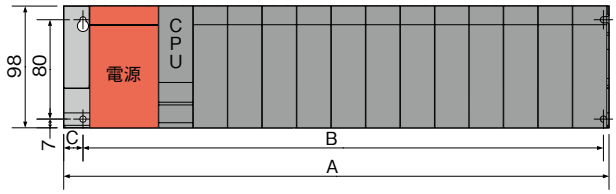
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内　容	A	B	取付け穴 ネジ サイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
DINレール取付けタイプ



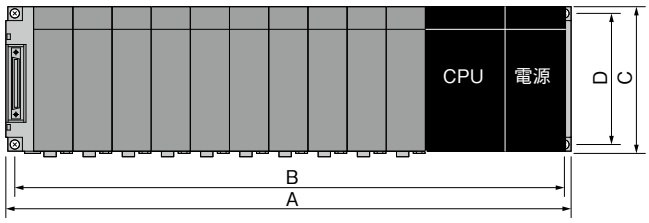
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内　容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎（参考）CSシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	D	取付け穴 ネジサイズ
CS1W-BC102、CS1W-BC103	CPUベースユニット	505	491	132	118	M4
CS1W-BC082、CS1W-BC083		435	421			
CS1W-BC052、CS1W-BC053		330	316			
CS1W-BC032、CS1W-BC033		260	246			
CS1W-BC022、CS1W-BC023		198.5	172.3	157	145	
CS1W-BI102、CS1W-BI103	増設ベースユニット	505	491	130	118	
CS1W-BI082、CS1W-BI083		435	421			
CS1W-BI052、CS1W-BI053		330	316			
CS1W-BI032、CS1W-BI033		260	246			

置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

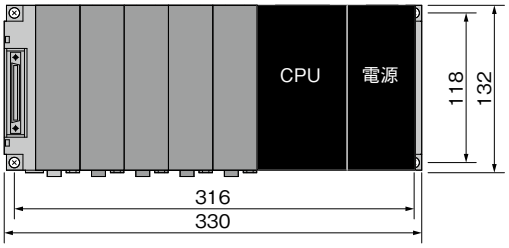
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）CS（CS1W-BC102/CS1W-BC103）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

単位：mm

CS1W-BC052/CS1W-BC053



Q38BLS

取付け寸法:94mmUP

外形寸法:100mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CSシリーズの方が大きい、▲：CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CSシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
CS1W-BC102、CS1W-BC103	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	○ (-2)	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-34)	○ (-72)	○ (-38)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要がある
CS1W-BC082、CS1W-BC083	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-34)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-34)	○ (-113)	○ (-38)	
CS1W-BC052、CS1W-BC053	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	○ (-2)	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-34)	▲ (103)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-34)	○ (-8)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-34)	○ (-91.6)	○ (-38)	
CS1W-BC032、CS1W-BC033	あり	3	Q38BLS	あり	8	▲ (170)	○ (-2)	▲ (164)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-34)	▲ (62)	○ (-38)	
										Q35B	あり	5	○ (-15)	○ (-34)	○ (-21.6)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	▲ (65)	○ (-2)	▲ (59)	○ (-8)	Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-34)	○ (-77)	○ (-38)	
CS1W-BC022、CS1W-BC023	あり	2	Q35BLS	あり	5	▲ (126.5)	○ (-27)	▲ (132.7)	○ (-35)	Q35B	あり	5	▲ (46.5)	○ (-59)	▲ (52.1)	○ (-65)	
										Q33B	あり	3	○ (-9.5)	○ (-59)	○ (-3.3)	○ (-65)	

※1：（ ）値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位：mm]　※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CSシリーズの方が大きい、▲：CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CSシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法 ※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
CS1W-BI102、CS1W-BI103	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-85)	◎	○ (-91)	○ (-8)	Q612B	あり	12	○ (-66)	○ (-32)	○ (-74)	○ (-38)	
CS1W-BI082、CS1W-BI083	あり	8	Q68BLS	あり	8	○ (-15)	◎	○ (-21)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (4)	○ (-32)	○ (-4)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-107)	○ (-32)	○ (-115)	○ (-38)	
CS1W-BI052、CS1W-BI053	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (90)	◎	▲ (84)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (109)	○ (-32)	▲ (101)	○ (-38)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	○ (-2)	○ (-32)	○ (-10)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	○ (-15)	◎	○ (-21)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-85)	○ (-32)	○ (-93.6)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	○ (-70)	◎	○ (-76)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-141)	○ (-32)	○ (-149)	○ (-38)	
CS1W-BI032、CS1W-BI033	あり	3	Q68BLS	あり	8	▲ (160)	◎	▲ (154)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (68)	○ (-32)	▲ (60)	○ (-38)	
										Q65B	あり	5	○ (-15)	○ (-32)	○ (-23.6)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (55)	◎	▲ (49)	○ (-8)	Q63B	あり	3	○ (-71)	○ (-32)	○ (-79)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	◎	◎	○ (-6)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-71)	○ (-32)	○ (-79)	○ (-38)	

※1：（ ）値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位：mm]　※2：穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

SYSMAC CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

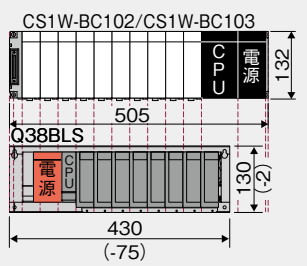
AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。
MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CSシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

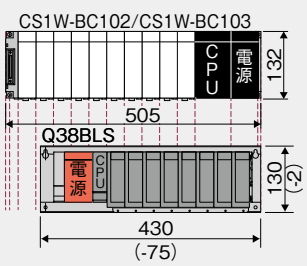
(1) CS1W-BC102、CS1W-BC103 → Q38BLS / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

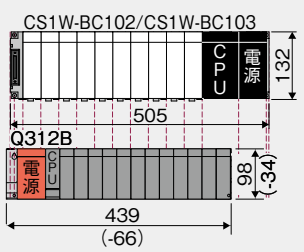


右寄せ設置の場合

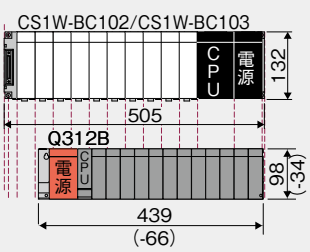


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



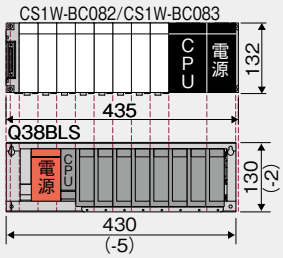
右寄せ設置の場合



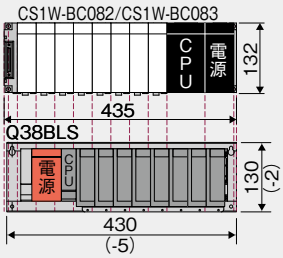
(2) CS1W-BC082、CS1W-BC083 → Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

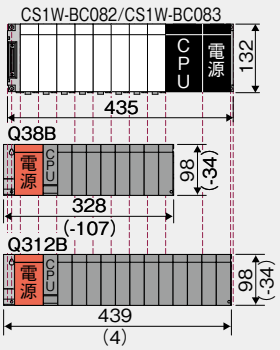


右寄せ設置の場合

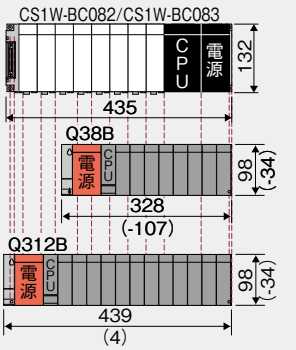


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



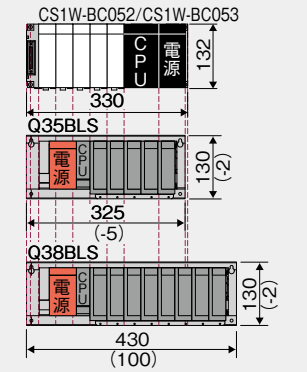
右寄せ設置の場合



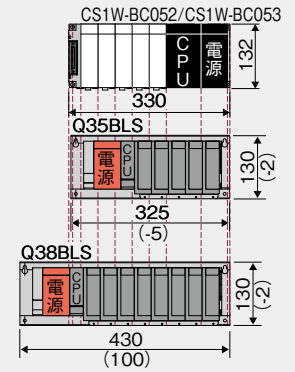
(3) CS1W-BC052、CS1W-BC053 → Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

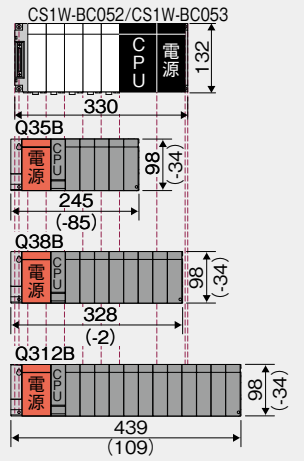


右寄せ設置の場合

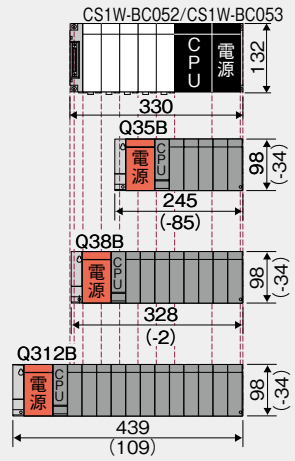


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



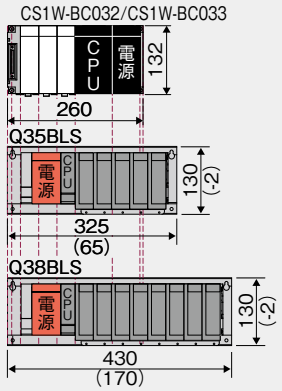
右寄せ設置の場合



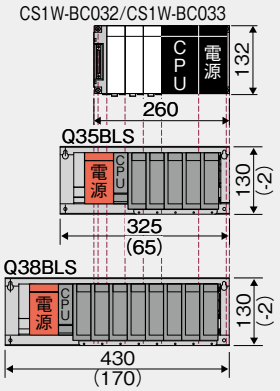
(4) CS1W-BC032、CS1W-BC033 → Q35BLS、Q38BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

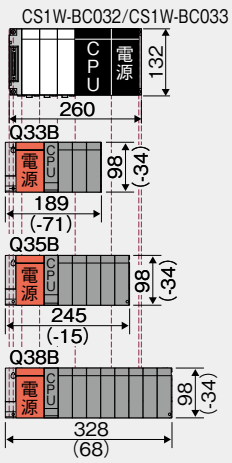


右寄せ設置の場合

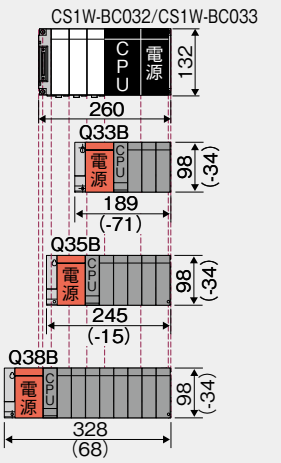


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



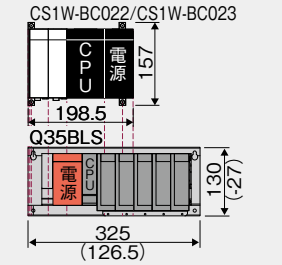
右寄せ設置の場合



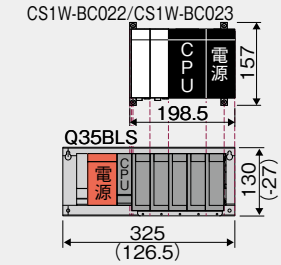
(5) CS1W-BC022、CS1W-BC023 → Q35BLS / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

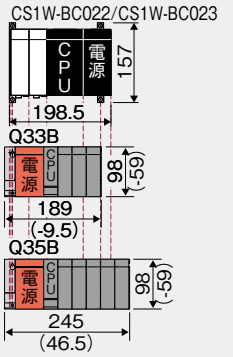


右寄せ設置の場合

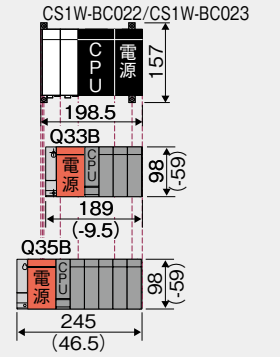


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

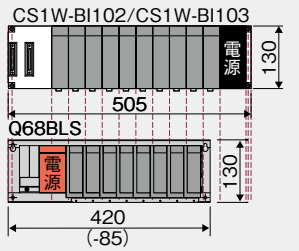


増設ベースユニットを使用する場合

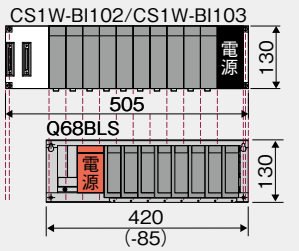
(1) CS1W-BI102、CS1W-BI103 → Q68BLS / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

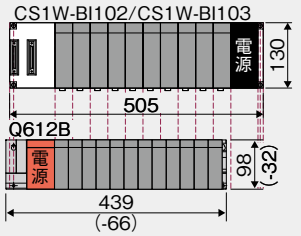


右寄せ設置の場合

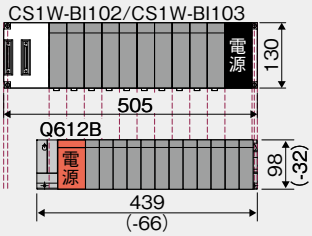


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



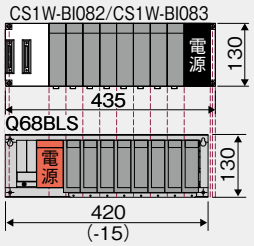
右寄せ設置の場合



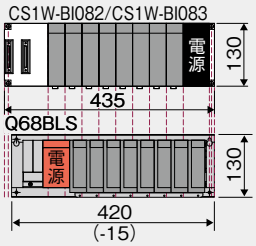
(2) CS1W-BI082、CS1W-BI083 → Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

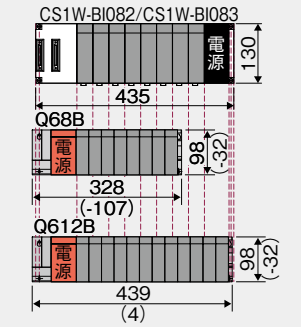


右寄せ設置の場合

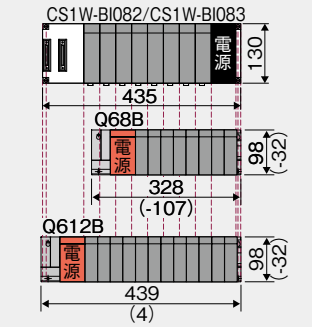


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



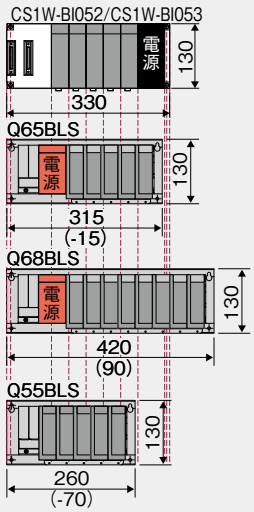
右寄せ設置の場合



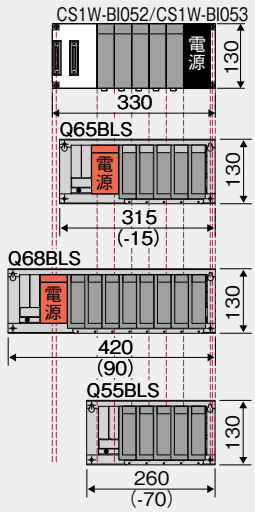
(3) CS1W-BI052、CS1W-BI053 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

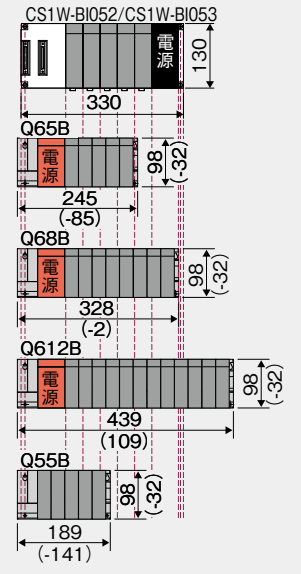


右寄せ設置の場合

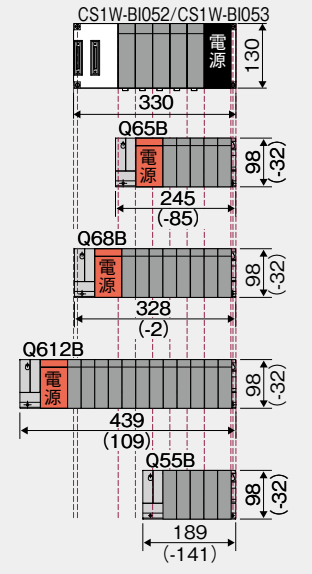


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



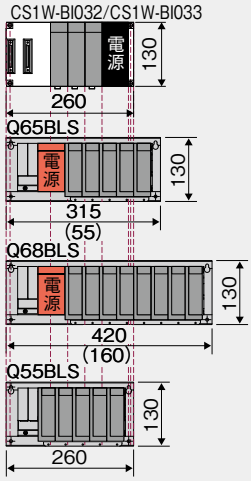
右寄せ設置の場合



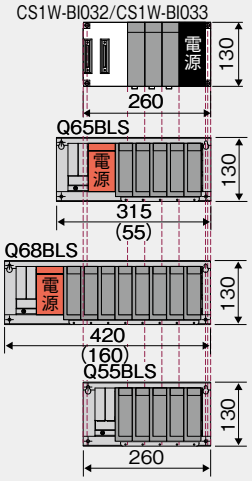
(4) CS1W-BI032、CS1W-BI033 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

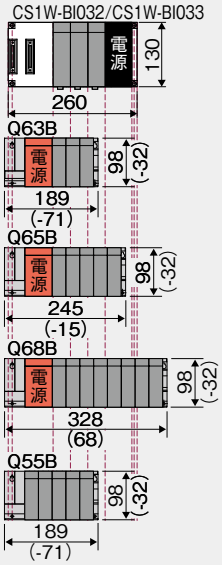


右寄せ設置の場合

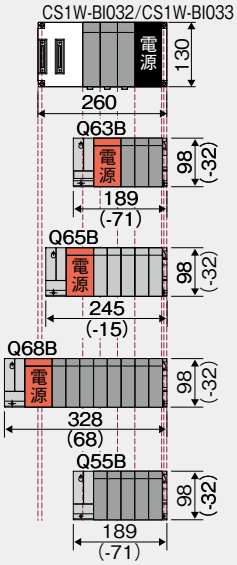


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合



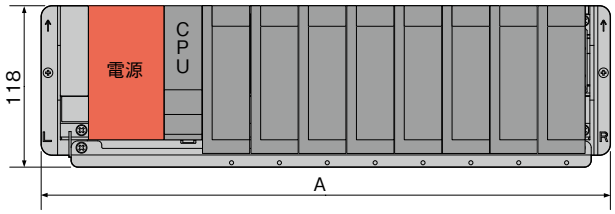
CQM1シリーズ対応品

取付け寸法

SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

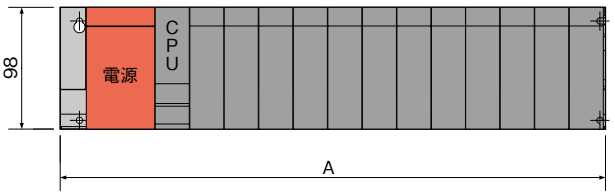
単位：mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
DINレール取付けタイプ



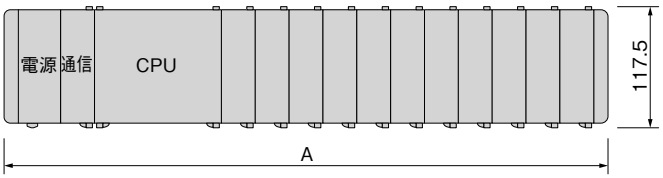
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内　容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内　容	A
Q312B	基本ベースユニット	439
Q38B		328
Q35B		245
Q33B		189
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439
Q68B		328
Q65B		245
Q63B		189
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189
Q52B		106

◎（参考）CQM1シリーズベースユニット



CQM1シリーズ ベースユニット形名	内　容	A
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203	571
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚		539
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚		443
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚		347
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚		283
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026	603
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚		571
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚		475
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚		315
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203 I/O増設あり	411
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026 I/O増設あり	443
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		411
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	I/O増設装置	412.2
I/O増設装置 I/Oユニット8枚		316.2
I/O増設装置 I/Oユニット5枚		220.2
I/O増設装置 I/Oユニット3枚		156.2

置換え時の外形寸法比較

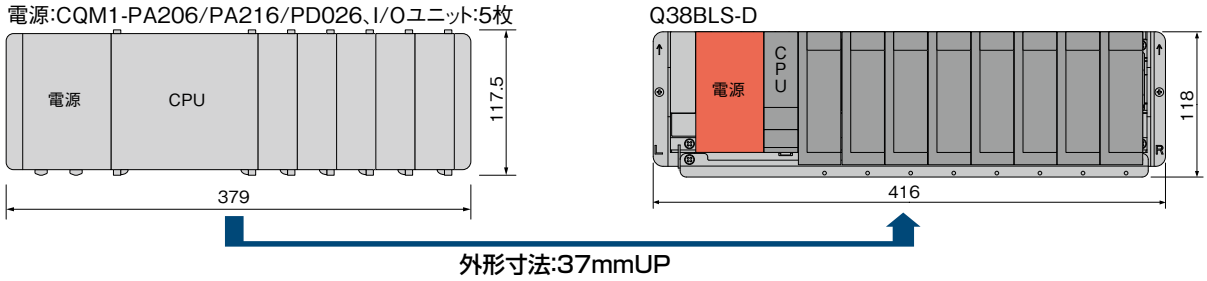
下記の表により、置換え前後の外形寸法が確認できます。

ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）CQM1（電源：CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット：5枚）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS-D）に置換えた場合

単位：mm



AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CQM1シリーズの方が大きい、▲：CQM1シリーズの方が小さい

CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット					MELSEC-Qシリーズベースユニット					備　考
構成例	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ）		形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CQM1シリーズ）		
						横	縦				横	縦	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-187)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-164)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-59)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-36)	○ (-19.5)	
								Q38B	あり	8	○ (-147)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	○ (-4)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-70)	○ (-19.5)	
								Q33B	あり	3	○ (-126)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-123)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-100)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-4)	○ (-19.5)	
								Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)	・外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (69)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-19)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-36)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-102)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	▲ (28)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-38)	○ (-19.5)	
								Q33B	あり	3	○ (-94)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-132)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-198)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	

※1：（　）値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差［単位：mm］　※2：構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：CQM1シリーズの方が大きい、▲：CQM1シリーズの方が小さい

CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット					MELSEC-Qシリーズベースユニット					備　考
構成例	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ）		形　名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CQM1シリーズ）		
						横	縦				横	縦	
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	あり	11	Q68BLS-D	あり	8	○ (-3.2)	▲ (0.5)	Q612B	あり	12	▲ (26.8)	○ (-19.5)	・外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある
I/O増設装置 I/Oユニット8枚	あり	8	Q68BLS-D	あり	8	▲ (92.8)	▲ (0.5)	Q68B	あり	8	▲ (11.8)	○ (-19.5)	
I/O増設装置 I/Oユニット5枚	あり	5	Q65BLS-D	あり	5	▲ (83.8)	▲ (0.5)	Q65B	あり	5	▲ (24.8)	○ (-19.5)	
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (27.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	○ (-31.2)	○ (-19.5)	
I/O増設装置 I/Oユニット3枚	あり	3	Q65BLS-D	あり	5	▲ (147.8)	▲ (0.5)	Q63B	あり	3	▲ (32.8)	○ (-19.5)	
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (91.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	▲ (32.8)	○ (-19.5)	

※1：（　）値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差［単位：mm］　※2:構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既設システムのご確認をお願いします。

スロット位置

SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

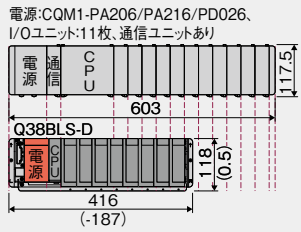
SYSMAC CQM1シリーズのスロット位置に対して、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。なお、カッコ内の数値はSYSMAC CQM1シリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

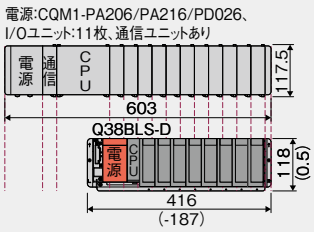
(1) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

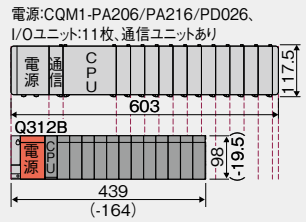


右寄せ設置の場合

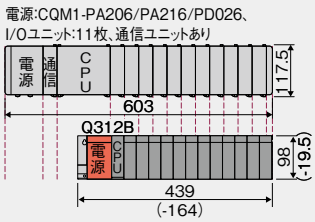


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



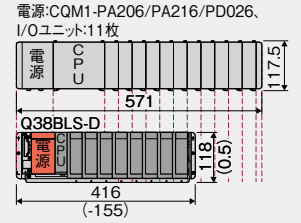
右寄せ設置の場合



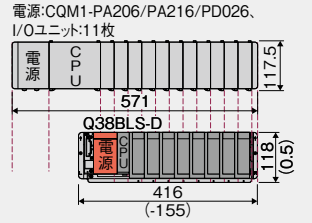
(2) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚 → Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

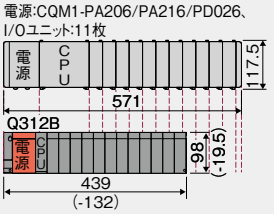


右寄せ設置の場合

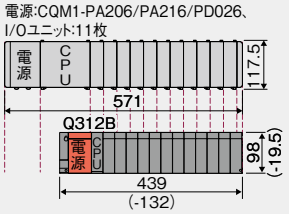


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



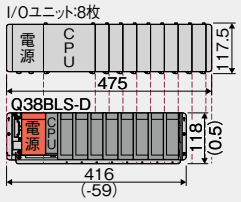
右寄せ設置の場合



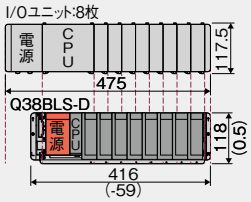
(3) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚 → Q38BLS-D / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

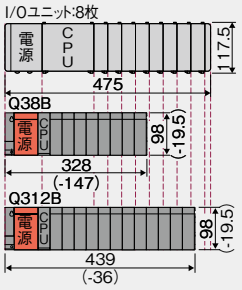


右寄せ設置の場合

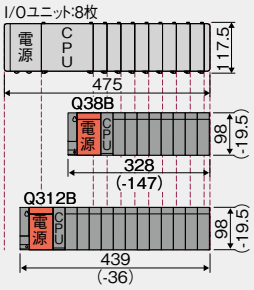


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



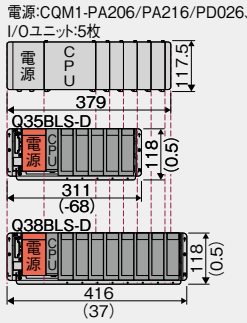
右寄せ設置の場合



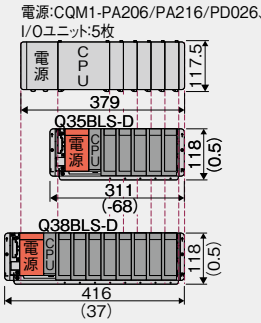
(4) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

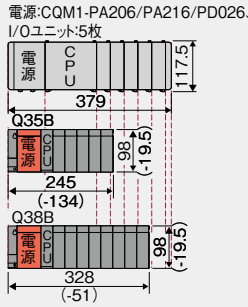


右寄せ設置の場合

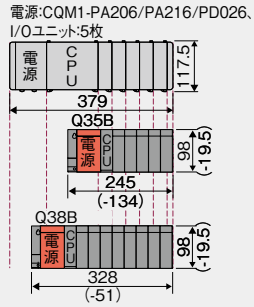


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



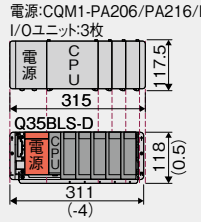
右寄せ設置の場合



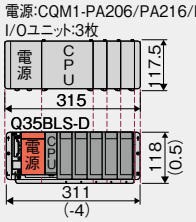
(5) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚 → Q35BLS-D / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

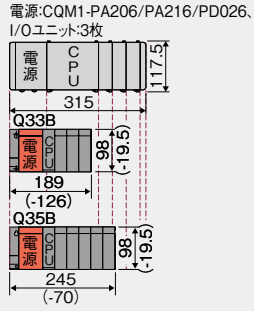


右寄せ設置の場合

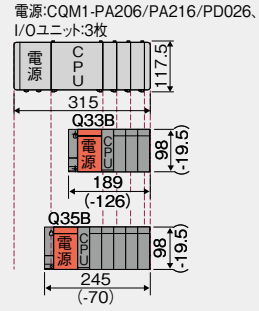


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



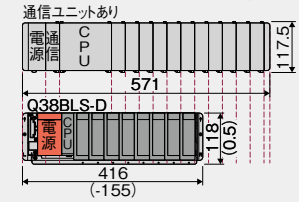
右寄せ設置の場合



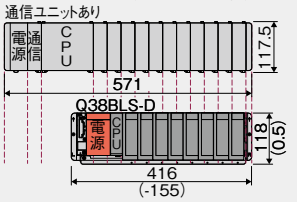
(6) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり → Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

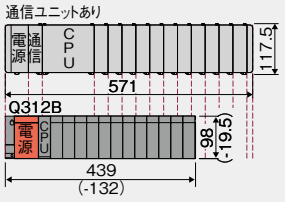


右寄せ設置の場合

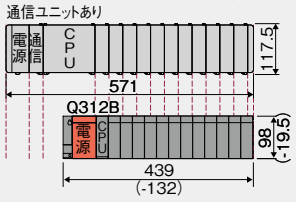


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



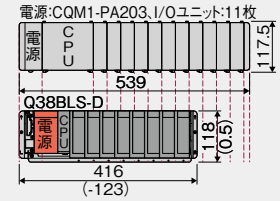
右寄せ設置の場合



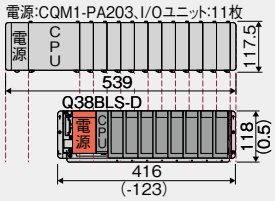
(7) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚 → Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

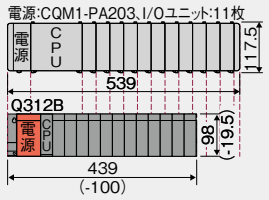


右寄せ設置の場合

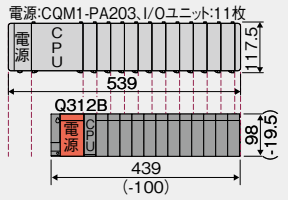


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



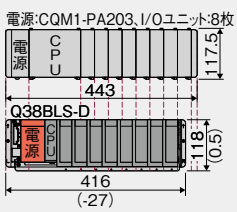
右寄せ設置の場合



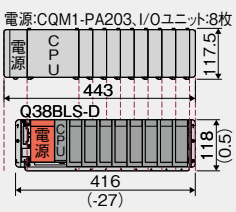
(8) CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚 → Q38BLS-D / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

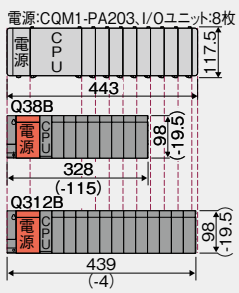


右寄せ設置の場合

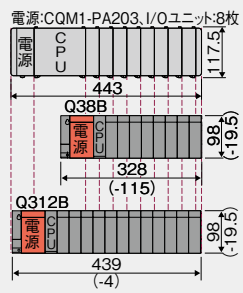


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



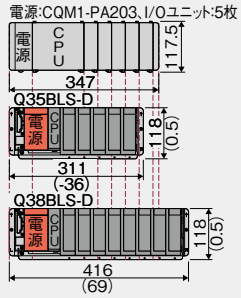
右寄せ設置の場合



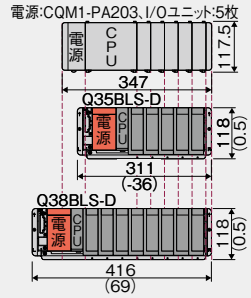
(9) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

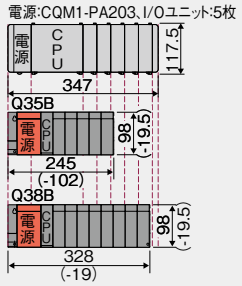


右寄せ設置の場合

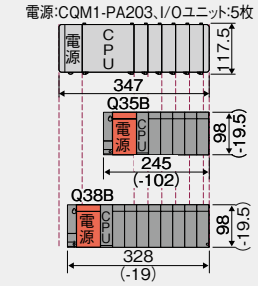


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



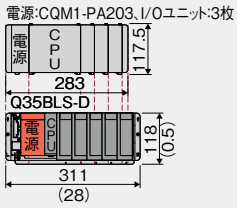
右寄せ設置の場合



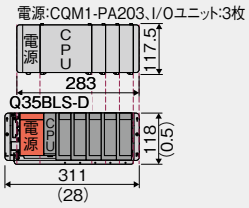
(10) CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚 → Q35BLS-D / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

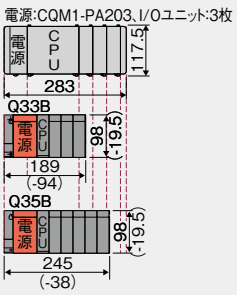


右寄せ設置の場合

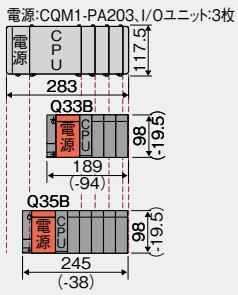


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



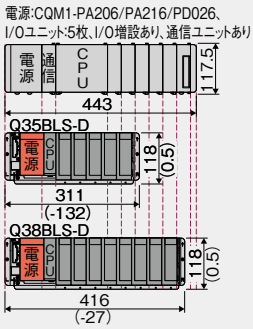
右寄せ設置の場合



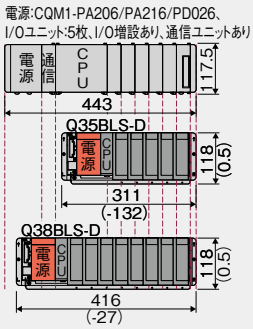
(11) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

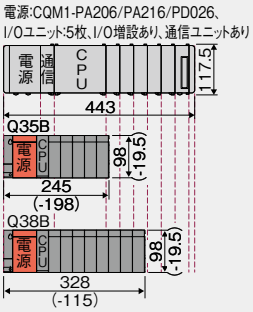


右寄せ設置の場合

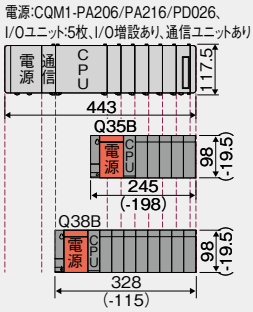


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



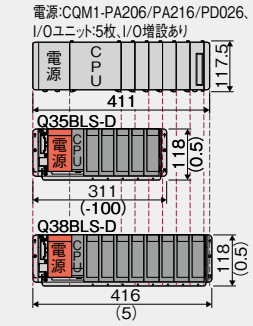
右寄せ設置の場合



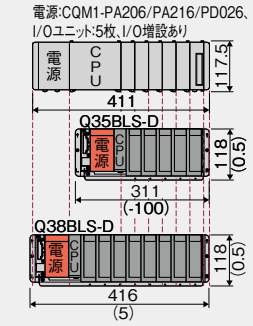
(12) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

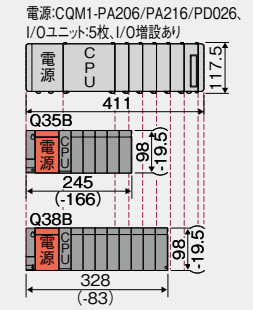


右寄せ設置の場合

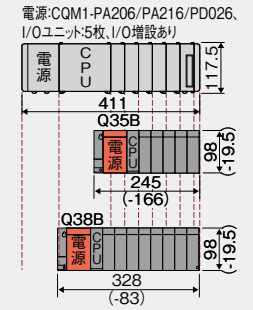


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



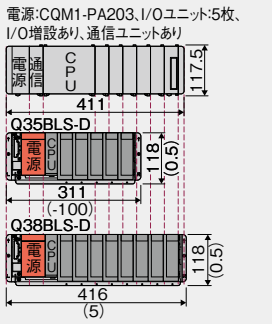
右寄せ設置の場合



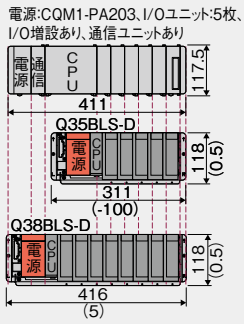
(13) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

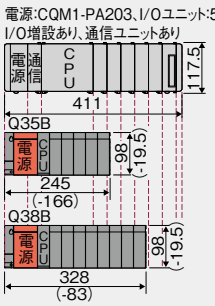


右寄せ設置の場合

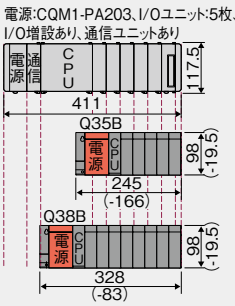


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



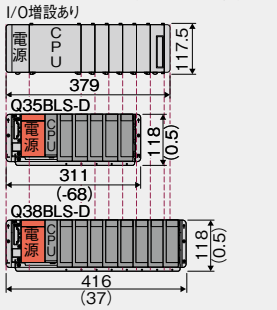
右寄せ設置の場合



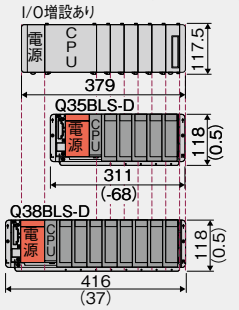
(14) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設 → Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

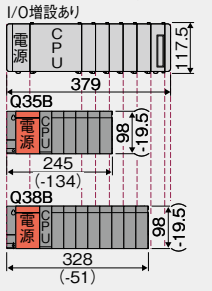


右寄せ設置の場合

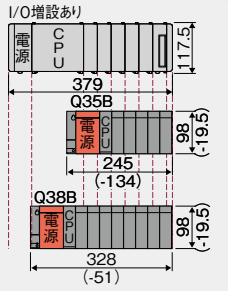


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

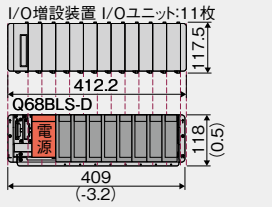


増設ベースユニットを使用する場合

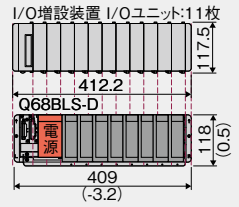
(1) I/O増設装置 I/Oユニット11枚 → Q68BLS-D / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

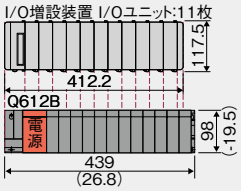


右寄せ設置の場合

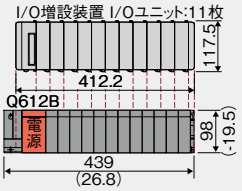


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



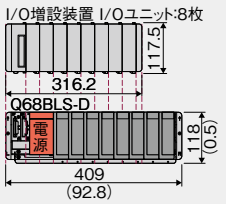
右寄せ設置の場合



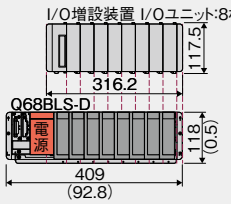
(2) I/O増設装置 I/Oユニット8枚 → Q68BLS-D / Q68B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

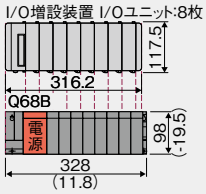


右寄せ設置の場合

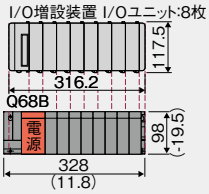


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



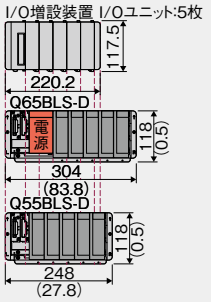
右寄せ設置の場合



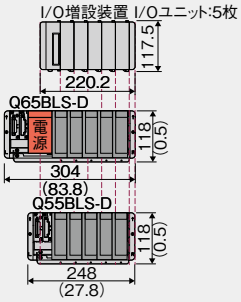
(3) I/O増設装置 I/Oユニット5枚 → Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q65B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

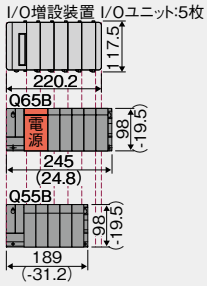


右寄せ設置の場合

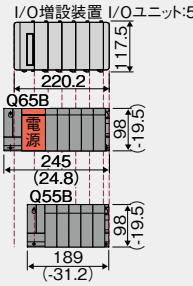


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



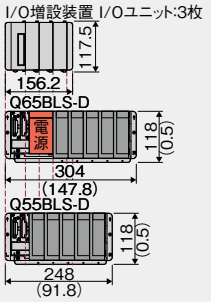
右寄せ設置の場合



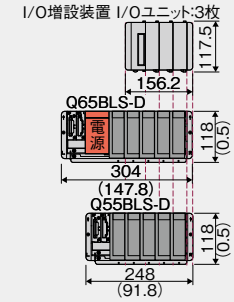
(4) I/O増設装置 I/Oユニット3枚 → Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q63B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

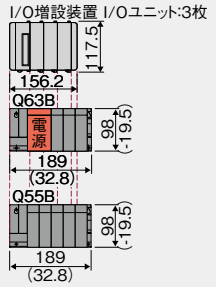


右寄せ設置の場合

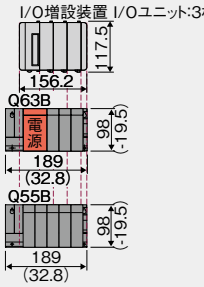


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

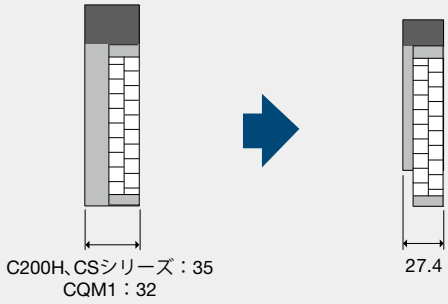


ご使用上の注意点

ユニット幅

ユニット幅が小さくなり端子台へ再配線領域が小さくなるため、取付け時に確認してください。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるまたは、1スロット分空け配線領域を確保してください。

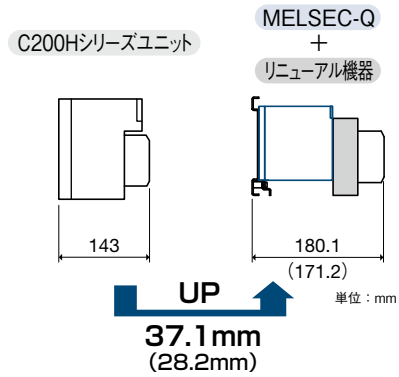
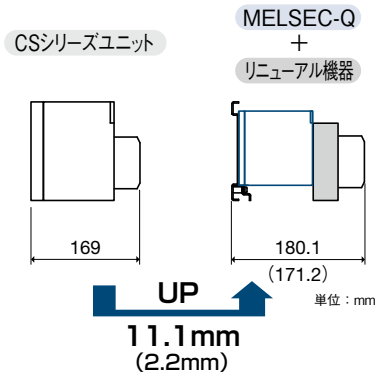
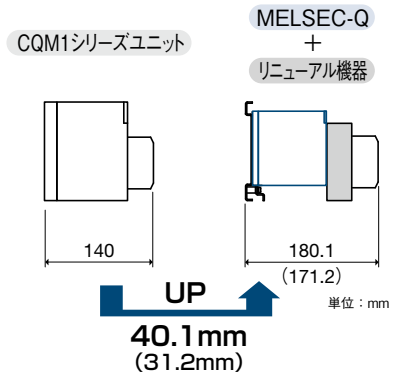
単位:mm



奥行き

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き寸法に注意が必要です。
また、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用しない場合はカッコ内の数値（8.9mm小さい値）となります。

MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2CQ216X218X ERNT-2CQ218Y		
奥行き寸法	37.1mm （28.2mm）	11.1mm （2.2mm）	40.1mm （31.2mm）
取付け図			

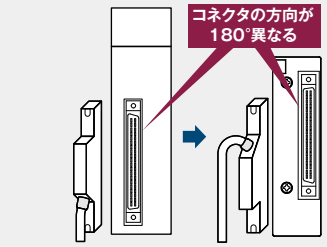
置換え時のコネクタ向き

32点ユニット

以下の対象ユニット（32点）は、変換アダプタとコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（32点）〉

・CS1W-ID231
・CS1W-OD231



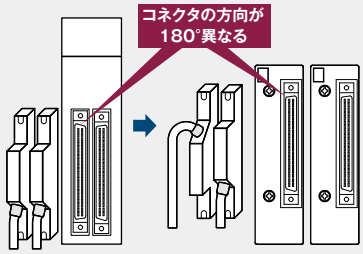
入力/出力ユニット（32点）　変換アダプタ

入出力混合ユニットの出力部（32点）

以下の対象ユニット（入出力混合ユニット）は、変換アダプタと出力部（左側）のコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（入出力混合ユニットの出力部（32点））〉

・CS1W-MD261/561



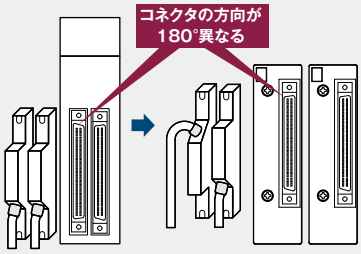
入出力混合ユニット　変換アダプタ

64点ユニット

以下の対象ユニット（64点）は、同じ変換アダプタを2台使用しますが、右図のように2つのコネクタ方向が180°異なるため、180°回転したコネクタに接続するケーブルが接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（64点）〉

・CS1W-ID261
・CS1W-OD261
・C200H-ID217/219/111
・C200H-OD219



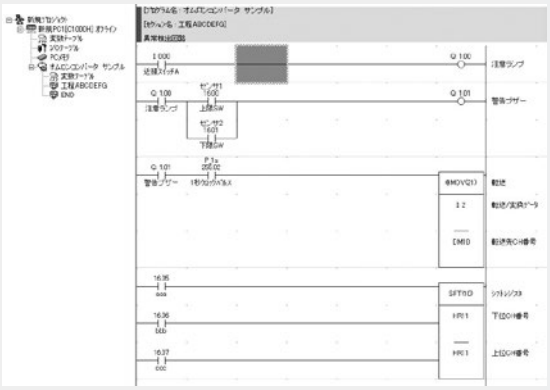
入力/出力ユニット（64点）　変換アダプタ

SYSMAC Cシリーズ → MELSECシリーズ置換え用 プログラムコンバータ (ERNT-CQ1W2C)

概要

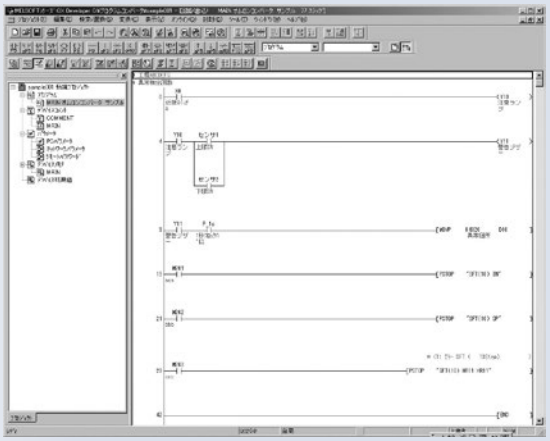
プログラムコンバータ（ERNT-CQ1W2C）は、オムロン株式会社SYSMAC CシリーズプログラムをMELSEC-Qシリーズ（ベーシックモデル、ハイパフォーマンスモデル）GX Developer用プロジェクトファイルへ変換するソフトウェアです。
そのため、SYSMAC CシリーズのプログラムをMELSEC iQ-Rシリーズで使用する場合は、プログラムコンバータで変換後、MELSEC iQ-Rシリーズに対応するエンジニアリングソフトウェア「GX Works3」で扱うことができるプロジェクトファイルに変換する必要があります。

◎変換元プログラム（CX-Programmer）



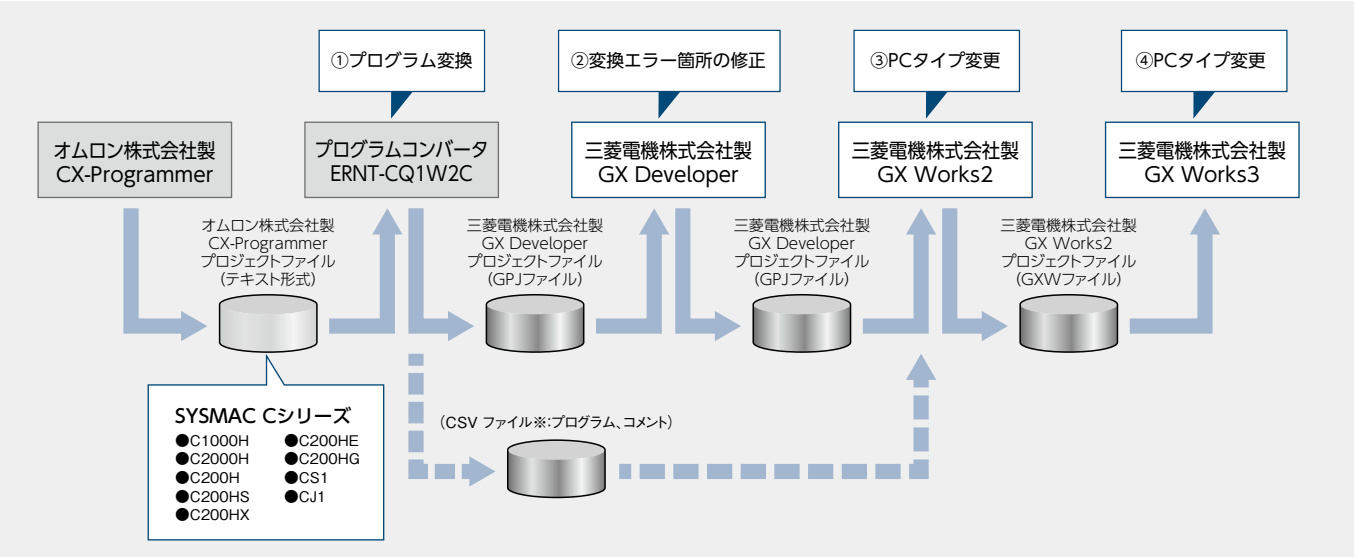
変換

◎変換後プログラム（GX Developer）



■GX Works3 で扱えるプロジェクトファイルに変換する手順

①プログラムコンバータで変換します。（GX Developer 形式プロジェクトファイル（*.gpj）として保存されます）
②GX Developerで変換エラー箇所を修正します。（GX Developer 形式プロジェクトファイル（*.gpj）で保存）
③GX Works2で上記②を読出し、PCタイプを「ユニバーサルモデル」に変更します。（GX Works2形式プロジェクトファイル（*.gxw）で保存）
④GX Works3で上記③を読出し、実際に使用されるPCタイプに変更します。（GX Works3形式プロジェクトファイル（*.gx3））



※GX Works2の回路編集画面およびコメント編集画面にて読出しできるデータとして保存できます。

仕様一覧

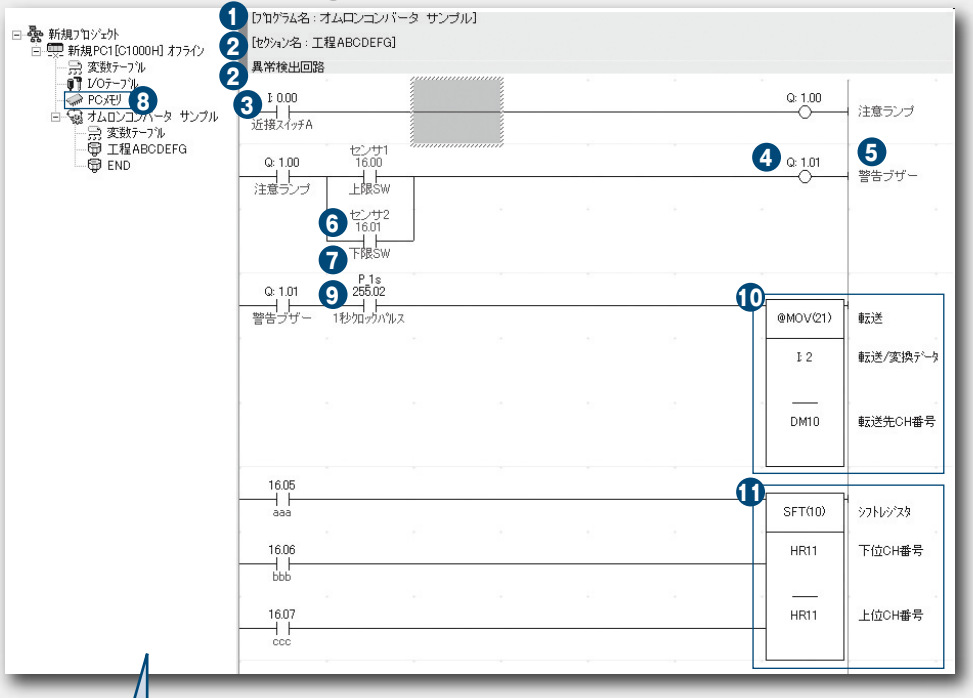
項目			内容
CPU選択	変換元PLC		CX-Programmerで保存したプロジェクトファイルからSYSMAC C1000H/C2000H/C200H/CJ1/CS1シリーズの各CPUを自動的に判別します。
	変換先PLC		MELSEC-Qシリーズ（Qモード）のQ00J/Q00/Q01/Q02CPU/Q02H/Q06H/Q12H/Q25H/Q12PH/Q25PH CPUの中から、置換えるシステムに合ったCPUを自由に選択できます。
プログラム変換	シーケンス命令		SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令をMELSEC-Qシリーズの該当命令に自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに該当する命令がない場合は、変換パラメータの「エラー処理設定」で指定した処理方法に基づき自動変換されます。
	リレー		SYSMAC Cシリーズのリレーを MELSEC-Qシリーズの該当するデバイスに自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに同じ機能のデバイスがない場合は、変換パラメータの「代替リレー設定」で指定した代替デバイスに自動変換されます。
	変数	グローバル変数	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数をMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
		ローカル変数	SYSMAC Cシリーズのローカル変数をMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
	コメント	グローバル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		ローカル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのローカル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		プログラムコメント	MELSEC-Qシリーズの周辺ステートメントに変換されます。プログラムコメントはプログラムの先頭に挿入されます。 セクションコメントは各セクションの先頭回路の前に挿入されます。変換できる文字数は1行あたり最大半角64文字です。 これを超える場合は複数行に分割されます。
		セクションコメント	
		行コメント	
	PCメモリ		SYSMAC CシリーズのCPUから読み出したPCメモリの内容を、MELSEC-Qシリーズのデバイスメモリに設定します。 設定可能なリレー/デバイスはDM→D、TIM→T、CNT→Cの3つです。
変換パラメータ	高機能I/Oユニット設定		SYSMAC Cシリーズで高機能I/Oユニットが使用されていた場合に、I/Oユニットとの区別を設定します。 また、全スロットの入出力割付が確認できます。
	エラー処理設定		自動変換時に、シーケンス命令およびリレーの変換がエラーとなったときの処理方法を指定します。
	代替リレー設定		自動変換時にMELSEC-Qシリーズに同じ機能のリレーが無い場合の代わりとなるデバイスを指定します。
	変換パラメータ設定内容の保存/読出		入出力割付設定、エラー処理設定、代替リレー設定の各内容が保存できます。 また、同じパラメータ設定で変換を行う必要があるとき、保存したパラメータ設定を読み出して変換できます。
プロジェクトファイル作成			変換されたプログラムをGX Developerのプロジェクトファイルとして保存します。
CSV形式ファイルの作成			変換されたシーケンスプログラムとコメントをCSV形式ファイルに保存します。 GX Works2の回路編集画面とコメント編集画面で直接読み込むことができます。
変換ステータスファイル作成			変換ステータスの内容（エラー、警告、プログラムステップ数、使用デバイス範囲、変換後の注意事項）をログ形式ファイルに保存します。 また、保存されたファイルを読出して、変換エラーや警告の内容を再確認することも可能です。
ヘルプリンク			変換ステータスに表示されるエラーまたは警告をダブルクリックすると、オンラインヘルプが起動してコンバートマニュアルのエラーまたは警告に関する詳細説明が表示されます。
オンラインヘルプ	操作マニュアル		SYSMAC Cシリーズのシーケンスプログラムから MELSEC-Qシリーズのシーケンスプログラムに変換する手順およびプログラムコンバータの操作方法を説明します。
	コンバートマニュアル		SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令ごとに、MELSEC-Qシリーズの該当するシーケンス命令、変換のポイント、注意事項およびサンプルプログラムの参照が行えます。
	サンプルプログラムコピー		コンバートマニュアルに記載されているMELSEC-Qシリーズ用のサンプルプログラムを、GX Developerの回路編集画面上にコピーします。
リレー → デバイス変換ツール			SYSMACのリレー番号を入力すると、MELSEC-Qシリーズの該当デバイス番号を表示する機能です。 プログラムを手動で修正するときに利用します。
バージョン情報			プログラムコンバータのバージョンを表示します。

プログラム変換～変換エラー箇所の修正 までの流れ

SYSMAC C1000H/C2000H/C200H/CJ1/CS1シリーズのシーケンスプログラムを、MELSEC-Qシリーズ用に変換します。

※それ以前の機種（C500など）のプログラムもCX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティを使用してC1000H/C2000H/C200Hシリーズ用に変換することにより、本プログラムコンバータによりMELSEC-Qシリーズに変換できます。

◎変換元プログラム（CX-Programmer）



SYSMAC C

1	プログラムコメント
2	セクションコメント
2	行コメント
3	リレー、チャンネル
4	グローバル変数
5	グローバル変数コメント
6	ローカル変数
7	ローカル変数コメント
8	PCメモリ
9	特殊補助リレー
10	シーケンス命令
11	シーケンス命令

CX-Programmerにてテキスト形式（.cxt）のプロジェクトファイルで保存

変換前に確認する事項

①変換元プログラムのチェック

プログラムにエラーが無いことをコンパイルにて確認してください。
プログラムにエラーが存在する場合、プログラムコンバータではそのエラーを見つけることができません。

②I/Oテーブルの設定

SYSMACは、入力/出力/内部リレーが同じ表現になっています。プログラムコンバータは、I/Oテーブルからこれらを識別しますので、事前に設定しておく必要があります。

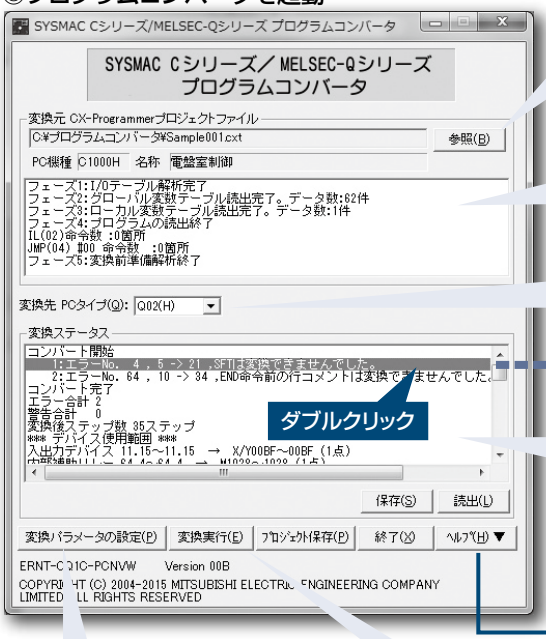
③ユニット構成の確認

SYSMACとMELSECでは高機能ユニットやネットワークユニットの制御方法が異なるため、変換したプログラムでは正常に動作しない可能性があります。

④回路ブロックの分割

次のプログラムが存在する場合、回路を分割する処理が必要です。
●24行を超える回路ブロック
●回り込み回路

◎プログラムコンバータを起動



①変換元プロジェクトファイル（.cxt）を選択します。

②選択したプロジェクトファイルの解析内容が表示されます。

③MELSEC-Qシリーズの CPUタイプを選択します。

⑥変換エラーや警告行をダブルクリックすると、エラーや警告に対する対策/修正方法および修正例をオンラインヘルプとして表示します。

④変換エラー時の代替リレー、命令、一時使用デバイスなどの設定と、I/O割付の確認および高機能ユニットの設定ができます。

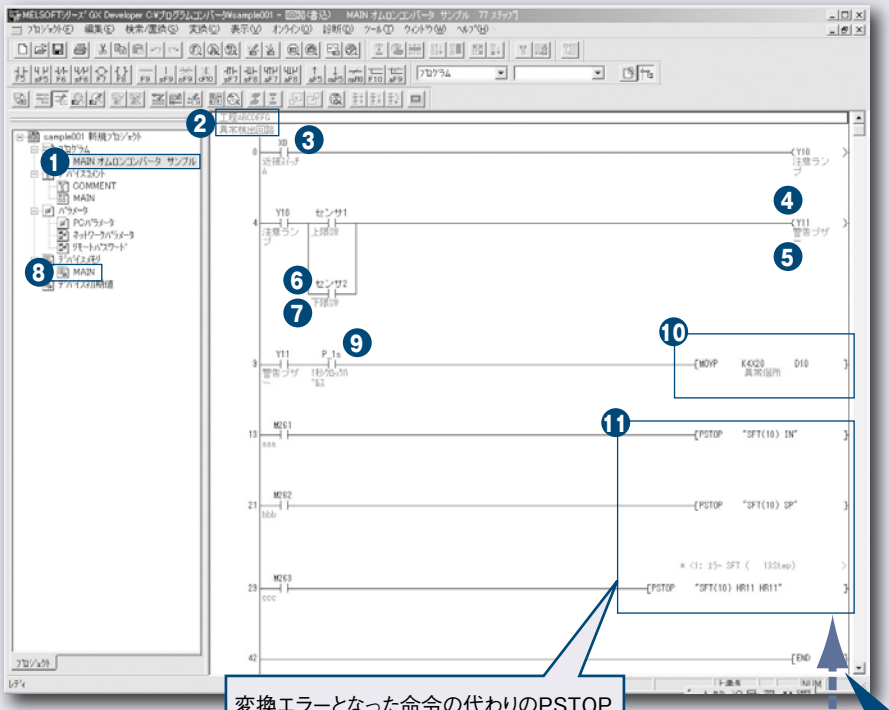
⑤変換を実行します。

プログラムコンバータで変換したシーケンスプログラムは、GX Developer形式のプロジェクトとして保存できます。保存したプロジェクトをGX Developerで開き、プログラムコンバータの変換ステータスで「警告」「変換エラー」の箇所を、オンラインヘルプを参照しながら修正します。また、GX Works2 で読出し可能なCSV形式のプログラムファイルとコメントファイルとして保存できます。

MELSEC-Q

1. データ名見出し文
2. 行間ステートメント
3. リレー、レジスタ
   （入力X、出力Y、内部リレーMに変換）
4. 共通デバイス
5. 共通デバイスコメント
6. プログラム別デバイスコメント機器名
7. プログラム別デバイスコメント
8. デバイスメモリ
9. 特殊リレー
10. シーケンス命令〈自動変換命令〉
11. シーケンス命令〈自動変換不可〉
    PSTOP命令に変換し、変換前の命令をファイル名で表します。

◎変換後プログラム（GX Developer）



変換エラーとなった命令の代わりのPSTOP命令がすべて無い状態になると、実行可能なプログラムの完成です。

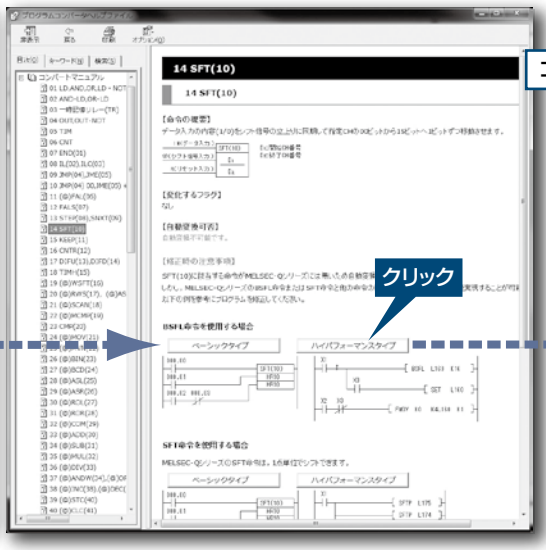
貼付け

◎オンラインヘルプ

各命令の変換方法を確認できます。

◎サンプルプログラム

自動変換不可時、オンラインヘルプ上のサンプルプログラムをコピーし、GX Developerに貼付けることができます。

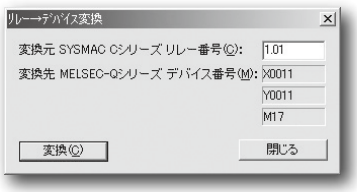


コピー

クリック

◎リレー→デバイス変換

SYSMAC　Cのリレー番号に相当するMELSEC-Qのデバイス（入力X、出力Y、内部リレーM）を確認できます。



動作環境

項　目		内　容
パソコン本体		Windows®が動作するパーソナルコンピュータ
	CPU	インテル®Core™2 Duoプロセッサ1.06GHz以上推奨
	メモリ	1GB以上推奨
HDD空き容量	インストール時（HD）	3MB以上
	実行時（仮想メモリ）	10MB以上
CD-ROMドライブ		インストール時に必要
ディスプレイ		解像度800×600ドット以上
インストール可能な基本ソフトウェア（OS）		Microsoft® Windows® 7 Home（日本語版）
		Microsoft® Windows® 7 Professional（日本語版）
		Microsoft® Windows® 8.1 Home（日本語版）
		Microsoft® Windows® 8.1 Professional
		Microsoft® Windows® 10 Home
		Microsoft® Windows® 10 Professional
		Microsoft® Windows® 10 Enterprise
		Microsoft® Windows® 10 Education

プログラム変換作業を実行するためには、以下のツールが必要です。
（1）オムロン株式会社製プログラマブルコントローラ用サポートソフト〈CX-Programmer〉Ver.3.1以降
（2）三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェア〈GX Developer、GX Works2およびGX Works3〉

変換率

命令使用比率は、シーケンス命令やデータ命令の全プログラム中で使われる割合（比率）です。

●C1000H/2000H/200Hシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分		コンバート率				
		単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
		命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令	17	17	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ	4	3	75%	3%	2%
データ命令	転送命令	9	7	78%	25%	19%
	四則、関数命令	17	15	88%	8%	7%
	比較論理命令	10	7	70%	6%	4%
	その他 特殊ユニットステップラダーブロック命令	22	0	29%	7%	2%
	その他 上記以外	46	20			
合　計		125	69	55%	100%	86%

●C200HSシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分		コンバート率				
		単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
		命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令	20	20	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ	5	5	100%	3%	3%
データ命令	転送命令	10	7	70%	25%	18%
	四則、関数命令	50	33	66%	8%	5%
	比較論理命令	16	10	63%	6%	4%
	その他 特殊ユニットステップラダーブロック命令	9	0	27%	7%	2%
	その他 上記以外	28	10			
合　計		138	85	62%	100%	82%

●C200HX/HG/HEシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分		コンバート率				
		単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
		命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令	22	22	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ	5	5	100%	3%	3%
データ命令	転送命令	13	9	69%	25%	17%
	四則、関数命令	78	49	63%	8%	5%
	比較論理命令	40	22	55%	6%	3%
	その他 特殊ユニットステップラダーブロック命令	13	0	23%	7%	2%
	その他 上記以外	31	10			
合　計		202	117	58%	100%	81%

●CS1/CJ1シリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分		コンバート率				
		単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
		命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令	55	54	98%	51%	50%
	タイマ・カウンタ	22	18	82%	3%	2%
データ命令	転送命令	15	11	73%	25%	18%
	四則、関数命令	193	124	64%	8%	5%
	比較論理命令	54	27	50%	6%	3%
	その他 特殊ユニットステップラダーブロック命令	97	7	15%	7%	1%
	その他 上記以外	54	15			
合　計		490	256	52%	100%	80%

ご使用いただく上での注意事項

三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェア GX DeveloperおよびGX Works2のバージョンは以下の組合せで使用してください。

GX Developer	Ver.8.45X以前またはVer.8.68W以降
GX Works2	Ver.1.73B以降

GX DeveloperのVer.8.48AからVer.8.65Tを使用している場合は、最新のバージョンにアップデートしてください。
GX Works2のVer.1.70Y以前を使用している場合は、最新のバージョンにアップデートしてください。

MEMO

ニューサテライトJWシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

大形タイプ▶JW50H/70H/100H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 ニューサテライトJWシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	JW-11N	RX10	—	ERNT-1JR11N13S	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JW-12N	RX40C7 RX70C4	※1				
出力	JW-13S	RY20S6	※2				
入力	JW-32N	RX41C4 RX41C6HS RX71C4	※3	ERNT-1JR32N34N	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JW-34N		—				
	JW-34NC	RX41C4 RX41C6HS RX71C4	—	ERNT-2JR234N264N	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JW-64NC	RX41C4 × 2台 RX41C6HS × 2台 RX71C4 × 2台	※4	ERNT-2JR234N264N ×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
出力	JW-12S	RY40NT5P	※4	ERNT-1JR12S	端子台（20点）	端子台（20点）	16点
	JW-32S	RY41NT2P	※5	ERNT-1JR32S	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
		RY41NT2H	—				
	JW-32SC	RY41NT2H RY41NT2P	※6、7	ERNT-2JR232S262S	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JW-62SC	RY41NT2H × 2台 RY41NT2P × 2台	※4、6、7	ERNT-2JR232S262S ×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点

※1：既設ユニットをAC24Vでご使用の場合は、DC5/12VまたはDC24Vに変更してください。DC24V、8点/コモンでご使用の場合は、ユニバーサル変換アダプタ（P.285参照）を使用してRX40PC6HまたはRX40NC6Hへの置換えをご検討ください。
※2:RY20S6の電流容量で既設装置仕様を満足しない場合は、接点出力ユニット（RY10R2）のご使用をご検討ください。ただし、応答速度は遅くなりますので、既設装置の仕様をご確認ください。
※3：既設ユニットをAC24Vでご使用の場合は、DC5/12VまたはDC24Vに変更してください。
※4：既設配線の取付け高さが変わるため、既設配線長をご確認ください。
※5：既設ユニットをDC5Vでご使用の場合は、DC12VまたはDC24Vに変更してください。
※6：RY41NT2Pへの置換えの場合、JWシリーズ側の端子番号A1、B1、A19、B19にDC12/24Vの追加供給が必要です。
※7：RY41NT2Pへの置換えの場合、ERNT-2JR232S262Sの定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。

2スロットタイプ（高温対応ベースユニットR310B-HT/R610B-HTには使用できません。）

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 ニューサテライトJWシリーズ	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	JW-31N	RX10 × 2台	—	ERNT-1JR31N34S	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
出力	JW-34S	RY10R2 × 2台					
	JW-33S	RY20S6 × 2台	—	ERNT-1JR33S			

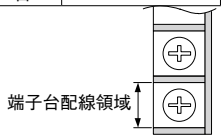
ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.279

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	MELSEC iQ-Rシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	対応
出力	JW-35S	DC12/24Vソースタイプ	32点	RY40PT5P	DC12/24Vソースタイプ	16点	2台	
				RY41PT1P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	

参考：端子台仕様

項目	置換え前 ニューサテライトシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ（大形タイプ）
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



ベースアダプタ

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意

ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（注）（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。

注：ベースアダプタの取付け穴ピッチ（縦寸法）は、JWシリーズベースユニットと同一のため。なお、置換え前後で取付け穴ピッチ（縦寸法、横寸法）がすべて一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります。（P.174～P.175を参照）

同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-1JR613B	R612B					ERNT-1AR12F	480×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

変換アダプタ固定台（必須）

変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意

変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工3か所（M4ネジ）が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

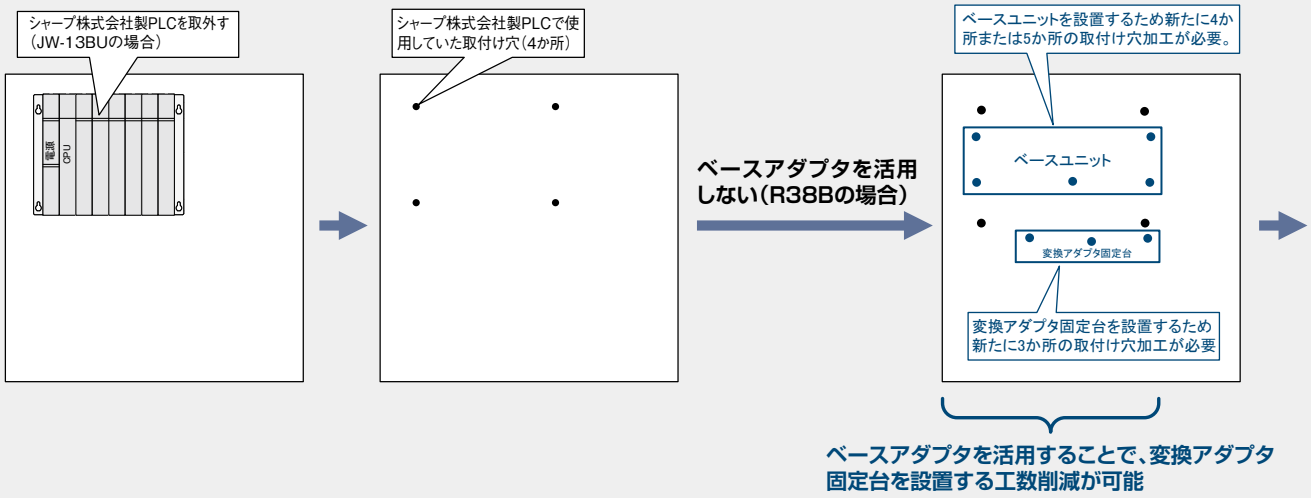
変換アダプタ固定台形名	仕　様	
ERNT-1AR12F	12スロット分変換アダプタ固定台	基本 / 増設ベースユニット
ERNT-1AR8F	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR5F	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR10F3	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応基本ベースユニットR310B-HT用
ERNT-1AR10F6	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応増設ベースユニットR610B-HT用

ベースアダプタを活用したリニューアル

ベースアダプタを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

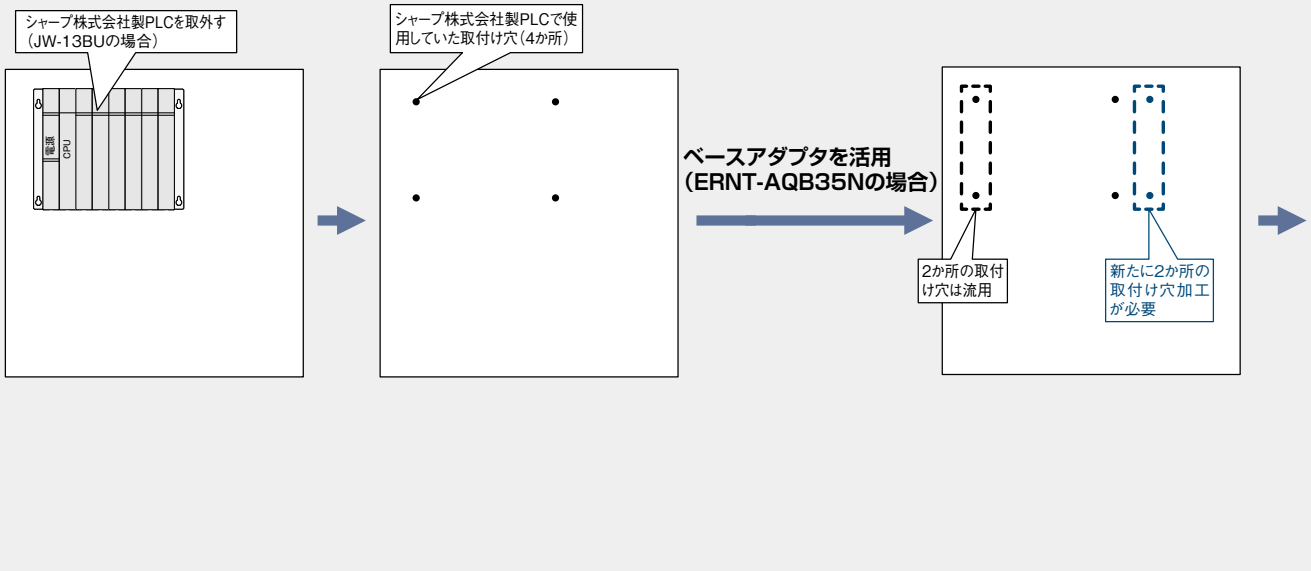
ベースアダプタを活用しない場合

新たな7か所または8か所の穴加工だけでなく、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと固定台間の寸法出しが必要です。

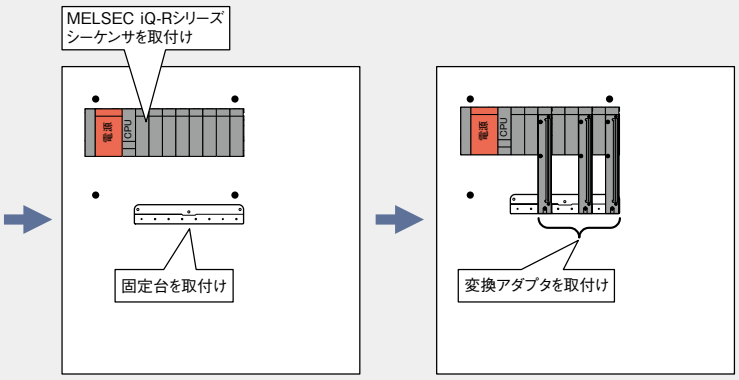


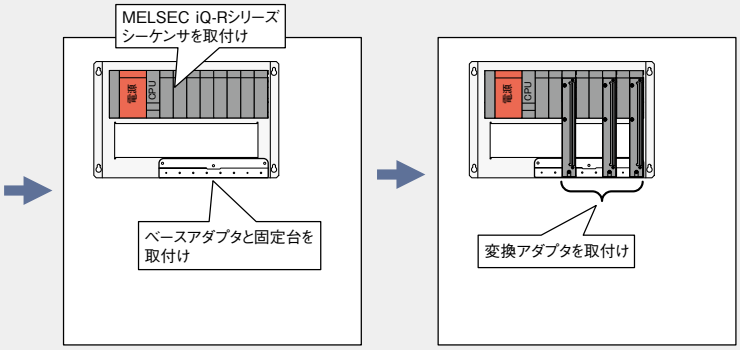
ベースアダプタを活用する場合

ベースアダプタは、取付け穴の縦寸法がJWシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2か所以下となります。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります。)
左側の取付け穴2か所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」(P.173)、「置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ寸法比較」(P.174)および「スロット位置」(P.176)を参照ください。


MELSEC iQ-Rシリーズ
シーケンサを取付け
電源
CPU
固定台を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け


MELSEC iQ-Rシリーズ
シーケンサを取付け
電源
CPU
ベースアダプタと固定台を
取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け

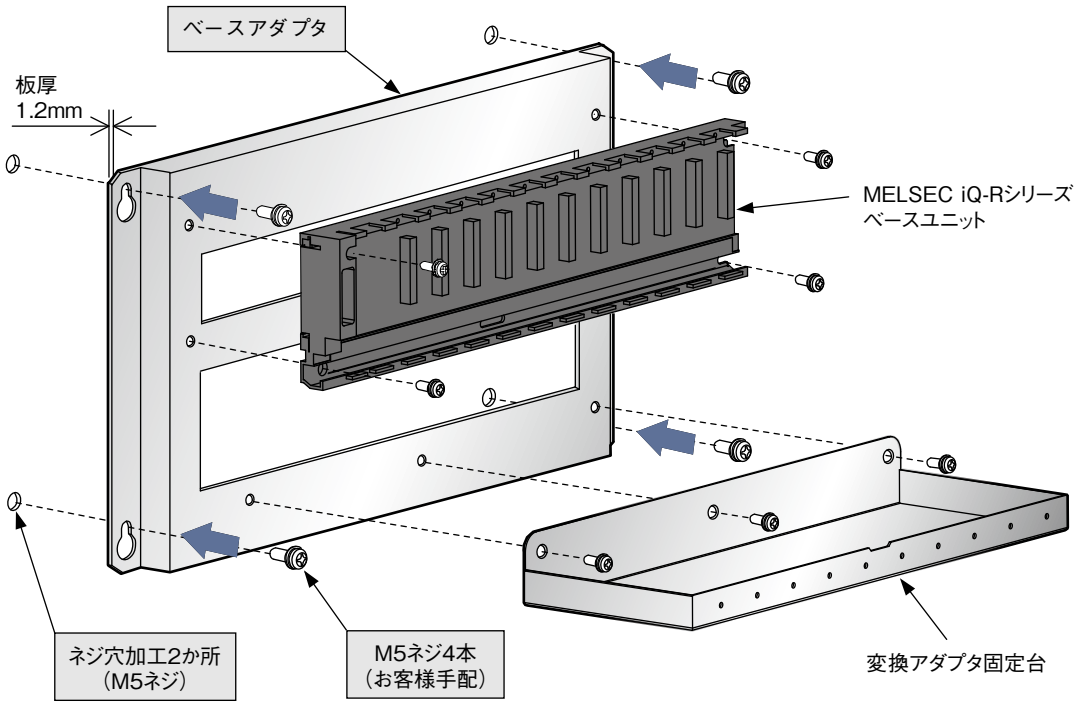
ベースアダプタ

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

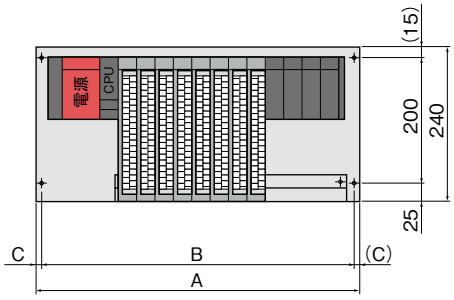
ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-1JR613B	R612B					ERNT-1AR12F	480×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

取付け寸法

●ニューサテライトJWシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●ニューサテライトJWシリーズより縦寸法が小さくなります。
（ただし、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（P.181）を参照。）
●ベースアダプタの取付け穴（4か所）のうち2か所は、ニューサテライトJWシリーズベースユニットと同一取付け寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2か所のみです。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

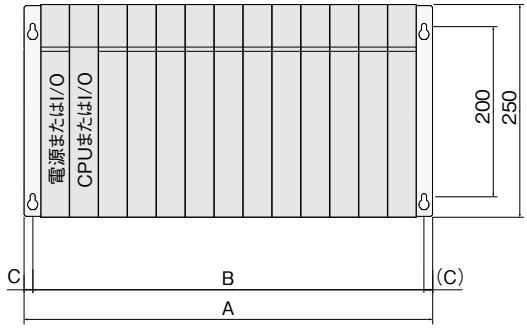
単位：mm

◎ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット



ベースアダプタ形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット用	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32N		247	227	10	
ERNT-1JR613B	増設ベースユニット用	480	460	10	
ERNT-AQB68N		466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB58N		411	391	10	
ERNT-AQB55N		297	277	10	

◎（参考）ニューサテライトJWシリーズベースユニット



JWシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
JW-13BU	基本/増設 ベースユニット 共用	480	460	10	M5
JW-8BU		310	290	10	
JW-6BU		242	222	10	
JW-4BU		174	154	10	

置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ比較

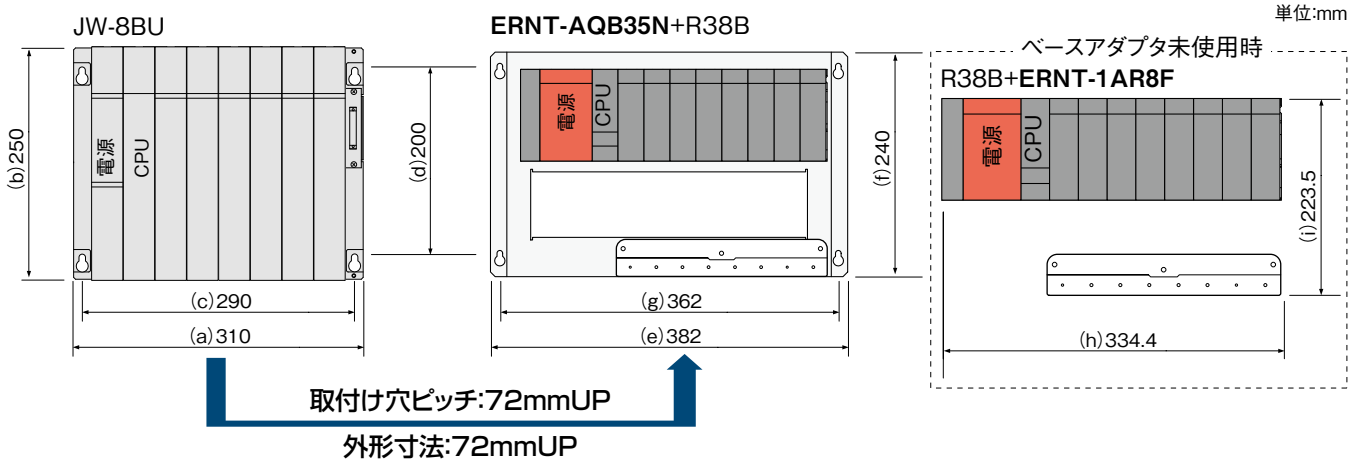
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴ピッチが確認できます。

ご注意

- ●“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
- ●装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
- ●ニューサテライトJWシリーズのJW□□BUは基本/増設ベースユニット共用であり、電源・CPUの使用有無によりスロット数が変化するため、ご注意ください。
- ●記載がないJWシリーズベースユニット形名については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付け穴ピッチなどをご確認いただき、最適なベースアダプタをご選定ください。

（例）ニューサテライトJWシリーズ（JW-8BU）からベースアダプタ（ERNT-AQB35N）またはベースアダプタ未使用に置換えた場合

単位:mm



基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：JWシリーズの方が大きい、▲：JWシリーズの方が小さい

	JWシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット+変換アダプタ固定台（ベースアダプタ未使用時）					ベースアダプタ使用時					取付け変換アダプタ固定台	備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (h)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (i)-(b)	形　名	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (e)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (f)-(b)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 横 (g)-(c)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 縦 (d)		
(1)	JW-13BU	あり	11	R312B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				R310B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR8F	
(2)	JW-8BU	あり	6	R312B	あり	12	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				R310B-HT	あり	10	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	▲ (24.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	○ (-60.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-1AR5F	
(3)	JW-6BU	あり	4	R312B	あり	12	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (238)	○ (-10)	▲ (238)	◎	ERNT-1AR12F	
				R310B-HT	あり	10	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (238)	○ (-10)	▲ (238)	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	▲ (92.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	▲ (7.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-1AR5F	
				R33B	あり	3	▲ (7.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	▲ (5)	○ (-10)	▲ (5)	◎	ERNT-1AR5F	
(4)	JW-4BU	あり	2	R35B	あり	5	▲ (75.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (208)	○ (-10)	▲ (208)	◎	ERNT-1AR5F	
				R33B	あり	3	▲ (75.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	▲ (73)	○ (-10)	▲ (73)	◎	ERNT-1AR5F	

※1：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとJWシリーズの寸法差［単位：mm］

※2：既設JWシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：JWシリーズの方が大きい、▲：JWシリーズの方が小さい

	JWシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット +変換アダプタ固定台（ベースアダプタ未使用時）					ベースアダプタ使用時					取付け変換アダプタ固定台	備考
	形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (h)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (i)-(b)	形名	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (e)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (f)-(b)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 横 (g)-(c)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 縦 (d)		
(1)	JW-13BU	あり	12	R612B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎	ERNT-1AR8F	
		なし	13	R612B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F6	
(2)	JW-8BU	あり	7	R612B	あり	12	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	▲ (24.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-1AR8F	
		なし	8	R612B	あり	12	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (137.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	▲ (24.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-1AR8F	
(3)	JW-6BU	あり	5	R612B	あり	12	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				R610B-HT	あり	10	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	▲ (92.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	▲ (7.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-1AR5F	
		なし	6	R612B	あり	12	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (205.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	▲ (92.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	▲ (7.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-1AR5F	
(4)	JW-4BU	あり	3	R68B	あり	8	▲ (160.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	▲ (75.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-1AR5F	
		なし	4	R612B	あり	12	▲ (273.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (292)	○ (-10)	▲ (292)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (273.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (292)	○ (-10)	▲ (292)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	▲ (160.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	▲ (75.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-1AR5F	

※1：（ ）値はMELSEC iQ-RシリーズとJWシリーズの寸法差［単位：mm］

※2：既設JWシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

スロット位置

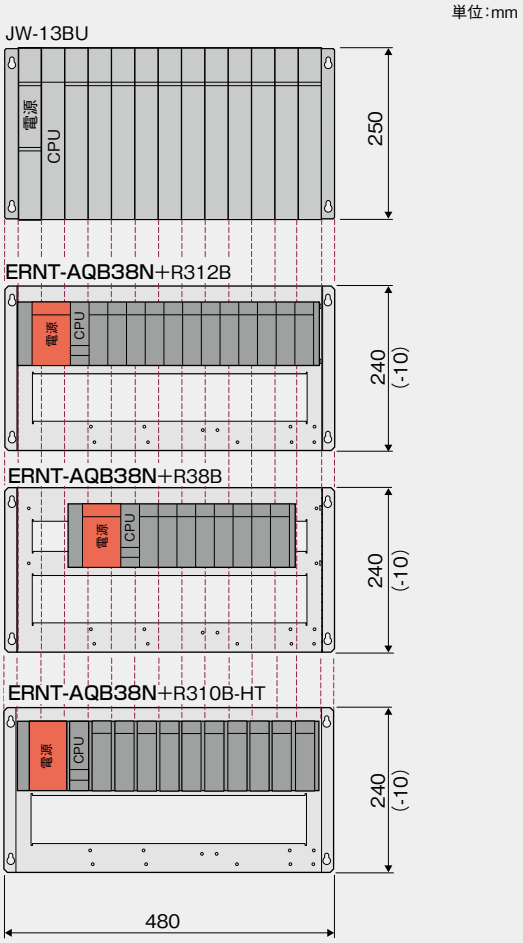
ニューサテライトJWシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意
カッコ内の数値はJWシリーズとの寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

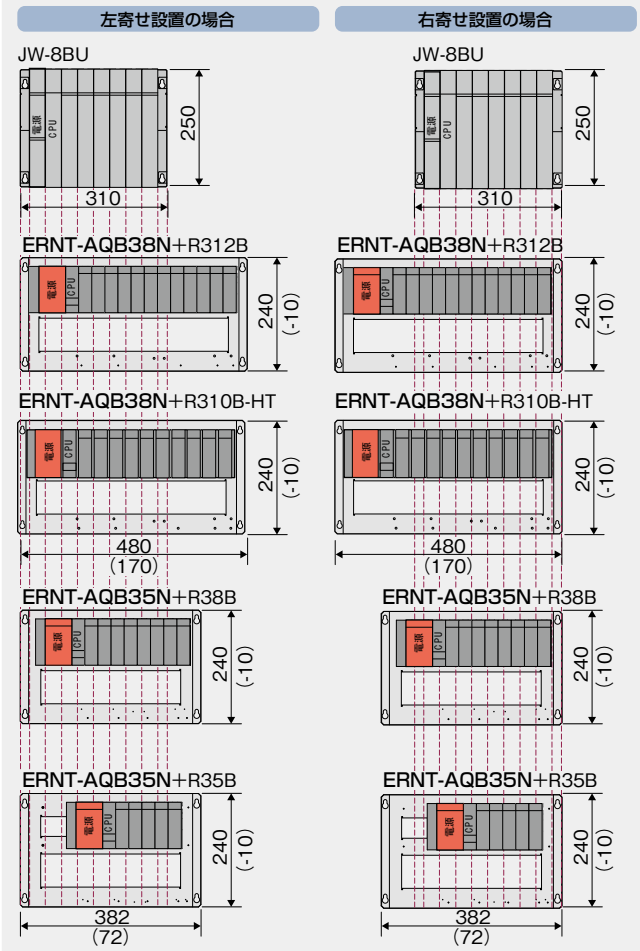
(1) JW-13BU → ERNT-AQB38N + R312B / ERNT-AQB38N + R38B / ERNT-AQB38N + R310B-HT

単位:mm



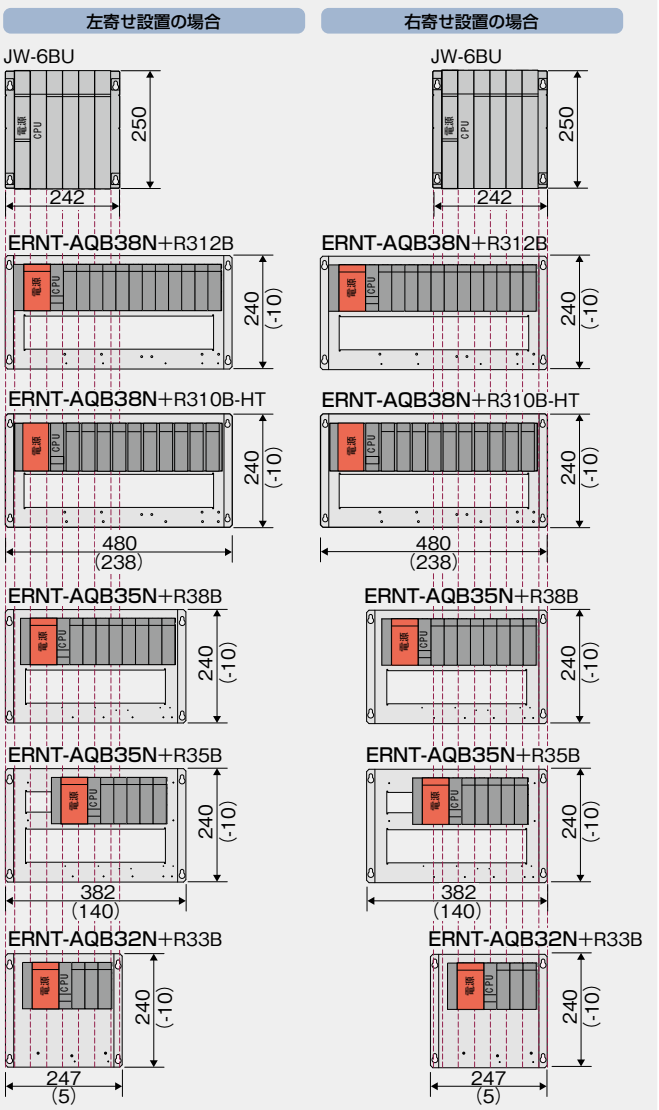
(2) JW-8BU → ERNT-AQB38N + R312B / ERNT-AQB38N + R310B-HT / ERNT-AQB35N + R38B / ERNT-AQB35N + R35B

単位:mm



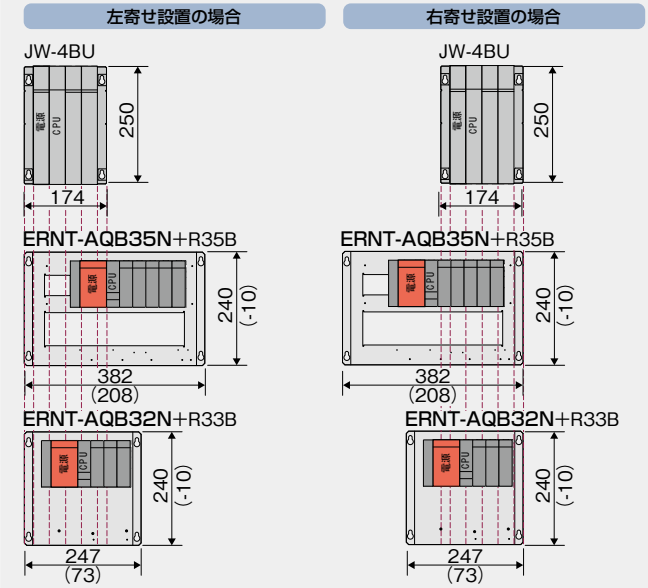
(3) JW-6BU → ERNT-AQB38N + R312B / ERNT-AQB38N + R310B-HT / ERNT-AQB35N + R38B / ERNT-AQB35N + R35B / ERNT-AQB32N + R33B

単位：mm



(4) JW-4BU → ERNT-AQB35N + R35B / ERNT-AQB32N + R33B

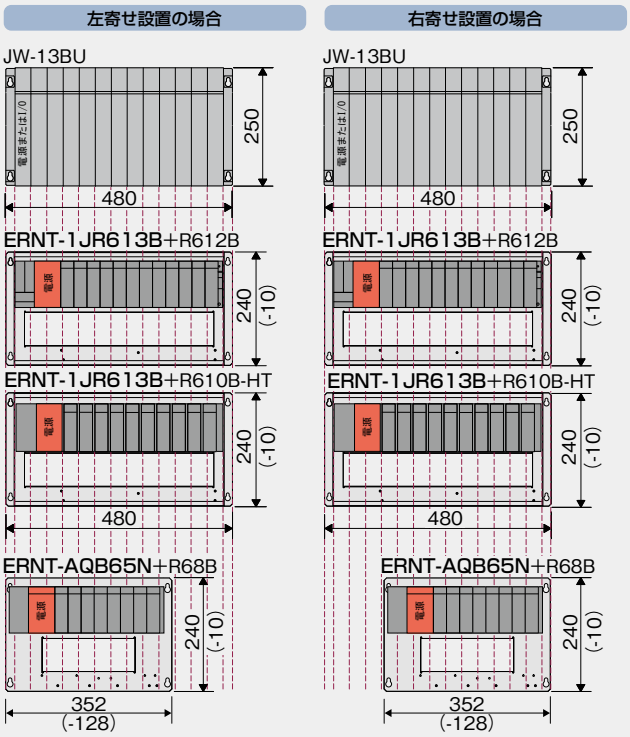
単位：mm



増設ベースユニットを使用する場合

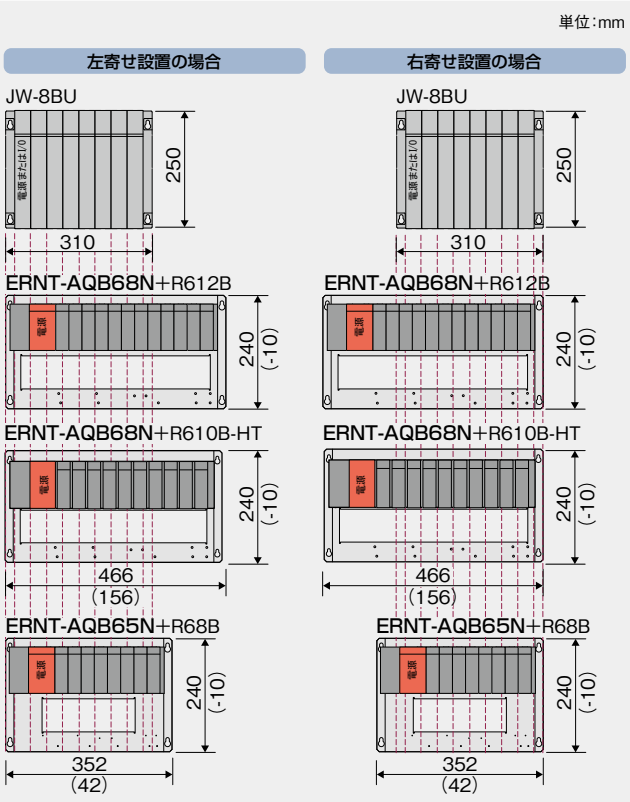
(1) JW-13BU → ERNT-1JR613B + R612B / ERNT-1JR613B + R610B-HT / ERNT-AQB65N + R68B

単位：mm



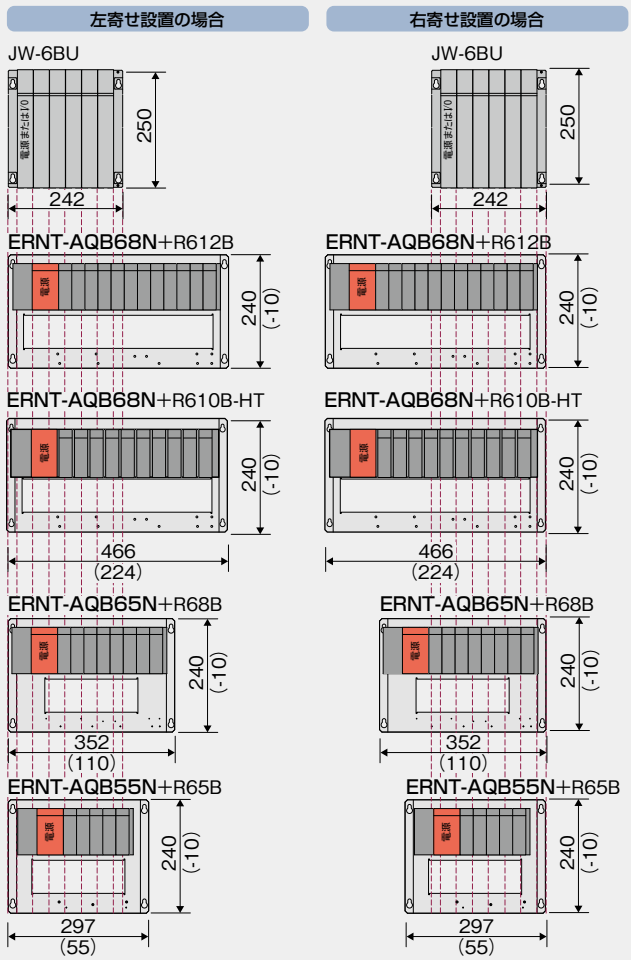
(2) JW-8BU → ERNT-AQB68N + R612B / ERNT-AQB68N + R610B-HT / ERNT-AQB65N + R68B

単位：mm



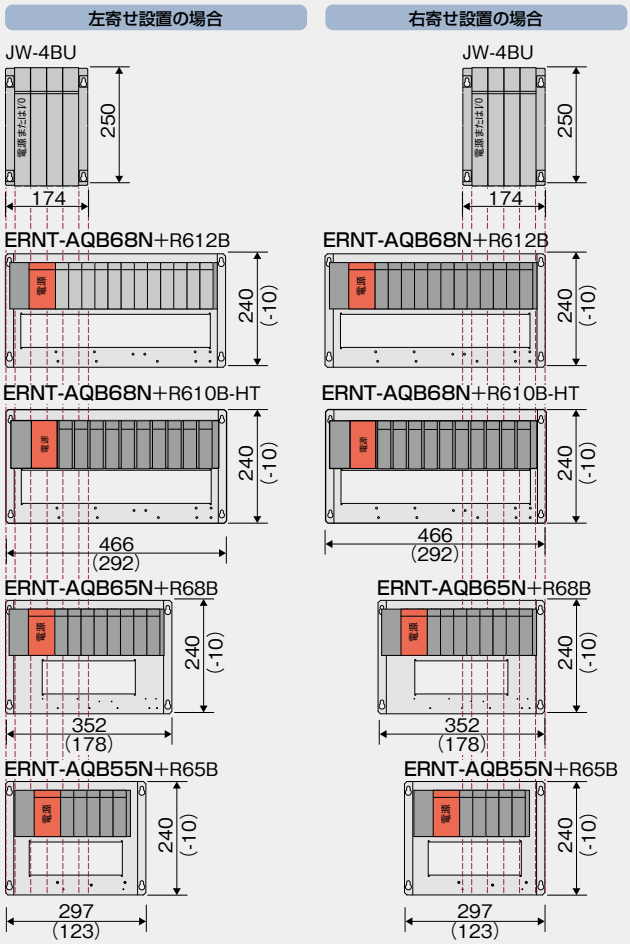
(3) JW-6BU → ERNT-AQB68N + R612B / ERNT-AQB68N + R610B-HT / ERNT-AQB65N + R68B / ERNT-AQB55N + R65B

単位:mm



(4) JW-4BU → ERNT-AQB68N + R612B / ERNT-AQB68N + R610B-HT / ERNT-AQB65N + R68B / ERNT-AQB55N + R65B

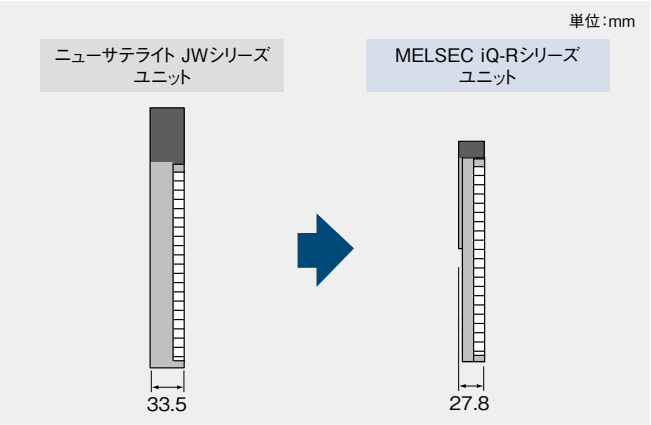
単位:mm



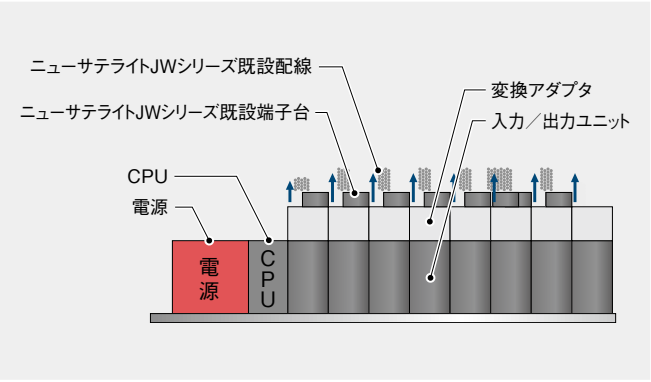
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ33.5mm→ MELSEC iQ-Rシリーズ27.8mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。

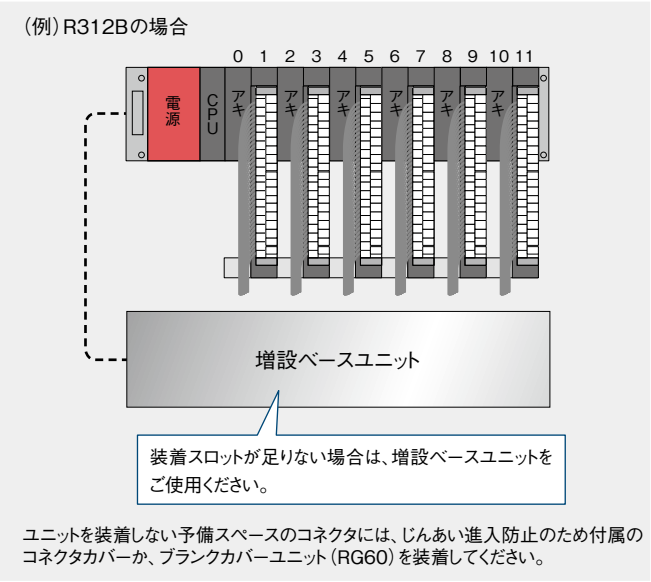


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット (RG60) を装着してください。

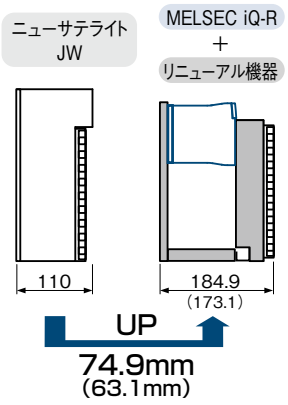
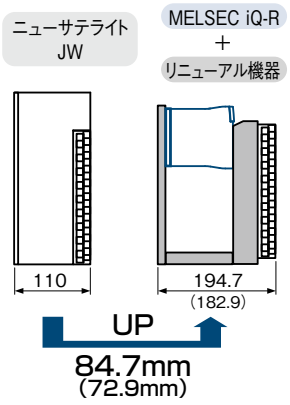
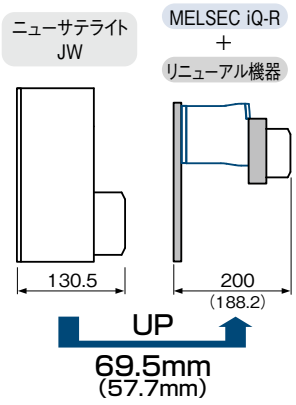
(4) 前記 (2)、(3) での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.19
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

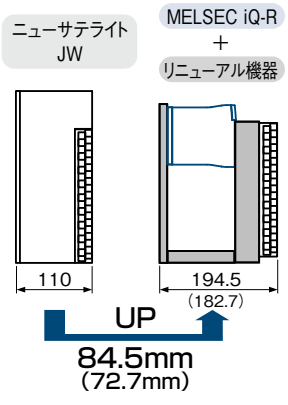
盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。
ニューサテライトJWシリーズ：[ベースユニット] ＋ [入力/出力ユニット] ＋ [端子台/コネクタ]
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：[ベースアダプタ] ＋ [入力/出力ユニット] ＋ [変換アダプタ] ＋ [端子台/コネクタ]

1スロットタイプ

ニューサテライトJW：ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC iQ-R：MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-1JR11N13S ERNT-1JR12S	ERNT-1JR32S ERNT-1JR32N34N	ERNT-2JR232S262S ERNT-2JR234N264N
奥行き寸法	74.9mm UP （63.1mm UP）	84.7mm UP （72.9mm UP）	69.5mm UP （57.7mm UP）
取付け図			

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1JR31N34S ERNT-1JR33S
奥行き寸法	84.5mm UP （72.7mm UP）
取付け図	

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、ニューサテライトJWシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC iQ-Rシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

小形タイプ▶JW300/30H/20H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	JW-211N JW-211NA	RX10	※1	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	▶端子台（18点）	16点
出力	JW-213S JW-213SA	RY20S6					
	JW-214S JW-214SA	RY10R2					
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	RX40C7 RX70C4	※1、2				
出力	JW-212S JW-212SA	RY40NT5P	※1、3	ERNT-2JQ212S			
入力	JW-234N	RX41C4 RX41C6HS RX71C4	※4	ERNT-2JR234N264N	コネクタ（40P）	▶コネクタ（40P）	32点
	JW-264N	RX41C4 × 2台 RX41C6HS × 2台	※5	ERNT-2JR234N264N ×2台	コネクタ（40P）×2	▶コネクタ（40P）×2	64点
出力	JW-232S	RY41NT2H RY41NT2P	※6、8	ERNT-2JR232S262S	コネクタ（40P）	▶コネクタ（40P）	32点
	JW-262S	RY41NT2H × 2台 RY41NT2P × 2台	※5、7、8	ERNT-2JR232S262S ×2台	コネクタ（40P）×2	▶コネクタ（40P）×2	64点

※1:ニューサテライトJWシリーズ（小形タイプ）からMELSEC-Qシリーズへの置換え用変換アダプタを使用します。
※2:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、RX40PC6H（DC24V、プラスコモン）またはRX40NC6H（DC24V、マイナスコモン）への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
※3:RY40NT5Pには負荷電圧と同じ電源の供給が別途必要です。
※4:既設ユニットを16点ごとに別電源でご使用の場合は、RX40C7（DC24V）×2台またはRX70C4（DC5/12V）×2台への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
※5:置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。
※6:RY41NT2Pへの置換えの場合、JWシリーズ側の端子番号A1、B1、A19、B19にDC12/24Vの追加供給が必要です。
※7:RY41NT2Hへの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ側の電源端子はアキ端子となりますが、変換アダプタ内部で短絡しているため、A1、B1、A19、B19は必ずアキ端子（未接続状態）としてください。
※8:RY41NT2Pへの置換えの場合、ERNT-2JR232S262Sの定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。

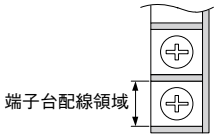
ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.279

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名		仕様	点数	置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	JW-203N		AC200/240V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台	対応
	JW-201N		AC100/120V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台	
	JW-202N		DC12/24V	8点	RX40C7	DC24Vプラス/マイナスコモン	16点	1台	
					RX70C4	DC5/12Vプラス/マイナスコモン			
出力	JW-203S		AC100/200V	8点	RY20S6	AC100-240V	16点	1台	
	JW-204S JW-204SA		AC250V/DC30V 2A 独立	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	1台	
	JW-215SA		DC5/12/24Vソースタイプ	16点	RY40PT5P	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	
	JW-202S		DC5/12/24Vシンクタイプ	8点	RY40NT5P	DC12/24V	16点	1台	
入出力混合	JW-232M	入力部	DC12/24V	16点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません				―
		出力部	DC5/12/24Vシンクタイプ	16点					

参考:端子台仕様

項目	置換え前 ニューサテライトシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ（小形タイプ）
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.3mm



ベースアダプタ

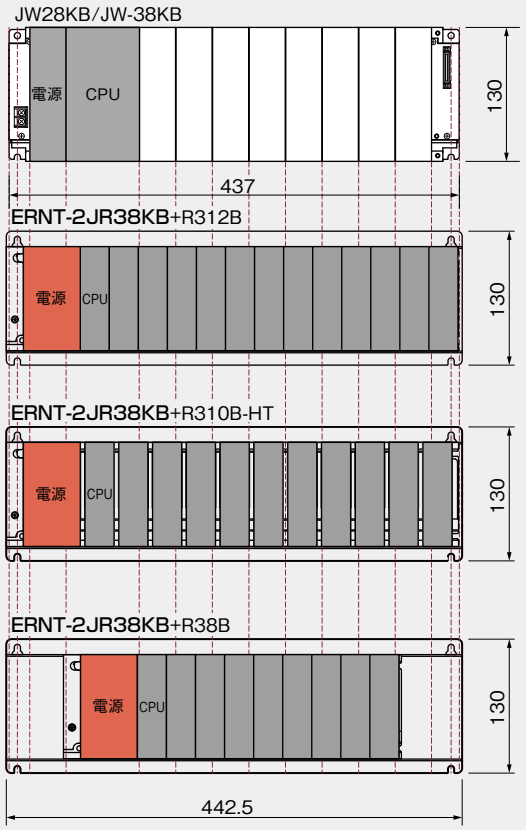
基本/増設	置換え前ニューサテライトJWシリーズ ベースユニット形名	置換え後MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名
基本	JW-28KB/JW-38KB	R312B/R310B-HT/R38B	—	ERNT-2JR38KB
基本	JW-26KB/JW-36KB	R38B	—	ERNT-2JR36KB38ZB
増設	JW-28ZB/JW-38ZB	R68B	—	
基本	JW-24KB/JW-34KB	R35B	—	ERNT-2JR34KB
基本	JW-318KB	R38B	—	ERNT-2JR318KB
基本	JW-316KB	R38B	—	ERNT-2JR316KB36ZB
増設	JW-26ZB/JW-36ZB	R68B	—	
基本	JW-314KB	R35B	—	ERNT-2JR314KB
増設	JW-24ZB/JW-34ZB	R65B	—	ERNT-2JR34ZB

スロット位置

ニューサテライトJWシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

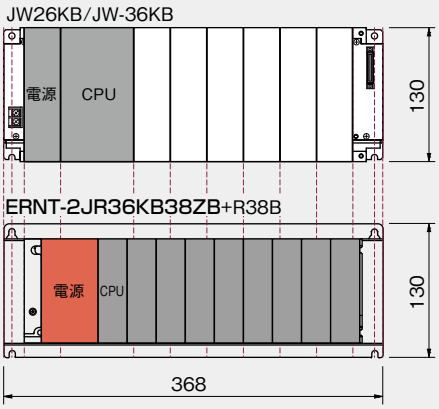
(1) JW-28KB/JW-38KB → ERNT-2JR38KB+R312B/R310B-HT/R38B

単位:mm



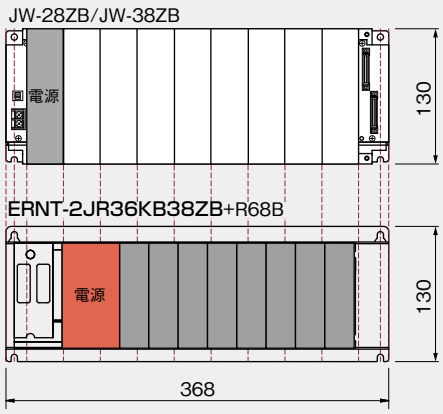
(2) JW-26KB/JW-36KB → ERNT-2JR36KB38ZB+R38B

単位:mm



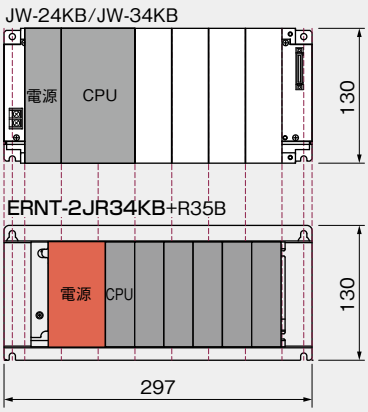
(3) JW-28ZB/JW-38ZB → ERNT-2JR36KB38ZB+R68B

単位:mm



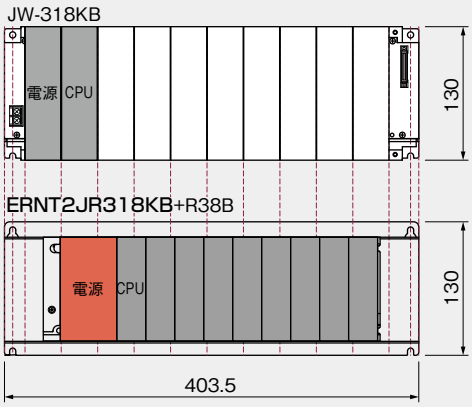
(4) JW-24KB/JW-34KB → ERNT-2JR34KB+R35B

単位:mm



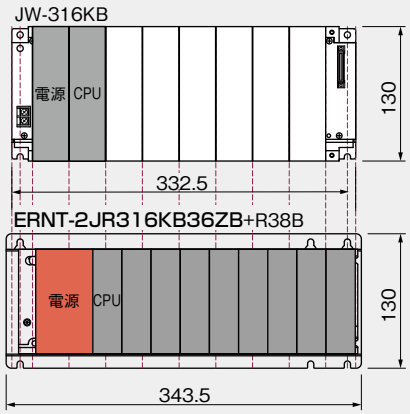
(5) JW-318KB → ERNT-2JR318KB+R38B

単位:mm



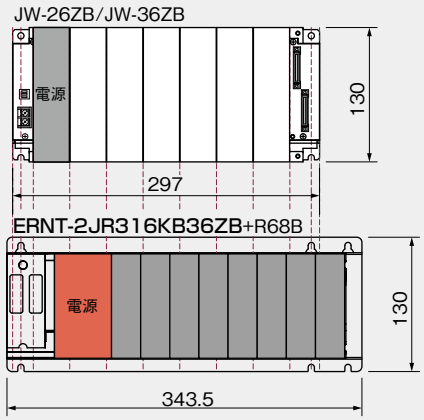
(6) JW-316KB → ERNT-2JR316KB36ZB+R38B

単位:mm



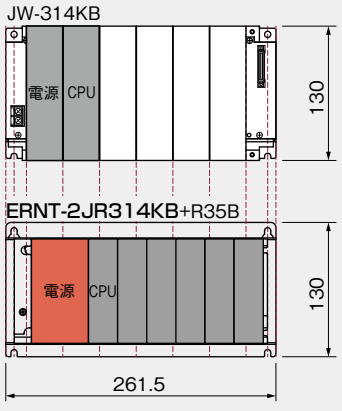
(7) JW-26ZB/JW-36ZB → ERNT-2JR316KB36ZB+R68B

単位:mm



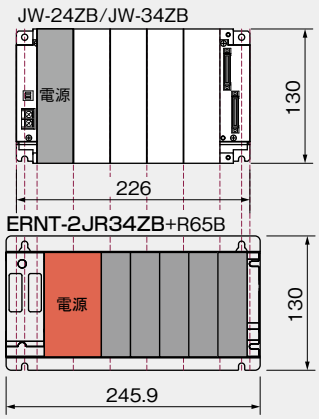
(8) JW-314KB → ERNT-2JR314KB+R35B

単位:mm



(9) JW-24ZB/JW-34ZB → ERNT-2JR34ZB+R65B

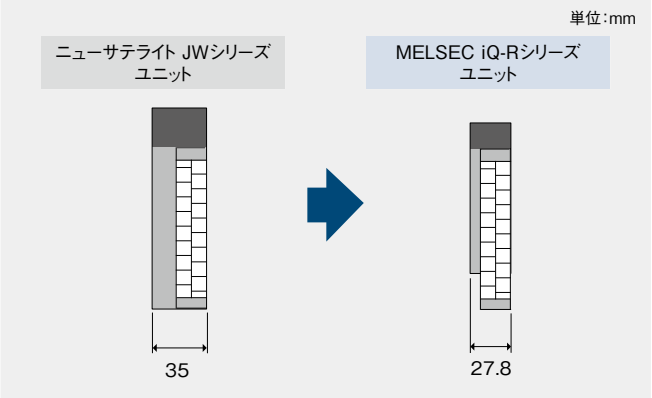
単位:mm



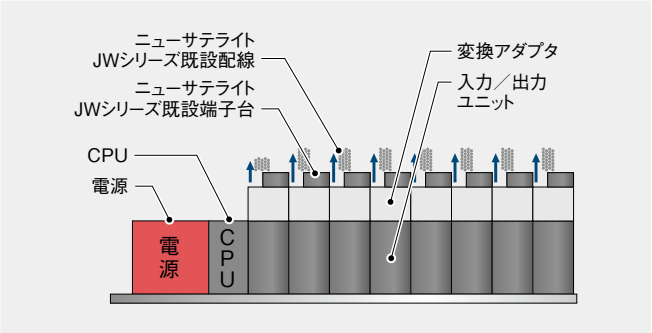
ご使用上の注意点

ユニット幅

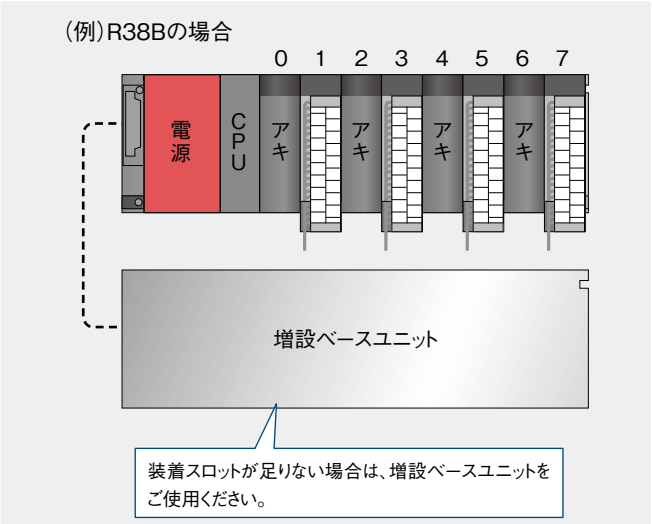
(1) ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ35mm → MELSEC iQ-Rシリーズ27.8mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。



(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

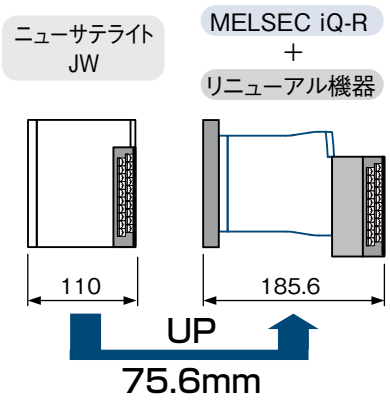
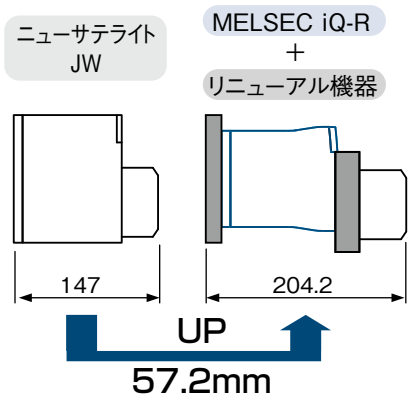
(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.19

奥行き

盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。

ニューサテライトJWシリーズ: ベースユニット + 入力/出力ユニット + 端子台/コネクタ
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器: ベースアダプタ + ベースユニット + 入力/出力ユニット + 変換アダプタ + 端子台/コネクタ

ニューサテライトJW :ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC iQ-R :MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2JQ210NS ERNT-2JQ212S	ERNT-2JR232S262S ERNT-2JR234N264N
寸法 奥行き	75.6mm UP	57.2mm UP
取付け図		

ニューサテライトJWシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

大形タイプ▶JW50H/70H/100H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JW-11N	QX10	—	ERNT-1JQ11N12N	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JW-12N	QX40、QX40-S1、QX70	※1、2				
	JW-32N	QX41、QX41-S2、QX71	※3、4	ERNT-1JQ32N34N	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JW-34N	QX41、QX41-S1、QX41-S2、QX71					
	JW-64NC	QX42、QX42-S1、QX72、QX82、QX82-S1	—	ERNT-1JQ64NC	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
	JW-34NC		※5				
		QX41、QX41-S1、QX41-S2、QX71	—	ERNT-2JQ234N264N	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
出力	JW-13S	QY22	—	ERNT-1JQ13S	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JW-12S	QY40P、QY50、QY70		ERNT-1JQ12S			
	JW-32S	QY41H、QY41P	※6、10	ERNT-1JQ32S	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JW-32SC	QY41H	※8	ERNT-1JQ32SC62SC	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JW-62SC	QY41H × 2台 QY41P × 2台	※7、9、11	ERNT-1JQ32SC62SC×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2

※1:既設ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX80、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※2:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※3:既設ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
※4:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台、またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※5:JW-32NCは32点入力ユニットのため、JW-34NCからの置換えの場合はMELSEC-Qシリーズユニットの32点のみの使用となります。（32点空きで使用）
※6:電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A、16点）、またはQY68A（2A、8点）への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※7:JW-62SCからの置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。
※8:QY41Hへの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ側の電源端子はアキ端子となりますが、変換アダプタ内部で短絡しているため、TB18およびTB36は必ずアキ端子（未接続状態）としてください。
※9:QY41Pへの置換えの場合、JWシリーズ側の端子番号A1、B1、A19、B19にDC12/24Vの追加供給が必要です。
※10：QY41Pへの置換えの場合、ERNT-1JQ32Sの定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。
※11：QY41Pへの置換えの場合、ERNT-1JQ32SC62SCの定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）には使用できません。）

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JW-11N	QX10 × 2台	ERNT-1JQ31N34S	端子台（38点）	端子台（18点）× 2	32点
出力	JW-34S	QY10 × 2台				
	JW-33S	QY22 × 2台	ERNT-1JQ33S			

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.301

下表に示す入力/出力ユニットおよびアナログ/高速カウンタユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力ユニット用

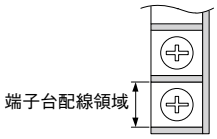
入力/出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名			MELSEC-Qシリーズユニット形名				ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	対応
出力	JW-35S	DC12/24Vソースタイプ	32点	QY81P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	対応

アナログ/高速カウンタユニット用

入力/出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名			MELSEC-Qシリーズユニット形名				ユニバーサル変換アダプタの対応
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
アナログ出力	JW-2DA	DC0～±10V、 DC0～±20mA 11ビット符号付バイナリ	2	Q62DAN	DC-10～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2	1台	対応
高速カウンタ入力	JW-2HC	50/20/15/8kpps 24ビットバイナリ	2	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	対応

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 ニューサテライトシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



ベースアダプタ

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意
ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所(M5ネジ)、および取付M5ネジ4本(お客様手配)が必要です。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。)

同じベースユニット(※1～※5)が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ (mm)
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B(※1)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B(※1)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-1JR613B	Q612B					ERNT-AQF12	480×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B(※2)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B(※5)	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B(※5)	ERNT-AQF3	183×240

変換アダプタ固定台(必須)

変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意
変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所(M4ネジ)が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

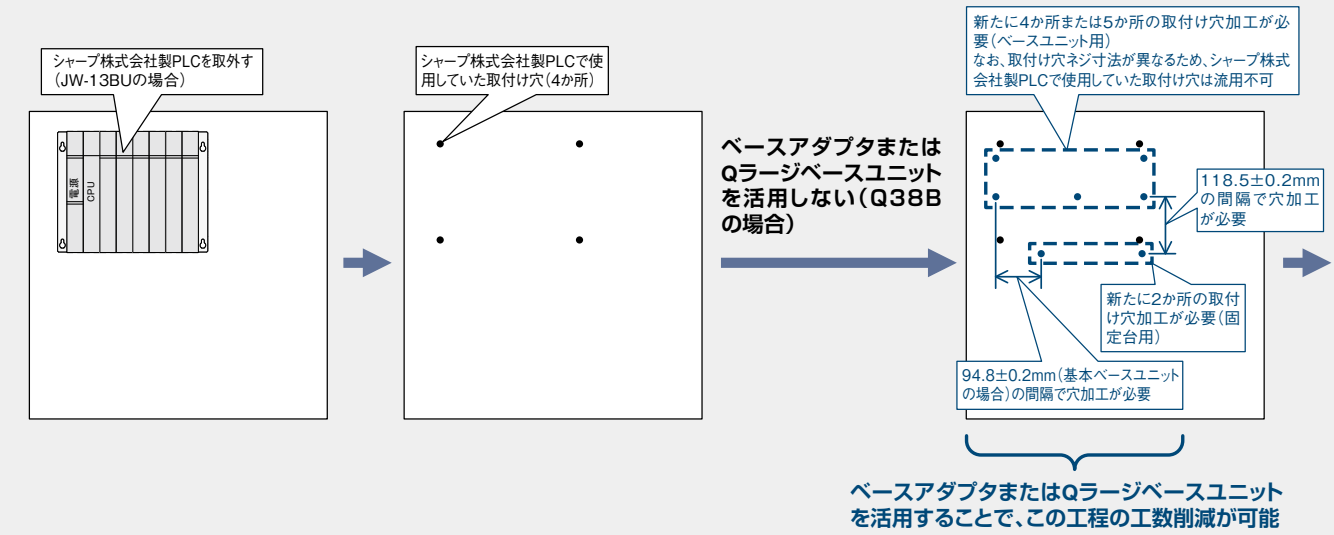
変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台

ベースアダプタまたはQラージベースユニット（三菱電機株式会社製）を活用したリニューアル

ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

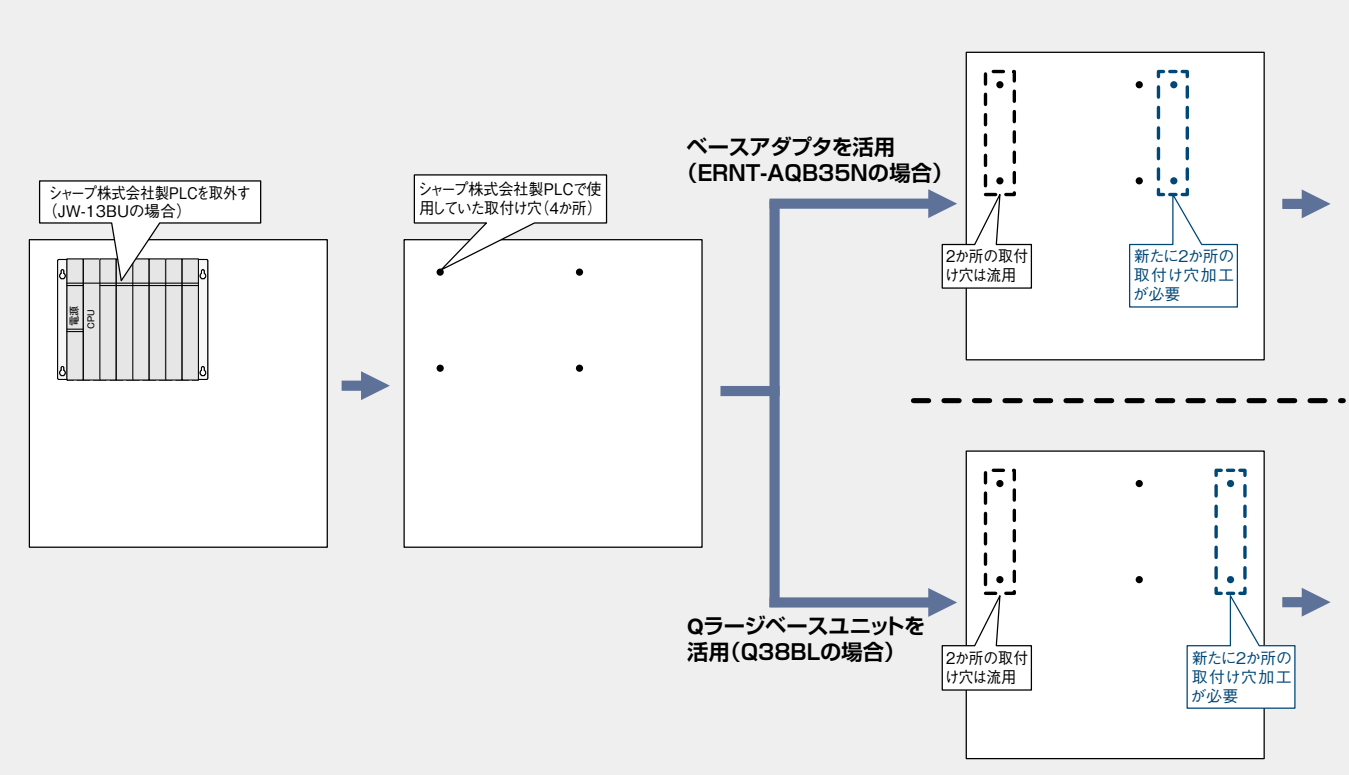
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用しない場合

新たな6か所または7か所の穴加工だけでなく、Qベースユニットと固定台間の寸法出しが必要です。

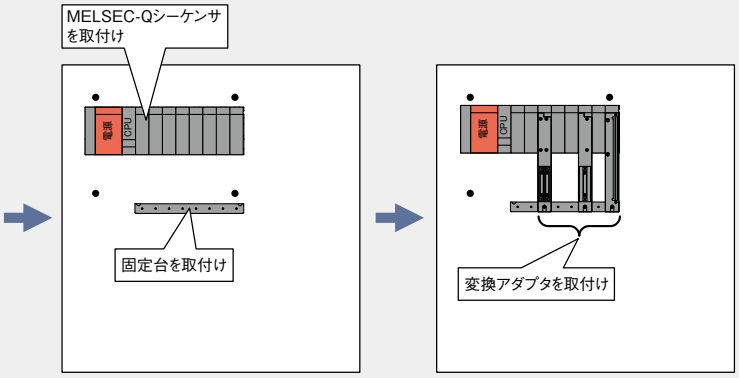


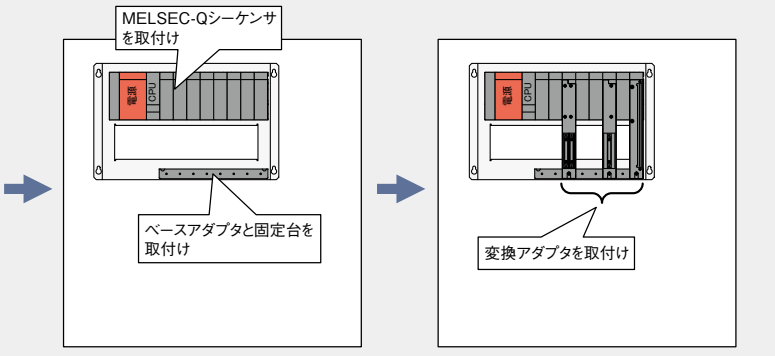
ベースアダプタまたはQラージベースユニット（MELSEC-Aシリーズ 大形 →MELSEC-Qシリーズ用）を活用する場合

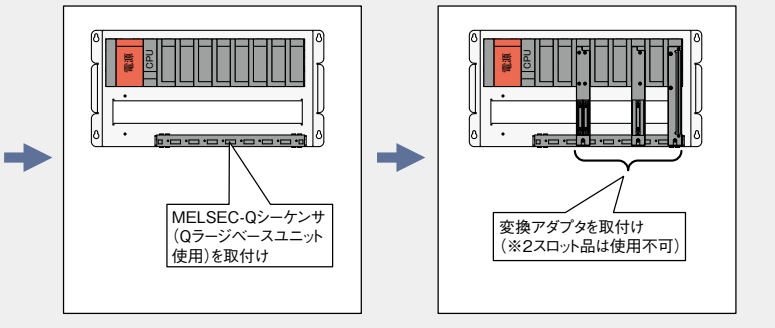
ベースアダプタまたはQラージベースユニットは、取付け穴の縦寸法がJWシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2か所以下となります。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります）
左側の取付け穴2か所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」（P.197）、「置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較」（P.198）および「スロット位置」（P.201）を参照ください。


MELSEC-Qシーケンサ
を取付け
電源
CPU
固定台を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け


MELSEC-Qシーケンサ
を取付け
電源
CPU
ベースアダプタと固定台を
取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け


電源
CPU
MELSEC-Qシーケンサ
(Qラージベースユニット
使用)を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け
(※2スロット品は使用不可)

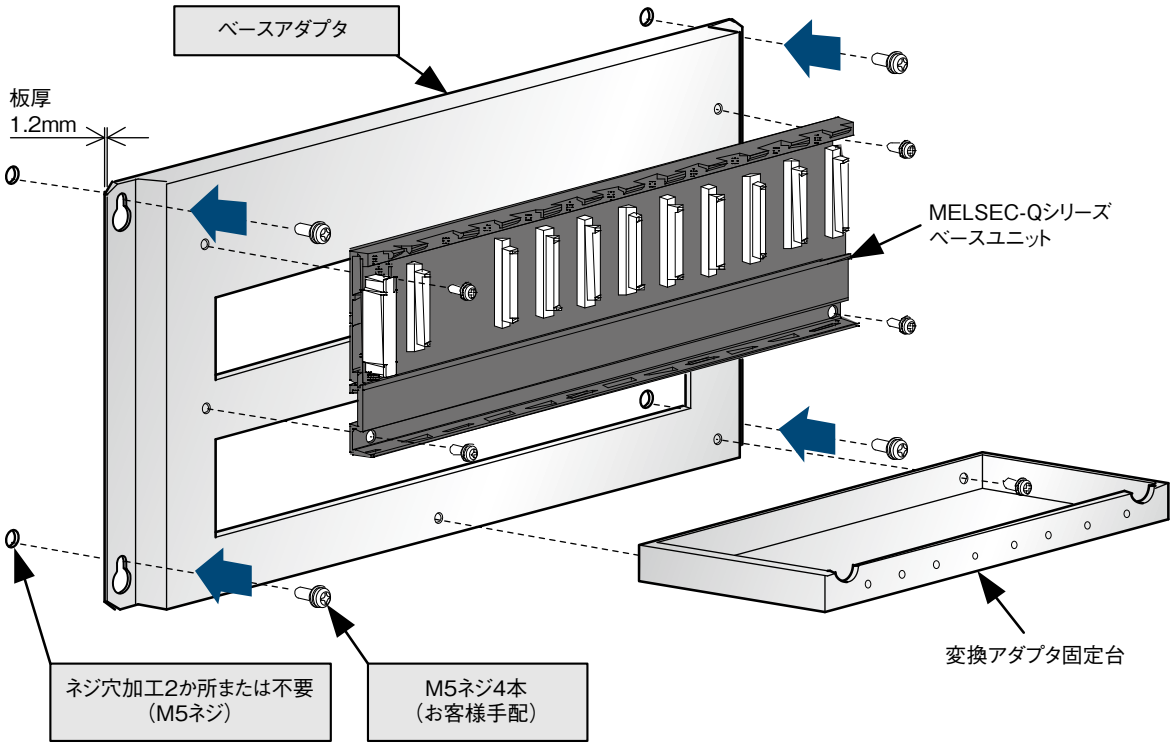
ベースアダプタ

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



同じベースユニット（※1～※5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

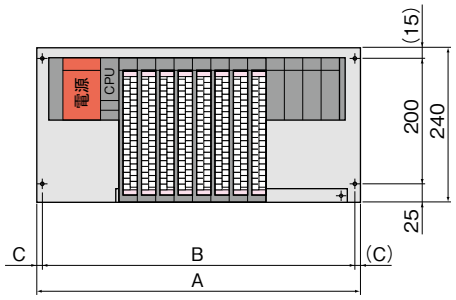
ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（※1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（※1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-1JR613B	Q612B					ERNT-AQF12	480×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（※5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（※5）	ERNT-AQF3	183×240

取付け寸法

●ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●ニューサテライトJWシリーズより縦寸法が小さくなります。
（ただし、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」(P.206)を参照。）
●ベースアダプタおよびQラージベースユニットの取付け穴（4か所）のうち2か所は、ニューサテライトJWシリーズベースユニットと同一取付け寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2か所のみです。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

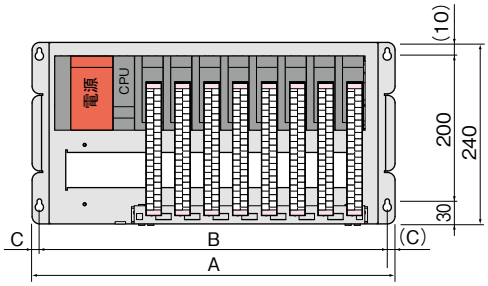
単位：mm

◎ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット



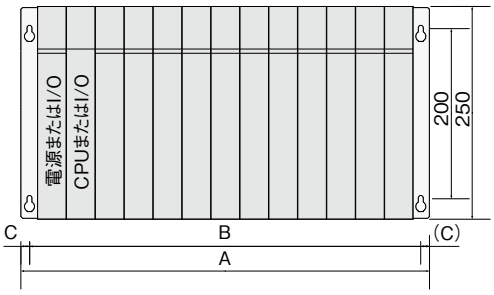
ベースアダプタ形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット用	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32N		247	227	10	
ERNT-1JR613B	増設ベースユニット用（電源あり）	480	460	10	
ERNT-AQB68N		466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB62		238	218	10	
ERNT-AQB55N	増設ベースユニット用（電源なし）	297	277	10	
ERNT-AQB52		183	163	10	

◎Qラージベースユニット



Qラージベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
Q38BL	基本ベースユニット	480	460	10	M5
Q35BL		382	362	10	
Q68BL	増設ベースユニット（電源あり）	466	446	10	
Q65BL		352	332	10	
Q55BL	増設ベースユニット（電源なし）	297	277	10	

◎（参考）ニューサテライトJWシリーズベースユニット



JWシリーズベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
JW-13BU	基本/増設ベースユニット共用	480	460	10	M5
JW-8BU		310	290	10	
JW-6BU		242	222	10	
JW-4BU		174	154	10	

置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

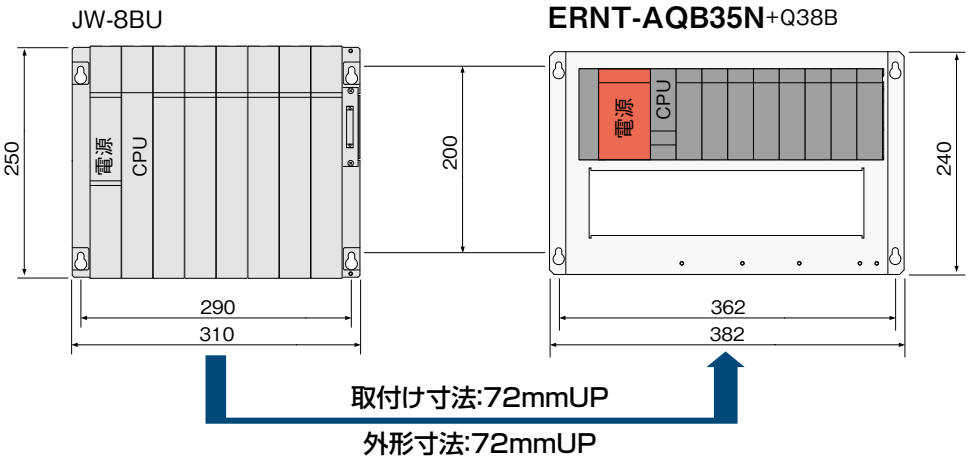
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

ご注意

- ●“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
- ●装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
- ●ニューサテライトJWシリーズのJW□□BUは基本/増設ベースユニット共用であり、電源・CPUの使用有無によりスロット数が変化するため、ご注意ください。
- ●記載がないJWシリーズベースユニット形名については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付け寸法などをご確認いただき、最適なベースアダプタまたはQラージベースユニットをご選定ください。

（例）ニューサテライトJWシリーズ（JW-8BU）からベースアダプタ＋MELSEC-Qシリーズベースユニット（ERNT-AQB35N+Q38B）に置換えた場合

単位：mm



基本ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット＋ベースアダプタに置換える場合

◎：同一、○：JWシリーズの方が大きい、▲：JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ					取付け変換アダプタ固定台	備　考
形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-JWシリーズ）				形　名	寸法比較 ※2（ベースアダプタ-JWシリーズ）					
						外形寸法		取付け寸法			外形寸法		取付け寸法			
						横	縦	横	縦		横	縦	横	縦		
JW-13BU	あり	11	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
JW-8BU	あり	6	Q312B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (129)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
			Q38B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (18)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-65)	○ (-152)	○ (-65.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-AQF5	
JW-6BU	あり	4	Q312B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (197)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (238)	○ (-10)	▲ (238)	◎	ERNT-AQF12	
			Q38B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (86)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (2.4)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF5	
			Q33B	あり	3	○ (-53)	○ (-152)	○ (-53)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	▲ (5)	○ (-10)	▲ (5)	◎	ERNT-AQF3	
JW-4BU	あり	2	Q35B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (70.4)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (208)	○ (-10)	▲ (208)	◎	ERNT-AQF5	
			Q33B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (15)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	▲ (73)	○ (-10)	▲ (73)	◎	ERNT-AQF3	

※1：（　）値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：（　）値はベースアダプタとJWシリーズの寸法差［単位：mm］

②MELSEC-Qラージベースユニットに置換える場合　◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qラージベースユニット							備　考
形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦	
JW-13BU	あり	11	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、3スロット不足 ・盤面の取付け穴加工不要
JW-8BU	あり	6	Q38BL	あり	8	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
			Q35BL	あり	5	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	
JW-6BU	あり	4	Q35BL	あり	5	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	
JW-4BU	あり	2	Q35BL	あり	5	▲ (208)	○ (-10)	▲ (208)	◎	

※1:(　)値はQラージベースユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

増設ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-QシリーズベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニット+ベースアダプタに置換える場合　◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ						取付け変換アダプタ固定台	備　考
形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦	形　名	寸法比較 ※2 (ベースアダプタ-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦			
JW-13BU	あり	12	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12		
			Q68B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-154)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎	ERNT-AQF8	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし ・最大12スロットのため、1スロット不足	
	なし	13	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12		
JW-8BU	あり	7	Q612B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (127)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-AQF12		
			Q68B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (16)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF8		
	なし	8	Q612B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (127)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし	
			Q68B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (16)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF8		
JW-6BU	あり	5	Q612B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (195)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-AQF12		
			Q68B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (84)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-AQF8		
			Q65B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (0.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5		
			Q55B	なし	5	○ (-53)	○ (-152)	○ (-55)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5		
	なし	6	Q612B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (195)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし	
			Q68B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (84)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-AQF8		
			Q65B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (0.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5	・最大5スロットのため、1スロット不足	
			Q55B	なし	5	○ (-53)	○ (-152)	○ (-55)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5		
JW-4BU	あり	3	Q68B	あり	8	▲ (154)	○ (-152)	▲ (152)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-AQF8		
			Q65B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (68.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5		
			Q63B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB62	▲ (64)	○ (-10)	▲ (64)	◎	ERNT-AQF3		
			Q55B	なし	5	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5		
			Q52B	なし	2	○ (-68)	○ (-152)	○ (-70.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	▲ (9)	○ (-10)	▲ (9)	◎	ERNT-AQF3	・最大2スロットのため、1スロット不足	
	なし	4	Q612B	あり	12	▲ (265)	○ (-152)	▲ (263)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (292)	○ (-10)	▲ (292)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし	
			Q68B	あり	8	▲ (154)	○ (-152)	▲ (152)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-AQF8		
			Q65B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (68.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5		
			Q63B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB62	▲ (64)	○ (-10)	▲ (64)	◎	ERNT-AQF3	・最大3スロットのため、1スロット不足	
			Q55B	なし	5	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5		
			Q52B	なし	2	○ (-68)	○ (-152)	○ (-70.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	▲ (9)	○ (-10)	▲ (9)	◎	ERNT-AQF3	・最大2スロットのため、2スロット不足	

※1:(　)値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]
※2:(　)値はベースアダプタとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

②MELSEC-Qラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qラージベースユニット							備　考
形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-JWシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法		
						横	縦	横	縦	
JW-13BU	あり	12	Q68BL	あり	8	○（-14）	○（-10）	○（-14）	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、4スロット不足 ・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
	なし	13	Q68BL	あり	8	○（-14）	○（-10）	○（-14）	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、5スロット不足 ・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
JW-8BU	あり	7	Q68BL	あり	8	▲（156）	○（-10）	▲（156）	◎	
	なし	8	Q68BL	あり	8	▲（156）	○（-10）	▲（156）	◎	
JW-6BU	あり	5	Q65BL	あり	6	▲（110）	○（-10）	▲（110）	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
			Q55BL	なし	5	▲（55）	○（-10）	▲（55）	◎	
	なし	6	Q68BL	あり	8	▲（224）	○（-10）	▲（224）	◎	
			Q65BL	あり	6	▲（110）	○（-10）	▲（110）	◎	
			Q55BL	なし	5	▲（55）	○（-10）	▲（55）	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要 ・最大5スロットのため、1スロット不足
JW-4BU	あり	3	Q65BL	あり	6	▲（178）	○（-10）	▲（178）	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
			Q55BL	なし	5	▲（123）	○（-10）	▲（123）	◎	
	なし	4	Q65BL	あり	6	▲（178）	○（-10）	▲（178）	◎	
			Q55BL	なし	5	▲（123）	○（-10）	▲（123）	◎	

※1:（　）値はQラージベースユニットとJWシリーズの寸法差［単位:mm］

スロット位置

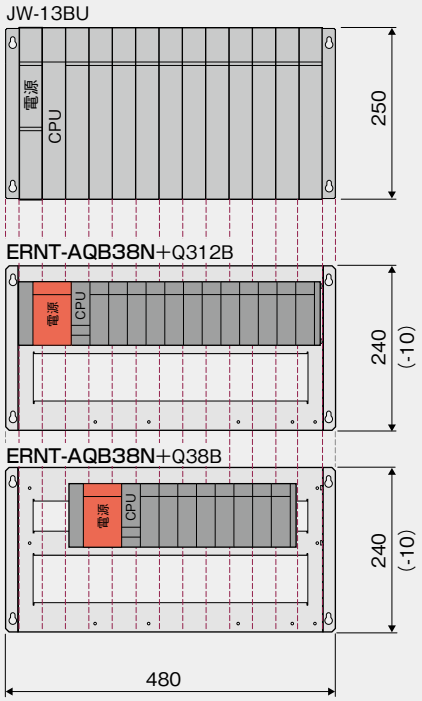
ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意
カッコ内の数値はJWシリーズとの寸法差です。

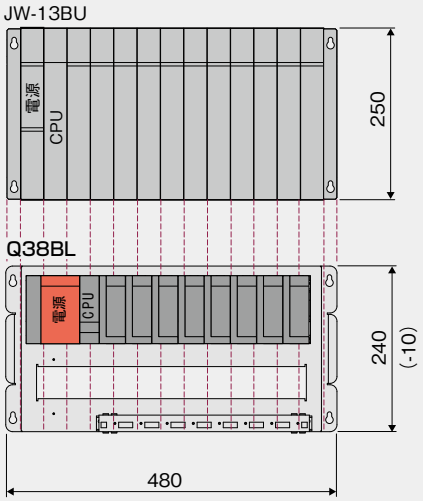
基本ベースユニットを使用する場合

(1) JW-13BU → ERNT-AQB38N + Q312B / ERNT-AQB38N + Q38B/Q38BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm



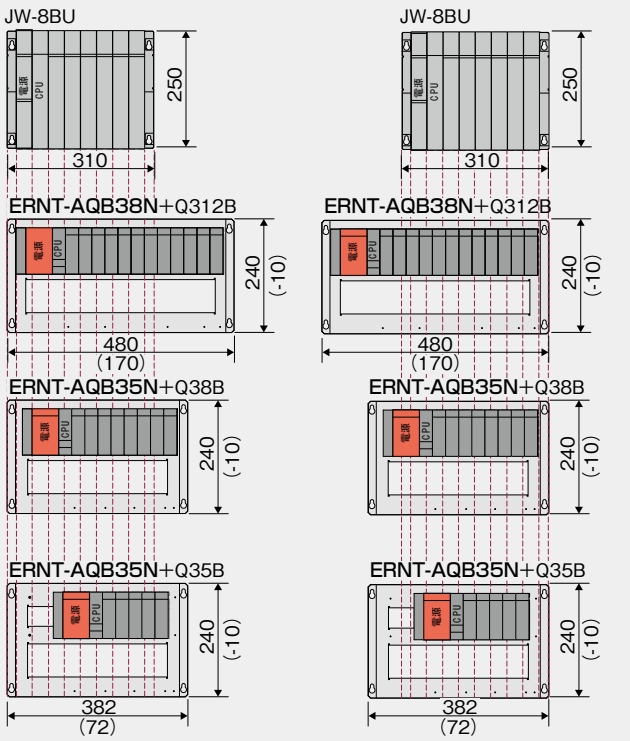
Qラージベースユニット　単位:mm



(2) JW-8BU → ERNT-AQB38N + Q312B / ERNT-AQB35N + Q38B / ERNT-AQB35N + Q35B / Q38BL / Q35BL

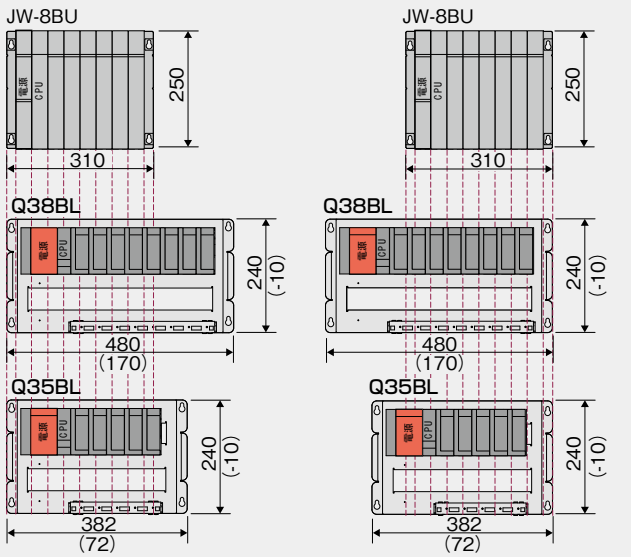
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合　右寄せ設置の場合



Qラージベースユニット　単位:mm

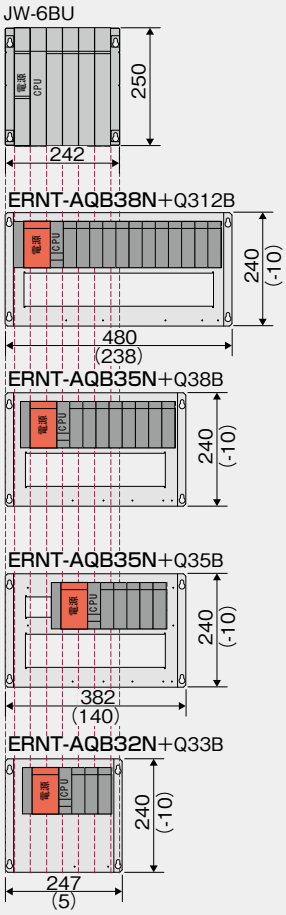
左寄せ設置の場合　右寄せ設置の場合



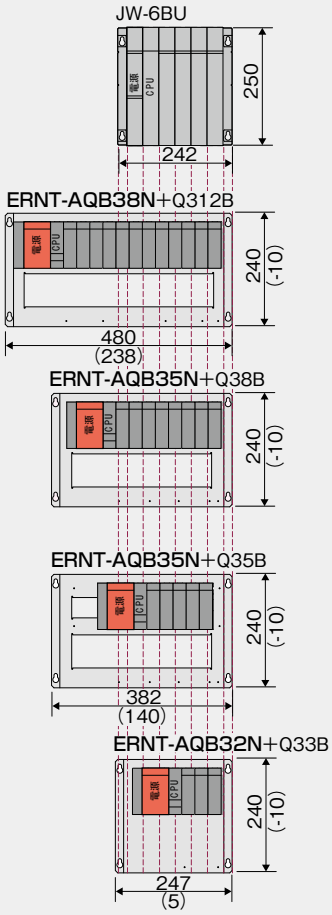
(3) JW-6BU → ERNT-AQB38N + Q312B / ERNT-AQB35N + Q38B / ERNT-AQB35N + Q35B / ERNT-AQB32N + Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

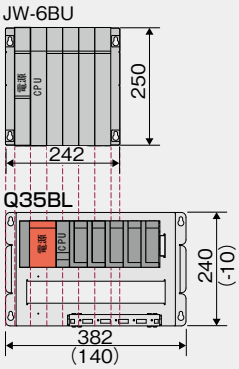


右寄せ設置の場合

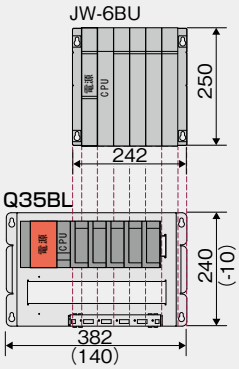


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



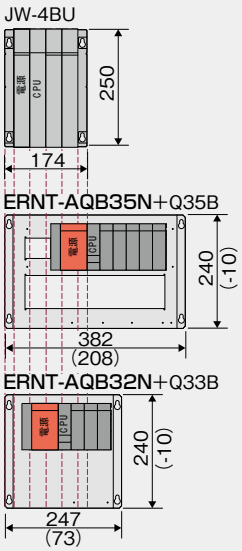
右寄せ設置の場合



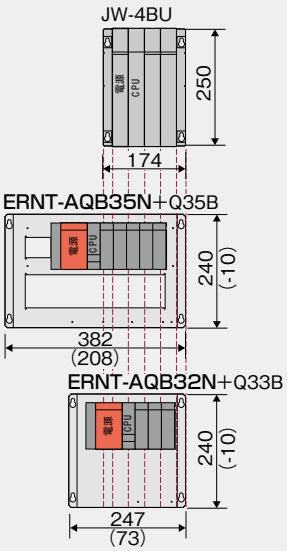
(4) JW-4BU → ERNT-AQB35N + Q35B / ERNT-AQB32N + Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

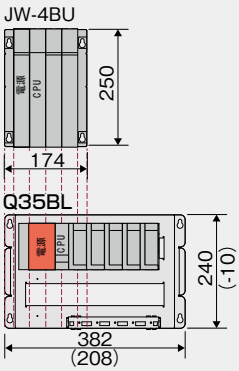


右寄せ設置の場合

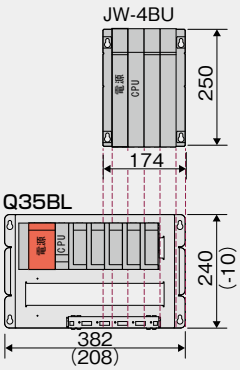


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

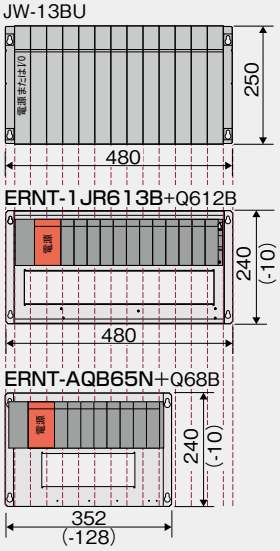


増設ベースユニットを使用する場合

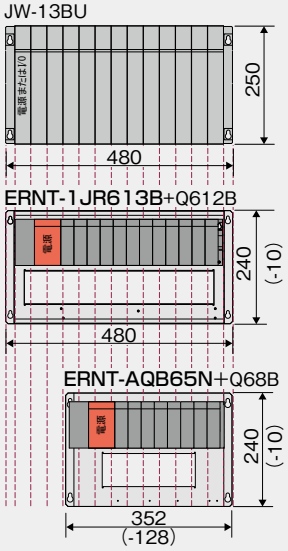
(1) JW-13BU → ERNT-1JR613B + Q612B / ERNT-AQB65N + Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

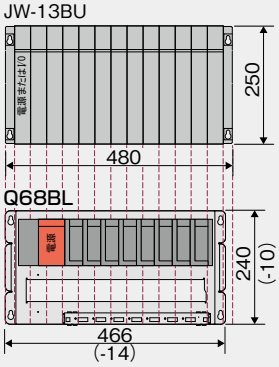


右寄せ設置の場合

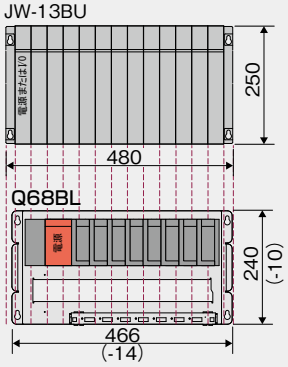


Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



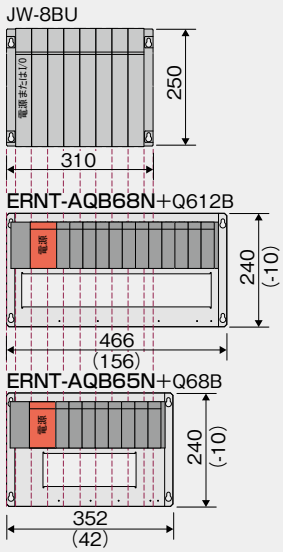
右寄せ設置の場合



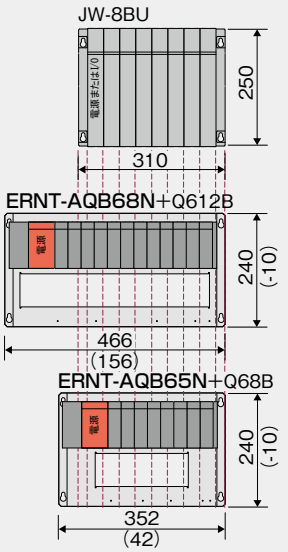
(2) JW-8BU → ERNT-AQB68N + Q612B / ERNT-AQB65N + Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

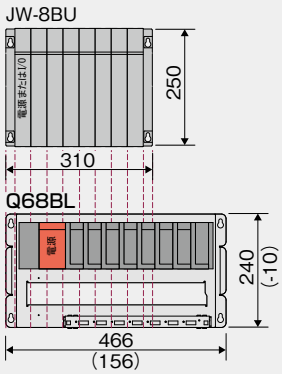


右寄せ設置の場合

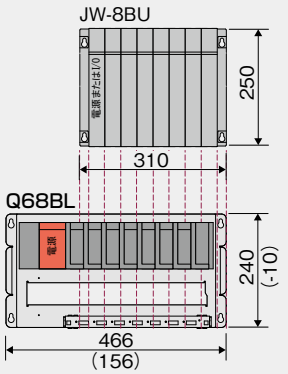


Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



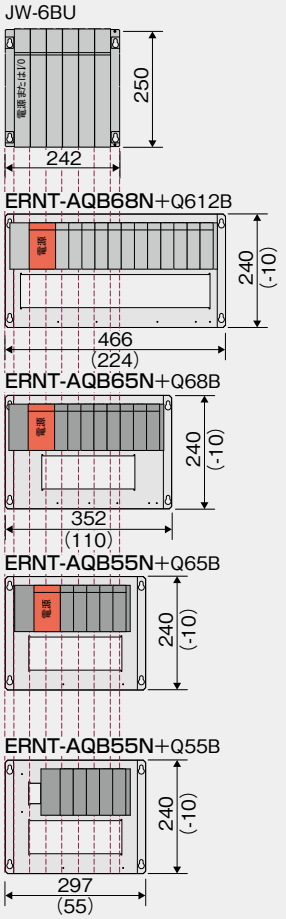
右寄せ設置の場合



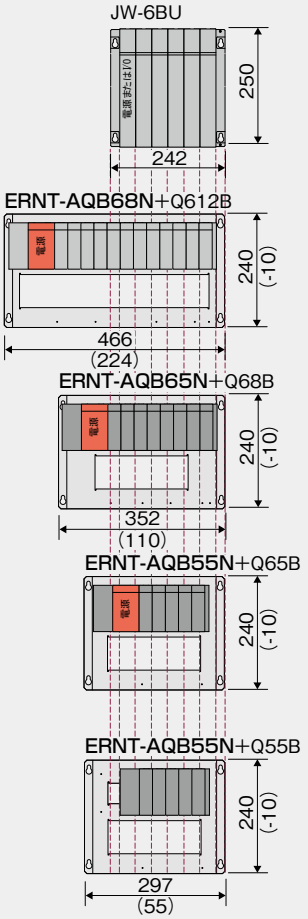
(3) JW-6BU → ERNT-AQB68N + Q612B / ERNT-AQB65N + Q68B / ERNT-AQB55N + Q65B / ERNT-AQB55N + Q55B / Q68BL / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

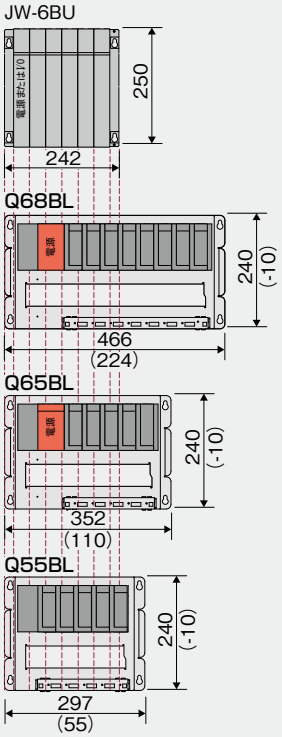


右寄せ設置の場合

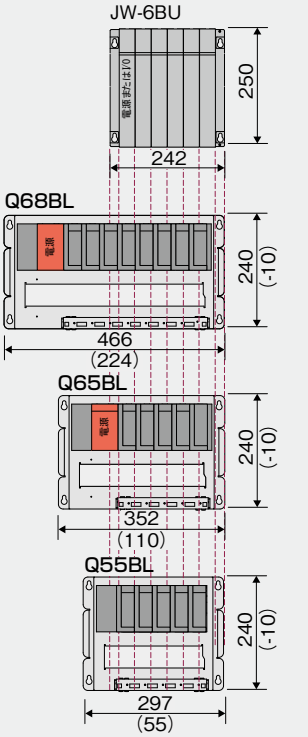


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



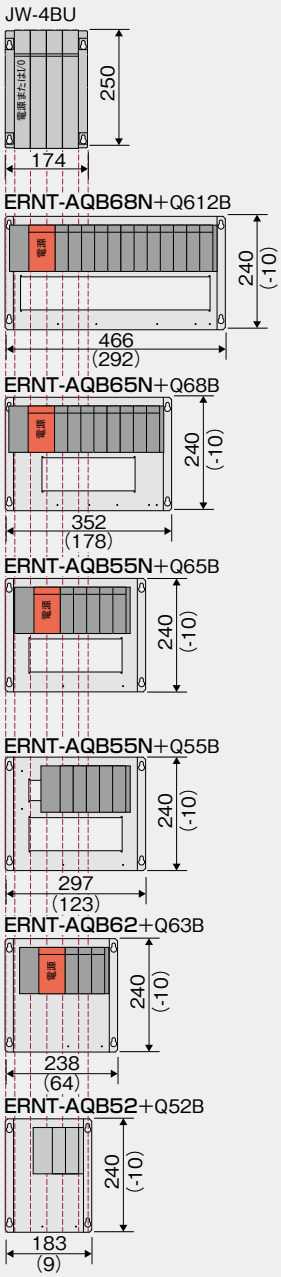
右寄せ設置の場合



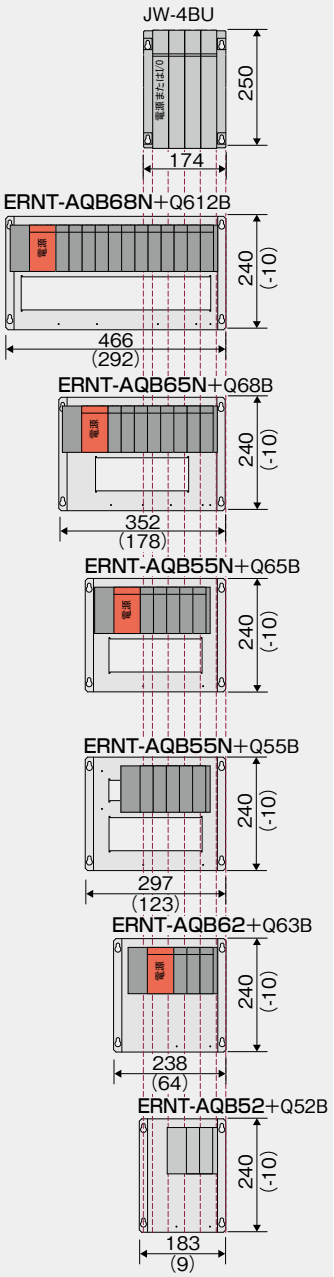
(4) JW-4BU → ERNT-AQB68N + Q612B / ERNT-AQB65N + Q68B / ERNT-AQB55N + Q65B / ERNT-AQB55N + Q55B / ERNT-AQB62 + Q63B / ERNT-AQB52 + Q52B / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

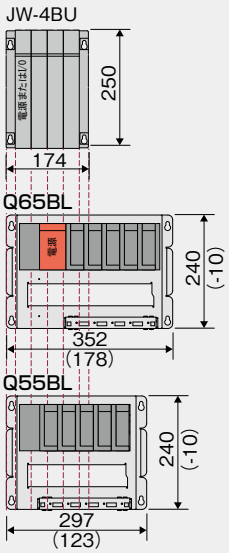


右寄せ設置の場合

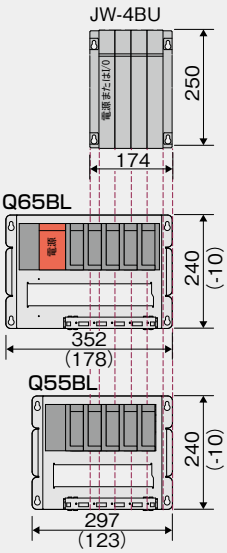


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



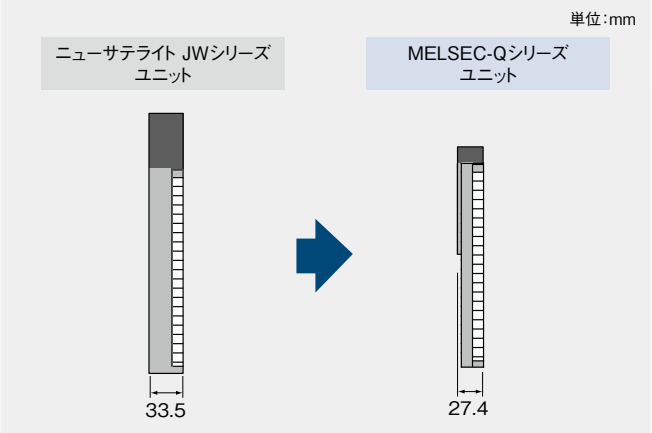
右寄せ設置の場合



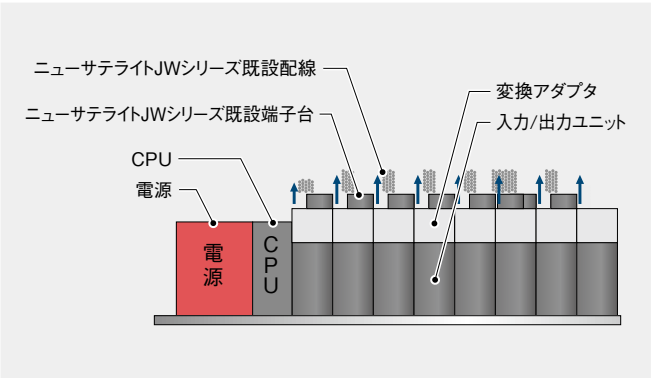
ご使用上の注意点

ユニット幅

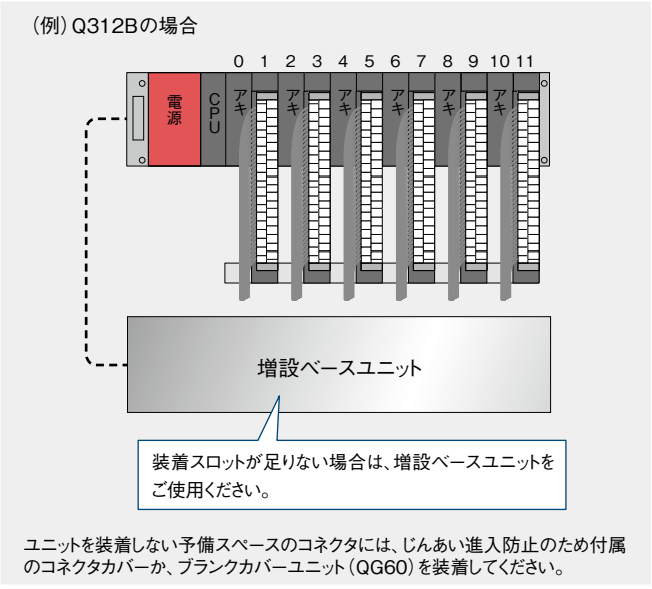
(1) ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ33.5mm→ MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。



(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(配線領域は37.5mm)の使用をご検討ください。→P.20
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

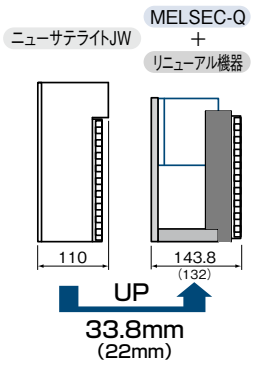
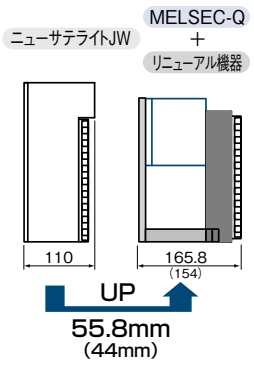
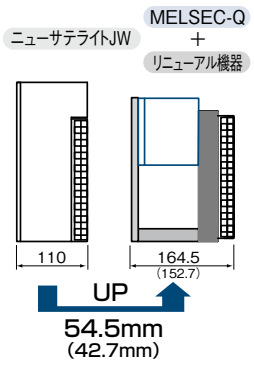
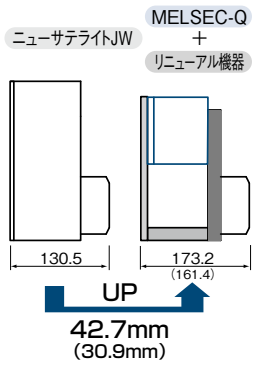
奥行き

盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

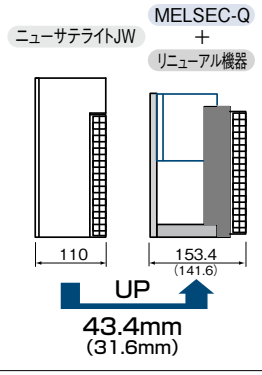
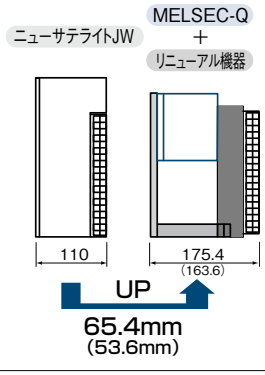
ニューサテライトJWシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC-Qシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

1スロットタイプ

ニューサテライトJW：ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

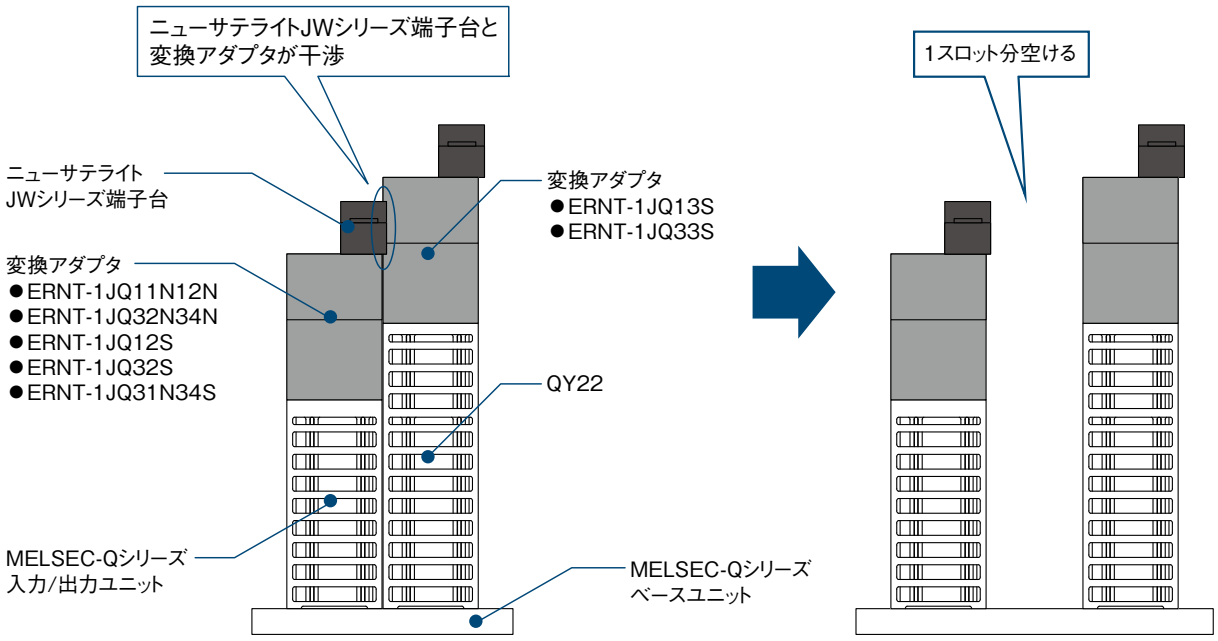
変換アダプタ	ERNT-1JQ11N12N ERNT-1JQ12S	ERNT-1JQ13S	ERNT-1JQ32N34N ERNT-1JQ32S	ERNT-1JQ64NC ERNT-1JQ32SC62SC
奥行き寸法	143.8mm （132mm）	165.8mm （154mm）	164.5mm （152.7mm）	173.2mm （161.4mm）
取付け図				

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1JQ31N34S	ERNT-1JQ33S
奥行き寸法	153.4mm （141.6mm）	175.4mm （163.6mm）
取付け図		

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタが以下となる場合は、端子台の干渉を避けるために1スロット分空けてください。
ただし、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット使用時はユニット間に隙間があるため、1スロット分空ける必要はありません。
※1:2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。
※2:下図は1スロットの置換えです。



変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、ニューサテライトJWシリーズの取付け穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

小形タイプ▶JW300/30H/20H

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）にも取付け可能）

入力/出力	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	変換アダプタ 入力/出力点数
入力	JW-211N JW-211NA	QX10	—	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	端子台（18点）	16点
出力	JW-213S JW-213SA	QY22	—	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	端子台（18点）	16点
出力	JW-214S JW-214SA	QY10	—	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	端子台（18点）	16点
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	QX40、QX40-S1、QX70	※1	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	端子台（18点）	16点
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	QX80	—	ERNT-2JQ212S			
出力	JW-212S JW-212SA	QY40P、QY50、QY70	※2	ERNT-2JQ212S			
入力	JW-234N	QX41、QX41-S1、 QX41-S2、QX71	※3、4	ERNT-2JQ234N264N	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
入力	JW-264N	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、 QX41-S2 × 2台	※5、6、7	ERNT-2JQ234N264N×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2
出力	JW-232S、JW-32SC	QY41H、QY41P	※8、10	ERNT-2JQ232S262S	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
出力	JW-262S、JW-62SC	QY41H × 2台 QY41P × 2台	※7、9、10	ERNT-2JQ232S262S×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2

※1:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20 の使用をご検討ください。
※2:QY40P、QY50にはDC12/24Vが、QY70にはDC5/12Vが別途必要です。
※3:DC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※4:既設ユニットを16点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40 2台、QX40-S1 2台、QX70 2台、またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
※5:マイナスコモン入力での使用はできません。
※6:DC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
※7:置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。
※8:QY41Pへの置換えの場合、JWシリーズ側の端子番号A1、B1、A19、B19にDC12/24Vの追加供給が必要です。
※9:QY41Hへの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ側の電源端子はアキ端子となりますが、変換アダプタ内部で短絡しているため、A1、B1、A19、B19は必ずアキ端子（未接続状態）としてください。
※10:QY41Pへの置換えの場合、ERNT-2JQ232SC262Sの定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.302

下表に示す入力/出力ユニットおよびアナログ/高速カウンタユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力ユニット用

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名		仕様	点数	置換え後MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	JW-203N		AC200/240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	対応
入力	JW-201N		AC100/120V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	
入力	JW-202N		DC12/24V	8点	QX40、QX40-S1	DC24Vプラスコモン	16点	1台	
入力	JW-202N		DC12/24V	8点	QX70	DC5/12Vプラス/マイナスコモン	16点	1台	
出力	JW-203S		AC100/200V	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	
出力	JW-204S JW-204SA		AC250V/DC30V 2A 独立	8点	QY18A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	1台	
出力	JW-202S		DC5/12/24Vシンクタイプ	8点	QY68A	DC5-24V 2A 独立 シンク/ソースタイプ	8点	1台	
出力	JW-215SA		DC5/12/24Vソースタイプ	16点	QY80	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	
入出力混合	JW-232M	入力部	DC12/24V	16点	QH42P	DC24Vプラスコモン	32点	1台	—
入出力混合	JW-232M	出力部	DC5/12/24Vシンクタイプ	16点	QH42P	DC12/24Vシンクタイプ	32点	1台	—

アナログ/高速カウンタユニット用

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名	仕様	チャンネル数	置換え後MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	チャンネル数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
アナログ入力	JW-24AD	DC0～±10V、 DC0～±20mA 13ビット符号付バイナリ	4	Q64AD	DC-10～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	4	1台	対応
アナログ出力	JW-22DA	DC0～±10V、 DC0～±20mA 15ビット符号付バイナリ	2	Q62DAN	DC-10～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2	1台	対応
高速カウンタ入力	JW-21HC	60kpps 32ビットバイナリ	1	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	—
高速カウンタ入力	JW-22HC	240kpps 32ビットバイナリ	2	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	—

三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意
ベースユニットの取付け穴（4か所）位置は、ニューサテライトJWシリーズベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

ベースアダプタ

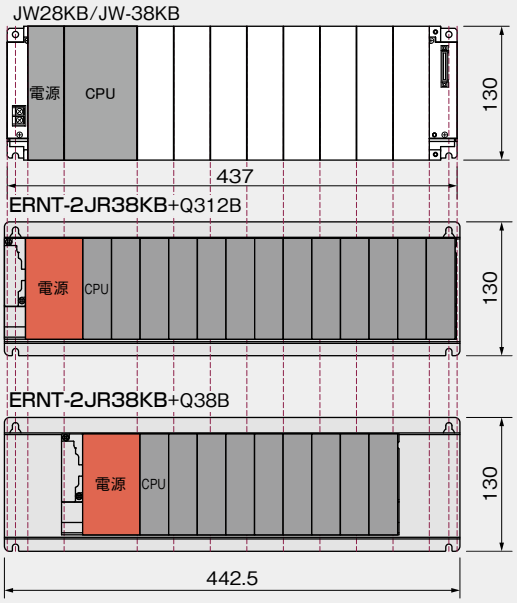
基本/増設	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ ベースユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	注意事項	ベースアダプタ形名
基本	JW-28KB/JW-38KB	Q312B/Q38B	—	ERNT-2JR38KB
基本	JW-26KB/JW-36KB	Q38B	—	ERNT-2JR36KB38ZB
増設	JW-28ZB/JW-38ZB	Q68B	—	
基本	JW-24KB/JW-34KB	Q35B	—	ERNT-2JR34KB
基本	JW-318KB	Q38B	—	ERNT-2JR318KB
基本	JW-316KB	Q38B	—	ERNT-2JR316KB36ZB
増設	JW-26ZB/JW-36ZB	Q68B	—	
基本	JW-314KB	Q35B	—	ERNT-2JR314KB
増設	JW-24ZB/JW-34ZB	Q65B/Q55B	—	ERNT-2JR34ZB

スロット位置

ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

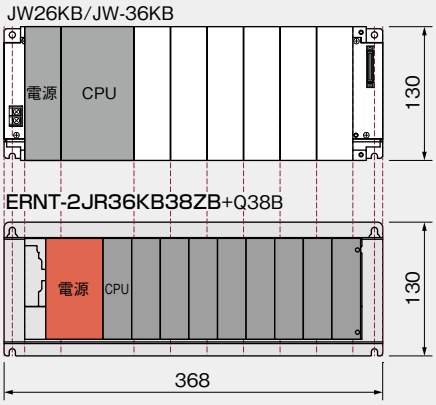
(1) JW-28KB/JW-38KB → ERNT-2JR38KB+Q312B/Q38B

単位：mm



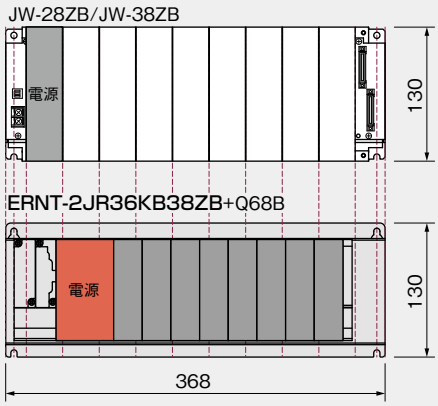
(2) JW-26KB/JW-36KB → ERNT-2JR36KB38ZB+Q38B

単位:mm



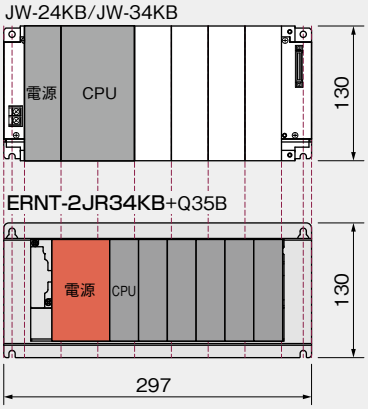
(3) JW-28ZB/JW-38ZB → ERNT-2JR36KB38ZB+Q68B

単位:mm



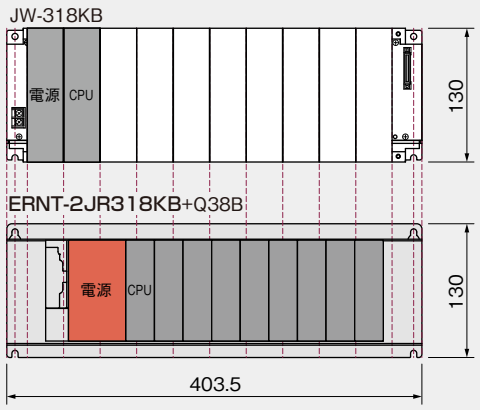
(4) JW-24KB/JW-34KB → ERNT-2JR34KB+Q35B

単位:mm



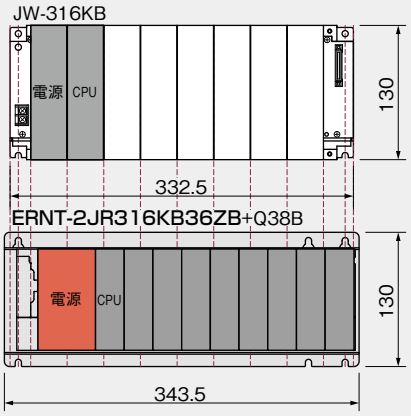
(5) JW-318KB → ERNT-2JR318KB+Q38B

単位：mm



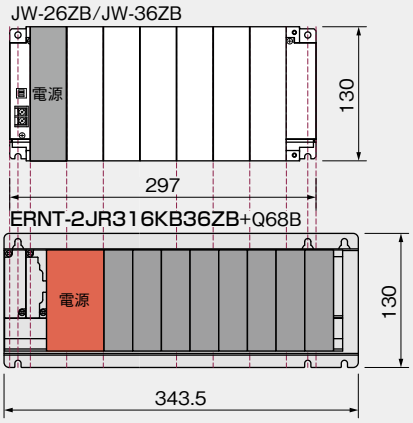
(6) JW-316KB → ERNT-2JR316KB36ZB+Q38B

単位：mm



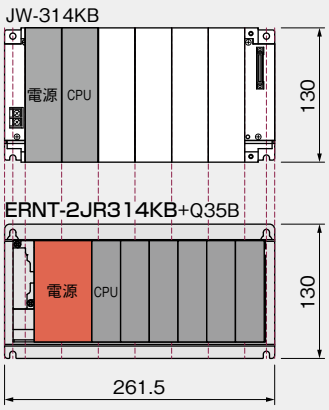
(7) JW-26ZB/JW-36ZB → ERNT-2JR316KB36ZB+Q68B

単位：mm



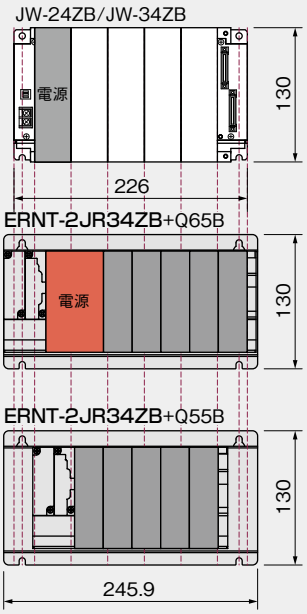
(8) JW-314KB → ERNT-2JR314KB+Q35B

単位：mm



(9) JW-24ZB/JW-34ZB → ERNT-2JR34ZB+Q65B/Q55B

単位：mm

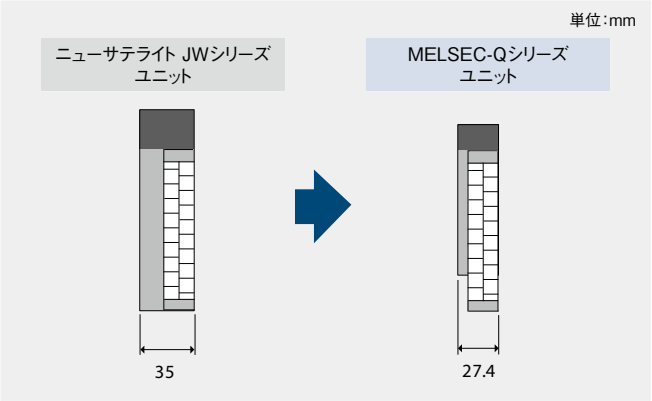


ご使用上の注意点

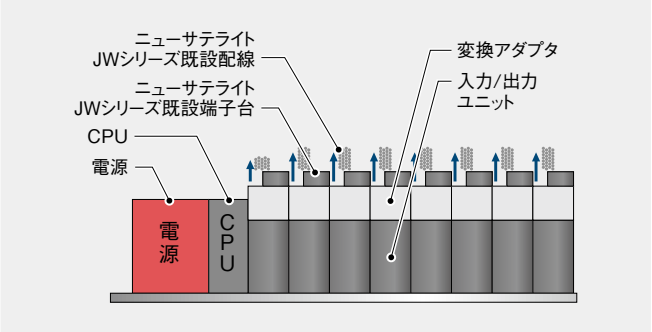
ユニット幅

下記（1）より、装着ユニットに配線が干渉する場合は、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（配線領域は34.5mm）の使用を推奨します。

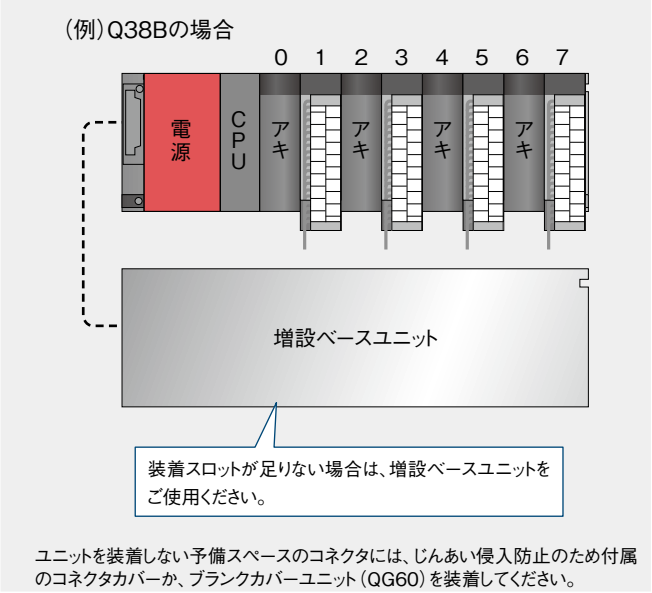
（1）ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ35mm → MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、
取付け時に確認が必要です。



（2）装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



（3）配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。



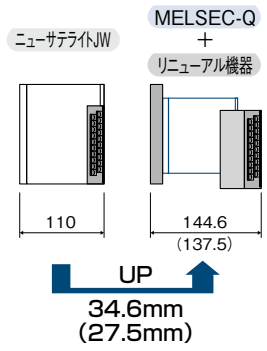
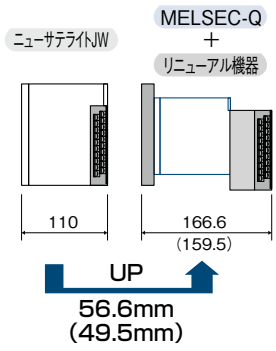
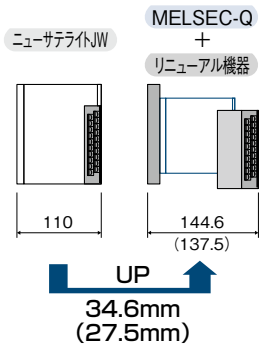
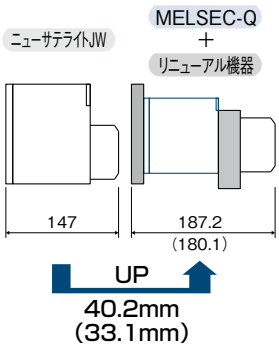
ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい侵入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット（QG60）を装着してください。

（4）前記（2）、（3）での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.19

奥行き

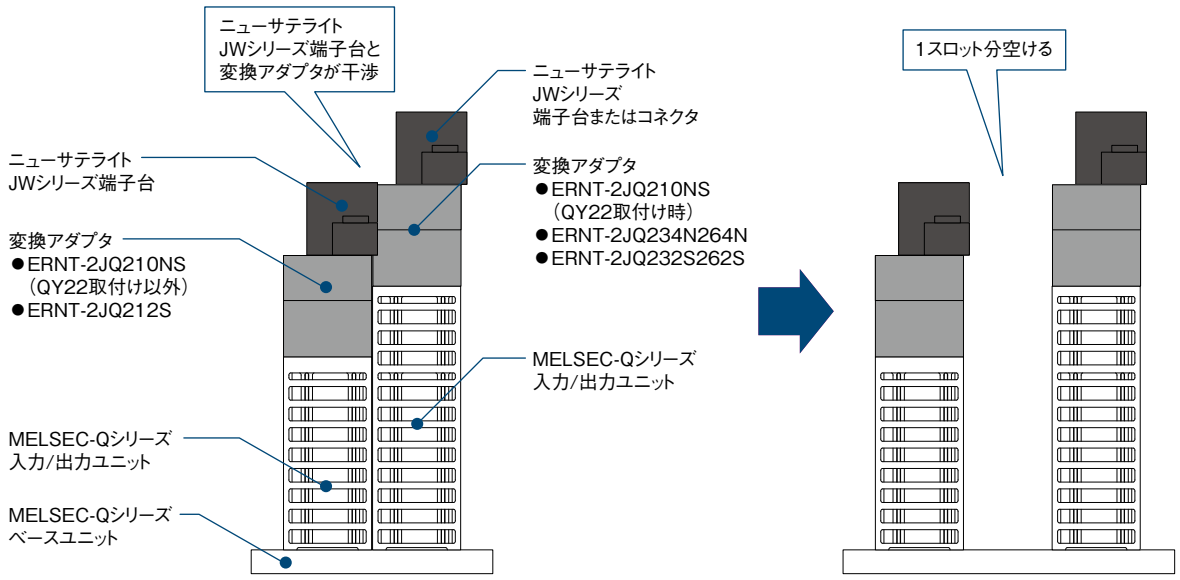
盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（7.1mm小さい値）になります。
ニューサテライトJWシリーズ：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC-Qシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

ニューサテライトJW：ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2JQ210NS		ERNT-2JQ212S	ERNT-2JQ234N264N ERNT-2JQ232S262S
MELSEC-Qシリーズユニット	QX10/QX40/QX40-S1/ QX70/QY10	QY22	QY40P/QY50/QY70/ QX80	QX41/QX41-S1/ QX41-S2/QX71/QY41H
奥行き寸法	144.6mm （137.5mm）	166.6mm （159.5mm）	144.6mm （137.5mm）	187.2mm （180.1mm）
取付け図				

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せがあるため、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットをご使用いただくことを推奨します。
なお、MELSEC-Qシリーズベースユニットをご使用いただき、隣同士の変換アダプタが以下となる場合は、端子台の干渉を避けるために1スロット分空けてください。



MEMOCON-SC GLシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ
大形タイプ▶2000シリーズI/O

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-B2501A	RX10	—	ERNT-1Y2R501500	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JAMSC-B2601	RX40C7、RX70C4	※1				
出力	JAMSC-B2500	RY20S6	—				
入力	JAMSC-B2603	RX41C4、RX41C6HS、RX71C4	※2、3	ERNT-1JR32N34N	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-B2607	RX61C6HS、RX71C4	※2				
	JAMSC-B2605 JAMSC-B2615	RX41C4×2台、RX41C6HS×2台、RX71C4×2台	—	ERNT-2Y2R615625×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
	JAMSC-B2625	RX61C6HS×2台、RX71C4×2台	—				
出力	JAMSC-B2600	RY40NT5P	—	ERNT-1Y2R600	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JAMSC-B2602A	RY41NT2P、RY41NT2H	※4	ERNT-1Y2R602606	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-B2606		—				
	JAMSC-B2604	RY41NT2P×2台	※5	ERNT-2CR218Y×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点

※1：既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、RX40PC6H（DC24V、プラスコモン）またはRX40NC6H（DC24V、マイナスコモン）への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-AQTB20-S1の使用をご検討ください。
※2：シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC iQ-Rシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。
※3：既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、RX40PC6H（DC24V、プラスコモン）×2台またはRX40NC6H（DC24V、マイナスコモン）×2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20-S1の使用をご検討ください。
※4：電流容量が必要な場合は、RY40NT5P（DC12/24V、0.5A/1点、16点）×2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20-S1の使用をご検討ください。
※5：オムロン株式会社製 SYSMAC CからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製 MELSEC iQ-Rシリーズ高温対応ベースユニット（R310B-HT、R610B-HT）には使用できません。）

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	形状 2000シリーズI/O	形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-B2505A	RX10×2台	—	ERNT-1Y2R505	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
出力	JAMSC-B2504	RY20S6×2台	※6	ERNT-1JR33S			
	JAMSC-B2902	RY10R2×2台	※6	ERNT-1JR31N34S			
	JAMSC-B2904	RY18R2A×2台	—	ERNT-1Y2R904914			16点
	JAMSC-B2914						

※6：シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC iQ-Rへの置換え用の変換アダプタを使用します。

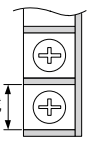
ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.280

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力	MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名 形名	仕様	点数	MELSEC iQ-Rシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	RX28	AC100-240V	8点	4台	対応
	JAMSC-B2611	DC48V	16点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません。				
出力	JAMSC-B2610	DC48Vシンクタイプ	16点	MELSEC iQ-Rシリーズに該当するユニットがありません。				
	JAMSC-B2630	DC12/24Vソースタイプ	16点	RY40PT5P	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	対応
	JAMSC-B2632	DC12/24Vソースタイプ	32点	RY41PT1P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	対応

参考：端子台仕様

項目	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ 大形ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ（大形タイプ）
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.2mm



ベースアダプタ（ご使用を推奨）

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意

ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（注）（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（注：ベースアダプタの取付け穴ピッチ（縦寸法）は、GLシリーズベースユニットと同一のため。なお、置換え前後で取付け穴ピッチ（縦寸法、横寸法）がすべて一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります。（P.228～229参照））

同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

形　名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-1JR613B	R612B					ERNT-1AR12F	480×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

変換アダプタ固定台（必須）

変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意

変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工3か所（M4ネジ）が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

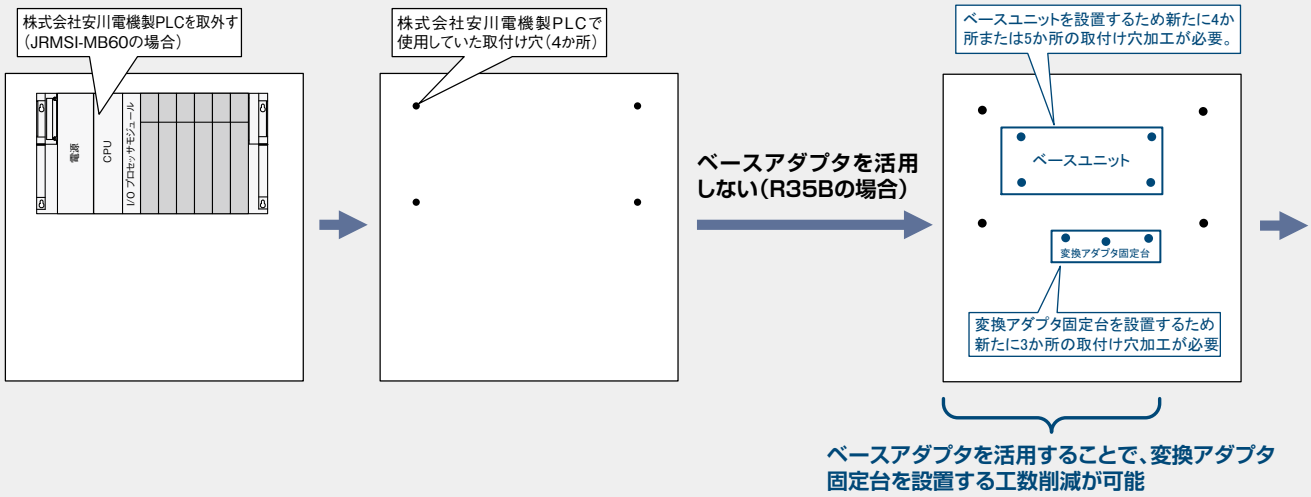
形　名	仕　様	
ERNT-1AR12F	12スロット分変換アダプタ固定台	基本 / 増設ベースユニット
ERNT-1AR8F	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR5F	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR10F3	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応基本ベースユニットR310B-HT用
ERNT-1AR10F6	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応増設ベースユニットR610B-HT用

ベースアダプタを活用したリニューアル

ベースアダプタを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

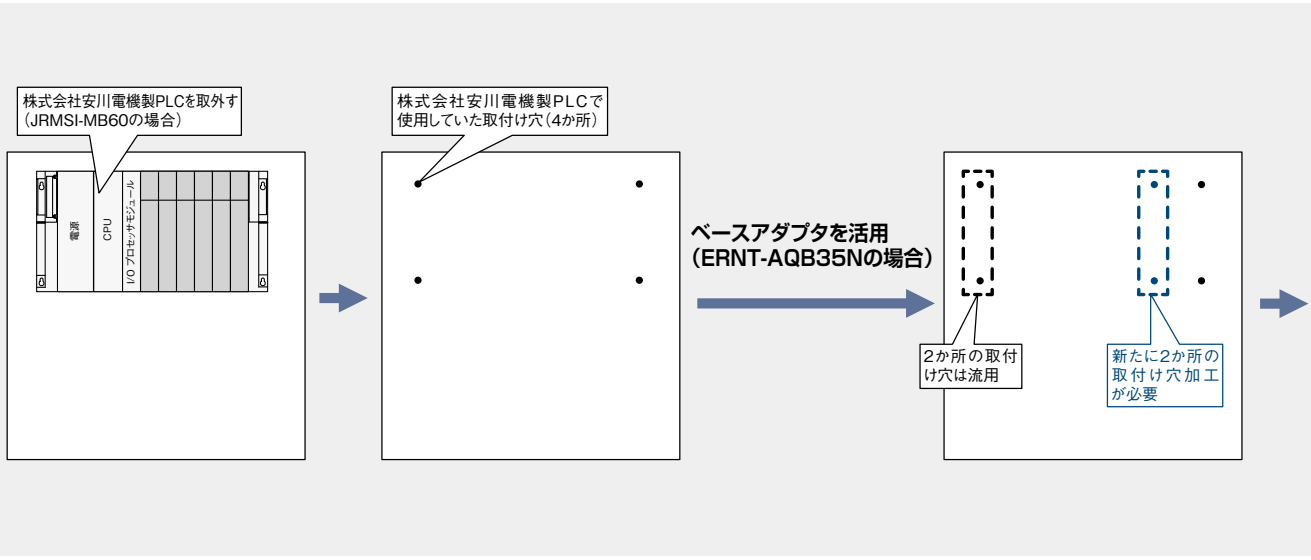
ベースアダプタを活用しない場合

新たな7か所または8か所の穴加工だけでなく、MELSEC iQ-Rベースユニットと変換アダプタ固定台間の寸法出しが必要です。

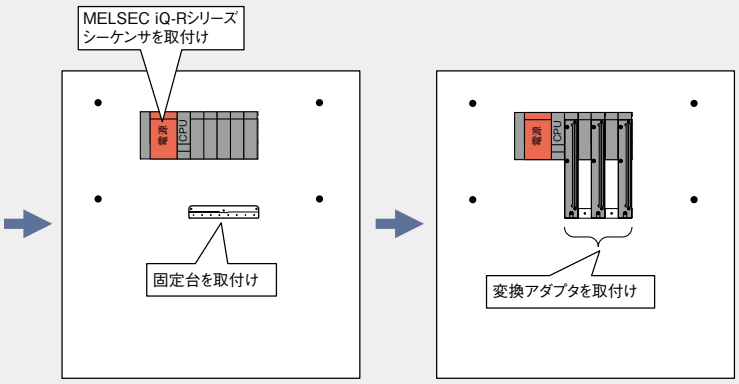


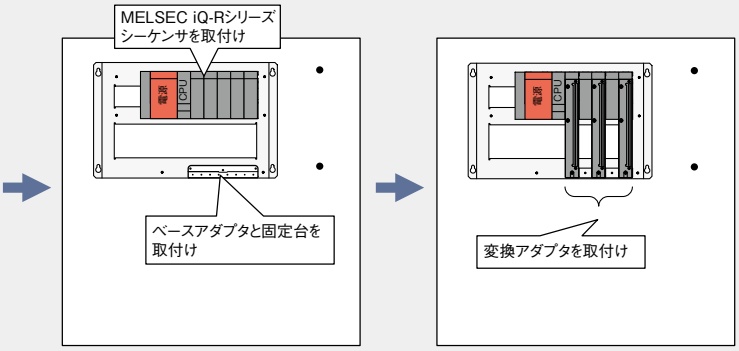
ベースアダプタを活用する場合

ベースアダプタは、取付け穴の縦寸法がGLシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2か所以下となります。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります)
左側の取付け穴2か所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」(P.221)、「置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ寸法比較」(P.222)および「スロット位置」(P.224)を参照ください。


MELSEC iQ-Rシリーズ
シーケンサを取付け
固定台を取付け
変換アダプタを取付け


MELSEC iQ-Rシリーズ
シーケンサを取付け
ベースアダプタと固定台を
取付け
変換アダプタを取付け

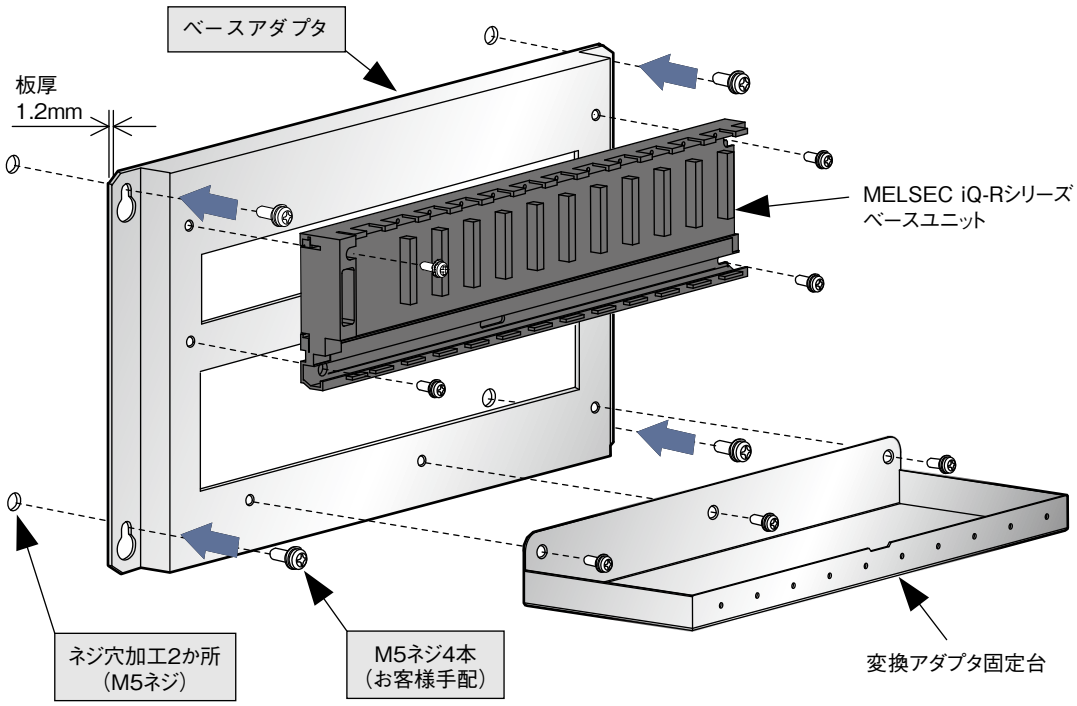
ベースアダプタ （ご使用を推奨）

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け穴ピッチが4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

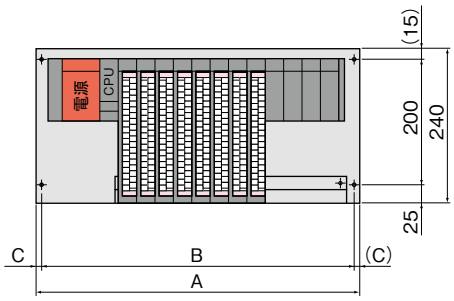
ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-1JR613B	R612B					ERNT-1AR12F	480×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

取付け寸法

●MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）からMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）より縦寸法が小さくなります。
（ただし、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（P.230）を参照。）
●ベースアダプタの取付け穴（4か所）のうち2か所は、MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ベースユニットと同一取付け寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2か所のみです。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

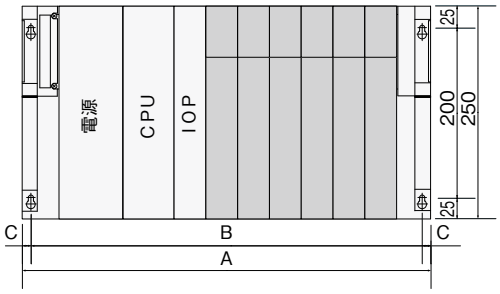
◎ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット

単位：mm



ベースアダプタ形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32N		247	227	10	
ERNT-1JR613B	増設ベースユニット	480	460	10	
ERNT-AQB68N		466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB58N		411	391	10	
ERNT-AQB55N		297	277	10	

◎（参考）MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ベースユニット



GLシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
JRMSI-MB40	基本ベースユニット	480	460	10	M5
JRMSI-MB60		480	460	10	
JRMSI-MB60S3		370	350	10	
JRMSI-MB70	基本ベースユニット（リモート局用）	480	460	10	
JRMSI-MB70AS4		340	320	10	
JRMSI-MB70AS2		255	235	10	
JRMSI-MB22/JRMSI-MB22A	増設ベースユニット	480	460	10	
JRMSI-MB22AS6		370	350	10	
JRMSI-MB22S5		340	320	10	
JRMSI-MB22S3		255	235	10	

置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ比較

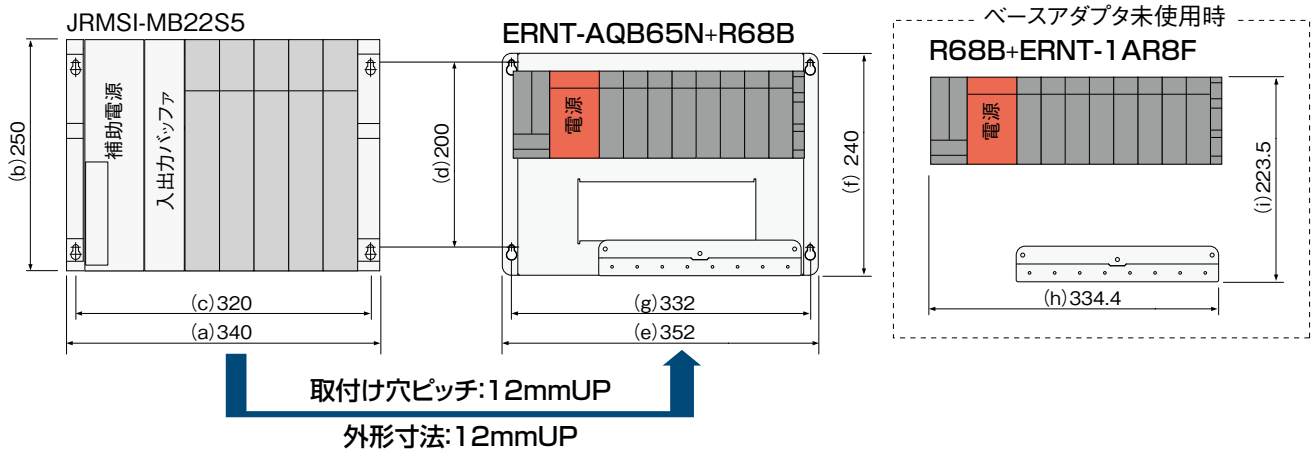
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴ピッチが確認できます。

ご注意

- “▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
- 装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
- 記載がないMEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）形式については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付け穴ピッチなどをご確認いただき、最適なベースアダプタをご選定ください。

（例）MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）（JRMSI-MB22S5）からベースアダプタ（ERNT-AQB65N）またはベースアダプタ未使用に置換えた場合

単位：mm



基本ベースユニットを使用する場合

◎：同一　○：GLシリーズの方が大きい　▲：GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット+変換アダプタ固定台（ベースアダプタ未使用時）					ベースアダプタ使用時					取付け変換アダプタ固定台	備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (h)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (i)-(b)	形　名	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (e)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (f)-(b)	寸法比較 ※2 取付け穴ピッチ 横 (g)-(c)	寸法比較 ※2 取付け穴ピッチ 縦 (d)		
(1)	JRMSI-MB40	あり	8	R312B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				R310B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-1AR5F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				R33B	あり	3	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-1AR5F	
(2)	JRMSI-MB60	あり	6	R312B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				R310B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-1AR5F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				R33B	あり	3	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-1AR5F	
(3)	JRMSI-MB60S3	あり	1	R33B	あり	3	○ (-120.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-123)	○ (-10)	○ (-123)	◎	ERNT-1AR5F	

	GLシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット+変換アダプタ固定台（ベースアダプタ未使用時）					ベースアダプタ使用時					取付け変換アダプタ固定台	備考
	形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (h)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (i)-(b)	形名	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (e)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (f)-(b)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 横 (g)-(c)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 縦 (d)		
(4)	JRMSI-MB70	あり	8	R312B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				R310B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-1AR5F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				R33B	あり	3	○ (-230.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-1AR5F	
(5)	JRMSI-MB70AS4	あり	4	R312B	あり	12	▲ (107.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-1AR12F	
				R310B-HT	あり	10	▲ (107.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-1AR10F3	
				R38B	あり	8	○ (-5.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-1AR8F	
				R35B	あり	5	○ (-90.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-1AR5F	
				R33B	あり	3	○ (-90.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-93)	○ (-10)	○ (-93)	◎	ERNT-1AR5F	
(6)	JRMSI-MB70AS2	あり	2	R35B	あり	5	○ (-5.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB35N	▲ (127)	○ (-10)	▲ (127)	◎	ERNT-1AR5F	
				R33B	あり	3	○ (-5.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB32N	○ (-8)	○ (-10)	○ (-8)	◎	ERNT-1AR5F	

※1：（ ）値はMELSEC iQ-RシリーズとGLシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設GLシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一　○：GLシリーズの方が大きい　▲：GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット+変換アダプタ固定台（ベースアダプタ未使用時）					ベースアダプタ使用時					取付け変換アダプタ固定台	備考
	形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (h)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (i)-(b)	形名	寸法比較 ※1 外形寸法 横 (e)-(a)	寸法比較 ※1 外形寸法 縦 (f)-(b)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 横 (g)-(c)	寸法比較 ※1 取付け穴ピッチ ※2 縦 (d)		
(1)	JRMSI-MB22/ JRMSI-MB22A	あり	9	R612B	あり	12	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR12F	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				R610B-HT	あり	10	○ (-32.8)	○ (-26.5)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	○ (-145.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎	ERNT-1AR8F	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(2)	JRMSI-MB22AS6	あり	6	R612B	あり	12	▲ (77.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (77.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	○ (-35.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	○ (-18)	○ (-10)	○ (-18)	◎	ERNT-1AR8F	
(3)	JRMSI-MB22S5	あり	5	R612B	あり	12	▲ (107.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (126)	○ (-10)	▲ (126)	◎	ERNT-1AR12F	
				R610B-HT	あり	10	▲ (107.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB68N	▲ (126)	○ (-10)	▲ (126)	◎	ERNT-1AR10F6	
				R68B	あり	8	○ (-5.6)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	○ (-90.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎	ERNT-1AR5F	
(4)	JRMSI-MB22S3	あり	3	R68B	あり	8	▲ (79.4)	○ (-26.5)	ERNT-AQB65N	▲ (97)	○ (-10)	▲ (97)	◎	ERNT-1AR8F	
				R65B	あり	5	○ (-5.2)	○ (-26.5)	ERNT-AQB55N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-1AR5F	

※1：（ ）値はMELSEC iQ-RシリーズとGLシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：既設GLシリーズベースユニットの取付け穴（1か所以上）を利用してMELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

スロット位置

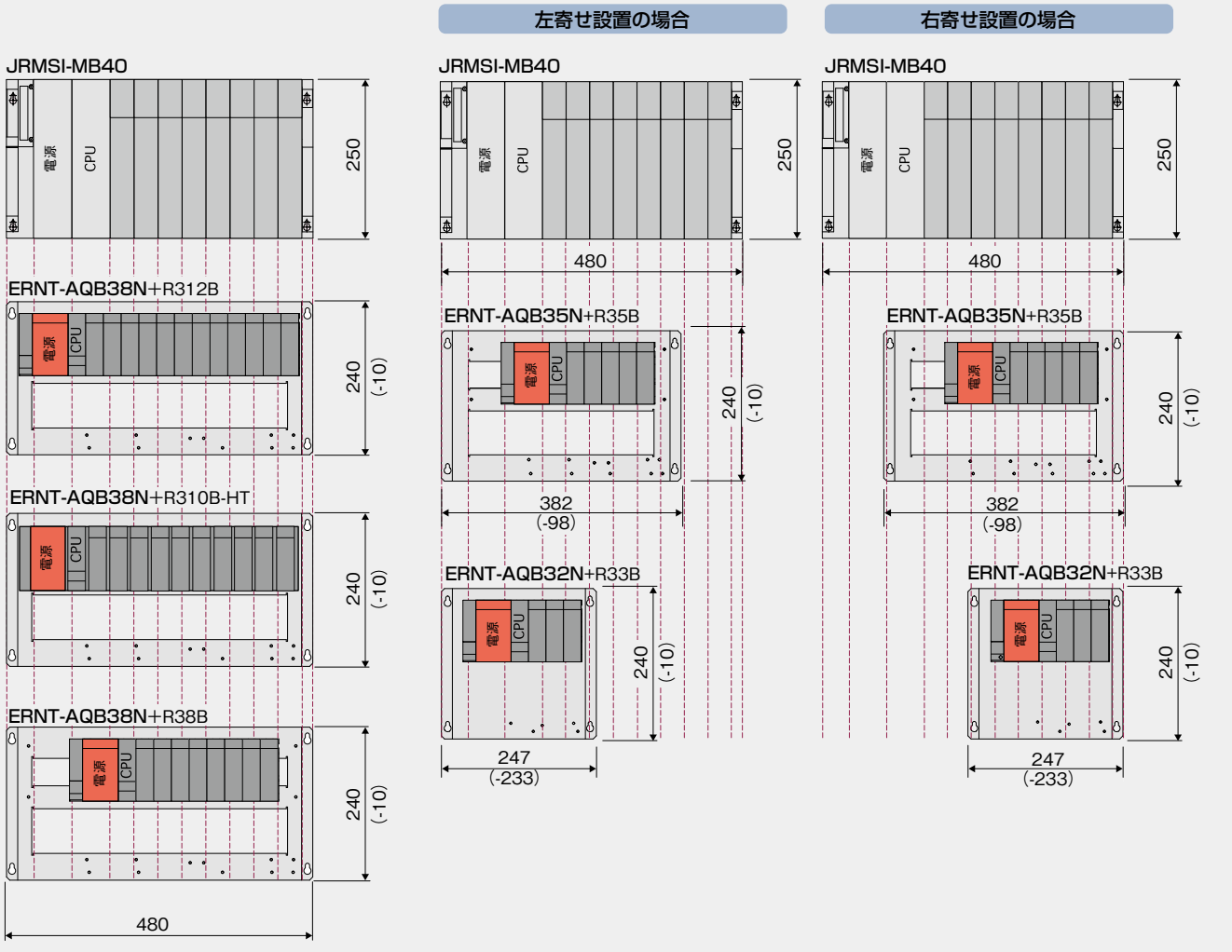
MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）からMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意
カッコ内の数値はMEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）との外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

(1) JRMSI-MB40 → ERNT-AQB38N+R312B / ERNT-AQB38N+R310B-HT / ERNT-AQB38N+R38B / ERNT-AQB35N+R35B / ERNT-AQB32N+R33B

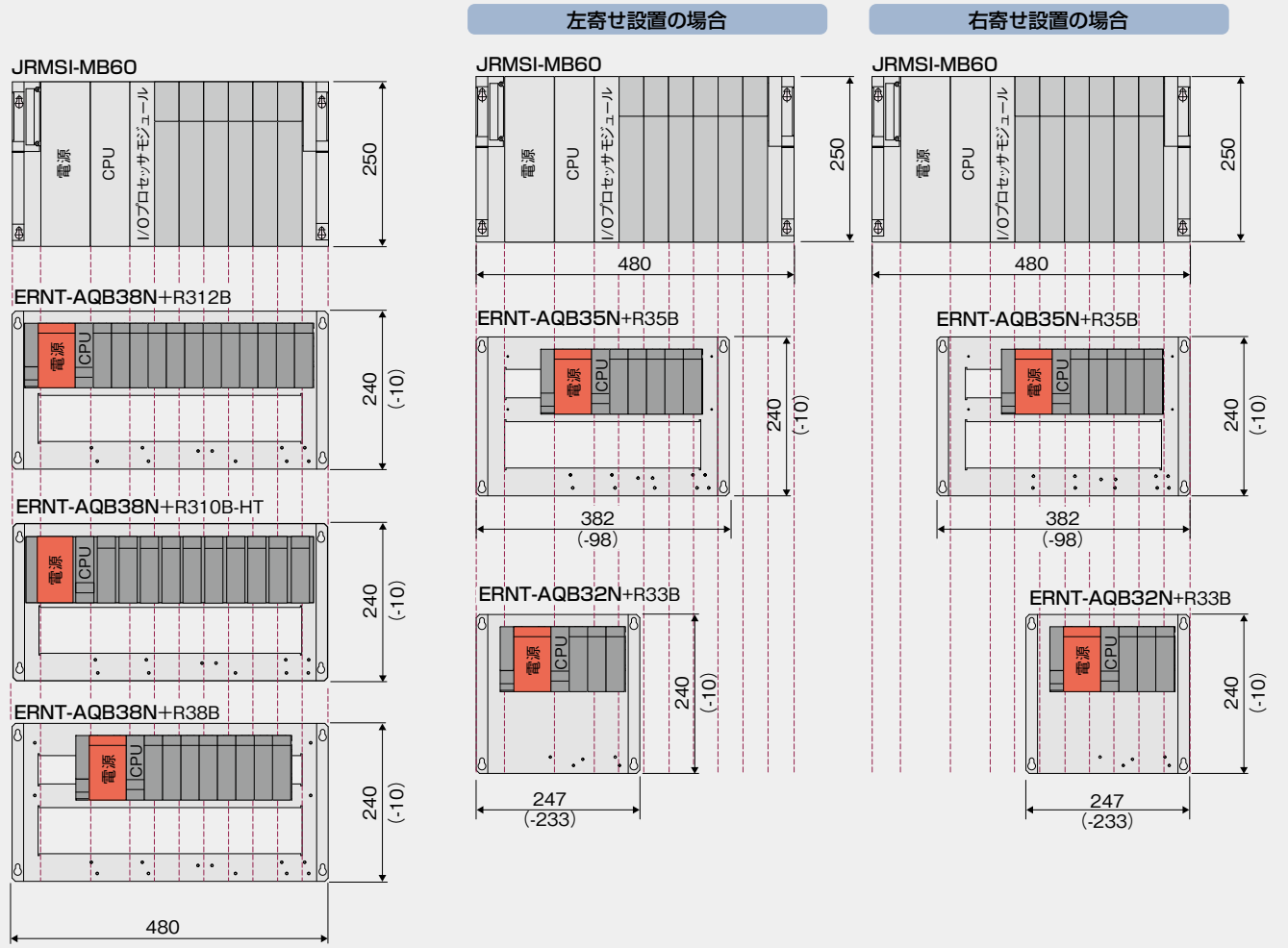
ベースアダプタ＋MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット　　単位：mm



(2) JRMSI-MB60 → ERNT-AQB38N+R312B / ERNT-AQB38N+R310B-HT / ERNT-AQB38N+R38B / ERNT-AQB35N+R35B / ERNT-AQB32N+R33B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット

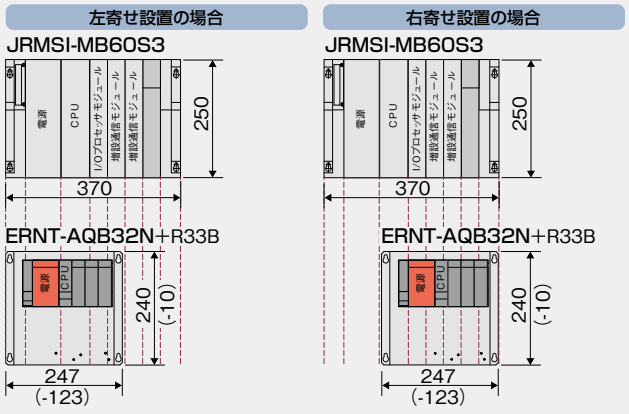
単位:mm



(3) JRMSI-MB60S3 → ERNT-AQB32N+R33B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット

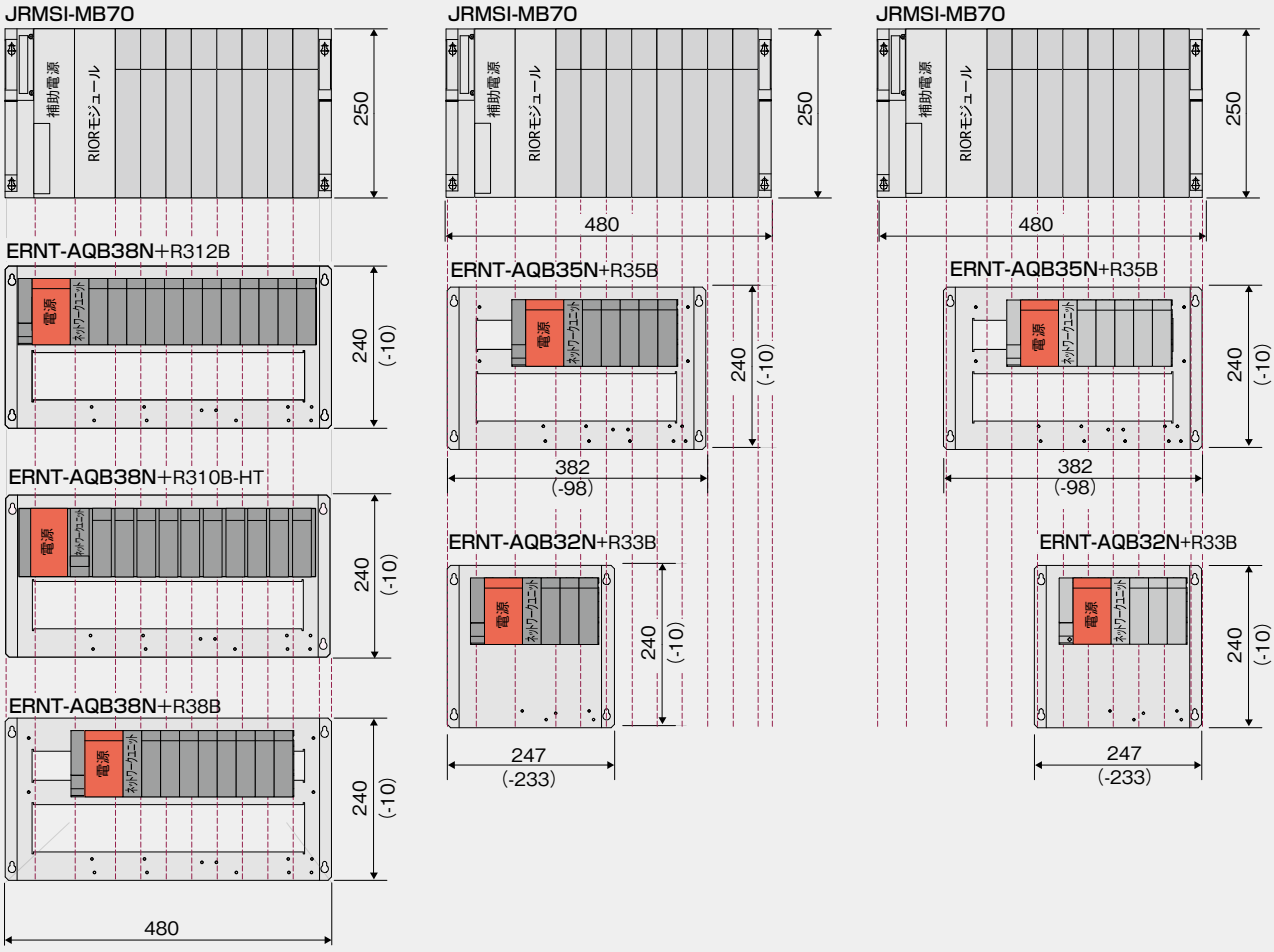
単位:mm



(4) JRMSI-MB70 → ERNT-AQB38N+R312B / ERNT-AQB38N+R310B-HT / ERNT-AQB38N+R38B / ERNT-AQB35N+R35B / ERNT-AQB32N+R33B

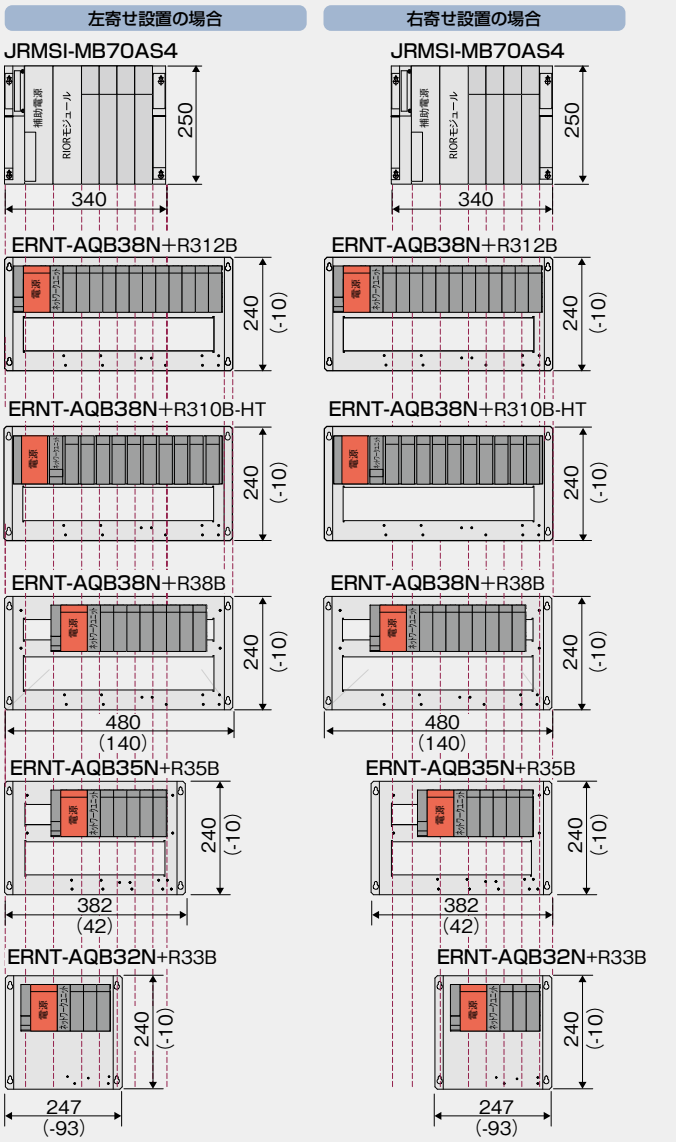
ベースアダプタ＋MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット

単位：mm



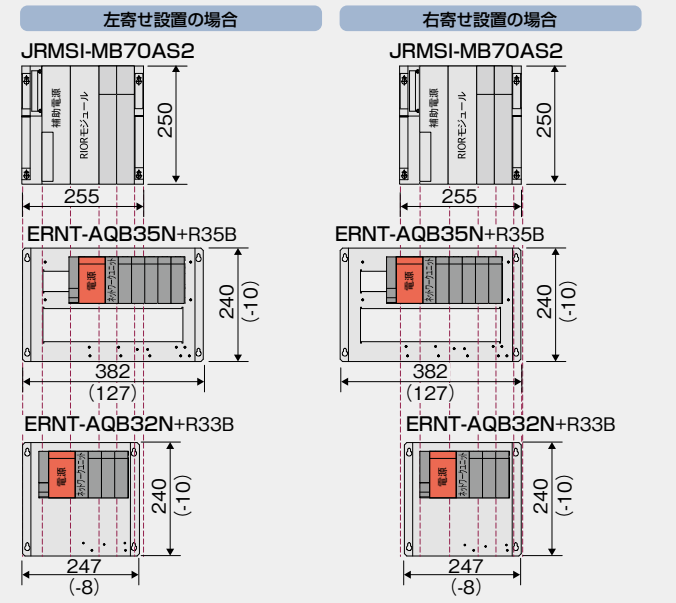
(5) JRMSI-MB70AS4 → ERNT-AQB38N+R312B / ERNT-AQB38N+R310B-HT / ERNT-AQB38N+R38B / ERNT-AQB35N+R35B / ERNT-AQB32N+R33B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット 単位:mm



(6) JRMSI-MB70AS2 → ERNT-AQB35N+R35B / ERNT-AQB32N+R33B

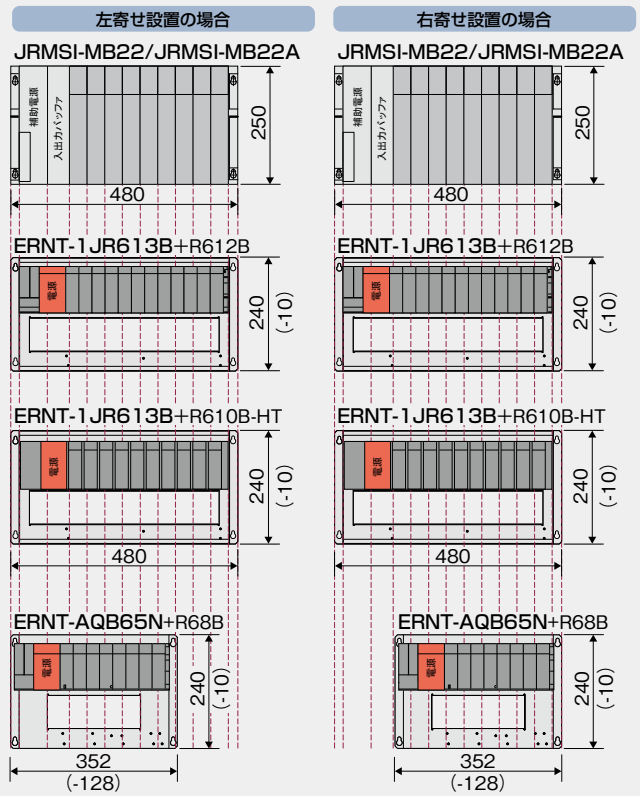
ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット 単位:mm



増設ベースユニットを使用する場合

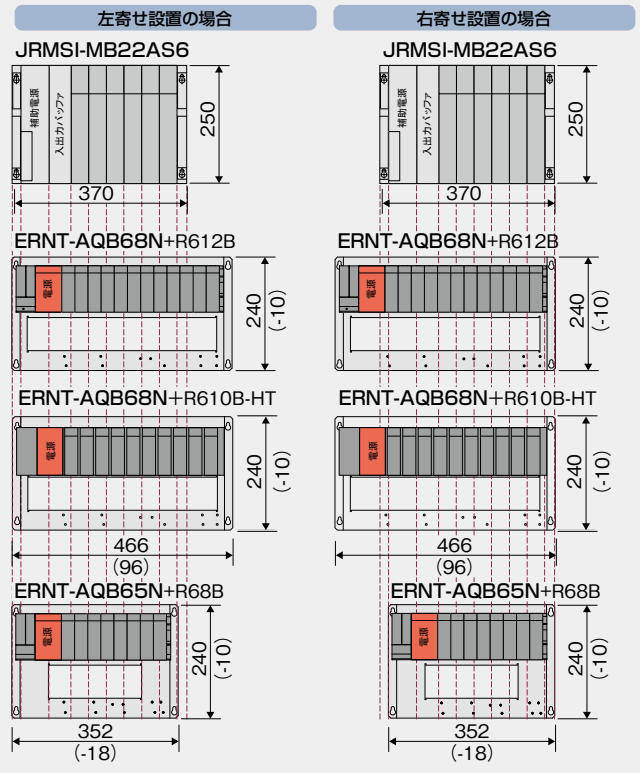
(1) JRMSI-MB22 / JRMSI-MB22A → ERNT-1JR613B+R612B / ERNT-1JR613B+R610B-HT / ERNT-AQB65N+R68B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット　　単位:mm



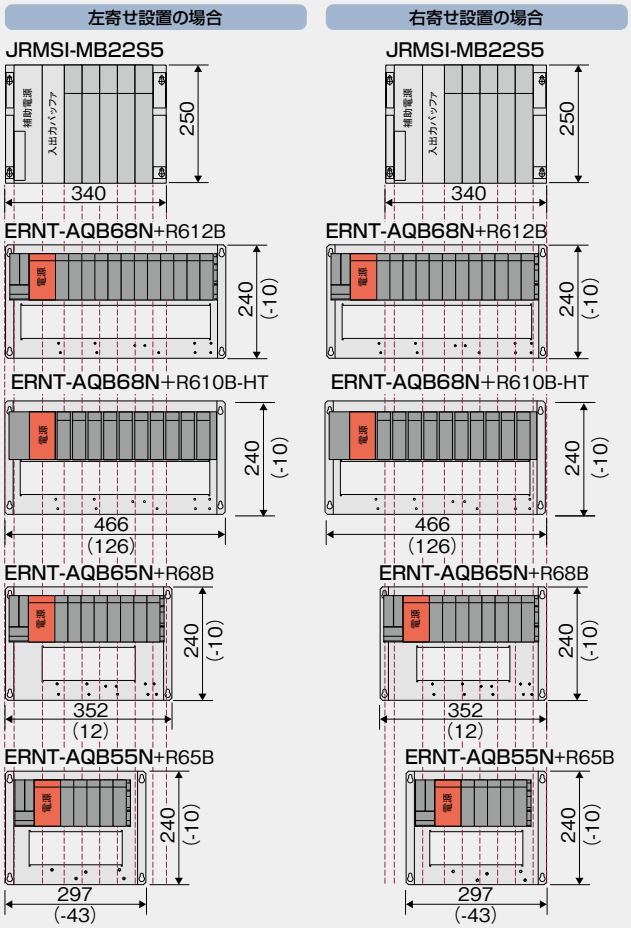
(2) JRMSI-MB22AS6 → ERNT-AQB68N+R612B / ERNT-AQB68N+R610B-HT / ERNT-AQB65N+R68B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット　　単位:mm



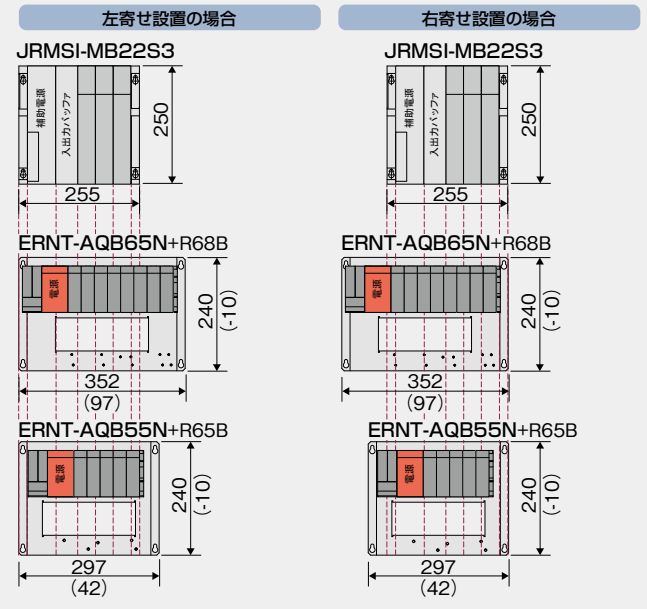
(3) JRMSI-MB22S5 → ERNT-AQB68N+R612B / ERNT-AQB68N+R610B-HT / ERNT-AQB65N+R68B / ERNT-AQB55N+R65B

ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット　単位:mm



(4) JRMSI-MB22S3 → ERNT-AQB65N+R68B / ERNT-AQB55N+R65B

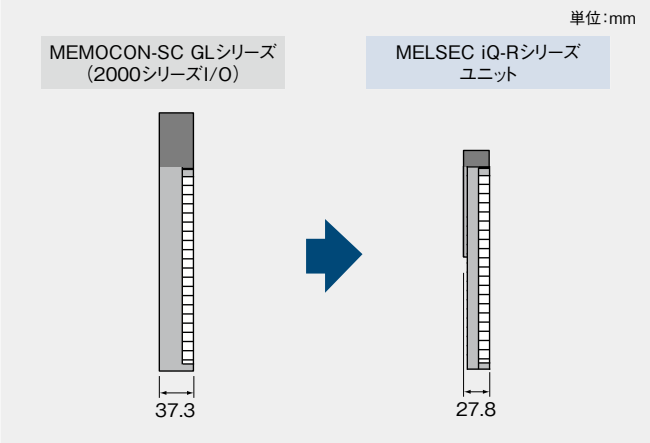
ベースアダプタ+MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット　単位:mm



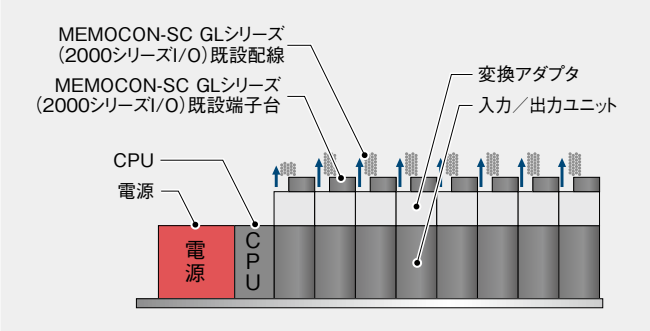
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法がMEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O) 37.3mm → MELSEC iQ-Rシリーズ27.8mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認してください。

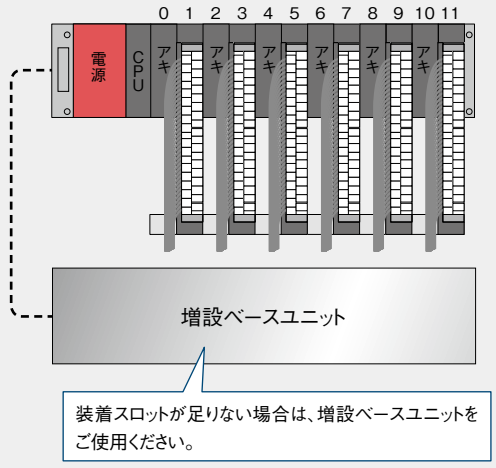


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

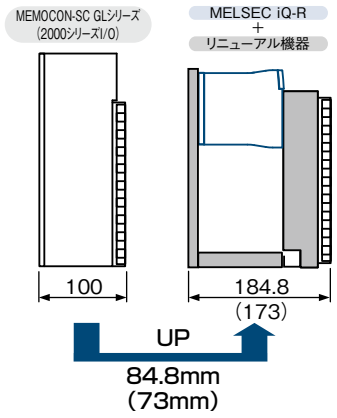
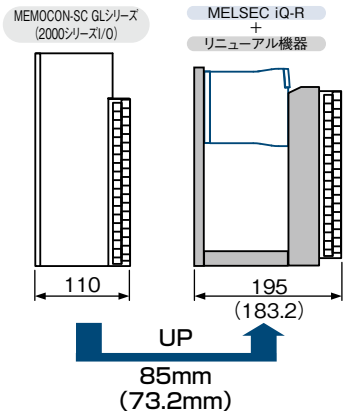
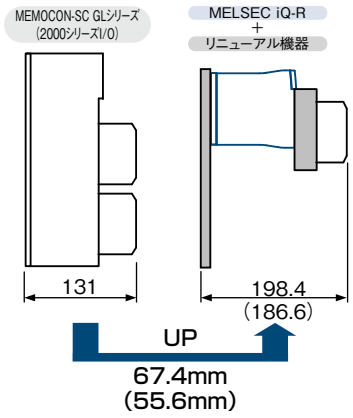
(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.19
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

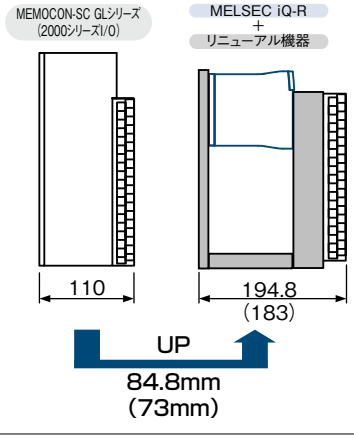
盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。
MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）：MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）
MELSEC iQ-R：MELSEC iQ-Rシリーズ

1スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1Y2R501500 ERNT-1Y2R600	ERNT-1JR32N34N ERNT-1Y2R602606	ERNT-2CR218Y ERNT-2Y2R615625
寸法 奥行き	84.8mm UP （73mm UP）	85mm UP （73.2mm UP）	67.4mm UP （55.6mm UP）
取付け図			

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1JR31N34S ERNT-1JR33S ERNT-1Y2R505 ERNT-1Y2R904914
寸法 奥行き	84.8mm UP （73mm UP）
取付け図	

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）の取付け穴を利用し、MELSEC iQ-Rシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

小形タイプ▶120シリーズI/O

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-120DDI35400	RX41C4 RX41C6HS RX71C4	※1	※2	ERNT-2YR35400	MDRコネクタ（40P）	▶コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDI36400	RX41C4 × 2台 RX41C6HS × 2台 RX71C4 × 2台		※3	ERNT-2YR36400×2台	コネクタ（40P）× 2	▶コネクタ（40P）× 2台	64点
出力	JAMSC-120DDO35410	RY41NT2P		※4	ERNT-2YR35410	MDRコネクタ（40P）	▶コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDO36410	RY41NT2P × 2台		※5	ERNT-2YR36410 × 2台	コネクタ（40P）× 2	▶コネクタ（40P）× 2台	64点

※1：1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモンとなるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※2：既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、RX40C7（DC24V）2台またはRX70C4（DC5/12V）2台への再配線をご検討ください。
※3：JAMSC-120DDI36400からの置換えの場合、MELSEC iQ-Rシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、RX40C7（DC24V）4台またはRX70C4（DC5/12V）4台への再配線をご検討ください。
※4：既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、RY40NT5P 2台への再配線をご検討ください。
※5：JAMSC-120DDO36410からの置換えの場合、MELSEC iQ-Rシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、RY40NT5P 4台への再配線をご検討ください。

変換アダプタ非対応機種の置換え案

下表に示す入力/出力ユニットは変換アダプタ非対応のため、再配線による置換えをご検討ください。

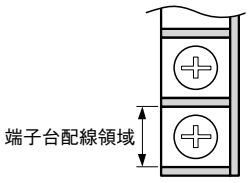
入力/出力	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット 形名	仕様	点数	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット 形名	仕様	点数	必要台数	注意事項
入力	JAMSC-120DAI54300	AC100V	16点	RX10	AC100-120V	16点	1台	—
	JAMSC-120DAI74300	AC200V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	
	JAMSC-120DDI34300	DC12/24V プラス/マイナス コモン共用	16点	RX40C7	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台	
				RX70C4	DC5/12V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台	
出力	JAMSC-120DAO83000	AC100/200V 独立	8点	RY18R2A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	※6
	JAMSC-120DAO84300	AC100/200V	16点	RY20S6	AC100-240V	16点	1台	—
	JAMSC-120DDO33000	DC12/24V 独立 シンク/ソース共用	8点	RY18R2A	DC5-24V 独立 シンク/ソース共用	8点	1台	
	JAMSC-120DDO34310	DC12/24V シンク	16点	RY40NT5P	DC12-24V シンク	16点	1台	
	JAMSC-120DDO34320	DC12/24V ソース	16点	RY40PT5P	DC12-24V ソース	16点	1台	
	JAMSC-120DRA84300	AC200V DC24V リレー接点	16点	RY10R2	AC240V DC24V リレー接点	16点	1台	

※6：JAMSC-120DAO84300はトライアック出力ですが、RY18R2Aは接点出力となります。

参考：圧着端子および電線仕様

項目	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3	M3
端子台配線領域	7mm	6mm

※変換アダプタ非対応のMEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）からMELSEC iQ-Rシリーズユニットに置換える場合、適応圧着端子サイズはいずれもM3となりますが端子台配線領域が狭くなりますので、既設配線にてご使用の圧着端子によっては接続不可となる場合があります。



三菱電機株式会社製 ベースユニット

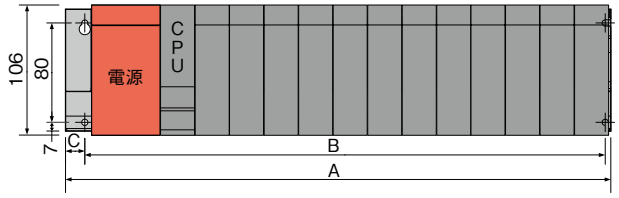
ご注意
ベースユニットの取付け穴（4か所）位置および取付け穴ネジサイズ（M5→M4）は、MEMOCON GLシリーズベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

取付け寸法

MEMOCON GLシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

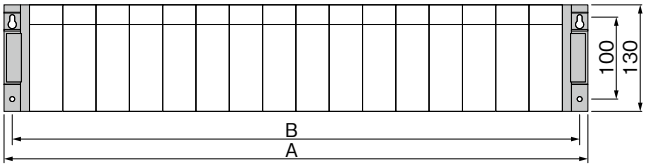
単位：mm

◎MELSEC iQ-Rシリーズ



MELSEC iQ-Rシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴 ネジサイズ
R312B	基本ベースユニット	439	417～419	15.5	M4
R38B		328	306～308	15.5	
R35B		245	222.5～224.5	15.5	
R33B		189	167～169	15.5	
R612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417～419	15.5	
R68B		328	306～308	15.5	
R65B		245	222.5～224.5	15.5	
R310B-HT	高温対応基本ベースユニット	439	417～419	15.5	
R610B-HT	高温対応増設ベースユニット	439	417～419	15.5	

◎（参考）MEMOCON GLシリーズベースユニット



GLシリーズ ベースユニット形名	内　容	A	B	取付け穴 ネジサイズ
JRMSI-120XBP01600	ベースユニット	710	690	M5
JRMSI-120XBP01200		540	520	
JRMSI-120XBP01000		460	440	
JRMSI-120XBP00800		380	360	
JRMSI-120XBP00600		300	280	

置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ比較

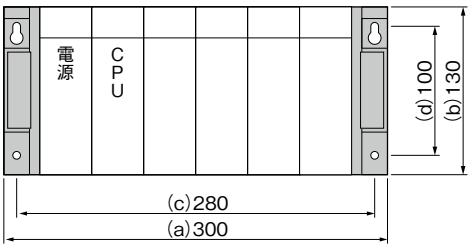
次頁の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴ピッチが確認できます。

ご注意
“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるため注意してください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

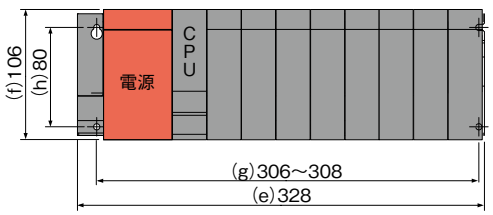
（例）GLシリーズ（JRMSI-120XBP00600）からR38Bに置換えた場合

単位：mm

JRMSI-120XBP00600



R38B



取付け穴ピッチ:26～28mmUP

外形寸法:28mmUP（横幅）

①基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット									備考
							寸法比較 ※2						
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※3				
	形名	電源有無	最大スロット数 ※1	形名	電源有無	最大スロット数	横 (e)-(a)	縦 (f)-(b)	横 (g)-(c)			縦 (h)-(d)	
(1)	JRMSI-120XBP01600	あり	14	R312B	あり	12	○ (-271)	○ (-24)	○ (-273)	～	○ (-271)	○ (-20)	・既設MEMOCON GLシリーズベースユニットの取付けネジ穴(M5ネジ)は、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットの取付けネジはM4ネジになるため利用できません。 ・外形寸法および取付け穴ピッチにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットの取付け位置を再検討してください。
				R310B-HT	あり	10	○ (-271)	○ (-24)	○ (-273)	～	○ (-271)	○ (-20)	
(2)	JRMSI-120XBP01200	あり	10	R312B	あり	12	○ (-101)	○ (-24)	○ (-103)	～	○ (-101)	○ (-20)	
				R310B-HT	あり	10	○ (-101)	○ (-24)	○ (-103)	～	○ (-101)	○ (-20)	
				R38B	あり	8	○ (-212)	○ (-24)	○ (-214)	～	○ (-212)	○ (-20)	
(3)	JRMSI-120XBP01000	あり	8	R312B	あり	12	○ (-21)	○ (-24)	○ (-23)	～	○ (-21)	○ (-20)	
				R310B-HT	あり	10	○ (-21)	○ (-24)	○ (-23)	～	○ (-21)	○ (-20)	
				R38B	あり	8	○ (-132)	○ (-24)	○ (-134)	～	○ (-132)	○ (-20)	
(4)	JRMSI-120XBP00800	あり	6	R312B	あり	12	▲ (59)	○ (-24)	▲ (57)	～	▲ (59)	○ (-20)	
				R310B-HT	あり	10	▲ (59)	○ (-24)	▲ (57)	～	▲ (59)	○ (-20)	
				R38B	あり	8	○ (-52)	○ (-24)	○ (-54)	～	○ (-52)	○ (-20)	
				R35B	あり	5	○ (-135)	○ (-24)	○ (-137.5)	～	○ (-135.5)	○ (-20)	
(5)	JRMSI-120XBP00600	あり	4	R312B	あり	12	▲ (139)	○ (-24)	▲ (137)	～	▲ (139)	○ (-20)	
				R310B-HT	あり	10	▲ (139)	○ (-24)	▲ (137)	～	▲ (139)	○ (-20)	
				R38B	あり	8	▲ (28)	○ (-24)	▲ (26)	～	▲ (28)	○ (-20)	
				R35B	あり	5	○ (-55)	○ (-24)	○ (-57.5)	～	○ (-55.5)	○ (-20)	

※1:1スロットタイプCPUモジュールおよび1スロットタイプ電源モジュールを使用した場合の最大スロット数(エキスパンダモジュール使用せず)
※2:( )値はMELSEC iQ-Rシリーズと GLシリーズの寸法差[単位:mm]
※3:MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差(数値)が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

②増設ベースユニットを使用する場合

◎：同一、○：GLシリーズの方が大きい、▲：GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット								備　考
							寸法比較 ※2					
							外形寸法		取付け穴ピッチ ※3			
	形　名	電源有無	最大スロット数 ※1	形　名	電源有無	最大スロット数	横 (e)-(a)	縦 (f)-(b)	横 (g)-(c)			縦 (h)-(d)	
(1)	JRMSI-120XBP01600	あり	14	R612B	あり	12	○ (-271)	○ (-24)	○ (-273)	～	○ (-271)	○ (-20)	・既設MEMOCON GLシリーズベースユニットの取付けネジ穴（M5ネジ）は、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットの取付けネジはM4ネジになるため利用できません。 ・外形寸法および取付け穴ピッチにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットの取付け位置を再検討してください。
				R610B-HT	あり	10	○ (-271)	○ (-24)	○ (-273)	～	○ (-271)	○ (-20)	
(2)	JRMSI-120XBP01200	あり	10	R612B	あり	12	○ (-101)	○ (-24)	○ (-103)	～	○ (-101)	○ (-20)	
				R610B-HT	あり	10	○ (-101)	○ (-24)	○ (-103)	～	○ (-101)	○ (-20)	
				R68B	あり	8	○ (-212)	○ (-24)	○ (-214)	～	○ (-212)	○ (-20)	
(3)	JRMSI-120XBP01000	あり	8	R612B	あり	12	○ (-21)	○ (-24)	○ (-23)	～	○ (-21)	○ (-20)	
				R610B-HT	あり	10	○ (-21)	○ (-24)	○ (-23)	～	○ (-21)	○ (-20)	
				R68B	あり	8	○ (-132)	○ (-24)	○ (-134)	～	○ (-132)	○ (-20)	
(4)	JRMSI-120XBP00800	あり	6	R612B	あり	12	▲ (59)	○ (-24)	▲ (57)	～	▲ (59)	○ (-20)	
				R610B-HT	あり	10	▲ (59)	○ (-24)	▲ (57)	～	▲ (59)	○ (-20)	
				R68B	あり	8	○ (-52)	○ (-24)	○ (-54)	～	○ (-52)	○ (-20)	
				R65B	あり	5	○ (-135)	○ (-24)	○ (-137.5)	～	○ (-135.5)	○ (-20)	
(5)	JRMSI-120XBP00600	あり	4	R612B	あり	12	▲ (139)	○ (-24)	▲ (137)	～	▲ (139)	○ (-20)	
				R610B-HT	あり	10	▲ (139)	○ (-24)	▲ (137)	～	▲ (139)	○ (-20)	
				R68B	あり	8	▲ (28)	○ (-24)	▲ (26)	～	▲ (28)	○ (-20)	
				R65B	あり	5	○ (-55)	○ (-24)	○ (-57.5)	～	○ (-55.5)	○ (-20)	

※1：1スロットタイプ電源モジュールおよびエキスパンダモジュールを使用した場合の最大スロット数
※2：（　）値はMELSEC iQ-RシリーズとGLシリーズの寸法差［単位：mm］
※3：MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットを取付ける場合、寸法差（数値）が0に近いほど追加取付け穴が既設取付け穴と距離が近くなるため追加取付け穴の加工ができなくなります。

スロット位置

MEMOCON GLシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

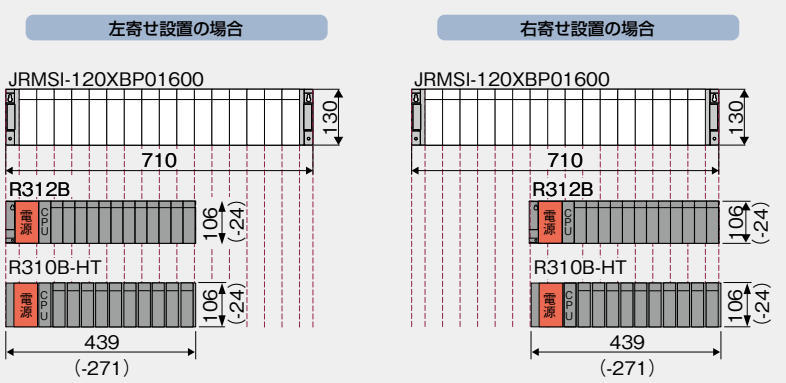
ご注意

MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットは MEMOCON GLシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。なお、カッコ内の数値はMEMOCON GLシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

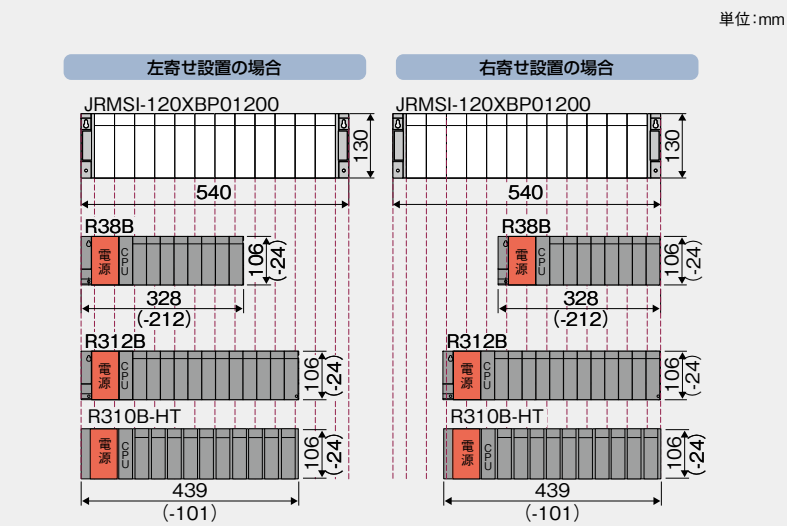
(1) JRMSI-120XBP01600 → R312B、R310B-HT

単位：mm



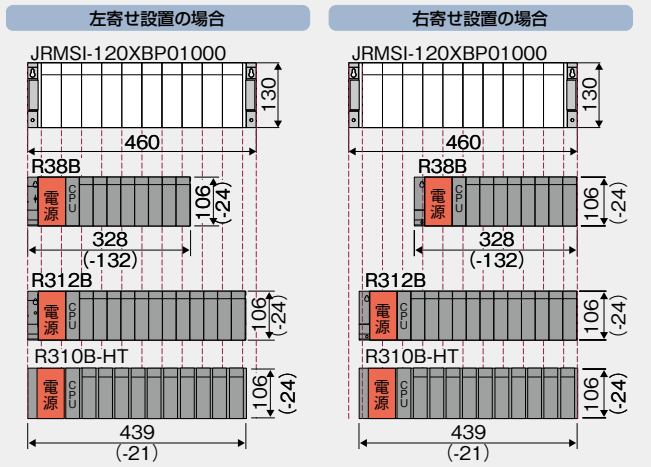
(2) JRMSI-120XBP01200 → R38B、R312B、R310B-HT

単位：mm



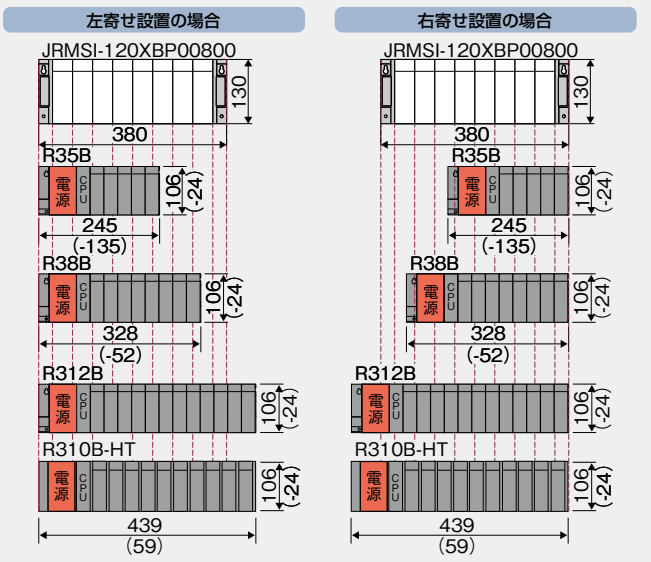
(3) JRMSI-120XBP01000 → R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm



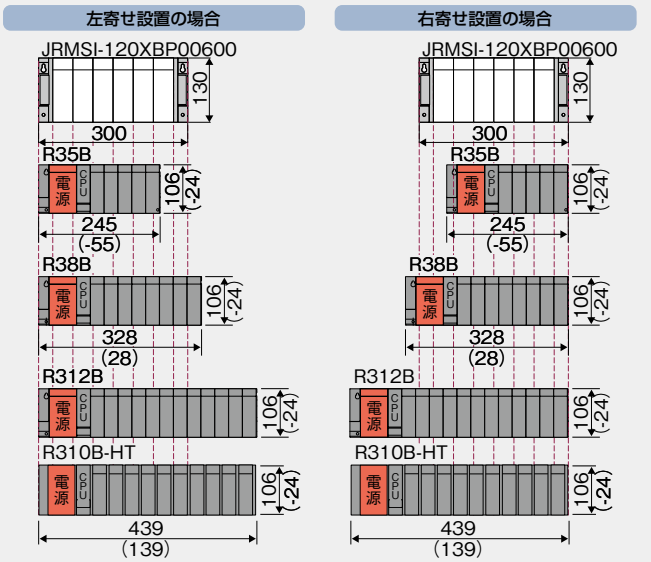
(4) JRMSI-120XBP00800 → R35B、R38B、R312B、R310B-HT

単位:mm



(5) JRMSI-120XBP00600 → R35B、R38B、R312B、R310B-HT

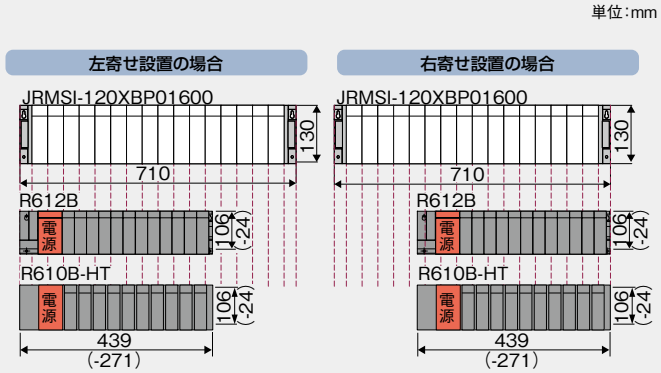
単位:mm



増設ベースユニットを使用する場合

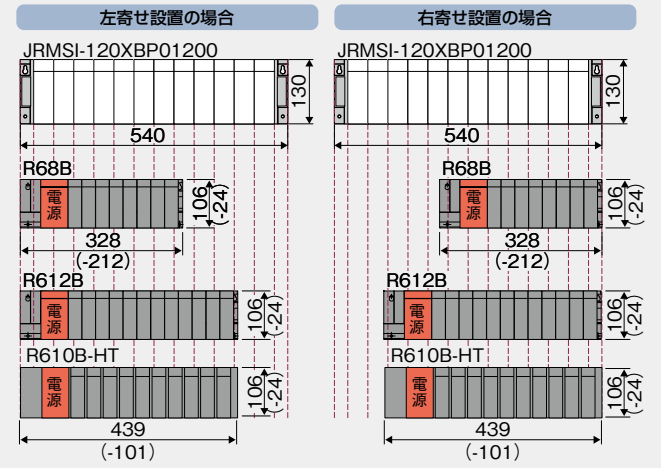
(1) JRMSI-120XBP01600 → R612B、R610B-HT

単位:mm



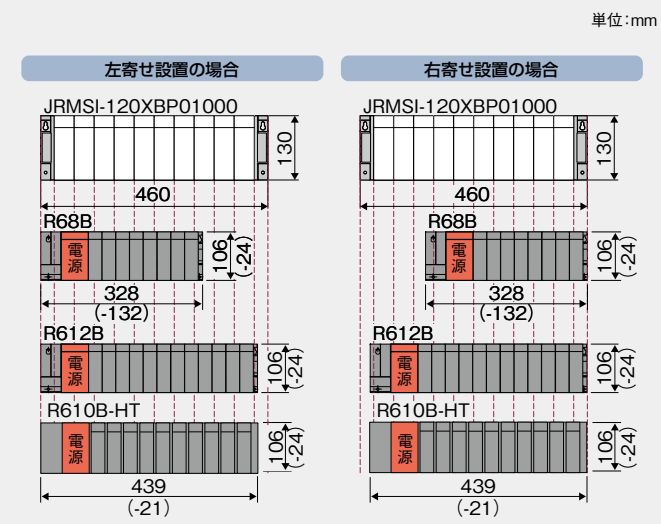
(2) JRMSI-120XBP01200 → R68B、R612B、R610B-HT

単位:mm



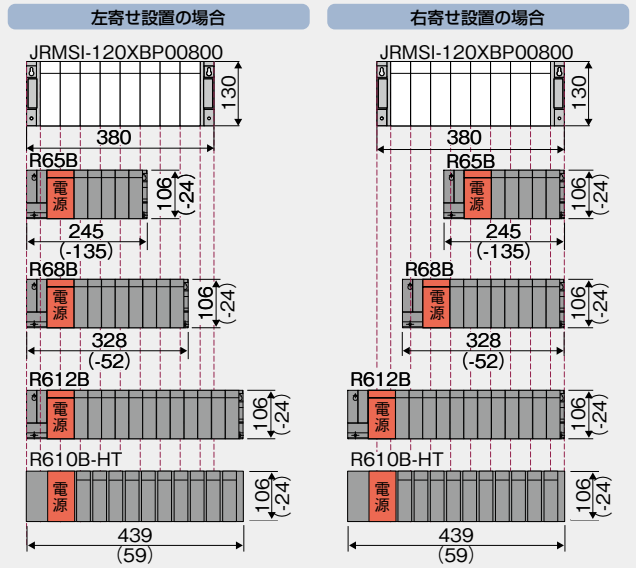
(3) JRMSI-120XBP01000 → R68B、R612B、R610B-HT

単位:mm



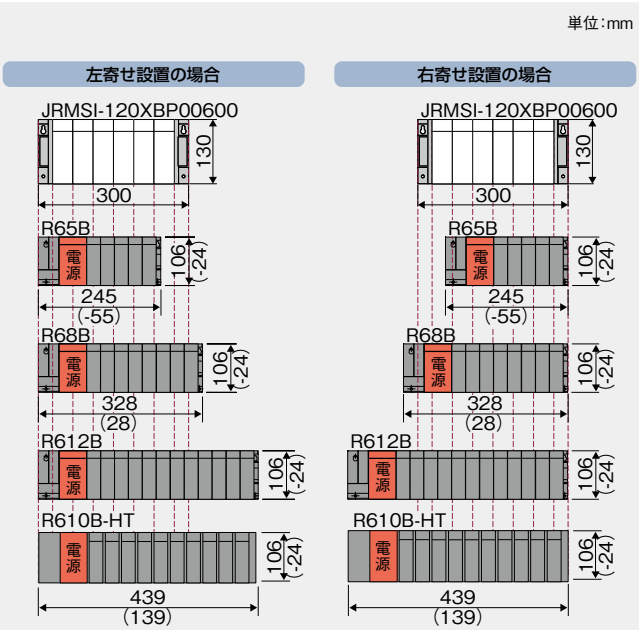
(4) JRMSI-120XBP00800 → R65B、R68B、R612B、R610B-HT

単位：mm



(5) JRMSI-120XBP00600 → R65B、R68B、R612B、R610B-HT

単位：mm

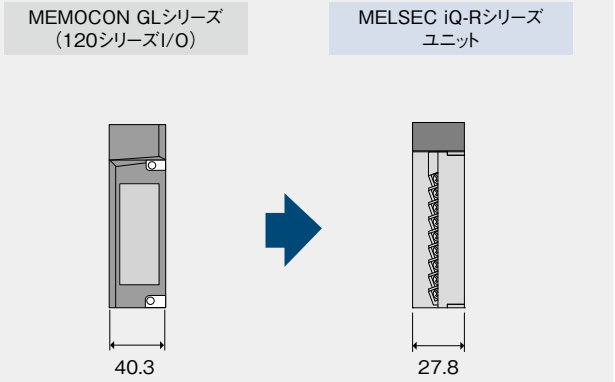


ご使用上の注意点

ユニット幅

ユニット幅が小さくなり（40.3mm→27.8mm）配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認してください。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるまたは、1スロット分空け配線領域を確保してください。

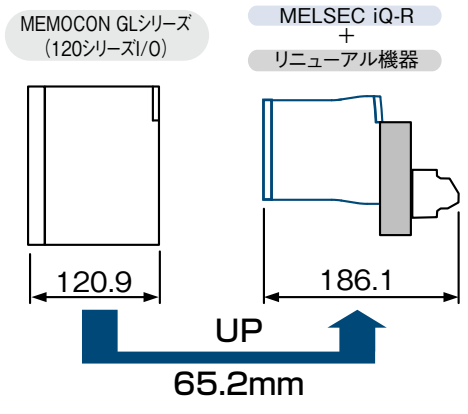
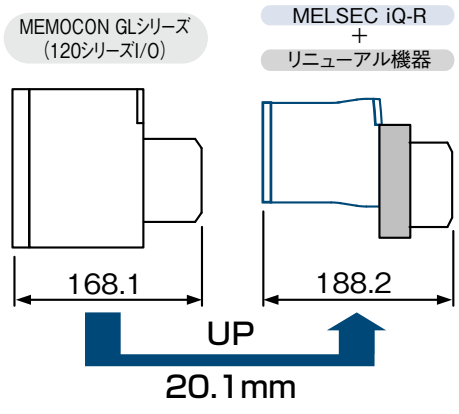
単位：mm



奥行き

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き寸法に注意が必要です。
MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ コネクタ（JAMSC-120DDI36400/12DDO36410の場合）
MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ コネクタ

MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）：MEMOCON-SC GLシリーズ（120シリーズI/O）
MELSEC iQ-R：MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2YR35400 ERNT-2YR35410	ERNT-2YR36400 ERNT-2YR36410
奥行き寸法	65.2mm UP	20.1mm UP
取付け図		

MEMOCON-SC GLシリーズ→MELSEC-Qシリーズ
大形タイプ▶2000シリーズI/O

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 2000シリーズI/O	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-B2501A	QX10	—	ERNT-1Y2Q501	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JAMSC-B2601	QX40、QX40-S1、QX70	※1、2	ERNT-1Y2Q601611			
	JAMSC-B2611	QX50	—				
	JAMSC-B2603	QX41、QX41-S2、QX70	※3、4、5	ERNT-1JQ32N34N	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-B2607	QX71	※3				
	JAMSC-B2605	QX42、QX42-S1、QX72、QX82、QX82-S1	—	ERNT-1Y2Q615625	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点
	JAMSC-B2615						
	JAMSC-B2625	QX72	—				
出力	JAMSC-B2500	QY22	—	ERNT-1Y2Q500	端子台（20点）	端子台（18点）	16点
	JAMSC-B2600	QY40P、QY50		ERNT-1Y2Q600			
	JAMSC-B2602A	QY41H、QY41P	※6、8、9	ERNT-1Y2Q602606	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-B2606						
	JAMSC-B2604	QY42P	※7	ERNT-CQCY213	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点

※1:既設ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX80への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※2:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40HまたはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※3:シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。
※4:既設ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
※5:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※6:電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A、16点）、またはQY68A（2A、8点）への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※7:オムロン株式会社製 SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。
※8:QY41Hへの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ側の電源端子はアキ端子となりますが、変換アダプタ内部で短絡しているため、TB17およびTB35は必ずアキ端子（未接続状態）としてください。
※9:QY41Pへの置換えの場合、ERNT-1Y2Q602606の定格銘板（DATE欄）に記載されている末尾の英語が［B］以降の場合に使用できます。

2スロットタイプ（三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）には使用できません。）

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 2000シリーズI/O	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-B2505A	QX10×2台	—	ERNT-1Y2Q505	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点
出力	JAMSC-B2504	QY22×2台	※8	ERNT-1JQ33S			
	JAMSC-B2902	QY10×2台		ERNT-1JQ31N34S			
	JAMSC-B2904	QY18A×2台	—	ERNT-1Y2Q904914			16点
	JAMSC-B2914						

※8:シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC-Qへの置換え用の変換アダプタを使用します。

ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.303

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要ですがご使用いただけます。

入力/出力ユニット用

入力/出力	置換え前MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名 形名	仕様	点数	置換え後MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの対応
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	QX28	AC100-240V	8点	4台	対応
出力	JAMSC-B2912	AC100/200V DC24V	32点	QY10	AC100-200V DC24V	16点	2台	対応
	JAMSC-B2610	DC48Vシンクタイプ	16点	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。				
	JAMSC-B2624	DC5Vシンクタイプ	64点	QY41H	DC5/12/24Vシンクタイプ	32点	2台	対応
	JAMSC-B2630	DC12/24Vソースタイプ	16点	QY80	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	対応
	JAMSC-B2632	DC12/24Vソースタイプ	32点	QY81P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	対応

ベースアダプタ

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意
ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

同じベースユニット（※1～※5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（※1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（※1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-1JR613B	Q612B					ERNT-AQF12	480×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（※5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（※5）	ERNT-AQF3	183×240

変換アダプタ固定台（必須）

変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意
変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M4ネジ）が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

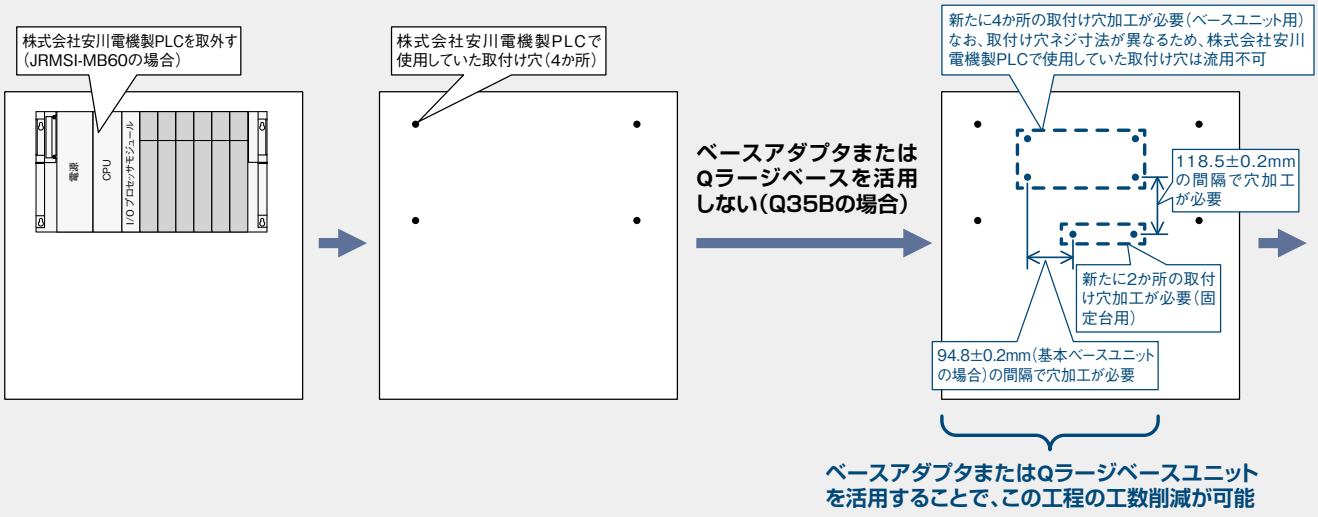
変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台

ベースアダプタまたはQラージベースユニット(三菱電機株式会社製)を活用したリニューアル

ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

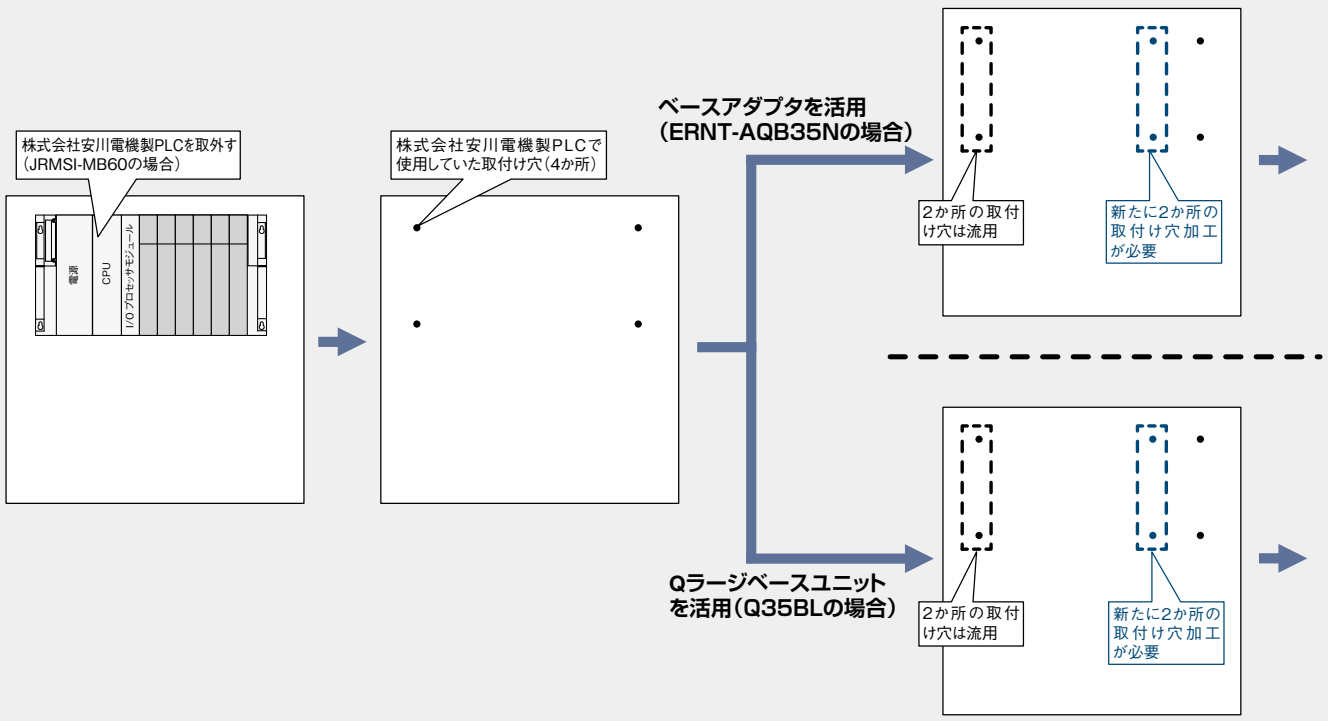
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用しない場合

新たな6か所または7か所の穴加工だけでなく、Qベースユニットと固定台間の寸法出しが必要です。

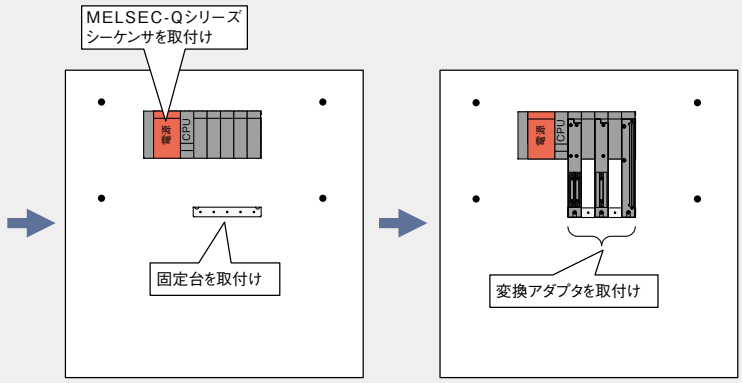


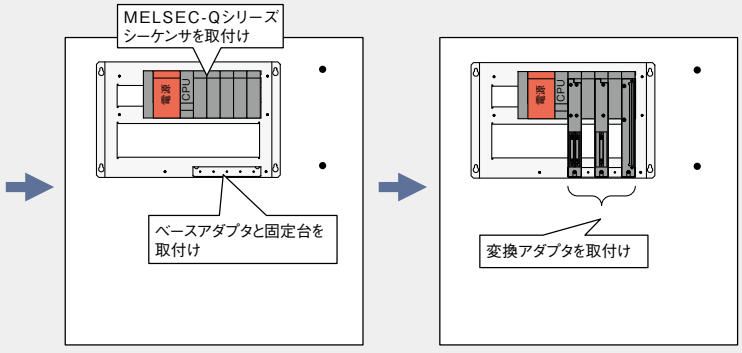
ベースアダプタまたはQラージベースユニット (MELSEC-Aシリーズ 大形 →MELSEC-Qシリーズ用) を活用する場合

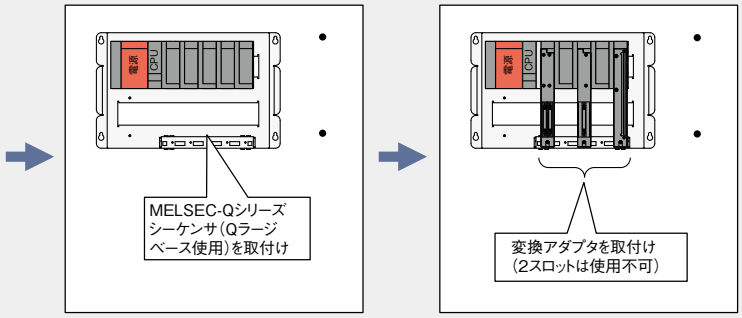
ベースアダプタまたはQラージベースユニットは、取付け穴の縦寸法がGLシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2か所以下となります。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります)
左側の取付け穴2か所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」(P.247)、「置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較」(P.248)および「スロット位置」(P.251)を参照ください。


MELSEC-Qシリーズ
シーケンサを取付け
固定台を取付け
変換アダプタを取付け


MELSEC-Qシリーズ
シーケンサを取付け
ベースアダプタと固定台を
取付け
変換アダプタを取付け


MELSEC-Qシリーズ
シーケンサ(Qラージ
ベース使用)を取付け
変換アダプタを取付け
(2スロットは使用不可)

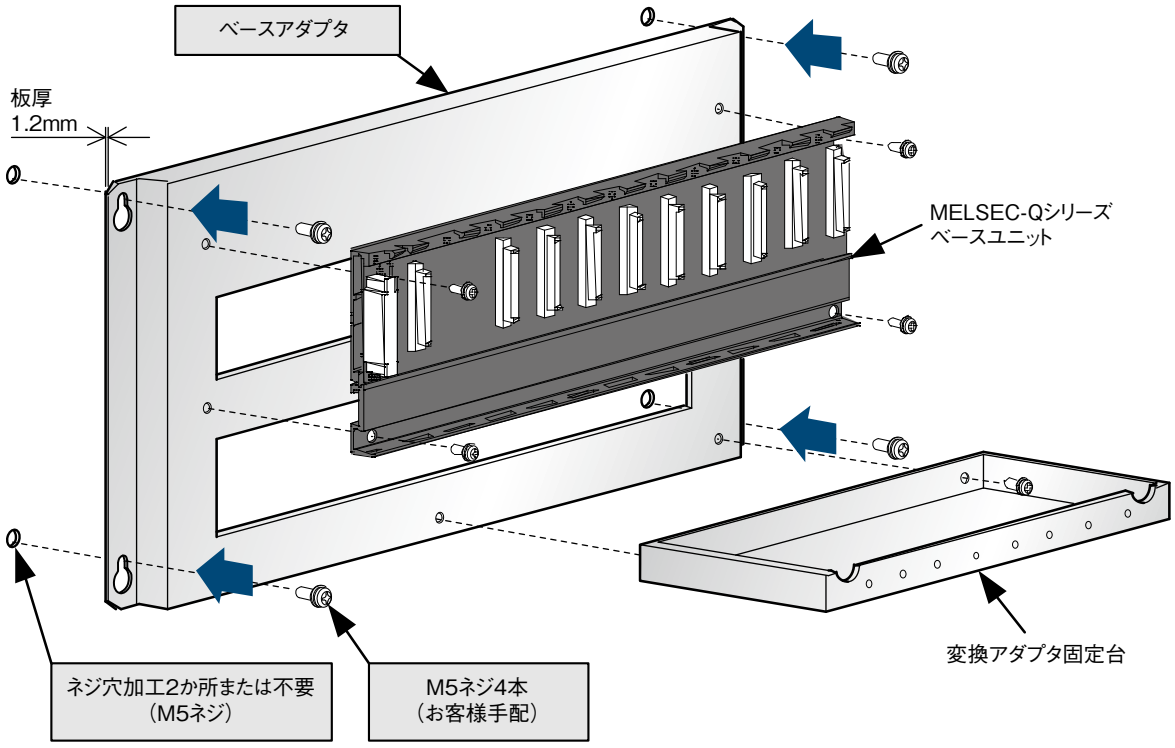
ベースアダプタ

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。(ERNT-1JR613Bを除く)

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所(M5ネジ)および取付M5ネジ4本(お客様手配)が必要です。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。)



同じベースユニット(※1～※5)が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

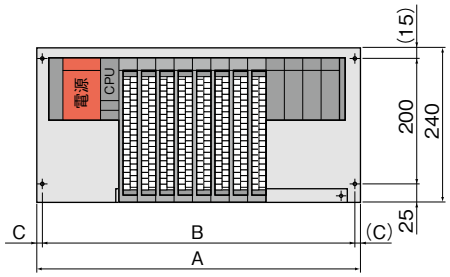
ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ (mm)
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B(※1)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B(※1)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-1JR613B	Q612B					ERNT-AQF12	480×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B(※2)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B(※5)	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B(※5)	ERNT-AQF3	183×240

取付け寸法

●MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）より縦寸法が小さくなります。
（ただし、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（P.258）を参照。）
●ベースアダプタおよびQラージベースユニットの取付け穴（4か所）のうち2か所は、MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ベースユニットと同一取付け寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2か所のみです。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

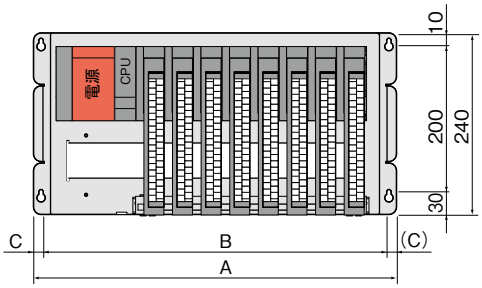
単位：mm

◎ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット



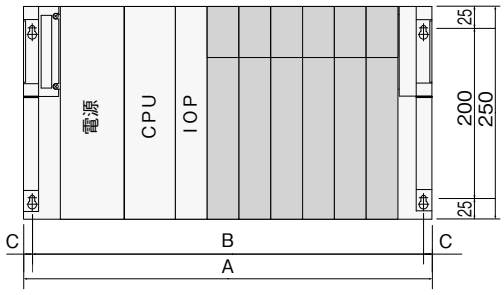
ベースアダプタ形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32N		247	227	10	
ERNT-1JR613B	増設ベースユニット（電源あり）	480	460	10	
ERNT-AQB68N		466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB62		238	218	10	
ERNT-AQB55N	増設ベースユニット（電源なし）	297	277	10	
ERNT-AQB52		183	163	10	

◎Qラージベースユニット



Qラージベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
Q38BL	基本ベースユニット	480	460	10	M5
Q35BL		382	362	10	
Q68BL	増設ベースユニット（電源あり）	466	446	10	
Q65BL		352	332	10	
Q55BL	増設ベースユニット（電源なし）	297	277	10	

◎（参考）MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ベースユニット



GLシリーズベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
JRMSI-MB40	基本ベースユニット	480	460	10	M5
JRMSI-MB60		480	460	10	
JRMSI-MB60S3		370	350	10	
JRMSI-MB70	基本ベースユニット（リモート局用）	480	460	10	
JRMSI-MB70AS4		340	320	10	
JRMSI-MB70AS2		255	235	10	
JRMSI-MB22/JRMSI-MB22A	増設ベースユニット	480	460	10	
JRMSI-MB22AS6		370	350	10	
JRMSI-MB22S5		340	320	10	
JRMSI-MB22S3		255	235	10	

置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

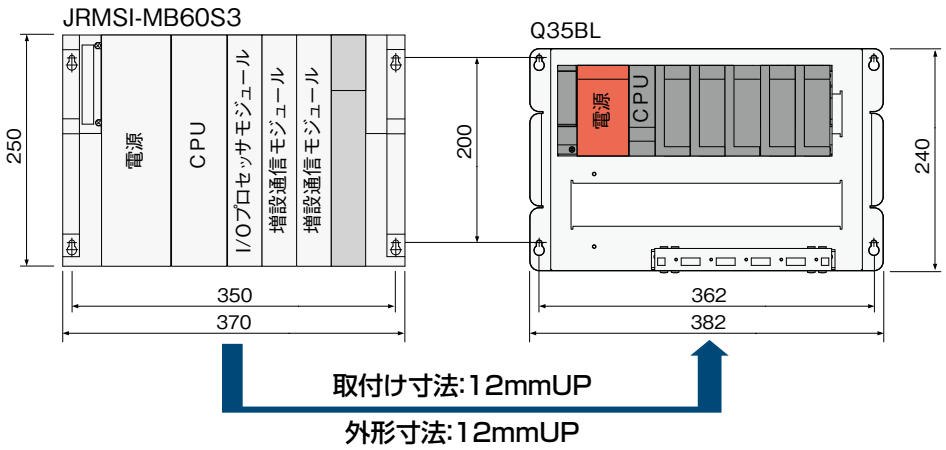
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

ご注意

●“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるためご注意ください。
●装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
●記載がないMEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）形式については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付け寸法などをご確認いただき、最適なベースアダプタまたはQラージベースユニットをご選定ください。

（例）MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）（JRMSI-MB60S3）からMELSEC-Qシリーズラージベースユニット（Q35BL）に置換えた場合

単位：mm



基本ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット＋ベースアダプタに置換える場合

◎：同一、○：GLシリーズの方が大きい、▲：GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ						取付変換アダプタ固定台	備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				形　名	寸法比較 ※2（ベースアダプタ-GLシリーズ）						
							外形寸法		取付け寸法			外形寸法		取付け寸法				
							横	縦	横	縦		横	縦	横	縦			
(1)	JRMSI-MB40	あり	8	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
				Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
(2)	JRMSI-MB60	あり	6	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
				Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
(3)	JRMSI-MB60S3	あり	1	Q33B	あり	3	○ (-181)	○ (-152)	○ (-181)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-123)	○ (-10)	○ (-123)	◎	ERNT-AQF3	
(4)	JRMSI-MB70	あり	8	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
				Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
				Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
(5)	JRMSI-MB70AS4	あり	4	Q312B	あり	12	▲ (99)	○ (-152)	▲ (99)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF12	
				Q38B	あり	8	○ (-12)	○ (-152)	○ (-12)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF8	
				Q35B	あり	5	○ (-95)	○ (-152)	○ (-95.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF5	
				Q33B	あり	3	○ (-151)	○ (-152)	○ (-151)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-93)	○ (-10)	○ (-93)	◎	ERNT-AQF3	
(6)	JRMSI-MB70AS2	あり	2	Q35B	あり	5	○ (-10)	○ (-152)	○ (-10.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (127)	○ (-10)	▲ (127)	◎	ERNT-AQF5	
				Q33B	あり	3	○ (-66)	○ (-152)	○ (-66)	○ (-120)	ERNT-AQB32N	○ (-8)	○ (-10)	○ (-8)	◎	ERNT-AQF3	

※1：（　）値はMELSEC-QシリーズベースユニットとGLシリーズの寸法差［単位：mm］
※2：（　）値はベースアダプタとGLシリーズの寸法差［単位：mm］

②MELSEC-Qシリーズラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズラージベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-GLシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦	
(1)	JRMSI-MB40	あり	8	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	盤面の取付け穴加工不要
				Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(2)	JRMSI-MB60	あり	6	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	盤面の取付け穴加工不要
				Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(3)	JRMSI-MB60S3	あり	1	Q35BL	あり	5	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	
(4)	JRMSI-MB70	あり	8	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	盤面の取付け穴加工不要
				Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(5)	JRMSI-MB70AS4	あり	4	Q35BL	あり	5	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	
(6)	JRMSI-MB70AS2	あり	2	Q35BL	あり	5	▲ (127)	○ (-10)	▲ (127)	◎	

※1:(　)値はQラージベースとGLシリーズの寸法差[単位:mm]

増設ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット+ベースアダプタに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ					取付変換アダプタ固定台	備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-GLシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦	形　名	寸法比較 ※2 (ベースアダプタ-GLシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付け寸法 横	取付け寸法 縦		
(1)	JRMSI-MB22/ JRMSI-MB22A	あり	9	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-1JR613B	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付け穴加工不要
				Q68B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-154)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎	ERNT-AQF8	
(2)	JRMSI-MB22AS6	あり	6	Q612B	あり	12	▲ (69)	○ (-152)	▲ (67)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎	ERNT-AQF12	
				Q68B	あり	8	○ (-42)	○ (-152)	○ (-44)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-18)	○ (-10)	○ (-18)	◎	ERNT-AQF8	
(3)	JRMSI-MB22S5	あり	5	Q612B	あり	12	▲ (99)	○ (-152)	▲ (97)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (126)	○ (-10)	▲ (126)	◎	ERNT-AQF12	
				Q68B	あり	8	○ (-12)	○ (-152)	○ (-14)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	ERNT-AQF8	
				Q65B	あり	5	○ (-95)	○ (-152)	○ (-97.6)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎	ERNT-AQF5	
				Q55B	あり	5	○ (-151)	○ (-152)	○ (-153)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎	ERNT-AQF5	
(4)	JRMSI-MB22S3	あり	3	Q68B	あり	8	▲ (73)	○ (-152)	▲ (71)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (97)	○ (-10)	▲ (97)	◎	ERNT-AQF8	
				Q65B	あり	5	○ (-10)	○ (-152)	○ (-12.6)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF5	
				Q63B	あり	3	○ (-66)	○ (-152)	○ (-68)	○ (-120)	ERNT-AQB62	○ (-17)	○ (-10)	○ (-17)	◎	ERNT-AQF3	
				Q55B	あり	5	○ (-66)	○ (-152)	○ (-68)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF5	
				Q52B	なし	2	○ (-149)	○ (-152)	○ (-151.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	○ (-72)	○ (-10)	○ (-72)	◎	ERNT-AQF3	・最大2スロットのため、1スロット不足 ・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要

※1:(　)値はMELSEC-Qシリーズベースユニットと GLシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:(　)値はベースアダプタとGLシリーズの寸法差[単位:mm]

② MELSEC-Qシリーズラージベースユニットに置換える場合

◎：同一、○：GLシリーズの方が大きい、▲：GLシリーズの方が小さい

	GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズラージベースユニット							備　考
	形　名	電源有無	最大スロット数	形　名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-GLシリーズ)				
							外形寸法		取付け寸法		
							横	縦	横	縦	
(1)	JRMSI-MB22/ JRMSI-MB22A	あり	9	Q68BL	あり	8	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	・9スロット以上のラージベースなし ・最大8スロットのため、1スロット不足 ・縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(2)	JRMSI-MB22AS6	あり	6	Q68BL	あり	8	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎	縦方向の2点のみ、盤面の取付け穴加工不要
(3)	JRMSI-MB22S5	あり	5	Q65BL	あり	5	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	
				Q55BL	なし	5	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎	
(4)	JRMSI-MB22S3	あり	3	Q65BL	あり	5	▲ (97)	○ (-10)	▲ (97)	◎	
				Q55BL	なし	5	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	

※1：(　) 値はQラージベースとGLシリーズの寸法差［単位：mm］

スロット位置

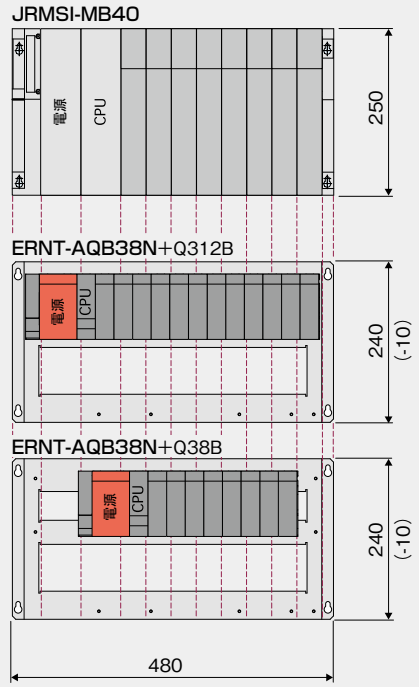
MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意
カッコ内の数値はMEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）との外形寸法差です。

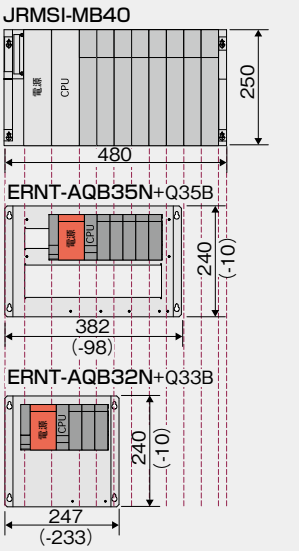
基本ベースユニットを使用する場合

(1) JRMSI-MB40 → ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32N+Q33B / Q38BL / Q35BL

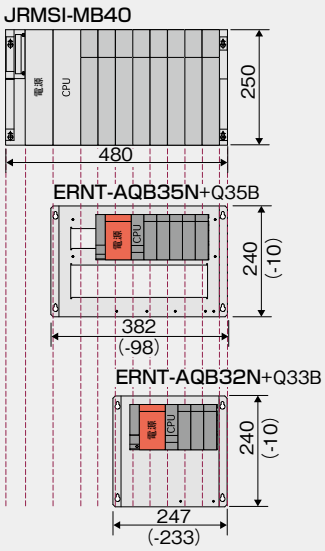
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位：mm



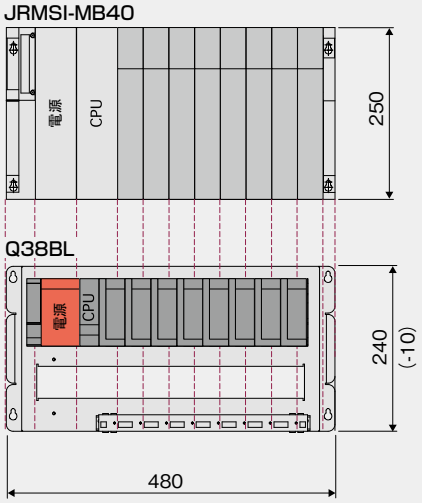
左寄せ設置の場合



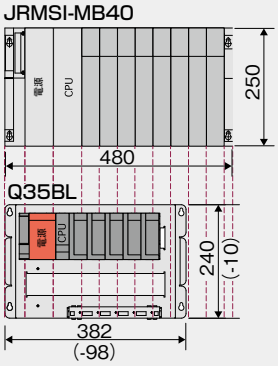
右寄せ設置の場合



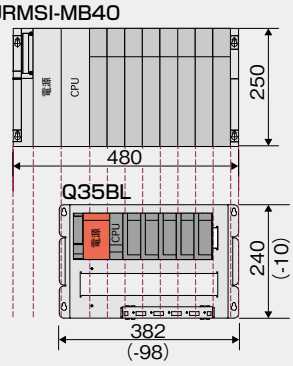
Qラージベースユニット　単位：mm



左寄せ設置の場合

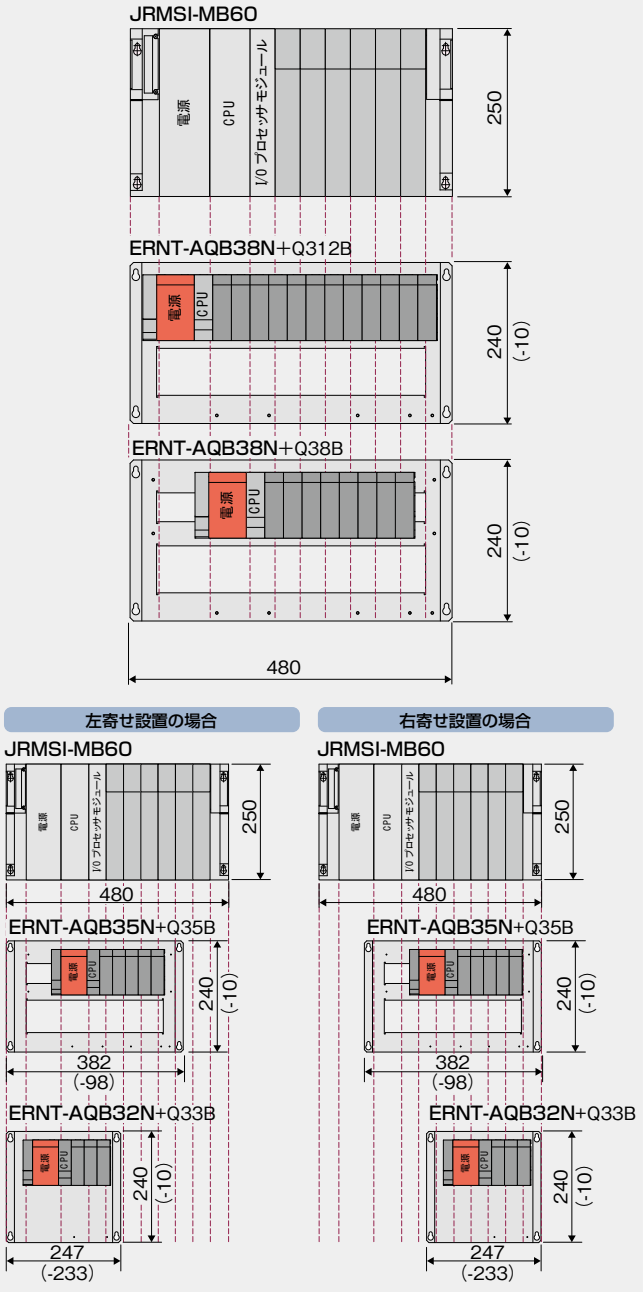


右寄せ設置の場合

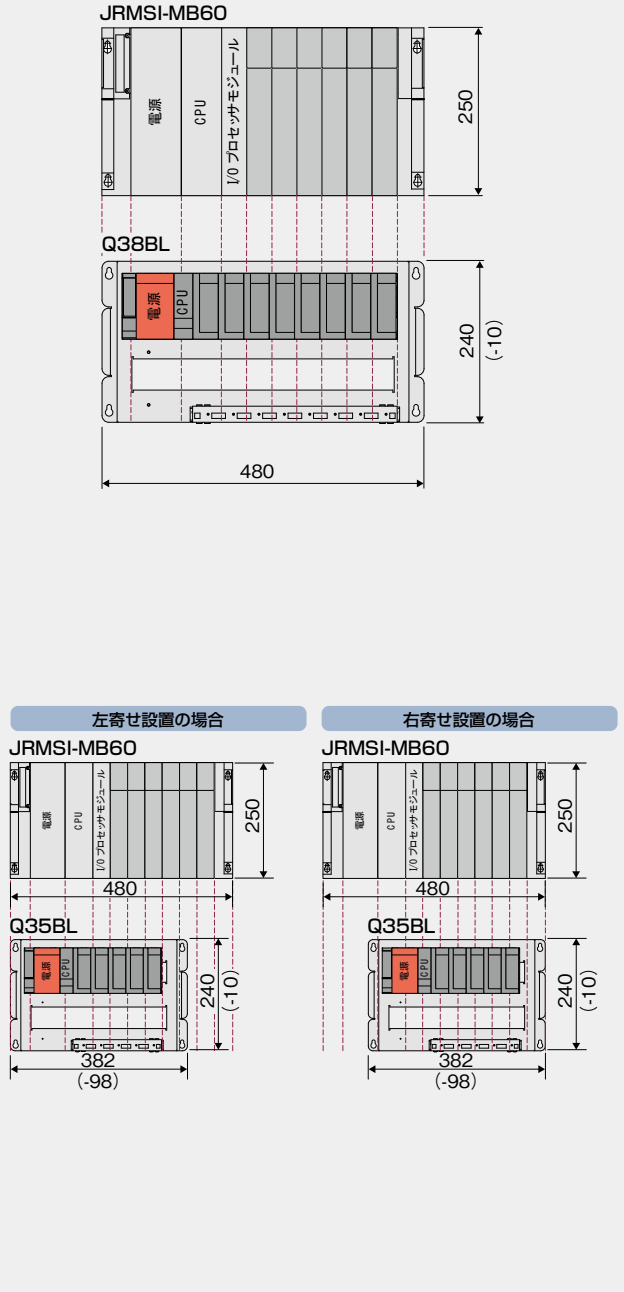


(2) JRMSI-MB60 → ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32N+Q33B / Q38BL / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

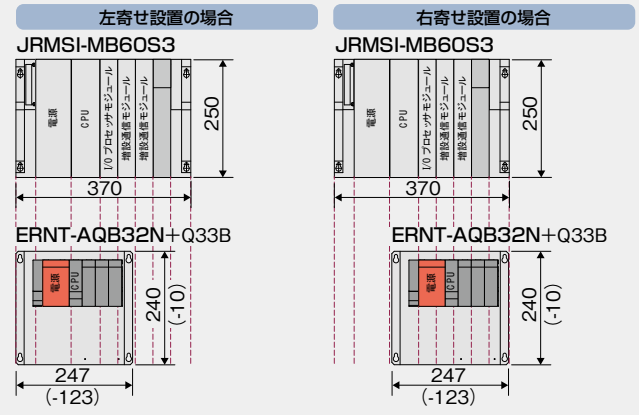


Qラージベースユニット　単位:mm

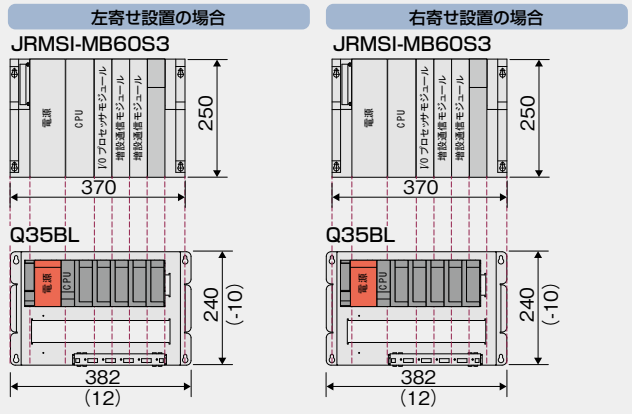


(3) JRMSI-MB60S3 → ERNT-AQB32N+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

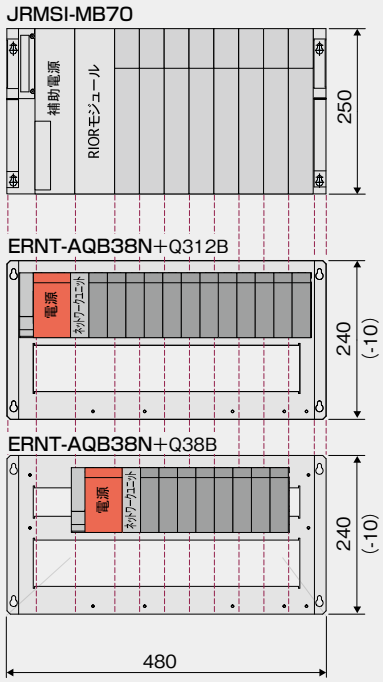


Qラージベースユニット　単位:mm

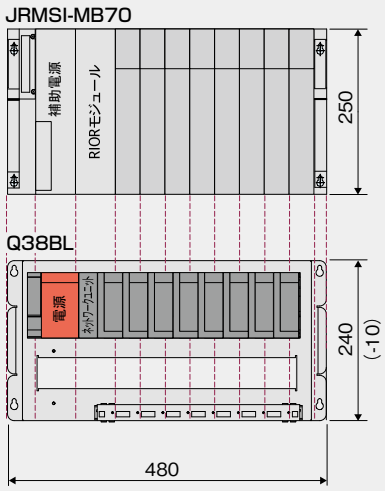


(4) JRMSI-MB70 → ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32N+Q33B / Q38BL / Q35BL

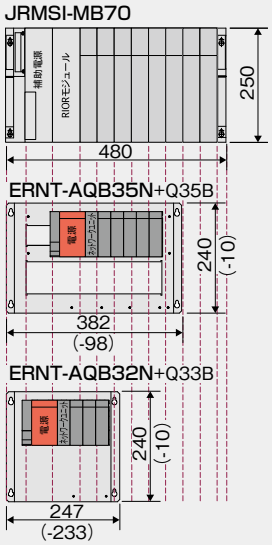
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm



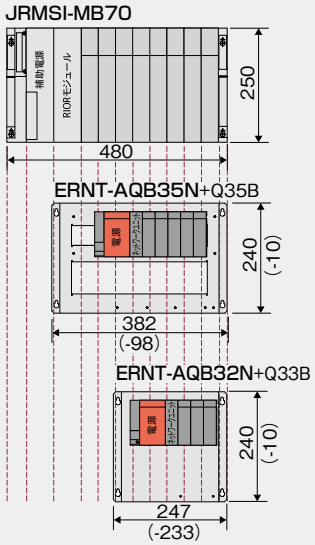
Qラージベースユニット　単位:mm



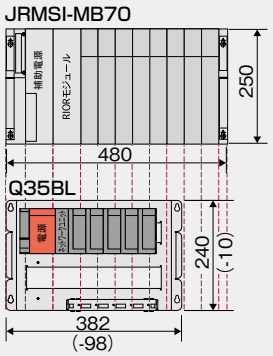
左寄せ設置の場合



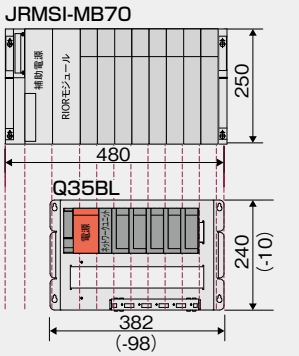
右寄せ設置の場合



左寄せ設置の場合



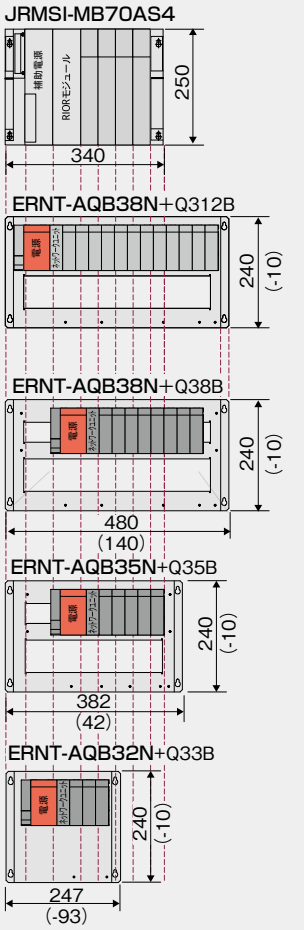
右寄せ設置の場合



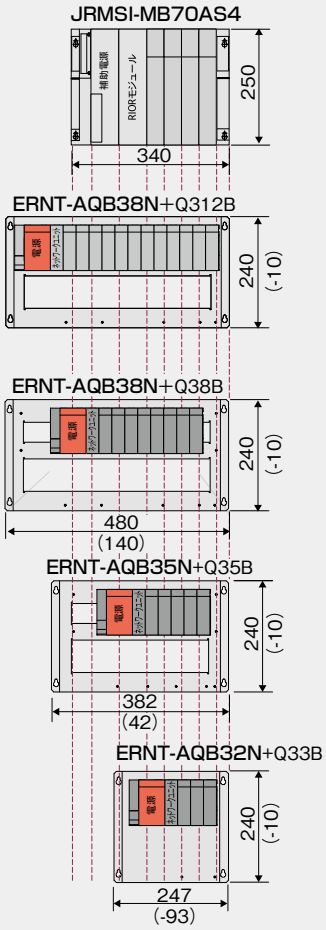
(5) JRMSI-MB70AS4 → ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32N+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

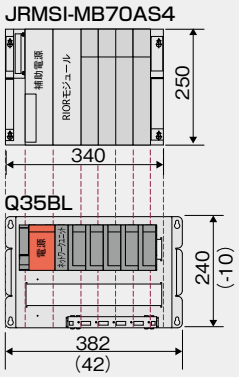


右寄せ設置の場合

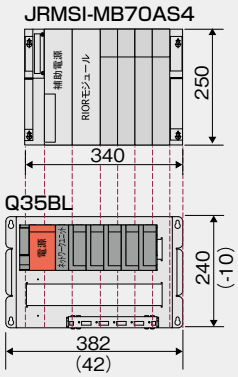


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



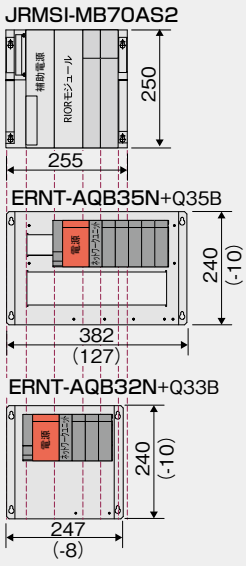
右寄せ設置の場合



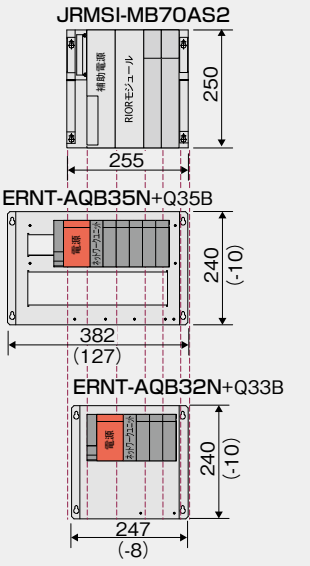
(6) JRMSI-MB70AS2 → ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32N+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

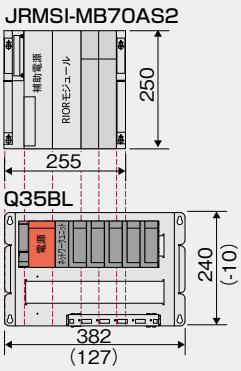


右寄せ設置の場合

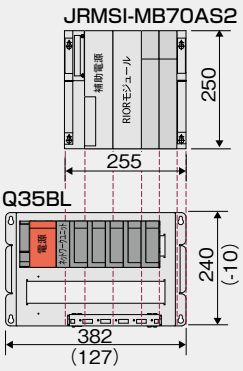


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

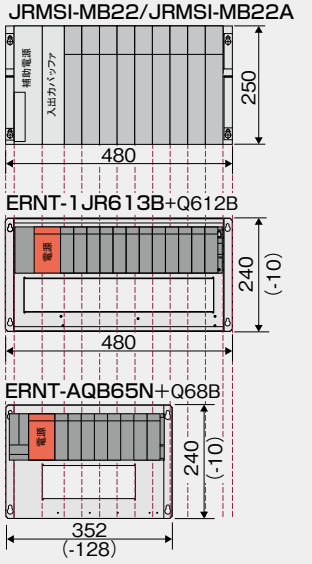


増設ベースユニットを使用する場合

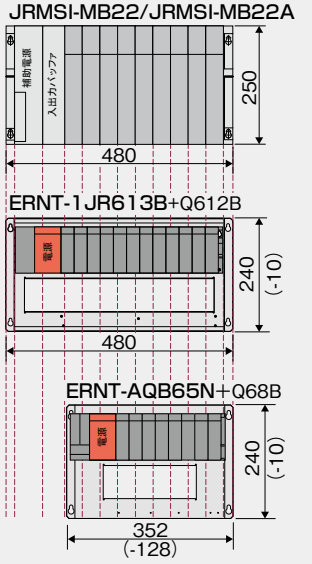
(1) JRMSI-MB22 / JRMSI-MB22A → ERNT-1JR613B+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

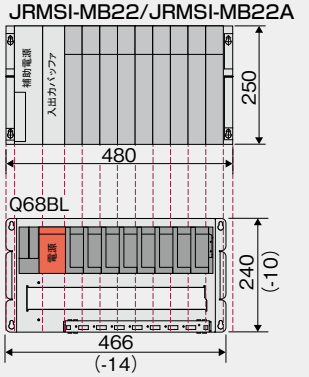


右寄せ設置の場合

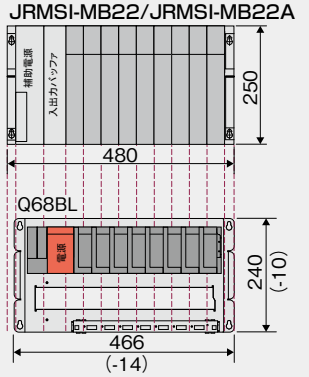


Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



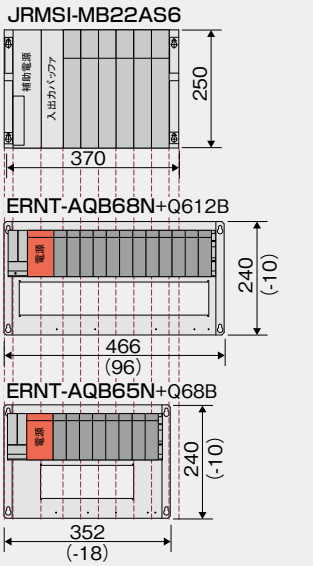
右寄せ設置の場合



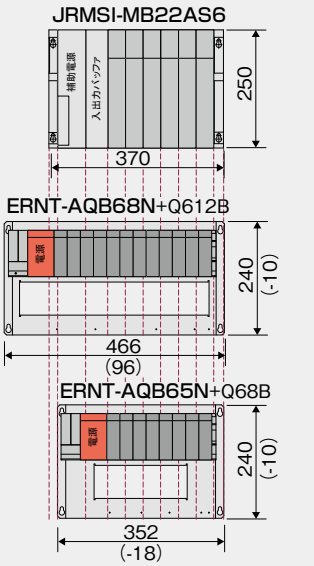
(2) JRMSI-MB22AS6 → ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

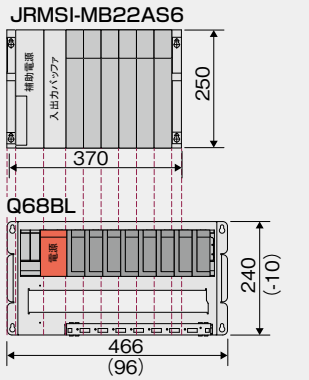


右寄せ設置の場合

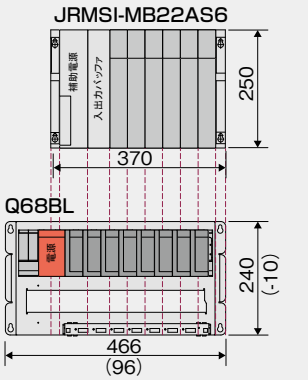


Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



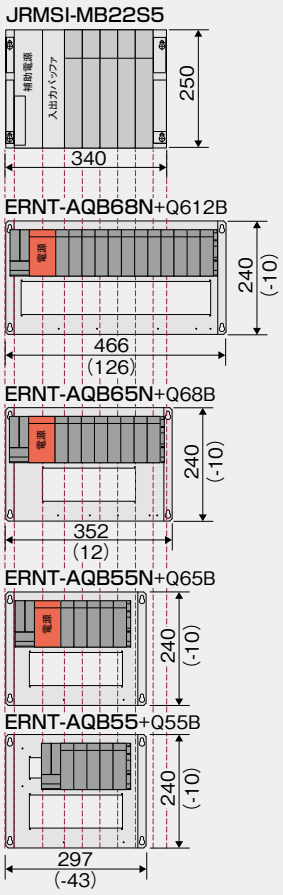
右寄せ設置の場合



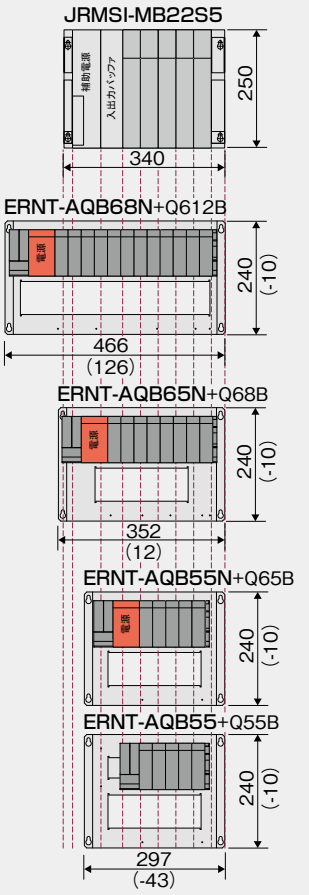
(3) JRMSI-MB22S5 → ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB55N+Q55B / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

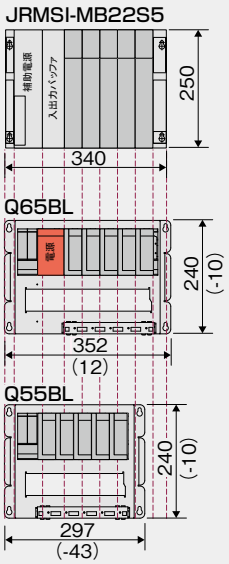


右寄せ設置の場合

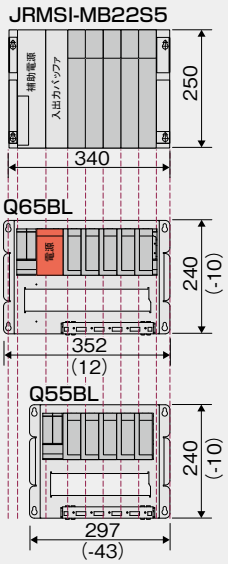


Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



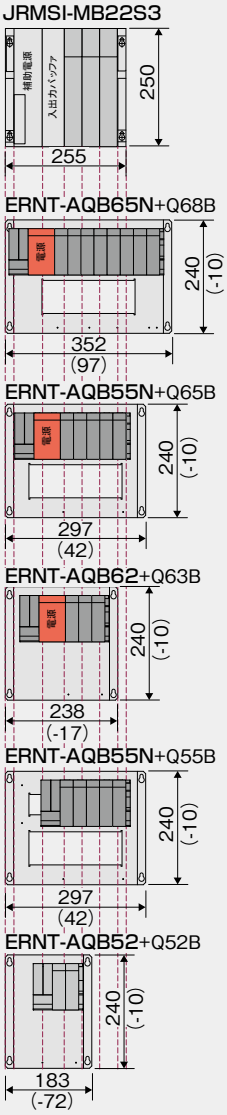
右寄せ設置の場合



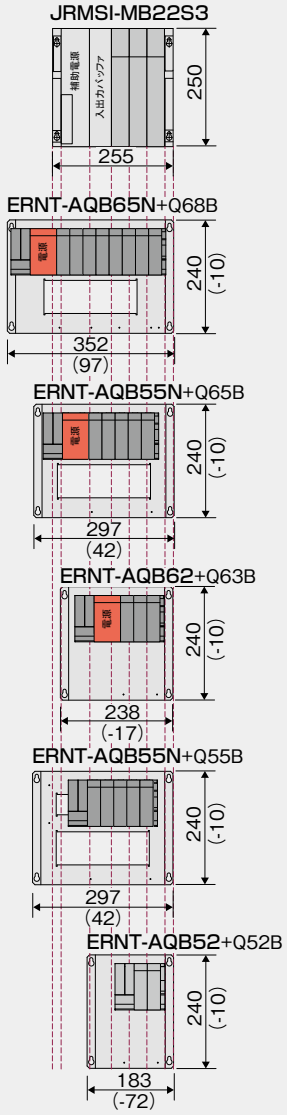
(4) JRMSI-MB22S3 → ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB62+Q63B / ERNT-AQB55N+Q55B / ERNT-AQB52+Q52B / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

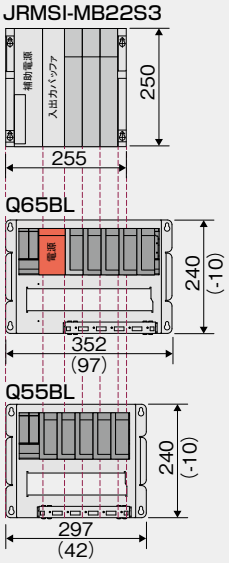


右寄せ設置の場合

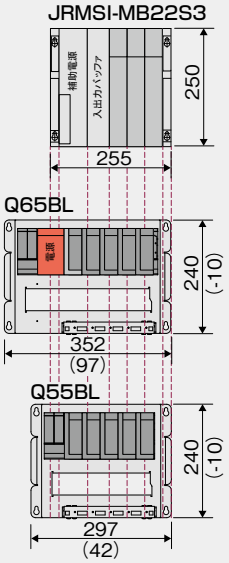


Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



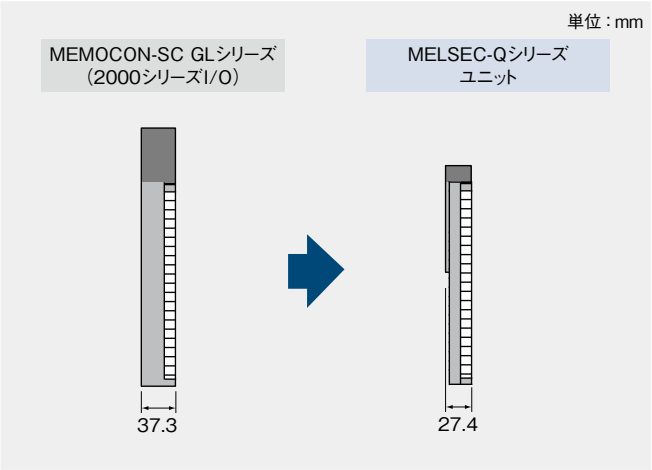
右寄せ設置の場合



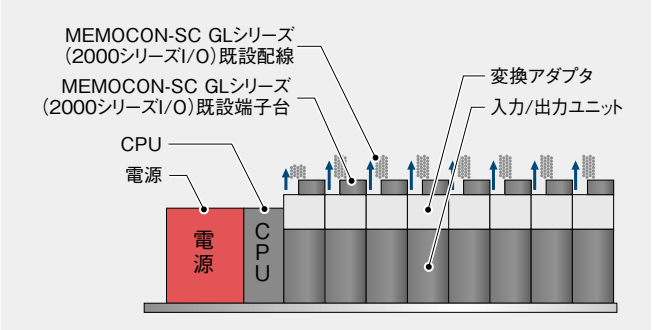
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1) ユニット幅寸法がMEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O) 37.3mm → MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。

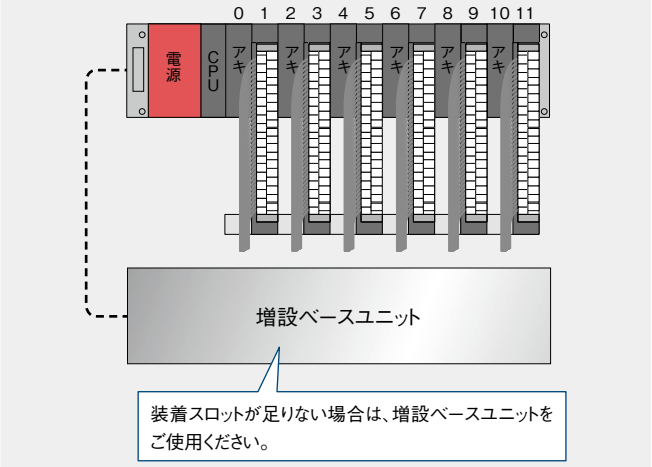


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) Q312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(配線領域は37.5mm)の使用をご検討ください。→P.20

注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

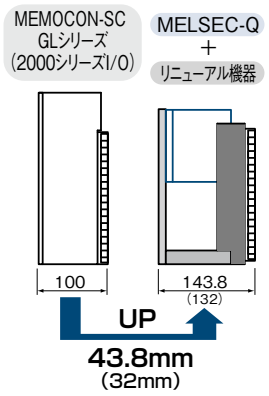
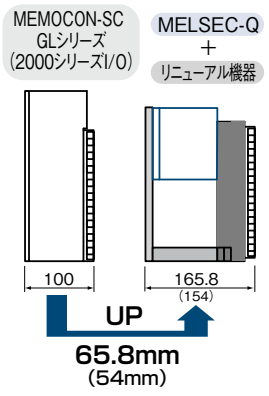
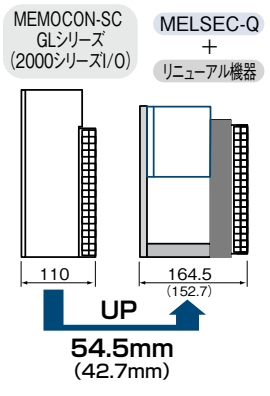
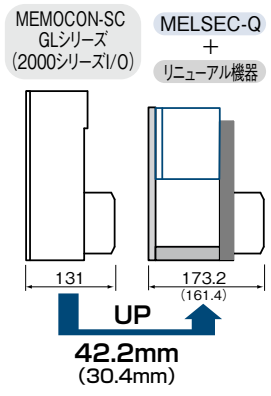
奥行き

盤面からの奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

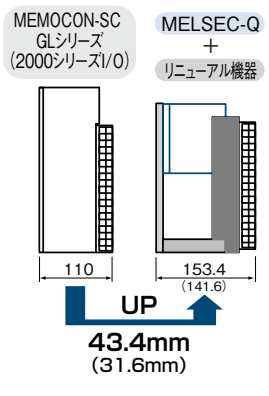
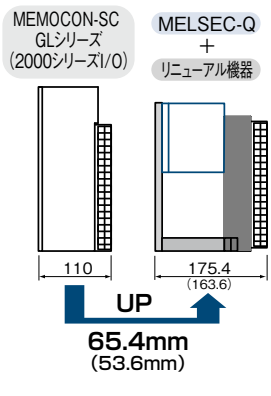
MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）：ベースユニット ＋ 入力/出力ユニット ＋ 端子台/コネクタ
MELSEC-Qシリーズ+リニューアル機器：ベースアダプタ ＋ ベースユニット ＋入力/出力ユニット ＋ 変換アダプタ ＋ 端子台/コネクタ

MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）：MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）
MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

1スロットタイプ

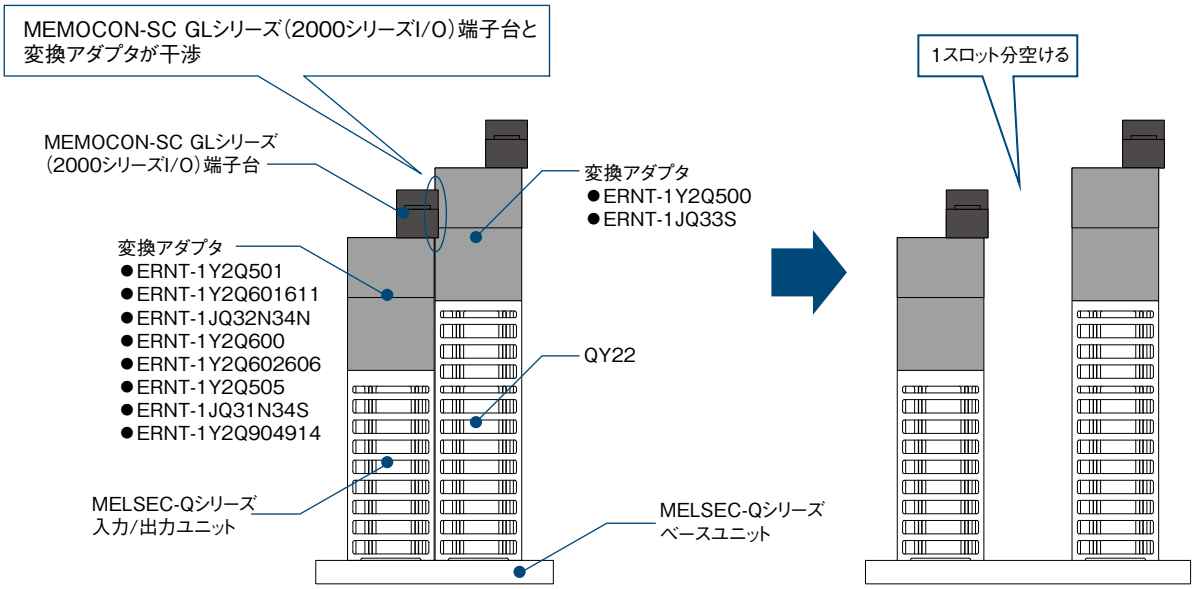
変換アダプタ	ERNT-1Y2Q501 ERNT-1Y2Q601611 ERNT-1Y2Q600	ERNT-1Y2Q500	ERNT-1JQ32N34N ERNT-1Y2Q602606	ERNT-1Y2Q615625 ERNT-CQCY213
寸法 奥行き	143.8mm （132mm）	165.8mm （154mm）	164.5mm （152.7mm）	173.2mm （161.4mm）
取付け図				

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1Y2Q505 ERNT-1JQ31N34S ERNT-1Y2Q904914	ERNT-1JQ33S
寸法 奥行き	153.4mm （141.6mm）	175.4mm （163.6mm）
取付け図		

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタが以下となる場合、端子台の干渉を避けるため1スロット分空けてください。
ただし、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット使用時はユニット間に隙間があるため、1スロット分空ける必要はありません。
注）2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。



変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。また、MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）の取付け穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

小形タイプ▶120シリーズI/O

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-120DDI35400	QX41、QX41-S1、QX41-S2、QX71	※1	※2	ERNT-2YQ35400	MDRコネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDI36400	QX41×2台、QX41-S1×2台、QX41-S2×2台、QX71×2台		※3	ERNT-2YQ36400×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点
出力	JAMSC-120DDO35410	QY41P、QY71		※4	ERNT-2YQ35410	MDRコネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDO36410	QY41P×2台、QY71×2台		※5	ERNT-2YQ36410×2台	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2台	64点

※1：1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモンとなるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。
※2：既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QX40 2台またはQX80 2台への再配線をご検討ください。既設ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※3：JAMSC-120DDI36400からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。既設ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
※4：既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QY40P 2台またはQY70 2台への再配線をご検討ください。電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A/1点、16点）2台への再配線をご検討ください。
※5：JAMSC-120DDO36410からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既設ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。

変換アダプタ非対応機種の置換え案

下表に示す入力/出力ユニットは変換アダプタ非対応のため、再配線による置換えをご検討ください。

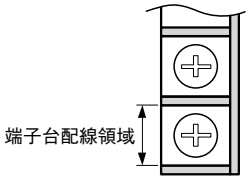
入力/出力	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット 形名	仕様	点数	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット 形名	仕様	点数	必要台数	注意事項
入力	JAMSC-120DAI54300	AC100V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台	—
	JAMSC-120DAI74300	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	
	JAMSC-120DDI34300	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
				QX70	DC5/12V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台	
出力	JAMSC-120DAO83000	AC100/200V 独立	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	※6
	JAMSC-120DAO84300	AC100/200V	16点	QY22	AC100-240V	16点	1台	—
	JAMSC-120DDO33000	DC12/24V 独立 シンク/ソース共用	8点	QY68A	DC5-24V 独立 シンク/ソース共用	8点	1台	
	JAMSC-120DDO34310	DC12/24V シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	
	JAMSC-120DDO34320	DC12/24V ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台	
	JAMSC-120DRA84300	AC200V DC24V リレー接点	16点	QY10	AC240V DC24V リレー接点	16点	1台	

※6：JAMSC-120DAO84300はトライアック出力ですが、QY18Aは接点出力となります。

参考：圧着端子および電線仕様

項目	置換え前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3	M3
端子台配線領域	7mm	6mm

※変換アダプタ非対応のMEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズユニットに置換える場合、適応圧着端子サイズはいずれもM3となりますが端子台配線領域が狭くなりますので、既設配線にてご使用の圧着端子によっては接続不可となる場合があります。



三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意

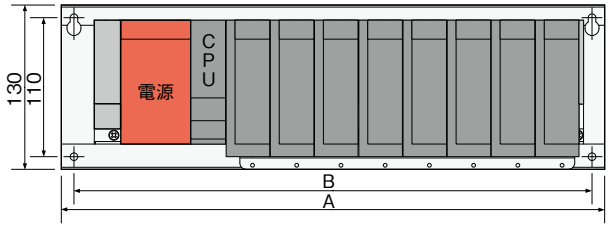
ベースユニットの取付け穴（4か所）位置は、MEMOCON GLシリーズベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

取付け寸法

MEMOCON GLシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

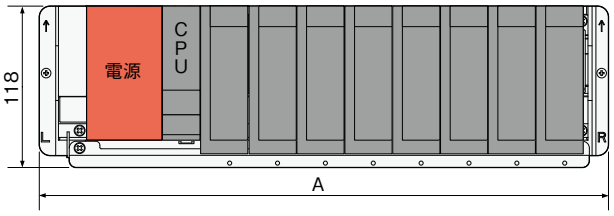
単位：mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
盤面取付けタイプ



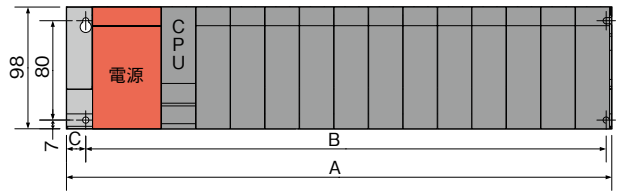
AnSサイズ版Qラージベースユニット形名	内　容	A	B	取付け穴ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
DINレール取付けタイプ



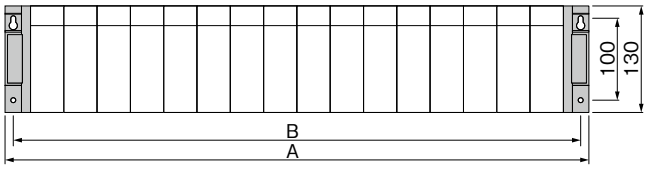
AnSサイズ版Qラージベースユニット形名	内　容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズベースユニット形名	内　容	A	B	C	取付け穴ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎（参考）MEMOCON GLシリーズベースユニット



GLシリーズベースユニット形名	内　容	A	B	取付け穴ネジサイズ
JRMSI-120XBP01600	ベースユニット	710	690	M5
JRMSI-120XBP01200		540	520	
JRMSI-120XBP01000		460	440	
JRMSI-120XBP00800		380	360	
JRMSI-120XBP00600		300	280	

置換え時の外形寸法および取付け穴寸法比較

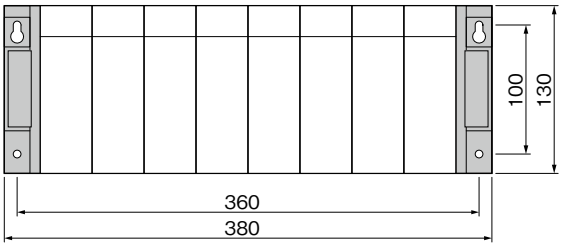
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付け穴寸法が確認できます。

ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）のように寸法が大きくなり、取付け位置を再検討する必要があるため注意してください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

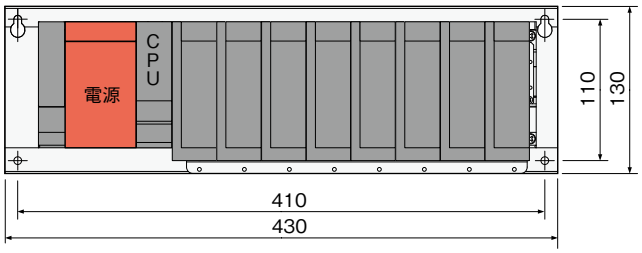
（例）GLシリーズ（JRMSI-120XBP00800）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

JRMSI-120XBP00800



Q38BLS

単位:mm



取付け寸法:50mmUP

外形寸法:50mmUP

基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-GLシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
JRMSI-120XBP01600	あり	16	Q38BLS	あり	8	○ (-280)	◎	○ (-280)	▲ (10)	Q312B	あり	12	○ (-271)	○ (-32)	○ (-271)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP01200	あり	12	Q38BLS	あり	8	○ (-110)	◎	○ (-110)	▲ (10)	Q312B	あり	12	○ (-101)	○ (-32)	○ (-101)	○ (-20)	
										Q38B	あり	8	○ (-212)	○ (-32)	○ (-212)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP01000	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-30)	◎	○ (-30)	▲ (10)	Q312B	あり	12	○ (-21)	○ (-32)	○ (-21)	○ (-20)	
										Q38B	あり	8	○ (-132)	○ (-32)	○ (-132)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP00800	あり	8	Q38BLS	あり	8	▲ (50)	◎	▲ (50)	▲ (10)	Q312B	あり	12	▲ (59)	○ (-32)	▲ (59)	○ (-20)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○ (-52)	○ (-32)	○ (-52)	○ (-20)	
										Q35B	あり	5	○ (-135)	○ (-32)	○ (-135.6)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP00600	あり	6	Q38BLS	あり	8	▲ (130)	◎	▲ (130)	▲ (10)	Q312B	あり	12	▲ (139)	○ (-32)	▲ (139)	○ (-20)	
										Q38B	あり	8	▲ (28)	○ (-32)	▲ (28)	○ (-20)	
			Q35BLS	あり	5	▲ (25)	◎	▲ (25)	▲ (10)	Q35B	あり	5	○ (-55)	○ (-32)	○ (-55.6)	○ (-20)	

※1:（ ）値はMELSEC-Qシリーズと GLシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-GLシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				
						外形寸法		取付け寸法※2					外形寸法		取付け寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
JRMSI-120XBP01600	あり	16	Q68BLS	あり	8	○ (-290)	◎	○ (-290)	▲ (10)	Q612B	あり	12	○ (-271)	○ (-32)	○ (-273)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP01200	あり	12	Q68BLS	あり	8	○ (-120)	◎	○ (-120)	▲ (10)	Q612B	あり	12	○ (-101)	○ (-32)	○ (-103)	○ (-20)	
										Q68B	あり	8	○ (-212)	○ (-32)	○ (-214)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP01000	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-40)	◎	○ (-40)	▲ (10)	Q612B	あり	12	○ (-21)	○ (-32)	○ (-23)	○ (-20)	
										Q68B	あり	8	○ (-132)	○ (-32)	○ (-134)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP00800	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲ (40)	◎	▲ (40)	▲ (10)	Q612B	あり	12	▲ (59)	○ (-32)	▲ (57)	○ (-20)	・外形寸法、取付け穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	○ (-52)	○ (-32)	○ (-54)	○ (-20)	
										Q65B	あり	5	○ (-135)	○ (-32)	○ (-137.6)	○ (-20)	
										Q55B	なし	5	○ (-191)	○ (-32)	○ (-193)	○ (-20)	
JRMSI-120XBP00600	あり	6	Q68BLS	あり	8	▲ (120)	◎	▲ (120)	▲ (10)	Q612B	あり	12	▲ (139)	○ (-32)	▲ (137)	○ (-20)	
										Q68B	あり	8	▲ (28)	○ (-32)	▲ (26)	○ (-20)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (15)	◎	▲ (15)	▲ (10)	Q65B	あり	5	○ (-55)	○ (-32)	○ (-57.6)	○ (-20)	
			Q55BLS	なし	5	○ (-40)	◎	○ (-40)	▲ (10)	Q55B	なし	5	○ (-111)	○ (-32)	○ (-113)	○ (-20)	

※1:（ ）値はMELSEC-Qシリーズと GLシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

MEMOCON GLシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

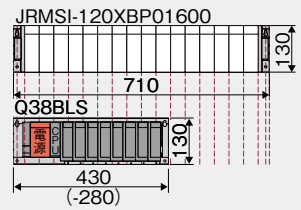
AnSサイズ版Qラージベースユニットは MEMOCON GLシリーズと取付け穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付け穴を基準としています。ただし、MELSEC-Qシリーズベースユニットは MEMOCON GLシリーズと取付け穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。
なお、カッコ内の数値は MEMOCON GL シリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

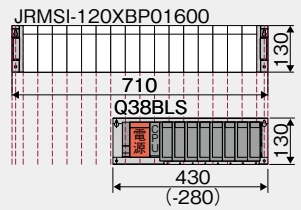
(1) JRMSI-120XBP01600 → Q38BLS / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

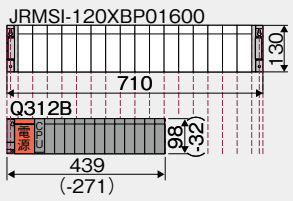


右寄せ設置の場合

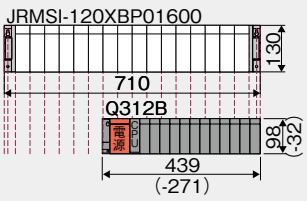


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



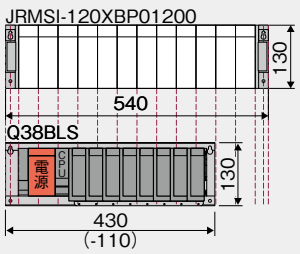
右寄せ設置の場合



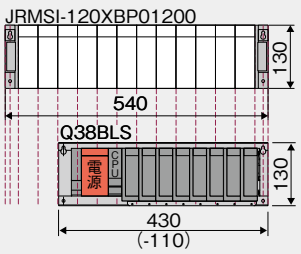
(2) JRMSI-120XBP01200 → Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

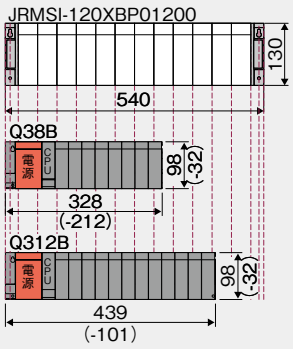


右寄せ設置の場合

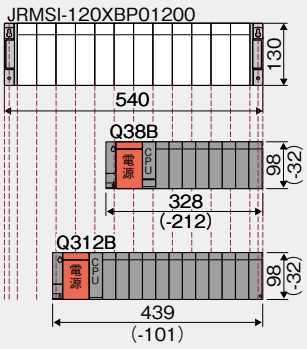


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



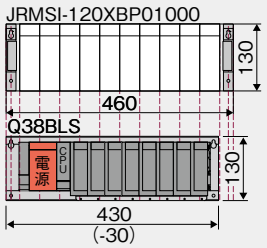
右寄せ設置の場合



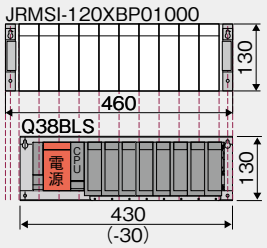
(3) JRMSI-120XBP01000 → Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

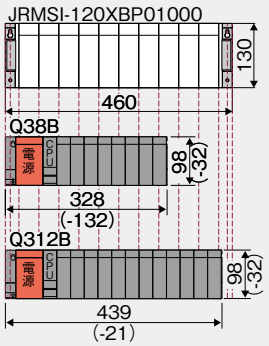


右寄せ設置の場合

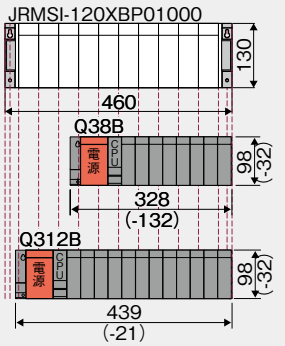


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



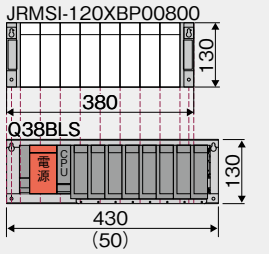
右寄せ設置の場合



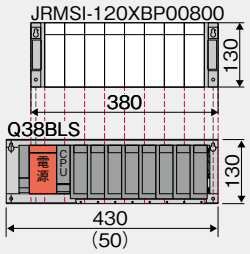
(4) JRMSI-120XBP00800 → Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

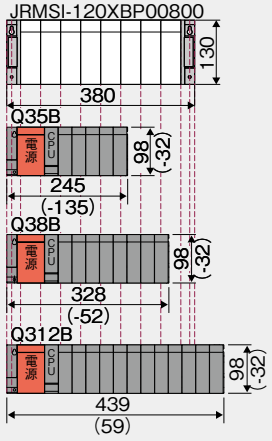


右寄せ設置の場合

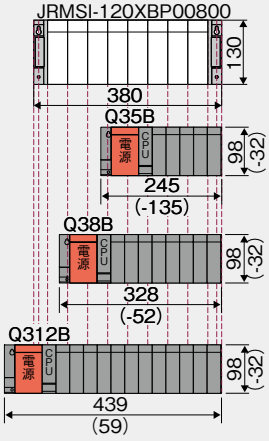


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



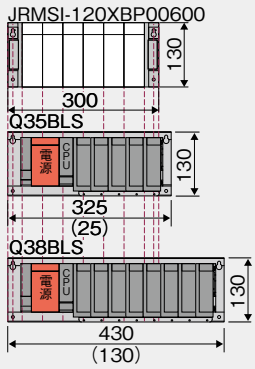
右寄せ設置の場合



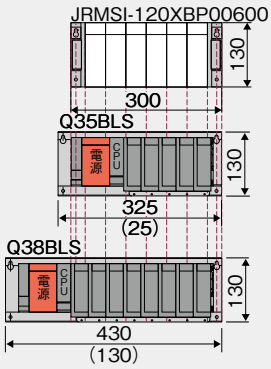
(5) JRMSI-120XBP00600 → Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

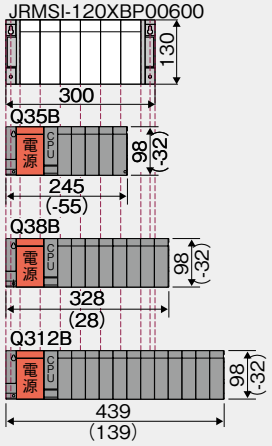


右寄せ設置の場合

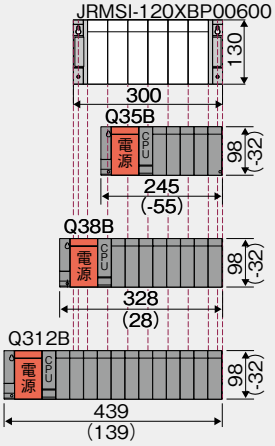


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



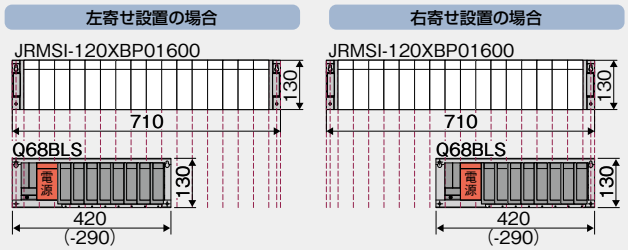
右寄せ設置の場合



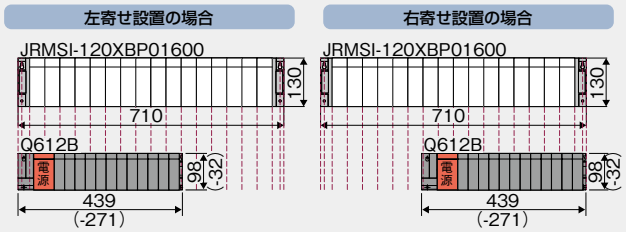
増設ベースユニットを使用する場合

(1) JRMSI-120XBP01600 → Q68BLS / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

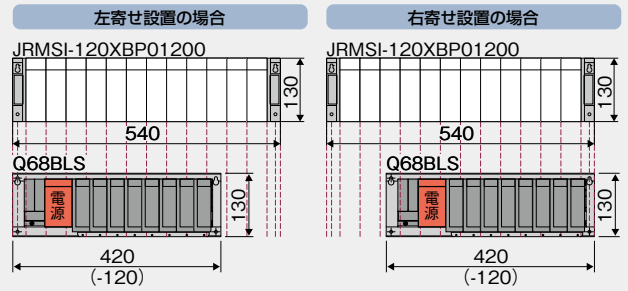


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

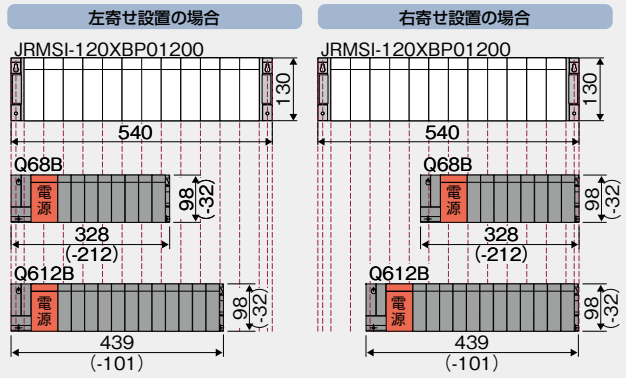


(2) JRMSI-120XBP01200 → Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm

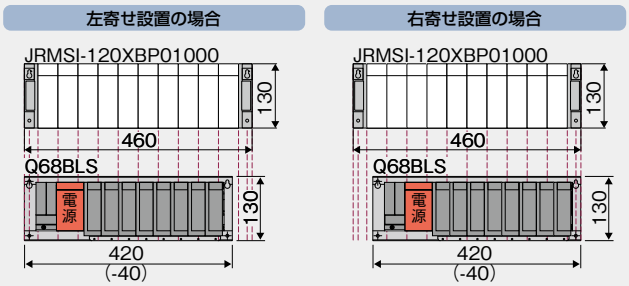


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

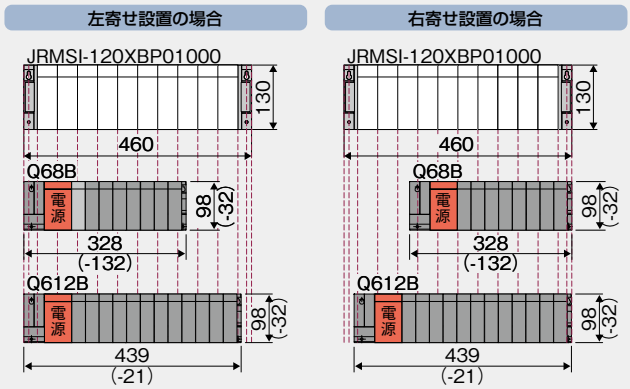


(3) JRMSI-120XBP01000 → Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット　単位:mm



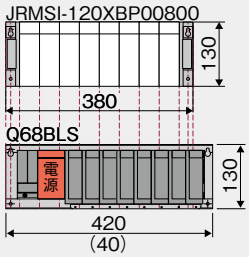
MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm



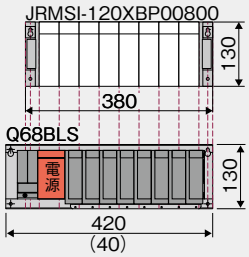
(4) JRMSI-120XBP00800 → Q68BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

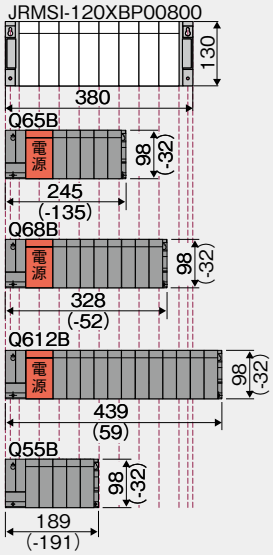


右寄せ設置の場合

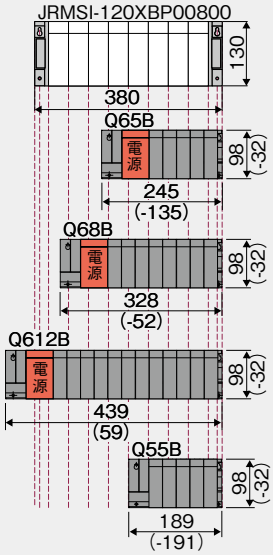


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



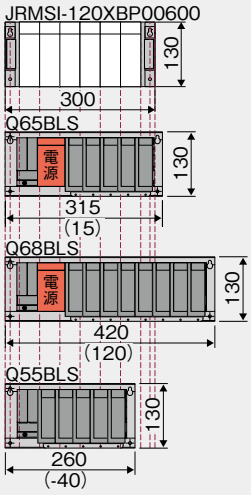
右寄せ設置の場合



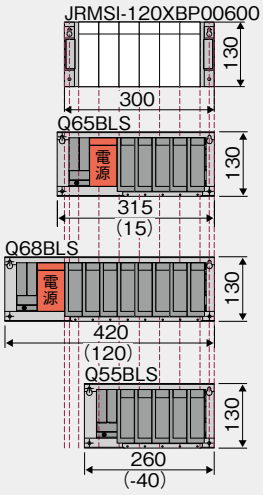
(5) JRMSI-120XBP00600 → Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合

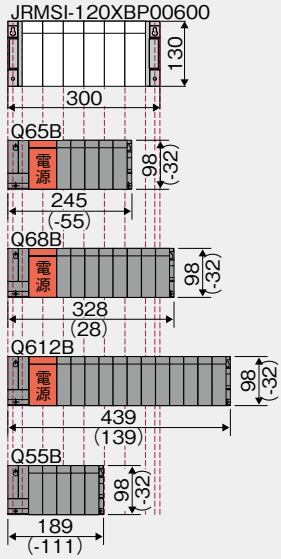


右寄せ設置の場合

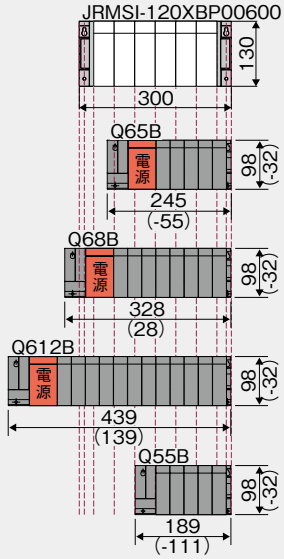


MELSEC-Qシリーズベースユニット 単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

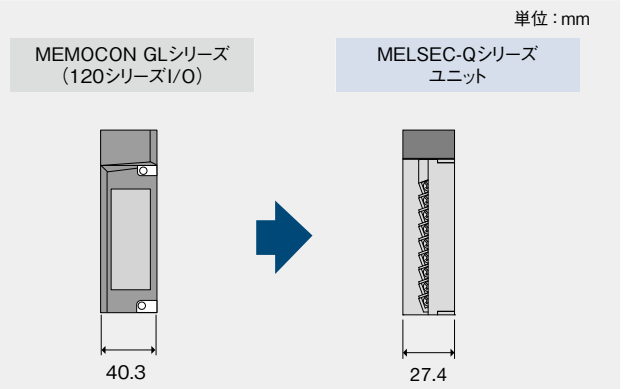


ご使用上の注意点

ユニット幅

ユニット幅が小さくなり（40.3mm→27.4mm）配線領域が小さくなりますので取付け時に確認してください。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるまたは、1スロット分空け配線領域を確保してください。

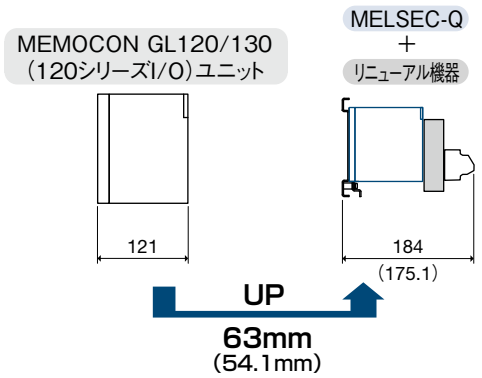
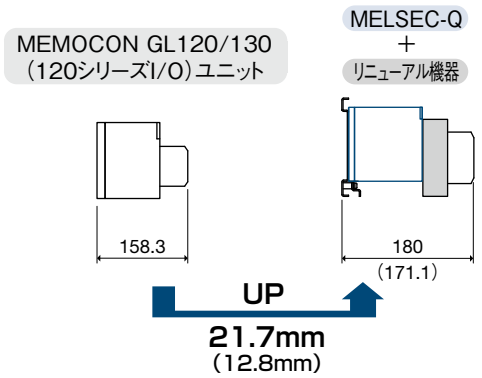
単位：mm



奥行き

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き寸法に注意が必要です。
また、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用しない場合はカッコ内の数値（8.9mm小さい値）となります。

MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2YQ35400 ERNT-2YQ35410	ERNT-2YQ36400 ERNT-2YQ36410
寸法 奥行き	184mm （175.1mm）	180mm （171.1mm）
取付け図		

MEMO

TOYOPUC-PC10G/3Jシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

小形タイプ

機種一覧表

変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル（当社Webサイトからダウンロード）を参照してください。
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

入力/出力ユニット用

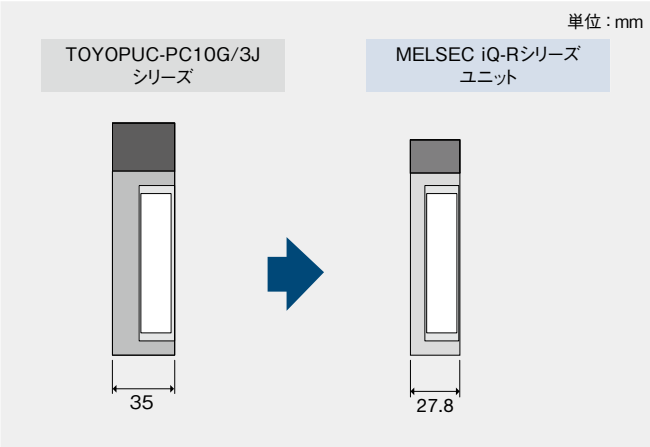
入力/出力	置換え前 TOYOPUC-PC10G/3J シリーズユニット形名	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ			
				形　名	形　状		入力/出力点数
					TOYOPUC-PC10G/3J シリーズ	MELSEC iQ-Rシリーズ	
入力	THK-2749	RX10	※1	ERNT-2TR27X27Y	端子台（19点）	端子台（18点）	16点
	THK-2750	RX40C7					
出力	THK-2751	RY20S6	—				
	THK-2795		※1				
	THK-5040		—				
	THK-2752	RY10R2	※1				
	THK-2754	RY40PT5P	※1				
	THK-2791						
	THK-2753	RY40NT5P	※1	ERNT-2TR27Y29Y			
	THK-2790						
	THK-2931	RY18R2A	—				

※1:1コモンあたりのI/O点数が8点/1コモン（2回路）→16点/1コモン となるため、既設ユニットのコモン接続をご確認ください。

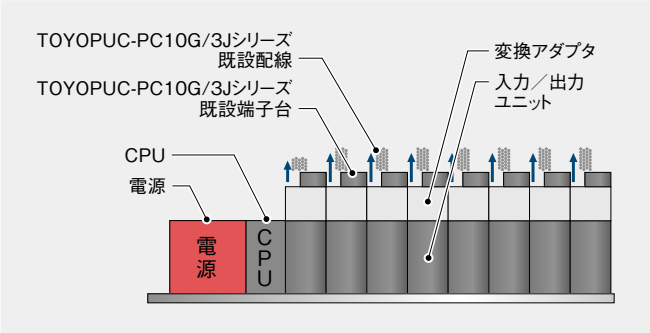
ご使用上の注意点

ユニット幅

（1）ユニット幅寸法が小さくなり（35mm→27.8mm）配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

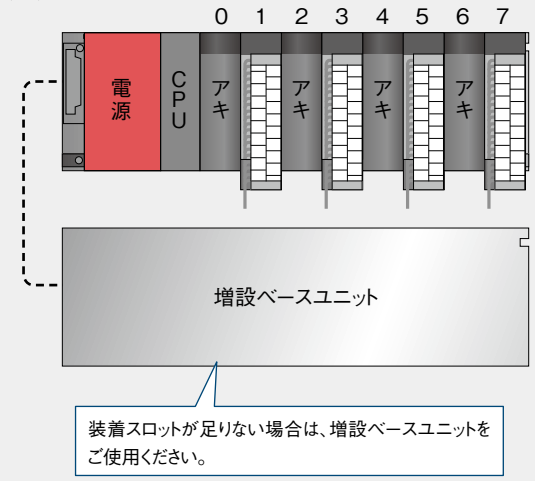


（2）装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)R38Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

(4) 上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。

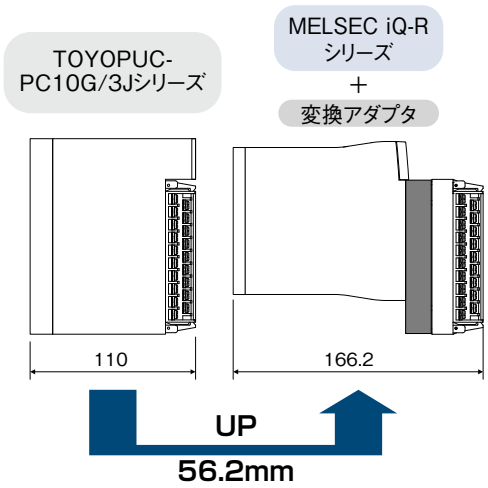
奥行き

盤面からの奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。

TOYOPUC-PC10G/3Jシリーズ:ベースユニット + 入力/出力ユニット + 端子台

MELSEC iQ-Rシリーズ+リニューアル機器:ベースユニット + 入力/出力ユニット + 変換アダプタ + 端子台

変換アダプタ	ERNT-2TR27X27Y ERNT-2TR27Y29Y
奥行き寸法	166.2mm
取付け図	奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。



単位:mm

その他PLC→MELSEC iQ-Rシリーズ「ユニバーサル変換アダプタ」

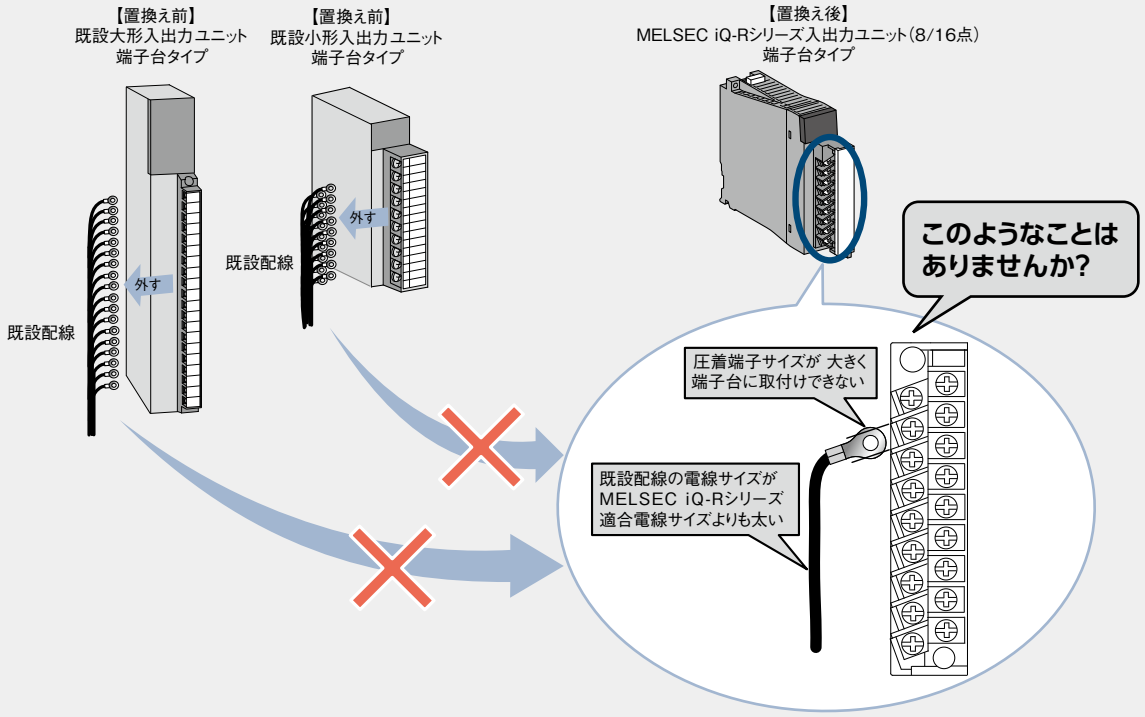
その他PLCからMELSEC iQ-Rシリーズへリニューアルする場合

■ユニバーサル変換アダプタ

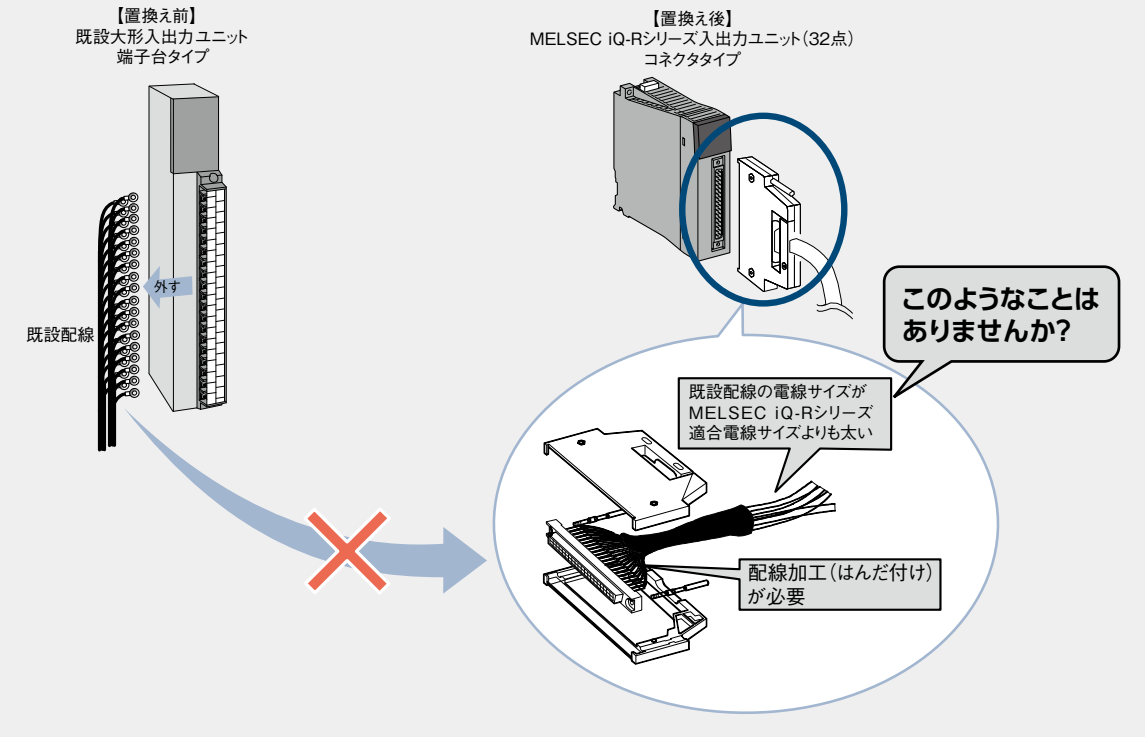
ユニバーサル変換アダプタを使用することにより、その他PLCから三菱電機株式会社製MELSEC iQ-Rシリーズへの置換え時、入力/出力ユニット（端子台タイプ）の再配線作業を負担軽減できます。

製品の概要

●その他PLC（端子台タイプ）からMELSEC iQ-Rシリーズ（端子台タイプ）に置換えたいけど…



●その他PLC（端子台タイプ）からMELSEC iQ-Rシリーズ（コネクタタイプ）に置換えたいけど…



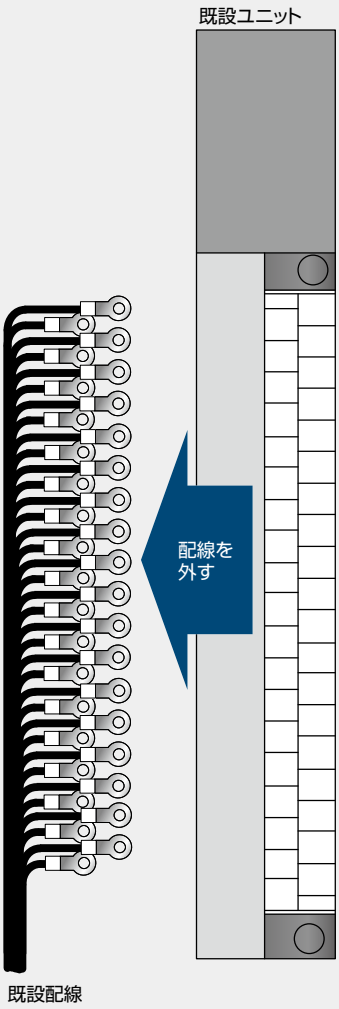
このようなとき「ユニバーサル変換アダプタ」の活用をご検討ください

既設接続機器の仕様がMELSEC iQ-Rシリーズ入出力ユニットの仕様を満足していれば、置換え前PLCメーカに関係なく置換えにご使用いただけます!

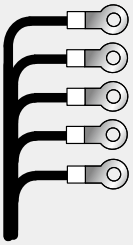
なお本製品（ユニバーサル変換アダプタ）は、お客様による再配線（端子台への既設配線付替え）を前提とした製品となります。

置換えの流れ

①既設ユニットの端子台から既設配線を外す



②圧着端子を確認

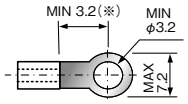


・圧着端子の寸法を確認します。
・適合圧着端子以外は変更が必要です。

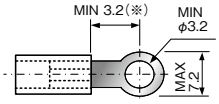
大形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位:mm

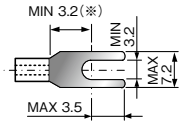
丸形裸圧着端子



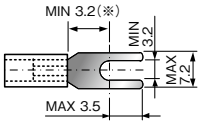
丸形絶縁付圧着端子



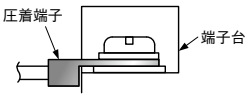
Y形裸圧着端子



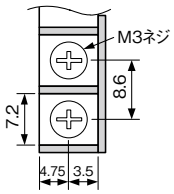
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 4.75」となります。



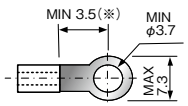
●端子台形状　単位:mm



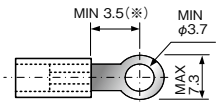
小形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位:mm

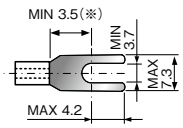
丸形裸圧着端子



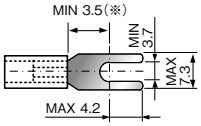
丸形絶縁付圧着端子



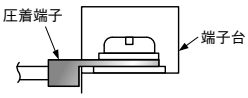
Y形裸圧着端子



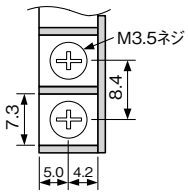
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 5.0」となります。



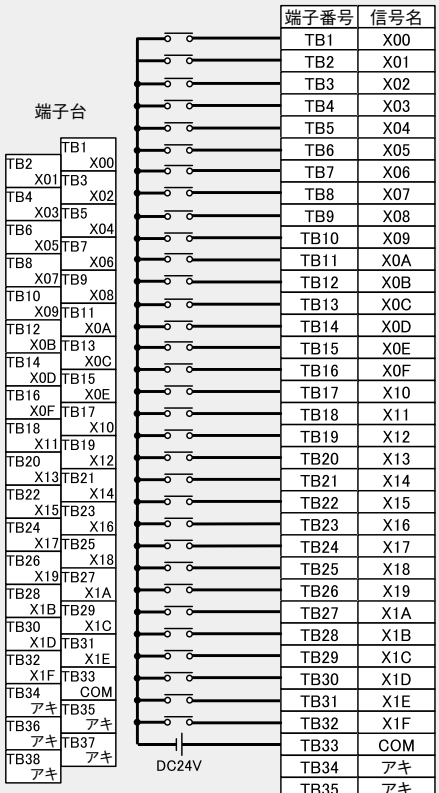
●端子台形状　単位:mm



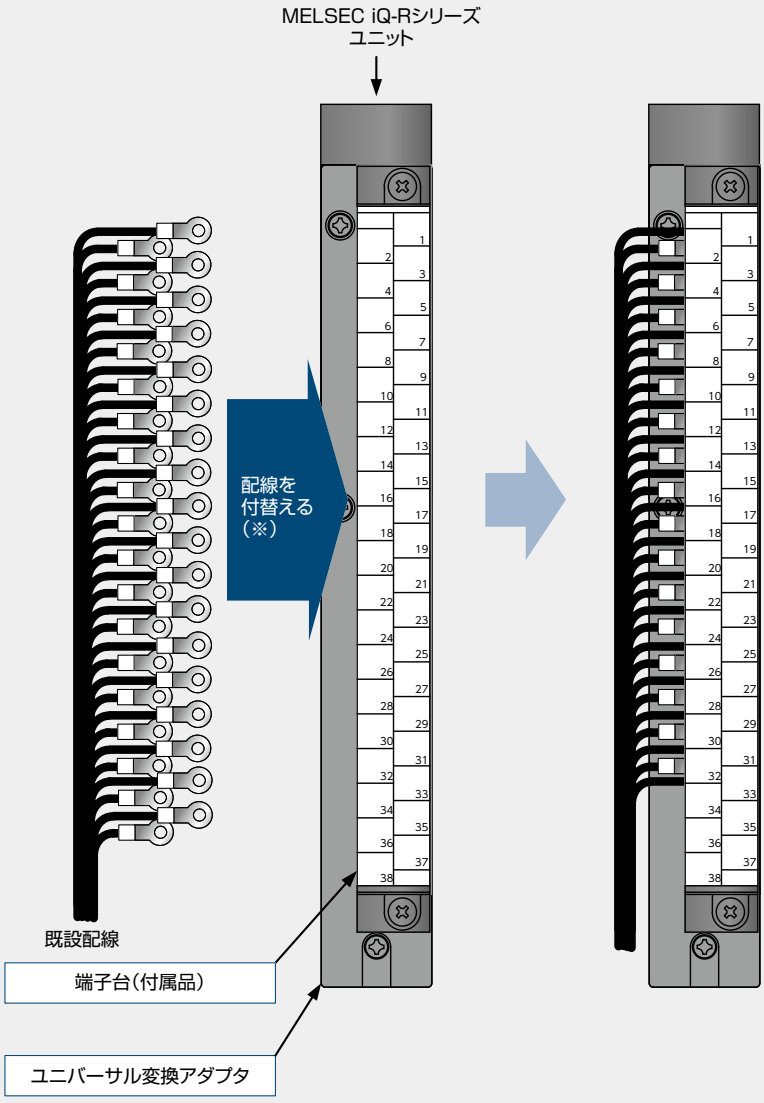
③ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付替え

使用する各MELSEC iQ-Rシリーズユニットの外部接続図を確認のうえ、ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付替えます。

外部接続図(例)

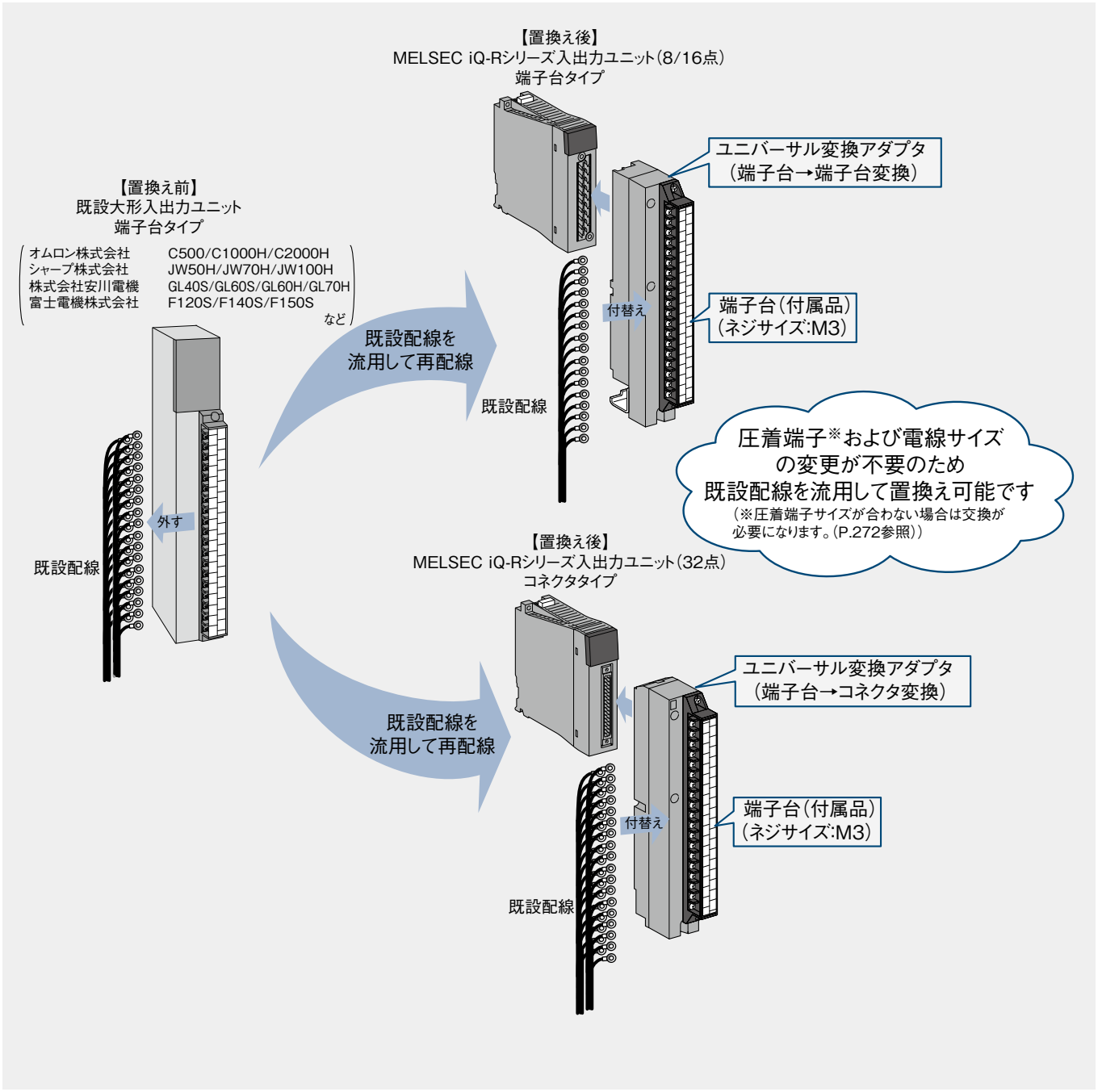


端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	X10
TB18	X11
TB19	X12
TB20	X13
TB21	X14
TB22	X15
TB23	X16
TB24	X17
TB25	X18
TB26	X19
TB27	X1A
TB28	X1B
TB29	X1C
TB30	X1D
TB31	X1E
TB32	X1F
TB33	COM
TB34	アキ
TB35	アキ
TB36	アキ
TB37	アキ
TB38	アキ

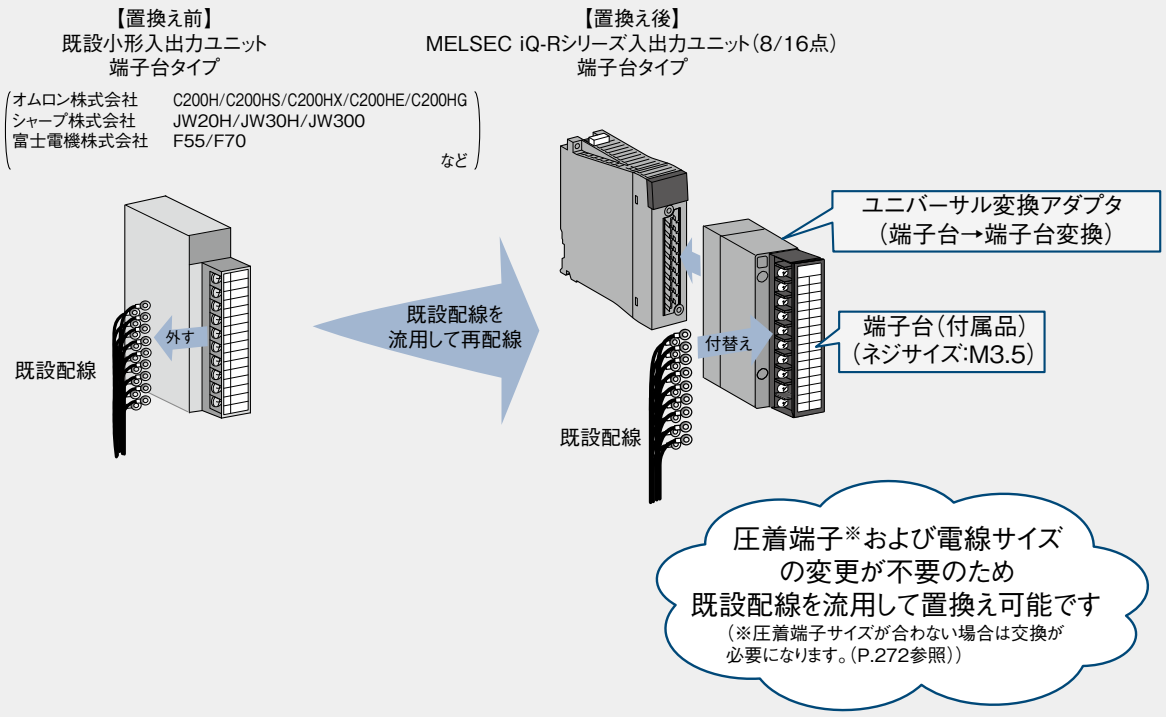


※置換え後の配線は、ユニバーサル変換アダプタを使用した際の端子番号・信号名に合わせて接続してください。
※8点/1コモン→16点/1コモンに変更になるなど1コモンあたりの点数の違いにより、接続機器(スイッチなど)側の接続変更が必要になる場合があります。
※接続不要となった配線の処理は、アキ端子に接続または絶縁処理を行ってください。

その他PLC（大形）からMELSEC iQ-Rシリーズに置換える場合



その他PLC（小形）からMELSEC iQ-Rシリーズに置換える場合



ユニバーサル変換アダプタ使用による置換え対象機種

●今まで変換アダプタを使用して置換えできなかった「MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ」「MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ」「SYSMAC Cシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ」「ニューサテライトJWシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ」「MEMOCON-SC GLシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ」の変換アダプタ未対応ユニットの置換えに活用いただけます。
●8点/1コモンに分離して使用されている既設の接続機器コモン分離ユニット「RX40PC6H/RX40NC6H」への置換えに活用いただけます。

POINT

MELSEC iQ-Rシリーズのユニット仕様が接続機器、設備の仕様を満足することを確認してください。

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	AX20、AX20-UL	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台
	AX21、AX21EU	AC200-240V	32点	RX28	AC100-240V	8点	4台
出力	AY15EU	AC240V/DC24V、2A/点、接点	24点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	2台
	AY20EU	AC100-240V、トライアック	16点	RY20S6	AC100-240V、トライアック	16点	1点
	AY40A	DC12/24V、0.3A、独立	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立接点	8点	2台
	AY60	DC24V（DC12/48V）、2A	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立接点	8点	2台
	AY60E	DC24V（DC12/48V）、2A	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立接点	8点	2台
	AY60EP	DC12/24V、2A	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立接点	8点	2台
	AY60S、AY60S-UL	DC24/48V（DC12V）、2A	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立接点	8点	2台

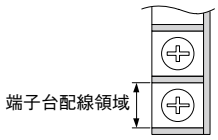
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様（※）	点　数	形　名	仕　様（※）	点　数	必要台数
入力	AX40、AX40-UL	DC12/24V、シンク、8点/コモン	16点	RX40PC6H	DC24V、プラスコモン、8点/コモン	16点	1台
	AX80、AX80-UL	DC12/24V、ソース、8点/コモン	16点	RX40NC6H	DC24V、マイナスコモン、8点/コモン	16点	1台
	AX80E						

※入力仕様　シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

参考：端子台仕様

項　目	置換え前 MELSEC-Aシリーズユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ （大形タイプ）
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.2mm



MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ

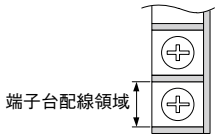
変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様（※）	点　数	形　名	仕　様（※）	点　数	必要台数	
出力	A1SY14EU	AC240V/DC24V、2A/点、接点	12点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	−
	A1SY18A A1SY18AEU	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	1台	
	A1SY28EU	AC100-240V、トライアック	8点	RY20S6	AC100-240V、トライアック	16点	1台	
	A1SY60	DC24V、2A/点、シンク	16点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	※1
	A1SY60E	DC5/12/24V、2A/点、ソース	16点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	
	A1SY68A	DC5/12/24/48V、2A/点、 シンク/ソース、全点独立	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、独立接点	8点	1台	
入出力混合	A1SX48Y18	入力：DC24V、シンク	入力8点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	−
		出力：AC240V/DC24V、2A/点、接点	出力8点	RY10R2	AC240V/DC24V、2A/点、接点	16点	1台	
	A1SX48Y58	入力：DC24V、シンク	入力8点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
		出力：DC12/24V、0.5A/点、シンク	出力8点	RY40NT5P	DC12/24V、0.5A/点、シンク	16点	1台	

※入力仕様　シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン
※1:トランジスタ出力から接点出力になります。

参考：端子台仕様

項　目	置換え前 MELSEC-AnSシリーズユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ （小形タイプ）
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.3mm



SYSMAC Cシリーズ 大形 →MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	C500-IA222	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	−
	C500-IA223	AC200-240V	32点	RX28	AC100-240V	8点	4台	
出力	C500-OC223	DC24V/AC250V、独立接点	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、接点	8点	2台	−
	C500-OD215	DC24V、50mA/点、独立接点	16点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A/点、接点	8点	2台	※2
	C500-OD212	DC12-24V、0.3A/点、ソース	32点	RY41PT1P	DC12/24V、0.1A/点、ソース	32点	1台	−
				RY41PT2H	DC5/12/24V、0.2A/点、ソース	32点	1台	
				RY40PT5P	DC12/24V、0.5A/点、ソース	16点	2台	

※2:出力形式がトランジスタ出力から接点出力に変更となります。

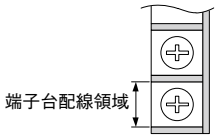
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数	
入力	C500-ID213	DC12/24V、シンク、8点/コモン	16点	RX40PC6H	DC24V、プラスコモン、8点/コモン	16点	1台	−

※入力仕様　シンク=プラスコモン

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



SYSMAC Cシリーズ 小形 (C200H、CS)→MELSEC iQ-Rシリーズ

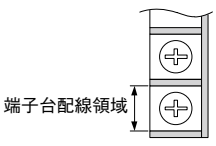
変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 小形 ユニット			置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	RX10	AC100-120V	16点	1台	―
	C200H-IA122	AC100～120V	16点					
	C200H-IA122V							
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台	
	C200H-IA222	AC200～240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	
	C200H-IA222V							
	C200H-ID001	無電圧接点入力　NPNタイプ出力用	8点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※1
	C200H-ID002	無電圧接点入力　PNPタイプ出力用						
	C200H-ID211	DC12～24V プラス/マイナスコモン共用	8点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	―
				RX70C4	DC5/12V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	C200H-IM211	AC/DC12～24V	8点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	※2
				RX70C4	DC5/12V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	RX10	AC100-120V	16点	1台	※3
	CS1W-IA211	AC200～240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台	―
	CS1W-ID211	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	RX40C7	DC24V　プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	RY20S6	AC100-240V 0.6A	16点	1台	―
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A	12点					
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点					
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OC221	最大AC250V/DC24V 2A	8点	RY10R2	AC240V/DC24V 2A	16点	1台	
	C200H-OC222	最大AC250V/DC24V 2A	12点					
	C200H-OC222N							
	C200H-OC222V							
	C200H-OC225	最大AC250V/DC24V 2A	16点					
	C200H-OC226							
	C200H-OC226N							
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	RY18R2A	AC240V/DC24V 2A 独立接点	8点	1台	
	C200H-OC224	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	8点					
	C200H-OC224N							
	C200H-OC224V							
	C200H-OD411	DC12～48V 1A シンク	8点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台	※4
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点					―
	C200H-OD212		16点					
	C200H-OD213	DC24V 2.1A シンク	8点					
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	RY40PT5P	DC12-24V 0.5A ソース	16点	1台	―
	C200H-OD216	DC5～24V 0.3A ソース	8点					※5
	C200H-OD217	DC5～24V 0.3A ソース	12点					
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点					―
	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A 独立接点	8点	RY18R2	AC240V/DC24V 2A 独立接点	8点	1台	※6
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A	16点	RY10R2	AC240V/DC24V 2A	16点	1台	
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	RY20S6	AC100-240V 0.6A	16点	1台	―
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点					
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク	16点	RY40NT5P	DC12-24V 0.5A シンク	16点	1台	
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース	16点	RY40PT5P	DC12-24V 0.5A ソース	16点	1台	

※1：配線側にて追加電源入力が必要です。
※2：定格入力電圧をAC12VまたはAC24Vで使用している場合は電源電圧を変更する必要があります。
※3：定格入力電圧をDC100～120Vで使用している場合は置換えできません。
※4：定格負荷電圧をDC48Vで使用している場合は電源電圧を変更する必要があります。
※5：定格負荷電圧をDC5Vで使用している場合は電源電圧を変更する必要があります。
※6：定格負荷電圧をDC120Vで使用している場合は置換えできません。

参考：端子台仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.3mm



ニューサテライトJWシリーズ 大形 →MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

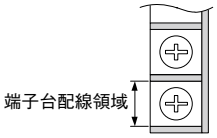
入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台
出力	JW-35S	DC12-24V、1A、ソース	32点	RY40PT5P	DC12/24V、0.5A、ソース	16点	2台
				RY41PT1P	DC12/24V、0.1A、ソース	32点	1台

コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	JW-12N	AC24V、DC12/24V、 プラス/マイナスコモン共用、8点/コモン	16点	RX40PC6H	DC24V、プラスコモン、8点/コモン	16点	1台
				RX40NC6H	DC24V、マイナスコモン、8点/コモン	16点	1台

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



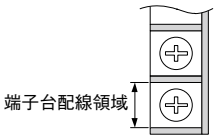
ニューサテライトJWシリーズ 小形 →MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 小形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	JW-203N	AC200/240V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台
	JW-201N	AC100/120V	8点	RX28	AC100-240V	8点	1台
	JW-202N	DC12/24V、 プラス/マイナスコモン共用	8点	RX40C7	DC24V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台
				RX70C4	DC5/12V、プラス/マイナスコモン共用	16点	1台
出力	JW-203S	AC100-240V、1A	8点	RY20S6	AC100-240V、0.6A	16点	1台
	JW-204S JW-204SA	AC250V/DC30V、2A、独立接点	8点	RY18R2A	AC240V/DC24V、2A、独立	8点	1台
	JW-215SA	DC5/12/24V、0.5A、ソース	16点	RY40PT5P	DC12/24V、0.5A、ソース	16点	1台

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 ニューサテライトJWシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (小形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.3mm



MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 →MELSEC iQ-Rシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

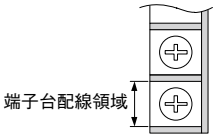
入力/出力	置換え前MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	RX28	AC100-240V	8点	2台
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	RX28	AC100-240V	8点	4台
出力	JAMSC-B2630	DC12/24V、2A、ソース	16点	RY40PT5P	DC12/24V、0.5A、ソース	16点	1台
	JAMSC-B2632	DC12/24V、0.3A、ソース	32点	RY41PT1P	DC12/24V、0.1A、ソース	32点	1台

コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC iQ-Rシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数
入力	JAMSC-B2601	DC12/24V、 プラス/マイナスコモン共用、8点/コモン	16点	RX40PC6H	DC24V、プラスコモン、8点/コモン	16点	1台
				RX40NC6H	DC24V、マイナスコモン、8点/コモン	16点	1台

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm

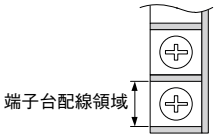


備 考

SYSMAC Cシリーズ 小形 (CQM1) →MELSEC iQ-RシリーズおよびMEMOCON GLシリーズ 小形 →MELSEC iQ-Rシリーズについては、端子台のネジサイズがM3からM3.5になり、既設の配線の圧着端子が取付けできないため、ユニバーサル変換アダプタの活用の対象外としています。

参考:端子台仕様

項　目	置換え前		置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (小形タイプ)
	SYSMAC Cシリーズ 小形(CQM1)ユニット	MEMOCON GLシリーズ 小形 ユニット		
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3	M3.5
端子台配線領域	6.4mm	7mm	6mm	7.3mm



大形タイプ

機種一覧表

ユニバーサル変換アダプタ（大形）

MELSEC iQ-Rシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 付属端子台	変換アダプタ 形状 MELSEC iQ-Rシリーズ
入力	RX10	ERNT-AQTB20-S1	端子台（※）（38点）	端子台（18点）
	RX28			
	RX40C7			
	RX70C4			
	RX40PC6H			
	RX40NC6H			
出力	RY10R2			
	RY18R2A			
	RY20S6			
	RY40NT5P			
	RY40PT5P			
入力	RX41C4	ERNT-1AR38TB	端子台（38点）	FCNコネクタ（40P）
	RX41C6HS			
	RX61C6HS			
	RX71C4			
出力	RY41NT2P			
	RY41PT1P			
	RY41NT2H			
	RY41PT2H			

※付属端子台は38点端子台となります。

POINT

下記のリニューアル機器による置換えシステムに使用できます。
・MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズリニューアル機器による置換えシステム
・SYSMAC Cシリーズ（大形）→ MELSEC iQ-Rシリーズ リニューアル機器による置換えシステム
・ニューサテライトJWシリーズ（大形）→MELSEC iQ-R シリーズ リニューアル機器による置換えシステム
・MEMOCON-SC GLシリーズ（大形）→MELSEC iQ-Rシリーズ リニューアル機器による置換えシステム

ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズリニューアル機器と同じ製品を使用します。
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意
ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4か所（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

変換アダプタ固定台（必須）

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズリニューアル機器と同じ製品を使用します。
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意
変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工3か所（M4ネジ）が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕　様	
ERNT-1AR12F	12スロット分変換アダプタ固定台	基本 / 増設ベースユニット
ERNT-1AR8F	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR5F	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-1AR10F3	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応基本ベースユニットR310B-HT用
ERNT-1AR10F6	10スロット分変換アダプタ固定台	高温対応増設ベースユニットR610B-HT用

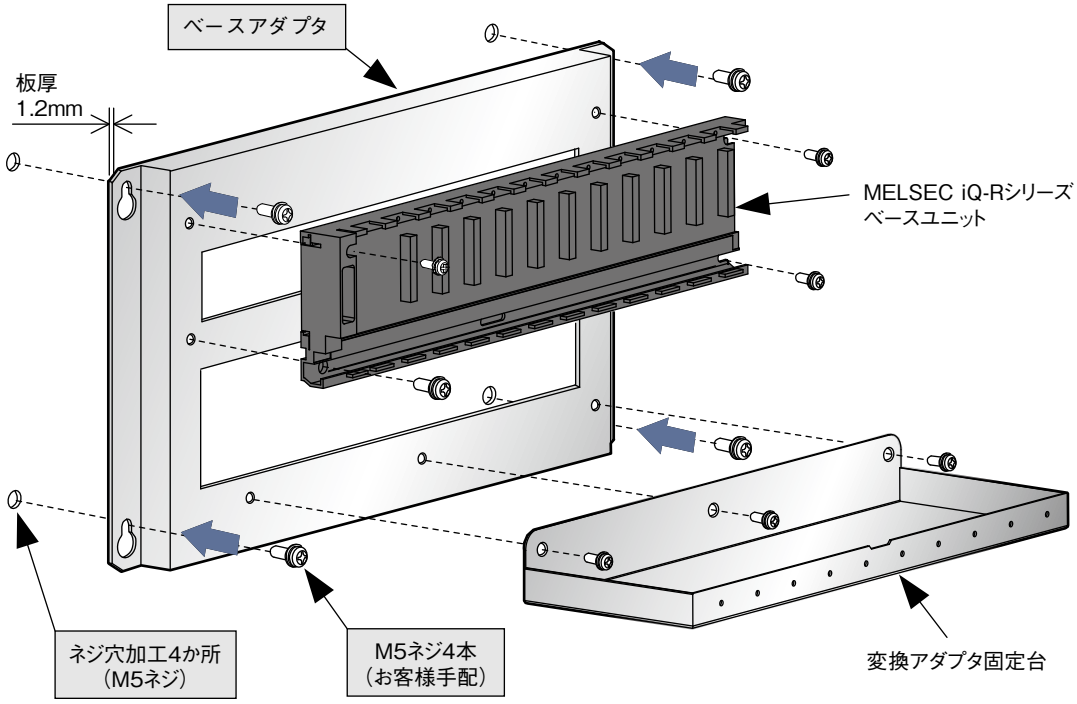
ベースアダプタ

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4か所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。
（なお、置換え前後で取付け寸法が4か所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



同じベースユニット（※1～※3）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC iQ-Rシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ (mm)
	12スロット	10スロット	8スロット	5スロット	3スロット		
ERNT-AQB38N	R312B					ERNT-1AR12F	480×240
		R310B-HT				ERNT-1AR10F3	
			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB35N			R38B（※1）			ERNT-1AR8F	382×240
				R35B		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB32N					R33B	ERNT-1AR5F	247×240
ERNT-AQB68N	R612B					ERNT-1AR12F	466×240
		R610B-HT				ERNT-1AR10F6	
			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	
ERNT-AQB65N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	352×240
				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	
ERNT-AQB58N			R68B（※2）			ERNT-1AR8F	411×240
ERNT-AQB55N				R65B（※3）		ERNT-1AR5F	297×240

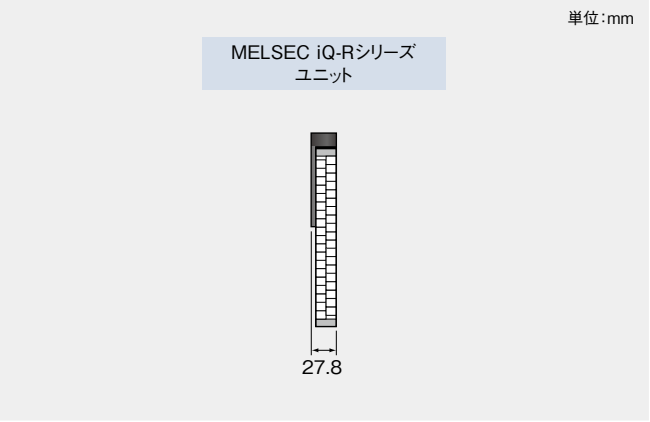
ご使用上の注意点

MELSEC iQ-Rシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC iQ-Rシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

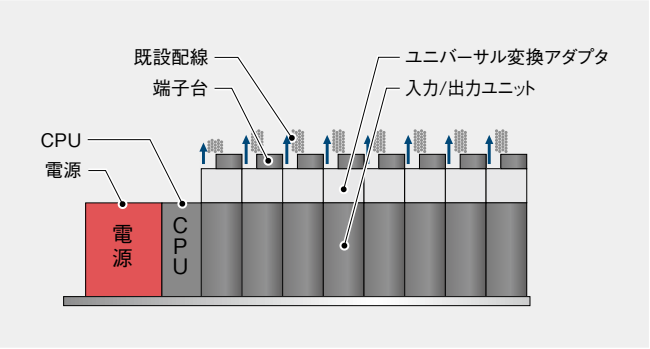
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が27.8mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

単位:mm

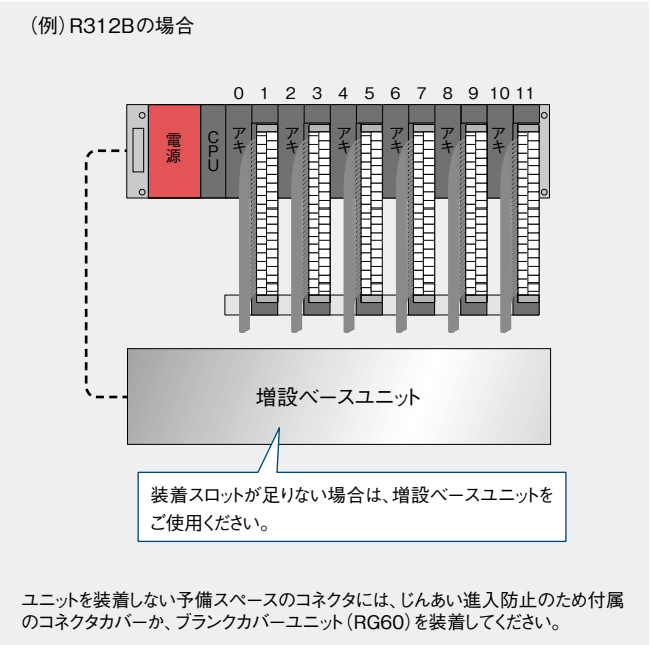


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R312Bの場合



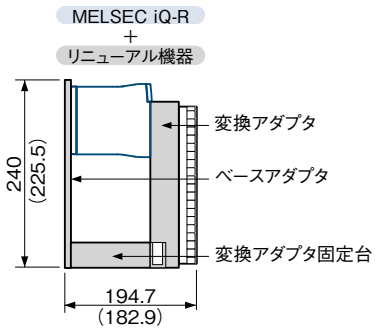
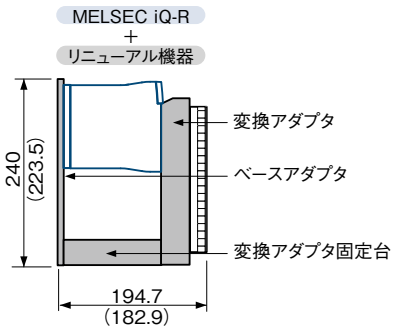
ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.23

奥行き

奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合はカッコ内の数値になります。

MELSEC iQ-R :MELSEC iQ-Rシリーズ

ユニバーサル変換アダプタ	ERNT-AQTB20-S1	ERNT-1AR38TB
寸法 奥行き	194.7mm (182.9mm)	194.7mm (182.9mm)
寸法 高さ	240mm (225.5mm)	240mm (223.5mm)
取付け図	単位：mm 	単位：mm 

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

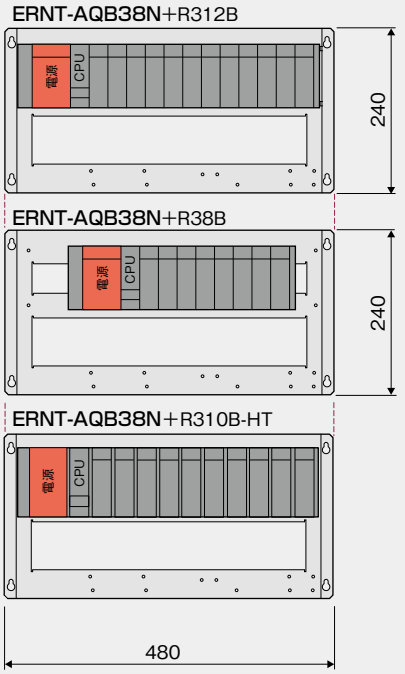
ユニバーサル変換アダプタをご使用の際には、必ず「変換アダプタ固定台」を使用してください。
また、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できる「ベースアダプタ」のご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC iQ-Rシリーズに置換えた際、ベースアダプタごとのユニット位置は以下のようになります。
ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

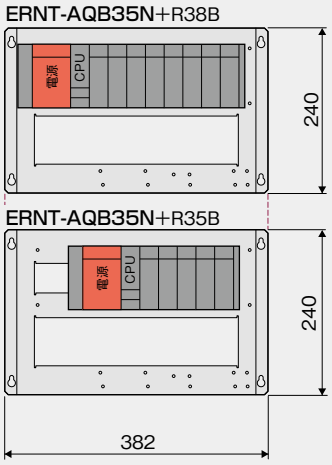
(1) ERNT-AQB38N

単位:mm



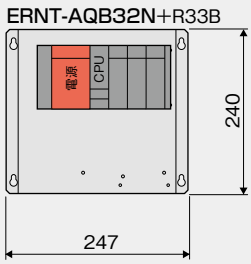
(2) ERNT-AQB35N

単位:mm



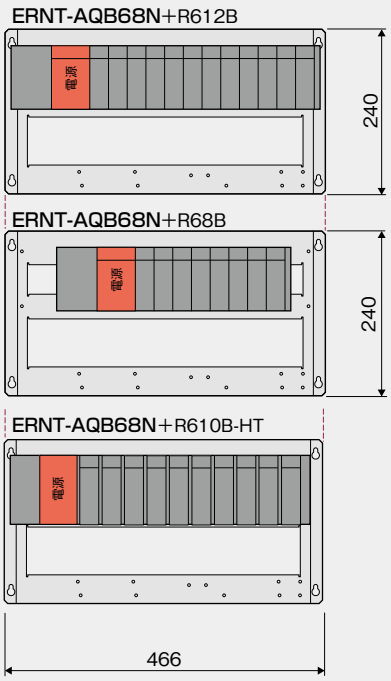
(3) ERNT-AQB32N

単位:mm



(4) ERNT-AQB68N

単位:mm

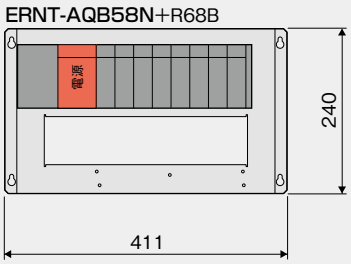


(5) ERNT-AQB65N

単位:mm

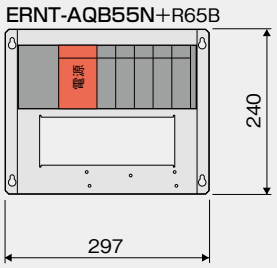
(6) ERNT-AQB58N

単位:mm



(7) ERNT-AQB55N

単位:mm



小形タイプ

機種一覧表

ユニバーサル変換アダプタ（小形）

MELSEC iQ-Rシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ

入力/出力	置換え後 MELSEC iQ-Rシリーズ ユニット形名	変換アダプタ		
		形　名	形　状	
			付属端子台	MELSEC iQ-Rシリーズ
入力	RX10	ERNT-ASQTB20	端子台（20点）	端子台（18点）
	RX28			
	RX40C7			
	RX70C4			
	RX40PC6H			
	RX40NC6H			
出力	RY10R2			
	RY18R2A			
	RY20S6			
	RY40NT5P			
	RY40PT5P			

POINT

下記のリニューアル機器による置換えシステムに使用できます。
・MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズリニューアル機器による置換えシステム
・SYSMAC Cシリーズ（C200H、CSシリーズのみ）→MELSEC iQ-Rシリーズ リニューアル機器による置換えシステム
・ニューサテライトJWシリーズ（小形）→MELSEC iQ-Rシリーズリニューアル機器による置換えシステム

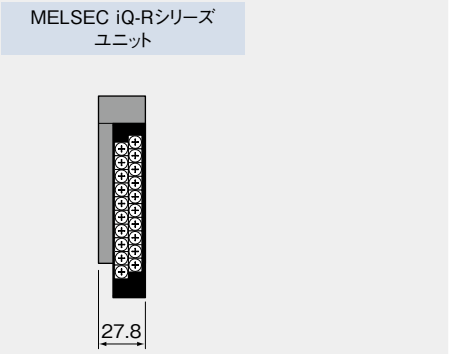
ご使用上の注意点

MELSEC iQ-Rシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC iQ-Rシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

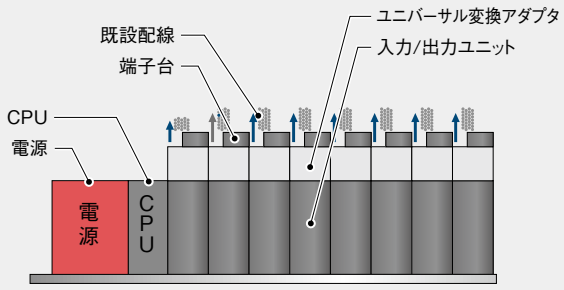
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が27.8mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

単位:mm

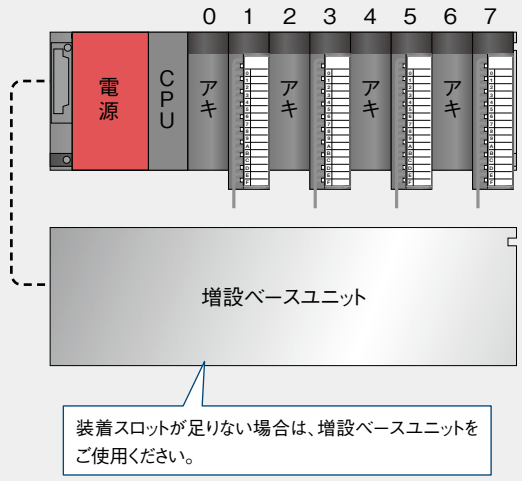


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) R38Bの場合

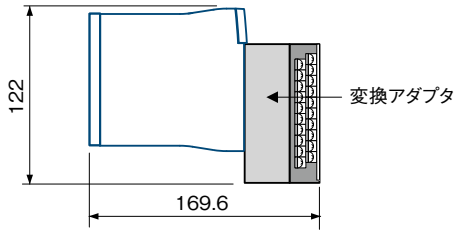
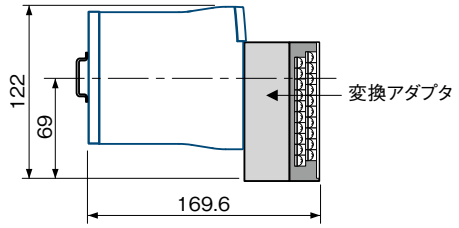


ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(RG60)を装着してください。

(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製高温対応ベースユニットの使用をご検討ください。→P.23

奥行き・高さ

MELSEC iQ-R :MELSEC iQ-Rシリーズ

寸法	奥行き	169.6mm
寸法	高さ	122mm
取付け図	盤面取付け	単位：mm MELSEC iQ-R ＋ リニューアル機器 
取付け図	DINレール取付け	単位：mm MELSEC iQ-R ＋ リニューアル機器 

MEMO

その他PLC→MELSEC-Qシリーズ「ユニバーサル変換アダプタ」

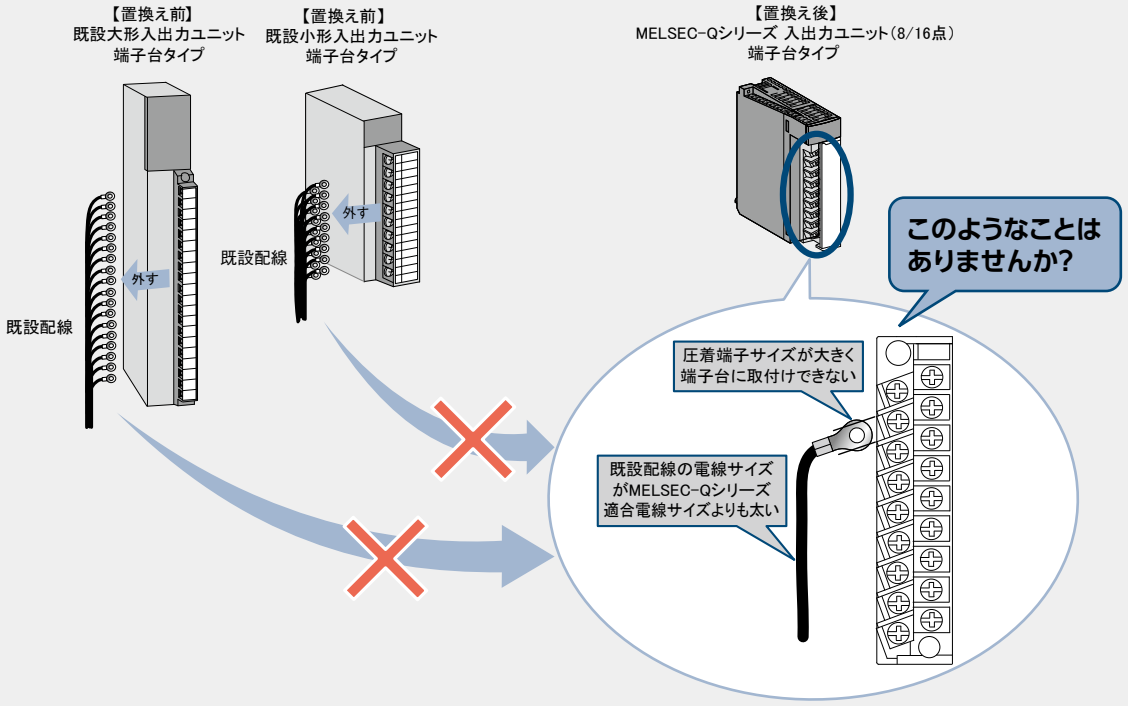
その他PLCからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■ユニバーサル変換アダプタ

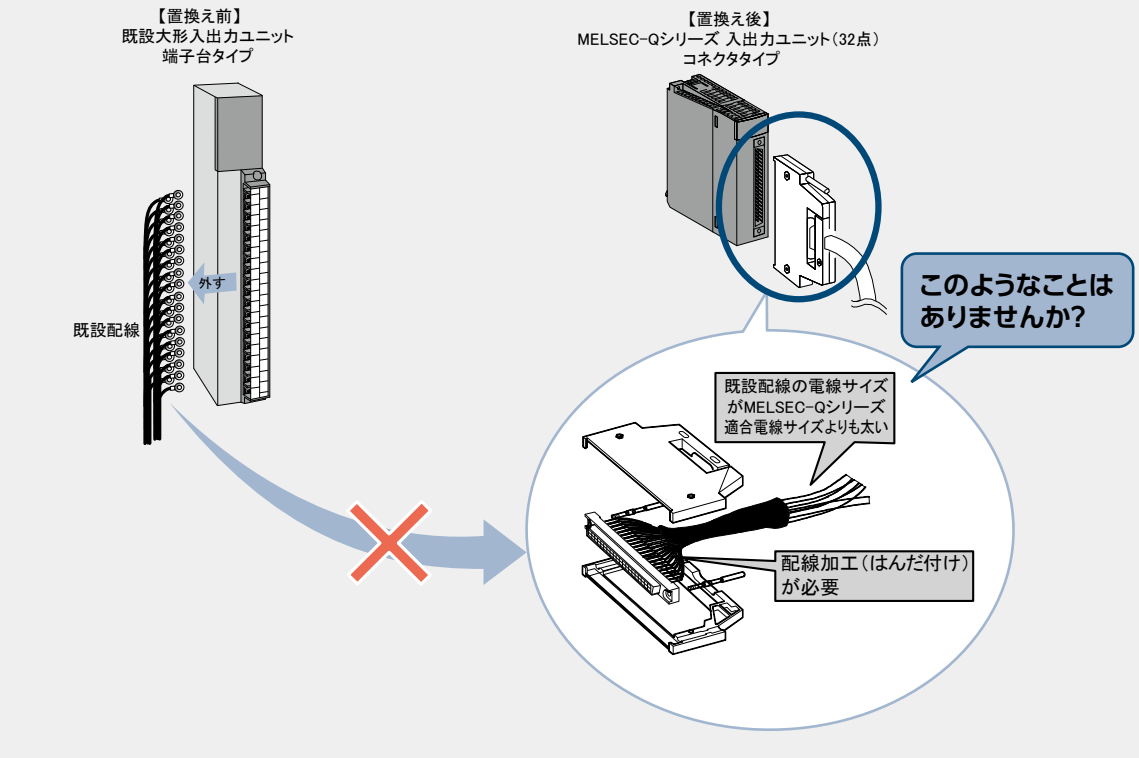
ユニバーサル変換アダプタを使用することにより、その他PLCから三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズへの置換え時、入力/出力ユニット（端子台タイプ）の再配線作業を負担軽減できます。

製品の概要

●その他PLC（端子台タイプ）からMELSEC-Qシリーズ（端子台タイプ）に置換えたいけど…



●その他PLC（端子台タイプ）からMELSEC-Qシリーズ（コネクタタイプ）に置換えたいけど…



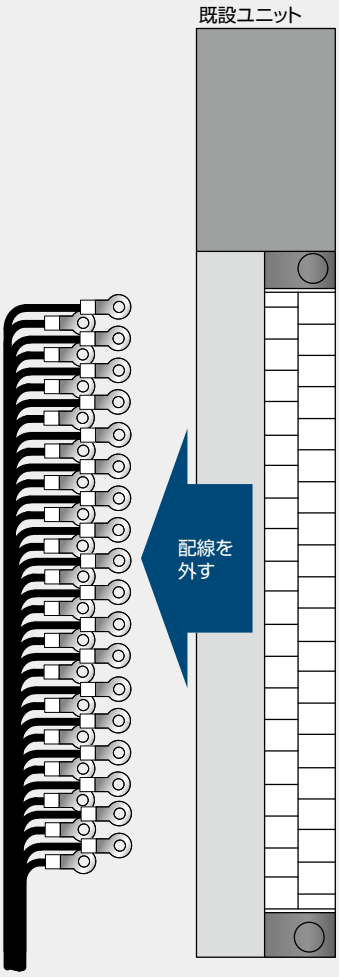
このようなとき「ユニバーサル変換アダプタ」の活用をご検討ください

既設接続機器の仕様がMELSEC-Qシリーズ入出力ユニットの仕様を満足していれば、置換え前PLCメーカに関係なく置換えにご使用いただけます!

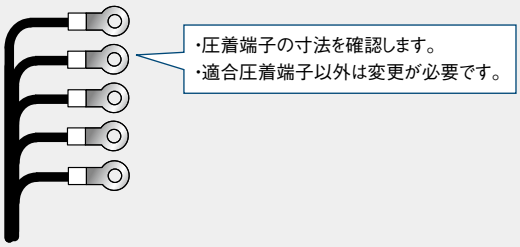
なお本製品（ユニバーサル変換アダプタ）は、お客様による再配線（端子台への既設配線付替え）を前提とした製品となります。

置換えの流れ

①既設ユニットの端子台から既設配線を外す



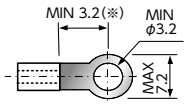
②圧着端子を確認



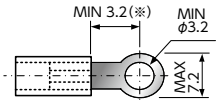
大形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位:mm

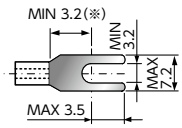
丸形裸圧着端子



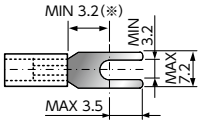
丸形絶縁付圧着端子



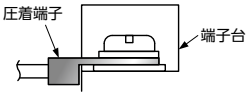
Y形裸圧着端子



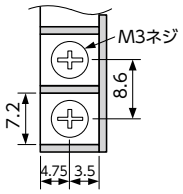
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 4.75」となります。



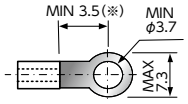
●端子台形状　単位:mm



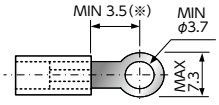
小形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位:mm

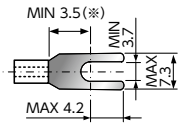
丸形裸圧着端子



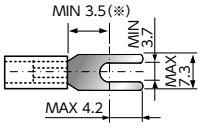
丸形絶縁付圧着端子



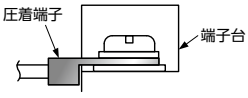
Y形裸圧着端子



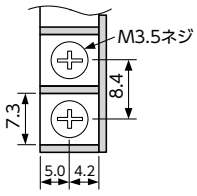
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 5.0」となります。



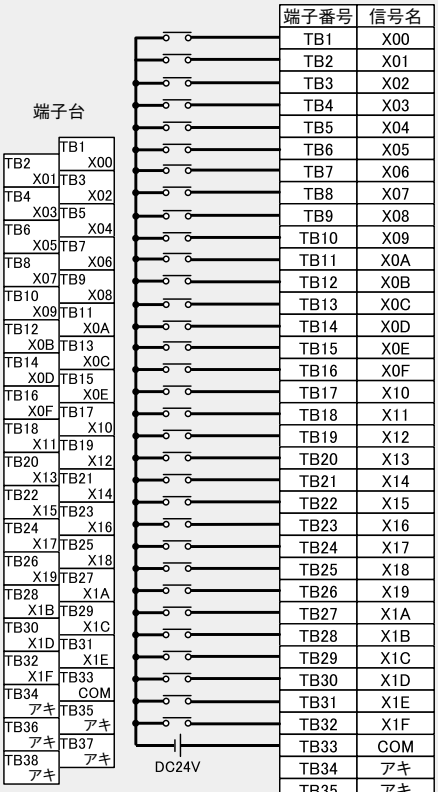
●端子台形状　単位:mm



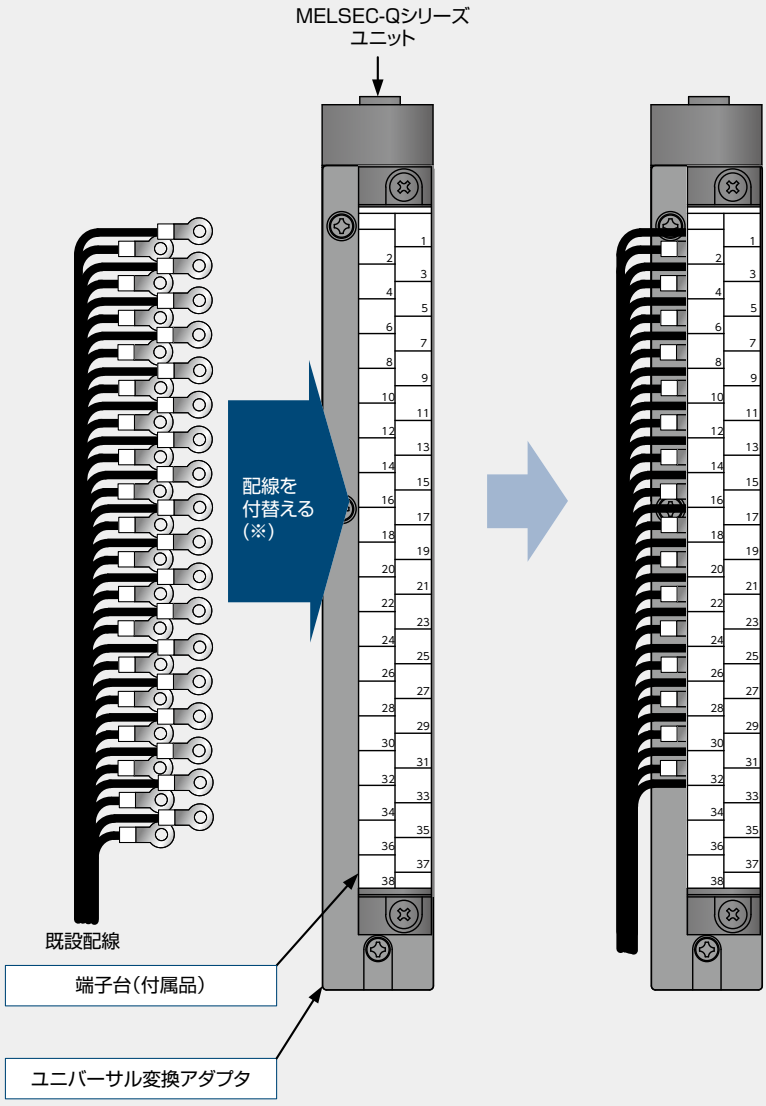
③ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付替え

使用する各MELSEC-Qシリーズユニットの外部接続図を確認のうえ、ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付替えます。

外部接続図(例)

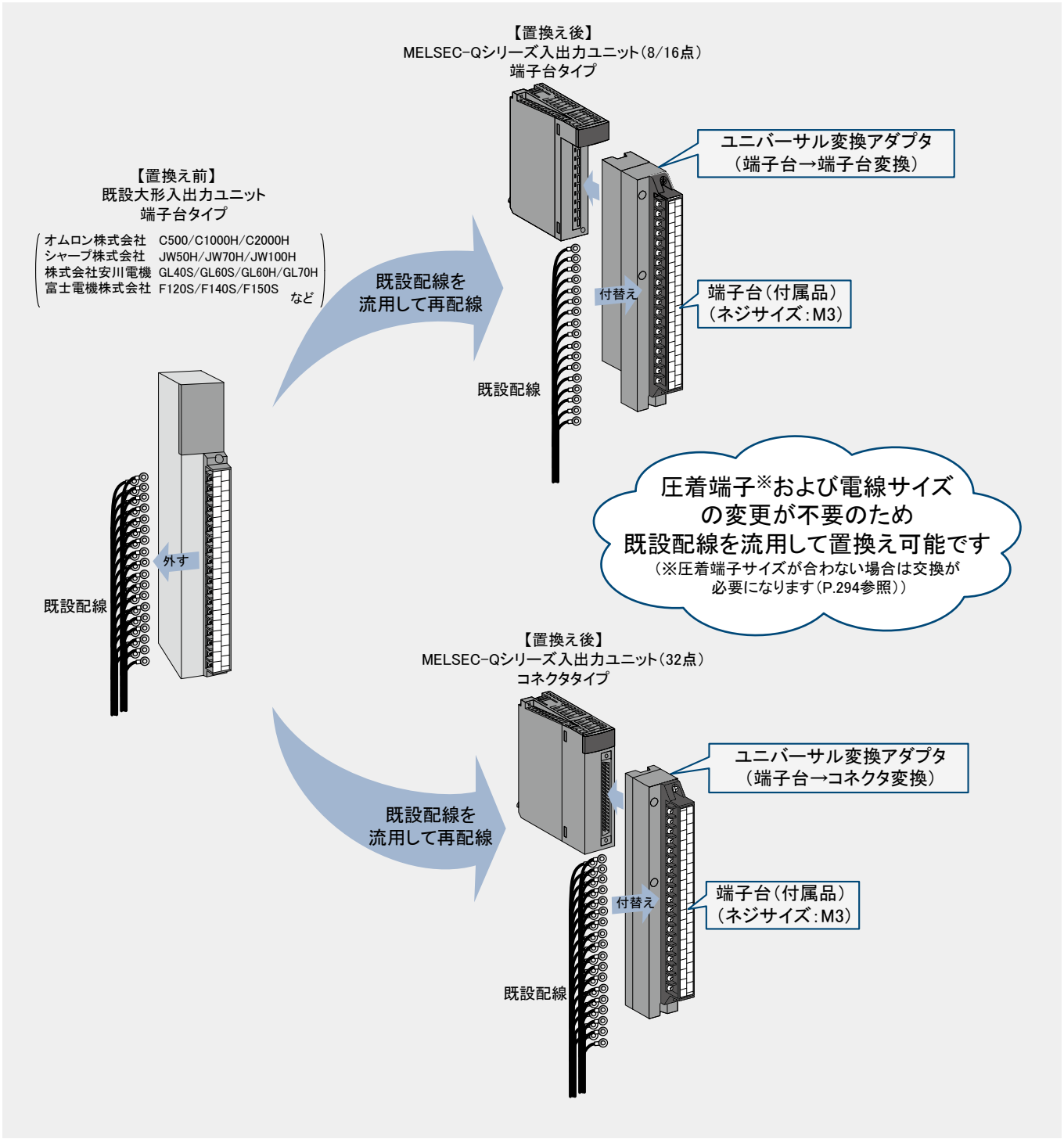


端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	X10
TB18	X11
TB19	X12
TB20	X13
TB21	X14
TB22	X15
TB23	X16
TB24	X17
TB25	X18
TB26	X19
TB27	X1A
TB28	X1B
TB29	X1C
TB30	X1D
TB31	X1E
TB32	X1F
TB33	COM
TB34	アキ
TB35	アキ
TB36	アキ
TB37	アキ
TB38	アキ



※置換え後の配線は、ユニバーサル変換アダプタを使用した際の端子番号・信号名に合わせて接続してください。
※8点/1コモン→16点/1コモンに変更になるなど1コモンあたりの点数の違いにより、接続機器(スイッチなど)側の接続変更が必要になる場合があります。
※接続不要となった配線の処理は、アキ端子に接続または絶縁処理を行ってください。

その他PLC（大形）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合

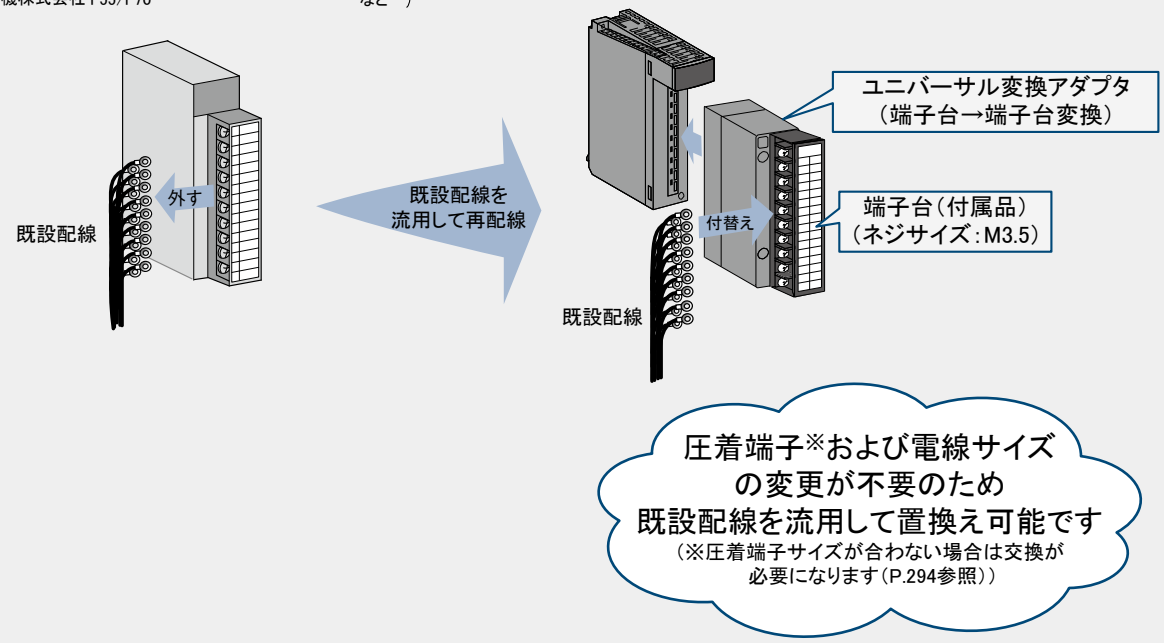


その他PLC（小形）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合

【置換え前】
既設小形入出力ユニット
端子台タイプ

（オムロン株式会社　C200H/C200HS/C200HX/C200HE/C200HG
シャープ株式会社　JW20H/JW30H/JW300
富士電機株式会社 F55/F70　など）

【置換え後】
MELSEC-Qシリーズ入出力ユニット（8/16点）
端子台タイプ



圧着端子※および電線サイズ
の変更が不要のため
既設配線を流用して置換え可能です
（※圧着端子サイズが合わない場合は交換が
必要になります（P.294参照））

ユニバーサル変換アダプタ使用による置換え対象機種

●今まで変換アダプタを使用して置換えできなかった「MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ」「MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC-Qシリーズ」「SYSMAC Cシリーズ→MELSEC-Qシリーズ」の変換アダプタ未対応ユニットの置換えに活用いただけます。
●8点/1コモンに分離して使用されている既設の接続機器をコモン分離ユニット「QX40H/QX70H/QX80H/QX90H」への置換えに活用いただけます。

POINT

MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続機器、設備の仕様を満足することを確認してください。

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	AX20(-UL)	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	AX21(EU)		32点				4台
	AX80	DC12/24V ソース	16点	QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン	16点	1台
	AX80E						
	AX81		32点	QX71		32点	
	AX81-S1	DC12/24V シンク/ソース	32点				
	AX31	DC12/24V AC12/24V	32点	QX41	DC24V		
				QX71	DC12V		
出力	AY20EU	AC100-240V	16点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	AY40A	DC12/24V 0.3A 独立		QY68A	DC5-24V 2A 独立	8点	2台
	AY60	DC24V/(12/48V) 2A					
	AY60E						
	AY60EP	DC12/24V 2A					
	AY60S(-UL)	DC24/48V/(12V) 2A					
	AY15EU	AC240V 2A	24点	QY10	AC240V 2A	16点	

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

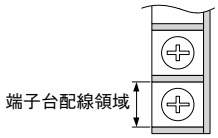
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-Aシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	AX40(-UL)	DC12/24V シンク 8点/コモン	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
	AX70(-UL)	DC5/12/24V シンク/ソース 8点/コモン		QX70H	DC5V プラスコモン 8点/コモン		
				QX90H	DC5V マイナスコモン 8点/コモン		
	AX80(-UL)	DC12/24V ソース 8点/コモン		QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		
	AX80E						

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 MELSEC-Aシリーズユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.2mm



MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

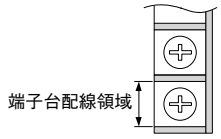
変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前MELSEC-AnSシリーズユニット				置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名		仕　様(※1)	点　数	形　名	仕　様(※1)	点　数	必要台数
入力	A1SX30		DC12/24V AC12/24V	16点	QX40	DC24V プラスコモン	16点	1台
出力	A1SY14EU		DC24V/AC240V	12点	QY10	DC24V/AC240V	16点	1台
	A1SY18A(EU)	※2		8点	QY18A		8点	
	A1SY68A	※2	DC5/12/24/48V シンク/ソース		QY68A	DC5-24V シンク/ソース		
複合入出力	A1SX48Y58		入力 DC24V シンク 出力 DC12/24V シンク	入力8点 出力8点	QX48Y57	入力 DC24V プラスコモン 出力 DC12-24V シンク	入力8点 出力7点	1台
	A1SX48Y18		入力 DC24V シンク 出力 DC24V/AC240V		QX40+QY10	入力 DC24V プラスコモン 出力 DC24V/AC240V	入力16点 出力16点	1台+1台

※1:入力仕様:シンク=プラスコモン
※2:ユニバーサル変換アダプタに付属の端子台への再配線は不要で、既設の端子台をユニバーサル変換アダプタに取付け可能です。(ただし、標準ベースユニットの場合、端子台に付属のカバーは使用します。)

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 MELSEC-AnSシリーズユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (小形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.3mm



SYSMAC Cシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	C500-IA222	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	C500-IA223		32点				4台
出力	C500-OC223	DC24V/AC250V 独立	16点	QY18A	DC24/AC240V 独立	8点	2台
	C500-OD215	DC24V シンク 独立		QY68A	DC5-24V シンク/ソース 独立		
	C500-OD212	DC12-24V ソース	32点	QY81P	DC12-24V ソース	32点	1台
	C500-OA223	AC250V	24点	QY22	AC100-240V	16点	2台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

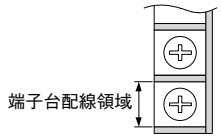
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	C500-ID112	DC5-12V シンク 8点/コモン	16点	QX70H	DC5V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
	C500-ID213	DC12-24V シンク 8点/コモン		QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン		

※入力仕様:シンク=プラスコモン

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



SYSMAC Cシリーズ（C200Hシリーズ）→MELSEC-Qシリーズ

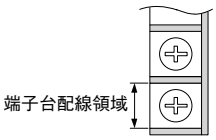
変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット				注意事項
	形　名	仕　様	点　数	形　名	仕　様	点　数	必要台数	
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100-120V	16点	1台	—
	C200H-IA122		16点					
	C200H-IA122V							
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	
	C200H-IA222		16点				2台	
	C200H-IA222V							
	C200H-ID001	無電圧接点入力 NPNタイプ出力用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	※1、2
	C200H-ID002	無電圧接点入力 PNPタイプ出力用		QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン			
	C200H-ID211	DC12～24V プラス/マイナスコモン共用		QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン			※3
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン			
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用			
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン			—
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン			
	C200H-IM211	AC/DC12～24V	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン			※3
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン			
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用			
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン			—
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン			
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	—
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A						
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点					
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OC221	最大AC250V/DC24V 2A	8点	QY10	AC240V DC24V			※3
	C200H-OC222		12点					—
	C200H-OC222N							
	C200H-OC222V							
	C200H-OC225		16点					
	C200H-OC226							
	C200H-OC226N							
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点		
	C200H-OC224		8点					
	C200H-OC224N							
	C200H-OC224V							
	C200H-OD411	DC12～48V 1A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点		※3
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点					—
	C200H-OD212		16点					
	C200H-OD213	DC24V 2.1A シンク	8点					※3
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	QY80	DC12-24V ソース			—
	C200H-OD216	DC5～24V 0.3A ソース						
	C200H-OD217		12点					
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点					

※1：配線側にて5Vまたは12Vの追加電源入力が必要です。
※2：DC5Vまたは12Vで使用する場合は、QX70（プラス/マイナスコモン共用）への置換えをご検討ください。
※3：DC24V/8点/プラスコモンの入力ユニット、およびDC12-24V/8点/シンクタイプの出力ユニットを使用の場合は、QX48Y57への置換えをご検討ください。

参考：端子台仕様

項　目	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.3mm



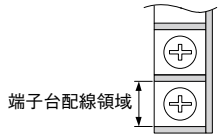
SYSMAC Cシリーズ(CSシリーズ)→MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前SYSMAC Cシリーズユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形 名	仕 様	点 数	形 名	仕 様	点 数	必要台数
入力	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台
	CS1W-IA211	AC200～240V		QX28	AC100-240V	8点	2台
	CS1W-ID211	DC24V プラス/マイナスコモン共用		QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン		
出力	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、 DC120V 0.1A 独立接点	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、 DC120V 0.1A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	QY22	AC100-240V		
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点				
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク		QY40P	DC12-24V シンク		
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース		QY80	DC12-24V ソース		

参考:端子台仕様

項 目	置換え前 SYSMAC Cシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.3mm



ニューサテライトJWシリーズ 大形 →MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形 名	仕 様(※)	点 数	形 名	仕 様(※)	点 数	必要台数
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
出力	JW-35S	DC12/24V ソース	32点	QY81P	DC12/24V ソース	32点	1台
アナログ出力	JW-2DA	DC0～±10V、 DC0～±20mA 11ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	Q62DAN	DC-10～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	
高速カウンタ入力	JW-2HC	50/20/15/8kpps 24ビットバイナリ	2 チャンネル	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2 チャンネル	

※入力仕様:ソース=マイナスコモン

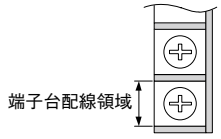
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形 名	仕 様(※)	点 数	形 名	仕 様(※)	点 数	必要台数
入力	JW-12N	DC12/24V、AC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		
	JW-32N	DC12/24V、AC24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		
	JW-34N	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

参考:端子台仕様

項 目	置換え前 ニューサテライトシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm



ニューサテライトJWシリーズ 小形 →MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 小形 ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-203N	AC200/240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台
	JW-201N	AC100/120V					
	JW-202N	DC12/24V		QX40、QX40-S1	DC24V プラスコモン	16点	
				QX70	DC12V プラスコモン		
出力	JW-203S	AC100/120V	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	JW-204S JW-204SA	AC250V/DC30V 2A 独立		QY18A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	
	JW-202S	DC5/12/24V シンク		QY68A	DC5-24V 2A 独立		
	JW-215SA	DC5/12/24V ソース	16点	QY80P	DC12/24V ソース	16点	
アナログ入力	JW-24AD	DC0～±10V、 DC0～±20mA 13ビット符号付バイナリ	4 チャンネル	Q64AD	DC-10～0～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	4 チャンネル	1台
アナログ出力	JW-22DA	DC0～±10V、 DC0～±20mA 15ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	Q62DAN	DC-10～+10V、 DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

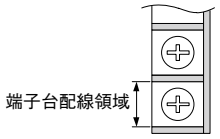
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 小形 ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様(※)	点　数	形　名	仕　様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

参考:端子台仕様

項　目	置換え前 ニューサテライトシリーズ 小形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (小形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7.2mm	6mm	7.3mm



MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 (2000シリーズI/O)→MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ未対応ユニット

入力/出力	置換え前MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 (2000シリーズI/O) ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形 名	仕 様(※)	点 数	形 名	仕 様(※)	点 数	必要台数
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点				4台
出力	JAMSC-B2912	AC100/200V DC24V	32点	QY10	AC100-200V DC24V	16点	2台
	JAMSC-B2624	DC5V シンク	64点	QY41H	DC5/12/24V シンク	32点	
	JAMSC-B2630	DC12/24V ソース	16点	QY80	DC12/24V ソース	16点	1台
	JAMSC-B2632	DC12/24V ソース	32点	QY81P		32点	

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

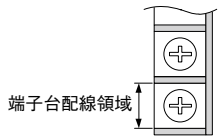
コモン分離ユニット

入力/出力	置換え前ニューサテライトJWシリーズ 大形 ユニット			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形 名	仕 様(※)	点 数	形 名	仕 様(※)	点 数	必要台数
入力	JAMSC-B2601	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		
	JAMSC-B2603	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン		2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン		

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

参考:端子台仕様

項 目	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 ユニット	置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (大形タイプ)
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3
端子台配線領域	7.3mm	6mm	7.2mm

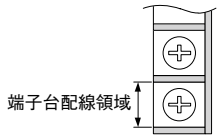


備 考

SYSMAC Cシリーズ 小形 (CQM1)→MELSEC-QシリーズおよびMEMOCON GLシリーズ 小形→MELSEC-Qシリーズについては、端子台のネジサイズがM3からM3.5になり、既設の配線の圧着端子が取付けできないため、ユニバーサル変換アダプタの活用の対象外としています。

参考:端子台仕様

項 目	置換え前		置換え後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ (小形タイプ)
	SYSMAC Cシリーズ 小形 (CQM1) ユニット	MEMOCON GLシリーズ 小形 ユニット		
端子台ネジサイズ	M3	M3	M3	M3.5
端子台配線領域	6.4mm	7mm	6mm	7.3mm



大形タイプ

機種一覧表

ユニバーサル変換アダプタ（大形）

MELSEC-Qシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力/出力	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ		
		形　名	形　状	
			付属端子台	MELSEC-Qシリーズ
入力	QX10	ERNT-AQTB20	端子台（※）（38点）	▶ 端子台（18点）
	QX28			
	QX40			
	QX40-S1			
	QX40H			
	QX50			
	QX70			
	QX70H			
	QX80			
	QX80H			
	QX90H			
出力	QY10			
	QY18A			
	QY40P			
	QY50			
	QY68A			
	QY70			
	QY80			
入出力混合	QX48Y57			
出力	QY22	ERNT-AQTB20-S1	端子台（※）（38点）	▶ 端子台（18点）
入力	QX41	ERNT-AQTB38	端子台（38点）	▶ FCNコネクタ（40P）
	QX41-S1			
	QX41-S2			
	QX71			
出力	QY41P			
	QY41H			
	QY71			
入力	QX81	ERNT-AQTB38-E	端子台（38点）	▶ D-Subコネクタ（37P）
	QX81-S2			
出力	QY81P			

※付属端子台は38点端子台となります。

POINT

下記のリニューアル機器による置換えシステムに使用できます。
・MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器による置換えシステム
・SYSMAC Cシリーズ（大形）→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器による置換えシステム
・ニューサテライトJWシリーズ（大形）→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器による置換えシステム
・MEMOCON-SC GLシリーズ（大形）→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器による置換えシステム

ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

ご注意
●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4か所（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。

同じベースユニット（※1～※5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（※1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（※1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（※5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（※5）	ERNT-AQF3	183×240

変換アダプタ固定台（必須）

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要です。

ご注意
●変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2か所（M4ネジ）が必要です。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕様
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台

変換アダプタ固定台 (必須)

仕様

変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要です。また、1ベースユニットあたり1個必要です。
MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。

変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	MELSEC-Qシリーズユニット3スロット分の変換アダプタ固定台

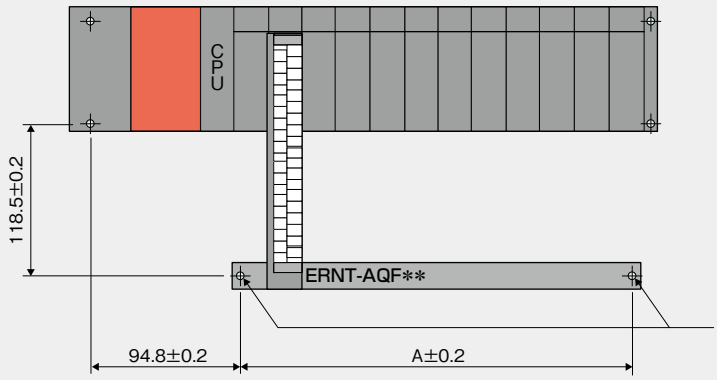
ベースアダプタを使用しない場合

ベースアダプタを使用しない場合は、下記のように変換アダプタ固定台を取付けるためのネジ穴加工（M4×2か所）が必要です。
なお、変換アダプタ固定台は必ず取付けてください。

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位：mm



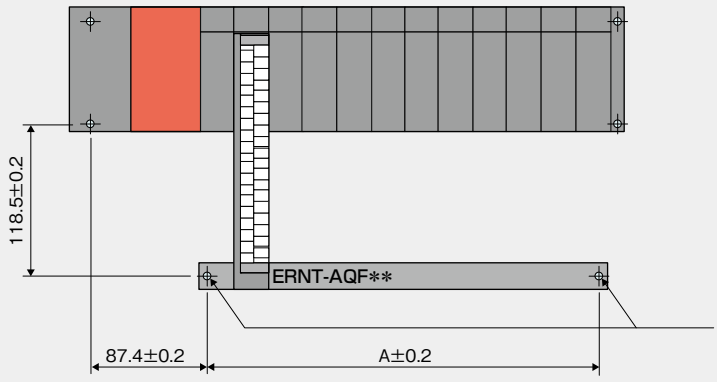
変換アダプタ固定台	A (mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2か所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65B、Q63Bの場合

単位：mm

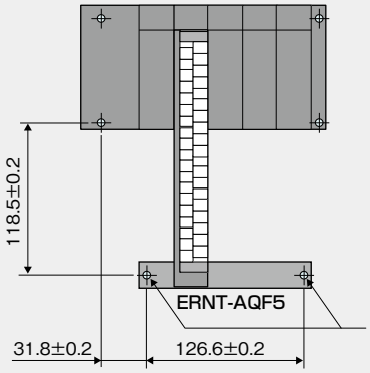


変換アダプタ固定台	A (mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2か所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

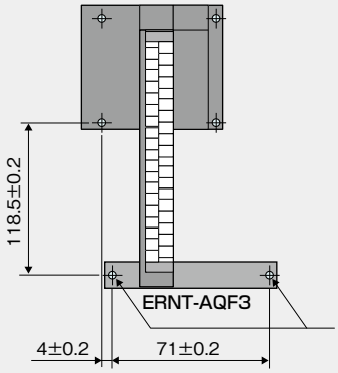
単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2か所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q52Bの場合

単位:mm



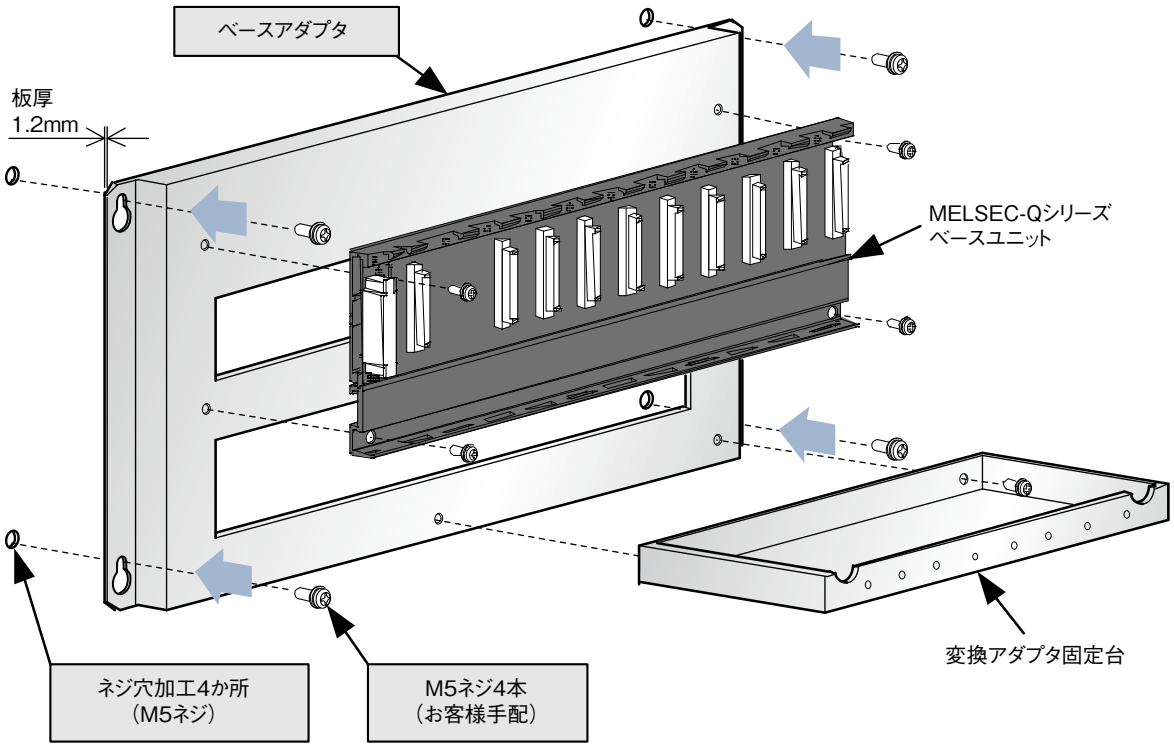
この位置にネジ穴加工（M4×2か所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

ベースアダプタ

仕様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器と同じ製品を使用します。

ご注意
●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4か所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要です。



同じベースユニット（＊1～＊5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（＊1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（＊1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（＊2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（＊2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（＊3） Q55B（＊4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（＊5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（＊2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（＊3） Q55B（＊4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（＊5）	ERNT-AQF3	183×240

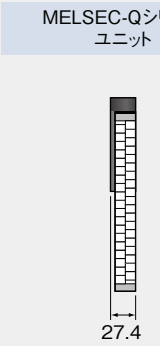
ご使用上の注意点

MELSEC-Qシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

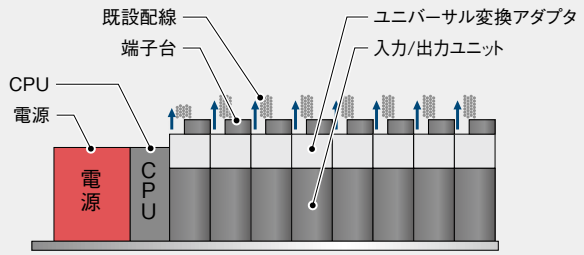
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が27.4mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

単位:mm

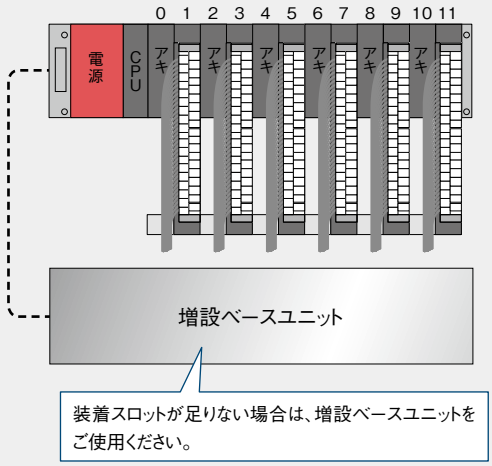


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) Q312Bの場合



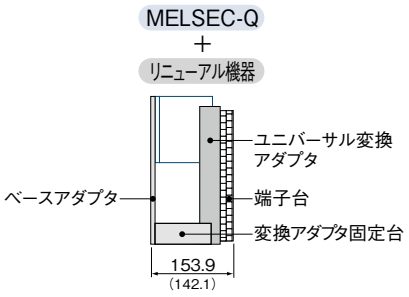
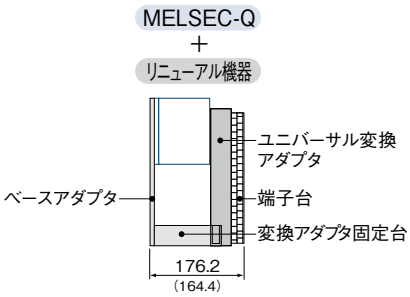
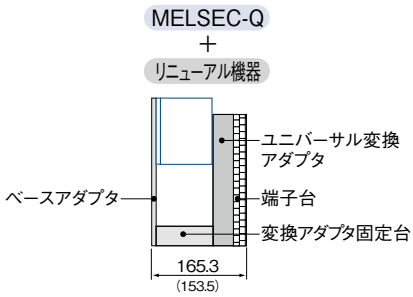
ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 前記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットの使用をご検討ください。→P.24

奥行き

奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

MELSEC-Q：MELSEC-Qシリーズ

ユニバーサル変換アダプタ	ERNT-AQTB20	ERNT-AQTB20-S1	ERNT-AQTB38 ERNT-AQTB38-E
寸法 奥行き	153.9mm （142.1mm）	176.2mm （164.4mm）	165.3mm （153.5mm）
取付け図	単位：mm 	単位：mm 	単位：mm 

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

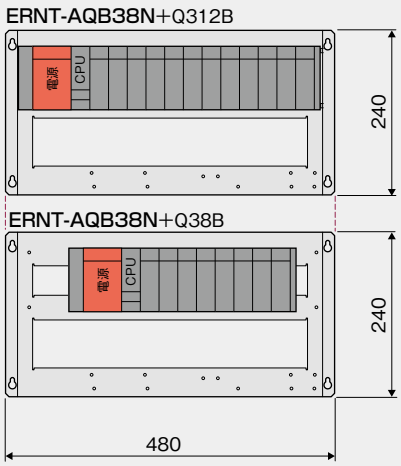
ユニバーサル変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台を使用してください。
また、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できるベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-Qシリーズに置換えた際、ベースアダプタごとのユニット位置は以下のようになります。
ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

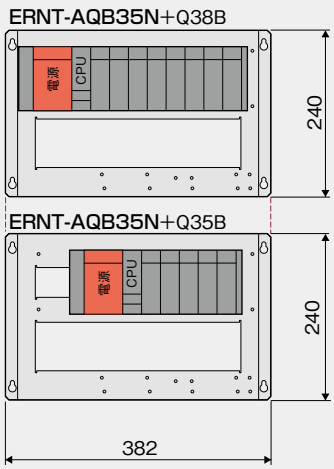
(1) ERNT-AQB38N

単位:mm



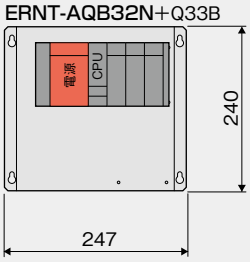
(2) ERNT-AQB35N

単位:mm



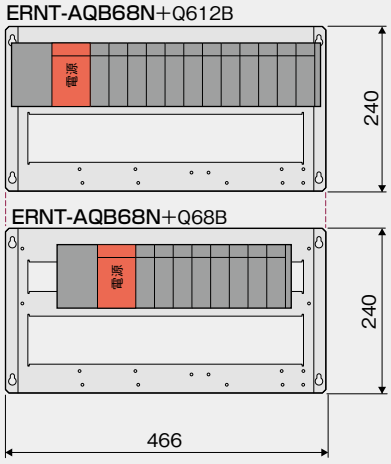
(3) ERNT-AQB32N

単位:mm



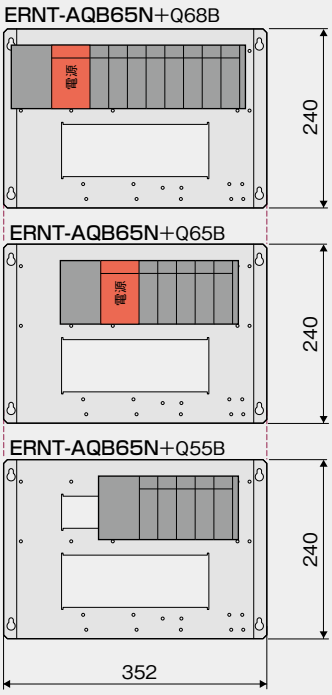
(4) ERNT-AQB68N

単位:mm



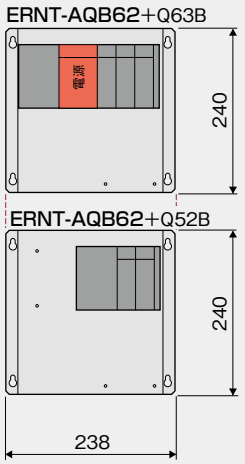
(5) ERNT-AQB65N

単位:mm



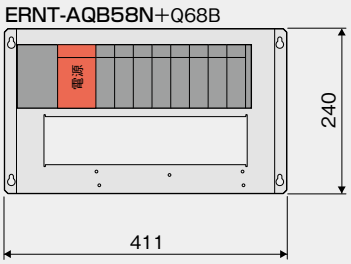
(6) ERNT-AQB62

単位:mm



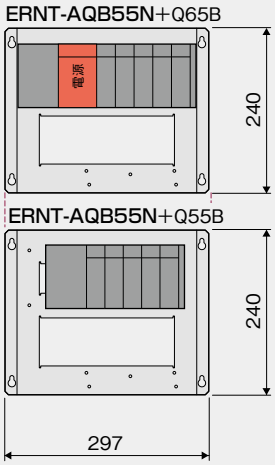
(7) ERNT-AQB58N

単位:mm



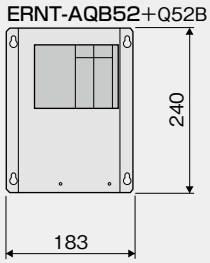
(8) ERNT-AQB55N

単位:mm



(9) ERNT-AQB52

単位:mm



小形タイプ

機種一覧表

ユニバーサル変換アダプタ（小形）

MELSEC-Qシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力/出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）にも取付け可能）

入力/出力	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ		
		形　名	形　状	
			付属端子台	MELSEC-Qシリーズ
入力	QX10	ERNT-ASQTB20	端子台（20点） ▶	端子台（18点）
	QX28			
	QX40			
	QX40-S1			
	QX40H			
	QX50			
	QX70			
	QX70H			
	QX80			
	QX80H			
	QX90H			
出力	QY10			
	QY18A			
	QY22			
	QY40P			
	QY50			
	QY68A			
	QY70			
	QY80			
入出力混合	QX48Y57			

POINT

下記のリニューアル機器による置換えシステムに使用できます。
・MELSEC-AnSシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器による置換えシステム
・SYSMAC Cシリーズ（C200H、CS シリーズのみ）→MELSEC-Qシリーズ リニューアル機器による置換えシステム
・ニューサテライトJWシリーズ（小形）→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器による置換えシステム

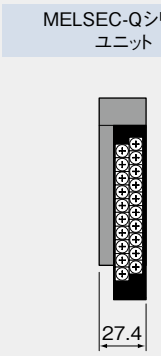
ご使用上の注意点

MELSEC-Qシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

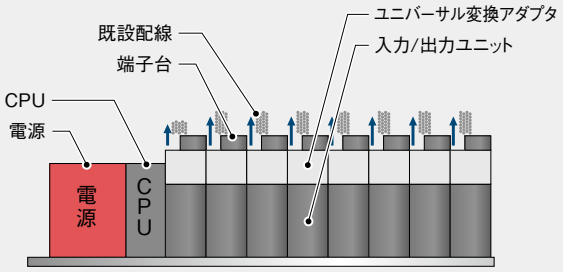
ユニット幅

(1) ユニット幅寸法が27.4mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

単位:mm

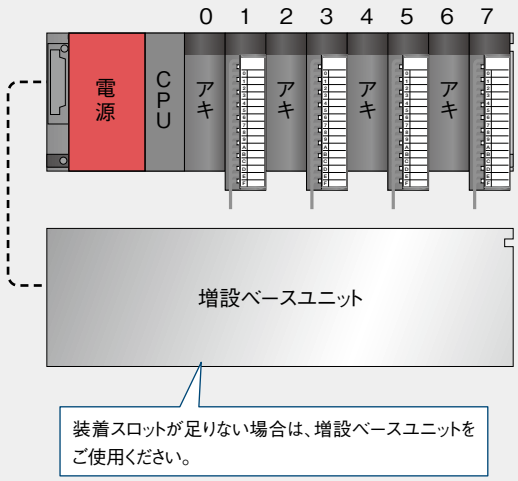


(2) 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3) 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例) Q38Bの場合

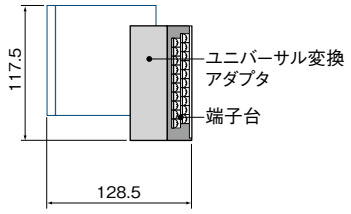
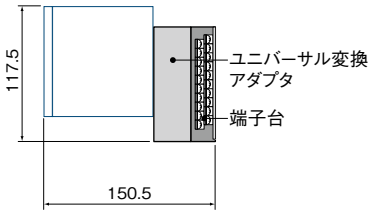


ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4) 上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットの使用をご検討ください。→P.25

奥行き・高さ

MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

MELSEC-Qシリーズユニット	QY22以外	QY22
寸法 奥行き	128.5mm	150.5mm
寸法 高さ	117.5mm	117.5mm
取付け図	単位：mm MELSEC-Q ＋ リニューアル機器  	単位：mm MELSEC-Q ＋ リニューアル機器 

リニューアル機器編

システムリニューアル

For systems

INDEX

システムリニューアル P.320

関連システム

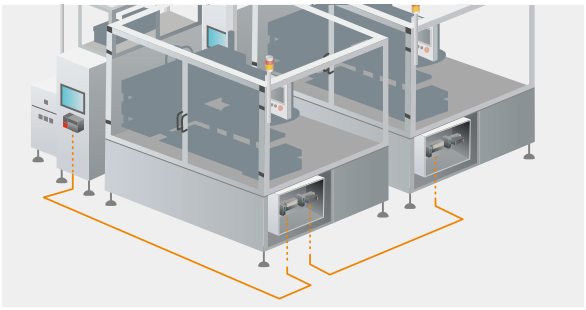
システムリニューアル

装置の更新において、ソフトウェアはブラックボックスが多く、更新したくとも更新できない古い装置が残っていないでしょうか。
当社では、豊富な知識と経験をベースに三菱電機株式会社製 シーケンサ、サーボシステム、インバータ、GOTの更新を一括対応します。

当社の強み

check-01

三菱電機株式会社の技術パートナーとして培ってきた技術力・設計力があります。
特に装置更新でネックとなりやすい駆動制御システムに対し、当社は、今までに多くの更新実績を持っているため、サーボシステム、インバータの更新も一括で対応できます。



check-02

当社のリニューアル機器を活用し、さまざまなシステムリニューアルを提案すると共に、当社がそのシステムのハードウェア、ソフトウェアの設計・製作から現地調整を対応いたします。

■プログラムコンバータを活用し、他社から三菱へ切替え
■リニューアル機器を活用し、MELSEC-A→MELSEC iQ-Rへ更新

更新課題に対する当社システム対応例

こんなことでお困りではないですか?

- 改造するにも、中身がブラックボックスになっていてわからない
- トラブルが発生しても、すぐに対応してもらえない
- 長時間ラインの稼動を止めたくない

三菱電機株式会社製機器への置換えをサポートします!

調査分析	企画提案	設計製作	立上げ調整	保守サービス
経験豊富な技術者が調査分析段階からお手伝いします。	ニーズに応じた最適システムをご提案します。(企画段階からのご相談も可能です。)	最新技術によるシステム設計、製作。 ・ハードウェア設計 ・ソフトウェア設計 ・ドキュメント制作	現地での工事・試運転をサポート。 作業者への教育なども実施可能です。	保守、定期点検時のサポートはもちろん、更新計画の立案もサポートします。

システムリニューアル例

導入例 1　包装機の制御盤更新

導入背景

生産終了、保守期間が終了したMELSEC-AシリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの更新をご希望。しかし、何十年も前に組んだプログラムであり、ブラックボックス化。既存プログラムの解析から始めなければならず、更新をためらっていた。

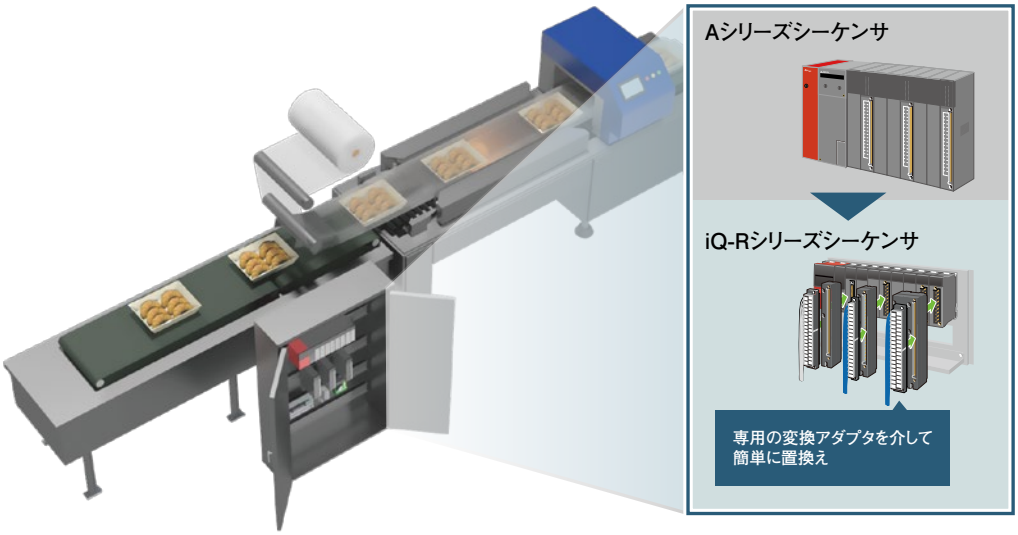
システム対応範囲

・更新提案
・制御盤更新
・S/W設計・製作
・現地調整

解決ポイント

シーケンサ用リニューアル機器で、これまで配線工数がかかっていたユニットの取りはずし、取付けの工程を2アクションで置換えできます。

詳細はP.8～P.9



リニューアル機器編

ネットワークリニューアル

（CC-LinkからCC-Link IE TSNへの段階的な置換え）

Network upgrade

INDEX

ネットワークブリッジ(CC-Link IE TSN−CC-Linkブリッジユニット)

特長	P.324
機種一覧表	P.330
仕様	P.331

ネットワークブリッジ（CC-Link IE TSN−CC-Linkブリッジユニット）

CC-Link IE TSNに、CC-Link機器の接続が可能です。

P. 325

CC-Link IE TSNにCC-Link機器を接続

CC-Link機器をCC-Link IE TSN側で制御が可能です。

P. 325

CC-Link IE TSNへの段階的な置換え

既存の機器/配線/稼動データを流用可能です。

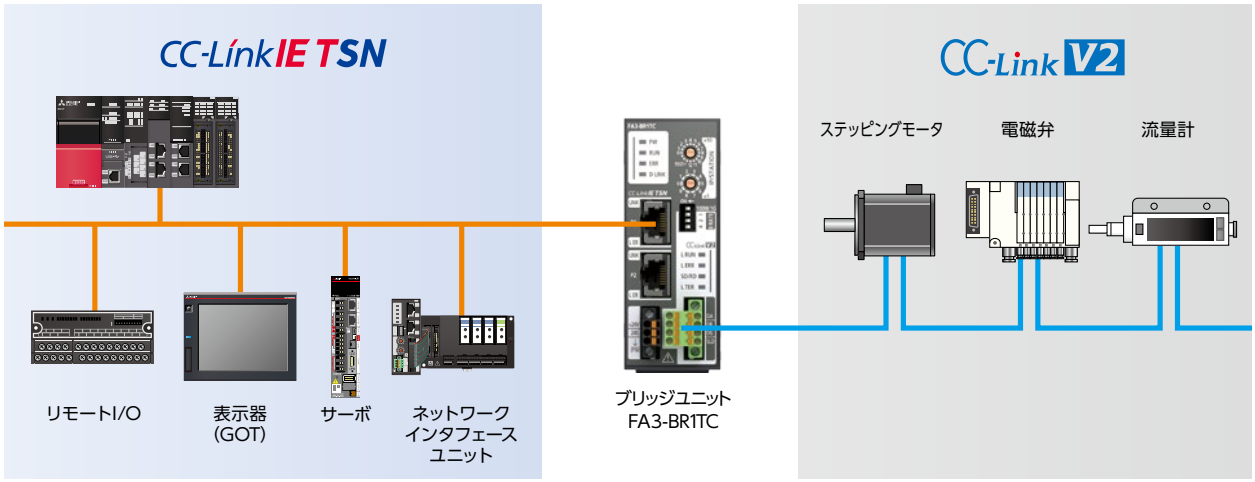
P. 326

立上げ支援

エンジニアリングツールによる「簡単設定」、「ネットワーク状態の確認」ができるため、生産現場の立上げをサポートします。

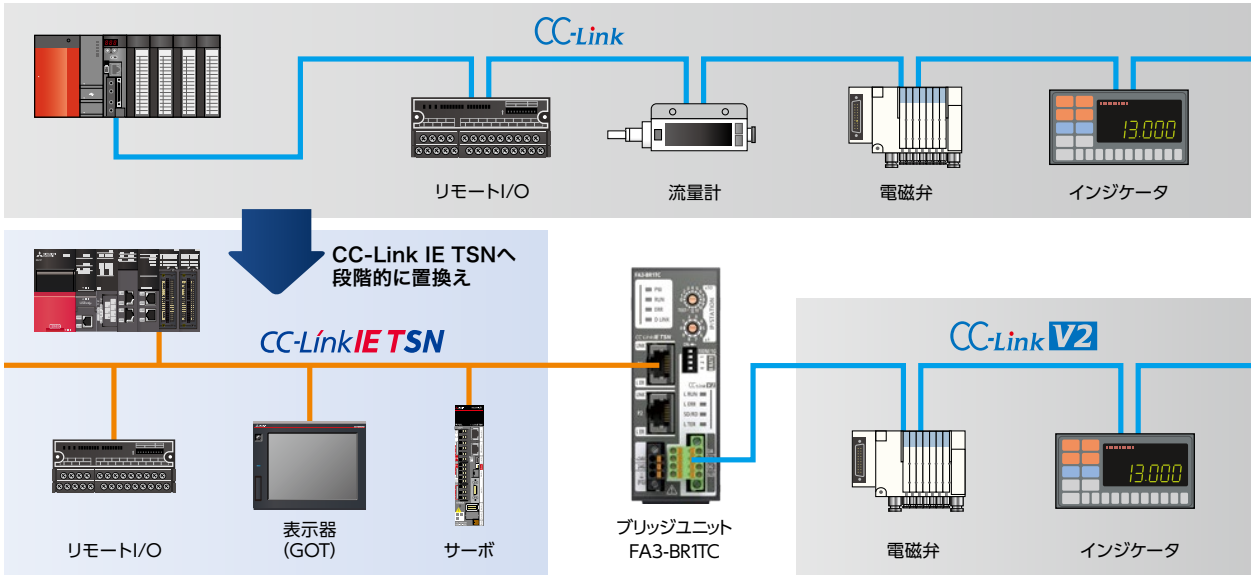
CC-Link IE TSNにCC-Link機器を接続

・CC-Linkのマネージャ局が不要
・CC-Link I E TSN にラインアップのない機器を制御可能（CC-Link最大64局）
・CC-Link IE TSNの認証Class B Ver.2.0に対応



CC-Link IE TSNへの段階的な置換え

・既存の機器/配線をそのまま使用することでコストを抑え、工期を短縮
・機器の再利用でプラスチック使用量を削減
・新旧ライン/設備のデータを収集し、三菱電機株式会社製MELSOFT GEMINIで検証
・旧ライン/設備の稼動データを新ライン/設備に流用



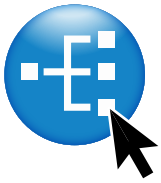
立上げ支援：エンジニアリングツールによる簡単設定

複数のエンジニアリングツールを立上げ、個々に設定する必要はありません。
CC-Link IE TSNもCC-Linkもワンツールで設定できます。

STEP.1　ツールを起動

三菱電機株式会社製
GX Works3を起動

STEP.2　ユニット追加



三菱電機株式会社製 GX Works3を起動し、CC-Link IE TSNの構成画面にある
「ユニット一覧」からユニットを選定します。

＊表示されない場合は、CSP+のインポートが必要です。

STEP.3　パラメータ設定

・プログラミング不要で、CC-Link IE TSN、CC-Linkのパラメータ設定が可能です。
・複数のエンジニアリングツールを立ち上げる必要はありません。
・CC-Linkシステムの自動検出機能に対応しています。

立上げ支援：エンジニアリングツールでネットワーク状態の確認

立上げ時のネットワーク接続状況をワンツールで確認可能です。

STEP.1　ツールを起動

三菱電機株式会社製
GX Works3を起動

STEP.2　構成画面を表示

STEP.3　接続状況を確認

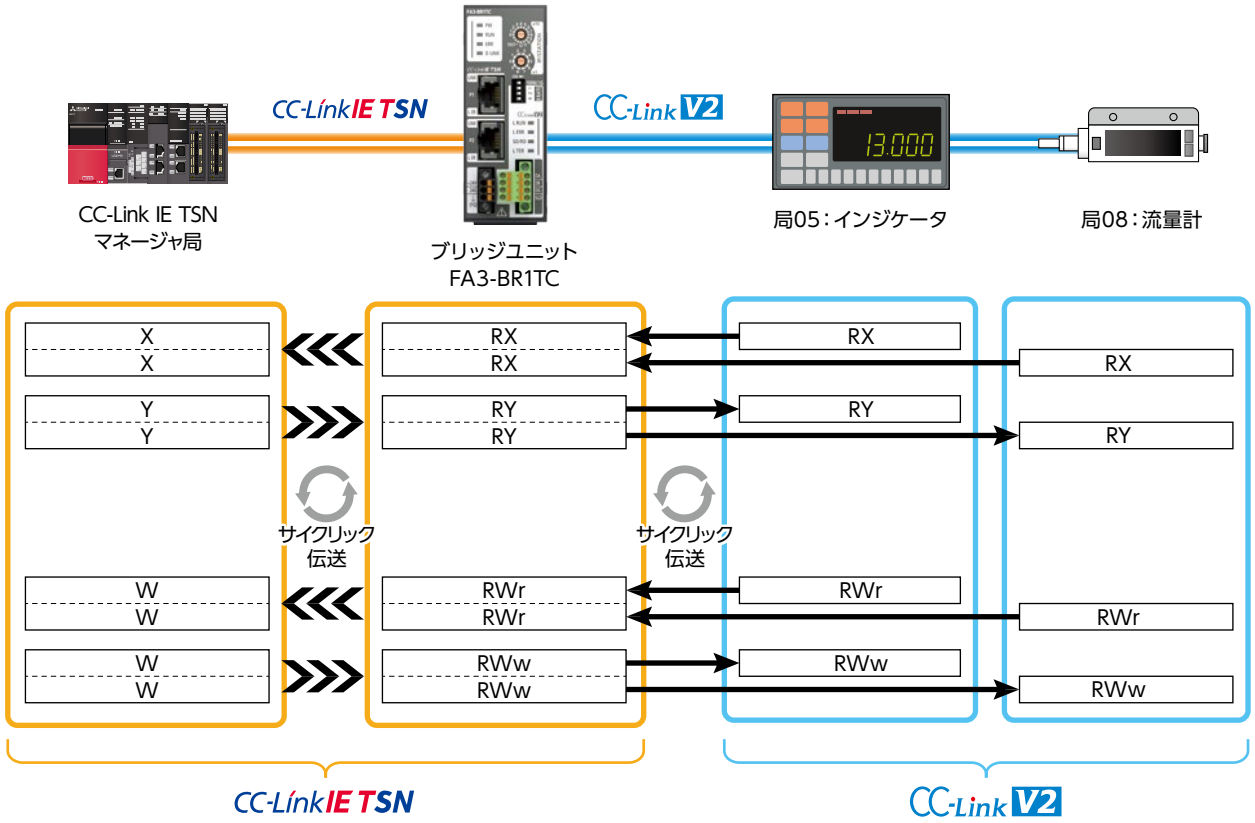
三菱電機株式会社製 GX Works3を起動し、CC-Link IE TSNの構成画面を表示し、
「デバイス局のコマンド実行」からネットワークの接続状況を確認できます。

データリンク異常時のイメージ

名称	読出値	単位	説明
CC-Linkの他局データリンク状態			
CC-Linkの他局データリンク状態			
局01～08	----X--		(下位) 01局・・・・・・・・08局 (上位) 状態[-:正常,×:エラー]

CC-Link IE TSNとCC-Link間のデータ通信

CC-Linkのワードデータ、ビットデータどちらも、CC-Link IE TSNマネージャ局から読み書きできます。



機能一覧

共通仕様

機　能	内　容
エラー履歴機能	エンジニアリングツールから本ユニットの内部に保持されているエラー履歴を読み出せる機能です
単体テスト機能	本ユニットのハードウェアに異常がないかをチェックする機能です

CC-Link IE TSNの機能

機　能	内　容
エラー通知機能	CC-Linkで発生したエラーをCC-Link IE TSNのマネージャ局に通知可能
CC-Link IE TSN診断	エンジニアリングツールにより本ユニットの状態を確認することが可能 また、異常発生時は原因と処置方法をエンジニアリングツールで確認可能
パラメータ自動設定機能	本ユニットがネットワークに参入または復列したとき、マネージャ局経由でパラメータを自動設定する

CC-Linkの機能

機　能			内　容
サイクリック伝送	他局との交信	RX、RYによる交信	本ユニットと他局間で、ビット単位の入出力データを交信
		RWr、RWwによる交信	本ユニットと他局間で、ワード単位の入出力データを交信
	リンクリフレッシュ		本ユニットでTSNのデータとCC-Linkのデータをリフレッシュ
	サイクリックデータのデータ保証		読出し/書込みデータが新しいデータと古いデータに分離されないように保証
	データリンク異常局からの入力データ設定		データリンクが異常となった局からの入力データのクリア/保持を選択
	TSNマネージャ局のCPUユニットSTOP時の出力保持・クリア設定		TSNネットワーク 停止時、リモート出力（RY）をリフレッシュ保持/0クリアを選択
	TSNマネージャ局のCPUユニットエラー時のデータリンク設定		TSNネットワーク 停止時、データリンクの停止/続行を選択
	CC-Link IE TSN側のデータリンク異常時の設定		ブリッジユニットがデータリンク異常となった場合、CC-Linkへの送信データの保持/クリアを選択
	データリンクの停止と再起動		デバッグ時などのデータリンク停止/再開を選択
	リモートI/O局の点数設定		リフレッシュ点数を8点/16点/32点から選択
RAS	デバイス局切離し機能		デバイス局で異常発生時、異常発生局のみを切り離し正常な局のみでデータリンクを継続する機能
	自動復列機能		データリンク異常により解列したデバイス局が正常になったときに、自動的に復列・データリンクを再開する機能
診断	回線テスト		デバイス局とデータリンクできる状態であるかを確認可能
	CC-Link診断		CC-Linkシステムの状態を確認
その他	予約局機能		未接続のデバイス局を予約局に設定し異常局と認識させない機能
	エラー無効局設定機能		デバイス局データリンク異常時、異常局として検出させない機能
	一時エラー無効局設定機能		デバイス局データリンク異常時、異常局として一時的に検出させない機能
	接続機器の自動検出機能		“機器一覧”の自動取得を行う機能

機種一覧表

〈納期〉○：仕込生産品

CC-Link IE TSN－CC-Linkブリッジユニット

仕　様		形　名	納　期
CC-Link IE TSN－CC-Linkブリッジユニット	・マニュアル（ハードウェア編） ・ネジ取付け用固定具	FA3-BR1TC	○

仕様

CC-Link IE TSN−CC-Linkブリッジユニット
FA3-BR1TC

■CC-Link IE TSNにラインアップのない機器を制御可能です。
■ CC-Link IE TSNへ段階的な置換えが可能です。
■既存の機器/配線をそのまま使用することでコストを抑え、工期を短縮できます。
■機器の再利用でプラスチック使用量を削減できます。
■新旧ライン/設備のデータを収集し、三菱電機株式会社製Geminiでの検証が可能です。
■旧ライン/設備の稼動データを新ライン/設備に流用可能です。

仕様

項　目			内　容
外部接続方式	CC-Link IE TSN通信部		RJ45コネクタ×2
	CC-Link通信部		CC-Linkシステム用端子台（2ピーススプリングクランプ端子台）
	ユニット電源部		ユニット電源・FG用端子台（2ピーススプリングクランプ端子台）
適用DINレール			TH35-7.5Fe、TH35-7.5Al（JIS C 2812準拠）
接続ケーブル・電線	CC-Link IE TSN用	1Gbps	1000BASE-Tの規格を満たすEthernetケーブル（ストレート/クロス）
			カテゴリ5e以上（二重シールド付、STP）ケーブル
		100Mbps	100BASE-TXの規格を満たすEthernetケーブル（ストレート/クロス）
			カテゴリ5以上（二重シールド付、STP）ケーブル
	CC-Link用		Ver.1.10対応CC-Link専用ケーブル （当社製 FA-CBL200PSBH、FANC-110SBH、CS-110）
			端子台の端子穴サイズは、2.4mm×1.5mm
	ユニット電源・FG用	電線サイズ	0.14～1.5mm^2（AWG24～16）
		種類	より線または単線
		材質	銅線
		温度定格	75℃以上
ユニット電源	電圧		DC24V（リップル率5%以内）（許容電圧範囲DC20.4V～28.8V）
	電流		150mA
外形寸法	H（高さ）		105mm
	W（幅）		40mm
	D（奥行）		70mm（端子台含まず）
			86mm（端子台含む）
質量			180g

ネットワーク仕様

項　目				内　容
CC-Link IE TSN	通信速度			1Gbps/100Mbps
	局種別			リモート局
	認証Class			認証Class B Ver.2.0
	トポロジ			ライン接続、スター接続、スター接続とライン接続の混在、リング接続
	リンク点数		RX/RY	3840点（480バイト）/ 3840点（480バイト）
			RWw/RWr	960点（1920バイト）/ 960点（1920バイト）
CC-Link	伝送速度			156kbps/625kbps/2.5Mbps/5Mbps/10Mbps から選択
	CC-Linkバージョン			Ver.2.00
	局種別			マネージャ局
	最大接続局数			64局
	最大リンク点数	CC-Link Ver.1	リモート入出力（RX/RY）	2048点（256バイト）/ 2048点（256バイト）
			リモートレジスタ（RWw/RWr）	256点（512バイト）/ 256点（512バイト）
		CC-Link Ver.2	リモート入出力（RX/RY）	3584点（448バイト）/ 3584点（448バイト）
			リモートレジスタ（RWw/RWr）	816点（1632バイト）/ 816点（1632バイト）
	局間ケーブル長（最小局間距離）			20cm
	最大ケーブル総延長（最大伝送距離）			156kbps:1200m 625kbps:900m 2.5Mbps:400m 5Mbps:160m 10Mbps:100m

CC-Link IE TSNの対応バージョン

クラス	対応
Class A Ver.2.0	×
Class B Ver.2.0	○

CC-Linkの接続仕様

送信局	受信局						
CC-Link Ver.2.00	CC-Link Ver.2.00			CC-Link Ver.1.10			
マネージャ局	ローカル局	インテリジェントデバイス局	リモートデバイス局	ローカル局	インテリジェントデバイス局	リモートデバイス局	リモートI/O局
CC-Link IE TSN-CC-Linkブリッジユニット	×	×	○*1	×	×	○*2	○*2

*1：拡張サイクリック通信
*2：サイクリック通信

リニューアル機器編

共通事項

Common elements

INDEX

製品一覧

シーケンサリニューアル P.334

保証について P.345

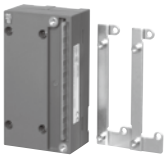
シーケンサリニューアル

MELSEC-A/QnAシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1AR10XY	○
			ERNT-1AR40Y	○
			ERNT-1AR41X	○
			ERNT-1AR41Y	○
			ERNT-ASLCXY81	○
	2スロットタイプ		ERNT-1AR10AY	○
			ERNT-1AR11X13Y	○
			ERNT-1AR51Y	○
アナログユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1AR68AD	○
			ERNT-1AR68AN	○
			ERNT-AQT62DA	○
			ERNT-AQT68DA	○
	2スロットタイプ		ERNT-1AR616AD	○
			ERNT-1AR616DA	○
高速カウンタユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1AR61D	○
変換アダプタ固定台			ERNT-1AR12F	○
			ERNT-1AR8F	○
			ERNT-1AR5F	○
			ERNT-1AR10F3	○
			ERNT-1AR10F6	○
ベースアダプタ			ERNT-AQB38N	○
			ERNT-AQB35N	○
			ERNT-AQB32N	○
			ERNT-AQB68N	○
			ERNT-AQB65N	○
			ERNT-AQB58N	○
			ERNT-AQB55N	○

製品写真は代表形名のものです。

MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQTXY10	○
			ERNT-ASQTX40	○
			ERNT-ASQTY22	○
			ERNT-ASQTY40	○
			ERNT-ASQTY50	○
			ERNT-ASQTY80	○
			ERNT-ASLCXY81	○
	2スロットタイプ		ERNT-2AR20X	○
アナログユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQT64AD	○
			ERNT-ASQT68AD	○
			ERNT-2AR68AG	○
			ERNT-ASQT62DA	○
			ERNT-ASQT68DA	○
高速カウンタユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-2AR62DD	○
			ERNT-ASLTD61	○
			ERNT-ASLTD62	○
温度入力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-2AR68TD	○
			ERNT-2AR62RD	○
温度調節ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-2AR64TT	○
			ERNT-2AR64TR	○
			ERNT-2AR62TT	○
			ERNT-2AR62TR	○
温度調節ユニット用変換アダプタ (断線検知コネクタ変換ケーブル付き)	1スロットタイプ		ERNT-2AR64TT1BW	○
			ERNT-2AR64TR1BW	○
			ERNT-2AR62TT1BW	○
			ERNT-2AR62TR1BW	○
ベースアダプタ			ERNT-ASQB38N	○
			ERNT-ASQB35N	○
			ERNT-ASQB33N	○
			ERNT-ASQB32N	○
			ERNT-ASQB00JN	○
			ERNT-ASQB68N	○
			ERNT-ASQB65N	○
			ERNT-ASQB58N	○

※1：変換アダプタのみ対応しています。断線検知コネクタ変換ケーブルは材料証明書で対応しています。
※2：変換アダプタのみ対応しています。断線検知コネクタ変換ケーブルは対象外です。

製品写真は代表形名のものです。

オムロン株式会社製 SYSMAC Cシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1CR121X221Y	○
			ERNT-1CR219Y411Y	○
			ERNT-1CR215X218X	○
			ERNT-1CR412Y414Y	○
			ERNT-2CR216X218X	○
			ERNT-2CR218Y	○
	2スロットタイプ		ERNT-1CR122X224Y	○
			ERNT-1CR218Y	○
変換アダプタ固定台			ERNT-1CR12F	○
			ERNT-1CR10F	○
			ERNT-1CR8F	○
ベースアダプタ			ERNT-CQB081N	○
			ERNT-CQB051N	○
			ERNT-CQB031N	○
プログラムコンバータ			ERNT-CQ1W2C	○

製品写真は代表形名のものです。

シャープ株式会社製 JWシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1JR11N13S	○
			ERNT-1JR12S	○
			ERNT-1JR32N34N	○
			ERNT-1JR32S	○
			ERNT-2JQ210NS	○
			ERNT-2JQ212S	○
			ERNT-2JR234N264N	○
			ERNT-2JR232S262S	○
	2スロットタイプ		ERNT-1JR31N34S	○
			ERNT-1JR33S	○
ベースアダプタ			ERNT-1JR613B	○

製品写真は代表形名のものです。

株式会社安川電機製 MEMOCON GLシリーズ→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1Y2R501500	○
			ERNT-1Y2R600	○
			ERNT-1Y2R602606	○
			ERNT-1JR32N34N	○
			ERNT-2Y2R615625	○
			ERNT-2YR36400	○
			ERNT-2YR36410	○
			ERNT-2YR35400	○
			ERNT-2YR35410	○
			ERNT-2CR218Y	○
	2スロットタイプ		ERNT-1Y2R505	○
			ERNT-1Y2R904914	○
			ERNT-1JR31N34S	○
			ERNT-1JR33S	○

製品写真は代表形名のものです。

他社製 PLC→MELSEC iQ-Rシリーズ対応リニューアル機器（ユニバーサル変換アダプタ）

品 名			形 名	納 期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-AQTB20-S1	○
			ERNT-1AR38TB	○
			ERNT-ASQTB20	○

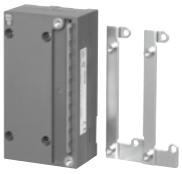
製品写真は代表形名のものです。

MELSEC-A/QnAシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-AQTX10	○
			ERNT-AQTX40	○
			ERNT-AQTX80	○
			ERNT-AQTX41	○
			ERNT-AQTX81	○
			ERNT-AQTY10	○
			ERNT-AQTY22	○
			ERNT-AQTY40	○
			ERNT-AQTY50	○
			ERNT-AQTY80	○
			ERNT-AQTY41	○
			ERNT-AQTY81	○
	2スロットタイプ		ERNT-AQTX11	○
			ERNT-AQTY10A	○
			ERNT-AQTY13	○
			ERNT-AQTY23	○
			ERNT-AQTY51	○
アナログユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-AQT68AD	○
			ERNT-AQT68ADN	○
			ERNT-AQT62DA	○
			ERNT-AQT68DA	○
	2スロットタイプ		ERNT-AQT68AD-GH	○
			ERNT-AQT616AD	○
			ERNT-AQT616DA	○
高速カウンタユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-AQTD61	○
変換アダプタ固定台			ERNT-AQF12	○
			ERNT-AQF8	○
			ERNT-AQF5	○
			ERNT-AQF3	○
ベースアダプタ			ERNT-AQB38N	○
			ERNT-AQB68N	○
			ERNT-AQB58N	○
			ERNT-AQB35N	○
			ERNT-AQB65N	○
			ERNT-AQB55N	○
			ERNT-AQB32N	○
			ERNT-AQB62	○
			ERNT-AQB52	○

製品写真は代表形名のものです。

MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQTXY10	○
			ERNT-ASQTX40	○
			ERNT-ASQTX80	○
			ERNT-ASQTY22	○
			ERNT-ASQTY40	○
			ERNT-ASQTY50	○
			ERNT-ASQTY80	○
	2スロットタイプ		ERNT-ASQTX20	○
			ERNT-ASQTY60	○
			ERNT-ASQTY60E	○
アナログユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQT64AD	○
			ERNT-ASQT68AD	○
			ERNT-ASQT68AD-G	○
			ERNT-ASQT62DA	○
			ERNT-ASQT68DA	○
			ERNT-ASQT63ADA	○
高速カウンタユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQTD61	○
			ERNT-ASQTD62	○
			ERNT-ASQTD62D	○
温度入力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQT68TD-H01	○
			ERNT-ASQT68TD-H02	○
			ERNT-ASQT62RD	○
温度調節ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-ASQT64TCTT	○
			ERNT-ASQT64TCRT	○
			ERNT-ASQT62TCTT	○
			ERNT-ASQT62TCRT	○
温度調節ユニット用変換アダプタ (断線検知コネクタ変換ケーブル付き)	1スロットタイプ		ERNT-ASQT64TCTTBW	○
			ERNT-ASQT64TCRTBW	○
			ERNT-ASQT62TCTTBW	○
			ERNT-ASQT62TCRTBW	○
ベースアダプタ			ERNT-ASQB38N	○
			ERNT-ASQB35N	○
			ERNT-ASQB33N	○
			ERNT-ASQB32N	○
			ERNT-ASQB00JN	○
			ERNT-ASQB68N	○
			ERNT-ASQB65N	○
			ERNT-ASQB58N	○
			ERNT-ASQB55N	○
			ERNT-ASQB52N	○
			ERNT-ASQB38N-S1	○
			ERNT-ASQB35N-S1	※3
			ERNT-ASQB33N-S1	※3
変換アダプタDINレール取付金具			ERNT-ASQDIN3868	○
			ERNT-ASQDIN356500J	○
			ERNT-ASQDIN3355	○
			ERNT-ASQDIN52	○

※1:変換アダプタのみ対応しています。断線検知コネクタ変換ケーブルは材料証明書で対応しています。
※2:変換アダプタのみ対応しています。断線検知コネクタ変換ケーブルは対象外です。
※3:最寄りの営業支社へお問い合わせください。

製品写真は代表形名のものです。

MELSEC-AnS/QnASシリーズ→MELSEC-Lシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1ユニットタイプ		ERNT-ASLTXY10	○
			ERNT-ASLTX40	○
			ERNT-ASLTX80	○
			ERNT-ASLTY22	○
			ERNT-ASLTY40	○
			ERNT-ASLTY50	○
			ERNT-ASLTY80	○
			ERNT-ASLCXY81	○
アナログユニット用変換アダプタ	1ユニットタイプ		ERNT-ASLT64AD	○
			ERNT-ASLT62DA	○
高速カウンタユニット用変換アダプタ	1ユニットタイプ		ERNT-ASLTD61	○
			ERNT-ASLTD62	○
ベースアダプタ			ERNT-ASLB38	○
			ERNT-ASLB35	○
			ERNT-ASLB33	○
			ERNT-ASLB32	○
			ERNT-ASLBJ	○
			ERNT-ASLB68	○
			ERNT-ASLB65	○
			ERNT-ASLB58	○
			ERNT-ASLB55	○
			ERNT-ASLB52	○

製品写真は代表形名のものです。

オムロン株式会社製 SYSMAC Cシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-CQTX121	○
			ERNT-CQTX112213	○
			ERNT-CQTX215218	○
			ERNT-CQCX218501	○
			ERNT-CQCX114219	○
			ERNT-CQTY221	○
			ERNT-CQTY226	○
			ERNT-CQTY219217	○
			ERNT-CQTY411	○
			ERNT-CQTY412	○
			ERNT-CQTY414218	○
			ERNT-CQCY415	○
			ERNT-CQCY501	○
			ERNT-CQCY213	○
			ERNT-2CQ216X218X	○
			ERNT-2CQ218Y	○
	2スロットタイプ		ERNT-CQTX122	○
			ERNT-CQTY224	○
			ERNT-CQTY225	○
			ERNT-CQTY218	○
変換アダプタ固定台			ERNT-QF12	○
			ERNT-QF8	○
			ERNT-QF5	○
ベースアダプタ			ERNT-CQB081N	○
			ERNT-CQB051N	○
			ERNT-CQB031N	○
プログラムコンバータ			ERNT-CQ1W2C	○

製品写真は代表形名のものです。

シャープ株式会社製 JWシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1JQ11N12N	○
			ERNT-1JQ32N34N	○
			ERNT-1JQ64NC	○
			ERNT-1JQ13S	○
			ERNT-1JQ12S	○
			ERNT-1JQ32S	○
			ERNT-1JQ32SC62SC	○
			ERNT-2JQ210NS	○
			ERNT-2JQ212S	○
			ERNT-2JQ234N264N	○
			ERNT-2JQ232S262S	○
	2スロットタイプ		ERNT-1JQ31N34S	○
			ERNT-1JQ33S	○
ベースアダプタ			ERNT-1JR613B	○

製品写真は代表形名のものです。

株式会社安川電機製 MEMOCON-SC GLシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品名			形名	納期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-1Y2Q501	○
			ERNT-1Y2Q601611	○
			ERNT-1JQ32N34N	○
			ERNT-1Y2Q615625	○
			ERNT-1Y2Q500	○
			ERNT-1Y2Q600	○
			ERNT-1Y2Q602606	○
			ERNT-CQCY213	○
			ERNT-2YQ35400	○
			ERNT-2YQ35410	○
			ERNT-2YQ36400	○
			ERNT-2YQ36410	○
	2スロットタイプ		ERNT-1Y2Q505	○
			ERNT-1JQ33S	○
			ERNT-1JQ31N34S	○
			ERNT-1Y2Q904914	○

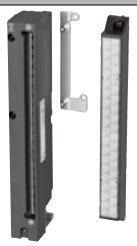
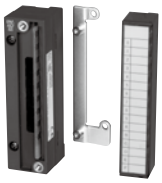
製品写真は代表形名のものです。

株式会社ジェイテクト製TOYOPUC-PC10G/3Jシリーズリニューアル機器

品 名			形 名	納 期
入力/出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-2TR27X27Y	○
			ERNT-2TR27Y29Y	○

製品写真は代表形名のものです。

他社PLC→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器

品 名			形 名	納 期
入力/出力ユニット用 ユニバーサル変換アダプタ	1スロットタイプ		ERNT-AQTB20	○
			ERNT-AQTB20-S1	○
			ERNT-AQTB38	○
			ERNT-AQTB38-E	○
			ERNT-ASQTB20	○

製品写真は代表形名のものです。

CC-Link IE TSN-CC-Link ブリッジユニット

品 名		形 名	納 期
CC-Link IE TSN－CC-Linkブリッジユニット		FA3-BR1TC	○

ご使用に際しては、以下の製品保証内容をご確認ください。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、弊社の責による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が製品に発生した場合、お買い上げいただいた販売店を通して弊社にご返却いただければ、無償で製品を修理させていただきます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様がご購入後またはご指定の場所に納入後1年間とさせていただきます。
ただし、流通期間を最長6か月とし、弊社製品出荷から18か月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は、修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

(1) 使用状態、使用方法および使用環境などが取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件や注意事項に従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

(2) 無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。

①お客様による不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障、およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。

②お客様が弊社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。

③弊社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。

④取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。

⑤火災、異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震、雷、風水害などの天変地異による故障。

⑥弊社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。

⑦その他、弊社の責任外の場合またはお客様が弊社責任外と認めた故障。

生産中止後の有償修理期間

(1) 弊社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。
生産中止に関しましては、販売店経由にて連絡いたします。

(2) 生産中止後の製品供給（補用品を含む）はできません。

海外でのサービス

弊社製品をお買い上げいただいた商流にてお問い合わせください。

機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、弊社の責に帰すことができない事由から生じた損害、弊社製品の故障に起因するお客様の機会損失、逸失利益、弊社の予見の有無にかかわらず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、弊社製品以外への損傷およびお客様による交換作業、現地機械設備の再調整、立ち上げ試運転、その他の業務に対する補償については、弊社は責任を負いかねます。

製品仕様の変更

カタログ、ユーザーズマニュアル、または技術資料に記載されている仕様は、予告なしに変更させていただく場合があります。

製品の適用について

(1) 弊社製品のご使用にあたり、万一製品に故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故に至らない用途であること、および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

(2) 弊社製品は、一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがって、以下のような機器・システムなどの特殊用途へのご使用については、弊社製品の適用を除外させていただきます。万一使用された場合、弊社として弊社製品の品質、性能、安全に関わる一切の責任（債務不履行責任、瑕疵担保責任、品質保証責任、不法行為責任、製造物責任を含むがそれらに限定されない）を負わないものとさせていただきます。

①各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなど、公共への影響が大きい用途

②鉄道各社殿および官公庁殿など、特別な品質保証体制の構築を弊社にご要求になる用途

③航空宇宙、医療、鉄道、燃焼・燃料装置、乗用移動体、有人搬送装置、娯楽機械、安全機械など、生命、身体、財産に大きな影響が予測される用途

ただし、上記の用途であっても、具体的に使途を限定すること、特別な品質（一般仕様を超えた品質等）をご要求されないこと等を条件に、弊社の判断にて適用可とする場合があります。詳細は弊社窓口へご相談ください。

(3) DoS攻撃、不正アクセス、コンピュータウイルスその他のサイバー攻撃により発生する製品およびシステムトラブル上の諸問題に対して、弊社はその責任を負わないものとさせていただきます。

MEEFAN（FAグッズ）

当社製 FAグッズの製品情報、技術情報、カタログダウンロードなどを掲載している情報ポータルサイトです。
豊富なラインアップから製品を簡単に選定できるツールも掲載していますので、ご活用ください。

MEEFAN
TOPページ

TOPページ上段より当社ご提供の製品をご覧いただけます。
たとえばFA関連製品では、モノだけではなくコトに関するソリューション情報を掲載しています。

今すぐアクセス

www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/

contents

選定ツール

- シーケンサ用省配線・省工数機器 選定ツール
- シーケンサ用リニューアル機器 選定ツール

シーケンサ用省配線・省工数機器 選定ツール

ログイン不要で、シーケンサ、表示器形名から接続可能機種を絞り込みできます。

シーケンサ用リニューアル機器 選定ツール

ログイン不要で、既設シーケンサ名を選択することで簡単に置換え選定ができます。

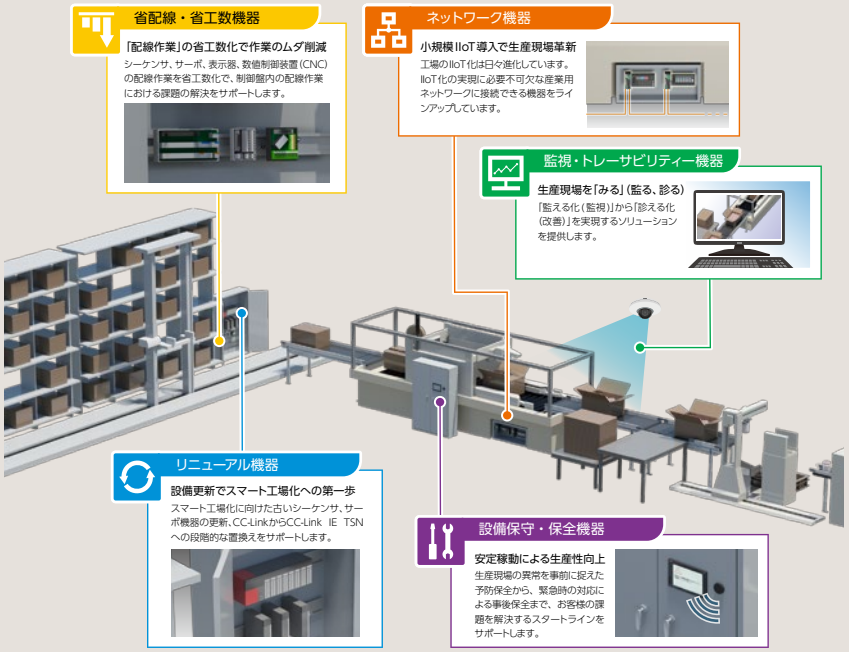
お問い合わせ

- 製品・サービスに関するお問い合わせ
- 技術的なお問い合わせ
- よくある質問（FAQ）

お問い合わせ

「製品購入」、「製品・サービス」、「技術的な内容」についてお問い合わせいただけます。
FAQにはよくあるご質問を各種掲載していますのでご参考ください。

スマート工場化を図る5つの用途

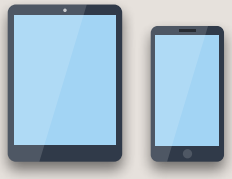


5つの用途

各種製品を5つの用途にカテゴライズ。用途から各種製品ページへ遷移できます。
また、形名検索や製品一覧からも製品ページへ遷移できます。

パソコン端末

タブレット端末



端末に応じた画面表示

パソコンはもちろん、スマートフォンなどのタブレット端末での閲覧時には、自動で最適なサイズで表示をします。

contents

ダウンロード

ドキュメント分類
◉ カタログ　○ リーフレット　○ 新製品ニュース　○ テクニカルニュース

言語
◉ 日本語版　○ 英語版　○ 中国語版(簡体字)

接続機種
◉ すべて　○ シーケンサ　○ サーボシステム　○ 表示器(GOT)

形名、名称、文書番号を入力

▶ 製品一覧から探す

ダウンロード
コンテンツの種類、言語および、接続機種を選択で絞りこみ検索をすることができます。
また、キーワード入力での検索も可能です。

関連製品

新製品ニュース/リーフレット

ネットワーク
インタフェースユニット

デジタル信号変換器
（ターミナルユニット）

アナログ信号変換器

三菱電機ACサーボシステム用
スプリングクランプ中継端子台

NITTOKU対応RFID
インタフェースユニット

CC-Link IE TSN－
CC-Linkブリッジユニット

ケーブル中継ユニット

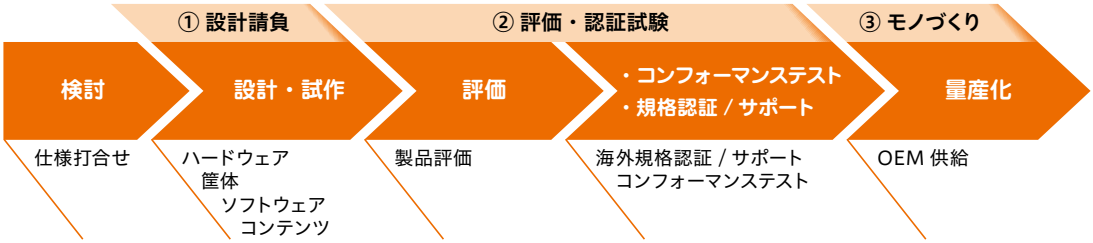
システムソリューションのご案内

関連サービス

機械・構造、ハードウェア開発設計、ソフトウェア開発設計、評価試験、設備開発、ドキュメント制作などの技術サービスを請け負っています。また、CAE解析や国際規格に対応するためのUL認証支援、EMC認証試験などの業務を行っています。ますます加速する技術革新に対応するため、最新技術と長年の実績で蓄積したノウハウを駆使し、常にチャレンジしながら新たな価値を生み出し、世界で活躍する製品開発に貢献しています。

電子機器設計ソリューション

CC-Linkファミリーをはじめとした産業用ネットワークの製品開発など、ご要望に合わせトータル/スポットでサポートいたします。



受託対象ネットワーク

CC-Link ファミリー

CC-Link IE TSN
CC-Link IE Field
CC-Link IE Field Basic
CC-Link
SLMP

産業用Ethernet

MODBUS/TCP
FL-net

e-ソリューション

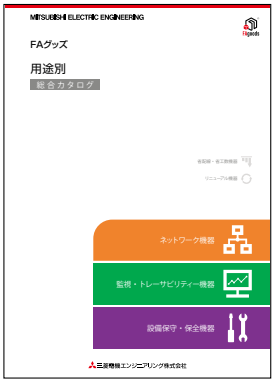
製品の開発・設計で培ったノウハウを活用し、マニュアル・カタログやWebコンテンツなど、あらゆるドキュメントを企画・デザイン・制作します。また、グローバル展開にも対応し、お客様のニーズにお応えする魅力あるドキュメントを提供いたします。

カタログ

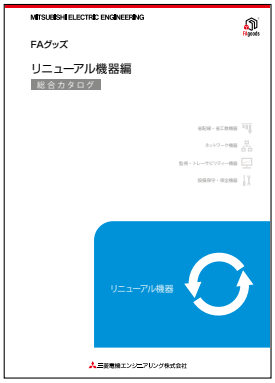
ダイジェスト版

省配線・省工数機器編

用途別編



リニューアル機器編



e-F@ctory、e-F@ctory Alliance、MELSEC iQ-R、MELSEC、CC-Link IE TSN、CC-Link IE Field、CC-Link、MELSOFT GX Developer、GX Configurator、GOT、MELSERVOおよび、SLMPは三菱電機株式会社の商標または登録商標です。
Ethernetは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
FL-netは一般社団法人日本電機工業会の登録商標です。
MODBUSはSCHNEIDER ELECTRIC USA, INC.の登録
SYSMACはオムロン株式会社の登録商標です。
Memoconは株式会社 安川電機の登録商標です。
Microsoft、Windowsは米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
インテルは米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
FAgoods、MEEFANおよびECL2は三菱電機エンジニアリング株式会社の商標または登録商標です。
その他、本文中における会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
本文中で、商標記号（ ® 、 ™ ）は明記していない場合があります。

三菱電機エンジニアリング株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-34-2 ミタマチテラス

営 業 統 括 部　TEL (03) 3288-1108
中日本営業支社　TEL (052) 565-3435
西日本営業支社　TEL (06) 6347-2992
中 四 国 支 店　TEL (082) 248-5390
九 州 支 店　TEL (092) 721-2202

技術お問い合わせ

名古屋事業所 技術サポート

TEL (052) 908-2389

受付／9:00～12:00，13:00～17:00　　月曜～金曜
（土・日・祝日，春季・夏季・年末年始の休日を除く通常業務日）

三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

MEEFAN　検索

www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/

ご採用に際してのご注意

当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

- 本資料に記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ず「マニュアル」をお読みください。
- この製品は一般工業などを対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。

取扱店

⚠ 本製品をご使用にあたっては、万一故障したときの安全を確保したうえでご使用ください。また、本製品故障による二次的な被害につきましては、当社は一切の責任を負いません。

名C205-20YF

お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください。

2026年5月作成